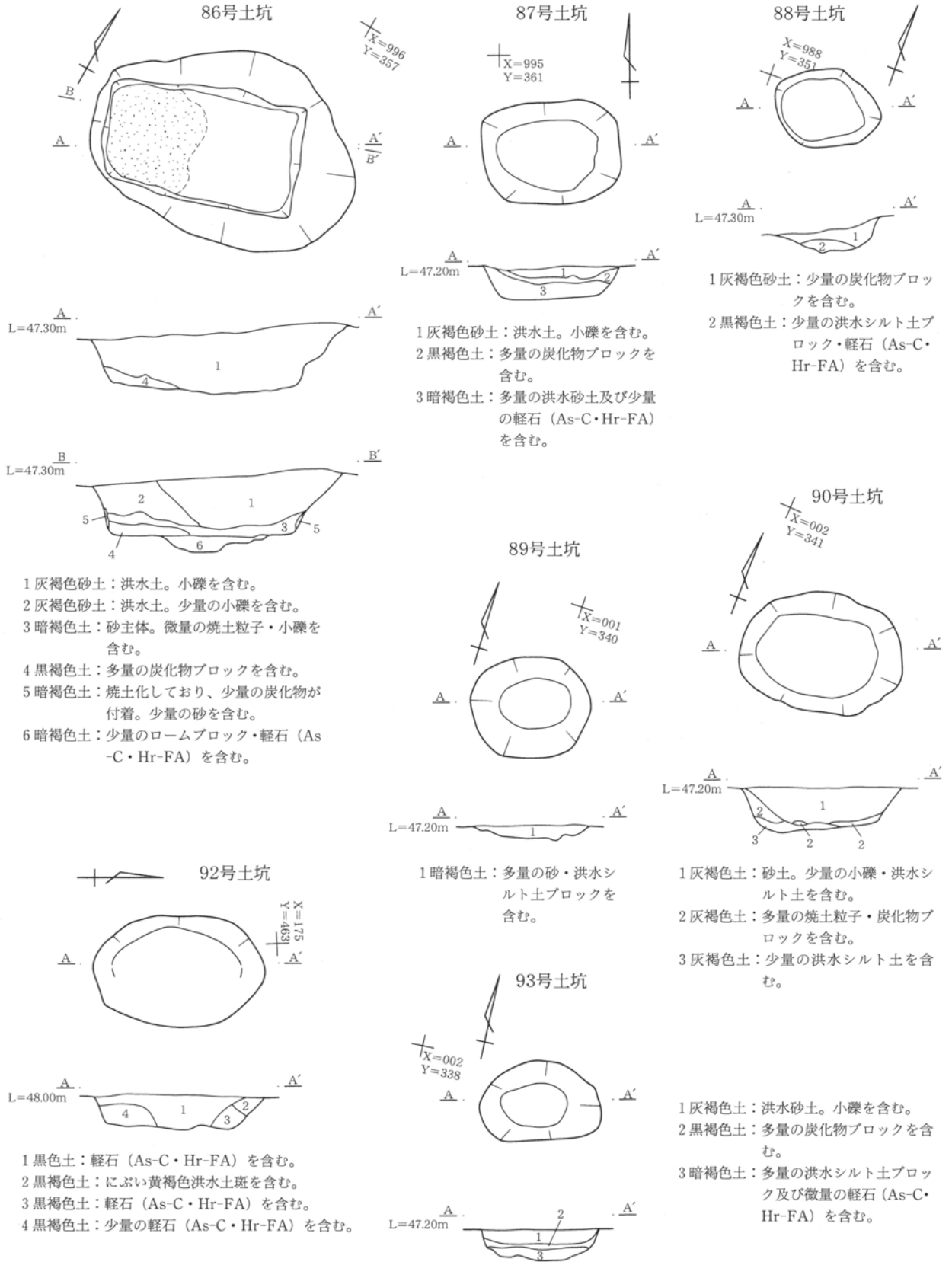


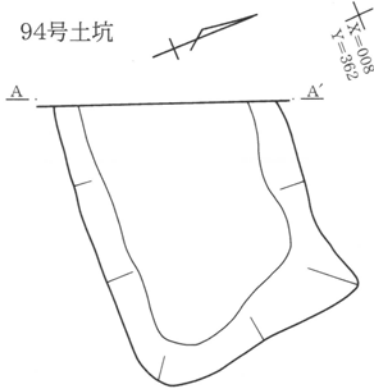
第II章 発見された遺構・遺物



0 1 m

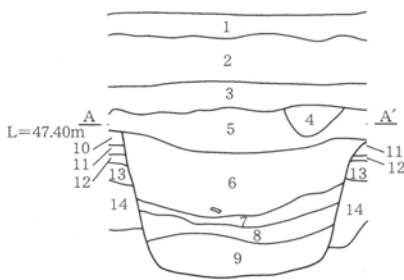
第274図 86・87・88・89・90・92・93号土坑

94号土坑

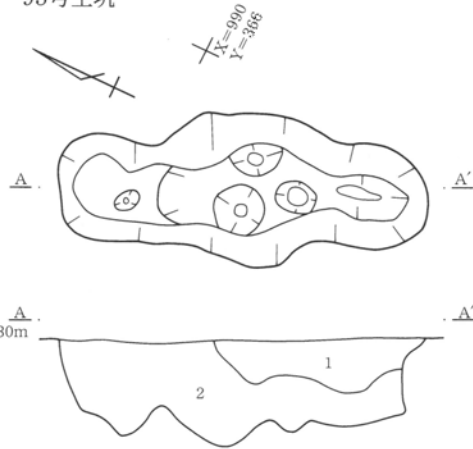


- 1 表土：現耕作土。(基本土層)
- 2 黒褐色土：少量の軽石 (As-B?) を含む。(基本土層)
- 3 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA)・焼土粒子・小礫を含む。(基本土層)
- 4 暗褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA)・焼土粒子・小礫を含む。
- 5 暗褐色土：多量の小礫を含む。(基本土層)
- 6 暗褐色土：多量の小礫及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 7 暗褐色土：砂礫主体。
- 8 暗褐色土：やや多量の礫を含む。
- 9 暗褐色土と黄褐色土の混合：ロームブロックを含む。
- 10 洪水礫層 (基本土層)
- 11 洪水砂層 (基本土層)
- 12 洪水シルト層 (基本土層)
- 13 暗褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(基本土層)
- 14 黒褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(基本土層)

96号土坑



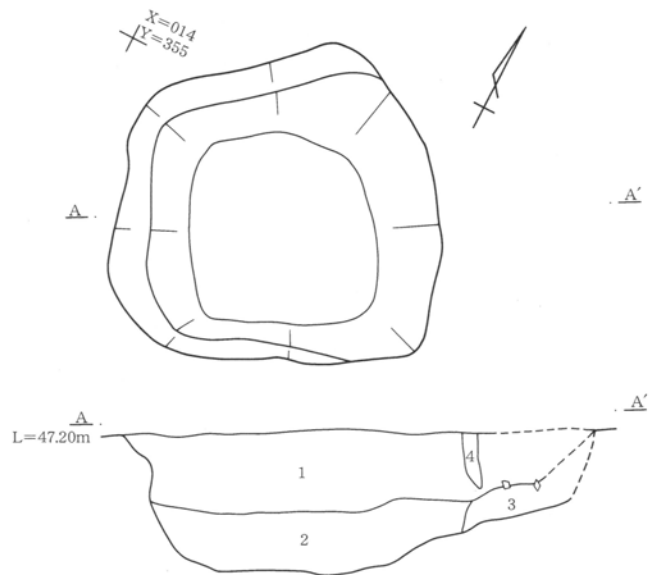
95号土坑



- 1 暗褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の洪水シルト土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土：多量の洪水シルト土ブロック、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の焼土粒子・ロームブロックを含む。

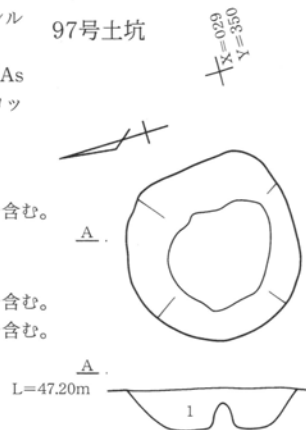
- 1 暗褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

- 1 暗褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

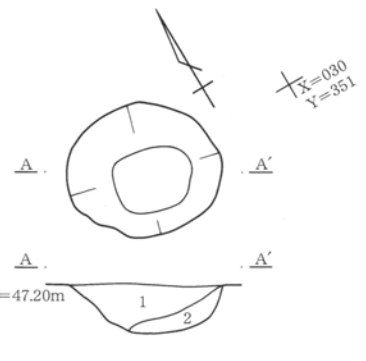


- 1 暗褐色土：少量の焼土粒子・ロームブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土と暗黄褐色土の混合。少量の焼土粒子を含む。
- 3 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA)・焼土粒子を含む暗黄褐色土ブロックを含む。
- 4 攪乱

97号土坑



98号土坑

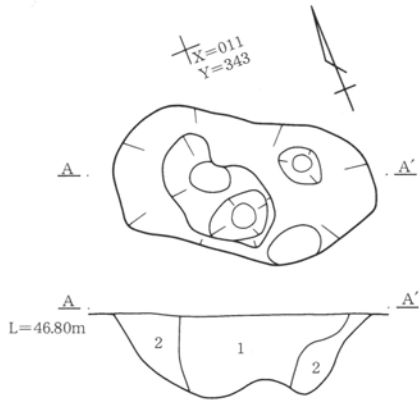


0 1m

第275図 94・95・96・97・98号土坑

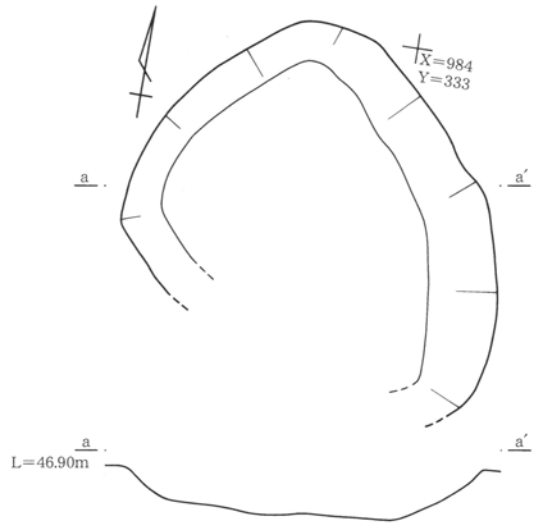
第II章 発見された遺構・遺物

99号土坑

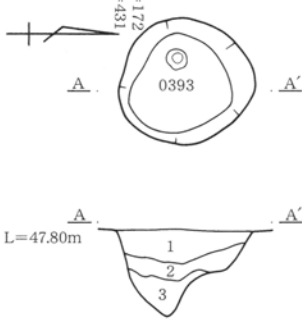


- 1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のローム粒子を含む。
- 2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

100号土坑

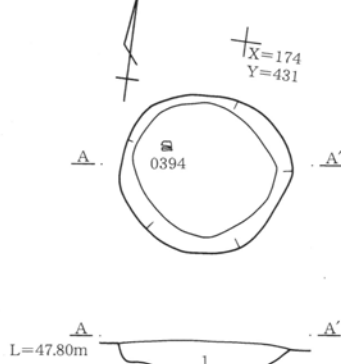


104号土坑



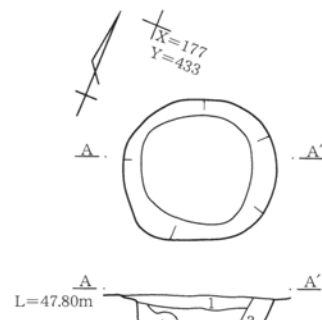
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：にぶい黄褐色洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

105号土坑



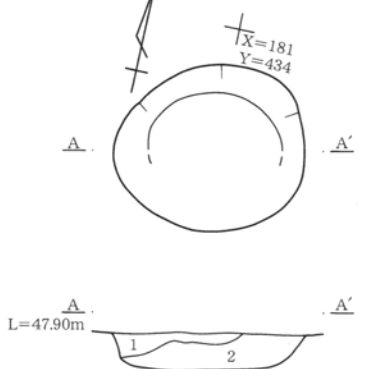
- 1 黒色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

106号土坑



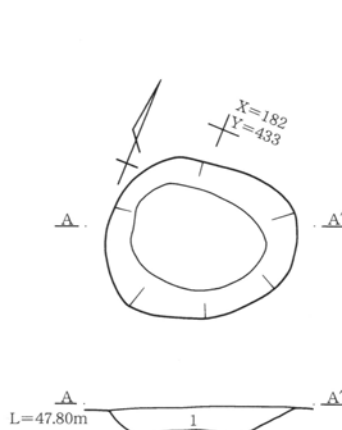
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：にぶい黄褐色洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：にぶい黄褐色洪水土斑を含む。
- 4 暗褐色土：砂質埴壤土。

107号土坑



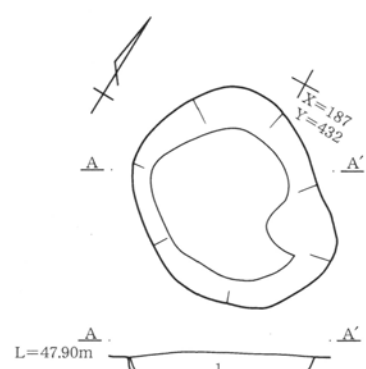
- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

108号土坑



- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

109号土坑

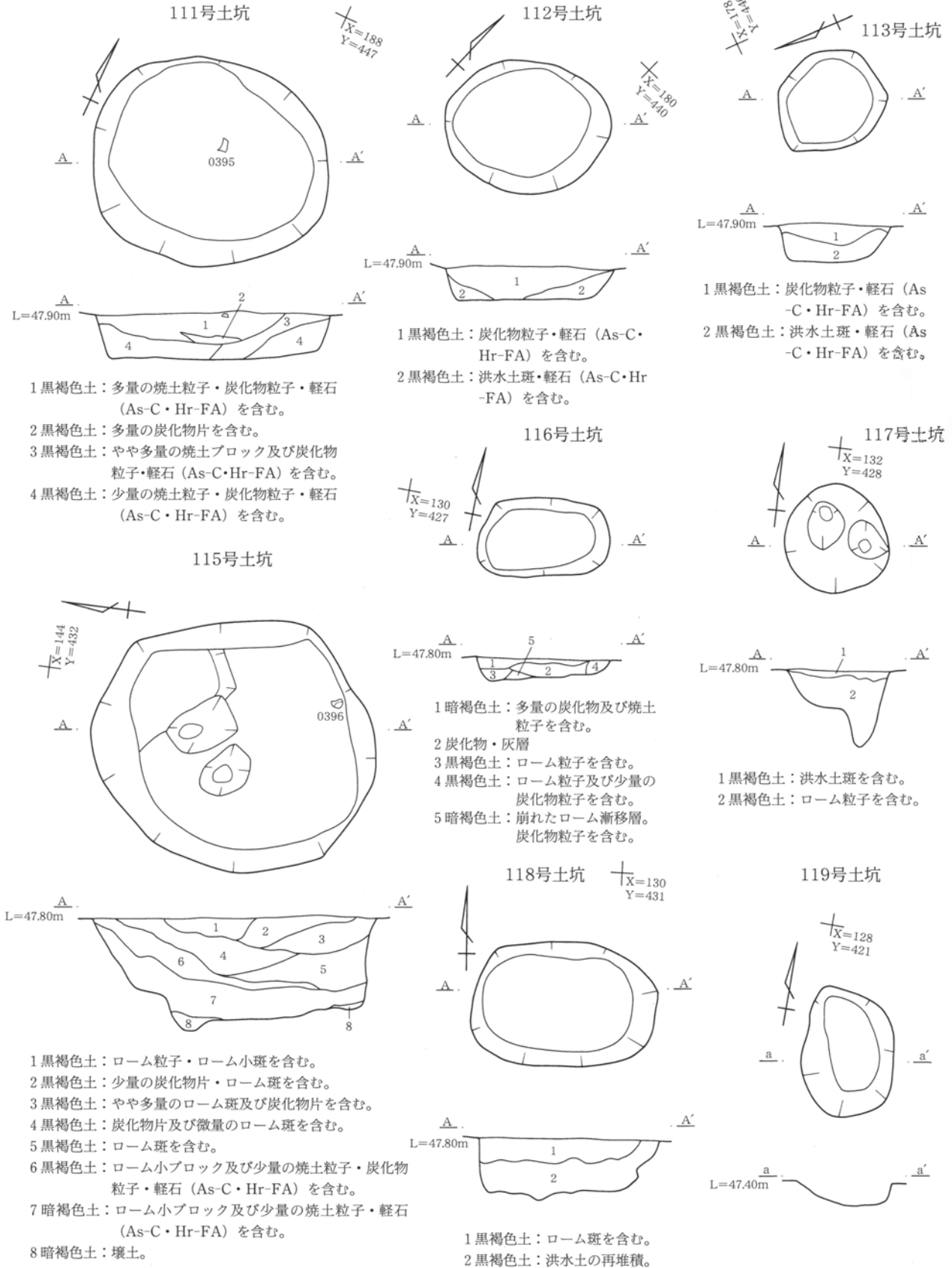


- 1 黒褐色土：洪水土斑・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 褐色土：ロームの崩れ。
- 3 黒褐色土：炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



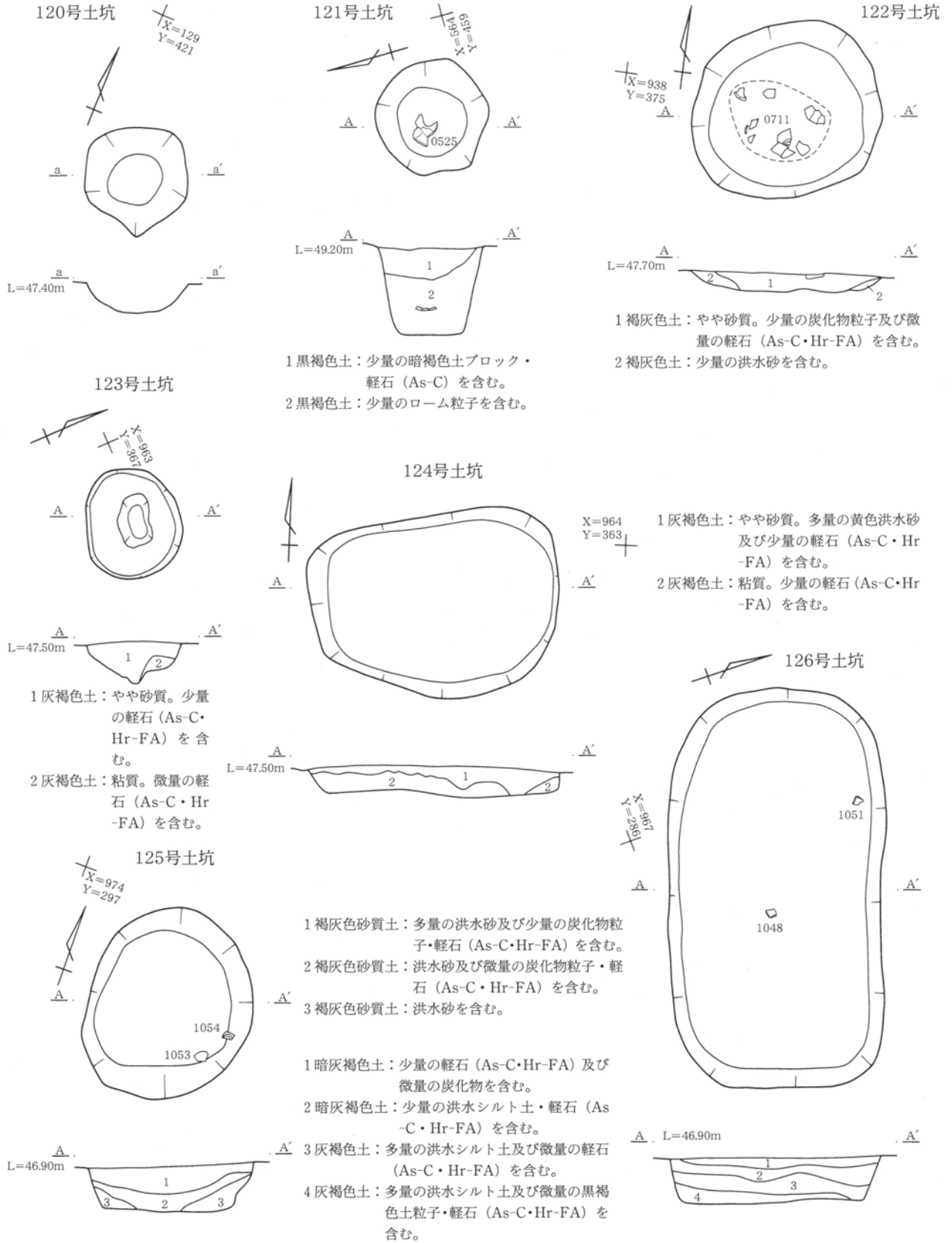
第276図 99・100・104・105・106・107・108・109号土坑

第5節 土 坑

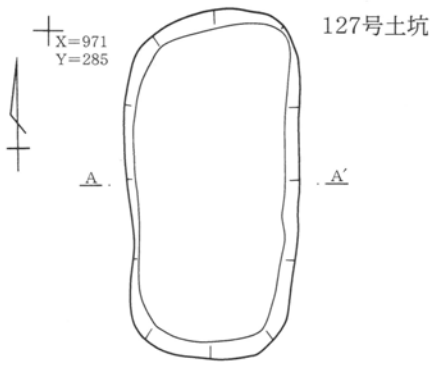


第277図 111・112・113・115・116・117・118・119号土坑

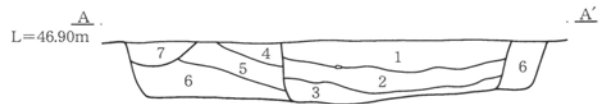
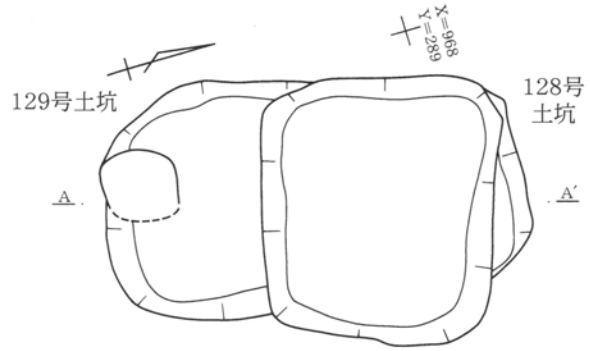
第II章 発見された遺構・遺物



第278図 120・121・122・123・124・125・126号土坑

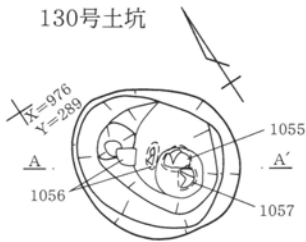


- 1 暗灰褐色土：少量の洪水シルト土及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 灰褐色土：多量の洪水シルト土及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



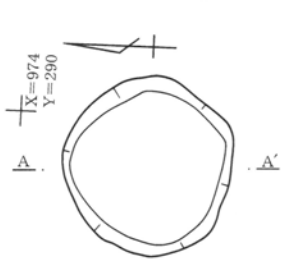
- 1 褐灰色砂質土：微量の炭化物・ローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(128号土坑)
- 2 褐灰色砂質土：炭化物・ローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(128号土坑)
- 3 灰褐色砂質土：微量のローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(128号土坑)
- 4 黄褐色砂質土：多量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(129号土坑)
- 5 暗褐灰色砂質土：微量のローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(129号土坑)
- 6 褐灰色砂質土：多量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(129号土坑)
- 7 褐灰色砂質土：微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(544号ピット)

130号土坑



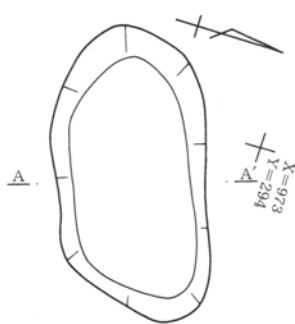
- 1 暗褐灰色土：少量の褐色土粒子及び微量の炭化物を含む。
- 2 暗褐灰色土：少量の炭化物及び微量のローム粒子を含む。

131号土坑



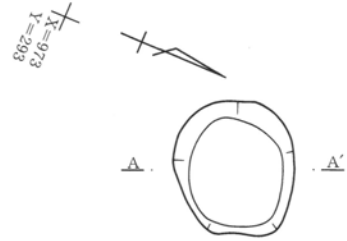
- 1 灰褐色土：多量の洪水砂を含む。

132号土坑



- 1 灰褐色土：少量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。
- 2 灰褐色土：多量の洪水砂を含む。

133号土坑

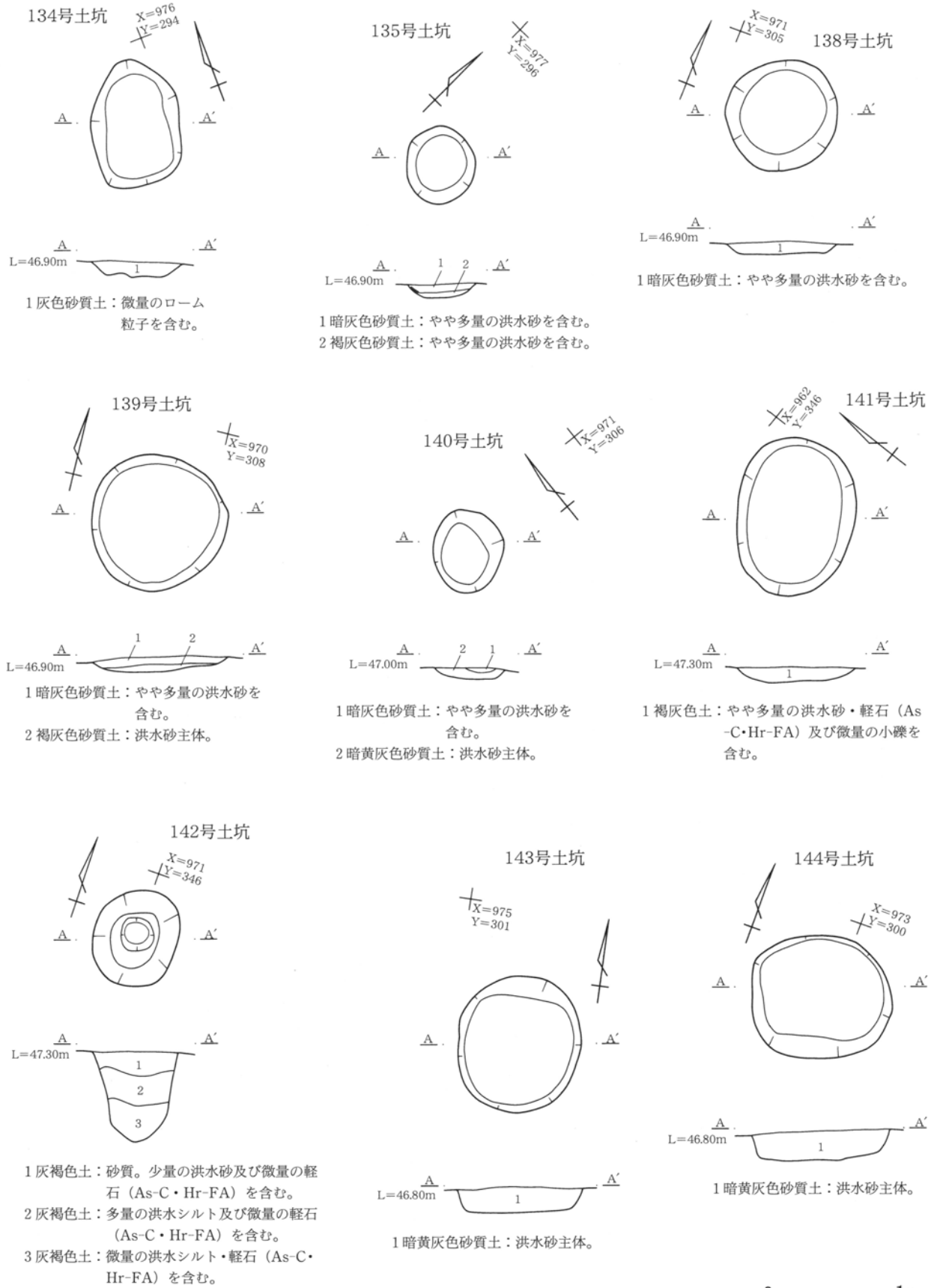


- 1 ロームブロック
- 2 灰褐色土：少量の洪水砂及び微量のローム粒子を含む。
- 3 黄灰色土：洪水砂主体。少量のローム粒子を含む。

0 1m

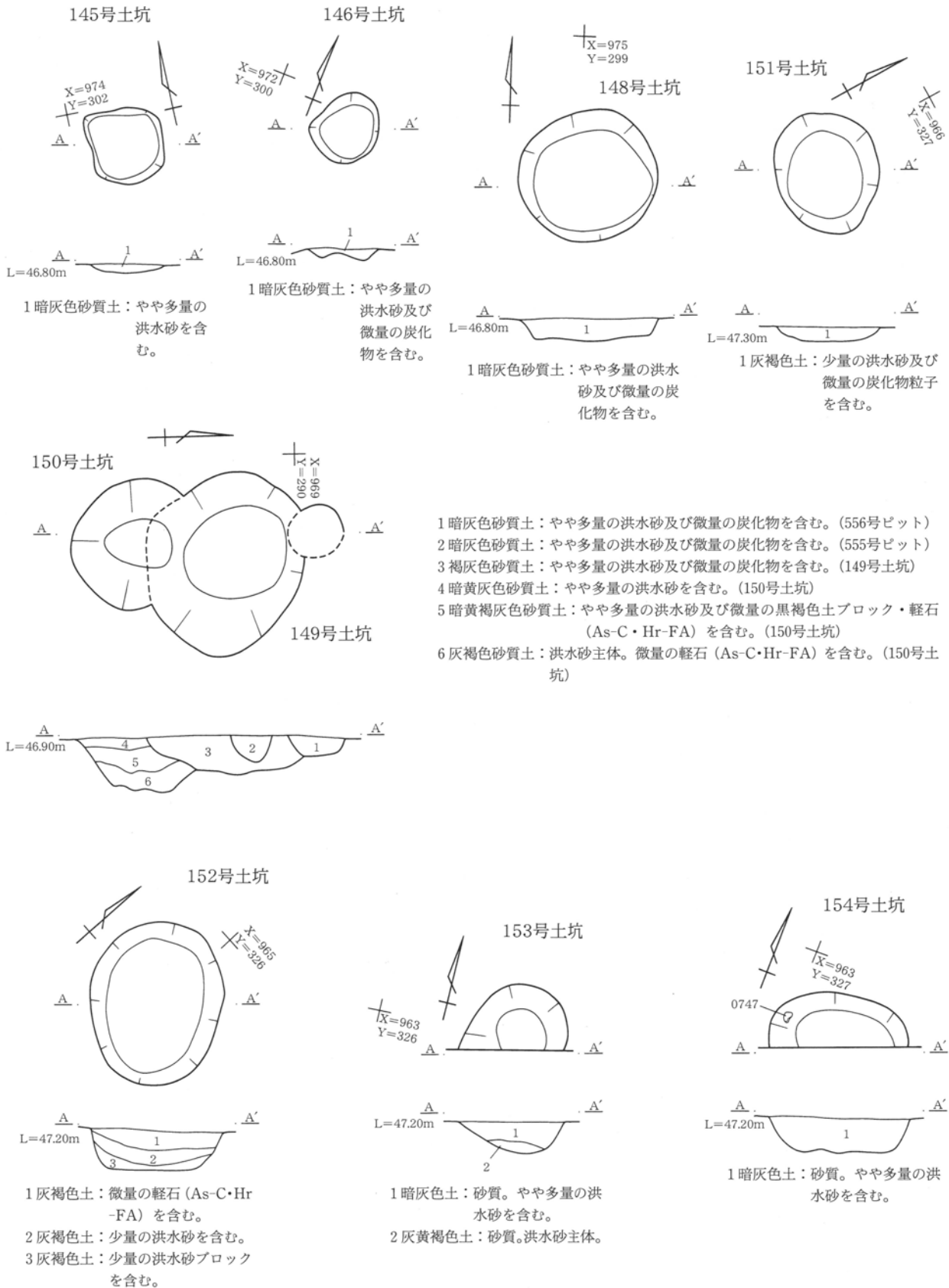
第279図 127・128・129・130・131・132・133号土坑

第II章 発見された遺構・遺物



0 1 m

第280図 134・135・138・139・140・141・142・143・144号土坑

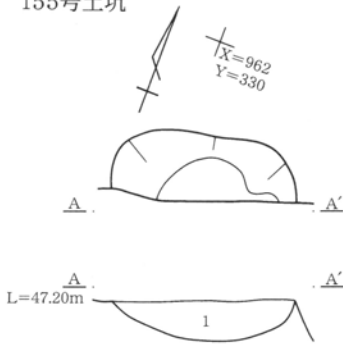


第281図 145・146・148・149・150・151・152・153・154号土坑

0 1 m

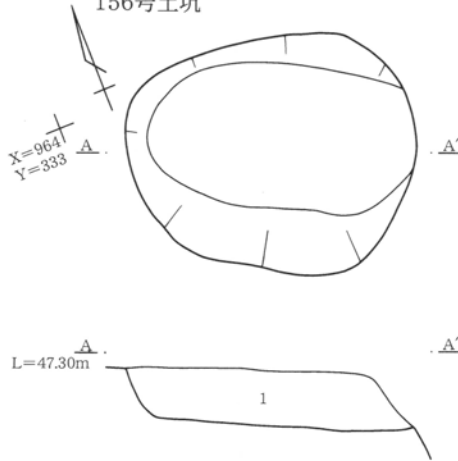
第II章 発見された遺構・遺物

155号土坑



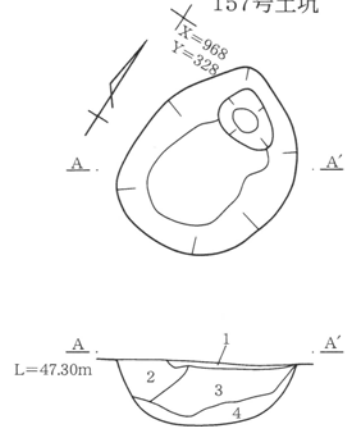
1 暗灰色土：砂質。やや多量の洪水砂を含む。

156号土坑



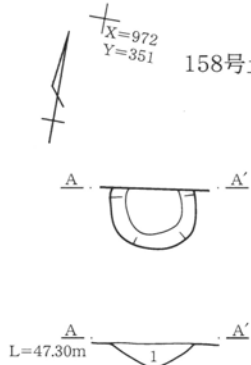
1 暗灰色土：砂質。やや多量の洪水砂、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の小礫を含む。

157号土坑



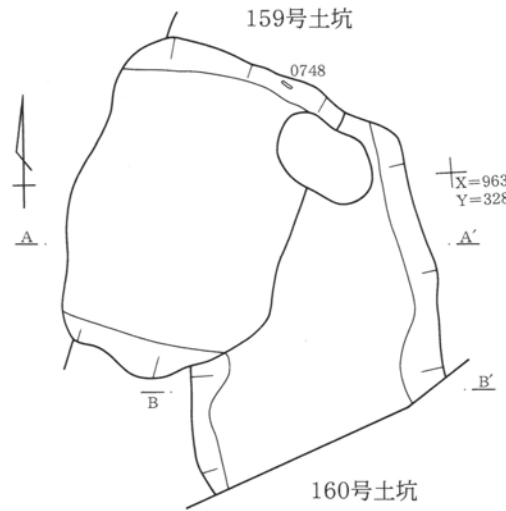
1 暗褐色土：軽石 (As-B) を含む。
 2 暗灰色土：砂質。洪水砂主体。微量の炭化物粒子を含む。
 3 灰褐色土：砂質。やや多量の洪水砂及び微量の炭化物粒子を含む。
 4 灰褐色土：砂質。やや多量の洪水砂を含む。

158号土坑

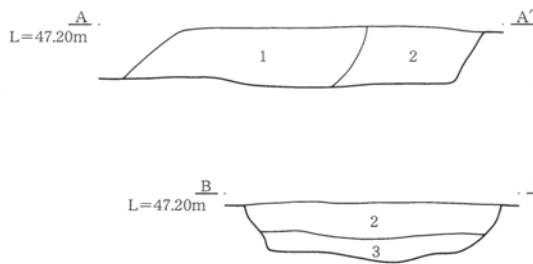


1 暗灰色土：砂質。少量の洪水砂・焼土粒子・炭化物粒子を含む。

159号土坑

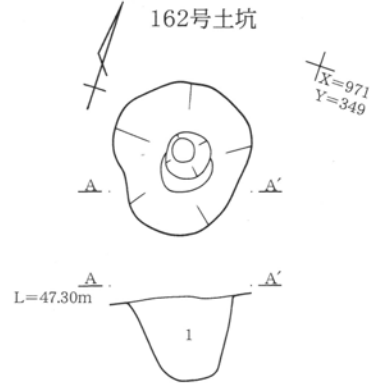


160号土坑



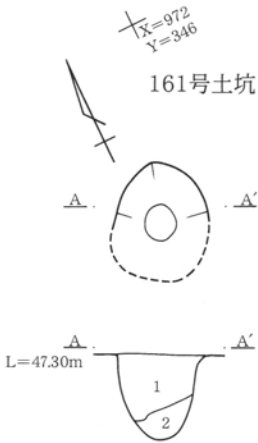
1 褐色土：砂質。洪水砂主体。(159号土坑)
 2 褐色土：砂質。洪水砂主体。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(160号土坑)
 3 褐色土：砂質。やや多量の洪水砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(160号土坑)

162号土坑



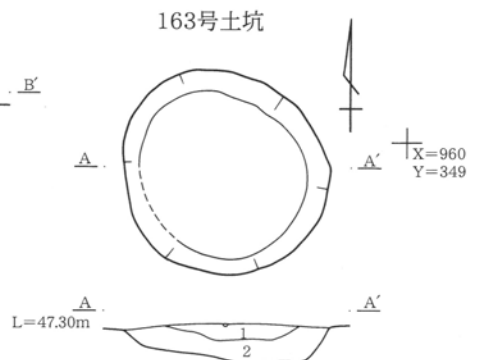
1 褐色土：洪水砂主体。微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

161号土坑



1 褐色土：やや多量の焼土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の洪水砂を含む。
 2 褐色土：やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の洪水砂を含む。

163号土坑



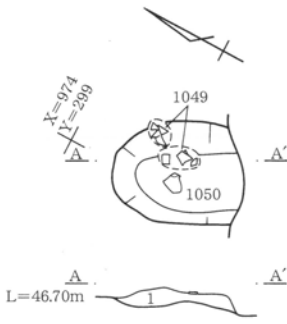
1 灰褐色土：多量の焼土粒子及び微量の黒褐色土ブロックを含む。
 2 褐色土：少量の黒褐色土粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

0 1 m

第282図 155・156・157・158・159・160・161・162・163号土坑

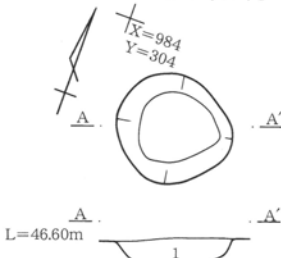
第5節 土坑

164号土坑



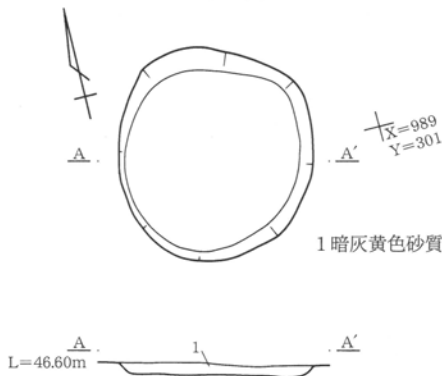
1 灰褐色土：少量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。

167号土坑



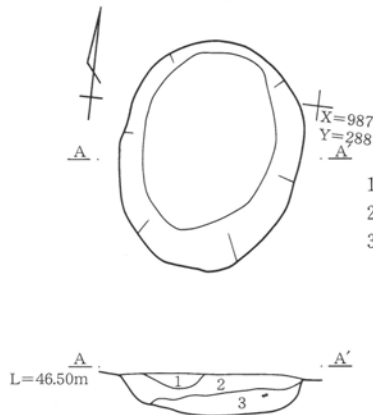
1 灰黄色砂質土：洪水砂主体。

169号土坑



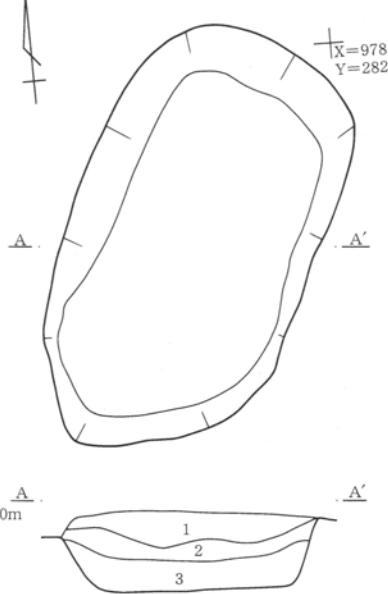
1 暗灰黄色砂質土：洪水砂主体。微量の炭化物粒子を含む。

171号土坑



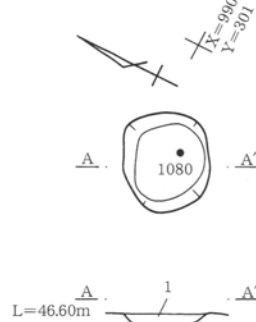
1 褐色砂質土：多量の黒色土ブロックを含む。
2 褐色土：少量の黒色土ブロックを含む。
3 褐色土：やや粘質。

165号土坑



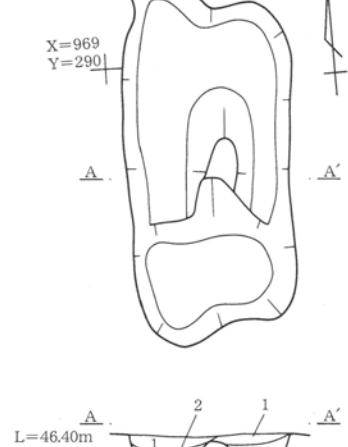
1 褐色土：砂質。少量の洪水砂・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 褐色土：少量の洪水シルト土及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
3 褐色土：少量の洪水シルト質土及び微量の黒褐色土粒子・ローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

170号土坑



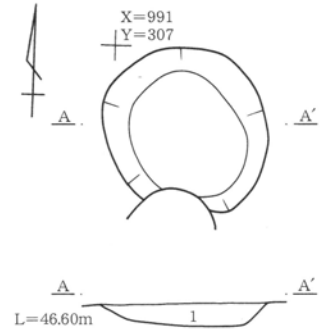
1 灰褐色土：やや多量の焼土粒子及び微量の炭化物粒子を含む。

166号土坑



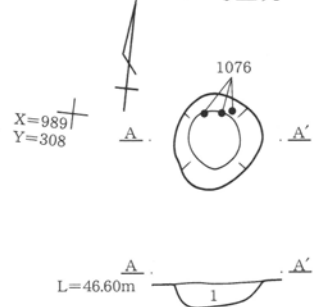
1 褐色土：洪水砂主体。少量の2層ブロックを含む。
2 褐色土：少量のローム粒子・洪水砂ブロックを含む。

168号土坑



1 暗灰黄色砂質土：洪水砂主体。少量の小礫を含む。

172号土坑

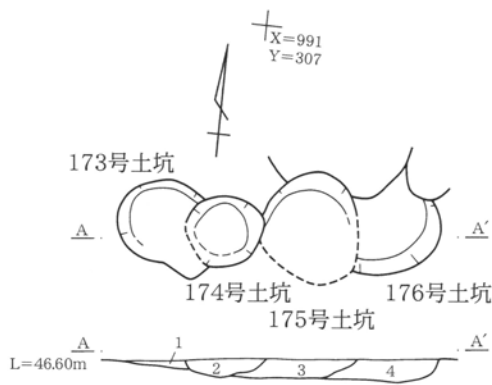


1 暗灰黄色砂質土：洪水砂主体。やや多量の小礫を含む。

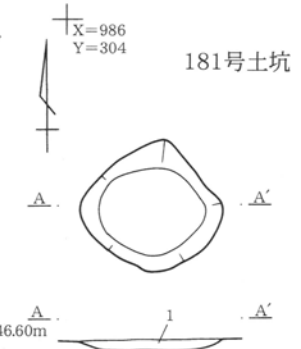
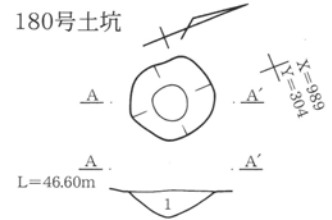


第283図 164・165・166・167・168・169・170・171・172号土坑

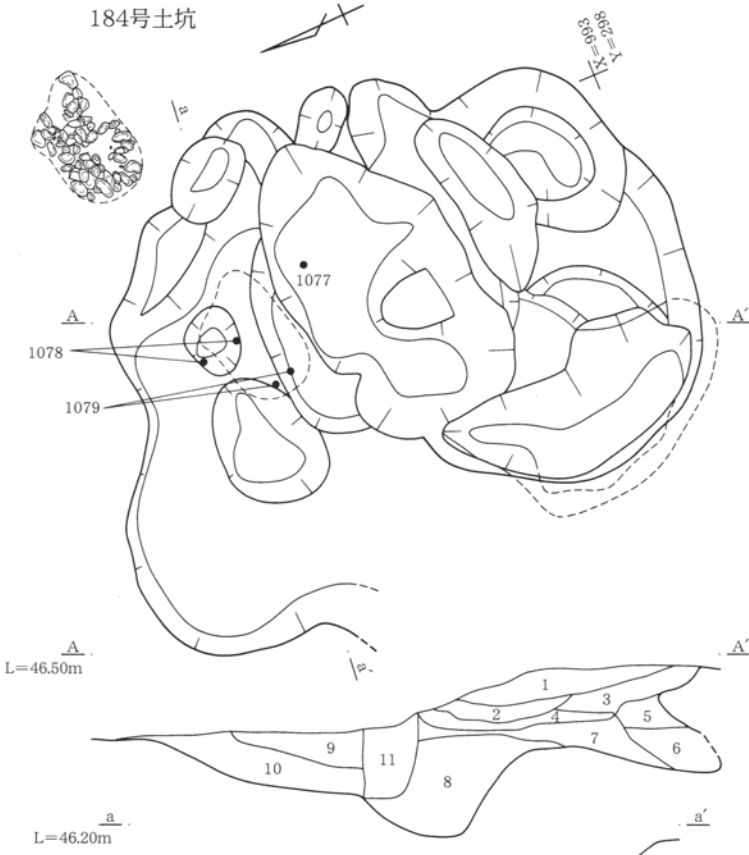
第II章 発見された遺構・遺物



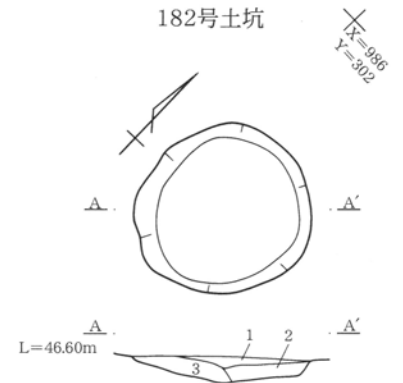
- 1 灰褐色砂質土：やや多量の焼土粒子及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(173号土坑)
- 2 灰褐色土：少量の焼土粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(174号土坑)
- 3 暗褐色土：少量の炭化物粒子・少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(175号土坑)
- 4 暗褐色土：微量の炭化物粒子及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(176号土坑)



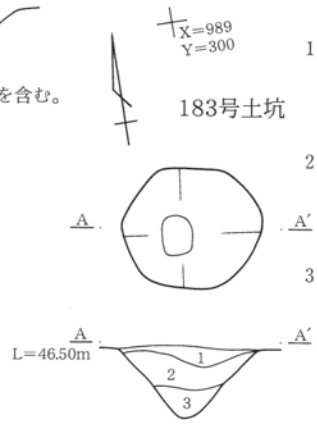
- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



- 1 褐灰色土：やや多量の洪水砂及び少量の炭化物・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 褐灰色土：少量の洪水砂及びやや多量の炭化物を含む。
- 3 褐灰色土：少量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。
- 4 褐灰色土：少量の洪水砂・ローム粒子及び微量の炭化物を含む。
- 5 褐灰色土：やや多量の洪水砂及び少量の暗褐色土を含む。
- 6 暗褐色土：洪水砂が層状に堆積。
- 7 暗褐色土：少量のロームブロック及び微量の炭化物を含む。
- 8 灰黄色土：ローム主体。やや多量の砂ブロックを含む。
- 9 褐灰色土：洪水砂主体。微量の炭化物を含む。
- 10 褐灰色土：多量の洪水砂及び少量のロームブロックを含む。
- 11 攪乱



- 1 褐灰色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 褐灰色土：微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 暗褐色土：微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

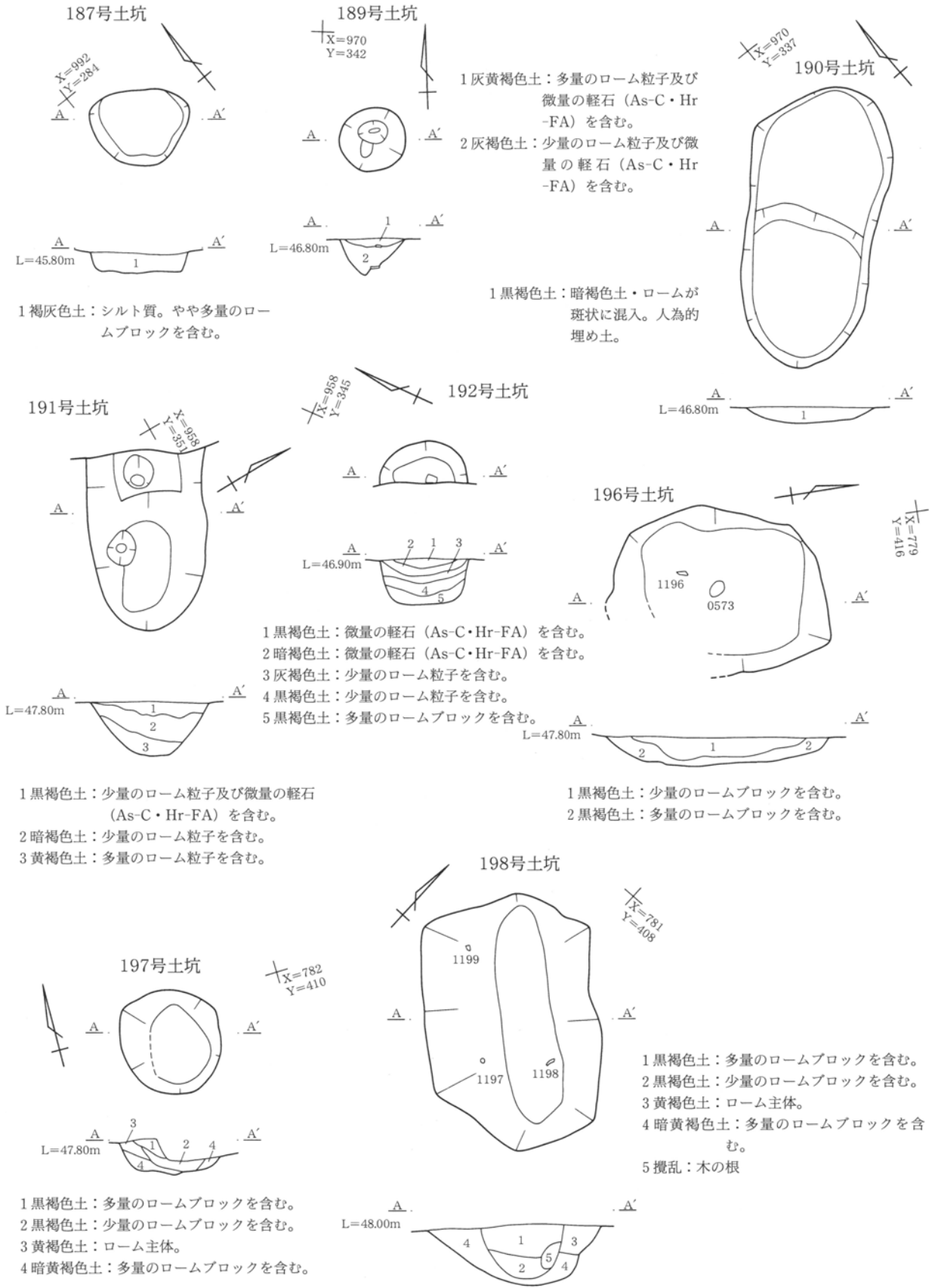


- 1 褐灰色土：少量の灰色粘質土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：少量のロームブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 暗褐色土：やや多量のロームブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



第284図 173・174・175・176・180・181・182・183・184号土坑

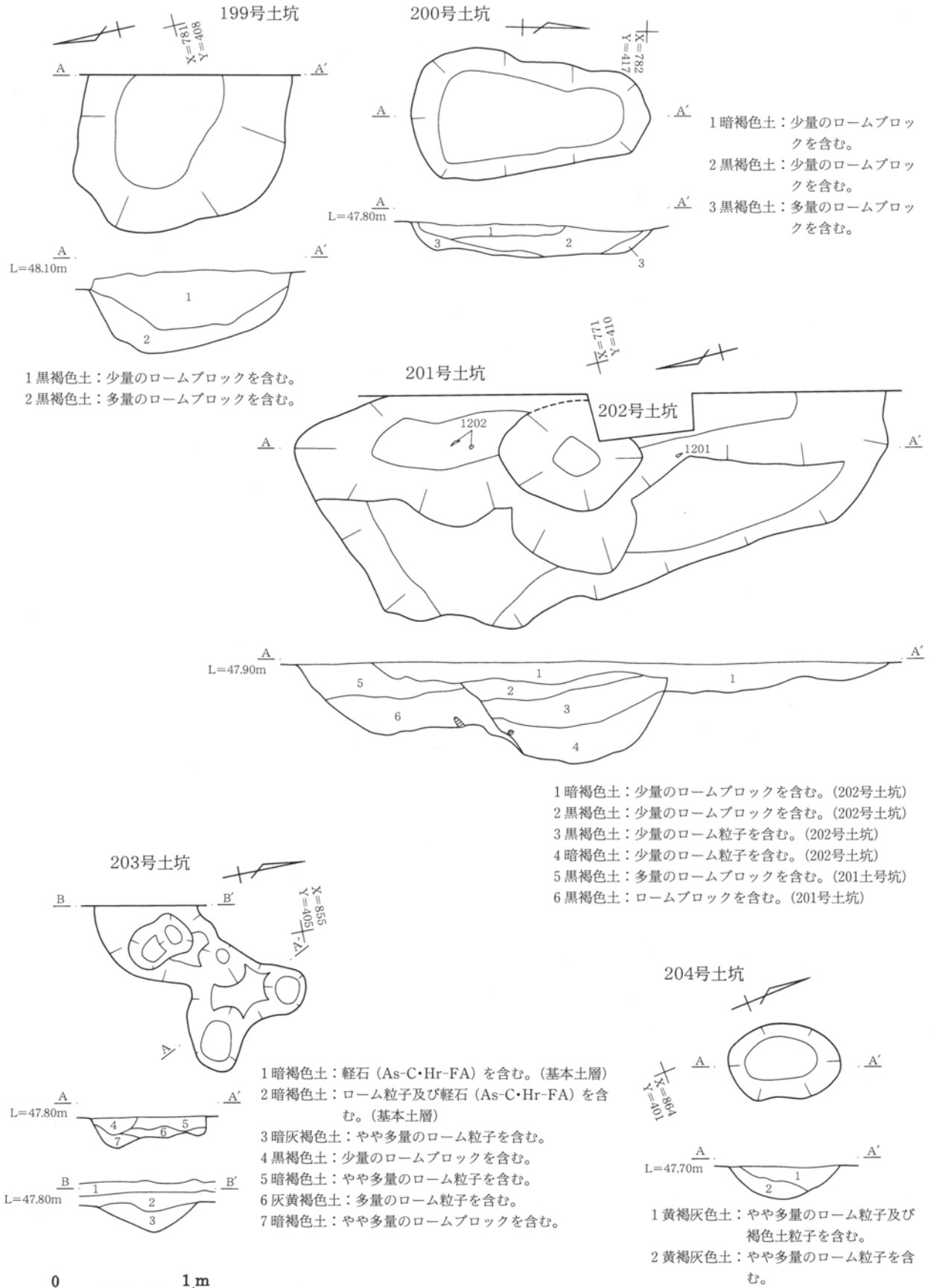
第5節 土坑



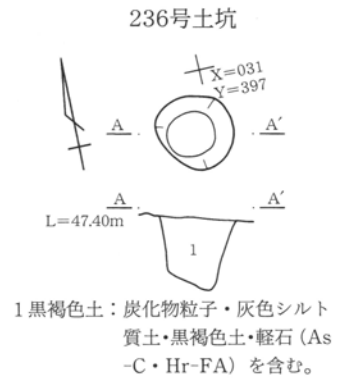
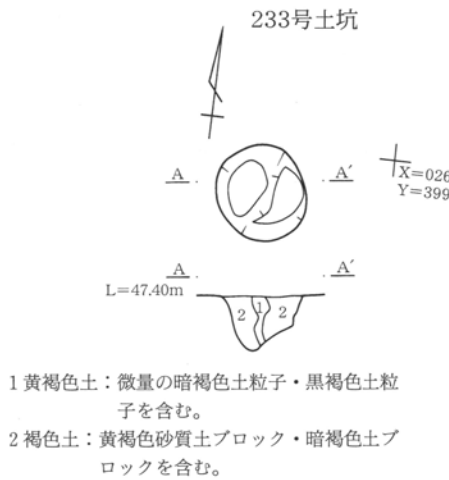
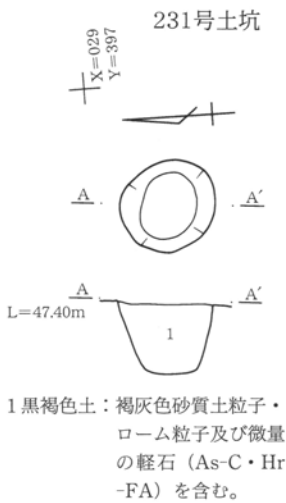
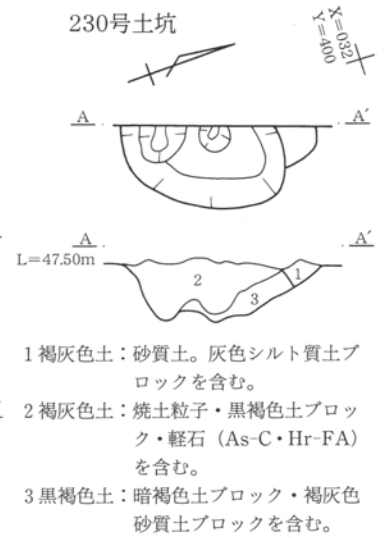
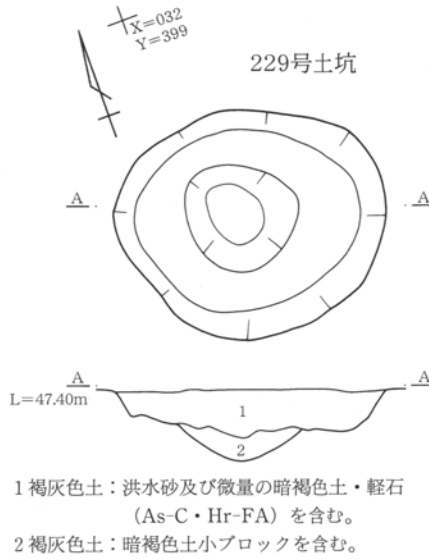
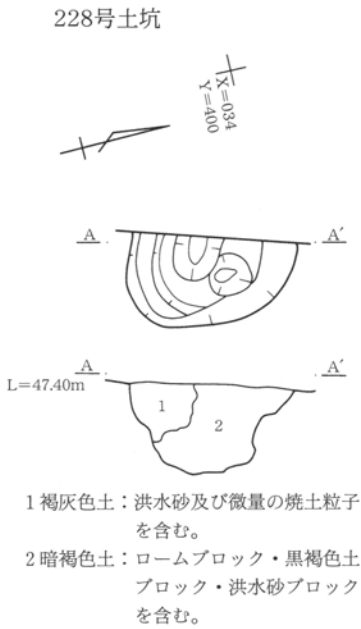
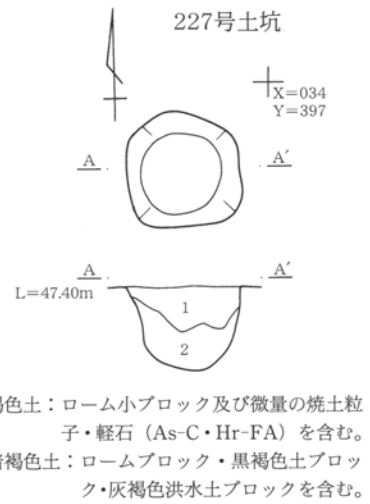
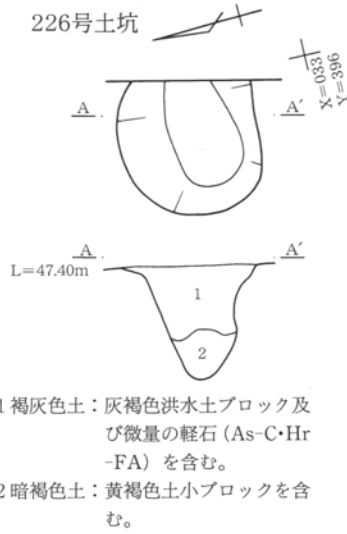
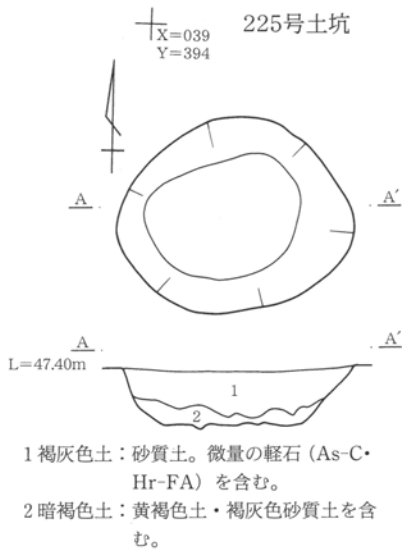
第285図 187・189・190・191・192・196・197・198号土坑

0 1m

第II章 発見された遺構・遺物



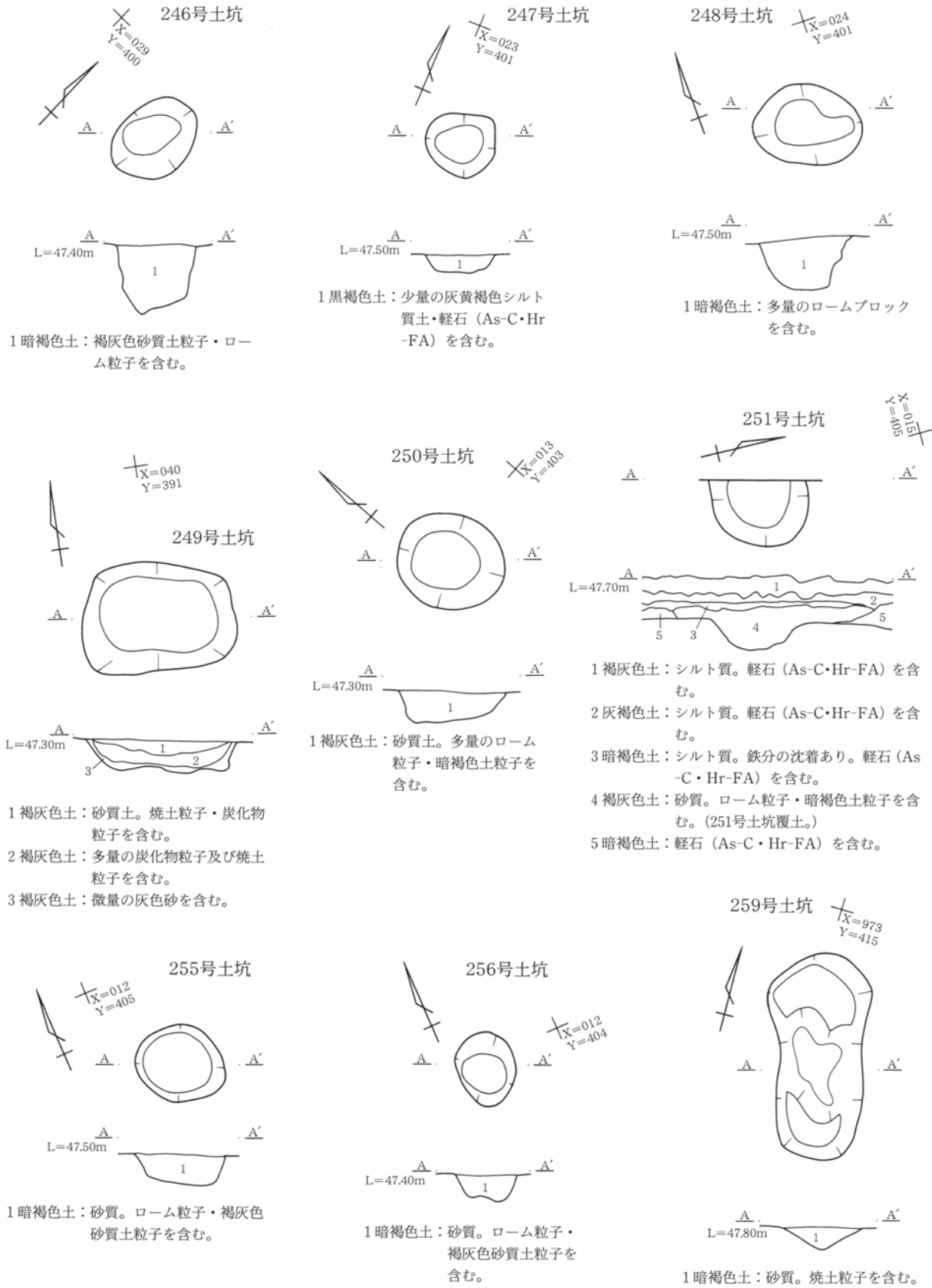
第286図 199・200・201・202・203・204号土坑



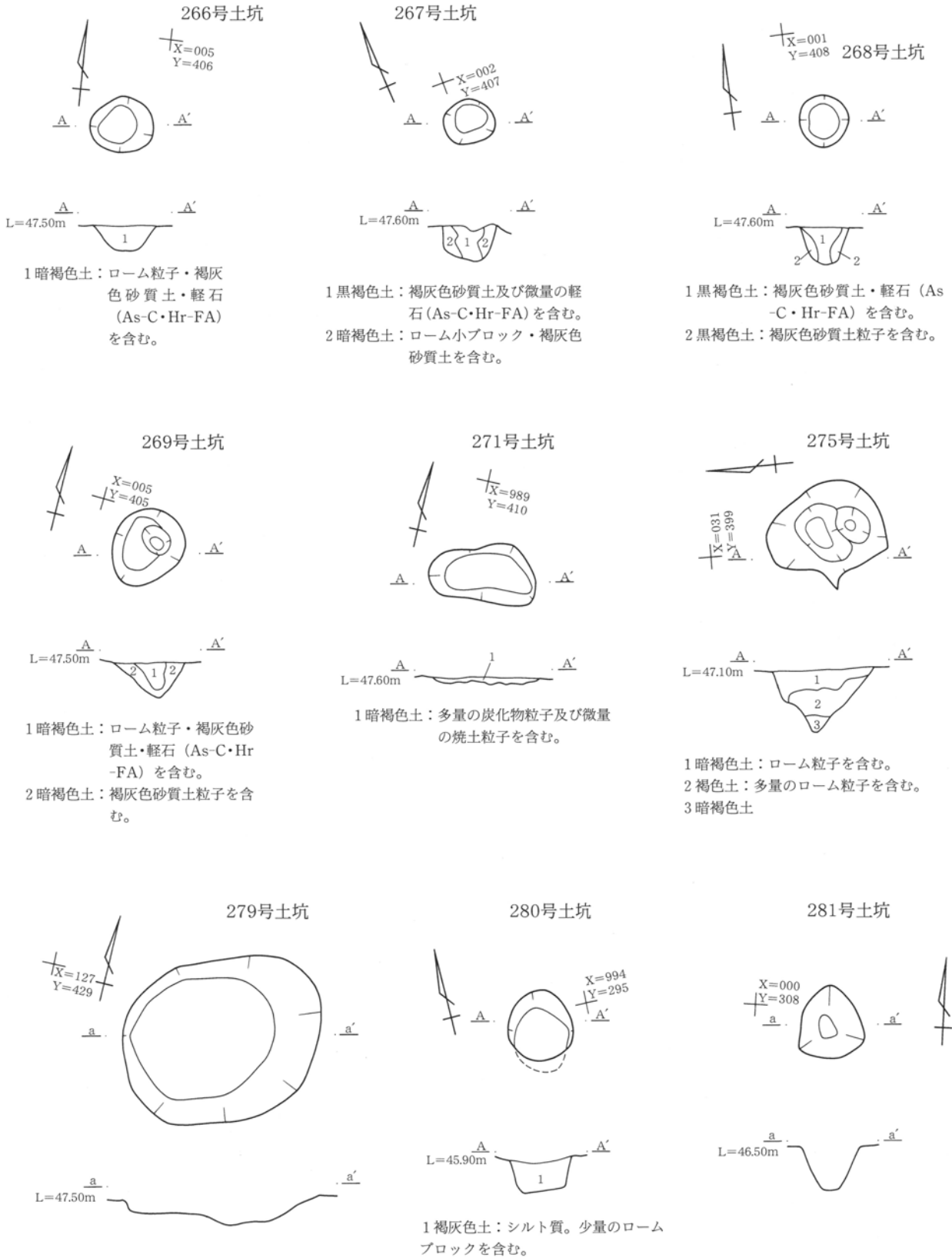
0 1m

第287図 225・226・227・228・229・230・231・233・236号土坑

第II章 発見された遺構・遺物



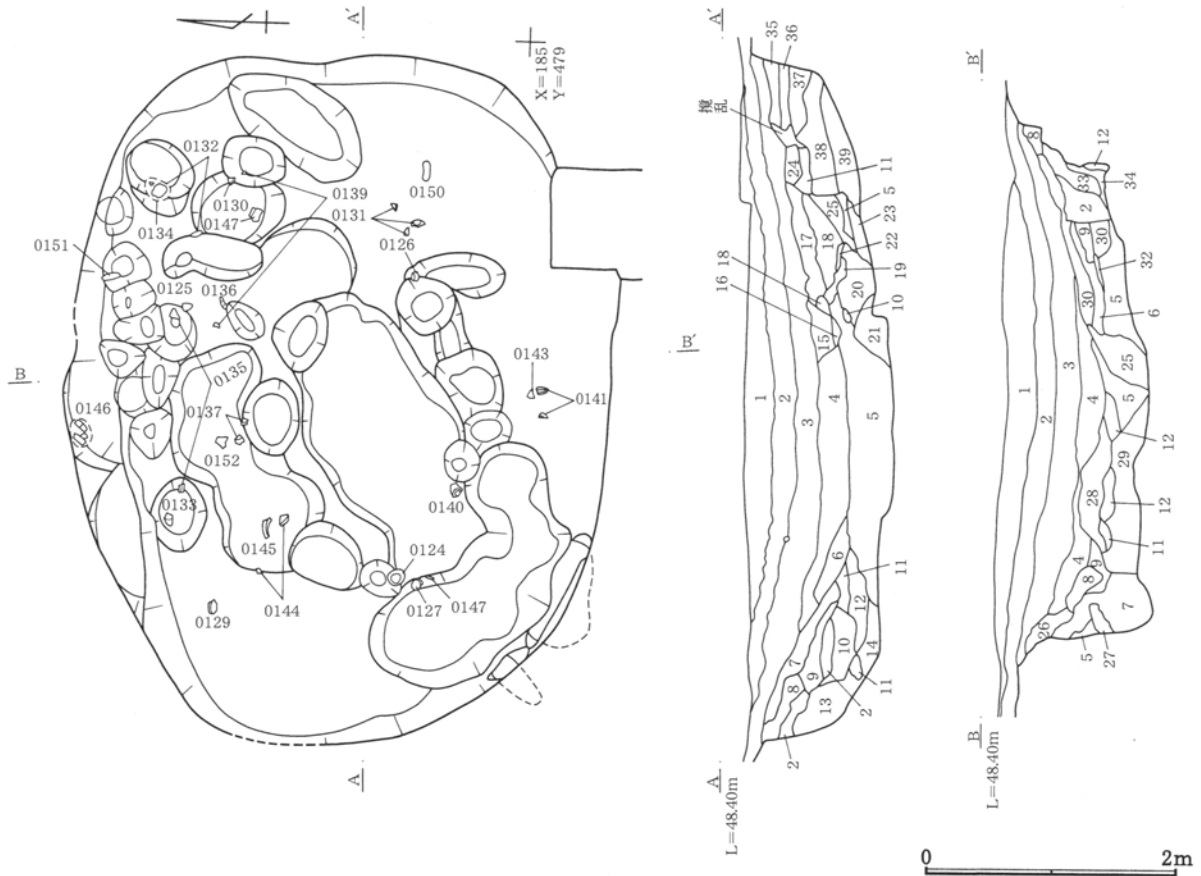
第288図 246・247・248・249・250・251・255・256・259号土坑



0 1 m

第289図 266・267・268・269・271・275・279・280・281号土坑

283号土坑

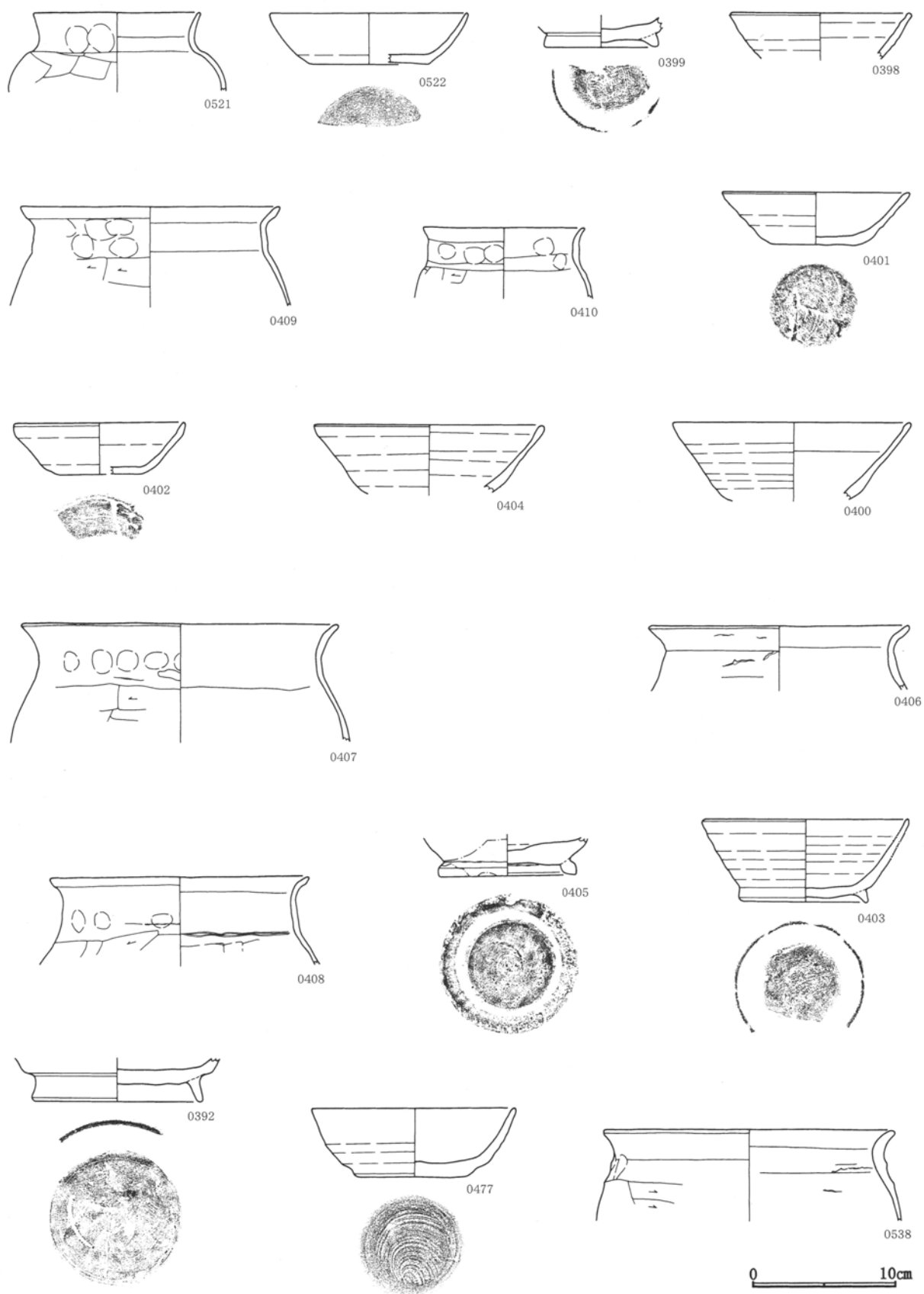


- 1 As-B層
- 2 黒褐色土主体。軽石 (Hr-FA・As-C) を含みやや汚れている。
- 3 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。炭化物・焼土を含み汚れている。
- 4 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。ロームブロックを含み汚れている。
- 5 にぶい黄褐色土 (ローム層) 主体。汚れている。
- 6 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。ロームを含み汚れている。
- 7 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。やや汚れている。
- 8 暗灰黄色洪水層主体。やや汚れている。
- 9 暗灰黄色洪水層主体。汚れている。
- 10 褐色土：ローム漸移層主体。やや汚れている。
- 11 褐色土：ローム漸移層主体。汚れている。
- 12 暗灰黄色土：洪水層主体。汚れている。
- 13 地山ローム・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・黒褐色土・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土の混合。汚れている。
- 14 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土主体。やや汚れている。
- 15 ローム漸移層主体。ローム粒子を含む。
- 16 ローム漸移層主体。ロームを含む。汚れている。
- 17 暗灰黄色土 (洪水層)・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・黒褐色土の混合。ローム粒子を含む。
- 18 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土の混合。汚れている。
- 19 暗灰黄色土 (洪水層)・ローム漸移層の混合。ローム粒子を含む。

- 20 ローム主体：ローム漸移層・黒褐色土・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土・炭化物粒子を含む。
- 21 暗灰黄色土 (洪水層)：ロームブロックを含む。
- 22 暗灰黄色土 (洪水層)とローム漸移層の混合。
- 23 ローム主体。やや汚れている。
- 24 黒褐色土と軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土混合。汚れている。
- 25 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色土 (洪水層)。暗灰黄色土 (洪水層) が縞状に入る。
- 26 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。暗灰黄色洪水層の量やや多く、やや汚れている。
- 27 ローム主体：地山ロームが崩れたもの。汚れている。
- 28 ローム・ローム漸移層・黒褐色土・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土 (洪水層) の混合。
- 29 黒褐色土：ロームを縞状に含む。
- 30 黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。やや汚れている。
- 31 黒褐色土・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土 (洪水層) の混合。やや汚れている。
- 32 ロームと暗灰黄色洪水層の混合。炭化物粒子を含み、やや汚れている。
- 33 黒褐色土
- 34 黒褐色土：ロームブロックを含み、やや汚れている。
- 35 暗灰黄色土 (洪水層)：地山。やや汚れている。
- 36 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土：地山。
- 37 黒褐色土：地山。
- 38 ローム漸移層：地山。
- 39 ローム：地山。

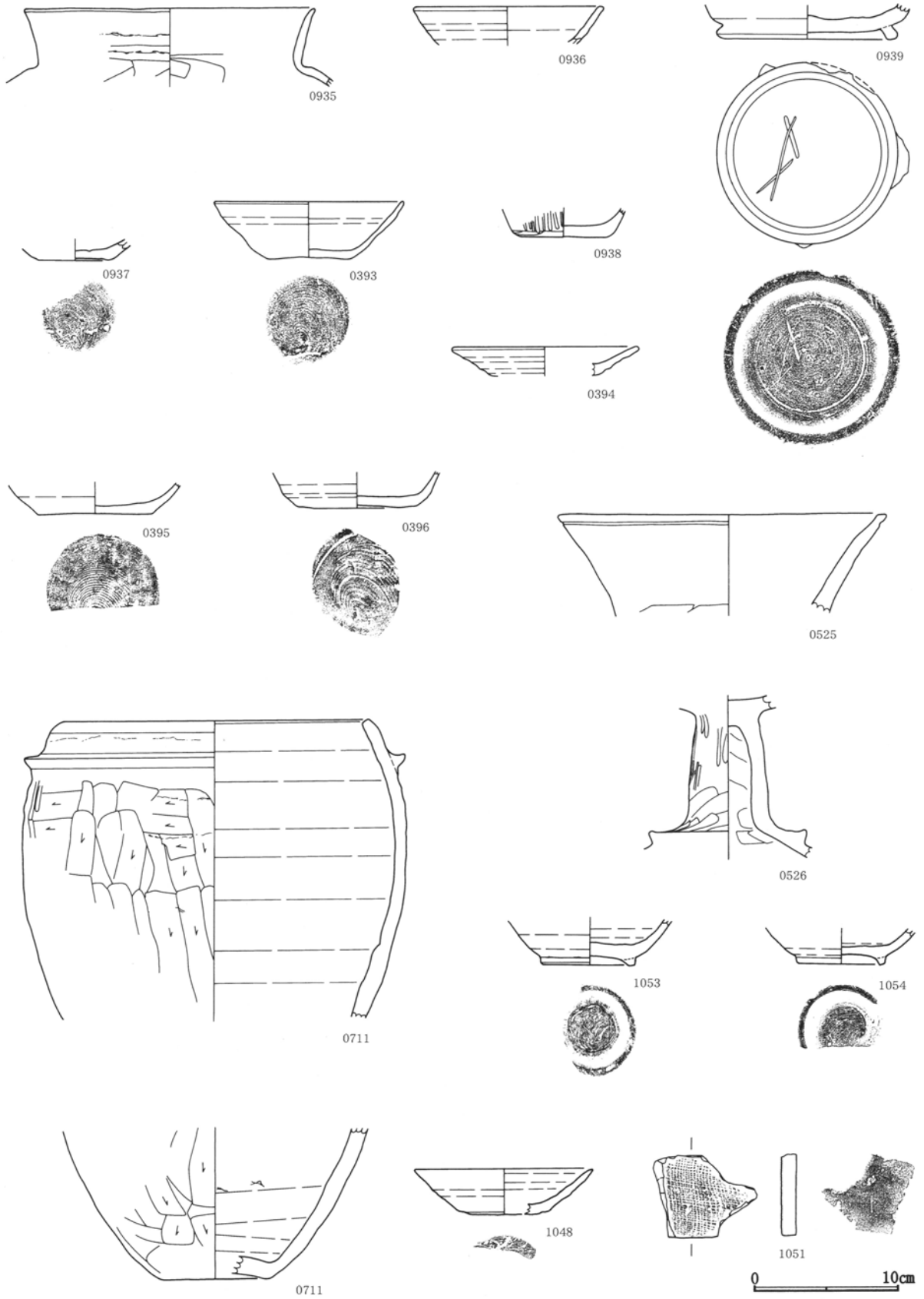
第290図 283号土坑

第5節 土 坑



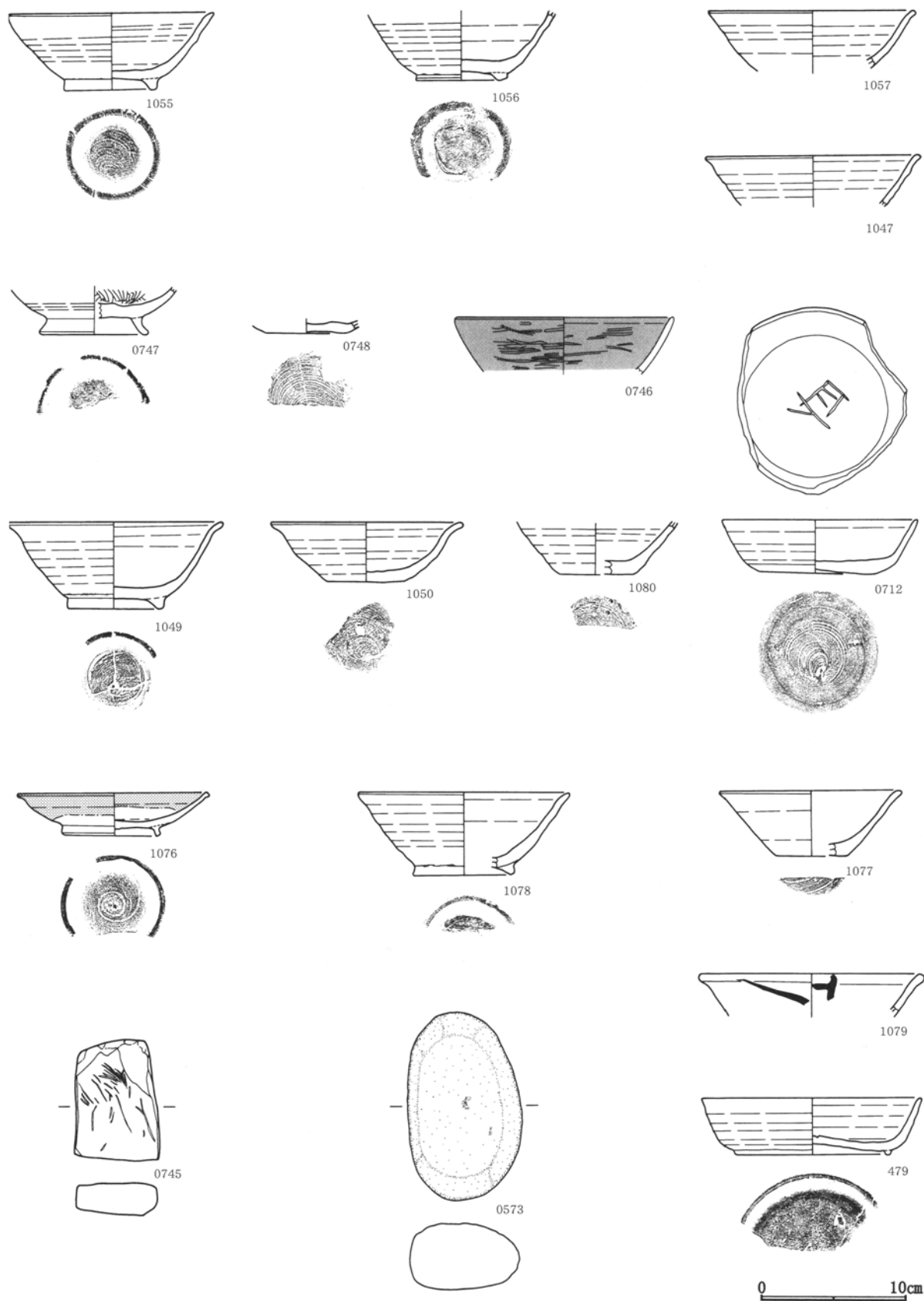
第291図 2・7・10・28・29・30・31・32・33・34・35・36・37・38・39・40・41・42・
44・74号土坑出土遺物

第II章 発見された遺構・遺物

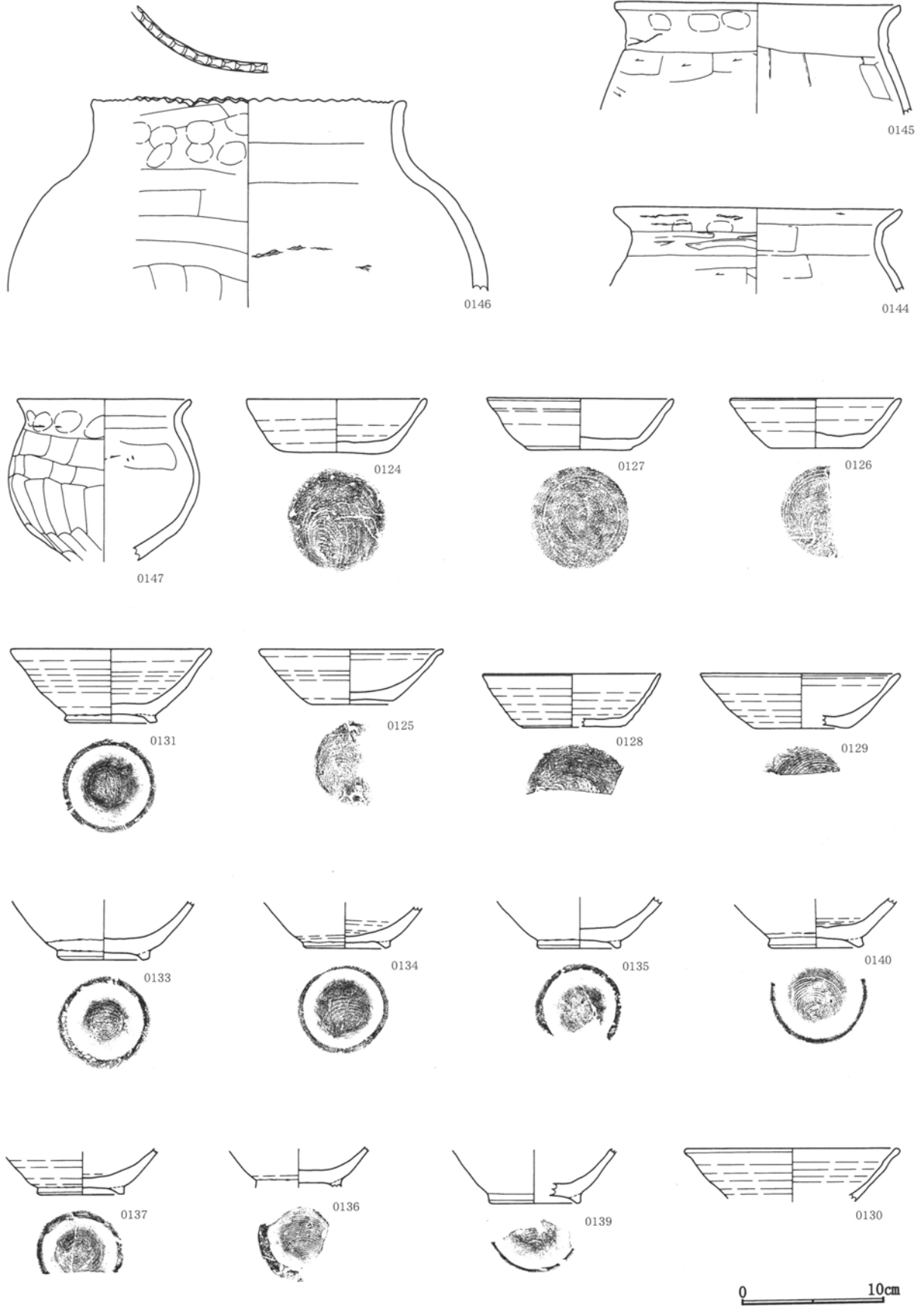


第292図 86・89・96・104・105・111・115・121・122・125・126号土坑出土遺物

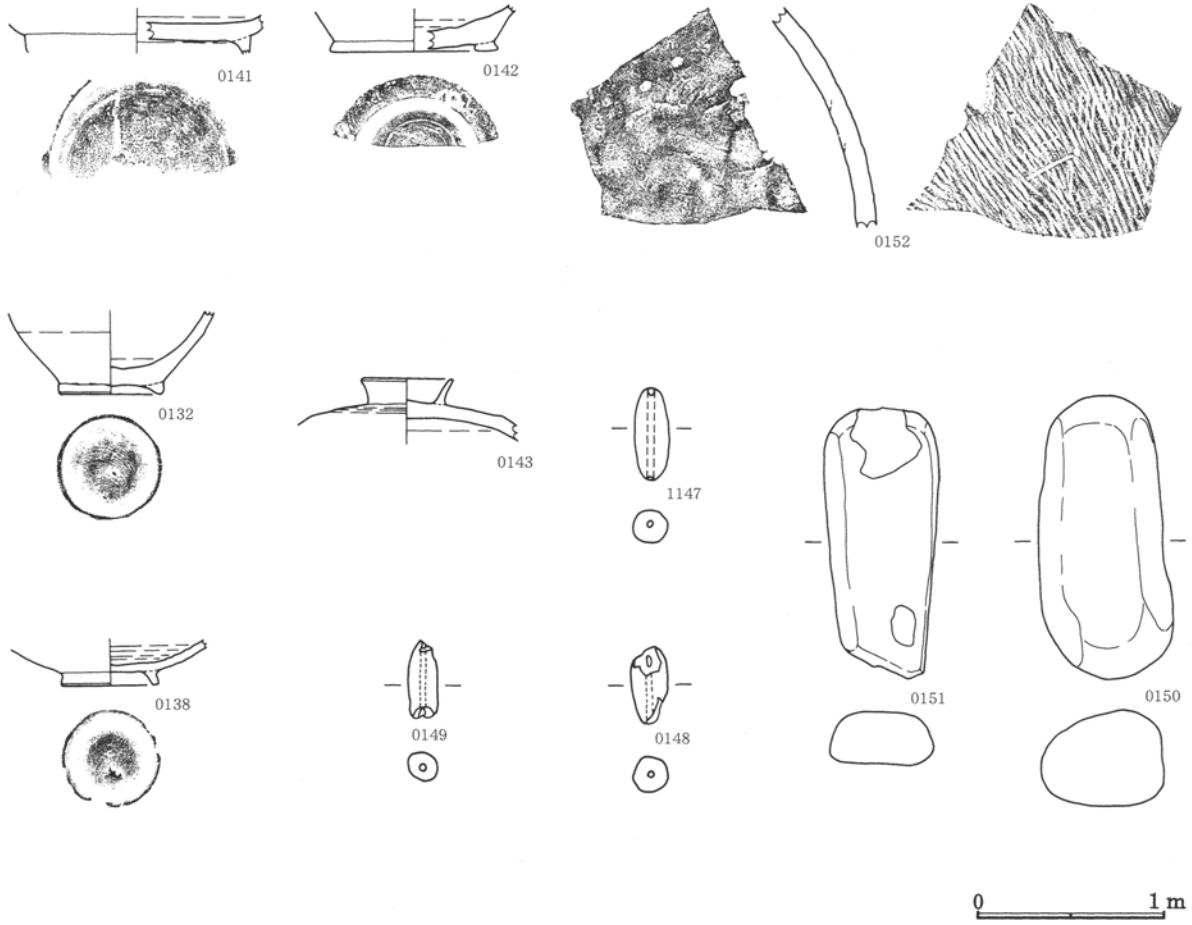
第5節 土坑



第293图 130・134・154・159・161・162・164・170・172・184・192・196・267号土坑出土遺物



第294図 283号土坑出土遺物(1)



第295図 283号土坑出土遺物(2)

第6節 ピット

東今泉鹿島遺跡からピットは、518基検出された。その分布は、偏りはなく、1区～6区・16区～22区の遺跡全体から検出されている。

そのうち、179号ピットからは、縄文時代の石鏃(1171)、このピット覆土には軽石(As-C・Hr-FA)が含まれており、古代(6世紀後半)以後のピットであり、縄文時代のピットではない。確実に縄文時代のピットと考えられる遺構はない。

その他のピットは、覆土に軽石(As-C・Hr-FA)が含まれるもの、軽石(As-C)が含まれるもの、軽石等が含まれず洪水土やロームで埋まったものがある。

軽石(As-C)が覆土に含まれるものは、4世紀以後の土坑であり、17区・18区から4世紀後半代の住居跡が検出されていることから、ほぼ同時期のピットと推定している。

と推定している。

軽石(As-C・Hr-FA)が含まれているものは、古代(6世紀後半)以後のピットであり、本遺跡の集落の本体をなす住居跡の時代が8世紀～10世紀前半であることから、ほぼ同時期のピットと推定している。この時期のピットの覆土には、焼土や炭化物を含むものが多くあり、周辺の集落のあり方に関係している可能性がある。352号ピットからは、大型の須恵器椀(523)、須恵器蓋(524)が出土しており、埋納したものと推定している。

覆土中に軽石を含まないものは、その時期の推定が困難であるが、覆土に洪水土やロームが含まれているピットが多く、集落の時期に近いものが多いと考えている。以下、東今泉鹿島遺跡検出のピットは、ピット一覧に示す。

第4表 ピット一覧

| ピット番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-------|----|-----------------------|------|-------|----------------------|------|--------|
| 001 | 4 | X=36.094 Y=-39.375 | | 楕円形 | 50×45×50 | | |
| 002 | 4 | X=36.095 Y=-39.377 | | 楕円形 | 55×40×58 | | |
| 003 | 4 | X=36.096 Y=-39.376 | | 不整楕円形 | 53×47×43 | | |
| 004 | 4 | X=36.098 Y=-39.378 | | 不整長方形 | 50×37×45 | | |
| 005 | 4 | X=36.098 Y=-39.379 | | 不整楕円形 | 50×40×52 | | |
| 006 | 4 | X=36.097 Y=-39.381 | | 不整楕円形 | 60×53×47 | | |
| 007 | 4 | X=36.095 Y=-39.391 | | 不定形 | 39×36×65 | | |
| 008 | 4 | X=36.093 Y=-39.392 | | 不整楕円形 | 40×33×34 | | |
| 009 | 4 | X=36.092 Y=-39.393 | | 不整楕円形 | 34×30×46 | | |
| 010 | 4 | X=36.107 Y=-39.383 | | 不整円形 | 30×45 | | |
| 011 | 4 | X=36.126 Y=-39.350 | | 不定形 | 72×60×50 | | |
| 012 | 4 | X=36.118 Y=-39.371 | | 不整楕円形 | 47×33×45 | | |
| 013 | 4 | X=36.119 Y=-39.372 | | 不整楕円形 | 36×32×43 | | |

第6節 ピット

| ピット番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-------|----|-----------------------|-----------|---------|----------------------|----------------------|-----------|
| 014 | 4 | X=36.124 Y=-39.376 | | 不整楕円形 | 37×34×46 | | |
| 015 | 4 | X=36.117 Y=-39.380 | | 不整楕円形 | 50×45×51 | 土師器小破片 3 | 古代以後。 |
| 017 | 4 | X=36.126 Y=-39.409 | | 不整楕円形 | 53×46×60 | | |
| 018 | 4 | X=36.125 Y=-39.408 | | 不整円形 | 31×31 | | |
| 019 | 4 | X=36.124 Y=-39.408 | | 楕円形 | 46×42×41 | | |
| 020 | 4 | X=36.124 Y=-39.409 | | 楕円形 | 28×25×44 | | |
| 021 | 4 | X=36.123 Y=-39.410 | | 不定形 | 43×35×40 | | |
| 022 | 4 | X=36.123 Y=-39.411 | | 楕円形 | 31×25×28 | | |
| 023 | 4 | X=36.121 Y=-39.413 | | 不整隅丸長方形 | 37×26×35 | | |
| 025 | 4 | X=36.119 Y=-39.410 | | 楕円形 | 52×47×63 | 縄文土器破片 2 | |
| 027 | 4 | X=36.110 Y=-39.410 | | 不整隅丸方形 | 36×25 | | |
| 029 | 4 | X=36.118 Y=-39.412 | | 不整隅丸長方形 | 66×46×47 | | 2基のピットの集合 |
| 030 | 4 | X=36.117 Y=-39.412 | | 不整円形 | 37×45 | | |
| 031 | 4 | X=36.118 Y=-39.413 | | 不整円形 | 35×42 | | |
| 034 | 4 | X=36.111 Y=-39.401 | | 不整隅丸長方形 | 49×35×36 | | |
| 035 | 4 | X=36.119 Y=-39.385 | | 不整楕円形 | 46×34×45 | | |
| 036 | 4 | X=36.112 Y=-39.389 | | 不整楕円形 | 38×27×33 | | |
| 037 | 4 | X=36.105 Y=-39.389 | | 不整円形 | 50×35 | | |
| 038 | 4 | X=36.103 Y=-39.389 | | 不整楕円形 | 57×47×30 | | |
| 039 | 5 | X=36.145 Y=-39.401 | | 楕円形 | 45×34×38 | 須恵器甕(378)、土師器・須恵器小破片 | 9世紀以後。 |
| 040 | 5 | X=36.147 Y=-39.401 | | 不整楕円形 | 42×37×34 | | |
| 041 | 5 | X=36.146 Y=-39.403 | | 不整楕円形 | 47×38×41 | | |
| 042 | 5 | X=36.146 Y=-39.403 | | 楕円形 | 47×39×17 | | |
| 043 | 5 | X=36.146 Y=-39.404 | | 不整楕円形 | 36×28×36 | | |
| 044 | 5 | X=36.146 Y=-39.404 | | 楕円形 | 47×37×33 | | |
| 045 | 5 | X=36.148 Y=-39.402 | 46号ピット→不明 | 楕円形 | 49×40×47 | 土師器小破片 6、須恵器小破片 1 | 9世紀以後。 |
| 046 | 5 | X=36.148 Y=-39.402 | 45号ピット→不明 | 不整円形 | 35×20 | | |
| 047 | 5 | X=36.147 Y=-39.407 | | 不整楕円形 | 47×41×32 | 土師器小破片 1 | 古代以後。 |
| 048 | 5 | X=36.148 Y=-39.408 | | 楕円形 | 35×27×37 | | |
| 049 | 5 | X=36.142 Y=-39.408 | | 隅丸長方形 | 43×37×55 | 土師器小破片 2、須恵器小破片 1 | 9世紀以後。 |

第II章 発見された遺構・遺物

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|---------------------|-------|--------------------------|---------------------|------------------|
| 050 | 5 | X=36.142 Y=-39.408 | | 隅丸長方形 | 40×31×52 | | |
| 051 | 5 | X=36.145 Y=-39.396 | | 楕円形 | 35×30×40 | | |
| 052 | 5 | X=36.158 Y=-39.405 | | 不整楕円形 | 43×31×18 | 須恵器小破片 1 | 9世紀以後。2基のピットの集合。 |
| 053 | 5 | X=36.158 Y=-39.407 | | 不定形 | 35×33×22 | | |
| 054 | 5 | X=36.158 Y=-39.409 | | 楕円形 | 37×31×22 | 土師器小破片 2 | 古代以後。 |
| 055 | 5 | X=36.160 Y=-39.409 | | 不整円形 | 38×18 | | |
| 056 | 5 | X=36.160 Y=-39.405 | | 楕円形 | 42×29×31 | 土師器小破片 1 | 古代以後。2基のピットの集合。 |
| 057 | 5 | X=36.162 Y=-39.400 | | 不整楕円形 | 95×66×39 | 土師器小破片 2、須恵器小破片 3 | 9世紀以後。2基のピットの集合。 |
| 058 | 5 | X=36.160 Y=-39.398 | | 楕円形 | 60×35×26 | | |
| 059 | 5 | X=36.164 Y=-39.400 | | 不整楕円形 | 76×67×8 | 須恵器杯 (375)、土師器小破片 1 | 9世紀以後。 |
| 060 | 5 | X=36.164 Y=-39.396 | | 不整楕円形 | 58×48×32 | 須恵器杯 (376)、須恵器小破片 2 | 9世紀以後。 |
| 061 | 5 | X=36.138 Y=-39.411 | | 楕円形 | 35×30×38 | | |
| 062 | 5 | X=36.136 Y=-39.416 | | 楕円形 | 32×20×29 | | |
| 063 | 5 | X=36.136 Y=-39.418 | 64号ピット→不明 | 不整楕円形 | (25)×20×35 | | |
| 064 | 5 | X=36.136 Y=-39.418 | 63号ピット→不明 | 不整楕円形 | (35)×33×40 | | |
| 065 | 5 | X=36.138 Y=-39.417 | | 隅丸方形 | 25×30 | | |
| 066 | 5 | X=36.139 Y=-39.417 | | 隅丸長方形 | 37×30×28 | | |
| 067 | 5 | X=36.139 Y=-39.419 | | 円形 | 24×26 | | |
| 069 | 5 | X=36.140 Y=-39.421 | | 円形 | 61×44 | 土師器小破片 1 | 古代以後。 |
| 071 | 5 | X=36.142 Y=-39.422 | | 楕円形 | 53×35×18 | 土師器小破片 1 | 古代以後。 |
| 073 | 5 | X=36.144 Y=-39.420 | | 不整楕円形 | 85×53×19 | | 2基のピットの集合。 |
| 074 | 5 | X=36.143 Y=-39.419 | | 楕円形 | 41×28×48 | 土師器小破片 1、須恵器小破片 1 | 9世紀以後。 |
| 075 | 5 | X=36.141 Y=-39.416 | 76号ピット→不明 | 楕円形 | 31×28×34 | | |
| 076 | 5 | X=36.141 Y=-39.416 | 75号ピット→不明・77号ピット→不明 | 楕円形 | 52×45×22 | | |
| 077 | 5 | X=36.141 Y=-39.416 | 76号ピット→不明 | 隅丸長方形 | 43×32×20 | | |
| 078 | 5 | X=36.145 Y=-39.416 | | 不定形 | 56×45×28 | 須恵器小破片 1 | 9世紀以後。2基のピットの集合。 |
| 079 | 5 | X=36.142 Y=-39.414 | | 不整三角形 | 60×43×39 | | 3基のピットの集合。 |
| 080 | 4 | X=36.117 Y=-39.408 | | 不整楕円形 | 85×53×27 | | |
| 083 | 5 | X=36.143 Y=-39.418 | | 不整楕円形 | 70×48×54 | | 2基のピットの集合。 |
| 084 | 5 | X=36.147 Y=-39.401 | | 不整楕円形 | 55×53×67 | 土師器小破片 3、須恵器小破片 1 | 9世紀以後。2基のピットの集合。 |

第6節 ピット

| ピット番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-------|----|-----------------------|-----------------|--------|----------------------|----------------------------|------------------------------|
| 085 | 5 | X=36.148 Y=-39.405 | | 不整楕円形 | 87×43×14 | | |
| 086 | 3 | X=35.994 Y=-39.398 | | 隅丸方形 | 35×52 | | 2基のピットの集合。 焼土粒子・炭化物を含む。 |
| 087 | 3 | X=35.992 Y=-39.398 | | 不整楕円形 | 40×29×32 | | 古代以後。焼土粒子を含む。 |
| 088 | 3 | X=35.991 Y=-39.398 | | 楕円形 | 45×34×29 | | 古代以後。焼土粒子を含む。 |
| 089 | 3 | X=35.992 Y=-39.401 | | 隅丸方形 | 38×33 | 土師器小破片1、須恵器小破片1 | 9世紀以後。焼土粒子を含む。 |
| 090 | 3 | X=35.995 Y=-39.402 | | 不整楕円形 | 47×39×37 | 土師器小破片4 | 焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。 |
| 091 | 3 | X=35.996 Y=-39.402 | | 不整円形 | 47×26 | 土師器・須恵器小破片少量 | 焼土粒子を含む。9世紀以後。 |
| 092 | 3 | X=35.997 Y=-39.402 | | 楕円形 | 54×43×23 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 094 | 3 | X=35.986 Y=-39.405 | | 不整楕円形 | 59×55×61 | 土師器・須恵器小破片少量 | 焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。 |
| 095 | 3 | X=35.986 Y=-39.405 | | 不整楕円形 | 57×47×32 | 土師器小破片3、須恵器小破片1 | 焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。3基のピットの集合。 |
| 096 | 3 | X=35.983 Y=-39.404 | | 不整楕円形 | 52×44×45 | 土師器・須恵器小破片少量 | 9世紀以後。 |
| 097 | 3 | X=35.982 Y=-39.403 | | 不整楕円形 | 45×37×43 | 土師器・須恵器小破片少量 | 焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。 |
| 098 | 3 | X=35.983 Y=-39.407 | | 楕円形 | 69×58×58 | | 炭化物を含む。古代以後。2基のピットの集合。 |
| 099 | 3 | X=35.987 Y=-39.404 | | 楕円形 | 59×45×65 | | 焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。 |
| 100 | 3 | X=35.989 Y=-39.398 | | 楕円形 | 58×50×34 | | 焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。 |
| 101 | 3 | X=35.984 Y=-39.403 | | 隅丸長方形 | 62×55×17 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 102 | 6 | X=36.211 Y=-39.460 | 102号ピット→103号ピット | 楕円形 | 35×30×40 | | |
| 103 | 6 | X=36.211 Y=-39.460 | 102号ピット→103号ピット | 不整円形 | 41×45 | | |
| 104 | 6 | X=36.210 Y=-39.461 | | 不整円形 | 44×45 | | |
| 105 | 6 | X=36.210 Y=-39.461 | | 不整隅丸方形 | 36×20 | | |
| 106 | 6 | X=36.209 Y=-39.463 | 106号ピット→107号ピット | 不明 | 不明 | | |
| 107 | 6 | X=36.209 Y=-39.463 | 106号ピット→107号ピット | 楕円形 | 79×59×33 | | |
| 108 | 6 | X=36.208 Y=-39.464 | 108号ピット→109号ピット | 不明 | (85)×(65)×35 | 土師器破片1、須恵器破片1(108・109号ピット) | 9世紀以後。 |
| 109 | 6 | X=36.208 Y=-39.464 | 108号ピット→109号ピット | 不明 | (85)×(50)×40 | | 9世紀以後。 |
| 110 | 6 | X=36.212 Y=-39.460 | 111号ピット→110号ピット | 不整円形 | 40×47 | 須恵器小破片2(110・111号ピット) | 9世紀以後。 |
| 111 | 6 | X=36.212 Y=-39.460 | 111号ピット→110号ピット | 楕円形 | (37)×38×25 | | 9世紀以後。 |
| 112 | 6 | X=36.213 Y=-39.457 | 113号ピット→112号ピット | 楕円形 | (64)×(35)×43 | 須恵器小破片2(112・113号ピット) | 9世紀以後。 |
| 113 | 6 | X=36.213 Y=-39.457 | 113号ピット→112号ピット | 楕円形 | (64)×(35)×11 | | 9世紀以後。 |
| 114 | 6 | X=36.214 Y=-39.456 | | 楕円形 | 53×43×35 | | 2基ないしは3基のピットの集合。 |

第II章 発見された遺構・遺物

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|---------------------|-------------|--------------------------|---------------------|--------|
| 115 | 6 | X=36.214 Y=-39.460 | | 不整隅丸方 形 | 31×24 | 土師器小破片1、須恵 器小破片1 | 9世紀以後。 |
| 116 | 6 | X=36.214 Y=-39.459 | | 楕円形 | 25×23×31 | | |
| 117 | 6 | X=36.215 Y=-39.459 | | 楕円形 | 40×27×35 | | |
| 118 | 6 | X=36.215 Y=-39.457 | | 不整楕円形 | 66×49×19 | | |
| 119 | 6 | X=36.217 Y=-39.455 | | 不整楕円形 | 41×30×35 | | |
| 120 | 6 | X=36.216 Y=-39.455 | 121号ピット→120号 ピット | 不整円形 | 36×20 | | |
| 121 | 6 | X=36.216 Y=-39.455 | | 不整円形 | 27×16 | | |
| 122 | 6 | X=36.216 Y=-39.452 | | 楕円形 | 46×38×30 | 土師器小破片1 | 古代以後。 |
| 123 | 6 | X=36.212 Y=-39.455 | | 不定形 | 30×26×32 | | |
| 124 | 6 | X=36.210 Y=-39.452 | | 楕円形 | 48×32×23 | | |
| 125 | 6 | X=36.208 Y=-39.452 | | 不整楕円形 | 52×42×55 | | |
| 126 | 6 | X=36.208 Y=-39.452 | | 楕円形 | 32×28×27 | | |
| 127 | 6 | X=36.210 Y=-39.449 | | 楕円形 | 41×36×35 | | |
| 128 | 6 | X=36.214 Y=-39.442 | | 円形 | 34×25 | | |
| 171 | 6 | X=36.212 Y=-39.461 | | 不整楕円形 | 53×50×31 | | 古代以後。 |
| 172 | 19 | X=35.984 Y=-39.359 | | 円形 | 47×42 | | |
| 173 | 19 | X=35.984 Y=-39.359 | | 不整円形 | 48×64 | | 古代以後。 |
| 174 | 19 | X=35.990 Y=-39.363 | | 不整楕円形 | 81×65×73 | | 古代以後。 |
| 175 | 19 | X=35.983 Y=-39.352 | | 不整楕円形 | 37×32×33 | | 古代以後。 |
| 176 | 19 | X=35.982 Y=-39.352 | | 楕円形 | 35×26×14 | | 古代以後。 |
| 177 | 19 | X=35.984 Y=-39.335 | | 不整円形 | 31×52 | | 古代以後。 |
| 178 | 19 | X=35.984 Y=-39.334 | | 不整円形 | 33×57 | | 古代以後。 |
| 179 | 19 | X=35.989 Y=-39.367 | | 不整円形 | 37×29 | 縄文石器石鏃(1171) | 古代以後。 |
| 180 | 19 | X=35.983 Y=-39.369 | | 楕円形 | 32×27×41 | | 古代以後。 |
| 181 | 19 | X=35.982 Y=-39.369 | | 不整楕円形 | 32×28×23 | | 古代以後。 |
| 182 | 19 | X=35.982 Y=-39.369 | | 不整楕円形 | 32×28×20 | | 古代以後。 |
| 183 | 19 | X=35.982 Y=-39.369 | | 不整隅丸長 方形 | 104×43×50 | | 古代以後。 |
| 184 | 19 | X=35.981 Y=-39.369 | | 不整楕円形 | 27×22×34 | | 古代以後。 |
| 185 | 19 | X=35.993 Y=-39.365 | | 不整円形 | 30×72 | | 古代以後。 |
| 186 | 19 | X=35.993 Y=-39.365 | | 不整楕円形 | 37×29×28 | | 古代以後。 |

第6節 ピット

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|------|------------|--------------------------|------------|-----------------------|
| 187 | 19 | X=35.992 Y=-39.364 | | 不整形 | 53×47 | 土師器小破片 1 | 古代以後。 |
| 188 | 19 | X=35.991 Y=-39.365 | | 不整隅丸方 形 | 43×12 | | 古代以後。 |
| 189 | 19 | X=36.030 Y=-39.353 | | 不整楕円形 | 51×44×4 | | 古代以後。 |
| 190 | 19 | X=35.982 Y=-39.355 | | 不整楕円形 | 36×30×10 | | 古代以後。 |
| 191 | 5 | X=36.177 Y=-39.471 | | 楕円形 | 43×32×22 | | |
| 192 | 5 | X=36.176 Y=-39.472 | | 不整楕円形 | 51×39×27 | | 古墳時代以後。 |
| 193 | 5 | X=36.177 Y=-39.474 | | 不整楕円形 | 72×39×23 | | 古墳時代以後。2基の ピットの集合。 |
| 194 | 5 | X=36.178 Y=-39.465 | | 不定形 | 40×31×17 | | 古代以後。 |
| 195 | 5 | X=36.179 Y=-39.464 | | 不整隅丸方 形 | 25×17 | | 古墳時代以後。 |
| 196 | 5 | X=36.178 Y=-39.463 | | 隅丸長方形 | 36×30×27 | | 古墳時代以後。 |
| 197 | 5 | X=36.177 Y=-39.464 | | 不整楕円形 | 21×18×11 | | 古墳時代以後。 |
| 198 | 5 | X=36.174 Y=-39.473 | | 不整楕円形 | 35×30×18 | | 古墳時代以後。 |
| 199 | 5 | X=36.171 Y=-39.464 | | 不整楕円形 | 36×31×28 | | 古墳時代以後。 |
| 200 | 5 | X=36.167 Y=-39.463 | | 不整楕円形 | 41×36×27 | | 炭化物を含む。古墳時 代以後。 |
| 201 | 5 | X=36.166 Y=-39.464 | | 不整楕円形 | 45×34×27 | | 古墳時代以後。 |
| 202 | 5 | X=36.162 Y=-39.462 | | 楕円形 | 37×23×19 | 須恵器椀 (382) | 9世紀以後。 |
| 203 | 5 | X=36.164 Y=-39.465 | | 不整形 | 26×30 | | 古墳時代以後。 |
| 204 | 5 | X=36.164 Y=-39.466 | | 不整楕円形 | 33×28×25 | | 古墳時代以後。 |
| 205 | 5 | X=36.164 Y=-39.469 | | 不整楕円形 | 40×34×33 | | 古墳時代以後。 |
| 206 | 5 | X=36.166 Y=-39.469 | | 不整形 | 53×25 | | 古墳時代以後。 |
| 207 | 5 | X=36.165 Y=-39.471 | | 不整楕円形 | 54×33×18 | | 古墳時代以後。 |
| 208 | 5 | X=36.163 Y=-39.473 | | 不整形 | 34×43 | | 古墳時代以後。 |
| 209 | 5 | X=36.164 Y=-39.473 | | 楕円形 | 36×29×17 | | |
| 210 | 5 | X=36.160 Y=-39.474 | | 楕円形 | 37×29×24 | | 古墳時代以後。 |
| 211 | 5 | X=36.159 Y=-39.473 | | 楕円形 | 35×31×37 | | 古墳時代以後。 |
| 212 | 5 | X=36.157 Y=-39.473 | | 不整楕円形 | 71×48×28 | | 古墳時代以後。 |
| 213 | 5 | X=36.158 Y=-39.471 | | 不整楕円形 | 40×35×17 | | |
| 214 | 5 | X=36.157 Y=-39.469 | | 不整楕円形 | 39×33×25 | | 古墳時代以後。 |
| 215 | 5 | X=36.157 Y=-39.468 | | 楕円形 | 60×50×46 | | 古墳時代以後。 |
| 216 | 5 | X=36.159 Y=-39.469 | | 不整形 | 40×45 | | 古墳時代以後。 |

第II章 発見された遺構・遺物

| ピット番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-------|----|-----------------------|------|--------|----------------------|-----------|----------------|
| 217 | 5 | X=36.158 Y=-39.467 | | 不整楕円形 | 56×47×16 | | 古墳時代以後。 |
| 218 | 5 | X=36.159 Y=-39.467 | | 不整楕円形 | 49×37×20 | | 古墳時代以後。 |
| 219 | 5 | X=36.159 Y=-39.467 | | 不整楕円形 | 57×50×23 | | 古墳時代以後。 |
| 220 | 5 | X=36.157 Y=-39.466 | | 不整楕円形 | 47×40×23 | | 古墳時代以後。 |
| 221 | 5 | X=36.155 Y=-39.452 | | 不定形 | 52×50×57 | | 古墳時代以後。 |
| 222 | 5 | X=36.160 Y=-39.460 | | 不整円形 | 28×22 | | |
| 223 | 5 | X=36.159 Y=-39.459 | | 不整円形 | 43×26 | | 古墳時代以後。 |
| 224 | 5 | X=36.160 Y=-39.458 | | 不整楕円形 | 55×36×32 | | 古墳時代以後。 |
| 225 | 5 | X=36.165 Y=-39.458 | | 不整楕円形 | 70×56×38 | | 古墳時代以後。 |
| 226 | 5 | X=36.169 Y=-39.459 | | 楕円形 | 56×48×38 | | 古墳時代以後。 |
| 227 | 5 | X=36.168 Y=-39.456 | | 不整円形 | 49×45 | | 炭化物を含む。古墳時代以後。 |
| 228 | 5 | X=36.164 Y=-39.472 | | 不整隅丸方形 | 30×22 | | 古代以後。 |
| 229 | 5 | X=36.164 Y=-39.472 | | 不整楕円形 | 36×29×26 | | 古代以後。 |
| 230 | 5 | X=36.167 Y=-39.471 | | 不整楕円形 | 41×26×17 | | 古墳時代以後。 |
| 231 | 5 | X=36.166 Y=-39.472 | | 楕円形 | 44×33×32 | 須恵器杯(381) | 9世紀以後。 |
| 232 | 5 | X=36.166 Y=-39.434 | | 不整円形 | 43×23 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 233 | 5 | X=36.167 Y=-39.433 | | 楕円形 | 39×353×29 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 234 | 5 | X=36.167 Y=-39.432 | | 不整円形 | 43×46 | 土師器小破片3 | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 235 | 5 | X=36.168 Y=-39.432 | | 不整円形 | 42×31 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 236 | 5 | X=36.167 Y=-39.429 | | 楕円形 | 51×41×53 | 須恵器小破片1 | 炭化物を含む。9世紀以後。 |
| 237 | 5 | X=36.169 Y=-39.431 | | 楕円形 | 49×45×26 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 238 | 5 | X=36.170 Y=-39.430 | | 不整円形 | 43×24 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 239 | 5 | X=36.169 Y=-39.434 | | 不整円形 | 32×32 | | 炭化物を含む。古墳時代以後。 |
| 240 | 5 | X=36.171 Y=-39.435 | | 不整楕円形 | 51×45×37 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 241 | 5 | X=36.171 Y=-39.435 | | 不整円形 | 47×29 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 242 | 5 | X=36.173 Y=-39.435 | | 不整円形 | 47×25 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 243 | 5 | X=36.172 Y=-39.432 | | 不整円形 | 35×30 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 244 | 5 | X=36.173 Y=-39.433 | | 不整円形 | 32×46 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 245 | 5 | X=36.173 Y=-39.432 | | 不整円形 | 36×48 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 246 | 5 | X=36.172 Y=-39.432 | | 不整円形 | 46×37 | | 炭化物を含む。古代以後。 |

第6節 ピット

| ピット番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-------|----|-----------------------|-----------------|---------|----------------------|-------------------|------------------------|
| 247 | 5 | X=36.171 Y=-39.432 | | 不整楕円形 | 59×45×32 | | 古代以後。 |
| 248 | 5 | X=36.171 Y=-39.431 | | 楕円形 | 65×45×44 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 249 | 5 | X=36.171 Y=-39.428 | | 不整円形 | 43×36 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 250 | 5 | X=36.174 Y=-39.430 | | 不整円形 | 39×30 | | 古代以後。 |
| 251 | 5 | X=36.177 Y=-39.430 | | 不整楕円形 | 37×32×25 | | 古代以後。 |
| 252 | 5 | X=36.175 Y=-39.431 | | 不整楕円形 | 54×44×50 | | 古墳時代以後。 |
| 253 | 5 | X=36.176 Y=-39.431 | | 不整楕円形 | 47×39×33 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 254 | 5 | X=36.174 Y=-39.432 | | 不整円形 | 55×55 | | 古代以後。 |
| 255 | 5 | X=36.174 Y=-39.432 | | 不整円形 | 58×56 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 256 | 5 | X=36.174 Y=-39.435 | | 不整楕円形 | 43×40×53 | | 古代以後。 |
| 257 | 5 | X=36.175 Y=-39.437 | | 不整円形 | 55×21 | | 古代以後。 |
| 258 | 5 | X=36.177 Y=-39.436 | | 不整楕円形 | 43×36×58 | | 古代以後。 |
| 259 | 5 | X=36.179 Y=-39.431 | | 不整円形 | 38×36 | 土師器小破片 1 | 古代以後。 |
| 260 | 5 | X=36.180 Y=-39.430 | | 不整円形 | 48×40 | | 古代以後。 |
| 261 | 5 | X=36.187 Y=-39.432 | | 不整隅丸長方形 | 29×30×39 | | 炭化物を含む。 |
| 262 | 5 | X=36.184 Y=-39.433 | 263号ピット→262号ピット | 不整円形 | 33×36 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 263 | 5 | X=36.184 Y=-39.433 | 263号ピット→262号ピット | 不整楕円形 | 46×(31)×35 | 須恵器小破片 1 | 焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。 |
| 264 | 5 | X=36.186 Y=-39.434 | 264号ピット→265号ピット | 不定形 | (96)×(58)×46 | | 焼土小ブロック・炭化物を含む。古代以後。 |
| 265 | 5 | X=36.186 Y=-39.434 | 264号ピット→265号ピット | 不定形 | (96)×(58)×25 | | 焼土小ブロック・炭化物を含む。古代以後。 |
| 266 | 5 | X=36.190 Y=-39.441 | | 楕円形 | 61×55×44 | | 焼土粒子を含む。古代以後。 |
| 267 | 5 | X=36.191 Y=-39.442 | | 楕円形 | 70×63×17 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 268 | 5 | X=36.194 Y=-39.446 | | 不整円形 | 56×52 | 土師器小破片 7 | 焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。 |
| 269 | 5 | X=36.195 Y=-39.442 | | 楕円形 | 58×53×30 | 土師器小破片 2、須恵器小破片 2 | 焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。 |
| 270 | 5 | X=36.180 Y=-39.440 | | 不整楕円形 | 72×61×30 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 271 | 5 | X=36.177 Y=-39.440 | | 不整円形 | 33×34 | | 古代以後。 |
| 272 | 5 | X=36.177 Y=-39.440 | | 不整円形 | 32×25 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 273 | 5 | X=36.153 Y=-39.431 | | 不定形 | 54×35×19 | | 焼土を含む。古代以後。2基のピットの集合。 |
| 274 | 5 | X=36.146 Y=-39.436 | | 楕円形 | 41×36×46 | | 古代以後。 |
| 275 | 5 | X=36.147 Y=-39.436 | | 不整隅丸長方形 | 53×47×13 | | 炭化物を含む。古代以後。2基のピットの集合。 |
| 276 | 5 | X=36.151 Y=-39.436 | | 不整円形 | 25×49 | | 古代以後。 |

第II章 発見された遺構・遺物

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|-----------------|---------|--------------------------|------------|--------------------|
| 277 | 5 | X=36.152 Y=-39.436 | | 隅丸方形 | 32×30 | 土師器小破片 1 | 古代以後。 |
| 279 | 5 | X=36.139 Y=-39.436 | | 不整隅丸方形 | 39×43 | | 焼土粒子を含む。古代以後。 |
| 280 | 5 | X=36.137 Y=-39.436 | | 不整楕円形 | 35×26×38 | | 古代以後。 |
| 282 | 5 | X=36.143 Y=-39.429 | | 不整楕円形 | 57×49×43 | 須恵器小破片 1 | 焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。 |
| 283 | 5 | X=36.143 Y=-39.426 | | 不整楕円形 | 55×47×49 | | 焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。 |
| 285 | 5 | X=36.141 Y=-39.430 | 285号ピット→286号ピット | 不整楕円形 | 81×55×62 | | 古代以後。 |
| 286 | 5 | X=36.141 Y=-39.430 | 285号ピット→286号ピット | 不整楕円形 | (51)×48×32 | | 焼土粒子・炭化物を含む。 |
| 289 | 5 | X=36.140 Y=-39.426 | 289号ピット→不明 | 不整楕円形 | 43×34×22 | | 焼土粒子を含む。古代以後。 |
| 290 | 5 | X=36.140 Y=-39.426 | 290号ピット→不明 | 不整楕円形 | 48×41×33 | | 焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。 |
| 291 | 5 | X=36.139 Y=-39.427 | | 不整楕円形 | 43×39×27 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 293 | 5 | X=36.140 Y=-39.428 | | 不整円形 | 43×42 | | 焼土粒子・炭化物を含む。 |
| 294 | 5 | X=36.140 Y=-39.428 | | 不整楕円形 | 61×52×48 | 須恵器小破片 1 | 焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。 |
| 295 | 5 | X=36.139 Y=-39.429 | | 楕円形 | 42×39×27 | | 古代以後。 |
| 299 | 5 | X=36.137 Y=-39.433 | | 不整円形 | 26×17 | | 焼土粒子を含む。古代以後。 |
| 301 | 5 | X=36.136 Y=-39.431 | | 不整隅丸方形 | 30×59 | 土師器小破片 3 | 古代以後。 |
| 302 | 5 | X=36.137 Y=-39.431 | | 不整隅丸方形 | 35×28 | | 焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。 |
| 305 | 5 | X=36.137 Y=-39.429 | | 楕円形 | 75×51×32 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 306 | 5 | X=36.138 Y=-39.427 | | 不整隅丸長方形 | 44×36×26 | | 炭化物を含む。古代以後。 |
| 308 | 5 | X=36.136 Y=-39.424 | | 不整楕円形 | 54×45×37 | 須恵器小破片 2 | 9世紀以後。 |
| 309 | 5 | X=36.135 Y=-39.427 | | 楕円形 | 40×35×53 | | 焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。 |
| 310 | 5 | X=36.135 Y=-39.426 | | 不整隅丸方形 | 29×48 | | 炭化物を含む。 |
| 311 | 5 | X=36.131 Y=-39.428 | | 不整隅丸方形 | 33×50 | | 古代以後。 |
| 312 | 5 | X=36.131 Y=-39.429 | | 不整楕円形 | 55×45×71 | | 古代以後。 |
| 314 | 5 | X=36.139 Y=-39.423 | | 不整円形 | 53×31 | 須恵器杯 (380) | 9世紀以後。 |
| 316 | 5 | X=36.139 Y=-39.433 | | 不整隅丸方形 | 22×18 | | |
| 317 | 5 | X=36.140 Y=-39.432 | | 不整隅丸長方形 | 26×29×36 | | 古代以後。 |
| 322 | 5 | X=36.184 Y=-39.479 | | 不整楕円形 | 31×24×34 | | 古墳時代以後。 |
| 323 | 5 | X=36.183 Y=-39.479 | | 不整楕円形 | 57×43×40 | | 古墳時代以後。 |
| 324 | 5 | X=36.181 Y=-39.478 | | 不整楕円形 | 50×37×50 | | 焼土粒子を含む。古墳時代以後。 |
| 325 | 5 | X=36.181 Y=-39.480 | | 不整楕円形 | 54×47×50 | | 古墳時代以後。 |

第6節 ピット

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|---------------------|-------------|--------------------------|-------------------------|---------|
| 326 | 5 | X=36.181 Y=-39.478 | | 不整円形 | 43×51 | | 古代以後。 |
| 327 | 5 | X=36.180 Y=-39.479 | | 不整円形 | 30×22 | | 古墳時代以後。 |
| 328 | 5 | X=36.180 Y=-39.478 | | 不整楕円形 | 46×40×58 | | 古代以後。 |
| 340 | 19 | X=35.983 Y=-39.357 | | 不整楕円形 | 50×34×33 | | 古代以後。 |
| 341 | 19 | X=35.984 Y=-39.357 | | 不整楕円形 | 38×30×29 | | 古代以後。 |
| 342 | 19 | X=35.984 Y=-39.362 | | 不整円形 | 30×30 | 須恵器小破片 2 | 9世紀以後。 |
| 343 | 19 | X=35.982 Y=-39.366 | | 不整楕円形 | 40×31×42 | | 古代以後。 |
| 344 | 19 | X=35.984 Y=-39.367 | | 楕円形 | 39×31×32 | 土師器小破片 1 | 古代以後。 |
| 345 | 19 | X=35.982 Y=-39.368 | | 楕円形 | 29×22×28 | | |
| 346 | 19 | X=35.982 Y=-39.368 | 346号ピット→347号 ピット | 不整楕円形 | (21)×16×27 | | |
| 347 | 19 | X=35.982 Y=-39.368 | 346号ピット→347号 ピット | 不整楕円形 | 32×25×32 | | 古代以後。 |
| 348 | 19 | X=35.982 Y=-39.368 | | 不整円形 | 31×30 | | 古代以後。 |
| 349 | 19 | X=35.982 Y=-39.368 | | 不整円形 | 23×27 | | 古代以後。 |
| 350 | 19 | X=35.982 Y=-39.359 | | 不整隅丸長 方形 | 36×31×52 | | |
| 351 | 3 | X=35.995 Y=-39.405 | | 不整楕円形 | 60×53×31 | | 古代以後。 |
| 352 | 3 | X=35.991 Y=-39.397 | | 不整円形 | 29×5 | 須恵器椀(523)、須恵 器蓋(524) | 8世紀後半。 |
| 353 | 3 | X=35.987 Y=-39.408 | | 不整隅丸長 方形 | 27×24×20 | | 古代以後。 |
| 354 | 3 | X=35.987 Y=-39.405 | | 不整隅丸長 方形 | 36×25×26 | | 古代以後。 |
| 355 | 3 | X=35.986 Y=-39.406 | | 不整楕円形 | 52×35×24 | | 古代以後。 |
| 356 | 3 | X=35.985 Y=-39.407 | | 不整楕円形 | 47×43×25 | | 古代以後。 |
| 357 | 3 | X=35.985 Y=-39.404 | | 不整隅丸長 方形 | 25×23×9 | | 古代以後。 |
| 358 | 3 | X=35.983 Y=-39.403 | | 不整隅丸方 形 | 28×22 | | 古代以後。 |
| 359 | 3 | X=35.983 Y=-39.404 | | 不整隅丸長 方形 | 28×23×21 | | 古代以後。 |
| 360 | 3 | X=35.983 Y=-39.405 | | 不整隅丸方 形 | 29×20 | | 古代以後。 |
| 361 | 3 | X=35.987 Y=-39.407 | | 不整隅丸方 形 | 25×16 | | 古代以後。 |
| 362 | 3 | X=35.983 Y=-39.407 | | 不整楕円形 | 50×40×37 | | 古代以後。 |
| 363 | 3 | X=35.983 Y=-39.407 | | 楕円形 | 49×30×27 | | 古代以後。 |
| 364 | 3 | X=35.981 Y=-39.406 | | 楕円形 | 38×34×25 | | 古代以後。 |
| 365 | 3 | X=35.980 Y=-39.409 | | 不整隅丸方 形 | 25×20 | | 古代以後。 |
| 366 | 3 | X=35.980 Y=-39.408 | | 不整隅丸四 辺形 | 25×22×21 | | 古代以後。 |

第II章 発見された遺構・遺物

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|------|-------------|--------------------------|-----------------------|--------|
| 367 | 3 | X=35.979 Y=-39.406 | | 不整楕円形 | 45×36×20 | | 古代以後。 |
| 368 | 3 | X=35.978 Y=-39.406 | | 不整楕円形 | 43×26×13 | | 古代以後。 |
| 369 | 3 | X=35.978 Y=-39.407 | | 不整楕円形 | 55×44×25 | | 古代以後。 |
| 370 | 3 | X=35.977 Y=-39.407 | | 不整楕円形 | 47×33×18 | | 古代以後。 |
| 371 | 3 | X=35.977 Y=-39.405 | | 不整楕円形 | 60×45×26 | | 古代以後。 |
| 372 | 3 | X=35.977 Y=-39.404 | | 不整楕円形 | 68×53×10 | | 古代以後。 |
| 373 | 3 | X=35.976 Y=-39.406 | | 不整楕円形 | 39×31×21 | | 古代以後。 |
| 374 | 3 | X=35.976 Y=-39.403 | | 不整楕円形 | 39×30×22 | | 古代以後。 |
| 375 | 3 | X=35.974 Y=-39.404 | | 不整楕円形 | 40×28×23 | | |
| 376 | 3 | X=35.973 Y=-39.404 | | 不整円形 | 37×26 | | |
| 377 | 3 | X=35.980 Y=-39.406 | | 不整隅丸長 方形 | 64×32×16 | | 古代以後。 |
| 447 | 5 | X=36.138 Y=-39.425 | | 不整楕円形 | 24×18×17 | | |
| 448 | 5 | X=36.138 Y=-39.426 | | 円形 | 50×21 | | |
| 449 | 5 | X=36.136 Y=-39.427 | | 不整円形 | 40×30 | | |
| 450 | 5 | X=36.138 Y=-39.428 | | 楕円形 | 60×53×20 | | |
| 451 | 5 | X=36.139 Y=-39.427 | | 不整楕円形 | 35×25×20 | | |
| 452 | 5 | X=36.140 Y=-39.426 | | 楕円形 | 31×28×22 | | |
| 453 | 5 | X=36.136 Y=-39.422 | | 不整楕円形 | 33×25×21 | | |
| 454 | 5 | X=36.131 Y=-39.426 | | 不整楕円形 | 24×21×14 | | |
| 455 | 5 | X=36.131 Y=-39.427 | | 楕円形 | 33×23×17 | | |
| 456 | 5 | X=36.127 Y=-39.425 | | 楕円形 | 50×37×12 | | |
| 457 | 5 | X=36.135 Y=-39.428 | | 不整楕円形 | 48×40×25 | | |
| 459 | 5 | X=36.187 Y=-39.433 | | 楕円形 | 30×25×19 | 土師器小破片 1 | 古代以後。 |
| 460 | 5 | X=36.189 Y=-39.436 | | 不整楕円形 | 56×48×34 | | |
| 461 | 5 | X=36.189 Y=-39.441 | | 不整楕円形 | 36×33×40 | 土師器小破片 3、須恵 器小破片 1 | 9世紀以後。 |
| 462 | 5 | X=36.191 Y=-39.442 | | 円形 | 31×20 | | |
| 463 | 5 | X=36.191 Y=-39.441 | | 不整円形 | 33×27 | | |
| 464 | 5 | X=36.192 Y=-39.443 | | 不整楕円形 | 45×37×17 | 土師器小破片 1 | 古代以後。 |
| 465 | 5 | X=36.195 Y=-39.447 | | 不整楕円形 | 63×50×46 | | |
| 466 | 5 | X=36.196 Y=-39.446 | | 不定形 | 94×73×13 | | |

第6節 ピット

| ピット番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-------|----|-----------------------|------|---------|----------------------|-----------------|------------|
| 467 | 5 | X=36.197 Y=-39.445 | | 不整形円形 | 45×23 | 土師器小破片1、須恵器小破片1 | 9世紀以後。 |
| 468 | 5 | X=36.197 Y=-39.445 | | 楕円形 | 65×54×15 | | |
| 469 | 5 | X=36.195 Y=-39.440 | | 不整楕円形 | 35×26×22 | | |
| 470 | 5 | X=36.193 Y=-39.435 | | 不整形円形 | 30×19 | | |
| 471 | 5 | X=36.182 Y=-39.429 | | 不整楕円形 | 36×29×38 | | |
| 472 | 4 | X=36.068 Y=-39.381 | | 不整楕円形 | 29×24×42 | | |
| 473 | 4 | X=36.069 Y=-39.380 | | 不整楕円形 | 29×25×41 | | |
| 474 | 4 | X=36.069 Y=-39.382 | | 不整形円形 | 35×28 | | |
| 475 | 4 | X=36.069 Y=-39.378 | | 不整形円形 | 43×35 | | |
| 476 | 4 | X=36.068 Y=-39.376 | | 不整隅丸方形 | 36×32 | | |
| 477 | 4 | X=36.089 Y=-39.384 | | 不整隅丸長方形 | 27×23×31 | | |
| 478 | 4 | X=36.073 Y=-39.383 | | 不整隅丸長方形 | 37×30×38 | | |
| 479 | 4 | X=36.072 Y=-39.389 | | 楕円形 | 43×33×29 | | |
| 480 | 4 | X=36.074 Y=-39.381 | | 不整隅丸方形 | 33×33 | | |
| 481 | 4 | X=36.074 Y=-39.383 | | 不整楕円形 | 37×32×42 | | |
| 482 | 4 | X=36.075 Y=-39.381 | | 不整隅丸長方形 | 42×38×25 | | |
| 483 | 4 | X=36.075 Y=-39.383 | | 不整隅丸長方形 | 54×40×36 | | 2基のピットの集合。 |
| 484 | 4 | X=36.076 Y=-39.381 | | 不整隅丸長方形 | 38×34×45 | | |
| 485 | 4 | X=36.076 Y=-39.383 | | 不整楕円形 | 48×32×40 | | |
| 486 | 4 | X=36.077 Y=-39.392 | | 不整楕円形 | 38×32×22 | | |
| 487 | 4 | X=36.078 Y=-39.393 | | 不整形円形 | 32×36 | | |
| 488 | 4 | X=36.078 Y=-39.393 | | 不整形円形 | 33×30 | | |
| 489 | 4 | X=36.078 Y=-39.394 | | 不定形 | 35×34×24 | | |
| 490 | 4 | X=36.079 Y=-39.392 | | 不整楕円形 | 35×31×17 | | |
| 491 | 4 | X=36.079 Y=-39.385 | | 不整楕円形 | 48×40×26 | | |
| 492 | 4 | X=36.083 Y=-39.382 | | 不整隅丸方形 | 31×33 | | |
| 493 | 4 | X=36.083 Y=-39.382 | | 不整形円形 | 33×32 | | |
| 494 | 4 | X=36.084 Y=-39.394 | | 不整楕円形 | 25×22×25 | | |
| 495 | 4 | X=36.084 Y=-39.385 | | 楕円形 | 45×38×49 | | |
| 496 | 4 | X=36.087 Y=-39.382 | | 不整形円形 | 36×37 | | |

第II章 発見された遺構・遺物

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|------|-------------|--------------------------|------|--------|
| 497 | 4 | X=36.087 Y=-39.380 | | 不整楕円形 | 39×34×57 | | |
| 498 | 5 | X=36.171 Y=-39.444 | | 不整楕円形 | 49×34×30 | | |
| 499 | 5 | X=36.175 Y=-39.445 | | 不整円形 | 38×34 | | |
| 500 | 5 | X=36.174 Y=-39.447 | | 不整楕円形 | 35×29×25 | | |
| 501 | 5 | X=36.176 Y=-39.448 | | 不整円形 | 31×33 | | |
| 502 | 5 | X=36.177 Y=-39.446 | | 不整楕円形 | 38×34×39 | | |
| 503 | 5 | X=36.177 Y=-39.445 | | 不整楕円形 | 28×23×25 | | |
| 504 | 5 | X=36.178 Y=-39.445 | | 不整楕円形 | 41×33×13 | | |
| 505 | 5 | X=36.178 Y=-39.442 | | 楕円形 | 45×36×23 | | |
| 506 | 19 | X=36.052 Y=-39.343 | | 不整楕円形 | 68×54×37 | | 古代以後。 |
| 507 | 19 | X=36.035 Y=-39.349 | | 不整楕円形 | 67×53×32 | | 古代以後。 |
| 508 | 19 | X=36.034 Y=-39.348 | | 楕円形 | 47×35×32 | | 古代以後。 |
| 509 | 19 | X=36.034 Y=-39.346 | | 不整円形 | 40×23 | | 古代以後。 |
| 510 | 19 | X=36.033 Y=-39.348 | | 不整楕円形 | 41×30×25 | | 古代以後。 |
| 511 | 19 | X=36.031 Y=-39.351 | | 不整楕円形 | 77×36×39 | | 古代以後。 |
| 512 | 19 | X=36.031 Y=-39.351 | | 不整楕円形 | 47×28×23 | | 古代以後。 |
| 513 | 19 | X=36.028 Y=-39.346 | | 楕円形 | 53×41×32 | | 古代以後。 |
| 514 | 19 | X=36.017 Y=-39.358 | | 不整楕円形 | 42×30×20 | | 古代以後。 |
| 515 | 19 | X=36.016 Y=-39.355 | | 不整楕円形 | 40×29×25 | | 古代以後。 |
| 516 | 19 | X=36.009 Y=-39.355 | | 不整楕円形 | 52×43×31 | | 古代以後。 |
| 517 | 19 | X=36.004 Y=-39.358 | | 不整楕円形 | 48×40×26 | | 古代以後。 |
| 518 | 19 | X=36.003 Y=-39.360 | | 不整楕円形 | 64×43×30 | | |
| 519 | 19 | X=36.000 Y=-39.360 | | 不整隅丸長 方形 | 59×48×31 | | 古代以後。 |
| 520 | 19 | X=35.998 Y=-39.358 | | 不整楕円形 | 70×65×26 | | 古代以後。 |
| 521 | 19 | X=35.996 Y=-39.355 | | 不整楕円形 | 40×33×26 | | 古代以後。 |
| 522 | 19 | X=35.988 Y=-39.366 | | 不整楕円形 | 34×25×45 | | 古代以後。 |
| 523 | 19 | X=35.987 Y=-39.366 | | 不整楕円形 | 45×33×34 | | 古代以後。 |
| 524 | 19 | X=35.983 Y=-39.366 | | 不整隅丸方 形 | 40×25 | | 古代以後。 |
| 525 | 19 | X=35.983 Y=-39.368 | | 不整楕円形 | 35×32×26 | | 古代以後。 |
| 526 | 19 | X=35.982 Y=-39.367 | | 不整楕円形 | 34×29×30 | | |

第6節 ピット

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|------|---------|--------------------------|------|---------|
| 527 | 19 | X=35.980 Y=-39.368 | | 不定形 | 49×45×33 | | 古代以後。 |
| 528 | 19 | X=35.980 Y=-39.367 | | 不整楕円形 | 49×37×31 | | 古代以後。 |
| 529 | 19 | X=35.980 Y=-39.368 | | 不定形 | 53×45×29 | | 古代以後。 |
| 530 | 19 | X=35.978 Y=-39.367 | | 不定形 | 61×37×25 | | 古代以後。 |
| 531 | 19 | X=35.982 Y=-39.357 | | 不整楕円形 | 40×32×27 | | 古代以後。 |
| 532 | 19 | X=35.986 Y=-39.357 | | 不整隅丸方形 | 42×22 | | 古代以後。 |
| 533 | 19 | X=35.988 Y=-39.354 | | 楕円形 | 53×29×32 | | |
| 534 | 19 | X=35.986 Y=-39.344 | | 不整楕円形 | 39×33×27 | | 古代以後。 |
| 535 | 19 | X=35.986 Y=-39.345 | | 不整隅丸台形 | 44×37×23 | | 古代以後。 |
| 536 | 19 | X=35.986 Y=-39.341 | | 不整隅丸方形 | 45×23 | | 古代以後。 |
| 537 | 19 | X=35.992 Y=-39.339 | | 不整円形 | 41×29 | | 古代以後。 |
| 538 | 19 | X=35.992 Y=-39.338 | | 不整円形 | 29×27 | | 古代以後。 |
| 539 | 19 | X=35.996 Y=-39.344 | | 不整楕円形 | 60×51×34 | | 古代以後。 |
| 540 | 19 | X=35.998 Y=-39.343 | | 不整楕円形 | 53×32×22 | | 古代以後。 |
| 541 | 19 | X=36.002 Y=-39.338 | | 楕円形 | 82×57×32 | | 古代以後。 |
| 542 | 19 | X=36.007 Y=-39.338 | | 不整楕円形 | 48×37×34 | | 古代以後。 |
| 543 | 19 | X=36.007 Y=-39.337 | | 不整楕円形 | 52×44×32 | | 古代以後。 |
| 544 | 19 | X=36.006 Y=-39.342 | | 不整楕円形 | 48×37×34 | | |
| 545 | 19 | X=36.007 Y=-39.341 | | 不整楕円形 | 56×45×42 | | |
| 546 | 19 | X=36.008 Y=-39.344 | | 不整楕円形 | 67×47×39 | | |
| 547 | 19 | X=36.010 Y=-39.344 | | 楕円形 | 47×37×29 | | 古代以後。 |
| 548 | 19 | X=36.012 Y=-39.343 | | 不定形 | 62×47×31 | | 古代以後。 |
| 549 | 19 | X=36.012 Y=-39.344 | | 楕円形 | 56×48×28 | | 古代以後。 |
| 550 | 19 | X=36.014 Y=-39.342 | | 楕円形 | 55×39×27 | | 古代以後。 |
| 551 | 19 | X=36.015 Y=-39.343 | | 不整隅丸五角形 | 45×34 | | 古代以後。 |
| 552 | 19 | X=36.012 Y=-39.340 | | 不整楕円形 | 57×45×25 | | 古代以後。 |
| 553 | 19 | X=36.002 Y=-39.353 | | 不整円形 | 42×26 | | |
| 554 | 21 | X=35.966 Y=-39.289 | | 不整楕円形 | (45)×(40)×14 | | 古代以後。 |
| 555 | 21 | X=35.969 Y=-39.290 | | 不整円形 | (28)×20 | | 炭化物を含む。 |
| 556 | 21 | X=35.969 Y=-39.290 | | 不整隅丸方形 | (32)×15 | | 炭化物を含む。 |

第II章 発見された遺構・遺物

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|------|--------|--------------------------|-------------------|------------------|
| 557 | 21 | X=35.964 Y=-39.291 | | 円形 | 35×50 | | |
| 558 | 21 | X=35.969 Y=-39.292 | | 不整楕円形 | 42×38×30 | 須恵器小破片 1 | 炭化物を含む。9世紀以後。 |
| 559 | 21 | X=35.965 Y=-39.288 | | 不整楕円形 | 44×37×63 | | |
| 560 | 18 | X=35.963 Y=-39.329 | | 不定形 | 56×36×22 | 土師器小破片 2、須恵器小破片 1 | 9世紀以後。 |
| 561 | 22 | X=35.989 Y=-39.289 | | (不整円形) | 35×18 | | 焼土粒子・炭化物を含む。 |
| 562 | 22 | X=35.991 Y=-39.299 | | 不整楕円形 | 30×27×17 | | |
| 563 | 22 | X=35.990 Y=-39.300 | | 不整楕円形 | 41×28×21 | | |
| 564 | 22 | X=35.984 Y=-39.299 | | 不整円形 | 27×24 | | |
| 565 | 22 | X=35.986 Y=-39.302 | | 不整楕円形 | 33×28×30 | | |
| 566 | 22 | X=35.987 Y=-39.304 | | 不整楕円形 | 33×25×27 | | |
| 567 | 22 | X=35.987 Y=-39.305 | | 不整楕円形 | 26×21×16 | | 古代以後。 |
| 568 | 22 | X=35.989 Y=-39.306 | | 不整楕円形 | 34×30×26 | | 多量の焼土ブロックを含む。 |
| 569 | 22 | X=35.991 Y=-39.306 | | 不整楕円形 | 32×28×9 | | 炭化物を含む。 |
| 570 | 22 | X=35.987 Y=-39.271 | | 不整円形 | 33×18 | | 古代以後。 |
| 571 | 22 | X=35.994 Y=-39.292 | | 不整楕円形 | 28×24×7 | | 古代以後。 |
| 597 | 18 | X=35.966 Y=-39.334 | | 不整楕円形 | 76×37×39 | | 古代以後。 |
| 598 | 18 | X=35.971 Y=-39.333 | | 不定形 | 58×40×29 | | 古代以後。 |
| 599 | 18 | X=35.970 Y=-39.345 | | 不定形 | 140×60×51 | | 古代以後。 |
| 600 | 18 | X=35.964 Y=-39.352 | | 不定形 | 47×29×24 | | 古代以後。 |
| 601 | 18 | X=35.964 Y=-39.352 | | 不定形 | 45×30×22 | | 古代以後。2基のピットの集合。 |
| 602 | 18 | X=35.965 Y=-39.346 | | 不整楕円形 | 72×37×18 | | 多量の焼土粒子を含む。古代以後。 |
| 603 | 18 | X=35.965 Y=-39.347 | | 不整楕円形 | 58×38×29 | 土師器小破片 2 | 古代以後。2基のピットの集合。 |
| 604 | 18 | X=35.965 Y=-39.348 | | 不整楕円形 | 53×45×28 | | 古代以後。2基のピットの集合。 |
| 605 | 18 | X=35.965 Y=-39.348 | | 楕円形 | 56×35×22 | 須恵器小破片 1 | 9世紀以後。 |
| 606 | 18 | X=35.967 Y=-39.348 | | 不定形 | 36×30×18 | | 古代以後。3基のピットの集合。 |
| 607 | 18 | X=35.963 Y=-39.348 | | 不整楕円形 | 37×335×18 | | 古代以後。 |
| 608 | 18 | X=35.963 Y=-39.342 | | 楕円形 | 35×27×17 | 土師器台付甕小破片 4 | 古代以後。 |
| 609 | 18 | X=35.961 Y=-39.341 | | 楕円形 | 28×25×31 | | |
| 610 | 18 | X=35.962 Y=-39.343 | | 不定形 | 50×32×29 | | 古代以後。2基のピットの集合。 |
| 611 | 18 | X=35.964 Y=-39.328 | | 不定形 | 143×85×35 | | 4基のピットの集合。 |

第6節 ピット

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模 (cm) 長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|---------------------------|------|---------|----------------------------|----------|-----------------|
| 612 | 18 | X = 35.966 Y = -39.328 | | 不整楕円形 | 53×48×35 | | |
| 613 | 18 | X = 35.966 Y = -39.328 | | 不整楕円形 | 67×46×34 | | 古代以後。 |
| 623 | 18 | X = 35.916 Y = -39.384 | | 不整楕円形 | 59×52×114 | | 古代以後。 |
| 644 | 17 | X = 35.853 Y = -39.405 | | (不整楕円形) | (50)×51×34 | | |
| 645 | 17 | X = 35.848 Y = -39.399 | | 不整楕円形 | 33×27×26 | | |
| 646 | 17 | X = 35.852 Y = -39.401 | | 不整楕円形 | 56×46×20 | | 古代以後。 |
| 647 | 17 | X = 35.852 Y = -39.398 | | 不整楕円形 | 63×51×34 | | 古代以後。 |
| 648 | 17 | X = 35.854 Y = -39.405 | | 不整楕円形 | 58×41×30 | | |
| 649 | 17 | X = 35.855 Y = -39.401 | | 不整楕円形 | 67×43×24 | | |
| 650 | 17 | X = 35.855 Y = -39.404 | | 不整楕円形 | 60×53×33 | | |
| 651 | 17 | X = 35.855 Y = -39.403 | | 不定形 | 70×59×35 | | 古代以後。 |
| 652 | 17 | X = 35.856 Y = -39.406 | | 不定形 | (53)×40×18 | | |
| 653 | 17 | X = 35.855 Y = -39.404 | | 不定形 | 70×32×35 | | |
| 654 | 17 | X = 35.859 Y = -39.401 | | 不整円形 | 40×28 | | |
| 655 | 17 | X = 35.859 Y = -39.401 | | 不整円形 | 35×24 | | 古代以後。 |
| 656 | 17 | X = 35.860 Y = -39.405 | | 不定形 | (21)×41×47 | | |
| 657 | 17 | X = 35.866 Y = -39.400 | | 不定形 | 56×47×24 | | 2基のピットの集合。 |
| 658 | 17 | X = 35.865 Y = -39.400 | | 不定形 | 55×40×33 | | 2基のピットの集合。 |
| 659 | 17 | X = 35.861 Y = -39.392 | | 不定形 | 91×47×27 | | 古代以後。3基のピットの集合。 |
| 660 | 3 | X = 36.032 Y = -39.400 | | 不整楕円形 | 32×24×12 | | |
| 661 | 3 | X = 36.043 Y = -39.392 | | 不整楕円形 | 28×23×15 | | 古代以後。 |
| 666 | 3 | X = 36.032 Y = -39.399 | | 不整円形 | 25×12 | | 古代以後。 |
| 667 | 3 | X = 36.038 Y = -39.395 | | 不整楕円形 | 33×30×14 | | |
| 668 | 3 | X = 36.010 Y = -39.405 | | 不整楕円形 | 30×25×31 | | 古代以後。 |
| 669 | 3 | X = 36.009 Y = -39.406 | | 不整楕円形 | 30×27×16 | | 古代以後。 |
| 670 | 3 | X = 36.007 Y = -39.406 | | 不整楕円形 | 32×26×37 | | 古代以後。 |
| 671 | 3 | X = 36.007 Y = -39.407 | | 不整楕円形 | 33×28×51 | 須恵器小破片 1 | 9世紀以後。 |
| 696 | 3 | X = 36.040 Y = -39.391 | | 不整楕円形 | 25×22×27 | | 古代以後。 |
| 697 | 3 | X = 36.041 Y = -39.392 | | 楕円形 | 31×27×44 | | 古代以後。 |
| 698 | 3 | X = 36.042 Y = -39.392 | | 円形 | 32×67 | | 古代以後。 |

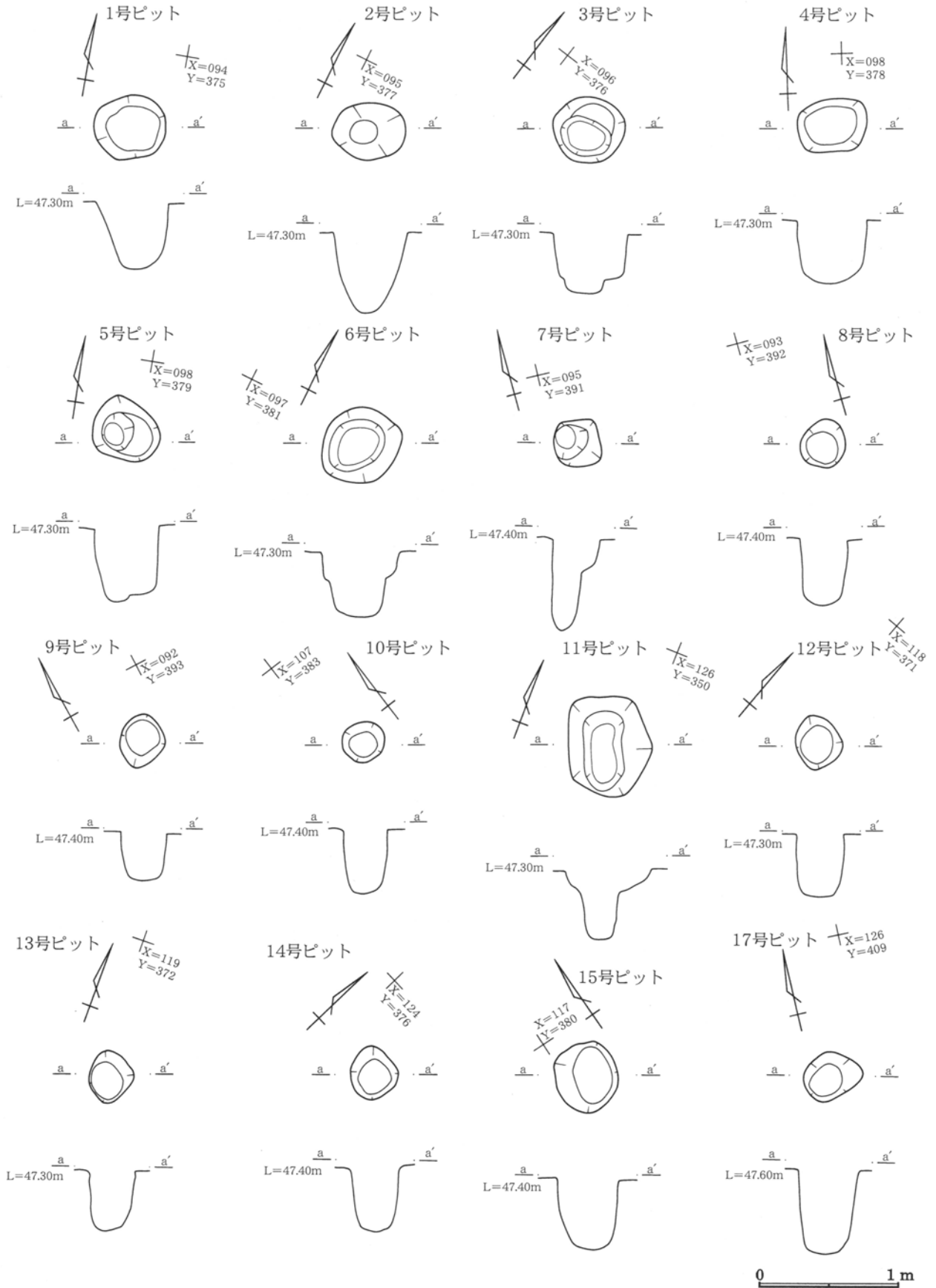
第II章 発見された遺構・遺物

| ピット番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-------|----|-----------------------|-----------------|---------|----------------------|------|--------|
| 705 | 3 | X=36.041 Y=-39.389 | | 不整楕円形 | 23×17×12 | | 古代以後。 |
| 706 | 3 | X=36.041 Y=-39.389 | | 不整楕円形 | 43×32×22 | | 古代以後。 |
| 707 | 3 | X=36.042 Y=-39.391 | | 不整楕円形 | 55×46×20 | | 古代以後。 |
| 709 | 3 | X=36.037 Y=-39.393 | | 不整円形 | 24×33 | | 古代以後。 |
| 710 | 3 | X=36.034 Y=-39.393 | 711号ピット→不明 | 不整円形 | 26×8 | | 古代以後。 |
| 711 | 3 | X=36.034 Y=-39.393 | 712号ピット→不明 | 不整楕円形 | 60×49×25 | | 古代以後。 |
| 712 | 3 | X=36.036 Y=-39.395 | | 楕円形 | 32×26×23 | | 古代以後。 |
| 713 | 3 | X=36.036 Y=-39.395 | | 不整楕円形 | 31×25×13 | | 古代以後。 |
| 714 | 3 | X=36.034 Y=-39.394 | | 楕円形 | 45×39×42 | | 古代以後。 |
| 715 | 3 | X=36.029 Y=-39.398 | | 不整楕円形 | 37×27×15 | | |
| 716 | 3 | X=36.028 Y=-39.399 | | 不整隅丸長方形 | 61×45×26 | | |
| 717 | 3 | X=36.023 Y=-39.340 | | 楕円形 | 45×39×22 | | |
| 718 | 3 | X=36.022 Y=-39.400 | | 楕円形 | 37×30×20 | | 古代以後。 |
| 719 | 3 | X=36.004 Y=-39.405 | | 不整楕円形 | (51)×45×16 | | |
| 720 | 3 | X=36.003 Y=-39.405 | | 楕円形 | 30×27×15 | | |
| 721 | 3 | X=36.002 Y=-39.406 | | 不整円形 | 34×19 | | |
| 722 | 3 | X=36.001 Y=-39.408 | | 不整円形 | 27×21 | | 古代以後。 |
| 723 | 3 | X=36.002 Y=-39.407 | | 楕円形 | 32×28×11 | | |
| 724 | 3 | X=36.001 Y=-39.408 | | 楕円形 | 45×33×19 | | |
| 725 | 3 | X=36.000 Y=-39.408 | | 楕円形 | 44×32×19 | | |
| 726 | 3 | X=35.998 Y=-39.407 | | 楕円形 | 51×33×21 | | |
| 727 | 3 | X=35.998 Y=-39.409 | | 不整楕円形 | 57×37×35 | | |
| 728 | 3 | X=36.032 Y=-39.398 | | 不整楕円形 | 26×22×17 | | |
| 729 | 3 | X=36.033 Y=-39.399 | | 楕円形 | 38×32×14 | | |
| 730 | 3 | X=36.031 Y=-39.400 | | 不整隅丸長方形 | 57×42×37 | | 古代以後。 |
| 731 | 3 | X=36.030 Y=-39.401 | | (不整円形) | 44×40 | | 古代以後。 |
| 732 | 3 | X=36.029 Y=-39.340 | | 不整隅丸方形 | 36×34 | | |
| 733 | 3 | X=36.030 Y=-39.399 | 733号ピット→734号ピット | 不定形 | 75×39×42 | | |
| 734 | 3 | X=36.030 Y=-39.399 | 733号ピット→734号ピット | 不定形 | 97×60×40 | | |
| 736 | 3 | X=35.997 Y=-39.408 | | 不整楕円形 | 39×28×12 | | 古代以後。 |

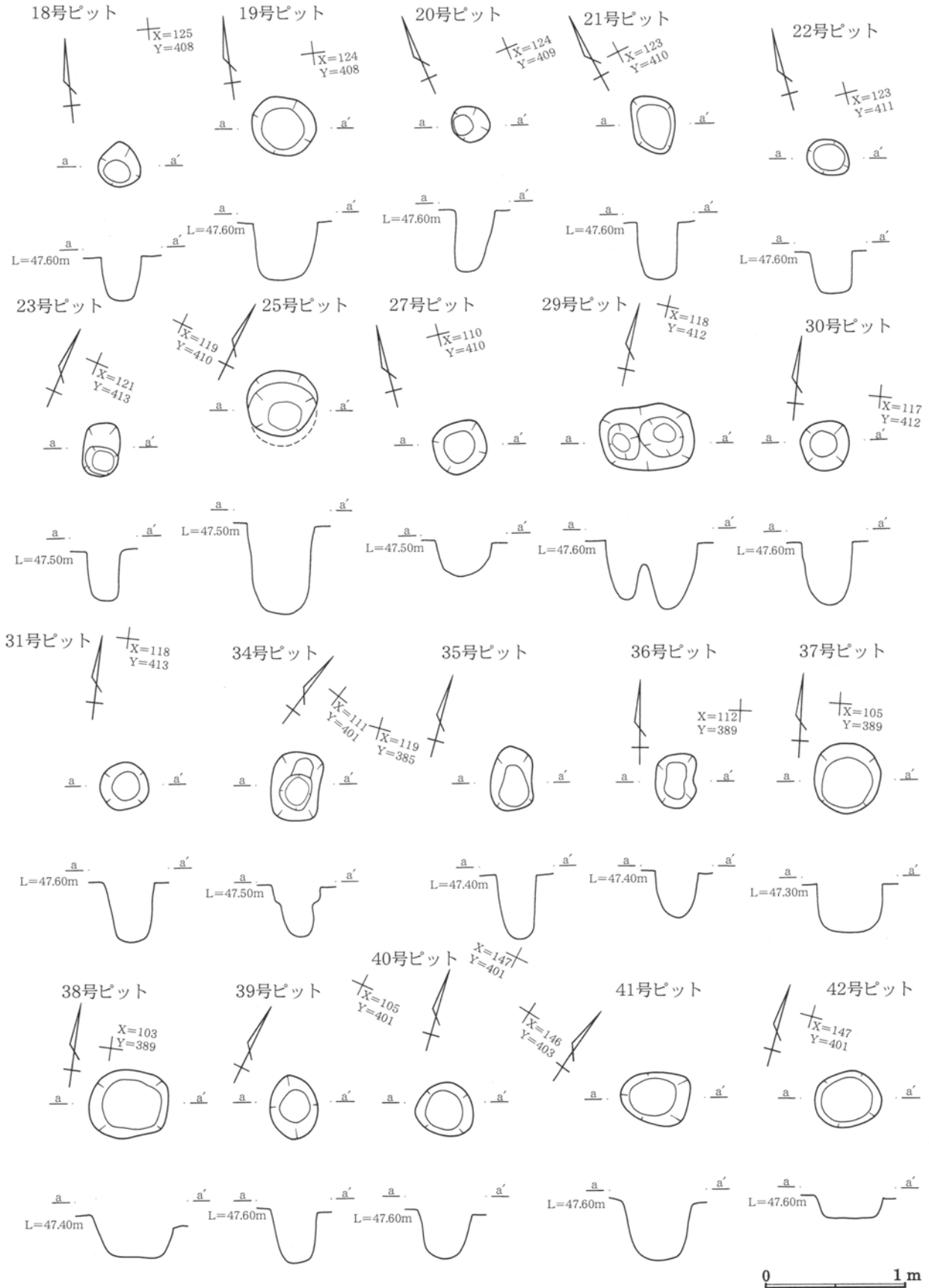
第6節 ピ ッ ト

| ピット 番号 | 地区 | 出土位置 | 重複関係 | 平面形 | 規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ | 出土遺物 | 年代・その他 |
|-----------|----|-----------------------|------|---------|--------------------------|----------|--------|
| 737 | 3 | X=35.996 Y=-39.408 | | 不整楕円形 | 39×24×18 | | |
| 738 | 3 | X=35.996 Y=-39.411 | | (不整楕円形) | (27)×43×57 | | 古代以後。 |
| 740 | 3 | X=35.994 Y=-39.408 | | 不整楕円形 | 52×38×18 | | |
| 744 | 3 | X=35.986 Y=-39.411 | | 不整楕円形 | 25×18×46 | | 古代以後。 |
| 745 | 3 | X=35.986 Y=-39.410 | | 円形 | 48×25 | | |
| 746 | 3 | X=35.985 Y=-39.412 | | 楕円形 | 44×35×23 | | |
| 747 | 3 | X=35.984 Y=-39.410 | | 不整楕円形 | 48×37×23 | | 古代以後。 |
| 748 | 3 | X=35.982 Y=-39.410 | | 不整楕円形 | 58×38×37 | | 古代以後。 |
| 750 | 3 | X=35.980 Y=-39.415 | | (不整楕円形) | (28)×35×50 | | 古代以後。 |
| 751 | 3 | X=35.980 Y=-39.413 | | 不整楕円形 | 33×30×15 | 土師器小破片 1 | |
| 752 | 3 | X=35.979 Y=-39.413 | | 不整円形 | 23×20 | | |
| 753 | 3 | X=35.978 Y=-39.414 | | 不整楕円形 | 43×30×28 | 土師器小破片 3 | |
| 754 | 3 | X=35.978 Y=-39.413 | | 不整楕円形 | 24×19×13 | | 古代以後。 |
| 755 | 3 | X=35.977 Y=-39.413 | | 不整楕円形 | 35×28×25 | | |
| 756 | 3 | X=35.977 Y=-39.413 | | 不整円形 | 35×17 | | |
| 757 | 3 | X=35.977 Y=-39.414 | | 不整楕円形 | 32×28×11 | 土師器小破片 1 | |
| 758 | 3 | X=35.976 Y=-39.413 | | 不整楕円形 | 25×21×17 | | |
| 759 | 3 | X=35.975 Y=-39.416 | | 不定形 | 55×30×25 | | 古代以後。 |
| 760 | 3 | X=35.975 Y=-39.415 | | 不整楕円形 | 68×43×50 | | |
| 761 | 3 | X=35.973 Y=-39.414 | | 不整円形 | 21×14 | | |
| 762 | 3 | X=35.973 Y=-39.414 | | 不整円形 | 24×14 | | |
| 763 | 3 | X=35.972 Y=-39.415 | | 楕円形 | 38×26×14 | | |
| 764 | 3 | X=35.971 Y=-39.415 | | 不整楕円形 | 39×30×13 | | |
| 765 | 3 | X=35.971 Y=-39.414 | | 不整楕円形 | 34×29×8 | | |
| 766 | 3 | X=35.970 Y=-39.414 | | 楕円形 | 28×25×33 | | |
| 767 | 3 | X=35.969 Y=-39.413 | | 不整楕円形 | 44×35×29 | | |

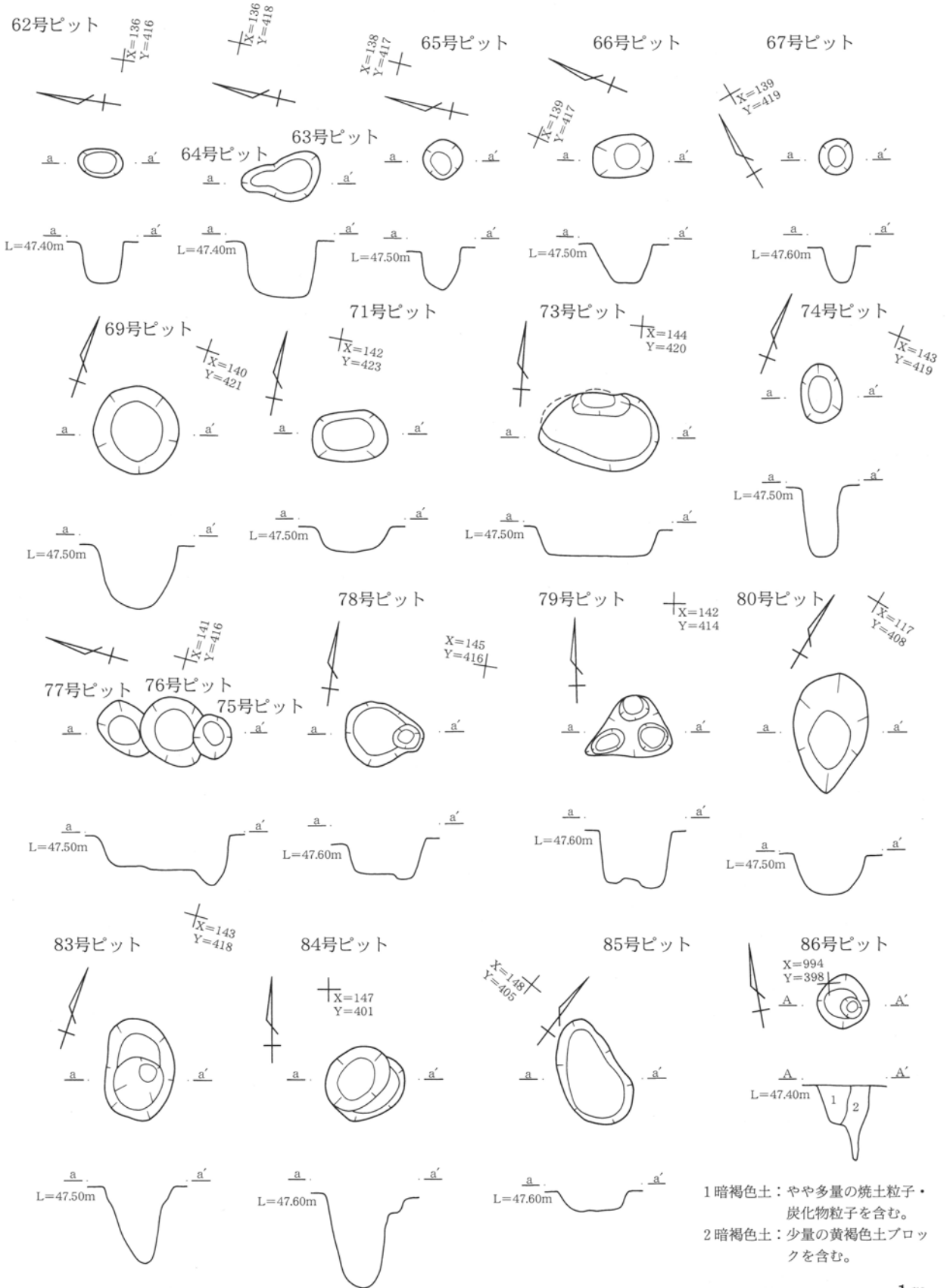
第II章 発見された遺構・遺物



第296図 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・17号ピット



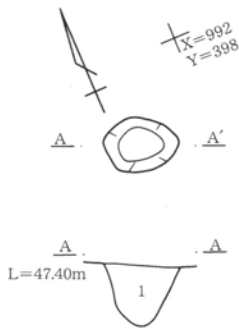
第297図 18・19・20・21・22・23・25・27・29・30・31・34・35・36・37・38・39・40・41・42号ピット



第299図 62・63・64・65・66・67・69・71・73・74・75・76・77・78・79・80・83・84・85・86号ピット

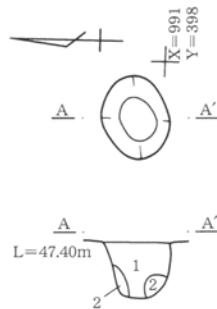
第II章 発見された遺構・遺物

87号ピット



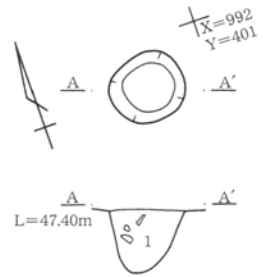
1 暗褐色土：焼土粒子及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

88号ピット



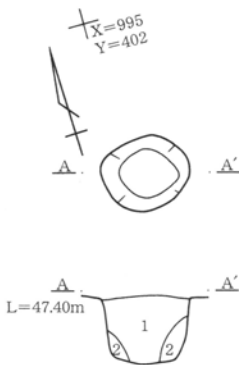
1 暗褐色土：焼土粒子及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 褐色土：黄褐色土粒子を含む。

89号ピット



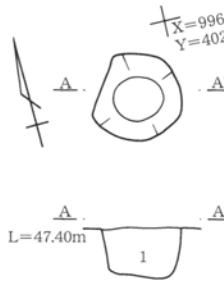
1 暗褐色土：焼土粒子・褐色土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

90号ピット



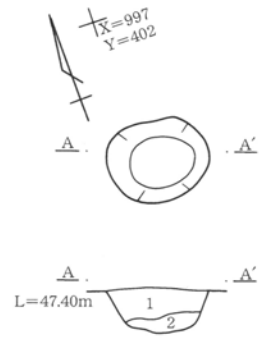
1 暗褐色土：焼土粒子・炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 暗褐色土：少量の黄褐色土粒子を含む。

91号ピット



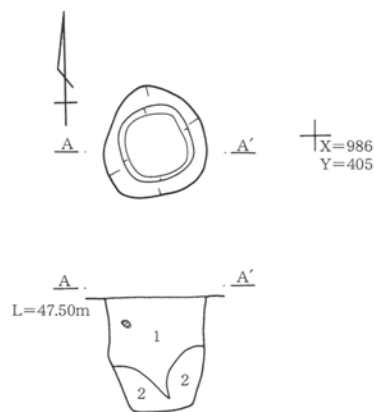
1 暗褐色土：焼土粒子及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

92号ピット



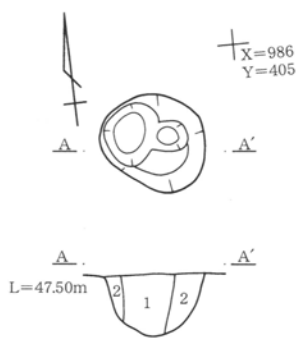
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物粒子を含む。
2 暗褐色土：少量の黄褐色土ブロックを含む。

94号ピット



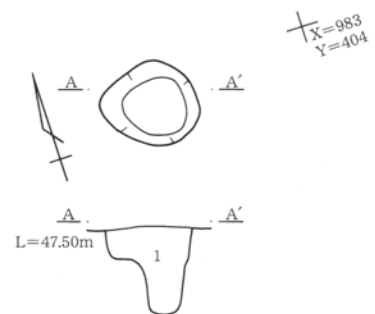
1 暗褐色土：焼土粒子・炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 暗褐色土：黄褐色土小ブロックを含む。

95号ピット



1 暗褐色土：焼土粒子・炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 暗褐色土：黄褐色土小ブロックを含む。

96号ピット

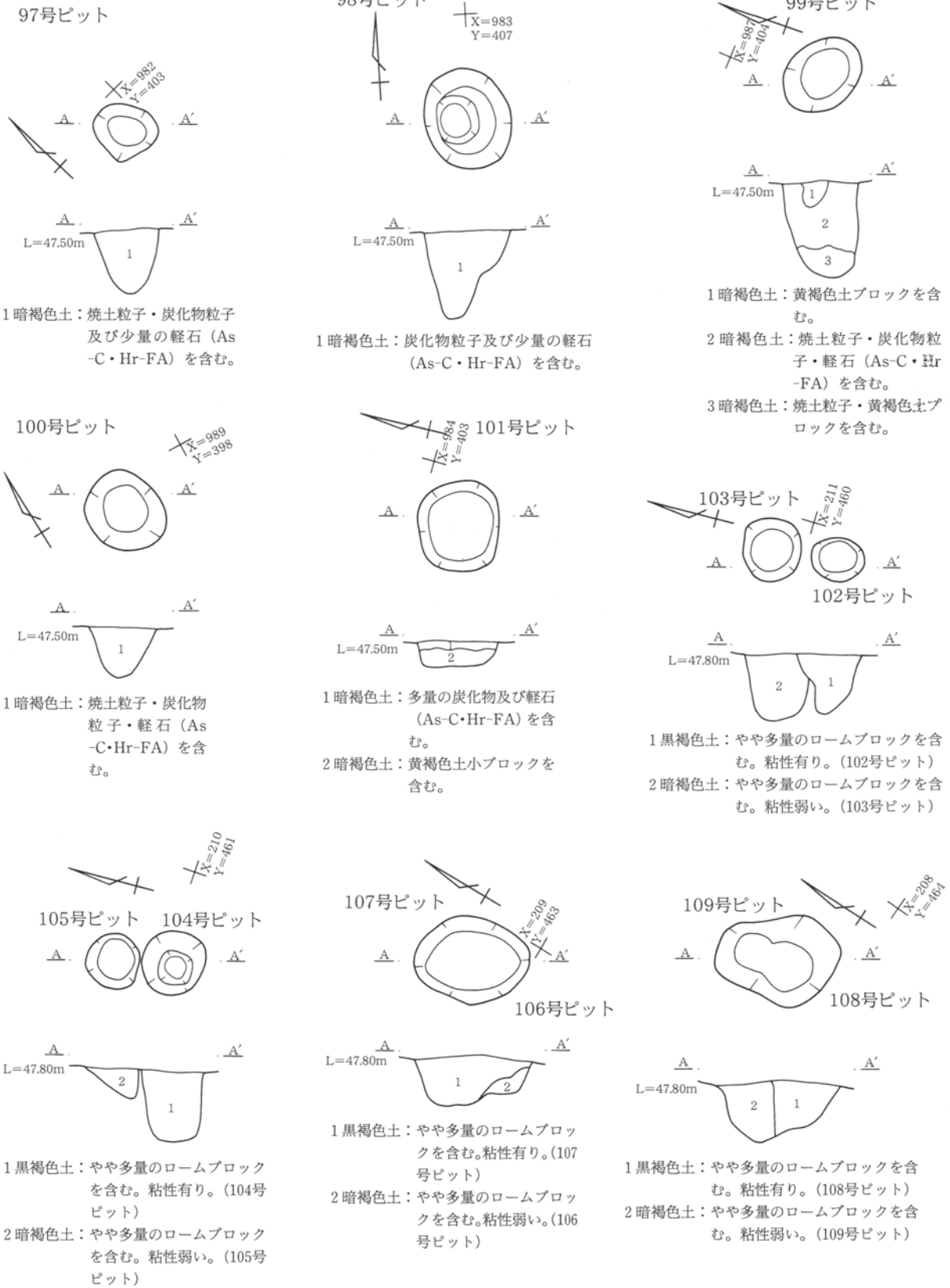


1 暗褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



第300図 87・88・89・90・91・92・94・95・96号ピット

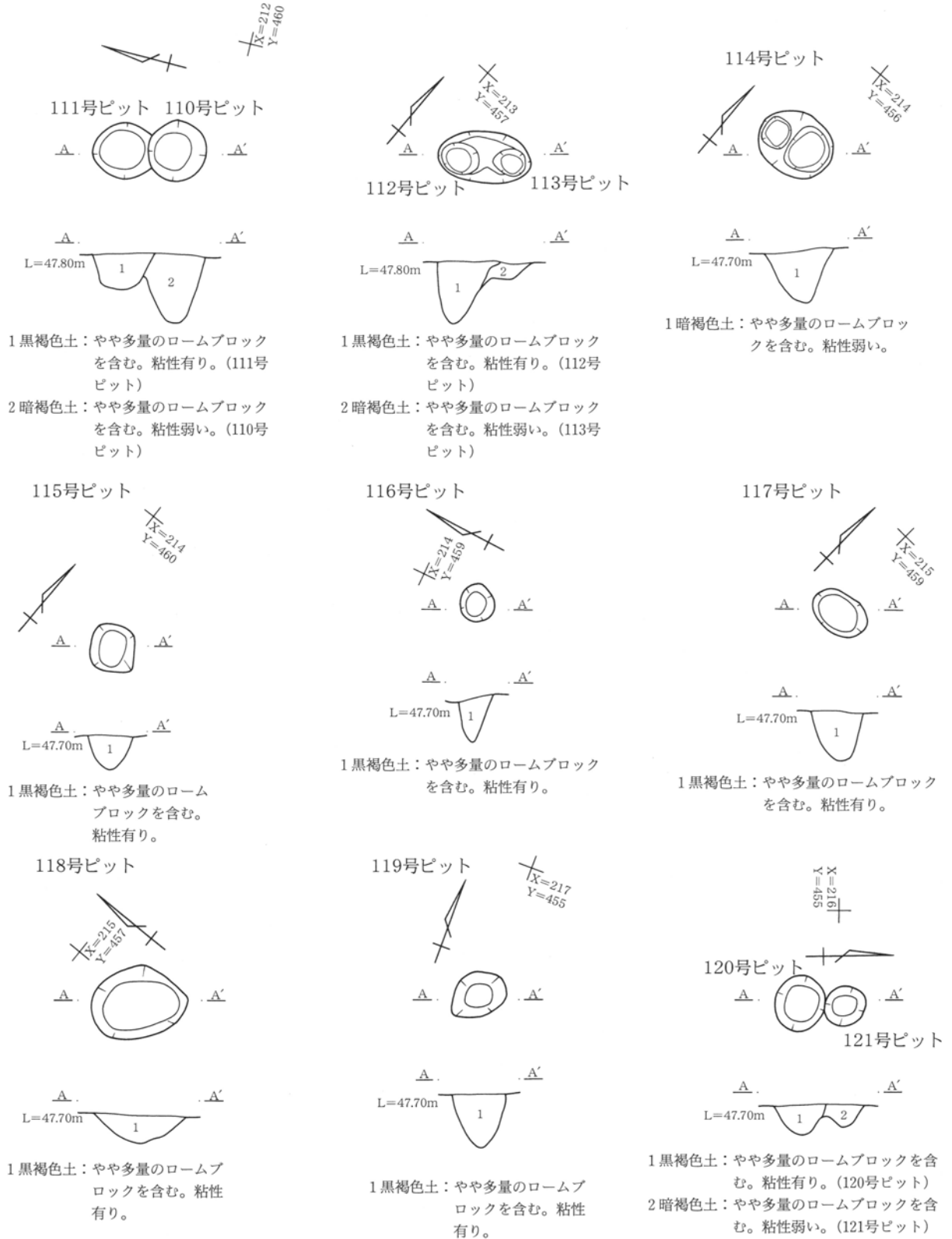
第6節 ピット



0 1m

第301図 97・98・99・100・101・102・103・104・105・106・107・108・109号ピット

第II章 発見された遺構・遺物

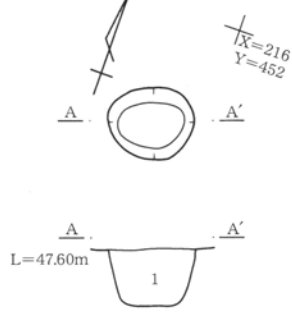


0 1m

第302図 110・111・112・113・114・115・116・117・118・119・120・121号ピット

第6節 ピット

122号ピット



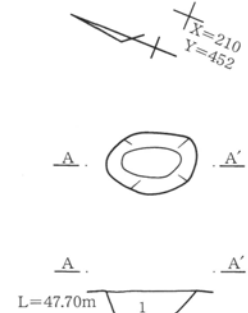
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

123号ピット



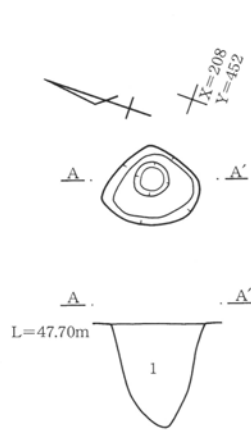
1 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性弱い。

124号ピット



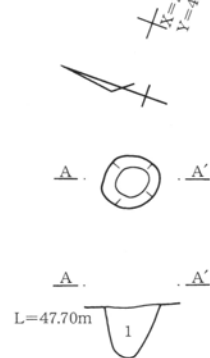
1 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性弱い。

125号ピット



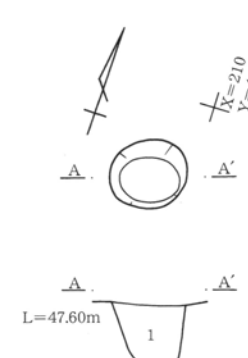
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

126号ピット



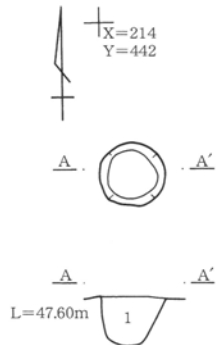
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

127号ピット



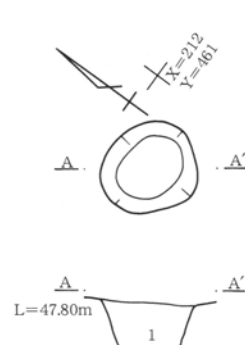
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

128号ピット



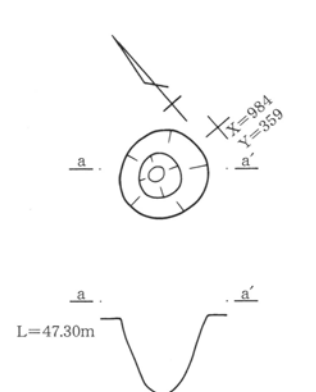
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

171号ピット



1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。粘性弱い。

172号ピット

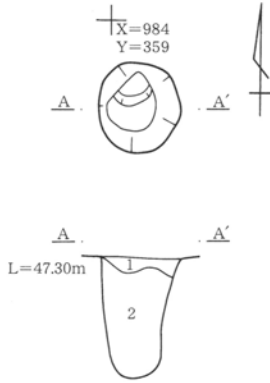


0 1 m

第303図 122・123・124・125・126・127・128・171・172号ピット

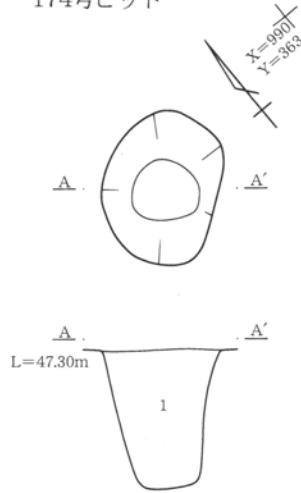
第II章 発見された遺構・遺物

173号ピット



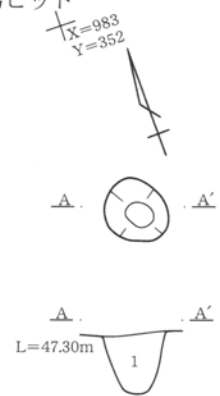
1 暗褐色土：少量の黄褐色土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 暗褐色土：微量の黄褐色土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

174号ピット



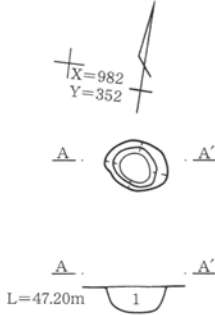
1 暗褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

175号ピット



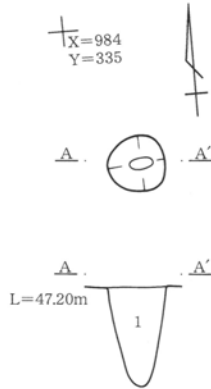
1 暗褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

176号ピット



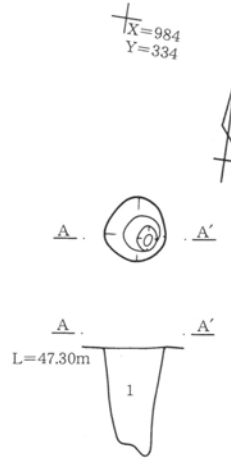
1 暗褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

177号ピット



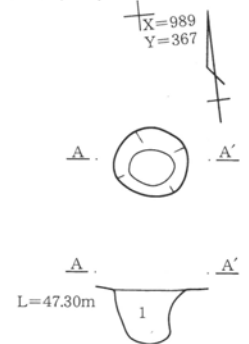
1 暗褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

178号ピット



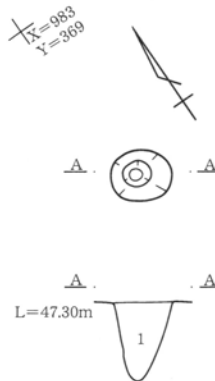
1 暗褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

179号ピット



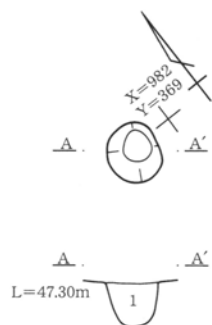
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

180号ピット



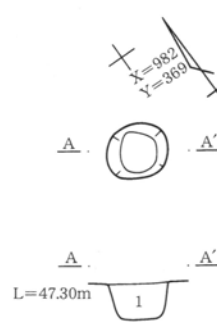
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

181号ピット



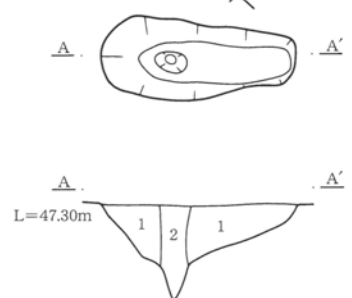
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

182号ピット



1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

183号ピット



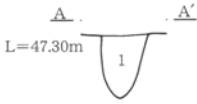
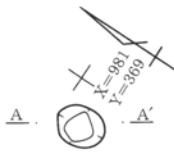
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 黒褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



第304図 173・174・175・176・177・178・179・180・181・182・183号ピット

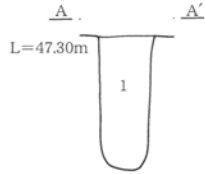
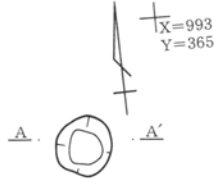
第6節 ピット

184号ピット



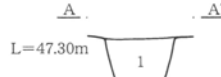
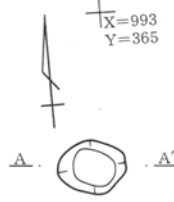
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

185号ピット



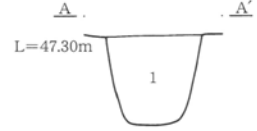
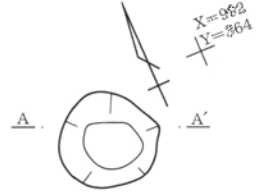
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

186号ピット



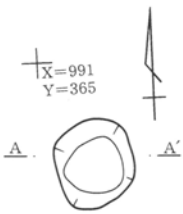
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

187号ピット



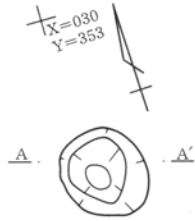
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

188号ピット



1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

189号ピット



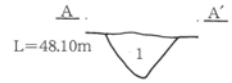
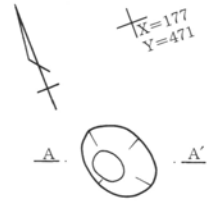
1 暗褐色土：少量の砂・ロームブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

190号ピット



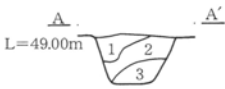
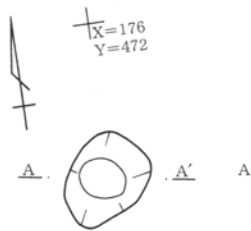
1 暗褐色土：少量の砂・ロームブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

191号ピット



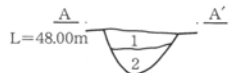
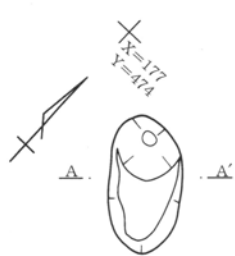
1 黒褐色土：砂質壤土。

192号ピット



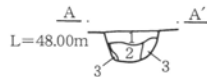
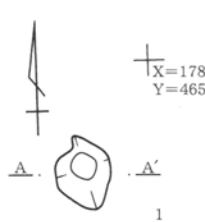
1 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
2 暗褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。
3 黒褐色土：砂質壤土。

193号ピット



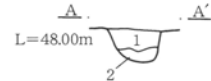
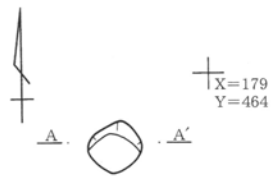
1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。
2 黒褐色土：洪水土斑を含む。

194号ピット



1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 黒褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。
3 暗褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。

195号ピット

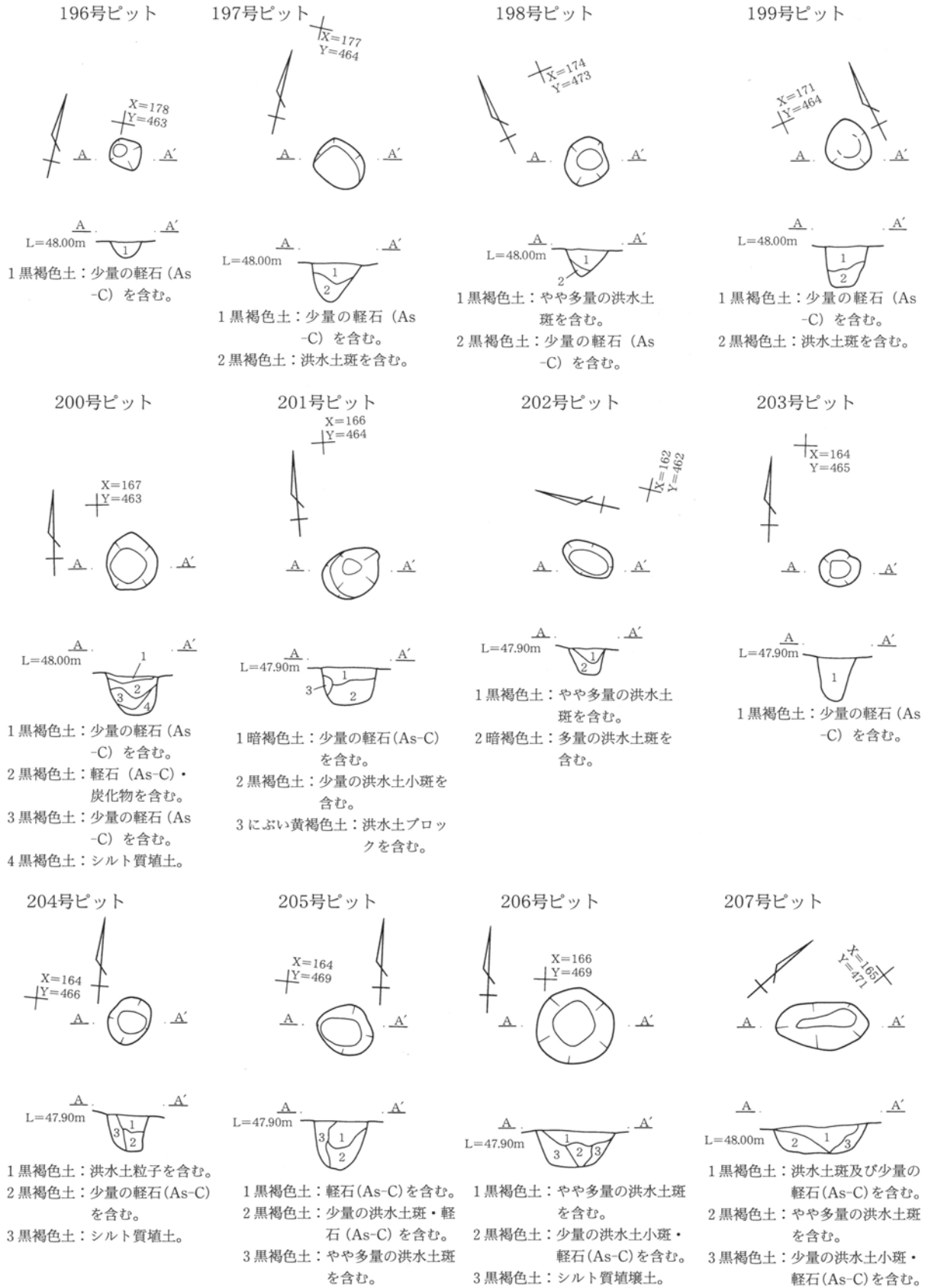


1 暗褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。
2 黒褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。



第305図 184・185・186・187・188・189・190・191・192・193・194・195号ピット

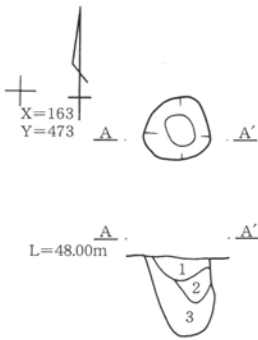
第II章 発見された遺構・遺物



0 1 m

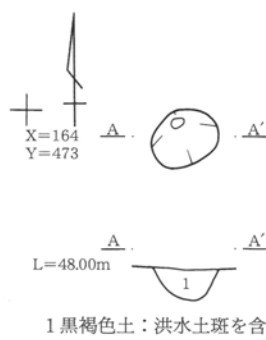
第306図 196・197・198・199・200・201・202・203・204・205・206・207号ピット

208号ピット



- 1 暗褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：洪水土斑を含む。
- 3 暗褐色土：少量の洪水土斑を含む。

209号ピット



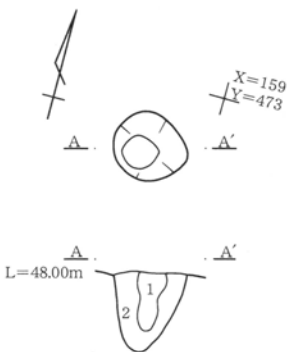
- 1 黒褐色土：洪水土斑を含む。

210号ピット



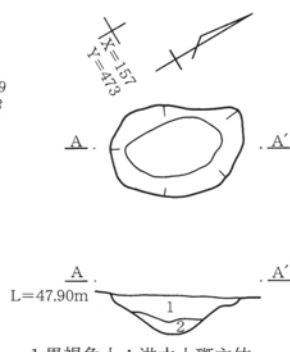
- 1 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質埴土。

211号ピット



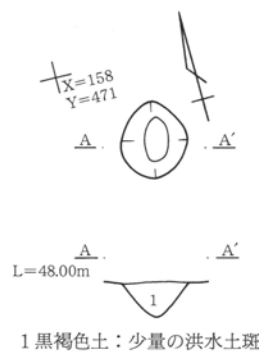
- 1 黒褐色土：洪水土斑主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

212号ピット



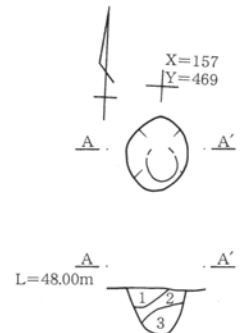
- 1 黒褐色土：洪水土斑主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：汚れた洪水土。

213号ピット



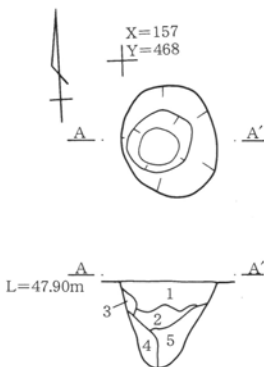
- 1 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

214号ピット



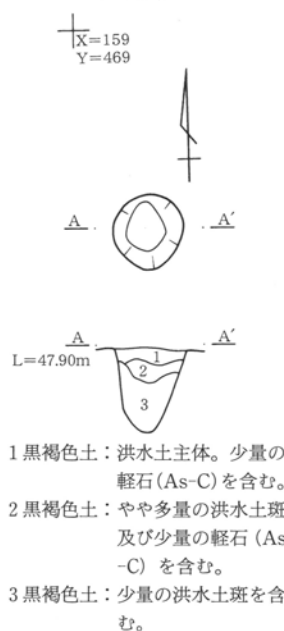
- 1 黒褐色土：洪水土斑主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

215号ピット



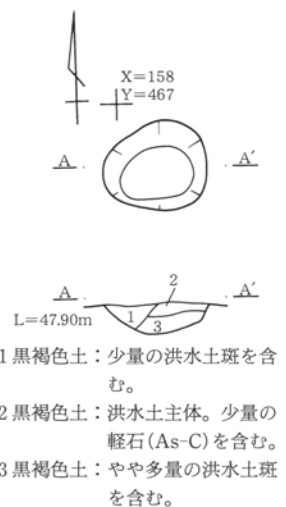
- 1 黒褐色土：洪水土斑主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 灰黄褐色土：洪水土ブロック。
- 4 黒褐色土：汚れた洪水土。
- 5 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

216号ピット



- 1 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

217号ピット



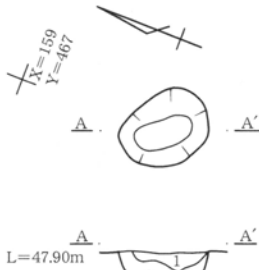
- 1 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 2 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：やや多量の洪水土斑を含む。

0 1 m

第307図 208・209・210・211・212・213・214・215・216・217号ピット

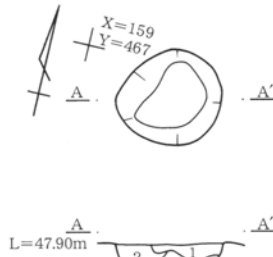
第II章 発見された遺構・遺物

218号ピット



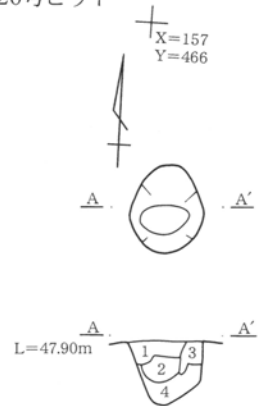
- 1 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

219号ピット



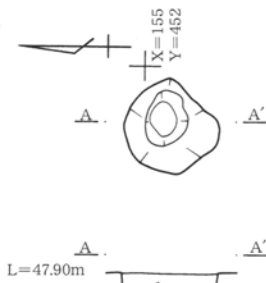
- 1 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：洪水土ブロック・洪水土斑を含む。
- 4 黒褐色土：洪水土斑を含む。

220号ピット



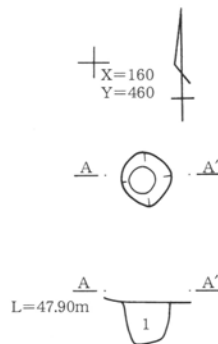
- 1 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 4 黒褐色土：シルト質壤土。

221号ピット



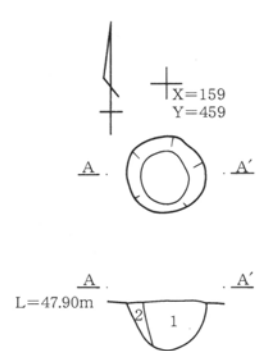
- 1 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 4 黒褐色土：洪水土ブロックを含む。
- 5 黒褐色土：洪水土由来のシルト質壤土。

222号ピット



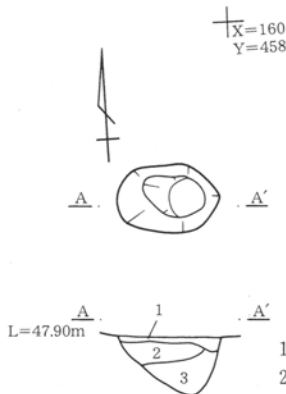
- 1 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

223号ピット



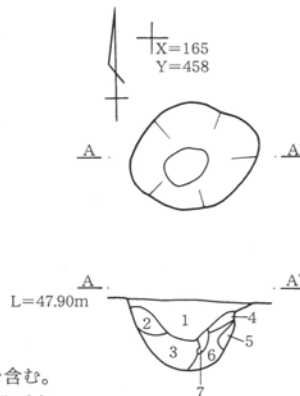
- 1 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。

224号ピット



- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

225号ピット

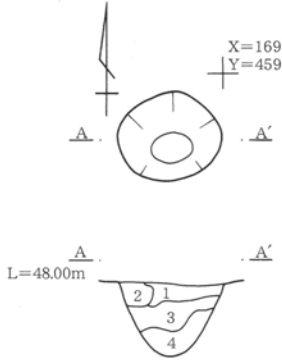


- 1 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：多量の暗褐色土小斑及び少量の黒色土小斑を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質壤土。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 4 黒褐色土：多量の暗赤褐色土斑を含む。
- 5 褐色土：洪水土ブロック。
- 6 黒褐色土：砂質壤土。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 7 攪乱：木の根。

0 1m

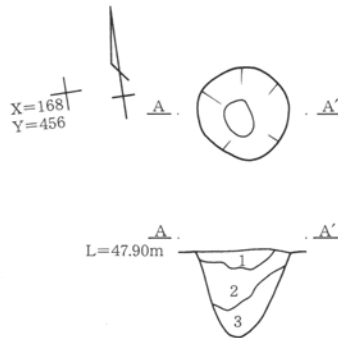
第308図 218・219・220・221・222・223・224・225号ピット

226号ピット



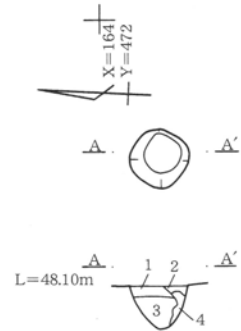
- 1 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：多量の暗褐色土小斑及び少量の黒色土小斑を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質埴壤土。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 4 黒褐色土：埴質砂土。少量の軽石 (As-C) を含む。

227号ピット



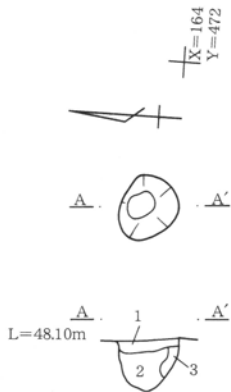
- 1 暗褐色土：暗オリーブ褐色土小斑及び少量の炭化物・軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質埴壤土。少量の軽石 (As-C) を含む。

228号ピット



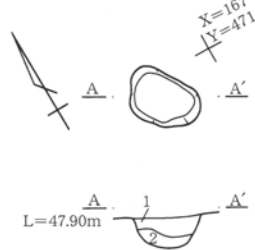
- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質埴壤土。
- 4 暗オリーブ褐色土：黒褐色土斑を含む。

229号ピット



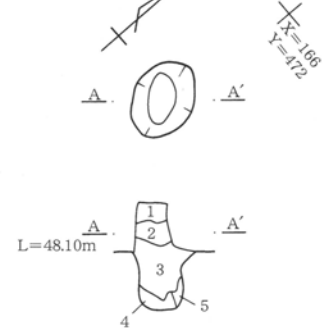
- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：暗褐色重埴土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 暗オリーブ褐色土：黒褐色土を含む。

230号ピット



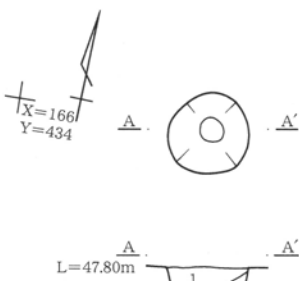
- 1 黒褐色土：暗褐色重埴土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：多量の暗褐色土小斑及び少量の黒色土小斑を含む。

231号ピット



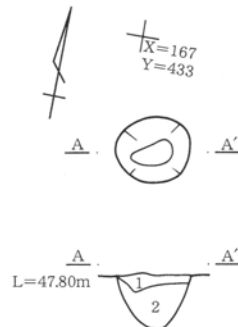
- 1 黒褐色土：やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：暗褐色重埴土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 4 黒褐色土：シルト質埴壤土。
- 5 オリーブ褐色土：黒褐色土斑を含む。

232号ピット



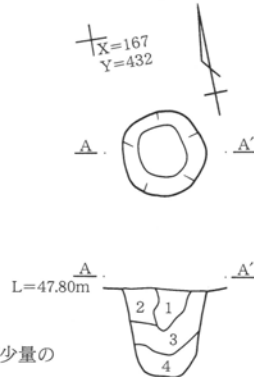
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

233号ピット



- 1 黒褐色土：軽石 (As-C) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

234号ピット



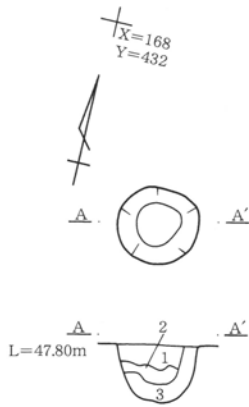
- 1 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) 及び少量の炭化物を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。
- 4 黒褐色土：混入物なし。

0 1 m

第309図 226・227・228・229・230・231・232・233・234号ピット

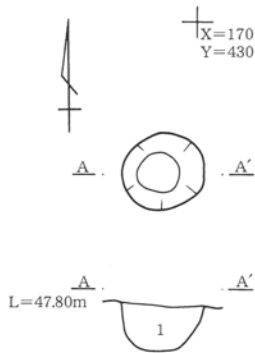
第II章 発見された遺構・遺物

235号ピット



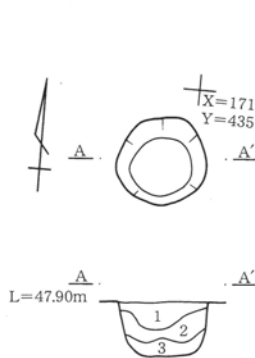
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

238号ピット



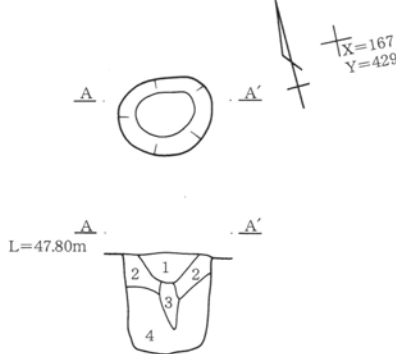
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

241号ピット



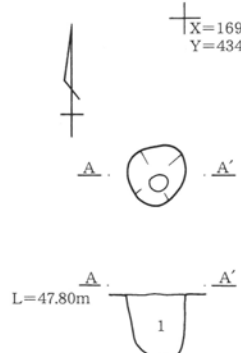
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

236号ピット



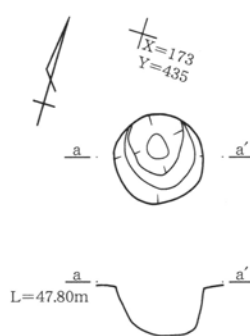
- 1 黒褐色土：やや多量の洪水土斑を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 3 黒褐色土：洪水土斑及び少量の炭化物を含む。
- 4 黒褐色土：混入物なし。

239号ピット

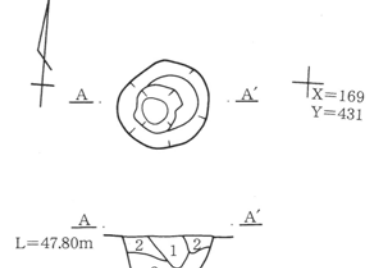


- 1 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

242号ピット

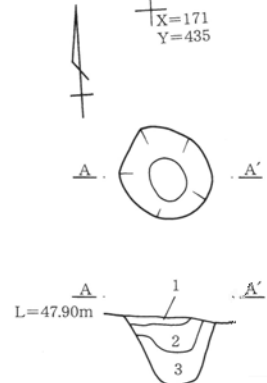


237号ピット



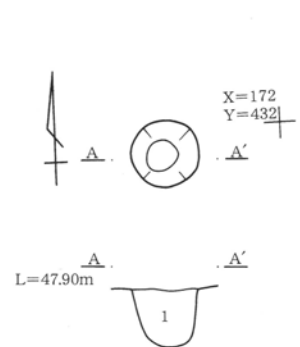
- 1 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

240号ピット



- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：混入物なし。

243号ピット

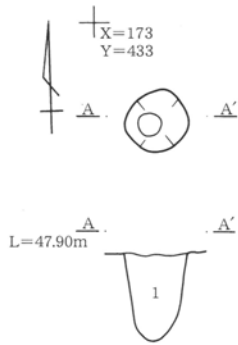


- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

0 1 m

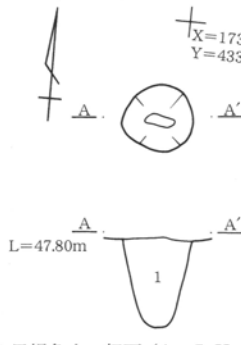
第310図 235・236・237・238・239・240・241・242・243号ピット

244号ピット



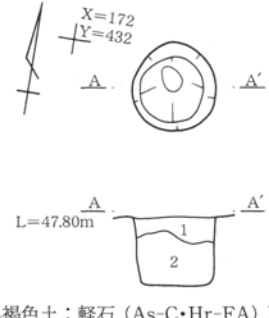
1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

245号ピット



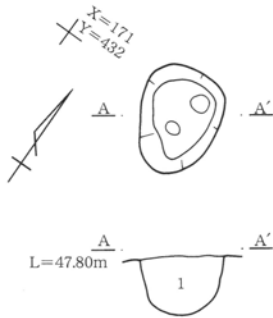
1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

246号ピット



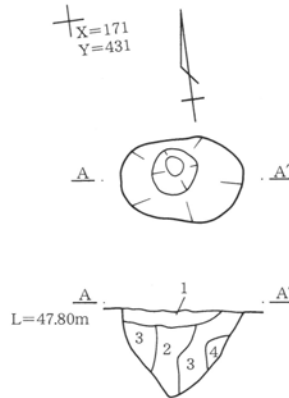
1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

247号ピット



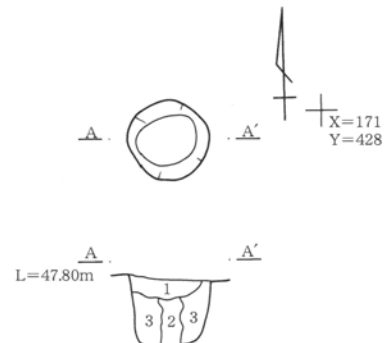
1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

248号ピット



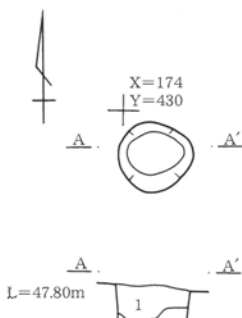
1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA)・炭化物を含む。
3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。
4 黄褐色土：ロームブロック。

249号ピット



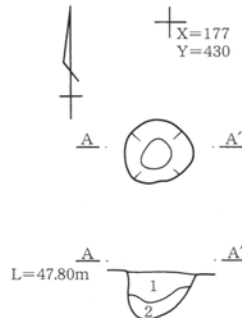
1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA)・炭化物を含む。
3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

250号ピット



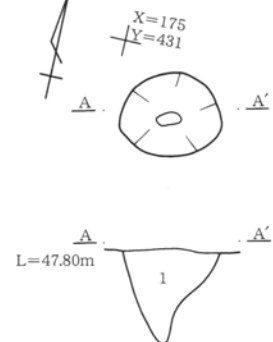
1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

251号ピット



1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

252号ピット



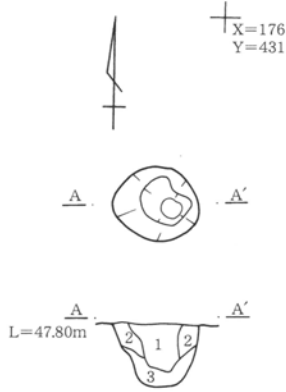
1 黒褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C) を含む。

第311図 244・245・246・247・248・249・250・251・252号ピット

0 1m

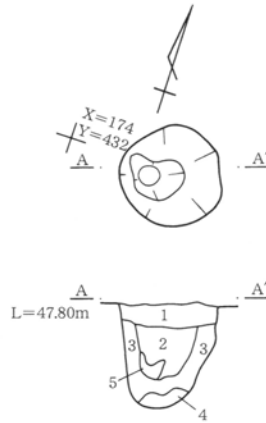
第II章 発見された遺構・遺物

253号ピット



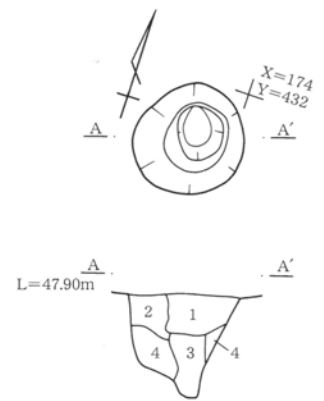
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) ・炭化物を含む。
- 3 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

254号ピット



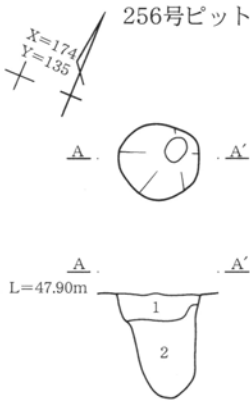
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：混入物少ない。
- 3 黒褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C) を含む。
- 4 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 5 攪乱

255号ピット



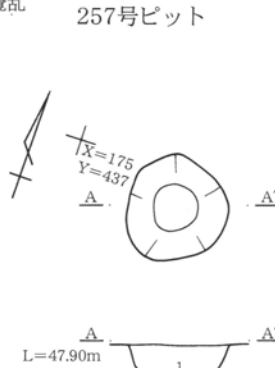
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) ・炭化物を含む。
- 4 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

256号ピット



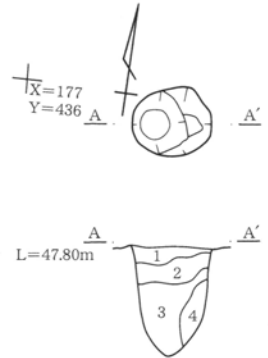
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

257号ピット



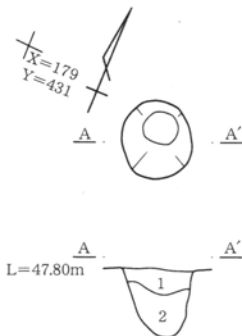
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

258号ピット



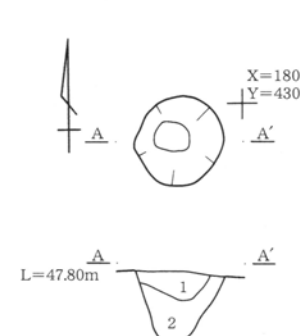
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C) を含む。
- 4 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

259号ピット



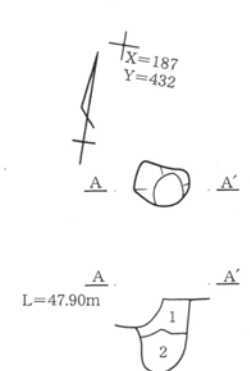
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

260号ピット



- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

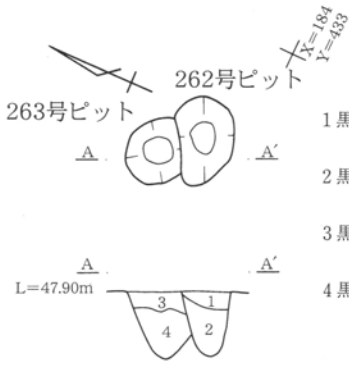
261号ピット



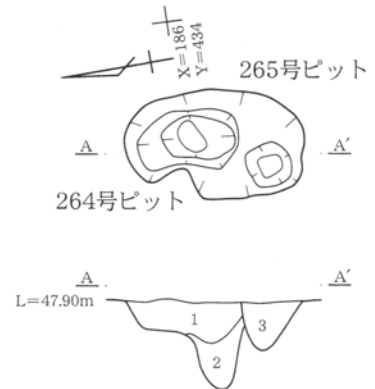
- 1 黒褐色土：炭化物粒子・ローム斑・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：多量の炭化物粒子及び軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



第312図 253・254・255・256・257・258・259・260・261号ピット

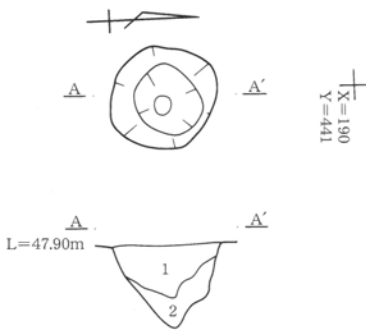


- 1 黒褐色土：焼土小ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(262号ピット)
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA)・洪水土斑及び少量の炭化物を含む。(262号ピット)
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の焼土粒子を含む。(263号ピット)
- 4 黒褐色土：炭化物及び少量の焼土粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(263号ピット)



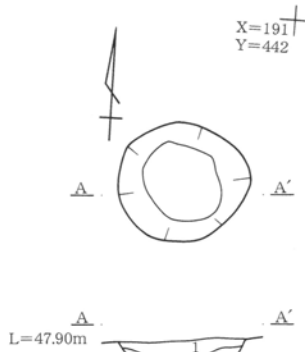
- 1 黒褐色土：焼土小ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(264号ピット)
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。(264号ピット)
- 3 黒褐色土：焼土小ブロック・炭化物・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(265号ピット)

266号ピット



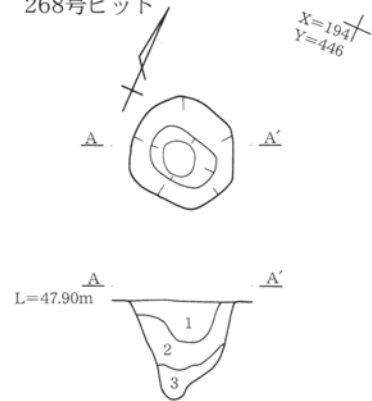
- 1 黒褐色土：焼土粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量のローム斑を含む。

267号ピット



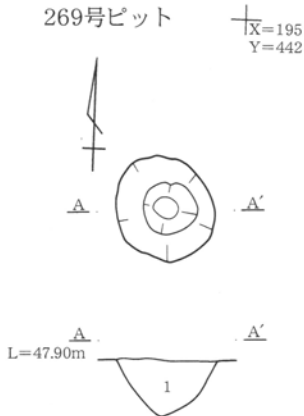
- 1 黒褐色土：炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：ローム漸移層の崩れ。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：ローム斑・軽石 (As-C) を含む。

268号ピット



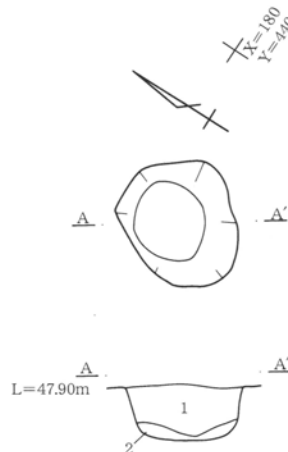
- 1 黒褐色土：焼土粒子・炭化物・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：炭化物・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 暗褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。

269号ピット



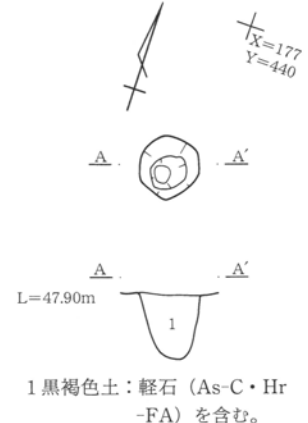
- 1 黒褐色土：多量の焼土粒子・炭化物及び軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

270号ピット



- 1 黒褐色土：炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：少量のローム斑を含む。

271号ピット



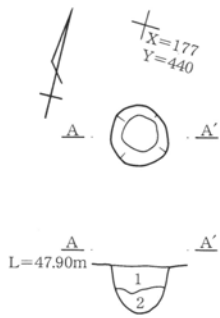
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

0 1m

第313図 262・263・264・265・266・267・268・269・270・271号ピット

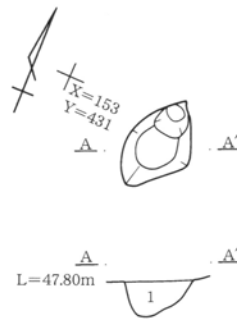
第II章 発見された遺構・遺物

272号ピット



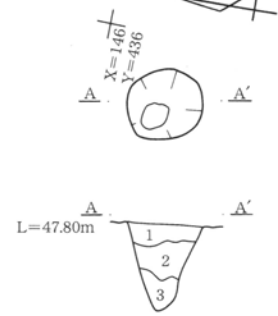
- 1 黒褐色土：炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

273号ピット



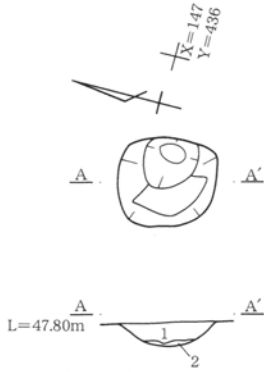
- 1 黒褐色土：焼土粒子・ローム小斑・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

274号ピット



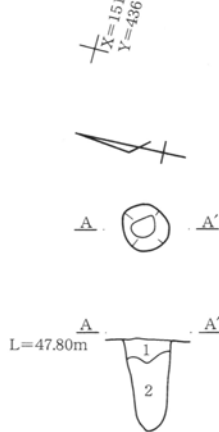
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：ローム小ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：多量のロームブロックを含む。

275号ピット



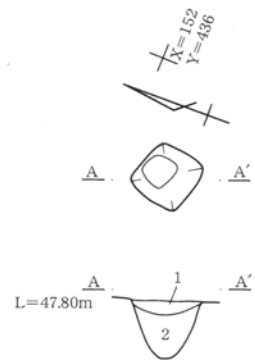
- 1 黒褐色土：多量の炭化物及び軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土とロームの混土。

276号ピット



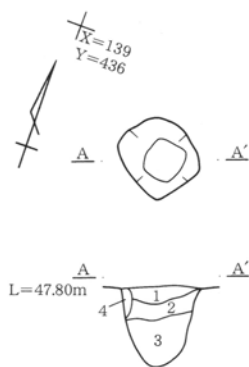
- 1 黒褐色土：軽色土。軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：ローム斑を含む。

277号ピット



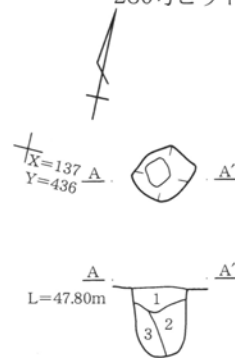
- 1 黒褐色土：砂質壤土。軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：ローム斑を含む。

279号ピット



- 1 黒褐色土：砂質壤土。焼土粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽色土。焼土粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 暗褐色土：ローム斑を含む。
- 4 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含み硬く締まる。

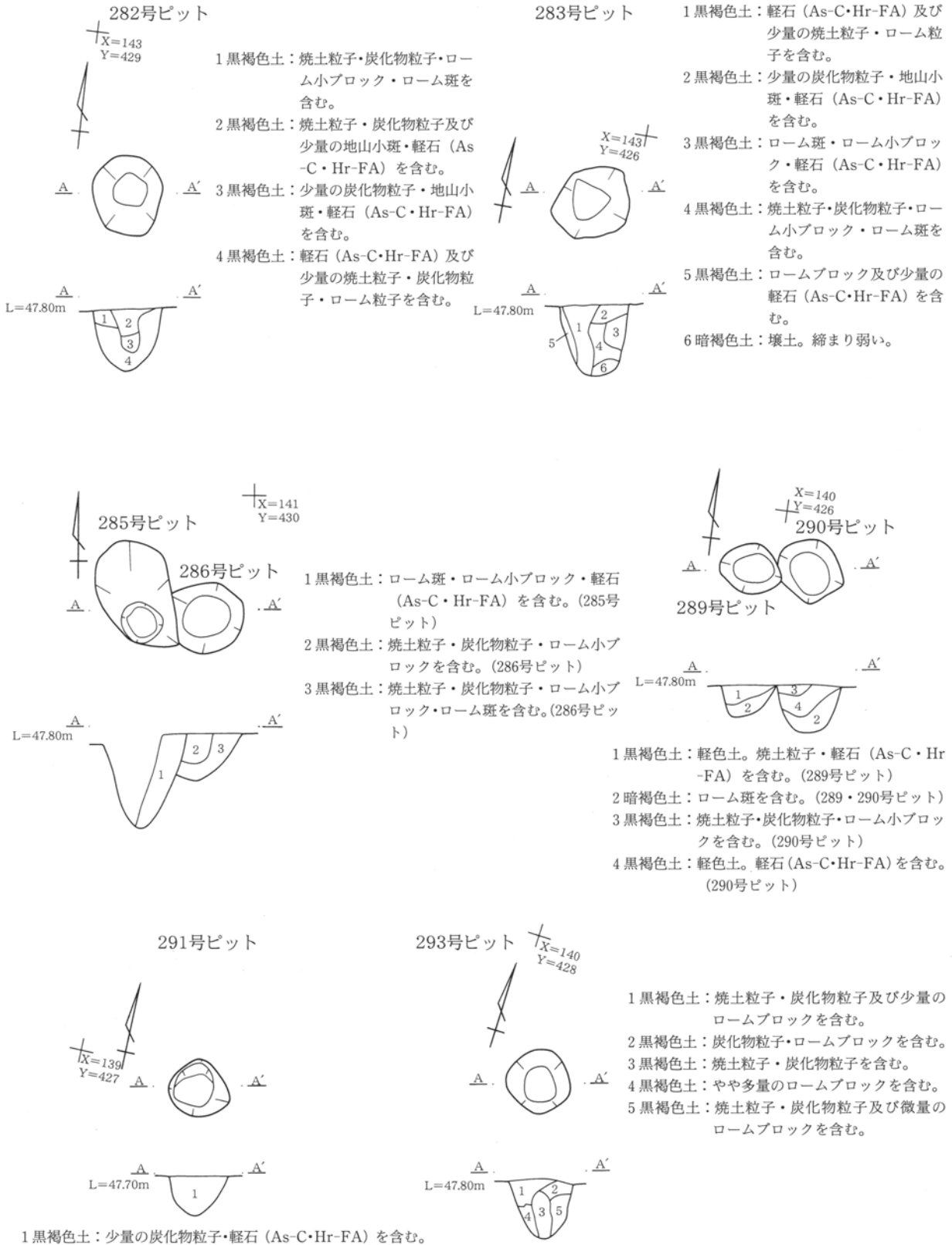
280号ピット



- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽色土。軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 暗褐色土：ローム斑を含む。

0 1 m

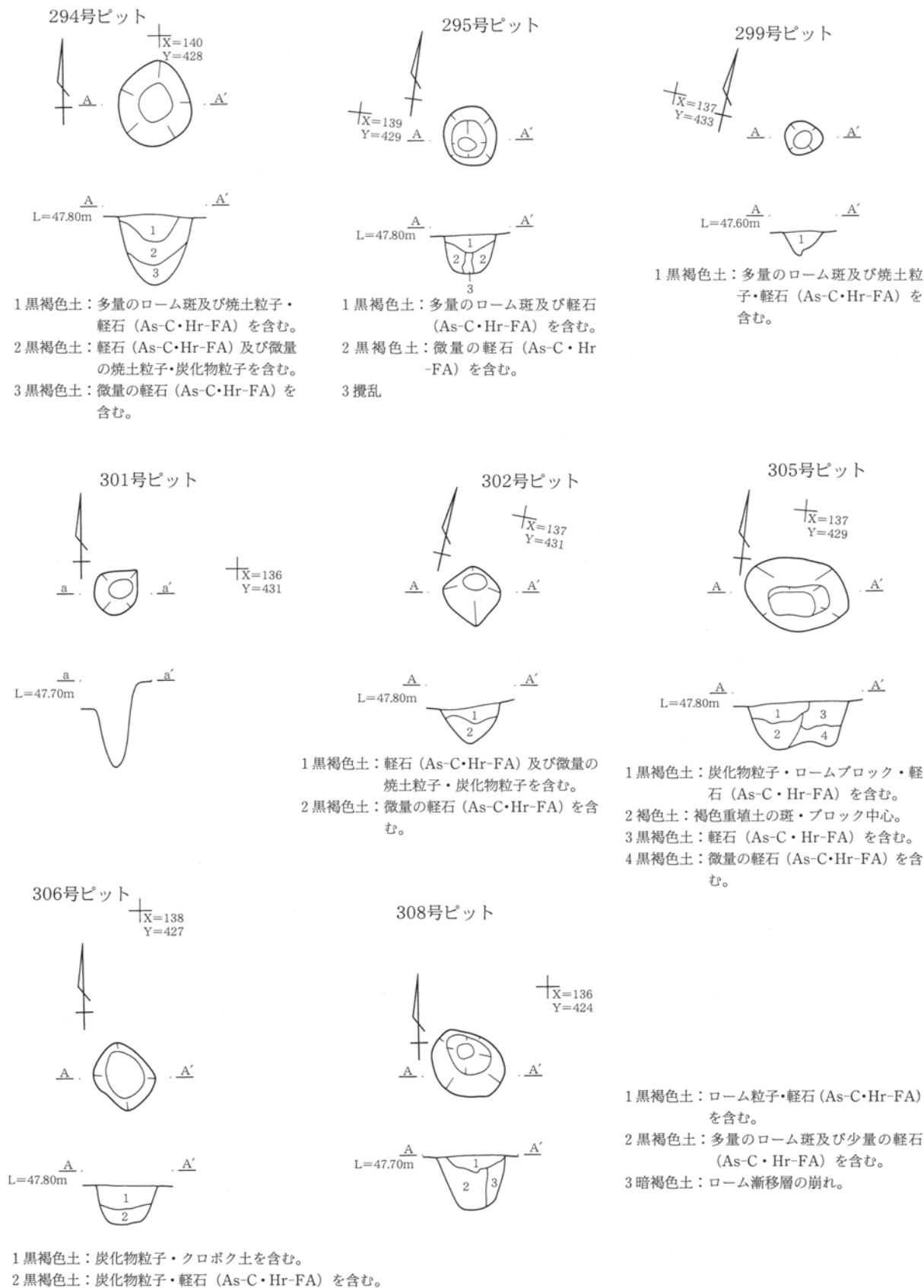
第314図 272・273・274・275・276・277・279・280号ピット



0 1m

第315図 282・283・285・286・289・290・291・293号ピット

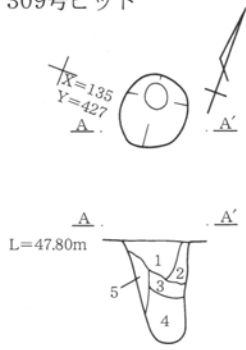
第II章 発見された遺構・遺物



0 1 m

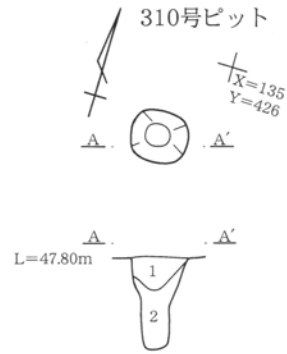
第316図 294・295・299・301・302・305・306・308号ピット

309号ピット



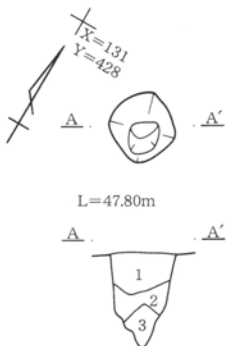
- 1 黒褐色土：ローム粒子及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の焼土粒子・炭化物粒子を含む。
- 4 黒褐色土：微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 5 暗褐色土：ローム漸移層の崩れ。

310号ピット



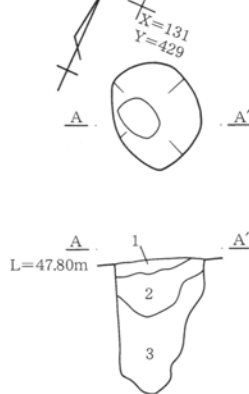
- 1 黒褐色土：洪水土粒子及び少量の炭化物粒子を含む。
- 2 黒褐色土：ローム粒子を含む。

311号ピット



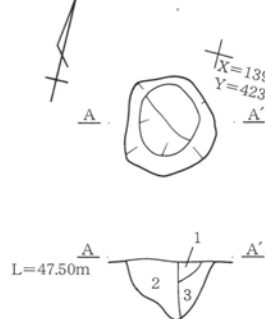
- 1 黒褐色土：洪水土起原の土。やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：粘質。洪水土起原の土。
- 3 黒褐色土：ローム粒子を含む。

312号ピット



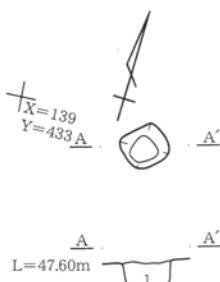
- 1 黒褐色土：洪水土起原の土。やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：粘質。洪水土起原の土。
- 3 黒褐色土：ローム粒子を含む。

314号ピット



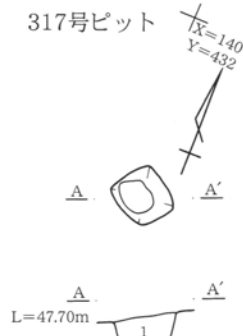
- 1 褐色土：ロームブロック。
- 2 黒褐色土：クロボク土主体。ローム斑・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：クロボク土主体。ローム斑を含む。

316号ピット



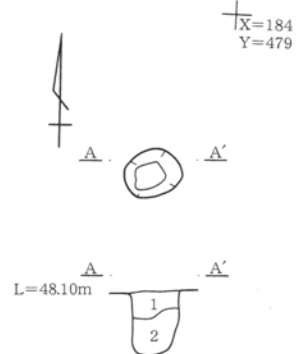
- 1 黒褐色土：粘質。洪水土起原の土。

317号ピット



- 1 黒褐色土：洪水土起原の土。やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：粘質。洪水土起原の土。

322号ピット

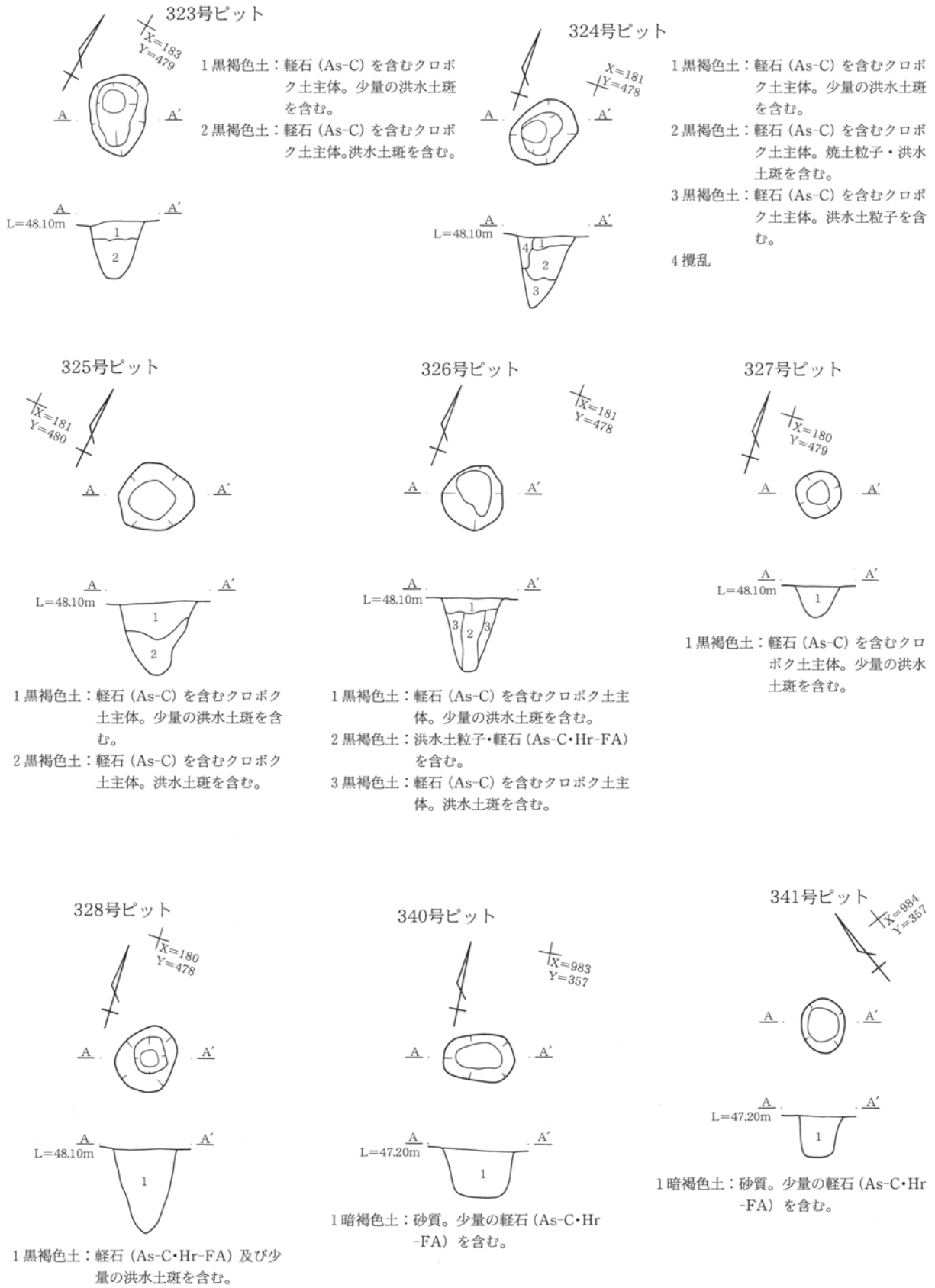


- 1 黒褐色土：軽石 (As-C) を含むクロボク土主体。少量の洪水土斑を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含むクロボク土主体。洪水土粒子を含む。

0 1m

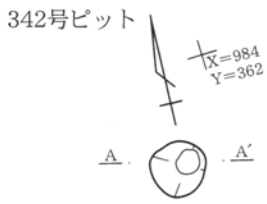
第317図 309・310・311・312・314・316・317・322号ピット

第II章 発見された遺構・遺物

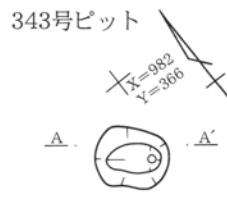


第318図 323・324・325・326・327・328・340・341号ピット

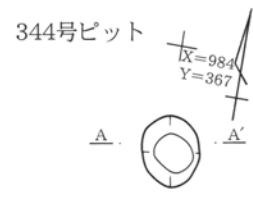
第6節 ピット



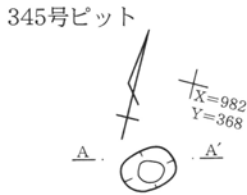
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



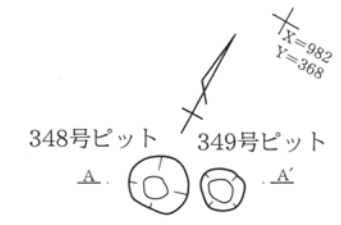
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



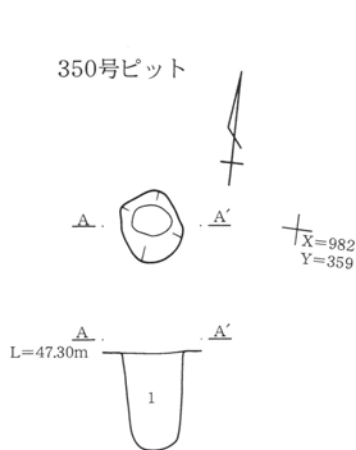
1 黒褐色土：砂質。少量の小礫を含む。



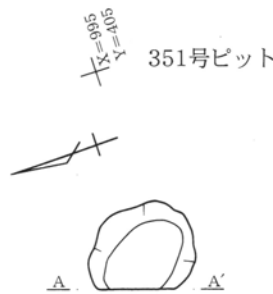
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(347号ピット)
2 黒褐色土：砂質。少量の小礫を含む。(346号ピット)



1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(348号ピット)
2 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(349号ピット)



1 黒褐色土：砂質。少量の小礫を含む。



1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

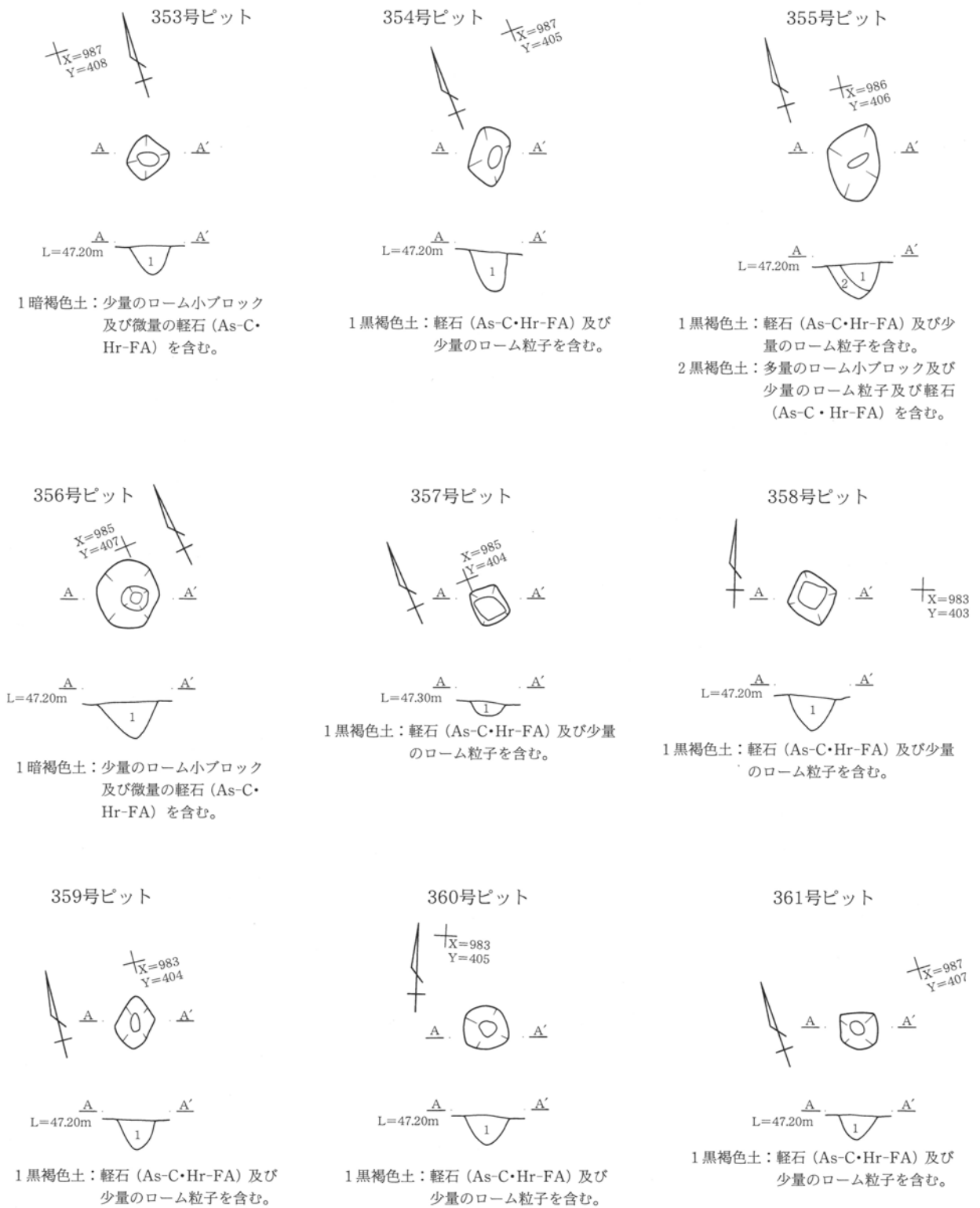


1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

0 1 m

第319図 342・343・344・345・346・347・348・349・350・351・352号ピット

第II章 発見された遺構・遺物

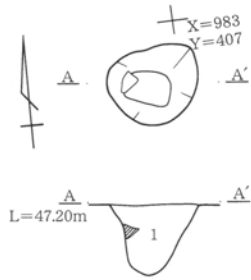


0 1m

第320図 353・354・355・356・357・358・359・360・361号ピット

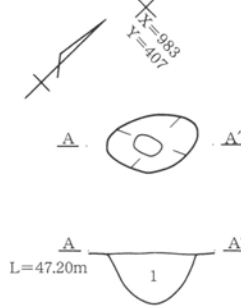
第6節 ピット

362号ピット



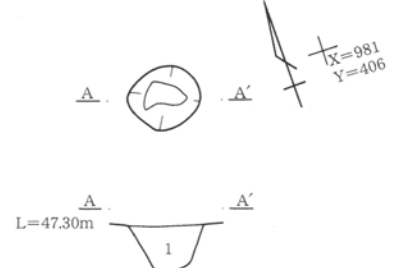
1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のローム粒子を含む。

363号ピット



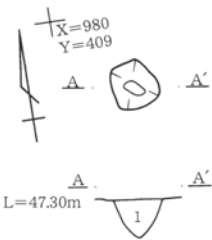
1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

364号ピット



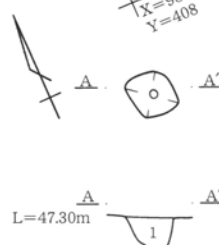
1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のローム粒子を含む。

365号ピット



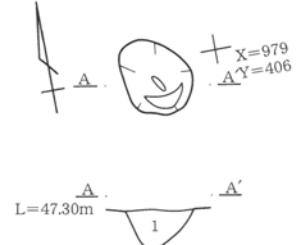
1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

366号ピット



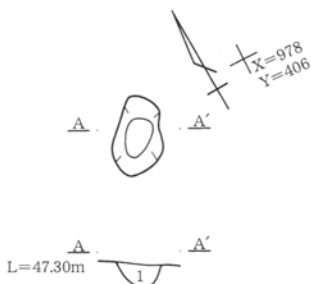
1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

367号ピット



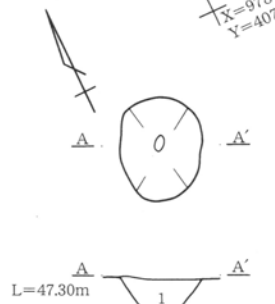
1 黒褐色土：やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のローム小ブロックを含む。

368号ピット



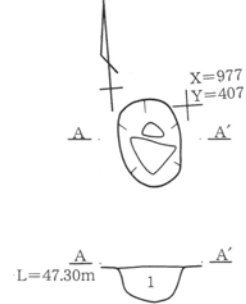
1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

369号ピット



1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

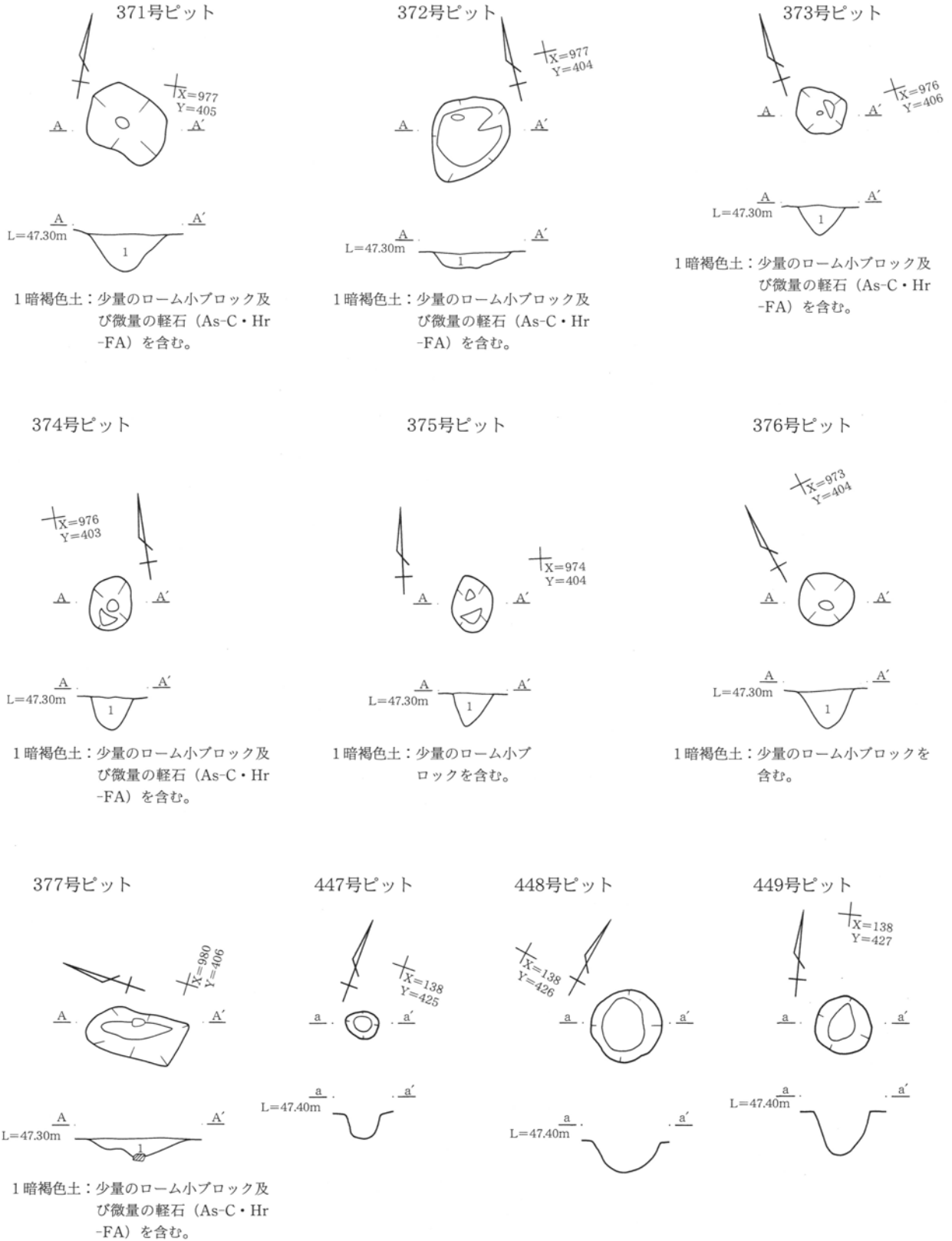
370号ピット



1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

0 1 m

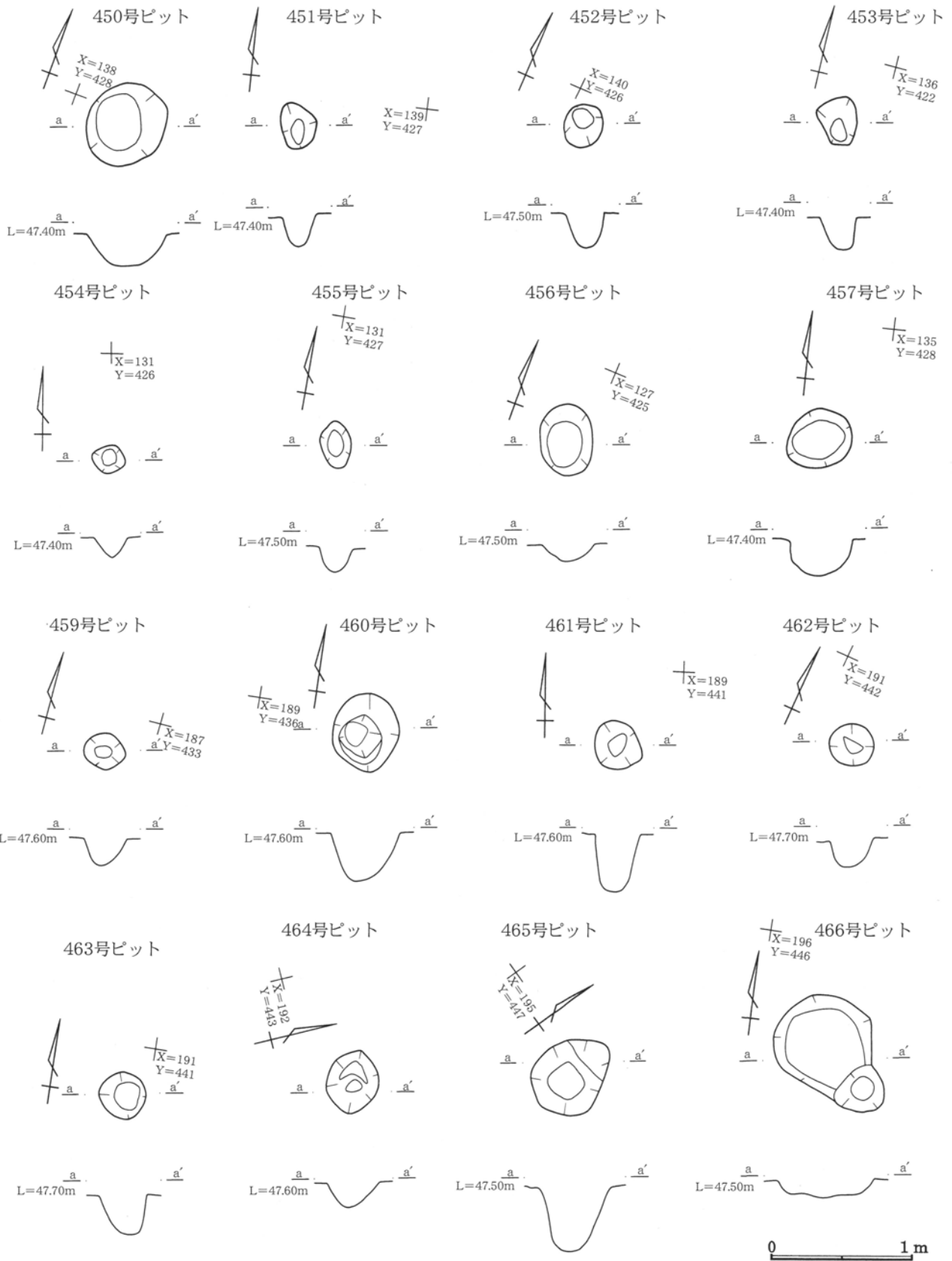
第II章 発見された遺構・遺物



0 1m

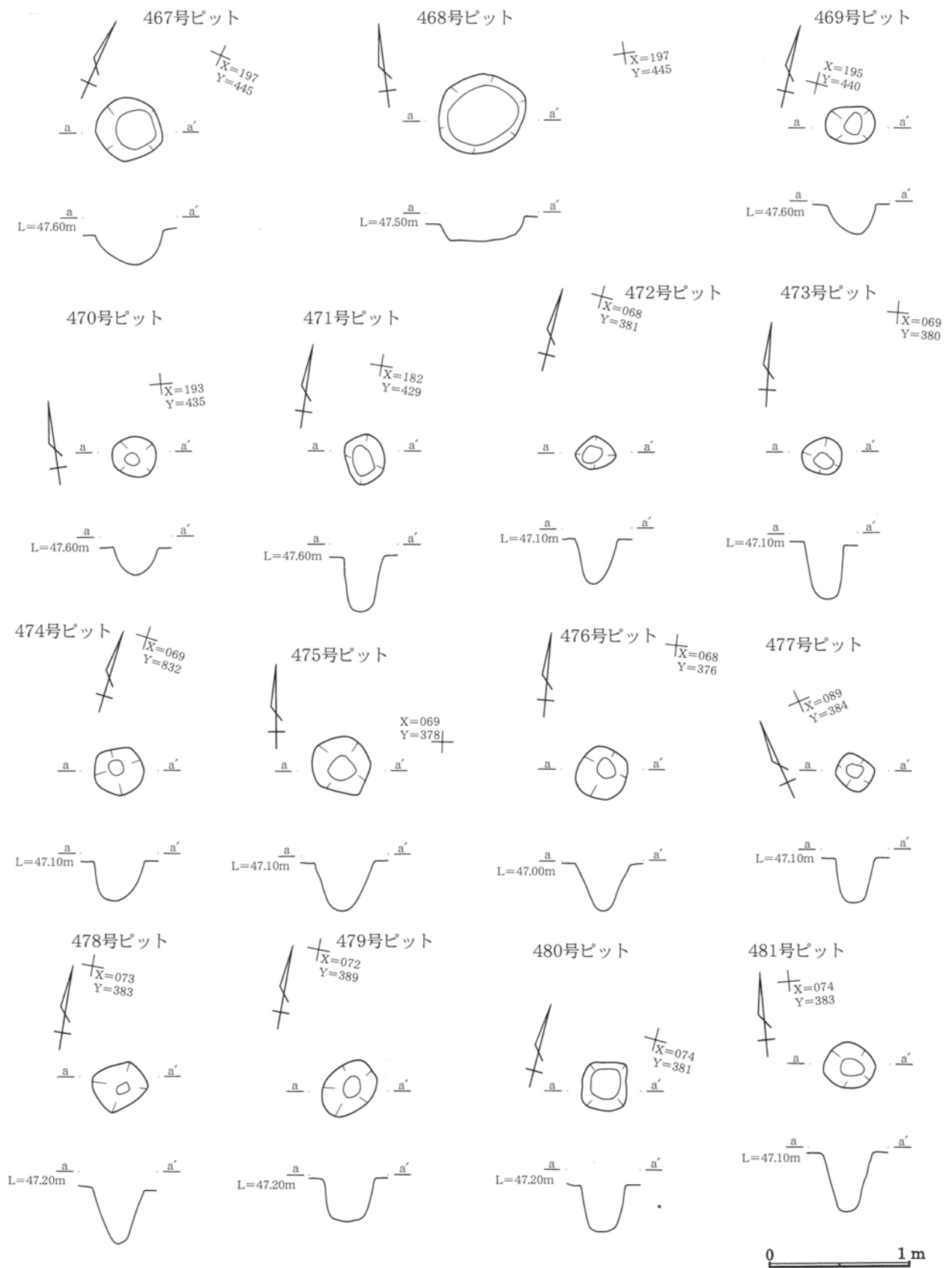
第322図 371・372・373・374・375・376・377・447・448・449号ピット

第6節 ピット



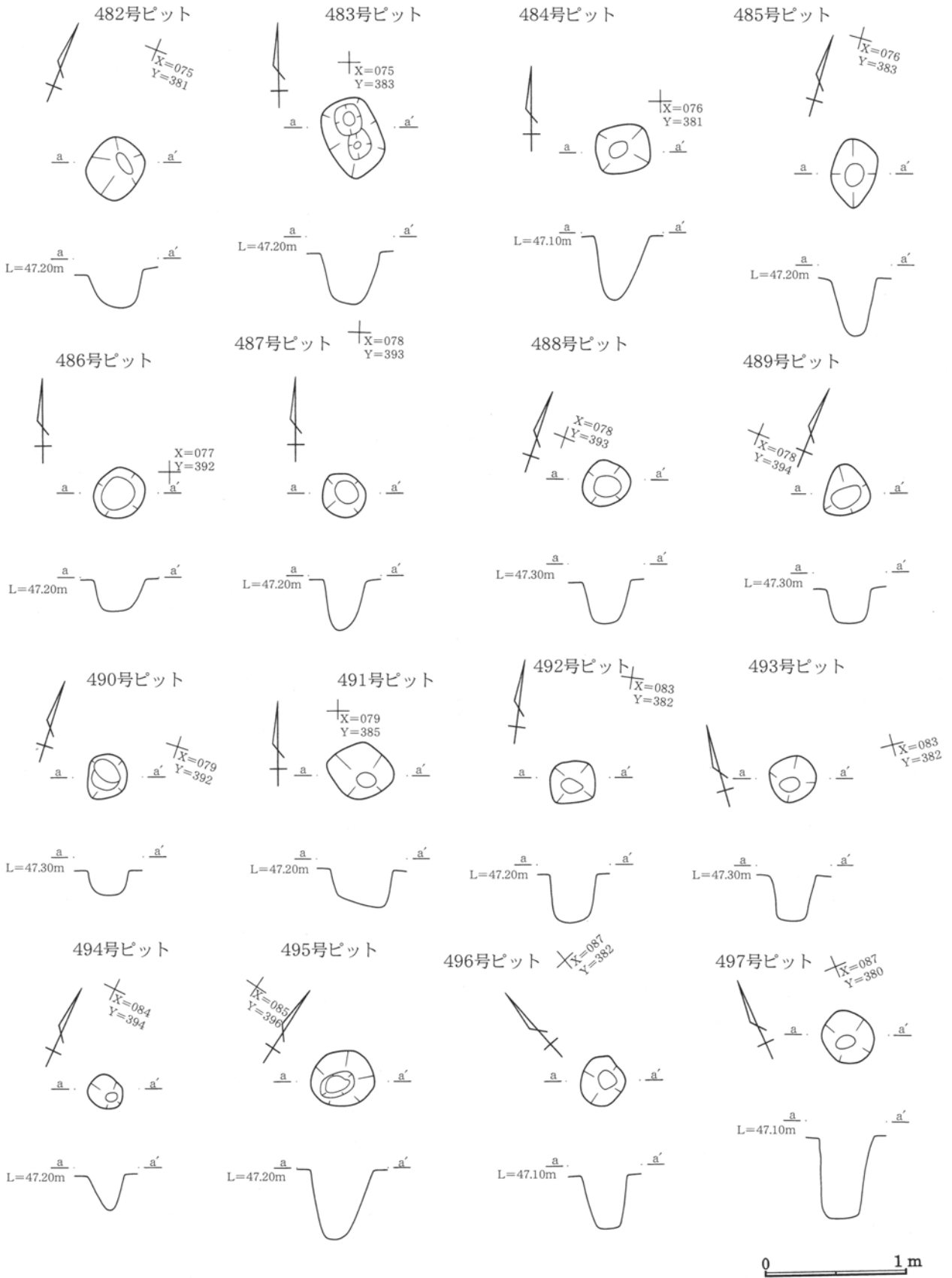
第323図 450・451・452・453・454・455・456・457・459・460・461・462・463・464・465・466号ピット

第II章 発見された遺構・遺物



第324図 467・468・469・470・471・472・473・474・475・476・477・478・479・480・481号ピット

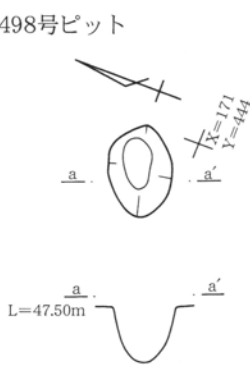
第6節 ピット



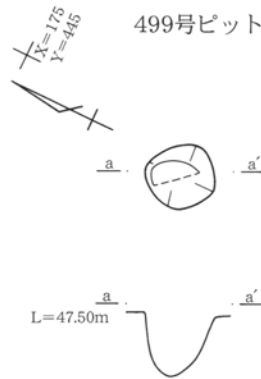
第325図 482・483・484・485・486・487・488・489・490・491・492・493・494・495・496・497号ピット

第II章 発見された遺構・遺物

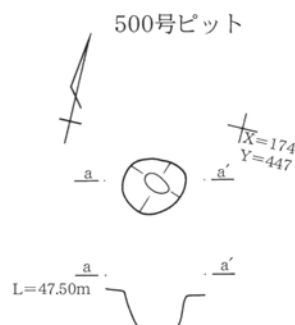
498号ピット



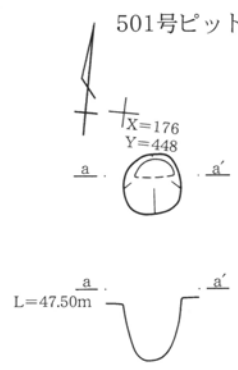
499号ピット



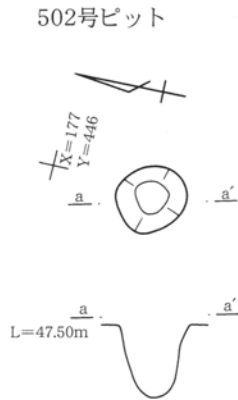
500号ピット



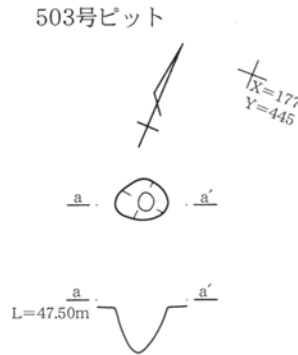
501号ピット



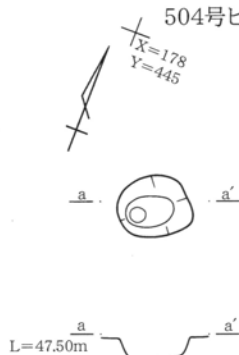
502号ピット



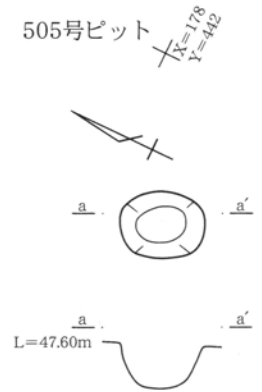
503号ピット



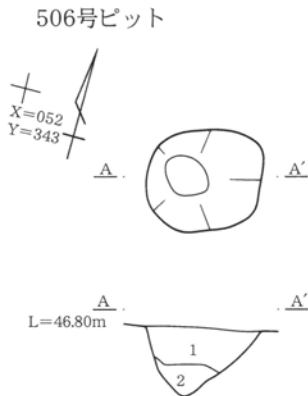
504号ピット



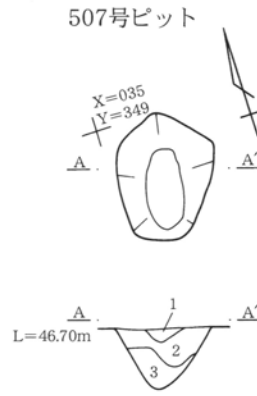
505号ピット



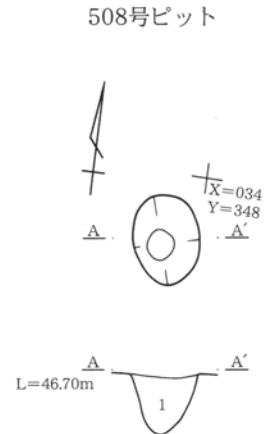
506号ピット



507号ピット



508号ピット



1 黒褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黄褐色土を含む。
2 黒褐色土と黄褐色土の混土。

1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 黒褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黄褐色土を含む。
3 黒褐色土と黄褐色土の混土。

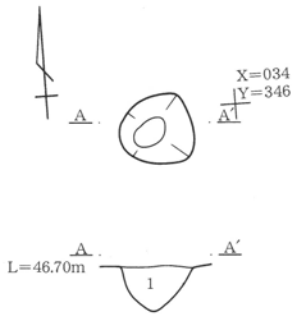
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。



第326図 498・499・500・501・502・503・504・505・506・507・508号ピット

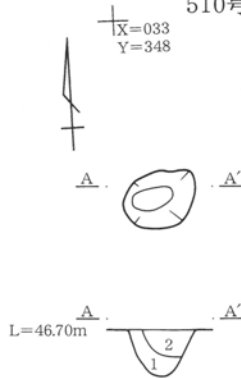
第6節 ピット

509号ピット



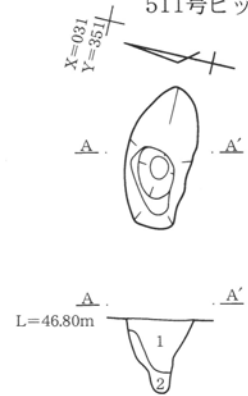
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

510号ピット



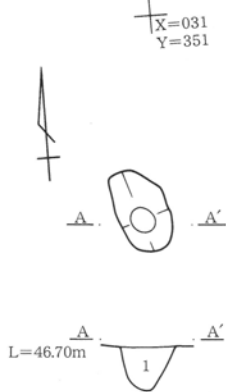
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。

511号ピット



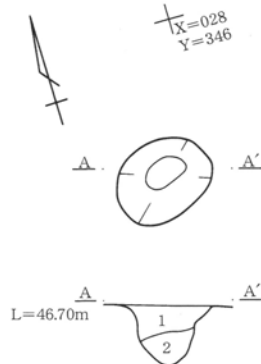
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

512号ピット



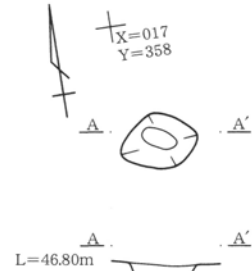
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

513号ピット



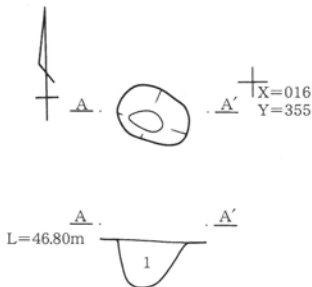
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

514号ピット



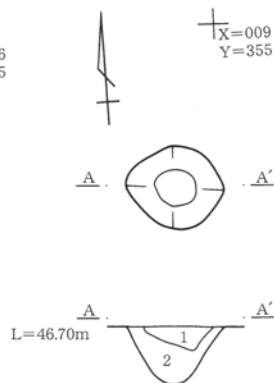
1 黒褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黄褐色土を含む。

515号ピット



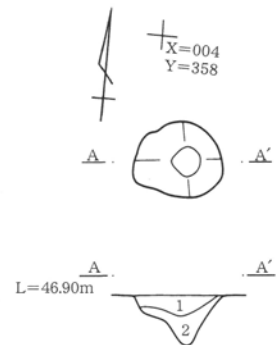
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

516号ピット



1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

517号ピット

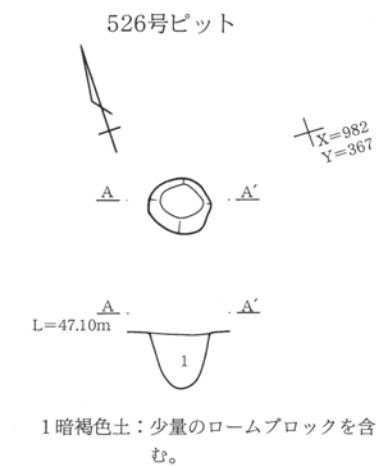
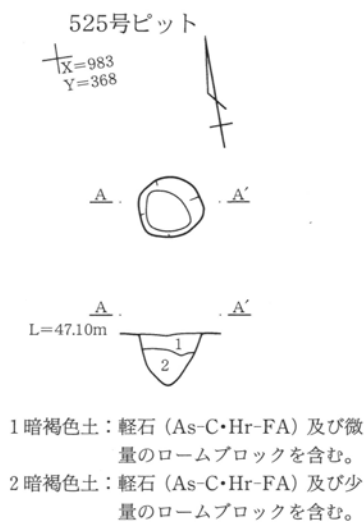
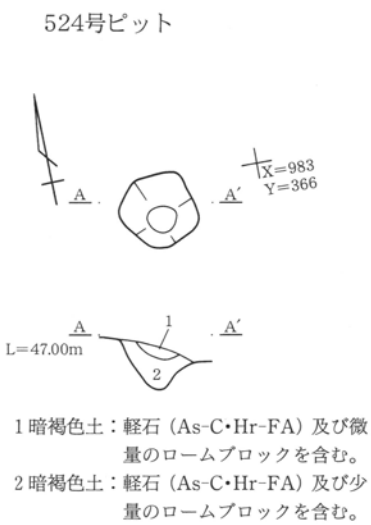
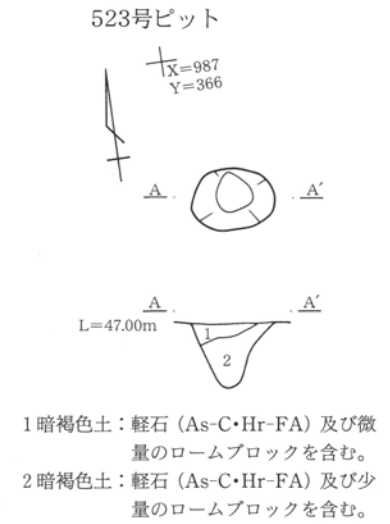
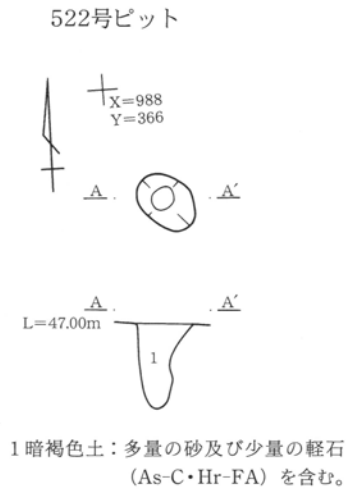
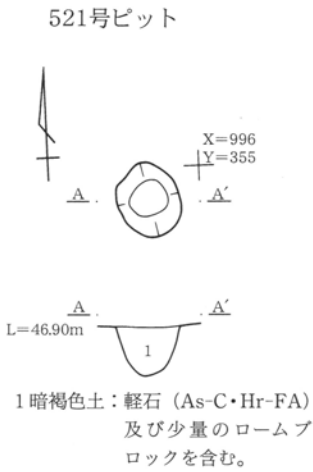
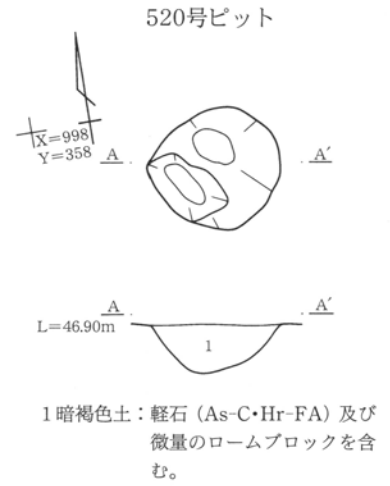
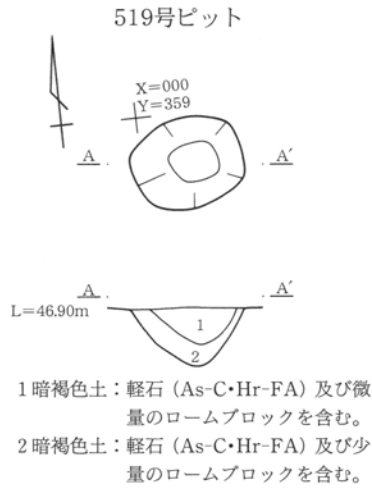
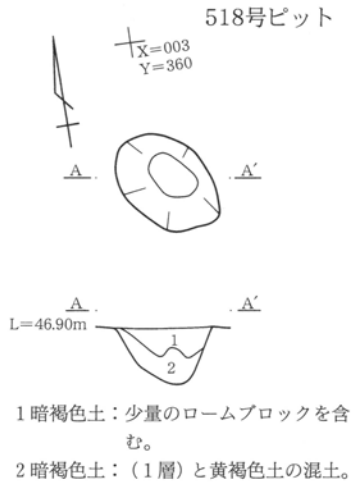


1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

0 1 m

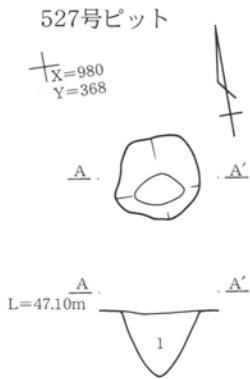
第327図 509・510・511・512・513・514・515・516・517号ピット

第II章 発見された遺構・遺物

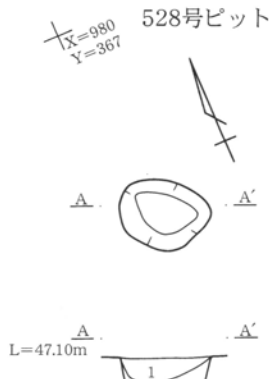


0 1 m

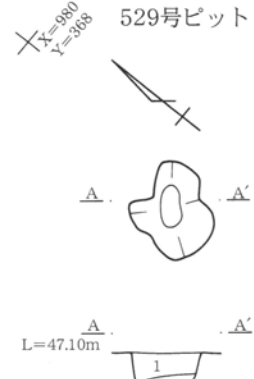
第328図 518・519・520・521・522・523・524・525・526号ピット



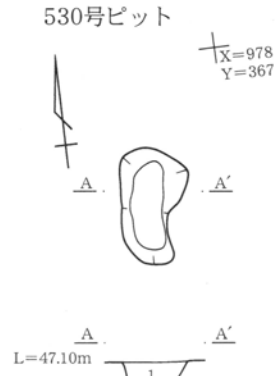
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。



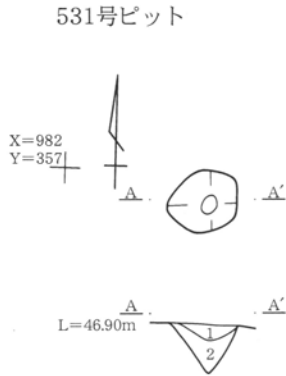
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。



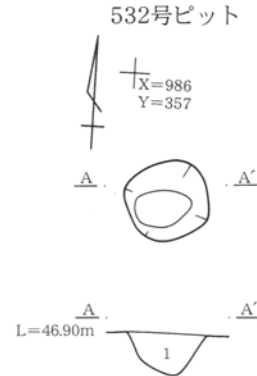
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。



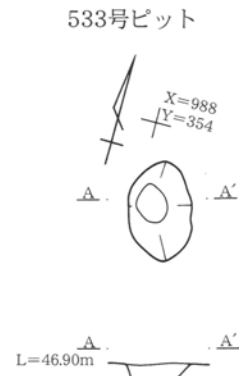
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。



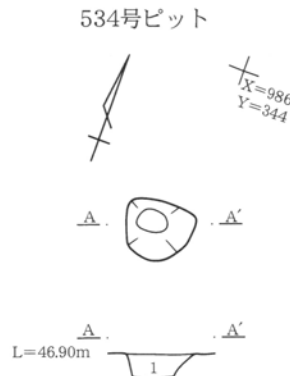
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。



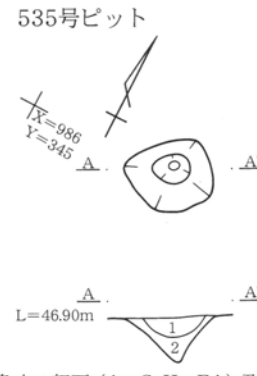
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。



1 少量のロームブロックを含む暗褐色土と黄褐色土の混土。



1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

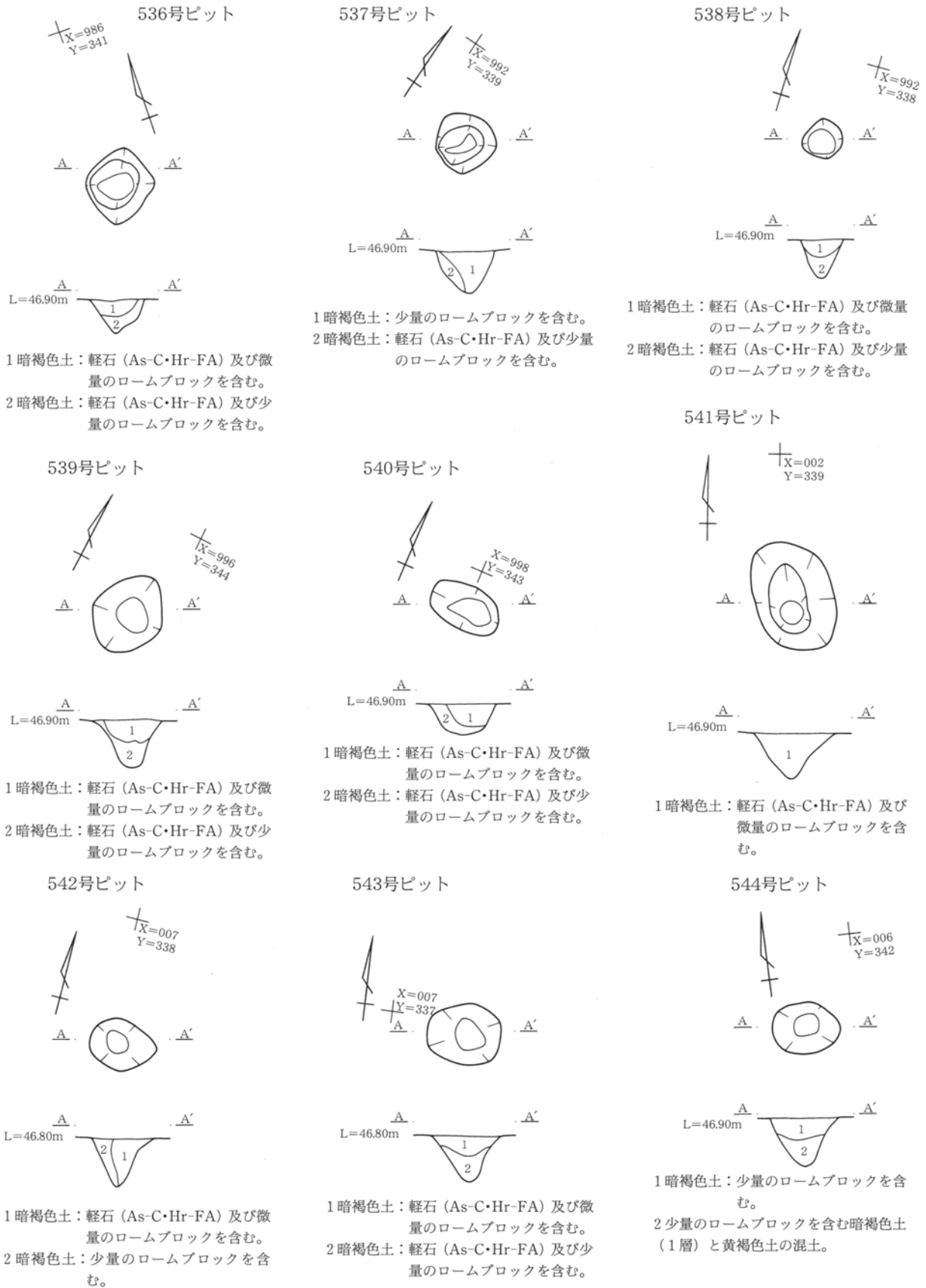


1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。



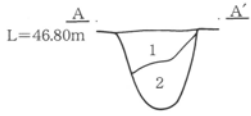
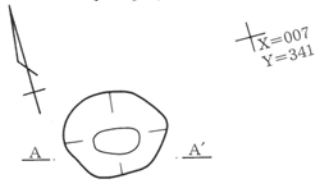
第329図 527・528・529・530・531・532・533・534・535号ピット

第II章 発見された遺構・遺物



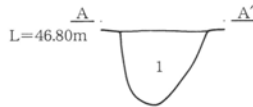
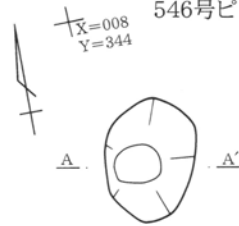
第330図 536・537・538・539・540・541・542・543・544号ピット

545号ピット



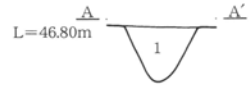
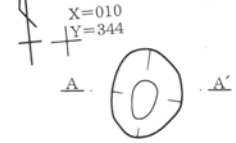
1 暗褐色土：少量のロームブロックを含む。
2 少量のロームブロックを含む暗褐色土（1層）と黄褐色土の混土。

546号ピット



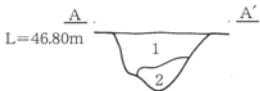
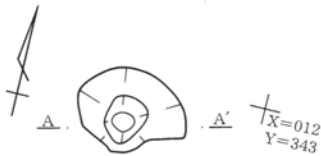
1 暗褐色土：少量のロームブロックを含む。

547号ピット



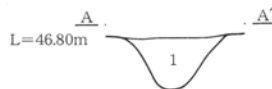
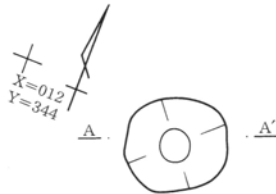
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。

548号ピット



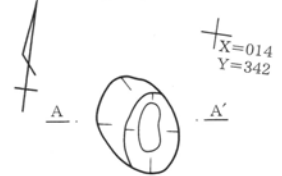
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。
2 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

549号ピット



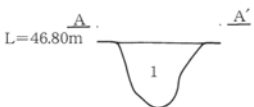
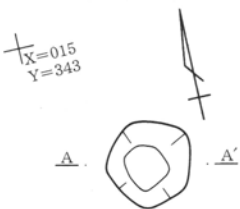
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。

550号ピット



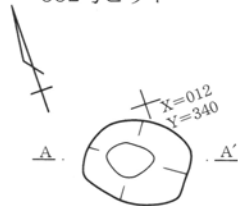
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

551号ピット



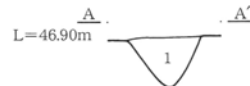
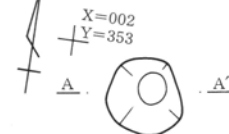
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

552号ピット



1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。

553号ピット



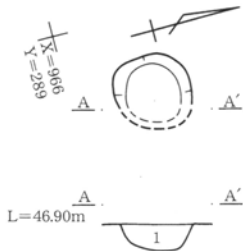
1 暗褐色土：少量のロームブロックを含む。



第331図 545・546・547・548・549・550・551・552・553号ピット

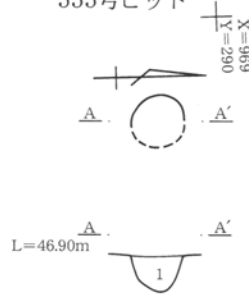
第II章 発見された遺構・遺物

554号ピット



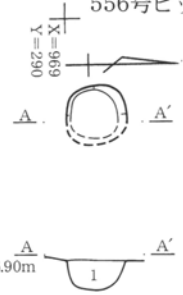
1 褐灰色砂質土：微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

555号ピット



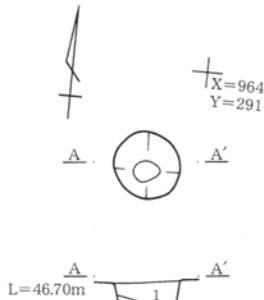
1 暗灰色砂質土：やや多量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。

556号ピット



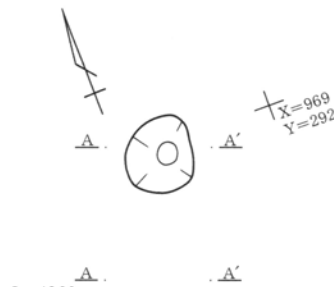
1 暗灰色砂質土：やや多量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。

557号ピット



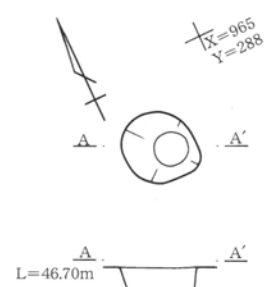
1 灰褐色土：少量の洪水砂を含む。
2 灰褐色土：多量の洪水シルト土を含む。

558号ピット



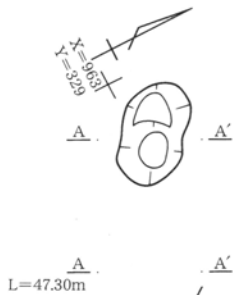
1 暗褐色土：多量の洪水シルト土ブロック及び少量の炭化物を含む。
2 褐色土：少量の洪水シルト土ブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

559号ピット



1 灰褐色土：少量の洪水砂を含む。
2 灰褐色土：多量の洪水シルト土を含む。

560号ピット



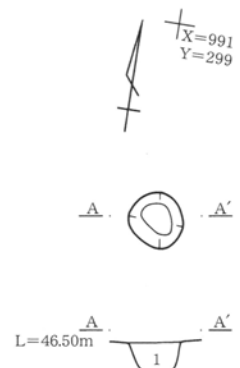
1 灰褐色砂質土：洪水砂主体。
2 暗褐色砂質土：少量の洪水砂・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

561号ピット



1 灰褐色砂質土：少量の焼土粒子・暗褐色土ブロック及び微量の炭化物・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 灰褐色砂質土：やや多量の暗褐色土ブロックを含む。

562号ピット



1 暗灰黄色土：洪水砂主体。少量の暗褐色土ブロックを含む。

0 1 m

第332図 554・555・556・557・558・559・560・561・562号ピット

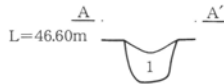
第6節 ピット

563号ピット



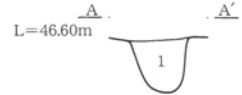
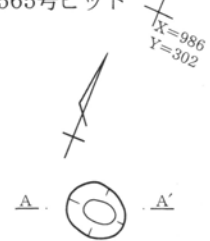
1 灰黄色土：多量の洪水砂を含む。

564号ピット



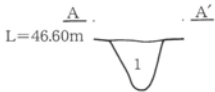
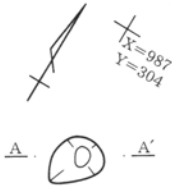
1 暗灰黄色土：洪水砂主体。

565号ピット



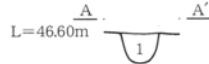
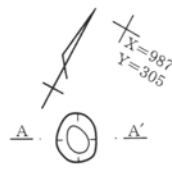
1 暗灰黄色土：やや多量の洪水砂・暗褐色土ブロックを含む。

566号ピット



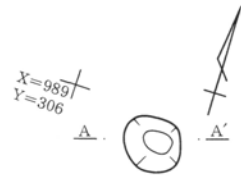
1 暗灰黄色土：やや多量の洪水砂・暗褐色土ブロックを含む。

567号ピット



1 灰褐色土：少量の洪水砂・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

568号ピット



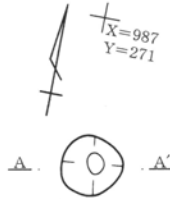
1 灰褐色土：多量の焼土ブロックを含む。

569号ピット



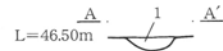
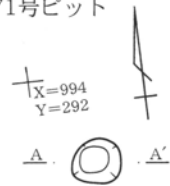
1 灰褐色土：やや多量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。

570号ピット



1 黒褐色土：やや粘質。微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

571号ピット

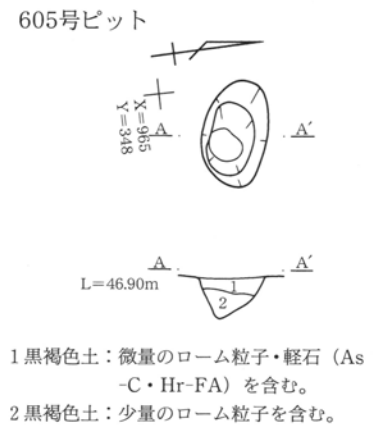
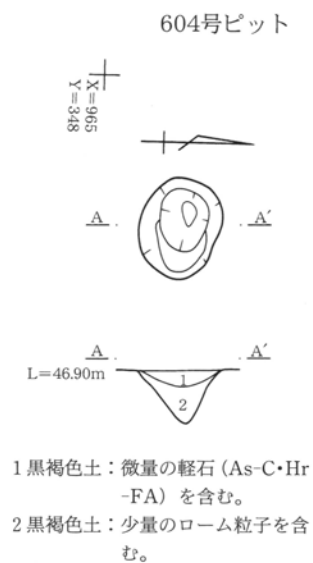
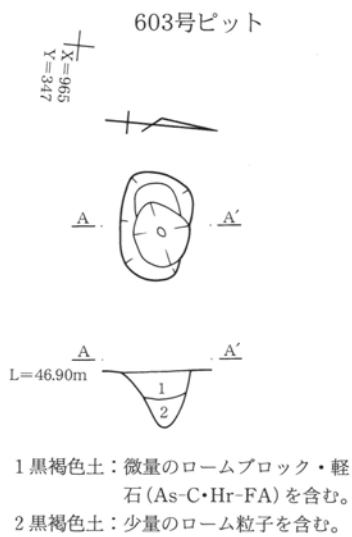
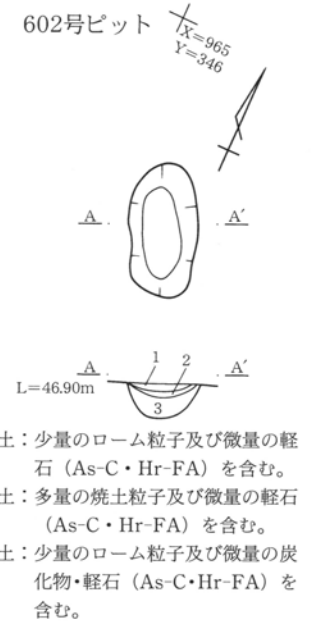
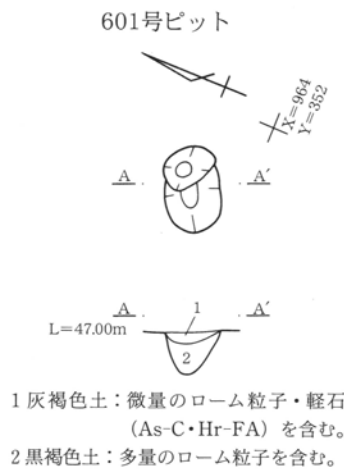
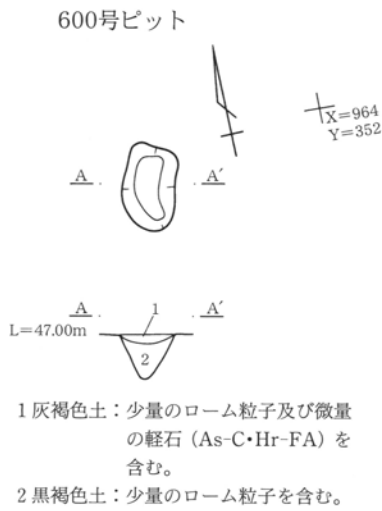
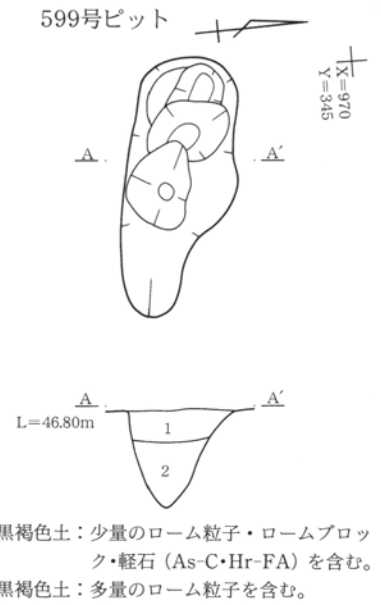
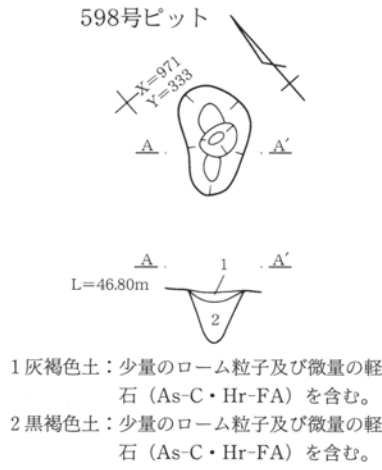
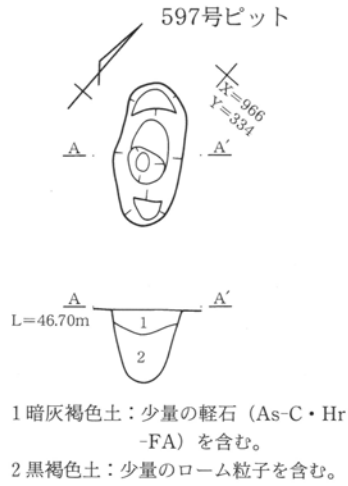


1 褐色土：少量の暗褐色土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

0 1 m

第333図 563・564・565・566・567・568・569・570・571号ピット

第II章 発見された遺構・遺物

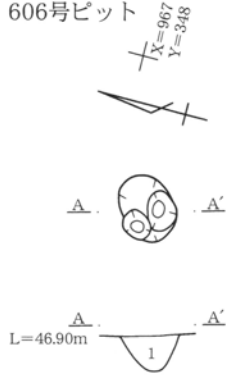


0 1 m

第334図 597・598・599・600・601・602・603・604・605号ピット

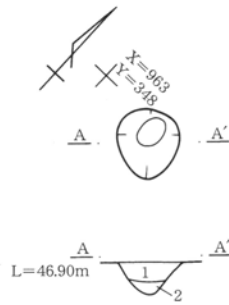
第6節 ピット

606号ピット



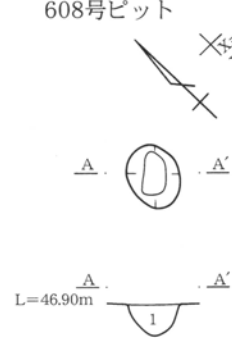
1 黒褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

607号ピット



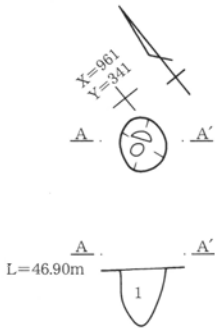
1 黒褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 黒褐色土：少量のローム粒子を含む。

608号ピット

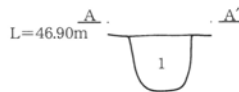


1 黒褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

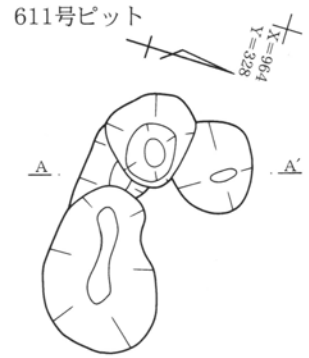
609号ピット



1 黄褐色土：多量のロームブロックを含む。

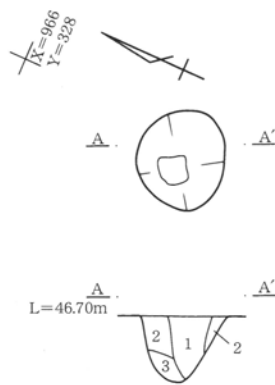


1 黒褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



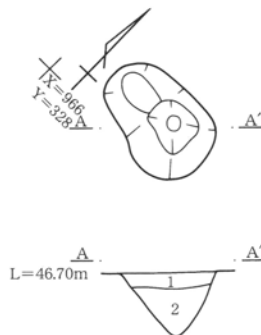
1 黒褐色土：少量のローム粒子を含む。
2 黒褐色土：少量のロームブロックを含む。
3 黒褐色土：多量のローム粒子を含む。

612号ピット



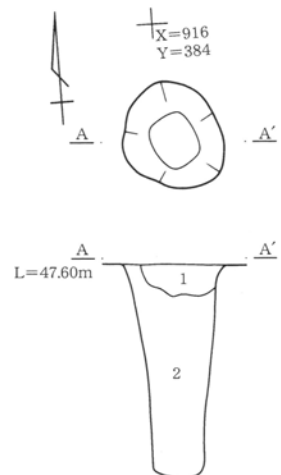
1 黒褐色土：少量のロームブロックを含む。
2 黄褐色土：汚れたローム。
3 黄褐色土：ロームブロック主体。

613号ピット



1 黒褐色土：微量のローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 黒褐色土：少量のローム粒子を含む。

623号ピット

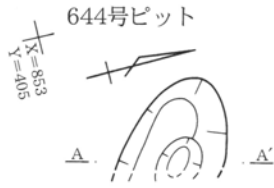


1 灰褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 黒褐色土：微量のローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

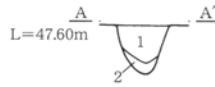
0 1m

第335図 606・607・608・609・610・611・612・613・623号ピット

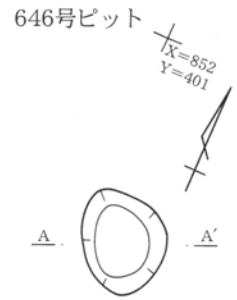
第II章 発見された遺構・遺物



- 1 暗褐色土：微量の小礫を含む。
- 2 黒褐色土：少量のローム粒子を含む。
- 3 黒褐色土：礫及び少量のローム粒子を含む。

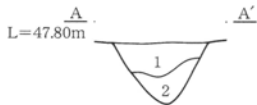
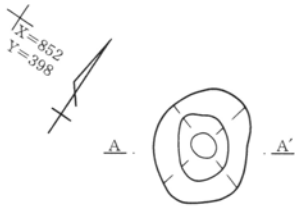


- 1 暗褐色土
- 2 黄褐色土：やや多量のロームブロックを含む。



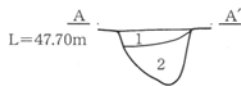
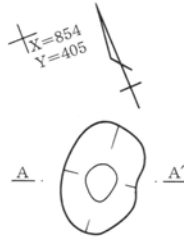
- 1 暗褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：少量のローム粒子を含む。

647号ピット



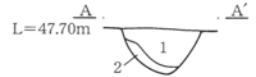
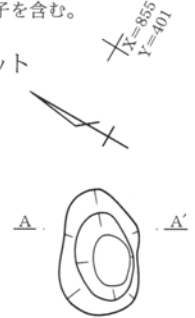
- 1 暗褐色土：微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。

648号ピット



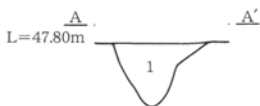
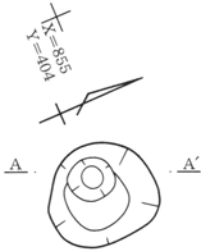
- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土：少量のロームブロックを含む。

649号ピット



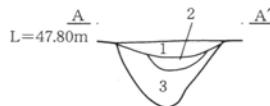
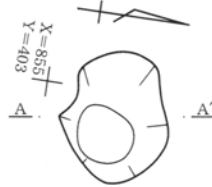
- 1 暗灰褐色土
- 2 黄褐色土：多量のロームブロックを含む。

650号ピット



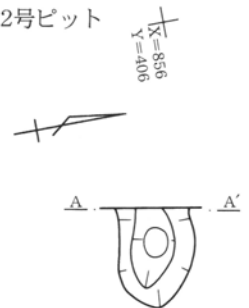
- 1 暗灰褐色土

651号ピット



- 1 暗灰褐色土：微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗灰褐色土
- 3 暗灰褐色土：少量のロームブロックを含む。

652号ピット

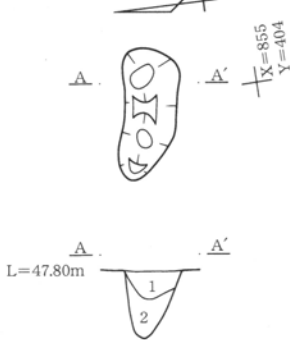


- 1 暗褐色土：少量のローム粒子を含む。

0 1 m

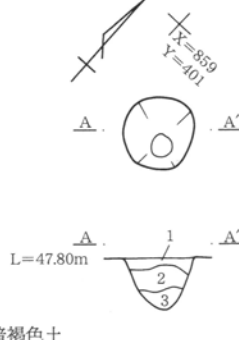
第336図 644・645・646・647・648・649・650・651・652号ピット

653号ピット



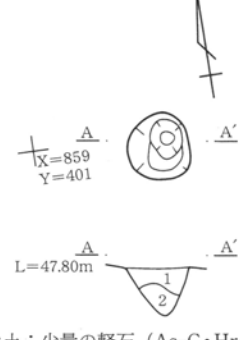
- 1 黒褐色土：微量のローム粒子を含む。
- 2 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

654号ピット



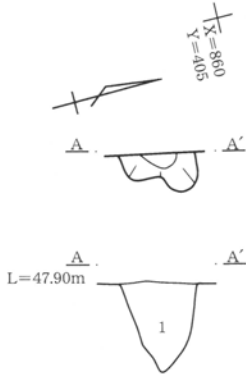
- 1 暗褐色土
- 2 黒褐色土：少量の暗褐色土を含む。
- 3 黄褐色土：やや多量のローム粒子を含む。

655号ピット



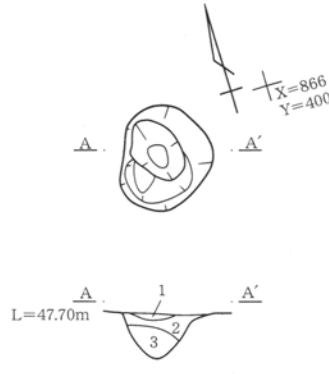
- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：少量のローム粒子を含む。

656号ピット



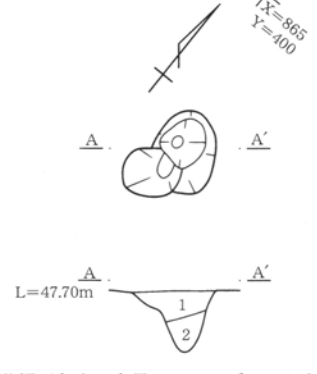
- 1 暗褐色土：少量の小礫・ローム粒子を含む。

657号ピット



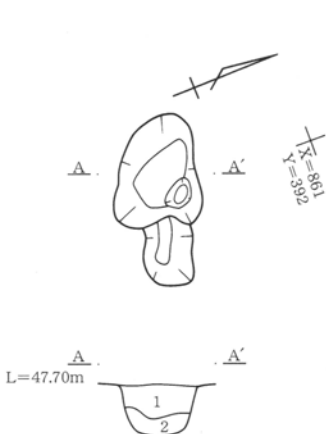
- 1 灰褐色土：少量のローム粒子を含む。
- 2 黄褐色土：多量のローム粒子を含む。
- 3 黄褐色土：やや多量のローム粒子を含む。

658号ピット



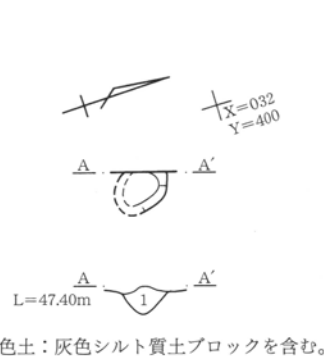
- 1 黄褐色土：多量のロームブロックを含む。
- 2 褐色土：少量のローム粒子を含む。

659号ピット



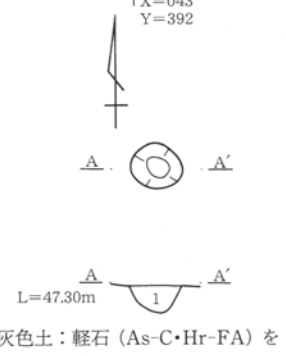
- 1 暗褐色土：少量のロームブロック及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黄褐色土：多量のロームブロックを含む。

660号ピット



- 1 褐色土：灰色シルト質土ブロックを含む。

661号ピット

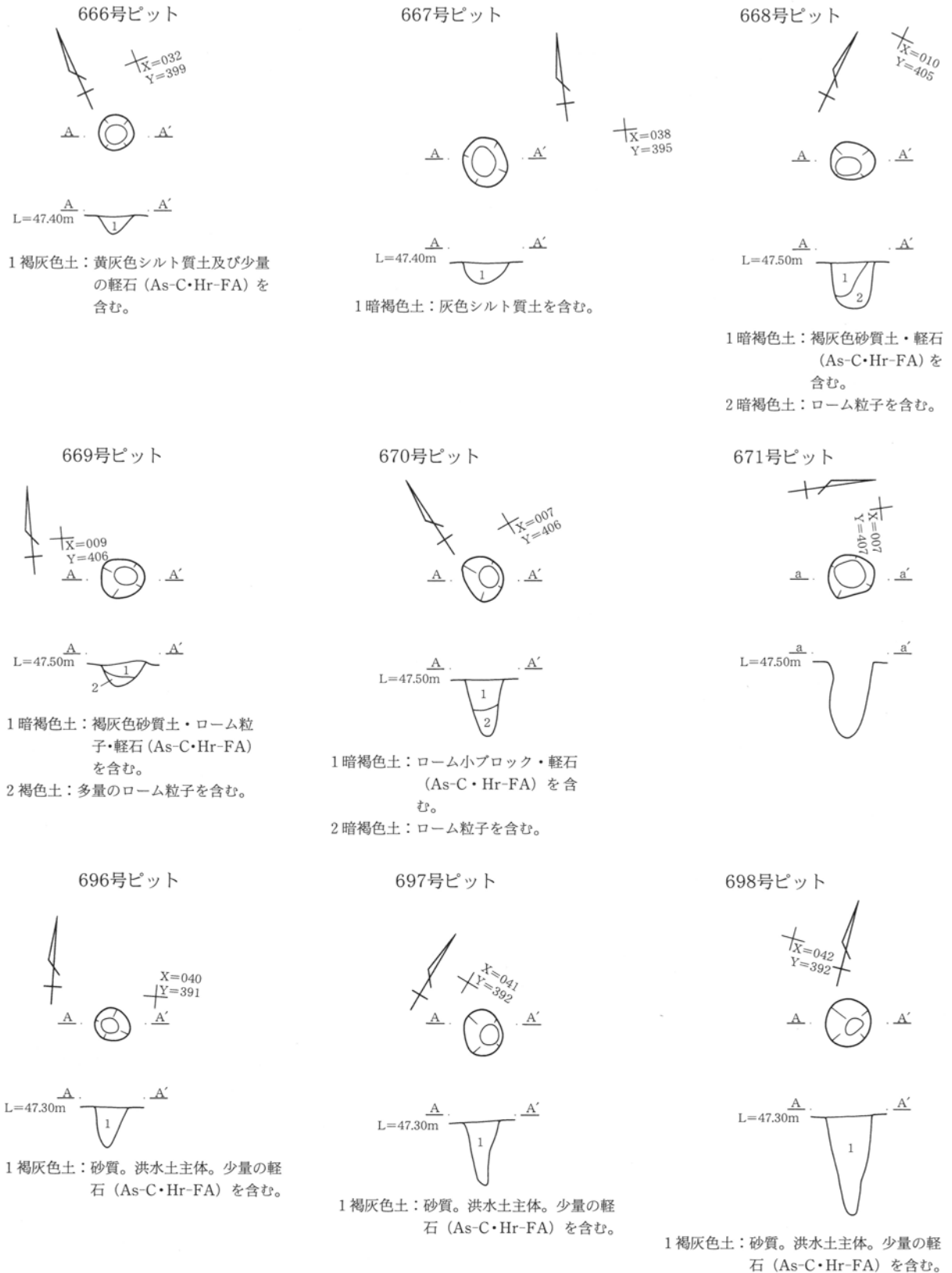


- 1 褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



第337図 653・654・655・656・657・658・659・660・661号ピット

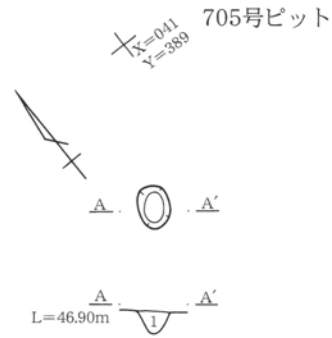
第II章 発見された遺構・遺物



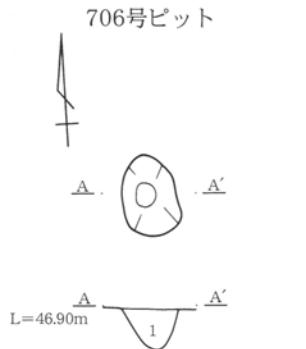
0 1 m

第338図 666・667・668・669・670・671・696・697・698号ピット

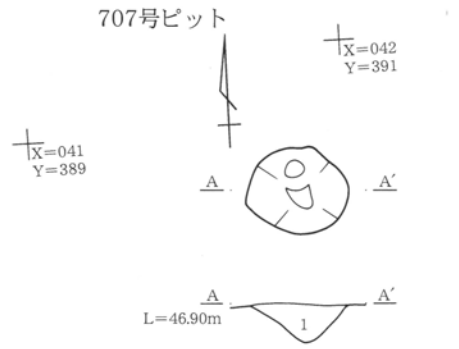
第6節 ピット



1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

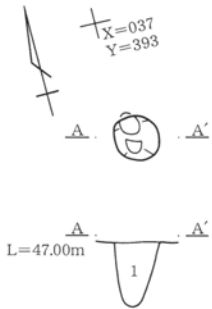


1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

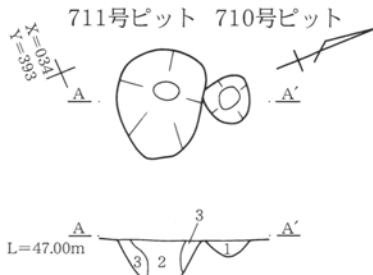


1 暗褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

709号ピット

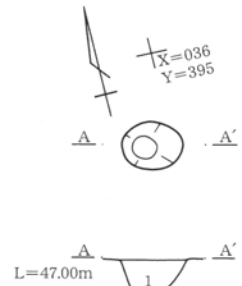


1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



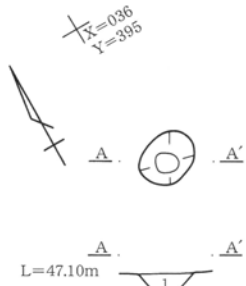
1 暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
(710号ピット)
2 暗褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(711号ピット)
3 褐色土：多量のロームブロックを含む。
(711号ピット)

712号ピット



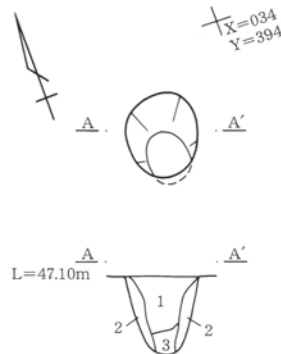
1 暗褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

713号ピット



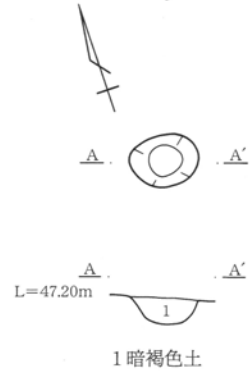
1 暗褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

714号ピット



1 暗褐色土：ローム粒子及び上位に軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 褐色土：ロームブロックを含む。
3 褐色土：多量のロームブロックを含む。

715号ピット



1 暗褐色土

0 1 m

第339図 705・706・707・709・710・711・712・713・714・715号ピット

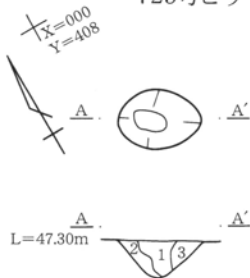
第II章 発見された遺構・遺物



0 1m

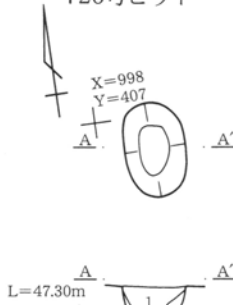
第340図 716・717・718・719・720・721・722・723・724号ピット

725号ピット



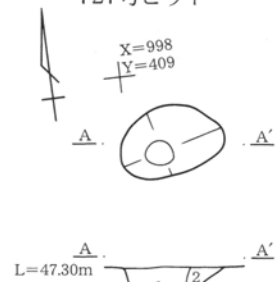
- L=47.30m
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
 - 2 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。

726号ピット



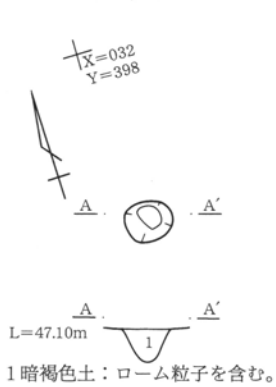
- L=47.30m
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
 - 2 褐色土：ローム粒子を含む。

727号ピット



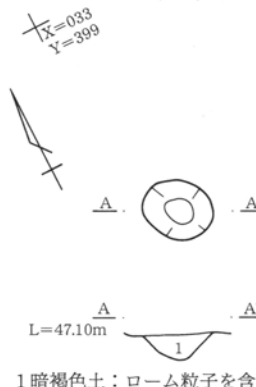
- L=47.30m
- 1 暗褐色土：褐色土ブロックを含む。
 - 2 暗褐色土：多量の褐色土粒子を含む。
 - 3 暗褐色土：褐色土粒子を含む。

728号ピット



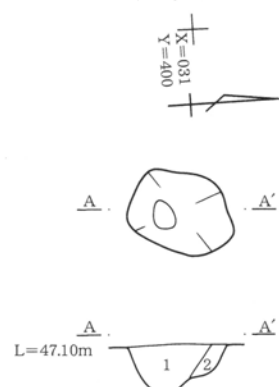
- L=47.10m
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

729号ピット



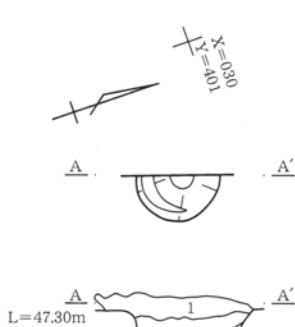
- L=47.10m
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

730号ピット



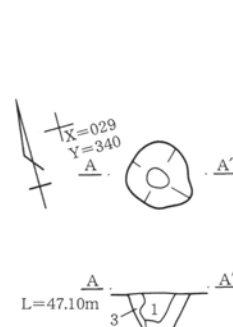
- L=47.10m
- 1 暗褐色土：ローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
 - 2 褐色土：ローム粒子を含む。

731号ピット

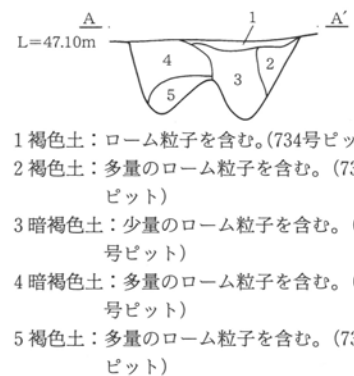
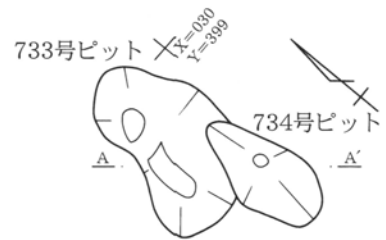


- L=47.30m
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。地山。
 - 2 暗褐色土：ローム粒子を含む。
 - 3 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

732号ピット



- L=47.10m
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
 - 2 褐色土：多量のローム粒子を含む。
 - 3 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。



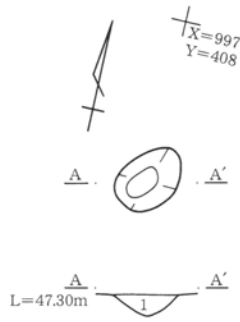
- L=47.10m
- 1 褐色土：ローム粒子を含む。(734号ピット)
 - 2 褐色土：多量のローム粒子を含む。(734号ピット)
 - 3 暗褐色土：少量のローム粒子を含む。(734号ピット)
 - 4 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。(733号ピット)
 - 5 褐色土：多量のローム粒子を含む。(733号ピット)

0 1m

第341図 725・726・727・728・729・730・731・732・733・734号ピット

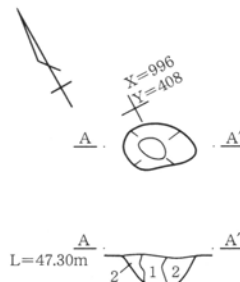
第II章 発見された遺構・遺物

736号ピット



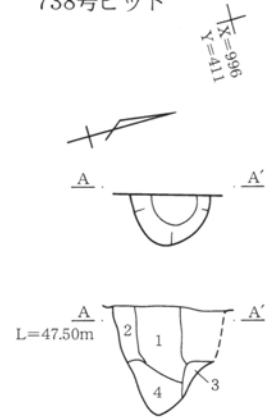
1 暗褐色土：灰褐色砂質土及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

737号ピット



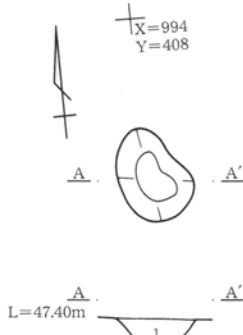
1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
2 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。

738号ピット



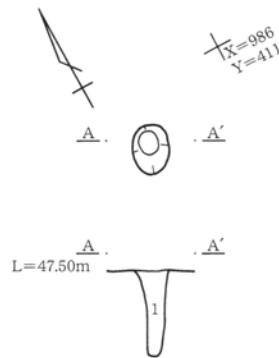
1 暗褐色土：多量の褐灰色砂質土及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 暗褐色土：褐灰色砂質土を含む。
3 褐色土：褐灰色砂質土を含む。
4 暗褐色土：褐色土粒子・褐灰色砂質土を含む。

740号ピット



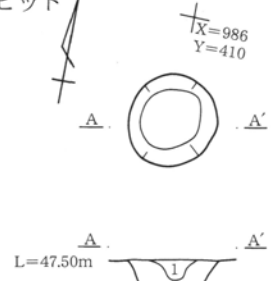
1 暗褐色土：褐色土ブロックを含む。

744号ピット



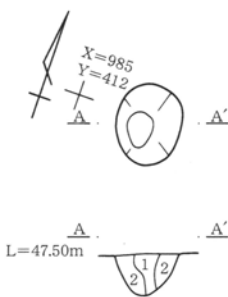
1 暗褐色土：ローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

745号ピット



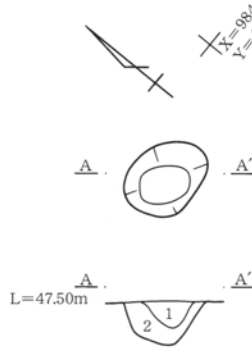
1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
2 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

746号ピット



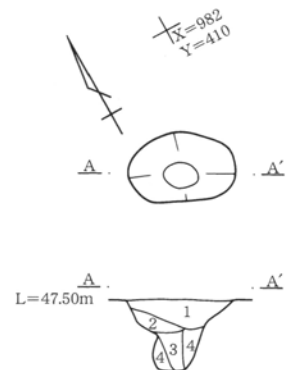
1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
2 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。

747号ピット



1 暗褐色土：ローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

748号ピット



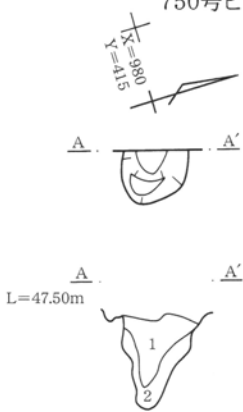
1 暗褐色土：ローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
2 黄褐色土：ロームブロック主体。暗褐色土を含む。
3 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。
4 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。



第342図 736・737・738・740・744・745・746・747・748号ピット

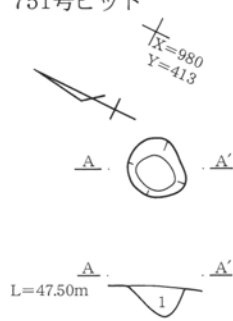
第6節 ピット

750号ピット



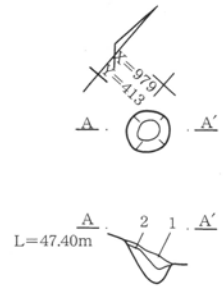
- 1 暗褐色土：ローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

751号ピット



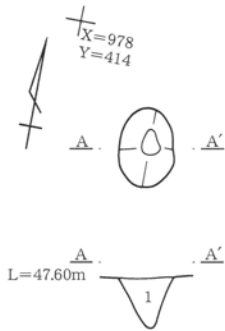
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

752号ピット



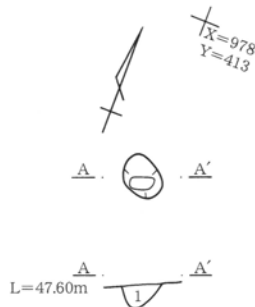
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
- 2 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。

753号ピット



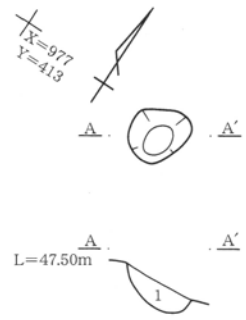
- 1 暗褐色土：ロームブロックを含む。

754号ピット



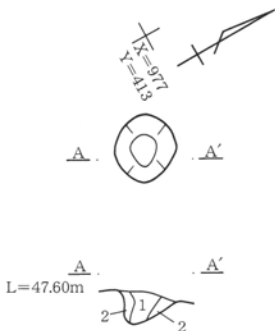
- 1 暗褐色土：ローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

755号ピット



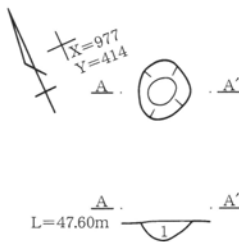
- 1 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。

756号ピット



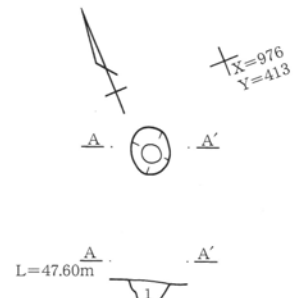
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
- 2 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

757号ピット



- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

758号ピット

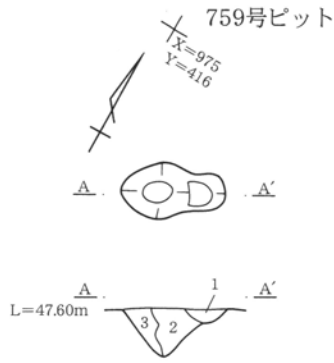


- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

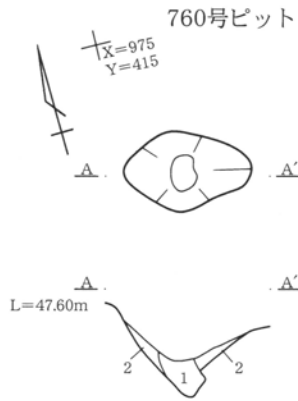
0 1m

第343図 750・751・752・753・754・755・756・757・758号ピット

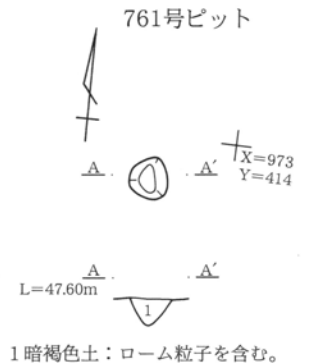
第II章 発見された遺構・遺物



- 1 暗褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
 2 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。
 3 暗褐色土：ロームブロックを含む。

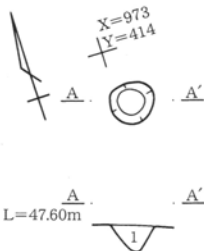


- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
 2 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。



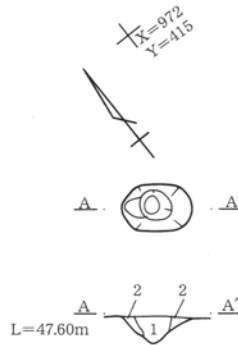
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

762号ピット



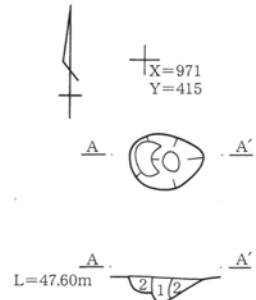
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

763号ピット



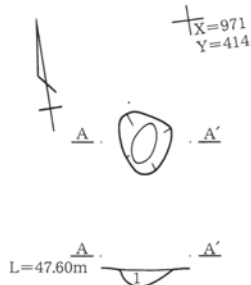
- 1 暗褐色土：微量のローム粒子を含む。
 2 暗褐色土：ローム粒子を含む。

764号ピット



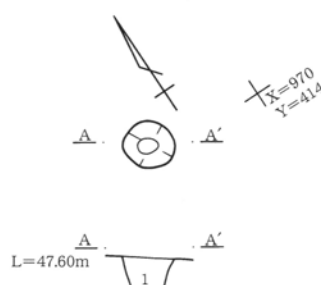
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。
 2 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。

765号ピット



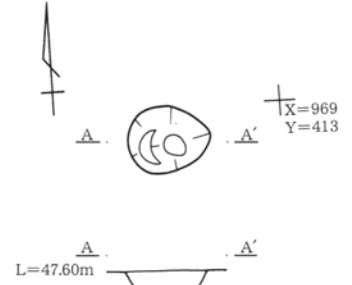
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

766号ピット



- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

767号ピット

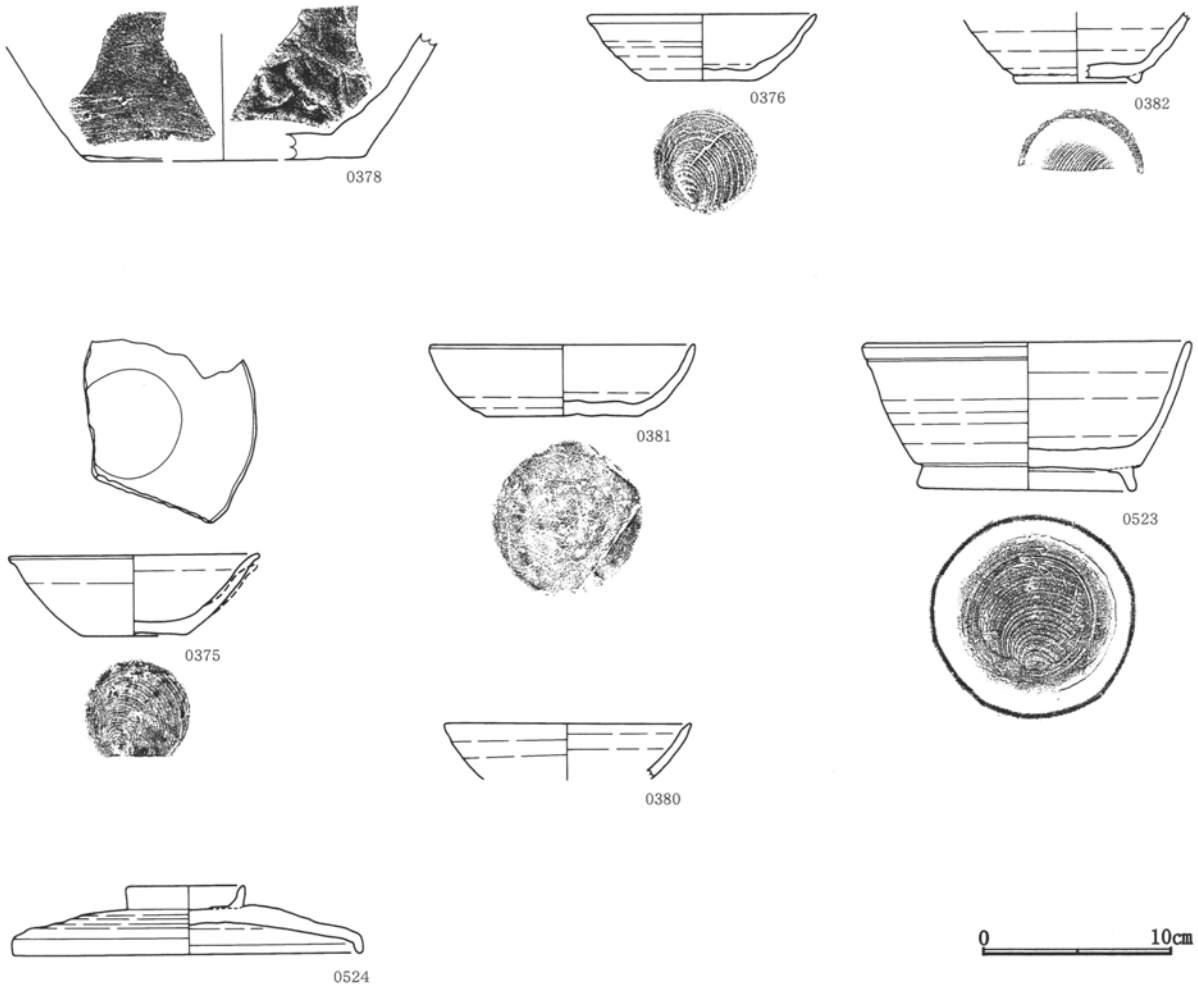


- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

0 1 m

第344図 759・760・761・762・763・764・765・766・767号ピット

第6節 ピット



第345図 39・59・60・202・231・314・352・393・741号ピット出土遺物

第7節 水田・畠

水田

本遺跡から水田は2面検出されている。上面の水田は、3区・20区・21区より部分的に検出された。また、部分的にはあるが、直上に火山灰が堆積しており、火山灰分析により堆積しているテフラは、浅間B軽石であることが確認できた。従って、本水田は平安時代末の水田である。下面の水田は、4区・18区・19区から検出された。洪水砂層直下の水田である。

(1) 浅間B軽石層下の水田

浅間B軽石下の水田は、3区の $X = 35.980 \sim 36.040$ ・ $Y = -39.390 \sim -39.412$ 付近、21区の $X = 35.960 \sim 35.977$ ・ $Y = -39.285 \sim -39.312$ 付近、20区の $X = 36.116 \sim 36.132$ ・ $Y = -39.300 \sim -39.312$ 付近で畦畔の一部及び畦畔の痕跡が確認できたが、残存状態は悪い。17区東壁断面から、テフラ層直下の層から畦畔と考えられる高まりを検出することができた。この軽石は、前述のように浅間軽石であることが確認できた。浅間B軽石は、天仁元年(1108)の浅間山の爆発で噴出したテフラと考えられている。

本遺跡の存在する太田市の東今泉町は、足尾の鉍毒公害で圃場整備が実施された地区であり、表土はすべて客土である。その圃場整備は、浅間B軽石が確認できる深さまで多くの地点で達している。従って、水田の残存状態は悪く、一枚の水田が全面的に残っていた地点はない。従って、水田の規模等を確認することはできなかった。また、17区東壁の畦畔と推定される高まりから採取した土壌で実施した、プラントオパール分析で多量のイネのプラントオパールが検出された。従って、プラントオパール分析でも、水田であることが確認できた。

(2) 洪水層下の水田

洪水層下の水田は、4区の $X = 36.055 \sim 36.108$ ・ $Y = -39.334 \sim -39.352$ 付近、18区の $X = 35.899 \sim 36.975$ ・ $Y = -39.323 \sim -39.394$ 付近、19

区の $X = 35.977 \sim 36.054$ ・ $Y = -39.327 \sim -39.367$ 付近から大畦、小畦、水路、水口等良好な状態で検出できた。特に、4区の東端から19区で検出できた水田の残存状態は良好であった。

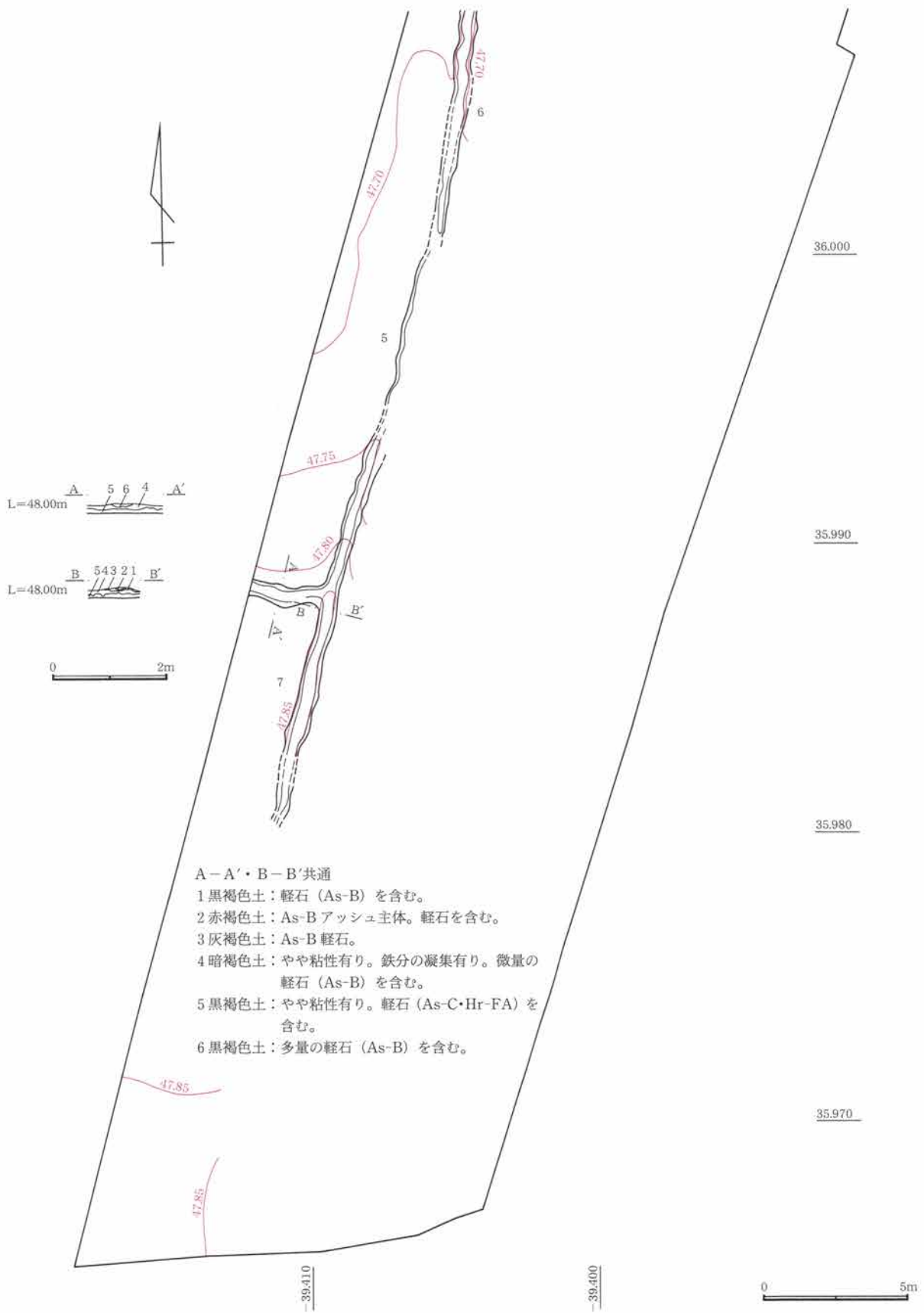
本遺跡からは191枚の洪水層下水田を検出することができた。周囲の畦畔がほぼ確認できた水田は、畦畔の位置等から推定できたものを含めて87枚ある。各水田の規模は、最大面積は32.3m²、最小で3.4m²、平均で15.7m²であった。これは、高崎市の芦田貝戸遺跡、御布呂遺跡、同道遺跡等から発見されている小区画水田の規模と同じである。

本水田跡の土壌も水田耕作を確認するために、プラントオパール分析を実施した。

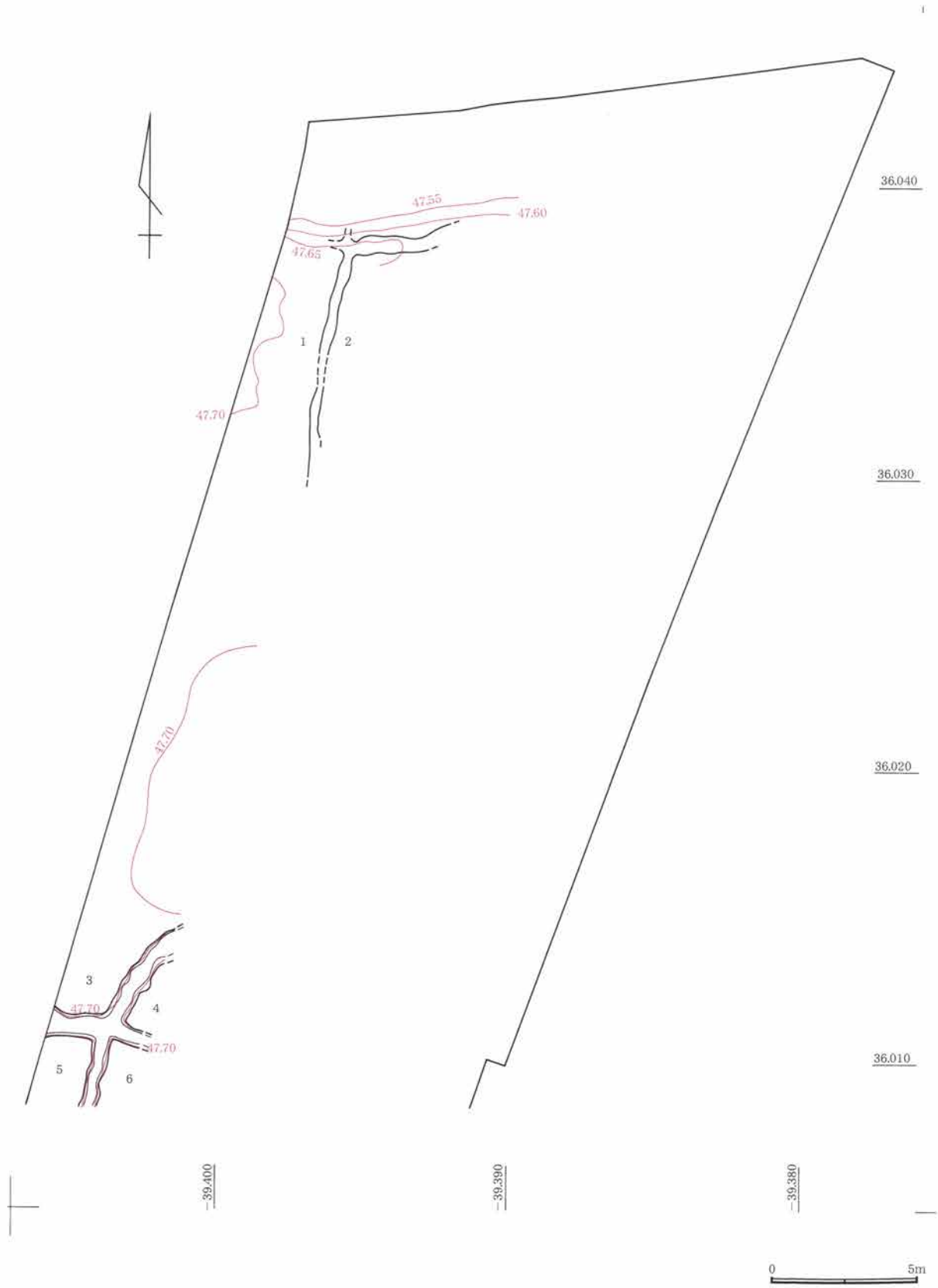
資料は4区東壁の畦畔、18区西壁の水田層から採取した。いずれの土壌からもイネのプラントオパールが検出でき、水田稲作が確認できた。

下面の水田は、洪水層で埋まっている水田であり、火山灰のように覆土から時期の判定はできない。しかし、19区で住居跡と重複している。住居跡の一部は、水田覆土の洪水層上から、水田面を破壊して築かれている。水田面を破壊して築かれている住居跡のうち、最も古い住居跡の時期は、8世紀中葉から後半である。また、水田面下の層から検出された住居跡の時期は、4世紀後半である。従って、本水田の時代は、4世紀後半以後、8世紀中葉～後半以前のの水田跡となる。

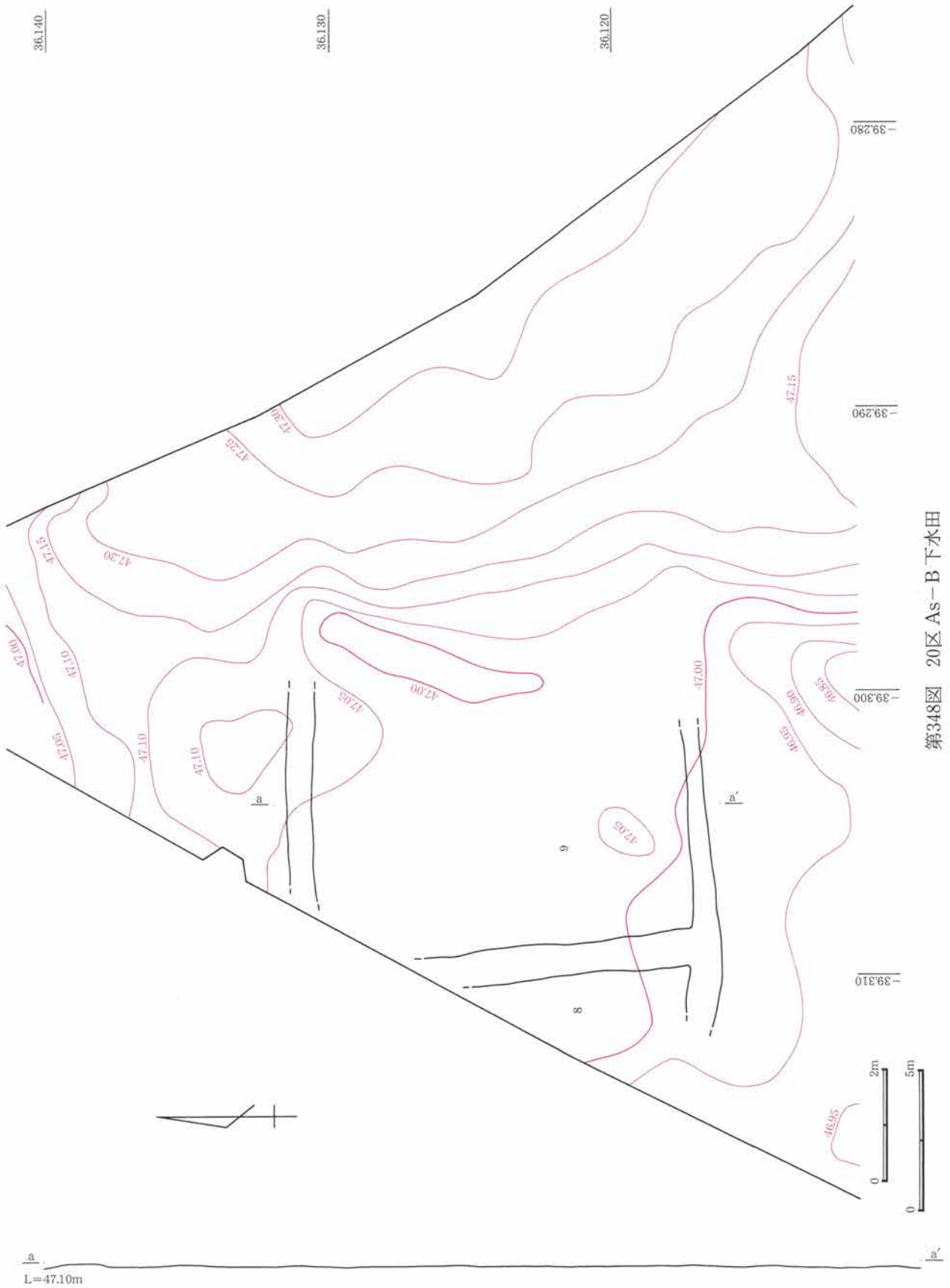
高崎市の芦田貝戸遺跡、御布呂遺跡、同道遺跡等で発見されている小区画水田の時代は、水田面がHr-FA直下であることから、時期は5世紀末～6世紀初頭と考えられている。しかし、本水田の耕作土、畦畔の土にはHr-FAが含まれており、芦田貝戸遺跡・御布呂遺跡・同道遺跡等の水田より新しいこととなる。従って、本遺跡の水田の時代は古墳時代後期後半(6世紀後半)以後、奈良時代前半(8世紀前半)以前のの水田と推定できる。



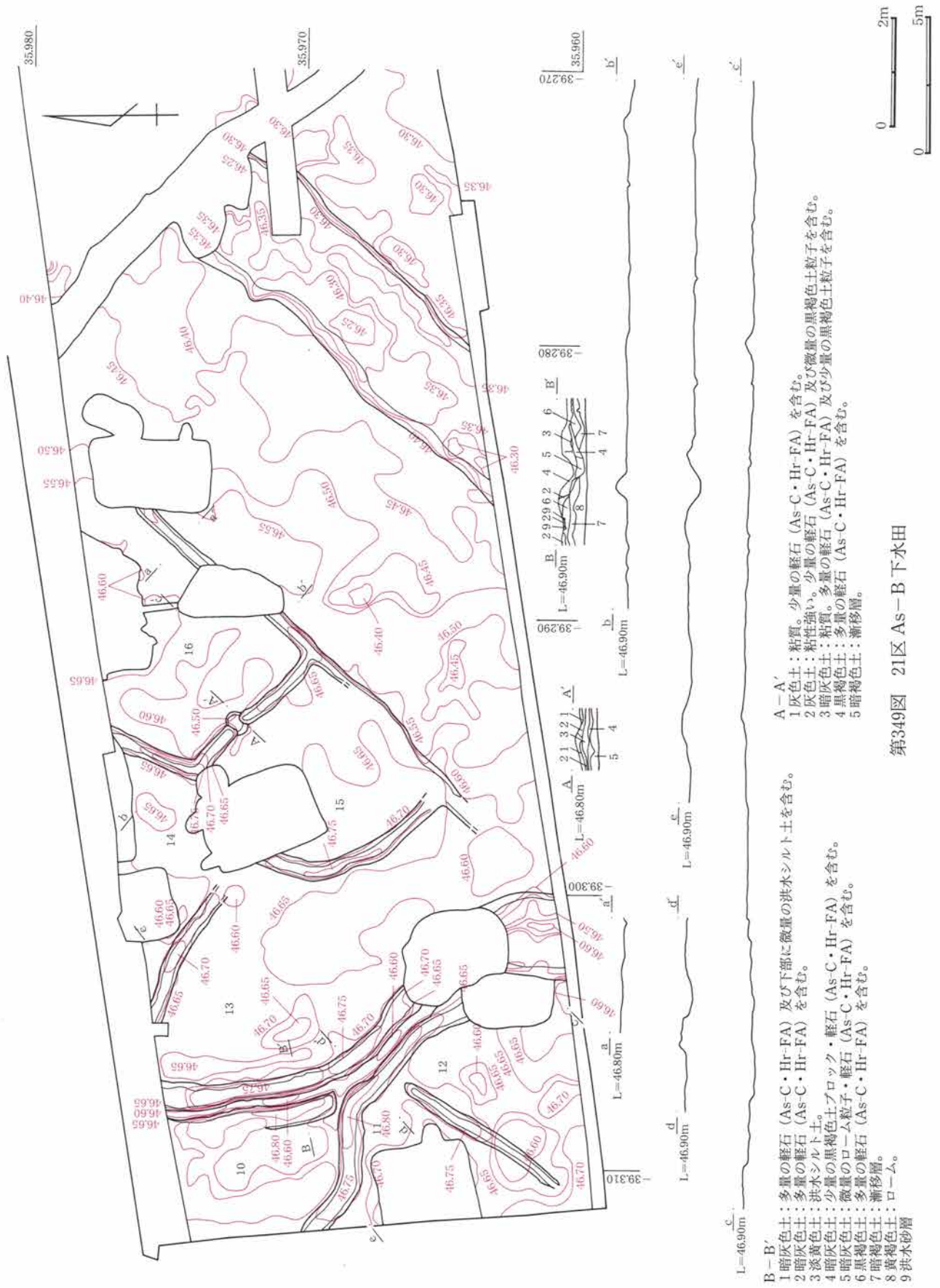
第346図 3区 As-B 下水田(1)



第347図 3区 As-B 下水田(2)



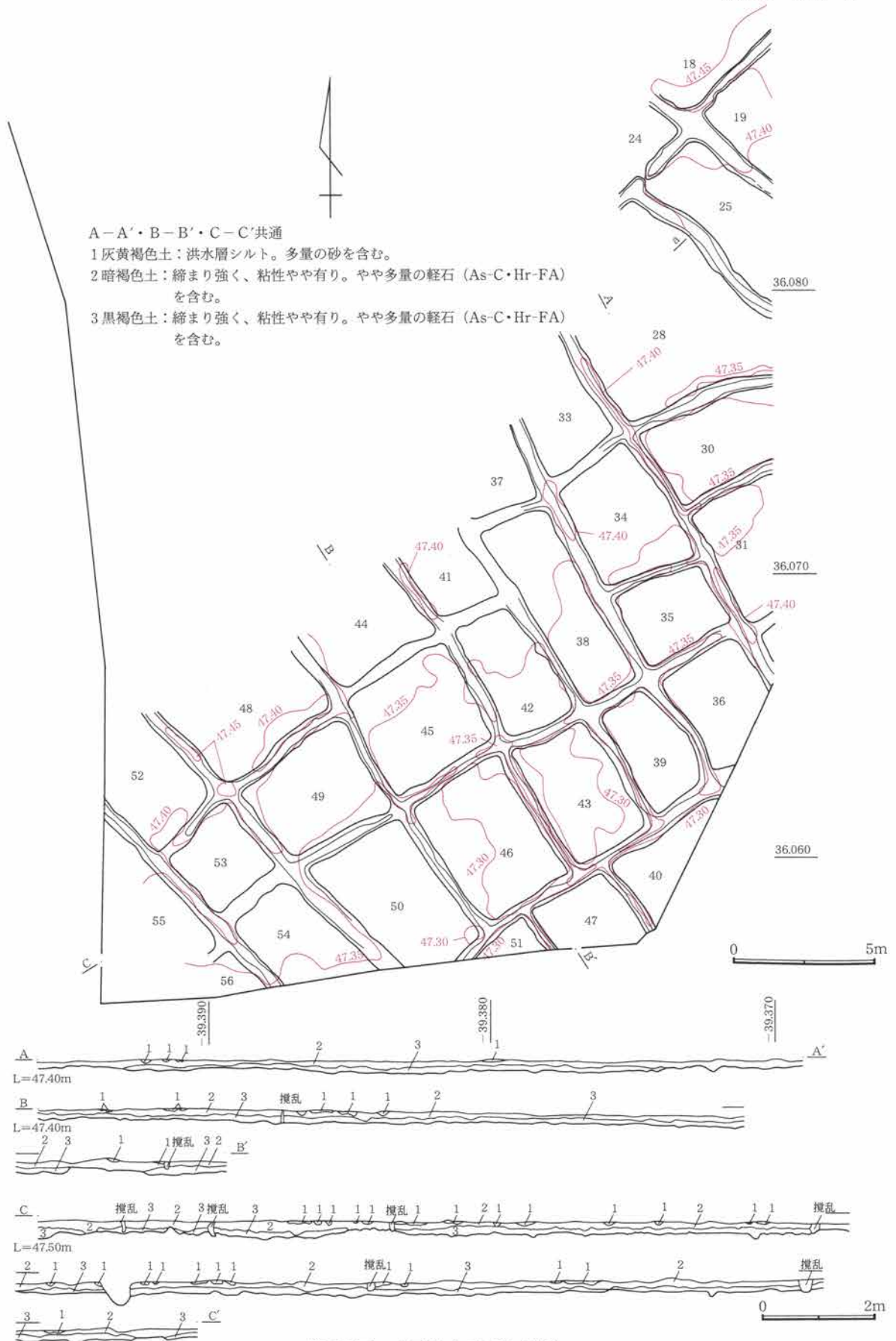
第348図 20区As-B下水田



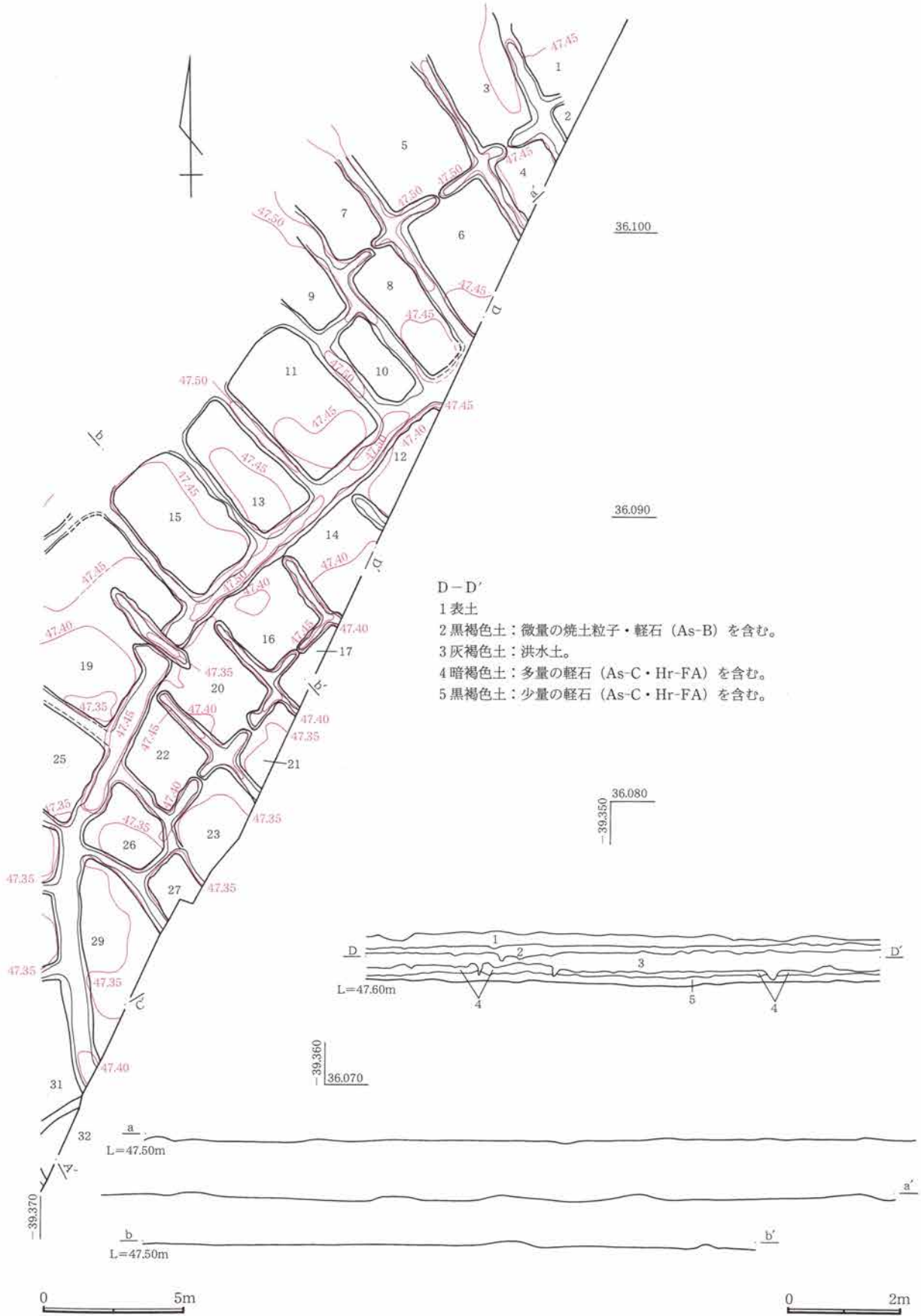
第349図 21区 As-B 下水田

- B-B'**
- 1 暗灰色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び下部に微量の洪水シルト土を含む。
 - 2 暗灰色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
 - 3 淡黄色土：洪水シルト土。
 - 4 暗灰色土：少量の黒褐色土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
 - 5 暗灰色土：微量のローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
 - 6 黒褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
 - 7 暗褐色土：漸移層。
 - 8 黄褐色土：ローム。
 - 9 洪水砂層

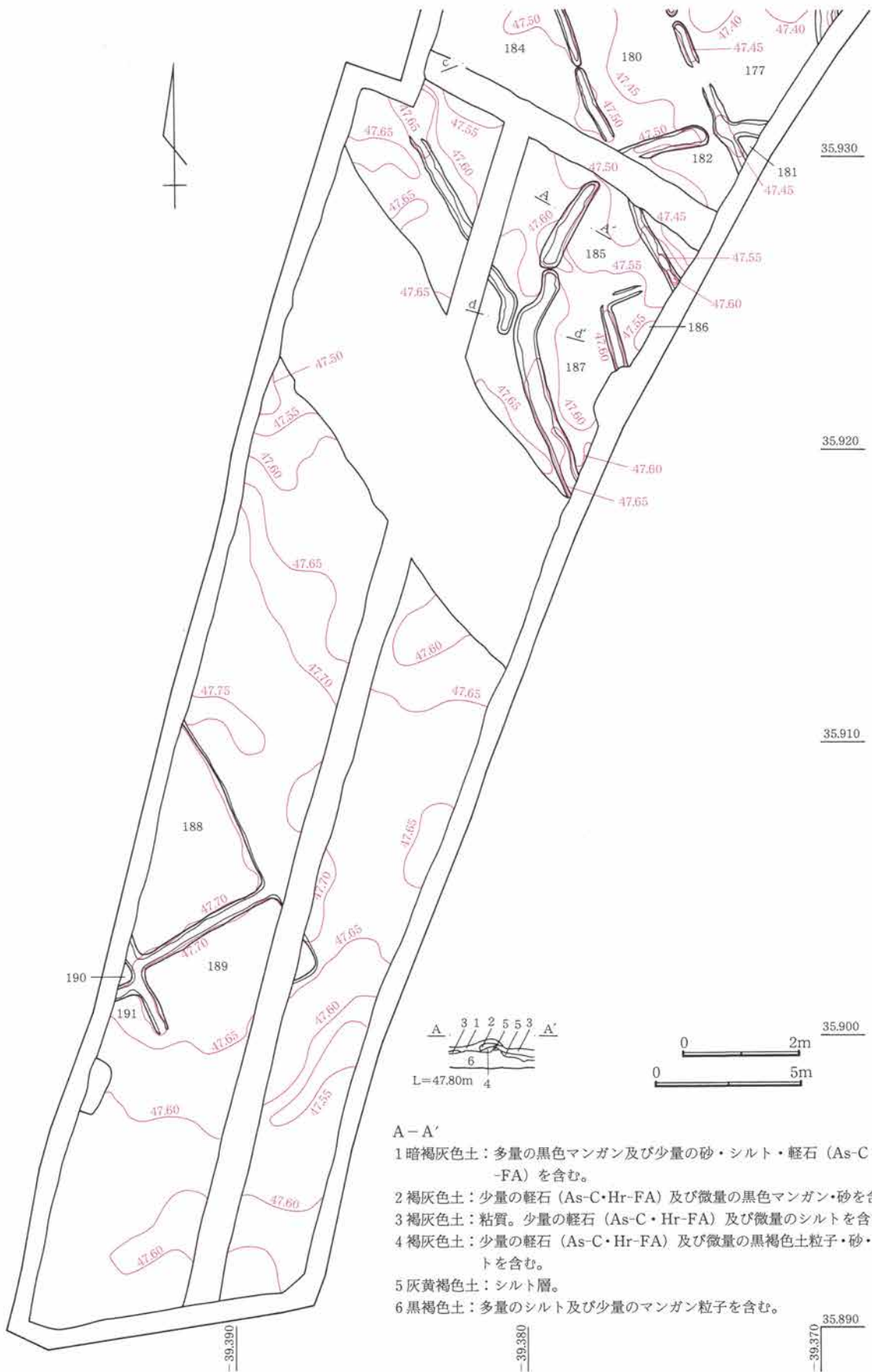
- A-A'**
- 1 灰色土：粘質、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
 - 2 灰色土：粘性強い、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黒褐色土粒子を含む。
 - 3 暗灰色土：粘質、多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の黒褐色土粒子を含む。
 - 4 黒褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
 - 5 暗褐色土：漸移層。



第350図 4区洪水層下水田(1)



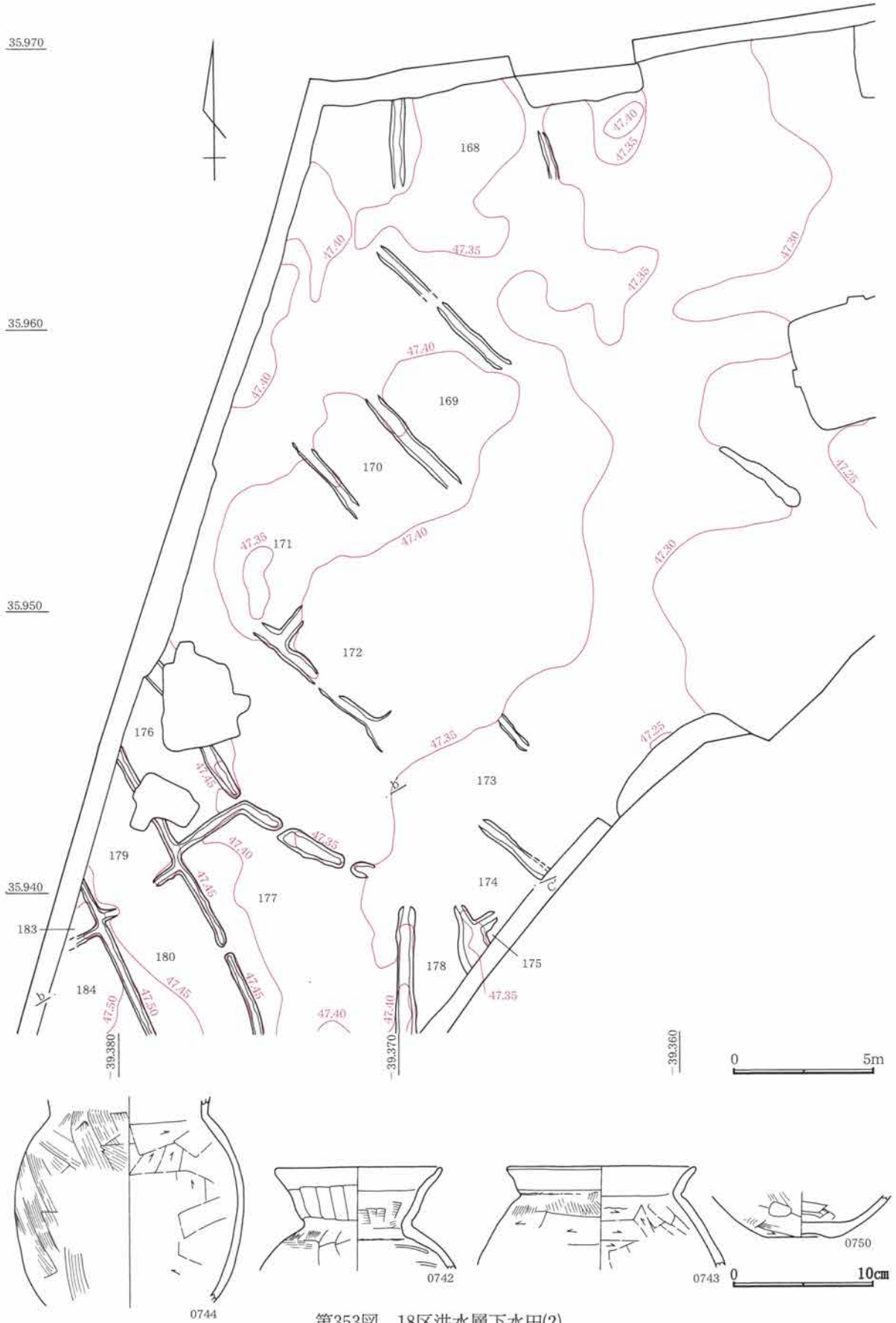
第351図 4区洪水層下水田(2)



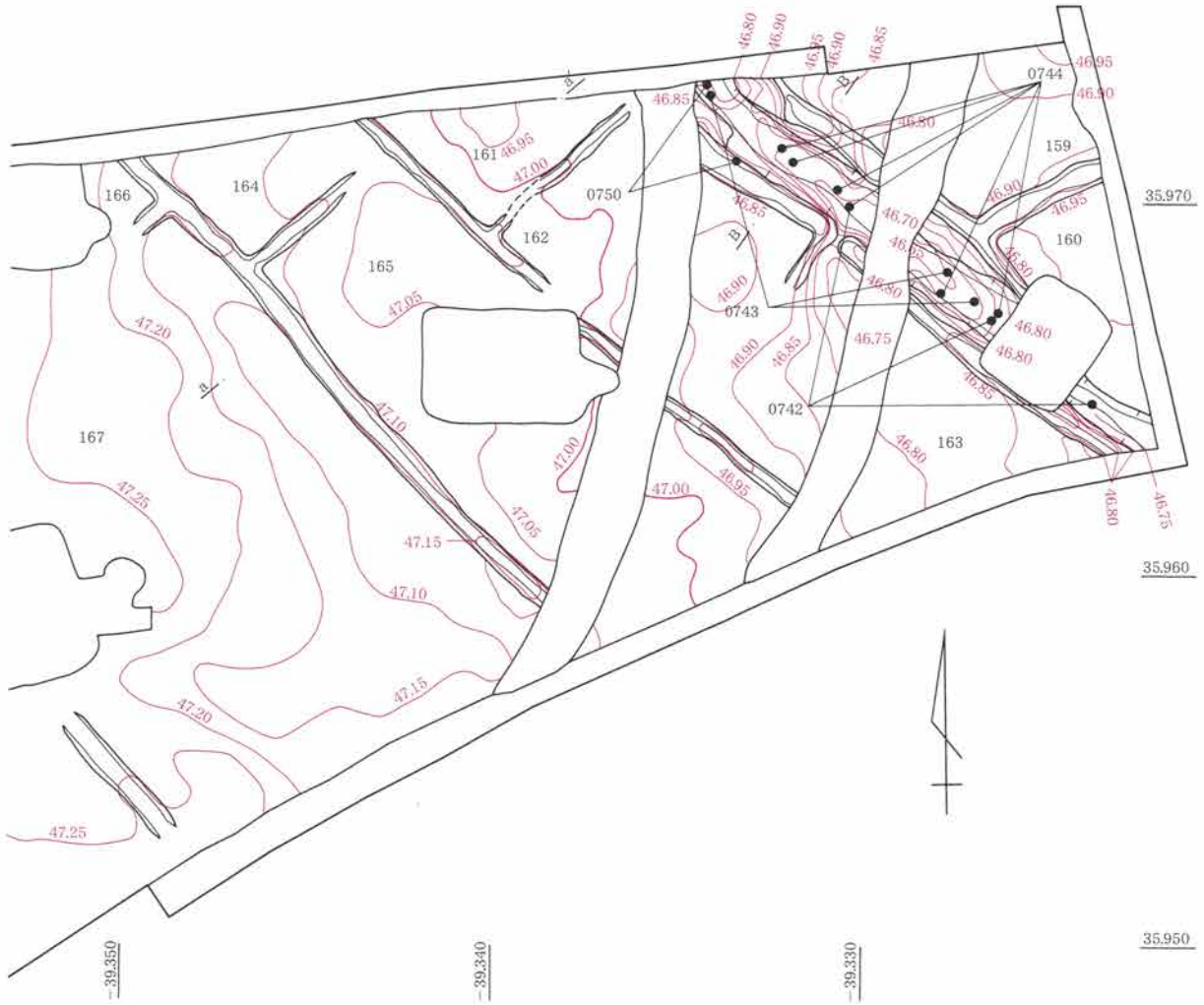
A-A'

- 1 暗褐色土：多量の黒色マンガン及び少量の砂・シルト・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黒色マンガン・砂を含む。
- 3 褐色土：粘質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のシルトを含む。
- 4 褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黒褐色土粒子・砂・シルトを含む。
- 5 灰黄褐色土：シルト層。
- 6 黒褐色土：多量のシルト及び少量のマンガン粒子を含む。

第352図 18区洪水層下水田(1)

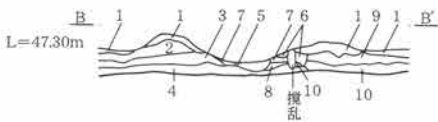


第353図 18区洪水層下水田(2)



B-B'

- 1 暗褐色土：少量の軽石（As-C・Hr-FA）及び微量の砂・シルトを含む。
- 2 暗褐色土：多量の黒褐色土ブロック・軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 3 暗褐色土：微量の軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 4 黄褐色土：漸移層。
- 5 暗褐色土：少量の砂及び微量の軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 6 暗褐色土：微量の砂・軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 7 灰色土：多量の灰白色シルトを含む。
- 8 暗褐色土：少量の灰白色シルトを含む。底面に薄い砂層有り。
- 9 黒褐色土：少量の軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 10 暗褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石（As-C）を含む。



a
L=47.20m

b
L=47.70m

c
L=47.70m

d
L=47.90m



第354図 18区洪水層下水田(3)

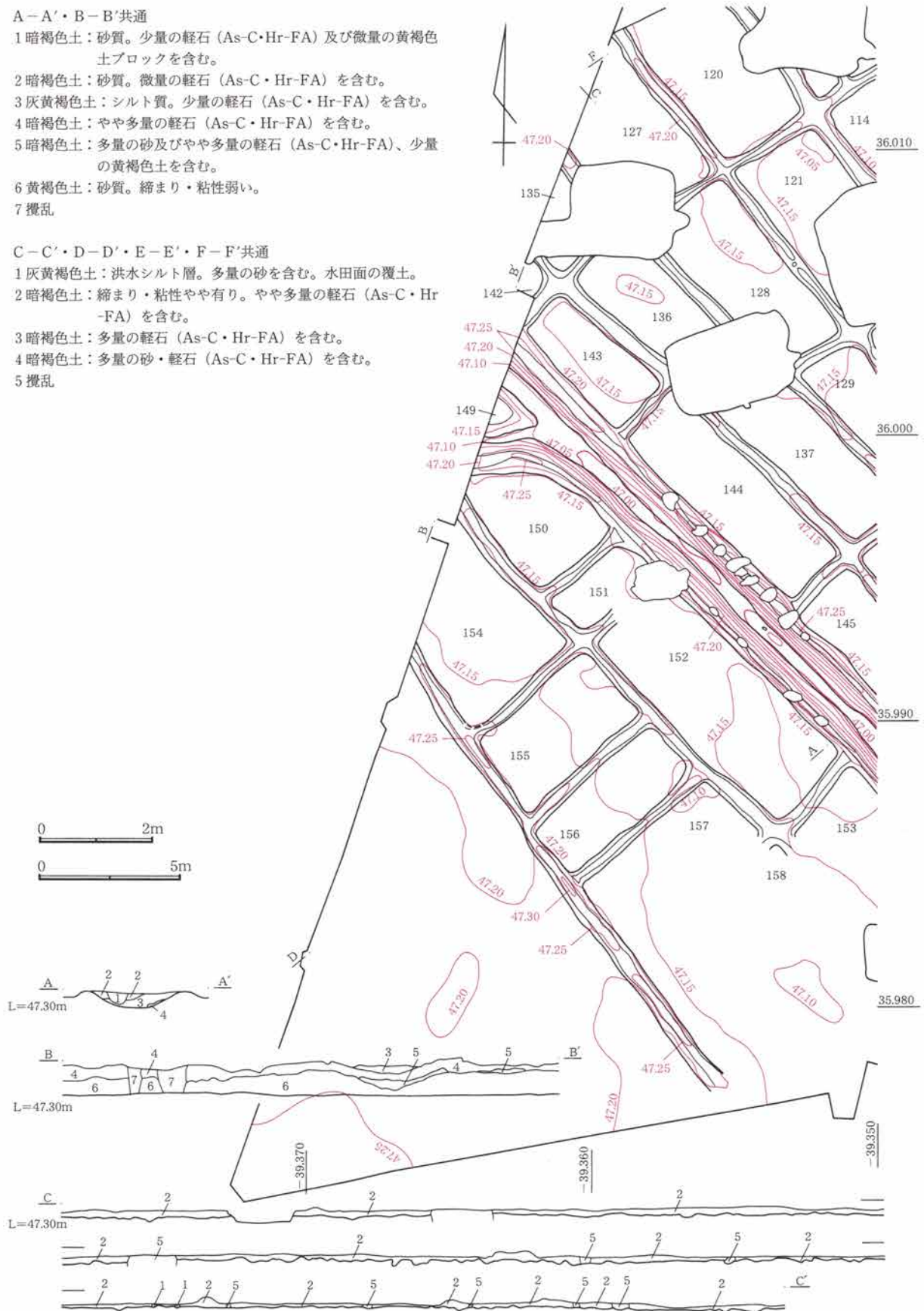
第II章 発見された遺構・遺物

A-A'・B-B'共通

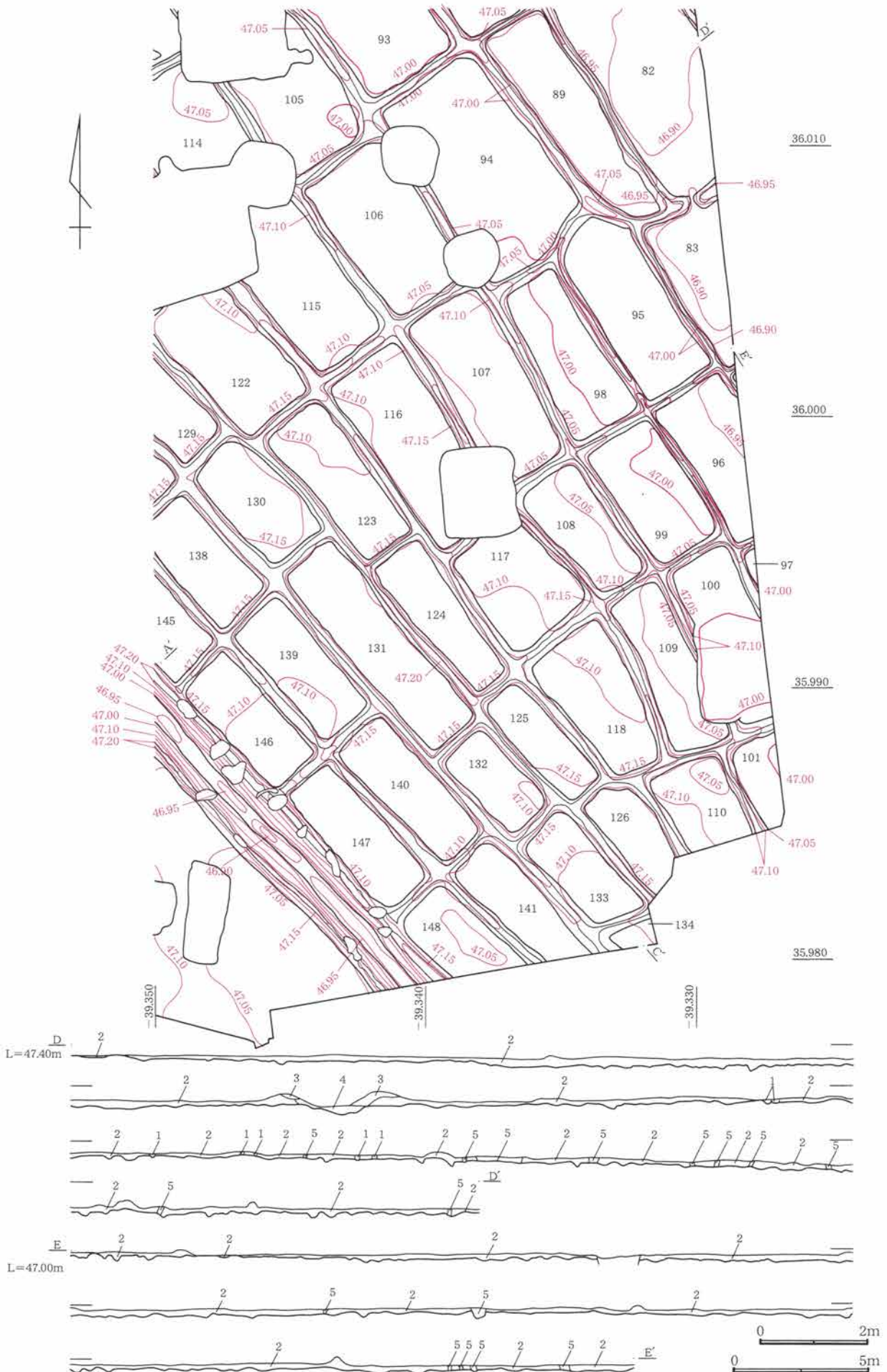
- 1 暗褐色土：砂質。少量の軽石（As-C・Hr-FA）及び微量の黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土：砂質。微量の軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 3 灰黄褐色土：シルト質。少量の軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 4 暗褐色土：やや多量の軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 5 暗褐色土：多量の砂及びやや多量の軽石（As-C・Hr-FA）、少量の黄褐色土を含む。
- 6 黄褐色土：砂質。締まり・粘性弱い。
- 7 攪乱

C-C'・D-D'・E-E'・F-F'共通

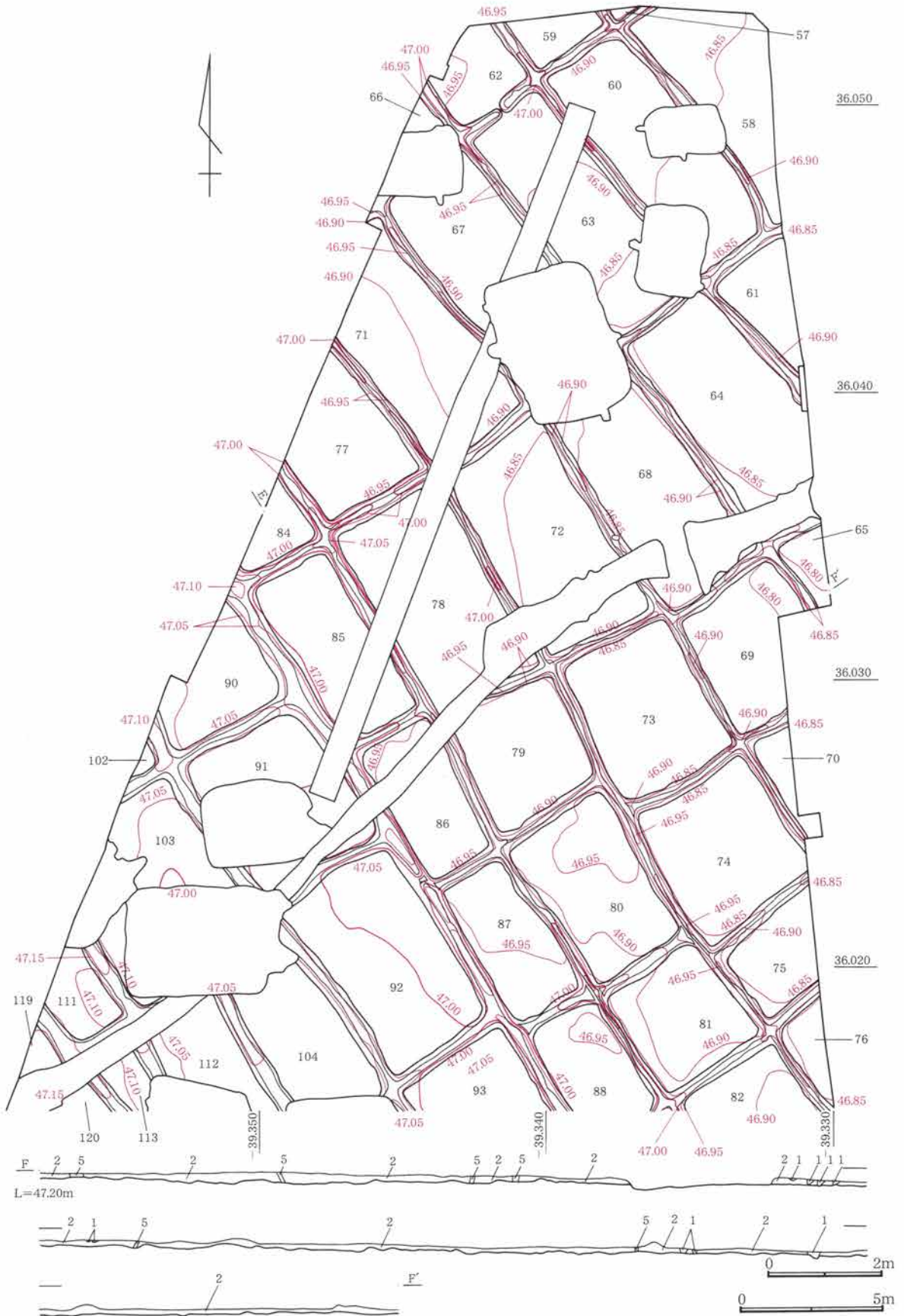
- 1 灰黄褐色土：洪水シルト層。多量の砂を含む。水田面の覆土。
- 2 暗褐色土：締まり・粘性やや有り。やや多量の軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 3 暗褐色土：多量の軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 4 暗褐色土：多量の砂・軽石（As-C・Hr-FA）を含む。
- 5 攪乱



第355図 19区洪水層下水田(1)



第356图 19区洪水層下水田(2)



第5表 As-B下水田計測値一覧

| 地区 | 水田No | 長辺(m) | 短辺(m) | 面積(m ²) | 備 考 | 地区 | 水田No | 長辺(m) | 短辺(m) | 面積(m ²) | 備 考 |
|----|------|-------|-------|---------------------|-----|----|------|-------|-------|---------------------|-----|
| 3 | 1 | — | — | (18.3) | | 3 | 2 | — | — | | |
| 3 | 3 | — | — | | | 3 | 4 | — | — | | |
| 3 | 5 | 23.1 | — | (43.5) | | 3 | 6 | — | — | | |
| 3 | 7 | — | — | (20.4) | | 20 | 8 | — | — | | |
| 20 | 9 | — | 13.2 | | | 21 | 10 | — | — | (26.4) | |
| 21 | 11 | — | — | (24.2) | | 21 | 12 | — | — | (28.8) | |
| 21 | 13 | 13.8 | 7.8 | (71.1) | | 21 | 14 | — | — | (24.4) | |
| 21 | 15 | 6.2 | (5.7) | (32.9) | | 21 | 16 | — | (6.5) | (45.7) | |

※長辺、短辺は畦の内側までの長さであり、面積は畦の内側部分の面積である。()は遺存の長さ、面積である。

第6表 洪水層下水田計測値一覧

| 地区 | 水田No | 長辺(m) | 短辺(m) | 面積(m ²) | 備 考 | 地区 | 水田No | 長辺(m) | 短辺(m) | 面積(m ²) | 備 考 |
|----|------|-------|-------|---------------------|-----|----|------|-------|-------|---------------------|-----|
| 4 | 1 | — | — | (9.7) | | 4 | 2 | — | — | (3.3) | |
| 4 | 3 | — | 2.6 | (12.4) | | 4 | 4 | — | 1.8 | (3.1) | |
| 4 | 5 | — | 3.6 | (12.0) | | 4 | 6 | — | 3.2 | (11.9) | |
| 4 | 7 | — | 1.8 | (5.2) | | 4 | 8 | 4.6 | 1.8 | 7.8 | |
| 4 | 9 | — | 1.7 | (3.6) | | 4 | 10 | 3.2 | 1.3 | 3.8 | |
| 4 | 11 | 4.9 | 2.2 | 15.5 | | 4 | 12 | 4.1 | — | (3.5) | |
| 4 | 13 | 4.8 | 2.0 | 9.2 | | 4 | 14 | 3.2 | — | (7.3) | |
| 4 | 15 | 4.7 | 3.1 | 12.9 | | 4 | 16 | 2.9 | 2.7 | 7.4 | |
| 4 | 17 | 2.9 | — | (2.1) | | 4 | 18 | — | — | — | |
| 4 | 19 | 5.8 | 5.6 | 26.6 | | 4 | 20 | 3.4 | 2.6 | 7.4 | |
| 4 | 21 | — | 2.7 | (2.6) | | 4 | 22 | 2.6 | 2.5 | 5.8 | |
| 4 | 23 | — | 3.4 | (4.8) | | 4 | 24 | — | — | — | |
| 4 | 25 | 6.6 | 2.8 | 16.5 | | 4 | 26 | 2.5 | 2.2 | 4.9 | |
| 4 | 27 | 1.8 | — | (2.4) | | 4 | 28 | 5.6 | 7.3 | (33.2) | |
| 4 | 29 | 3.0 | — | (11.8) | | 4 | 30 | 5.0 | 2.7 | 12.7 | |
| 4 | 31 | 3.5 | 4.5 | 13.6 | | 4 | 32 | — | — | (1.8) | |
| 4 | 33 | — | 2.7 | (7.7) | | 4 | 34 | 3.3 | 4.5 | 14.0 | |
| 4 | 35 | 3.2 | 2.8 | (8.4) | | 4 | 36 | 4.0 | 3.1 | (9.9) | |
| 4 | 37 | — | — | (3.4) | | 4 | 38 | 7.1 | 2.2 | 15.3 | |
| 4 | 39 | 3.9 | 2.3 | 8.6 | | 4 | 40 | — | — | (6.2) | |
| 4 | 41 | — | 2.3 | (6.1) | | 4 | 42 | 4.3 | 2.8 | 10.2 | |
| 4 | 43 | 4.5 | 2.8 | 12.4 | | 4 | 44 | 4.0 | — | (9.9) | |
| 4 | 45 | 4.1 | 3.8 | 16.1 | | 4 | 46 | 5.0 | 3.5 | 17.1 | |
| 4 | 47 | — | 3.0 | (6.8) | | 4 | 48 | 4.8 | — | (13.6) | |
| 4 | 49 | 4.3 | 3.3 | 13.9 | | 4 | 50 | 5.5 | 3.4 | (17.1) | |
| 4 | 51 | — | — | (1.8) | | 4 | 52 | — | 2.9 | (9.2) | |
| 4 | 53 | 2.7 | 2.7 | 7.5 | | 4 | 54 | — | 2.8 | (10.1) | |
| 4 | 55 | — | — | — | | 4 | 56 | — | — | — | |
| 19 | 57 | — | — | — | | 19 | 58 | 7.7 | — | (17.8) | |
| 19 | 59 | — | 2.8 | (3.7) | | 19 | 60 | 8.5 | 3.1 | 25.7 | |
| 19 | 61 | — | — | (6.6) | | 19 | 62 | — | 3.2 | (7.4) | |
| 19 | 63 | 8.6 | 3.1 | 26.3 | | 19 | 64 | 8.5 | 3.8 | (27.8) | |
| 19 | 65 | — | — | (2.5) | | 19 | 66 | — | — | (3.5) | |
| 19 | 67 | (8.4) | 3.5 | 29.5 | | 19 | 68 | (8.5) | 3.6 | 29.1 | |
| 19 | 69 | 4.6 | 4.1 | (14.7) | | 19 | 70 | — | — | (2.7) | |
| 19 | 71 | 8.4 | 3.5 | (26.4) | | 19 | 72 | 7.7 | 3.8 | 29.3 | |
| 19 | 73 | 5.3 | 4.1 | 22.6 | | 19 | 74 | 4.8 | 4.6 | 22.6 | |
| 19 | 75 | — | 2.6 | (8.3) | | 19 | 76 | — | — | (2.6) | |

第II章 発見された遺構・遺物

| 地区 | 水田No | 長辺(m) | 短辺(m) | 面積(m ²) | 備 考 | 地区 | 水田No | 長辺(m) | 短辺(m) | 面積(m ²) | 備 考 |
|----|------|-------|-------|---------------------|-----|----|------|-------|-------|---------------------|-----|
| 19 | 77 | — | 4.0 | (15.3) | | 19 | 78 | 7.2 | 3.8 | 27.5 | |
| 19 | 79 | 4.3 | 4.0 | 16.9 | | 19 | 80 | 5.7 | 3.7 | 20.4 | |
| 19 | 81 | 4.0 | 3.8 | 15.3 | | 19 | 82 | 8.6 | 4.0 | (30.0) | |
| 19 | 83 | 5.8 | — | (10.0) | | 19 | 84 | — | 2.9 | (3.8) | |
| 19 | 85 | 6.4 | 2.9 | 27.6 | | 19 | 86 | 5.2 | 2.8 | 13.3 | |
| 19 | 87 | 5.3 | 2.6 | 13.2 | | 19 | 88 | 4.2 | 2.6 | 10.5 | |
| 19 | 89 | 8.6 | 2.2 | 15.5 | | 19 | 90 | — | 5.1 | (11.0) | |
| 19 | 91 | 5.3 | 4.7 | 20.1 | | 19 | 92 | 7.1 | 4.2 | 28.0 | |
| 19 | 93 | 5.0 | 3.7 | 18.1 | | 19 | 94 | 7.8 | 4.3 | 31.4 | |
| 19 | 95 | 6.8 | 2.6 | 17.3 | | 19 | 96 | 5.8 | 2.6 | (10.6) | |
| 19 | 97 | — | — | (0.4) | | 19 | 98 | 6.1 | 2.5 | 13.9 | |
| 19 | 99 | 5.0 | 2.7 | 13.6 | | 19 | 100 | 6.4 | 2.3 | (14.0) | |
| 19 | 101 | — | — | (4.1) | | 19 | 102 | — | — | (0.5) | |
| 19 | 103 | (6.5) | 5.3 | (29.0) | | 19 | 104 | (6.6) | 2.9 | 18.6 | |
| 19 | 105 | (5.6) | 3.3 | 18.6 | | 19 | 106 | 6.0 | 3.4 | 20.1 | |
| 19 | 107 | 6.8 | 3.0 | 19.7 | | 19 | 108 | 5.0 | 2.4 | 10.9 | |
| 19 | 109 | 6.2 | 1.9 | 13.0 | | 19 | 110 | — | 2.6 | (8.5) | |
| 19 | 111 | — | 2.0 | (5.6) | | 19 | 112 | (6.3) | 2.8 | 17.1 | |
| 19 | 113 | (6.1) | 1.5 | 7.5 | | 19 | 114 | (5.7) | 3.7 | 20.6 | |
| 19 | 115 | (6.0) | 3.2 | 18.6 | | 19 | 116 | 7.3 | 2.8 | 20.6 | |
| 19 | 117 | 4.3 | 3.2 | 13.6 | | 19 | 118 | 5.5 | 3.0 | 13.6 | |
| 19 | 119 | — | — | (2.0) | | 19 | 120 | (6.0) | 3.3 | 19.3 | |
| 19 | 121 | (6.3) | 3.2 | 20.1 | | 19 | 122 | 5.7 | 3.1 | 16.3 | |
| 19 | 123 | 6.0 | 2.3 | 12.7 | | 19 | 124 | 5.8 | 2.0 | 9.8 | |
| 19 | 125 | 4.7 | 1.7 | 7.2 | | 19 | 126 | — | 1.9 | (6.8) | |
| 19 | 127 | — | 3.4 | (16.3) | | 19 | 128 | 6.8 | 2.9 | 18.6 | |
| 19 | 129 | 5.4 | 2.1 | 10.5 | | 19 | 130 | 4.8 | 2.6 | 11.2 | |
| 19 | 131 | 8.5 | 2.2 | 18.9 | | 19 | 132 | 3.8 | 1.9 | 7.2 | |
| 19 | 133 | 4.7 | 1.9 | 8.5 | | 19 | 134 | — | 1.1 | (0.8) | |
| 19 | 135 | — | (2.3) | (4.5) | | 19 | 136 | (5.0) | 2.3 | 11.9 | |
| 19 | 137 | (8.0) | 2.3 | 17.7 | | 19 | 138 | 4.6 | 2.3 | 10.1 | |
| 19 | 139 | 5.2 | 2.3 | 11.1 | | 19 | 140 | 4.8 | 2.1 | 11.6 | |
| 19 | 141 | — | 2.0 | (8.9) | | 19 | 142 | — | — | (0.7) | |
| 19 | 143 | 4.7 | 2.3 | 9.7 | | 19 | 144 | 8.0 | 2.4 | 18.4 | |
| 19 | 145 | 5.1 | 2.3 | 9.9 | | 19 | 146 | 5.2 | 2.0 | 9.6 | |
| 19 | 147 | 5.7 | 1.8 | 9.9 | | 19 | 148 | — | 2.0 | (7.2) | |
| 19 | 149 | — | — | (1.8) | | 19 | 150 | (4.8) | 3.4 | 12.9 | |
| 19 | 151 | 3.4 | 1.6 | 4.4 | | 19 | 152 | 9.1 | 3.4 | 30.0 | |
| 19 | 153 | — | 3.3 | — | | 19 | 154 | — | 4.3 | (19.9) | |
| 19 | 155 | 5.2 | 2.9 | 15.4 | | 19 | 156 | 5.6 | 2.3 | 12.8 | |
| 19 | 157 | 5.9 | 2.8 | — | | 19 | 158 | — | — | — | |
| 18 | 159 | — | — | (25.8) | | 18 | 160 | — | — | (9.7) | |
| 18 | 161 | — | — | (12.2) | | 18 | 162 | 6.2 | 5.5 | — | |
| 18 | 163 | — | 5.3 | — | | 18 | 164 | — | 4.6 | (11.4) | |
| 18 | 165 | — | 5.2 | (82.8) | | 18 | 166 | — | — | — | |
| 18 | 167 | — | — | — | | 18 | 168 | — | 5.0 | — | |
| 18 | 169 | — | 3.7 | — | | 18 | 170 | — | 2.5 | — | |
| 18 | 171 | — | 5.2 | — | | 18 | 172 | — | 4.3 | — | |
| 18 | 173 | — | 2.6 | — | | 18 | 174 | — | 2.5 | — | |
| 18 | 175 | — | — | — | | 18 | 176 | — | 2.5 | (11.7) | |
| 18 | 177 | 5.7 | 12.7 | (52.4) | | 18 | 178 | — | 1.8 | — | |
| 18 | 179 | — | 3.2 | (9.4) | | 18 | 180 | 10.2 | 3.4 | 32.3 | |
| 18 | 181 | — | — | (0.2) | | 18 | 182 | — | 3.5 | (9.2) | |
| 18 | 183 | — | — | (0.9) | | 18 | 184 | 10.5 | 5.3 | (49.1) | |
| 18 | 185 | 3.1 | 3.3 | (8.1) | | 18 | 186 | — | 2.2 | (2.7) | |
| 18 | 187 | — | 2.4 | (10.1) | | 18 | 188 | — | 4.8 | (17.8) | |
| 18 | 189 | 5.5 | 2.9 | 15.6 | | 18 | 190 | — | — | (0.3) | |
| 18 | 191 | — | — | — | | | | | | | |

※長辺、短辺は畦の内側までの長さであり、面積は畦の内側部分の面積である。()は遺存の長さ、面積である。

畠

畠は、3区・19区・22区から検出されている。また、3区の18号～21号溝も、溝の形態等から畠と考えられる。

(1) 3区検出の畠

畠は、3区の $X=35.976\sim X=36.038$ ・ $Y=-39.399\sim Y=-39.415$ 付近で検出された。畠はほぼ東西方向の畠が20条と東北東から西南西方向の畠が9条発見されている。18号～21号溝も東西方向である。

畠の規模は、東西方向の畠が、畠間の距離0.7～1.5m、畠の幅約0.3～0.5m、確認面からの深さ約0.05～0.15mである。

東北東から西南西方向の畠の規模は、畠間の距離約2.0m、畠の幅約0.4～0.6m、確認面からの深さ約0.1～0.15mである。

畠覆土には、As-C・Hr-FAが含まれている。従って、本畠は古墳時代後期（6世紀）以後の畠であるが、8世紀後半～10世紀前半の住居跡と同じ面から出土しており、集落とほぼ同時期の畠と推測している。

(2) 19区検出の畠

畠は、19区1号～28号耕作痕として $X=35.994\sim X=36.032$ ・ $Y=-39.336\sim Y=-39.360$ 付近で検出された。北西から南東方向の畠23条と北東から南西方向の畠5条が検出されている。

畠の規模は、北西～南東方向の畠が、畠間の距離約1.7～2.3m、畠の幅約0.2～0.4m、確認面からの深さ約0.05～0.08mである。北東から南東方向の畠は、畠間の距離約1.0～1.5m、畠の幅約0.2～0.4m、確認面からの深さ約0.05mである。

畠覆土には、As-C・Hr-FAが含まれている。従って、古墳時代後期（6世紀）以後の畠である。また、畠は33・35・37・38号住居跡と重複している。新旧関係は、住居跡に畠が破壊されていることから、畠の方が古い。重複する住居跡の最も古いものは、8世紀中葉～後半と考えられる。更に、下層より検出された水田より新しい。従って、畠の時代は6世紀後半以後、水田の後、8世紀中葉以前と考えられる。

住居跡とほぼ同時期の畠と推測している。

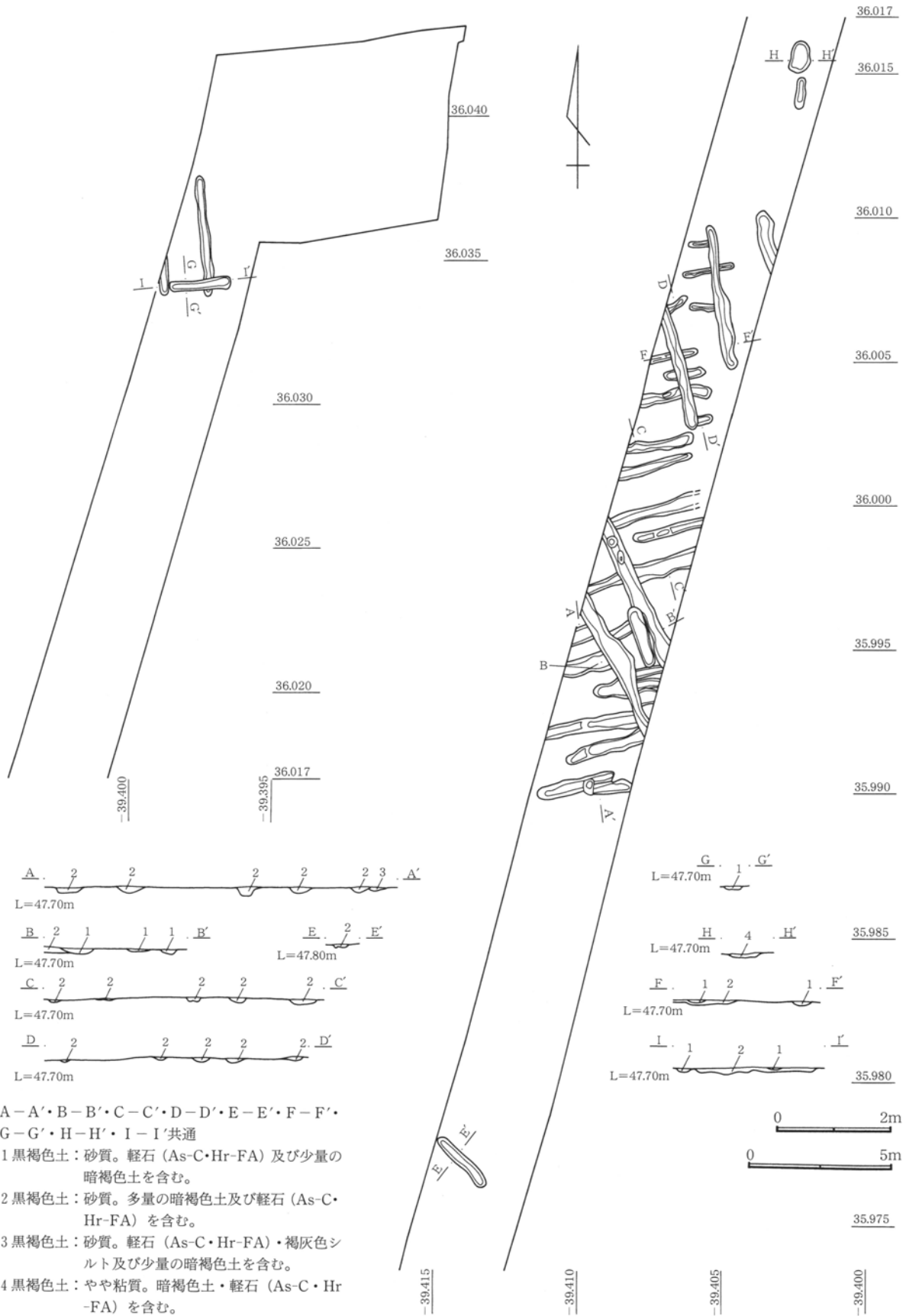
19区の畠では、作物を調べるため西壁の耕作痕採取の土でプラントオパール分析を実施した。検出されたプラントオパールは、ススキ属とタケ亜科のものであり、イネのプラントオパールは一点も検出できなかった。従って、陸稲が栽培されていた可能性は非常に少ないと推測される。

(3) 22区検出の畠

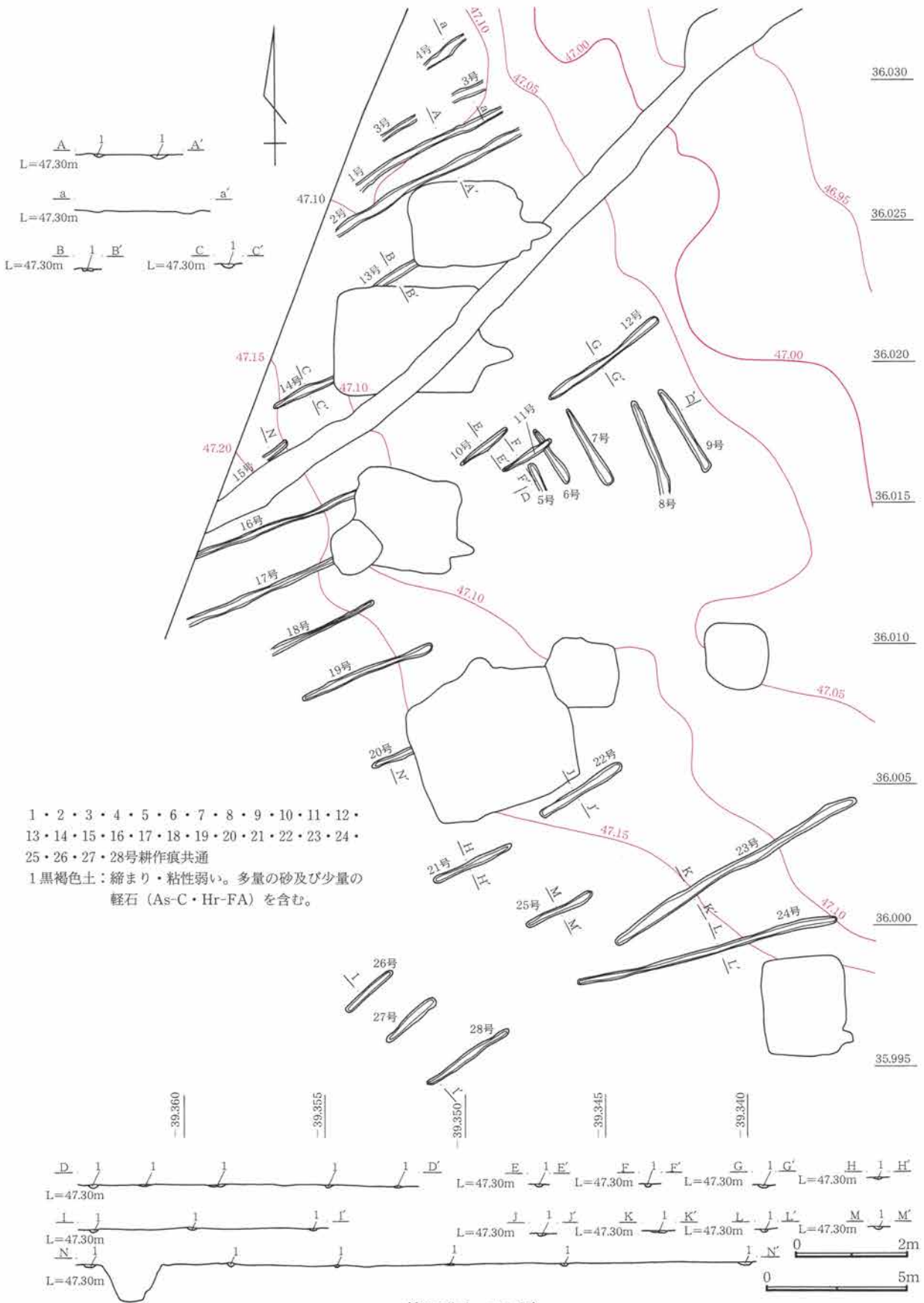
畠は、22区の $X=36.028\sim X=36.040$ ・ $Y=-39.285\sim Y=-39.291$ 付近で検出された。西北西から東南東方向の畠が6条検出できた。

畠の規模は、畠間の距離約1.8～2.5m、畠の幅約0.5～0.8mである。

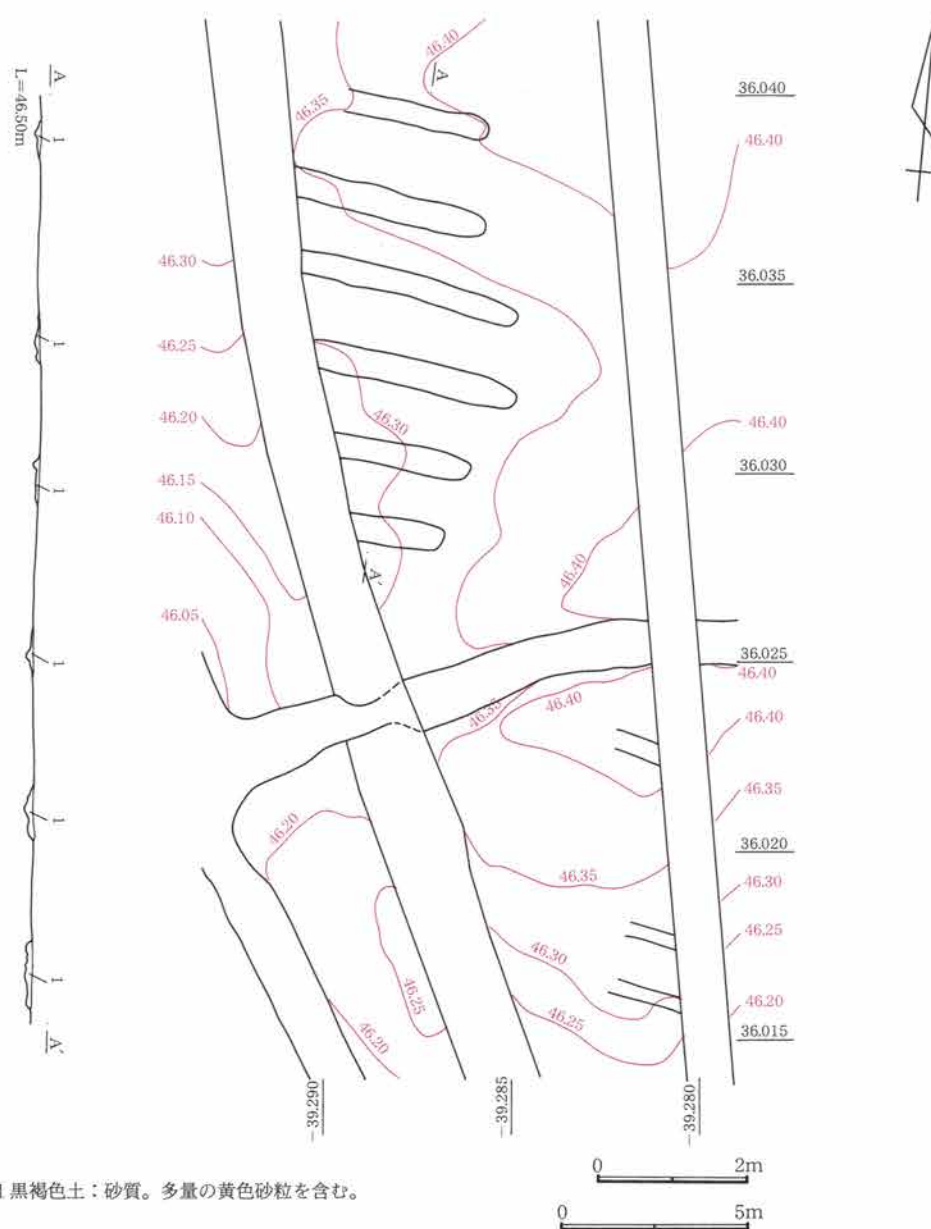
本畠は、痕跡の検出であり、薄い黄褐色砂粒層に薄く覆われていた。軽石等の年代を示す土壌は混入していなかった。砂粒は洪水土と考えられるが、本遺跡では多くの洪水層があり、時代は不明である。



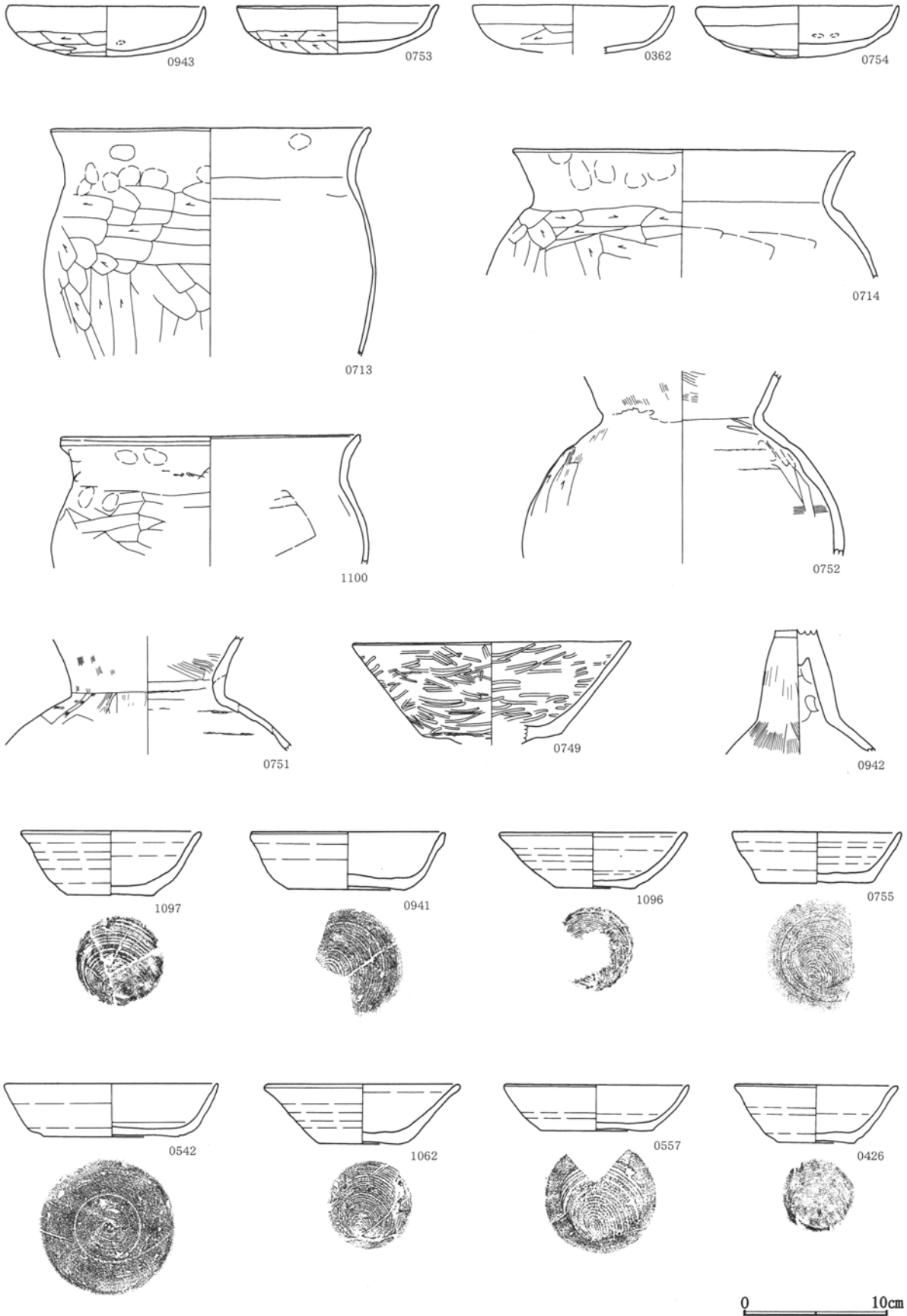
第358図 3区畠



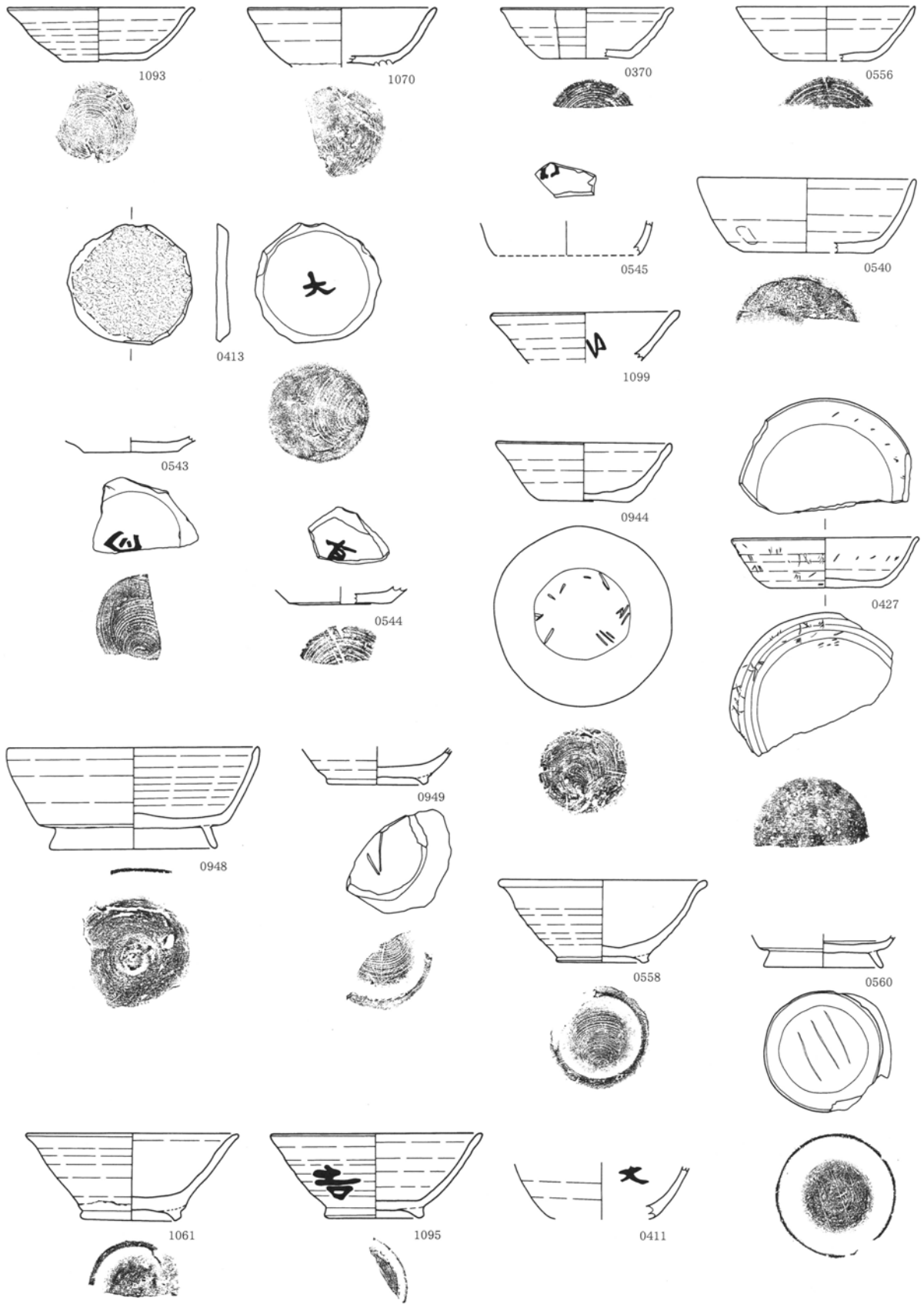
第359図 19区畠



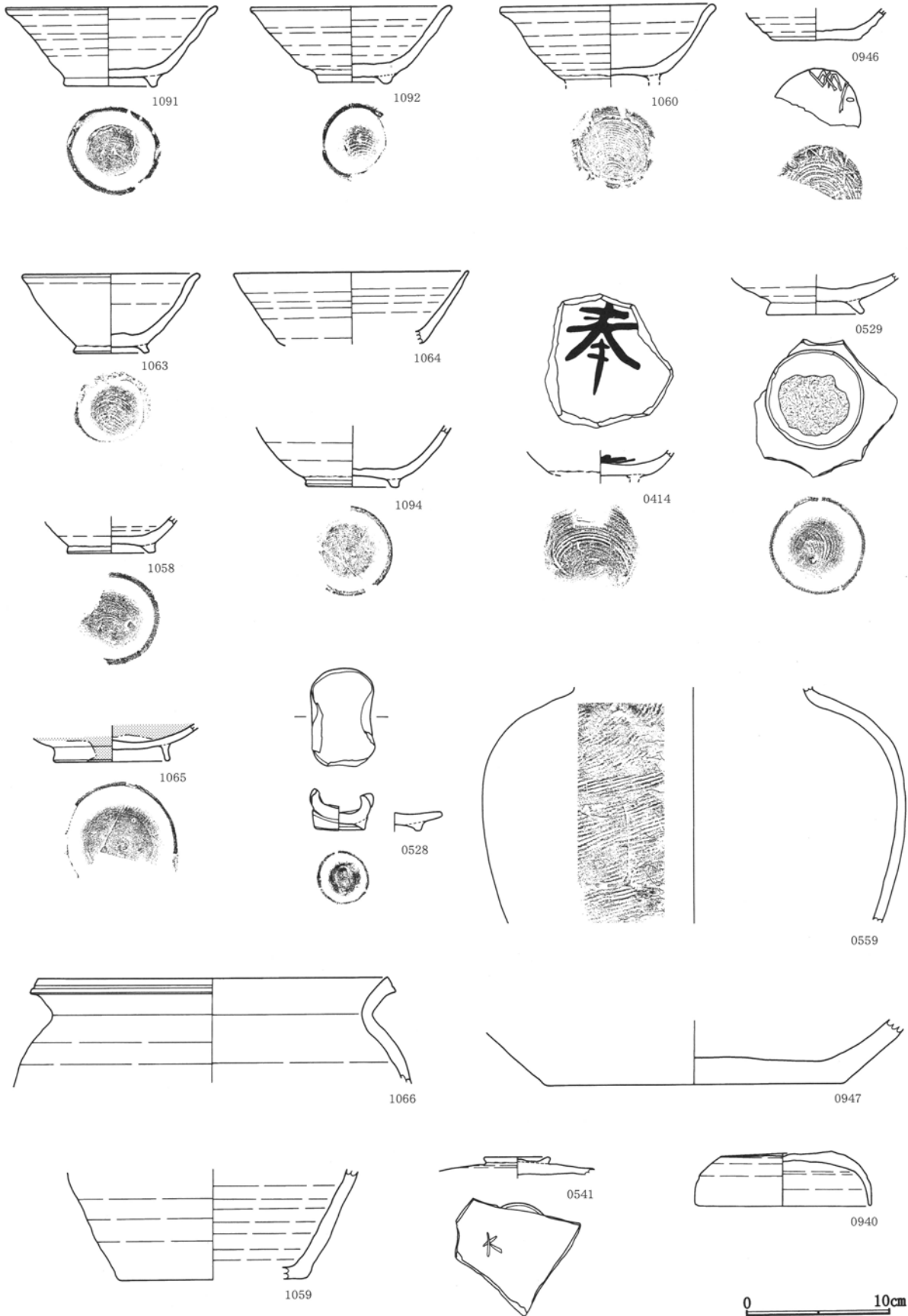
第360図 22区畠



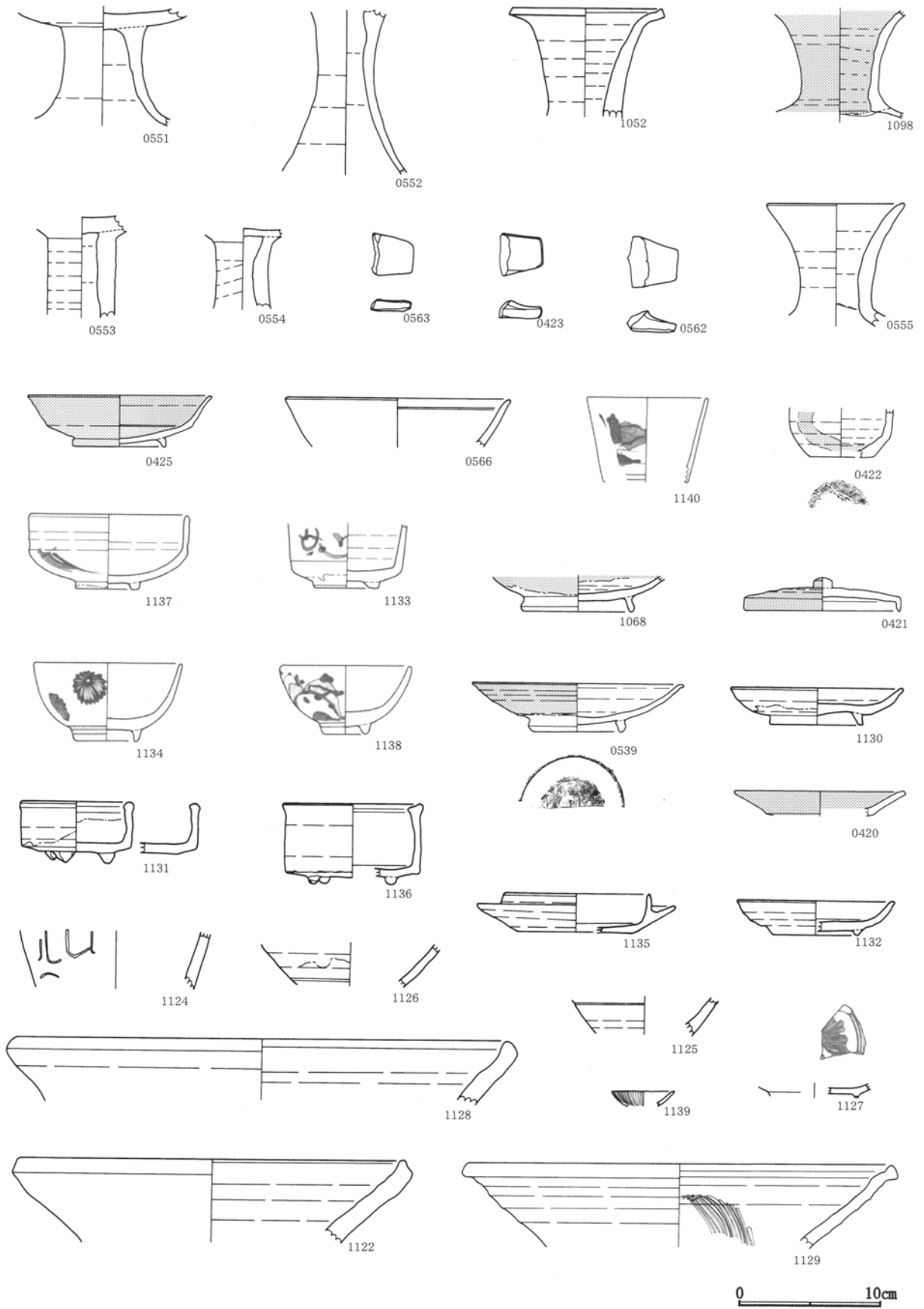
第361図 表土・遺構外出土遺物(1)



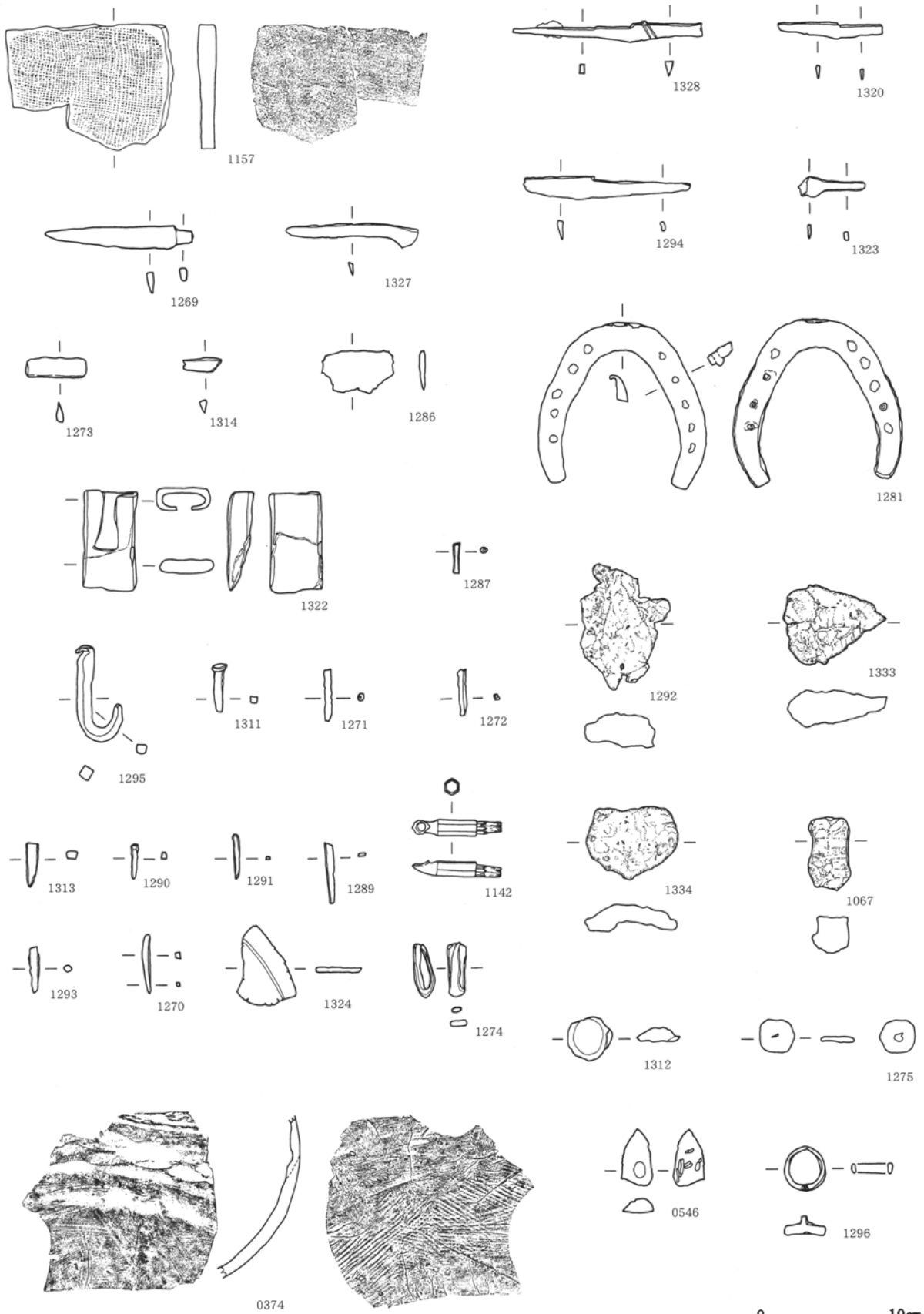
第362図 表土・遺構外出土遺物(2)



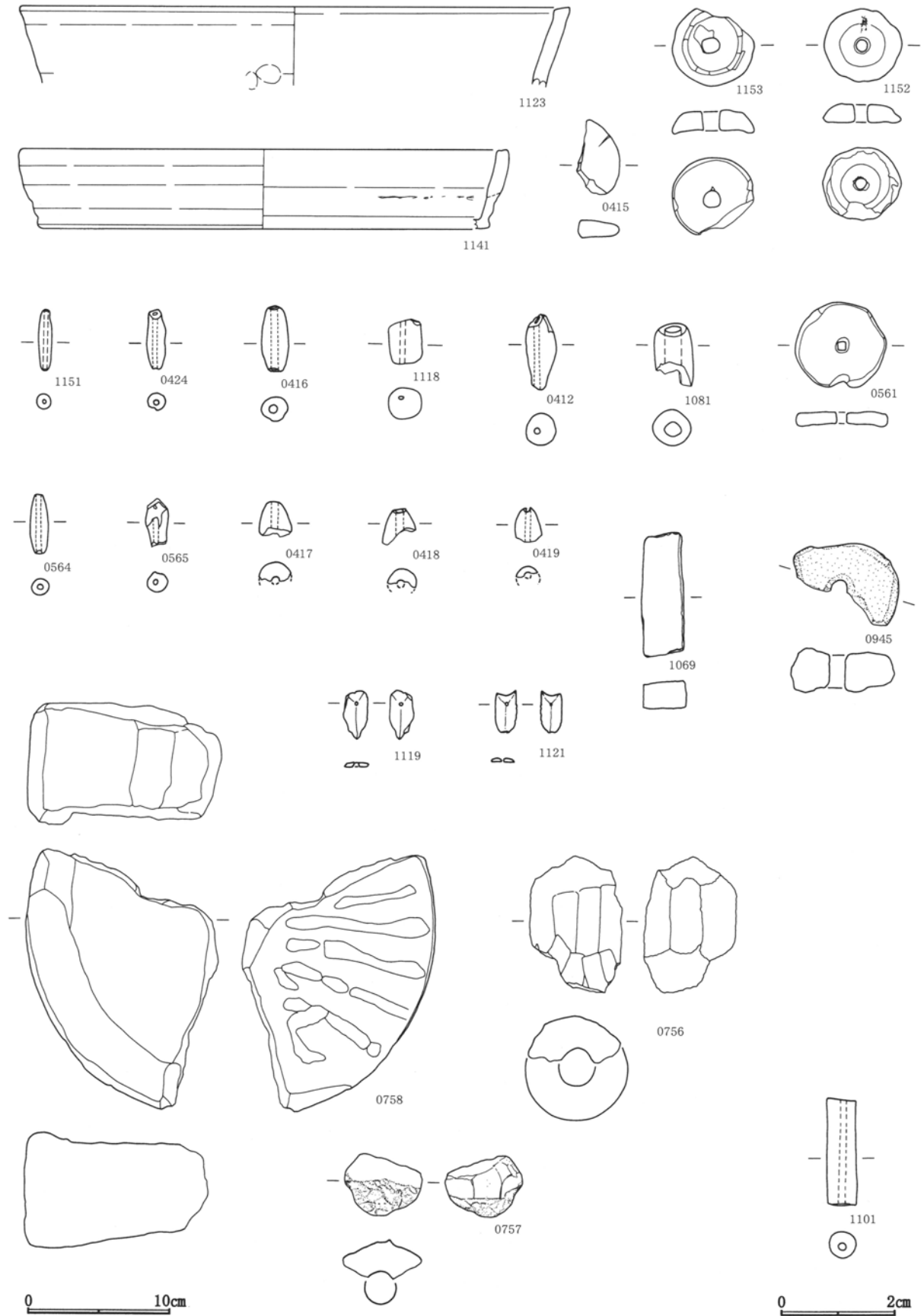
第363図 表土・遺構外出土遺物(3)



第364図 表土・遺構外出土遺物(4)



第365図 表土・遺構外出土遺物(5)



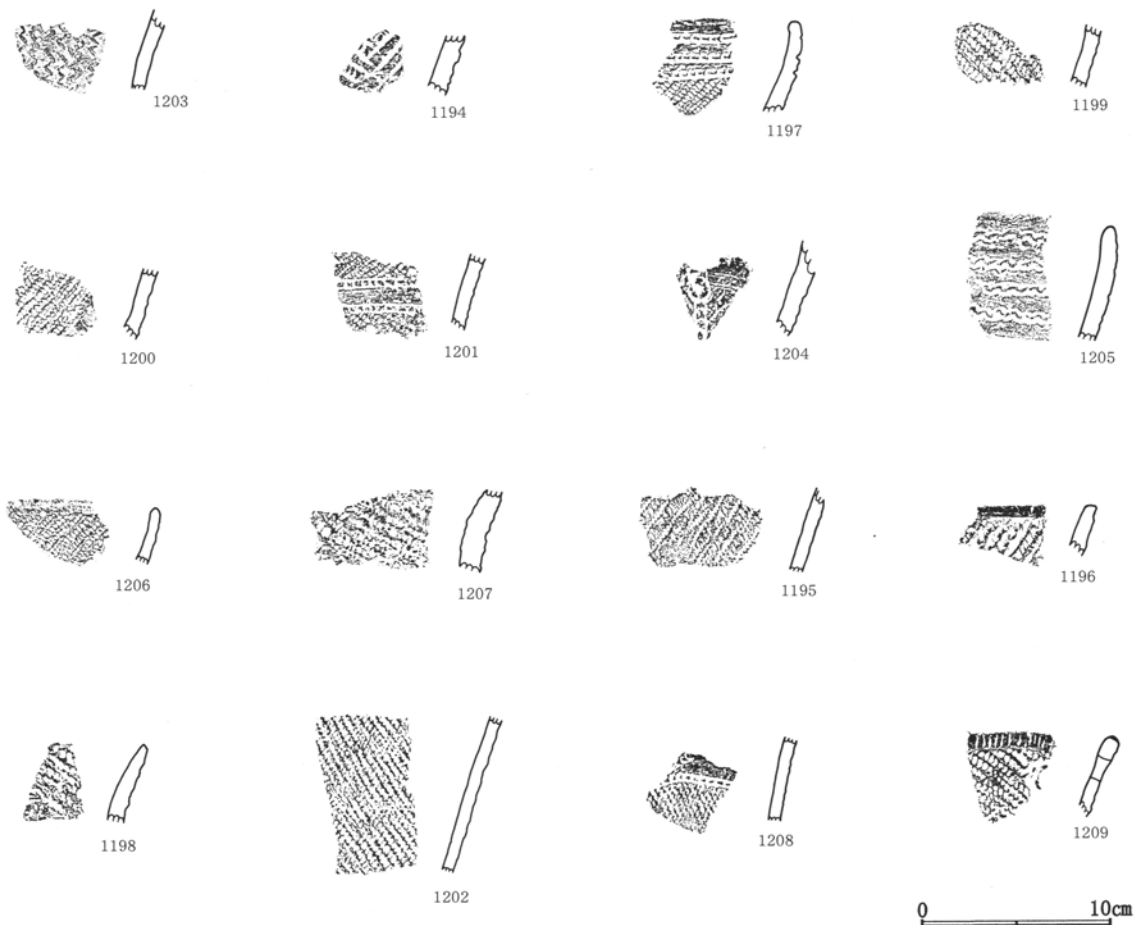
第366図 表土・遺構外出土遺物(6)

第9節 縄文時代の遺構と遺物

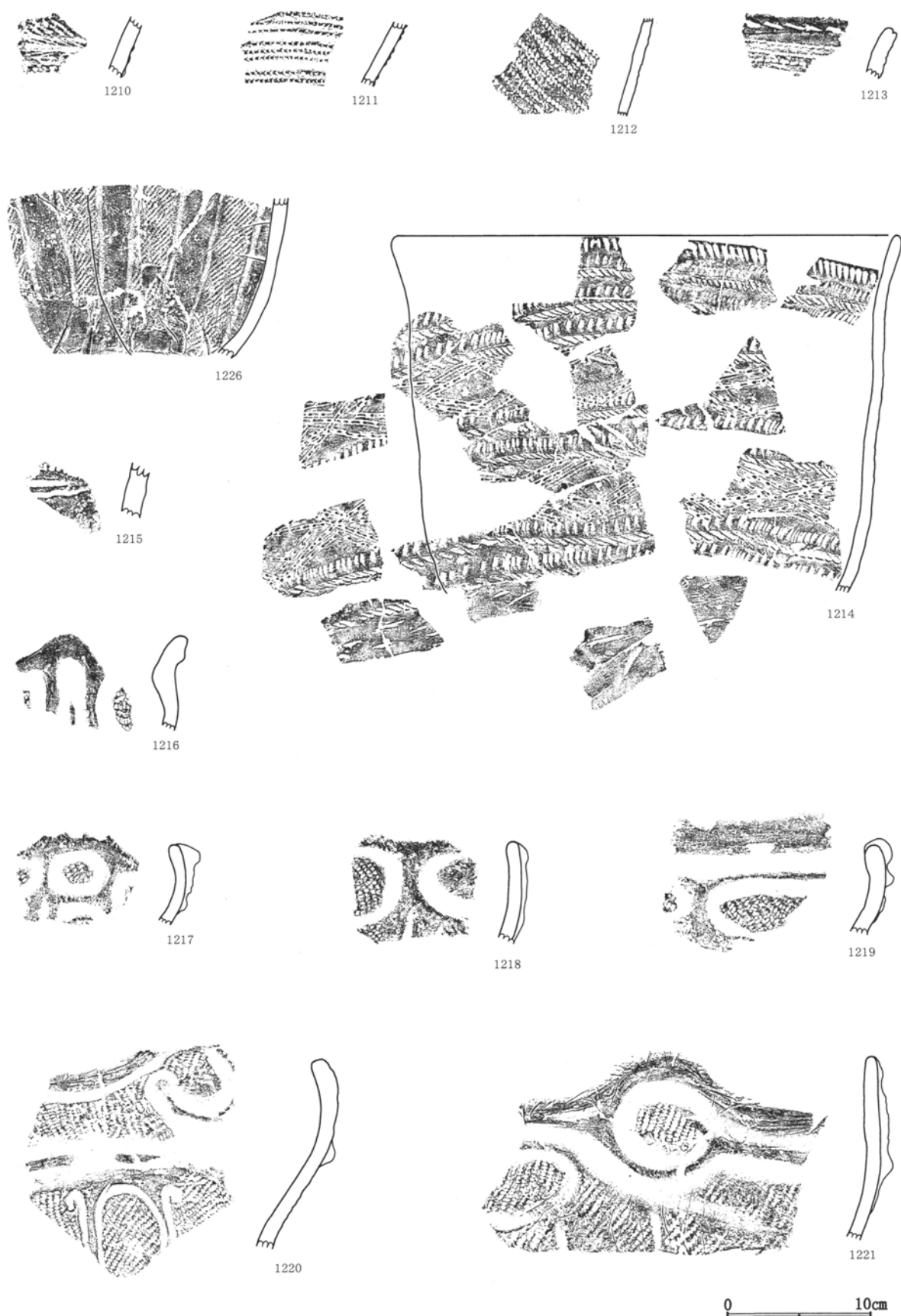
縄文時代の遺構は、16区において土坑4基が検出されたのみである。それらはすべて前期に比定でき、黒浜式ないし諸磯式（おそらく諸磯a式）に帰属する。住居跡は検出されなかったが、16区以南に広がる微高地上が、前期黒浜式～諸磯a式の生活域であった可能性が考えられる。

遺物は、早期押型土器から晩期に至る土器群が包含層中から出土している。全体で遺物収納箱8箱分を数えるが、中期末葉加曽利E3～E4式がほとんどであり、さらに後期前半称名寺式、堀之内式を含めると出土量全体の9割以上を占める。出土地点は前述した16区以南に広がる微高地と2～6区、17区北半～19、21、22区に広がる微高地であるが、前述したとおり前者の微高地は前期が主体であり、包

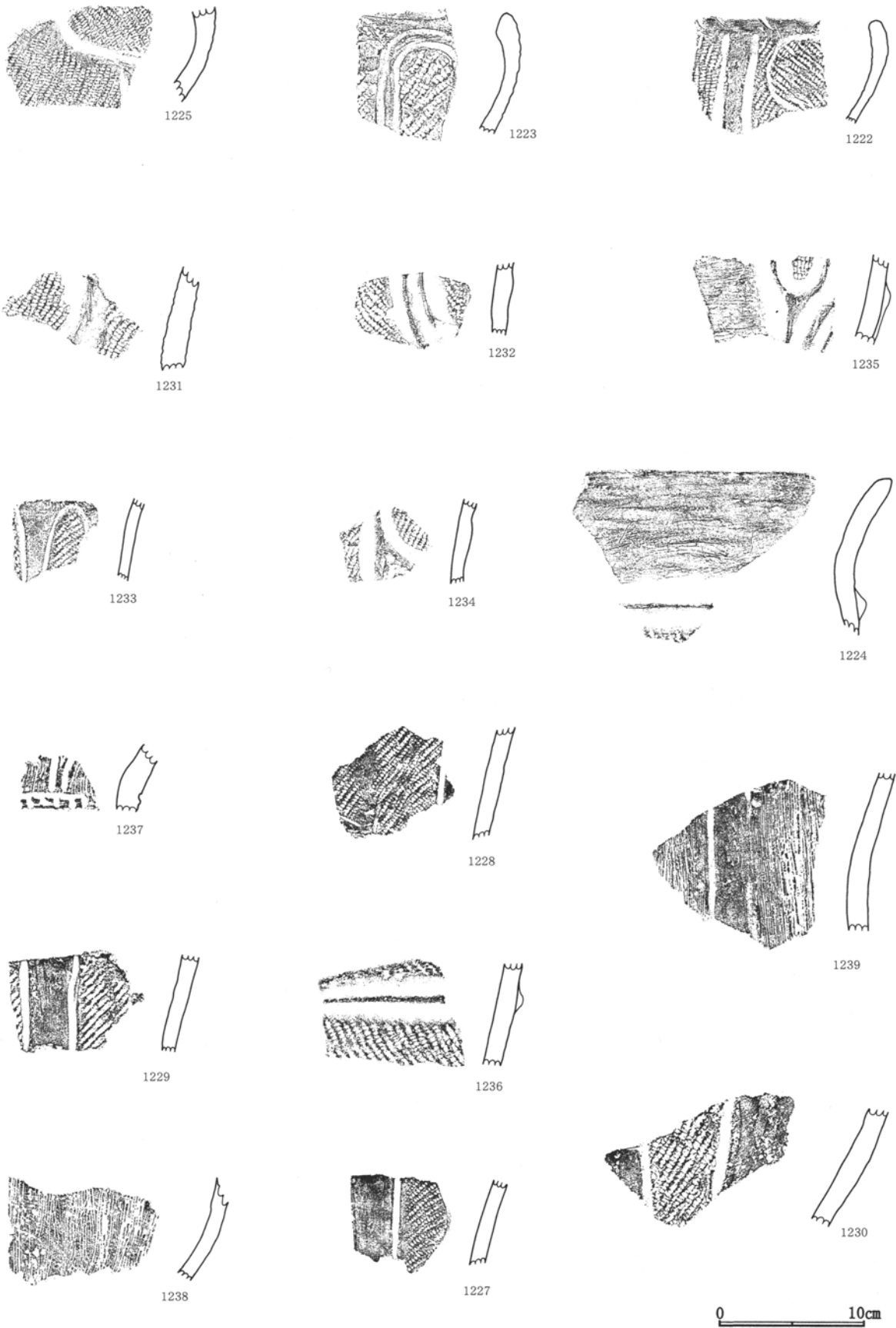
含層遺物のほとんどは後者の微高地から出土している。16区以外では確実に縄文時代に比定できる遺構は検出されなかったため、流れ込み等の要因を考えざるを得ないが、時期によって出土地点が異なる傾向が認められる。4、5区から加曽利E式の、18、19、22区から称名寺式の出土が顕著であり、同じ微高地上でもさらに地点差としてとらえられる可能性を示唆している。また出土量は少ないものの、黒浜式、諸磯a式は前述した1、16区と18、21区から出土し、諸磯b式、浮島式は4、5区から出土している。このことは単なる流れ込みではなく、廃棄行動等何らかの人為的要因も考えられよう。石器についても土器と同様な傾向が認められ、各出土地点における土器型式との関連が考えられよう。



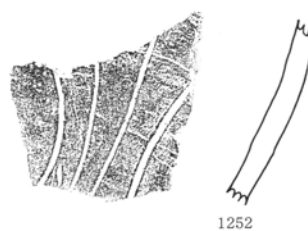
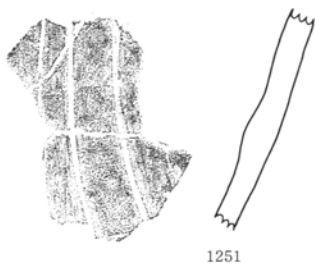
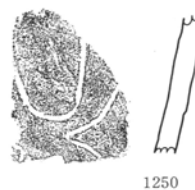
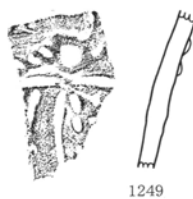
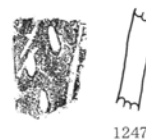
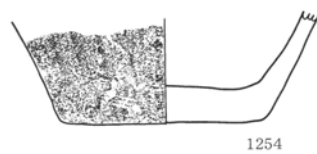
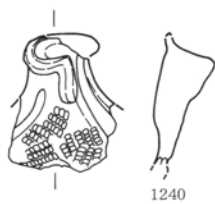
第367図 出土縄文時代土器(1)



第368図 出土縄文時代土器(2)

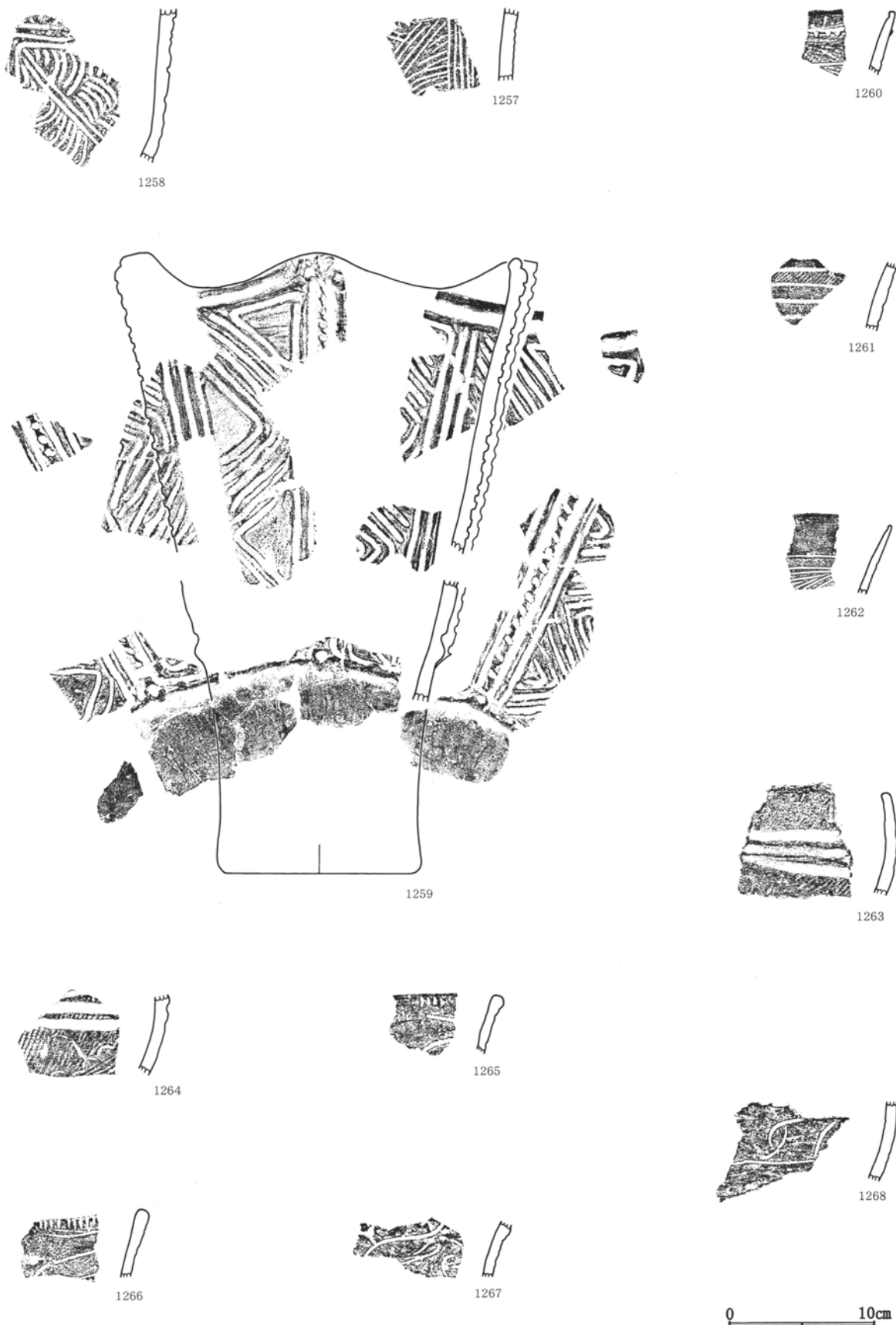


第369図 出土縄文時代土器(3)

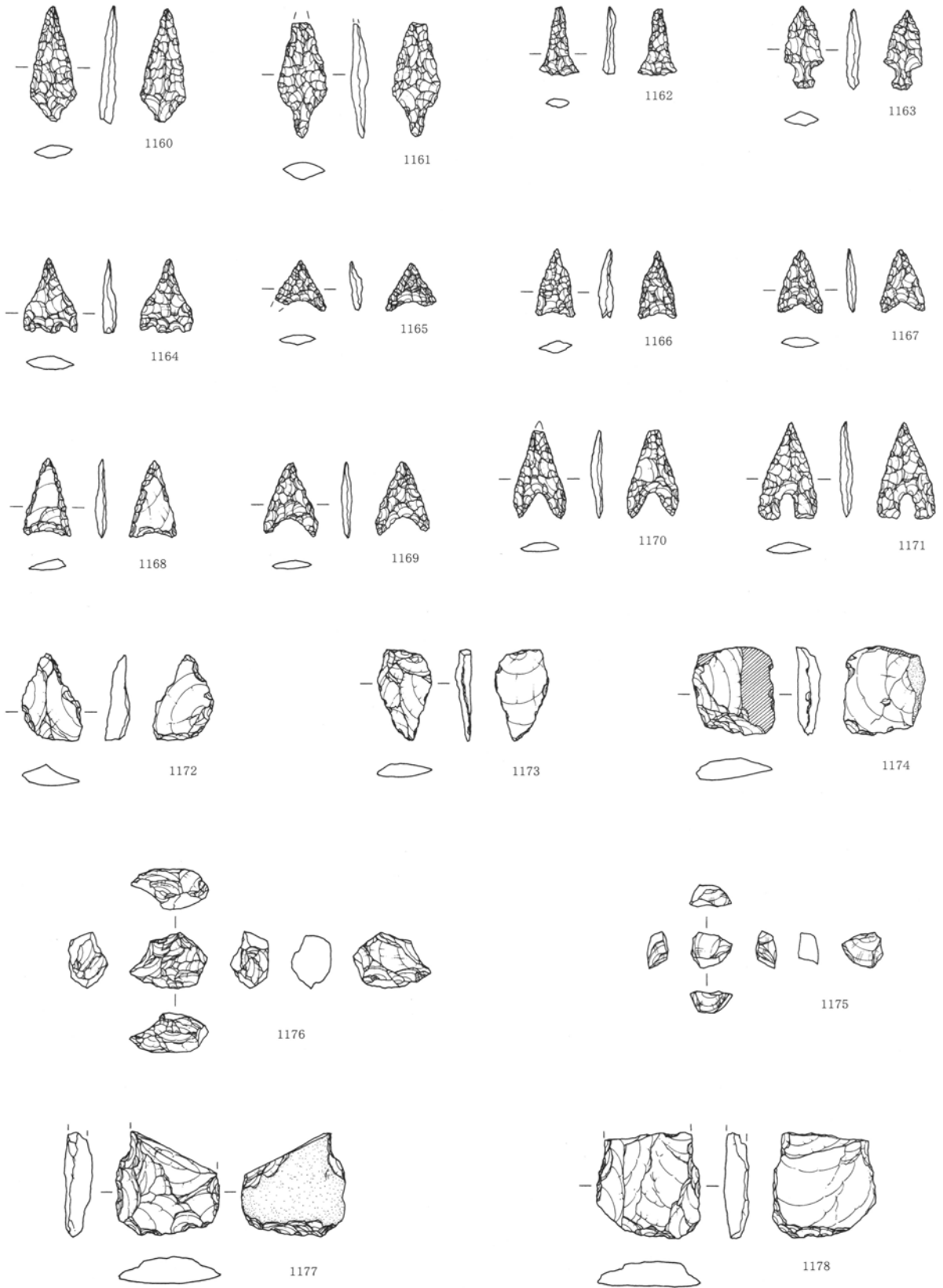


0 10cm

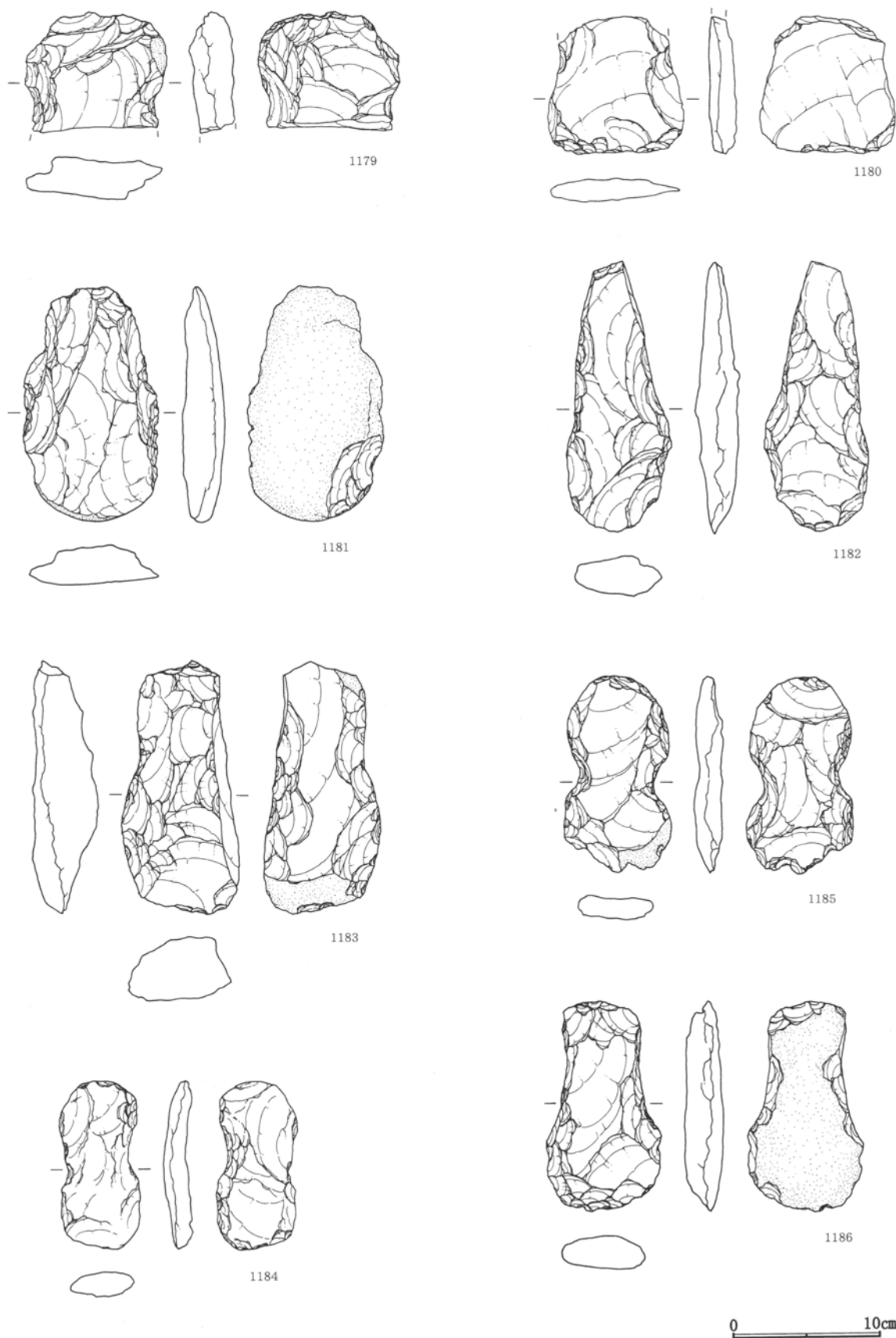
第370図 出土縄文時代土器(4)



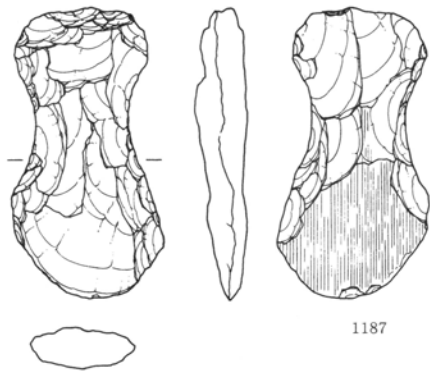
第371図 出土縄文時代土器(5)



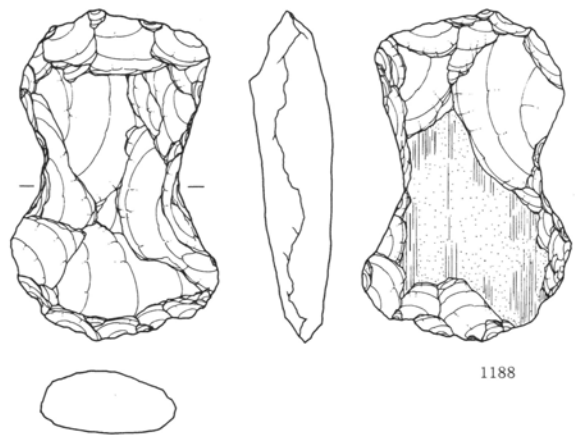
第372図 出土縄文時代石器(1)



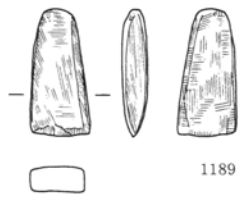
第373図 出土縄文時代石器(2)



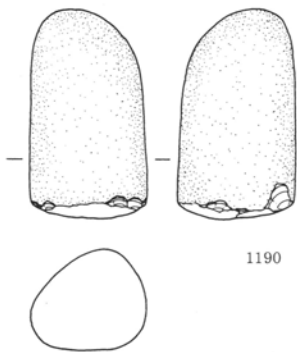
1187



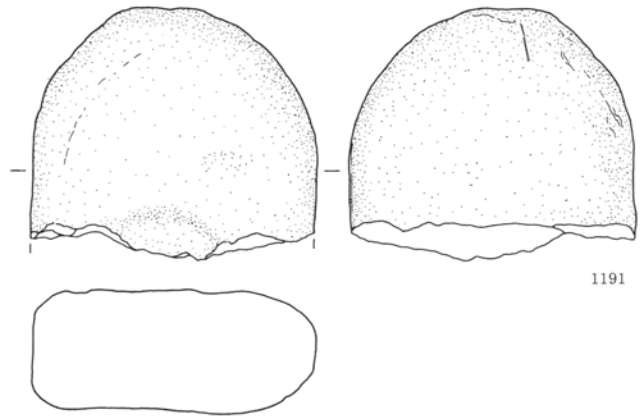
1188



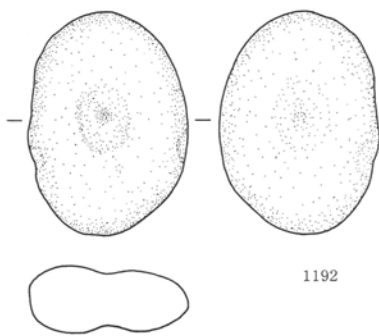
1189



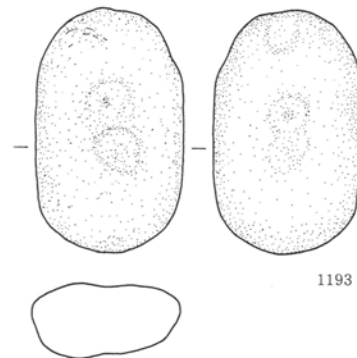
1190



1191



1192



1193

0 10cm

第374図 出土縄文時代石器(3)

第III章 遺物觀察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-----------------------|------------|-------------------|---|---------------------|--|
| 0001 第7図 | 須恵器 椀 | 2住電覆土 | 器(30) 口(140) 台一口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈹物 還元 灰黄 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。 |
| 0002 第9図 PL-90 | 須恵器 椀 | 3住Na34・36・38 | 器54 口(144) 台62 口縁部～高台部2/5 | 砂・白色鈹物 半還元 に ぶい褐 | 轆轤整形。右回転。外:口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内:口縁部～底部回転まで。 |
| 0003 第9図 PL-90 | 須恵器 椀 | 3住Na34・覆土 | 器(54) 口(144) 台一口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外:口縁部～胴部回転まで、胴部に一部巻上痕、底部回転糸切後高台貼付。内:口縁部～底部回転まで。 |
| 0004 第9図 | 須恵器 杯 | 3住Na32・35 | 器(46) 口(140) 底一口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈹物 還元 灰黄 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。内外面に油煙付着。 |
| 0005 第9図 PL-89 | 土師器 甕 | 3住Na19・覆土 | 器(128) 口218 底一頸194 最大(226) 口縁部～胴部上半3/4 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 赤褐 | 外:口縁部横まで、一部指頭痕・巻上痕、胴部上端横篔削り、胴部中央斜め篔削り。内:口縁部横まで、胴部篔まで。内外面一部油煙付着。 |
| 0006 第9図 PL-89 | 土師器 甕 | 3住Na22・覆土 | 器(174) 口(200) 底一頸(188) 最大(223) 口縁部～胴部1/4 | 砂・小石 酸化 ぶい赤褐 | 外:口縁部横まで、一部指頭痕、胴部上半横篔削り、胴部下半縦篔削り。内:口縁部横まで、胴部篔まで。内外面油煙付着。 |
| 0007 第9図 PL-90 | 土師器 甕 | 3住Na41・42・43・覆土 | 器(79) 口(200) 底一頸(182) 最大一口縁部～胴部上端1/4 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 明赤褐 | 外:口縁部横まで、一部指頭痕・巻上痕、胴部上端横篔削り。内:口縁部横まで、胴部篔まで。内外面一部油煙付着。 |
| 0008 第22図 PL-92 | 土師器 台付甕 | 9住Na1・覆土 | 器(154) 口122 脚一頸112 最大134 口縁部～脚部上端4/5 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 赤褐 | 外:口縁部横まで、一部指頭痕、胴部上半横篔削り、胴部下半縦篔削り、脚部貼付。内:口縁部横まで、胴部篔まで。内外面油煙付着。 |
| 0009 第9図 PL-89 | 土師器 台付甕 | 3住覆土 | 器(41) 口(110) 底一頸(104) 最大一口縁部～胴部上端1/3 | 砂・白色鈹物 酸化 赤褐 | 外:口縁部は横まで、胴部上端は横篔削り。内:口縁部は横まで、胴部上端は篔まで。内外面油煙付着。 |
| 0010 第18図 PL-91 | 土師器 杯 | 7住掘り方 | 器35 口123 底99 口縁部～底部4/5 | 砂 酸化 ぶい橙 | 外:口縁部横まで、胴部～底部篔削り。内:口縁部～胴部横まで、底部まで。 |
| 0011 第18図 PL-91 | 須恵器 杯 | 7住覆土 | 器40 口(130) 底(68) 口縁部～底部1/4 | 砂 酸化 赤褐 | 轆轤整形。右回転。外:口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内:口縁部～胴部回転まで。外面油煙付着。 |
| 0012 第18図 | 須恵器 杯 | 7住覆土・掘り方 | 器 37 口(120) 底(68) 口縁部～底部1/6 | 砂・白色鈹物 酸化 ぶい橙 | 轆轤整形。外:口縁部～胴部回転まで、底部上半回転篔削り。内:口縁部～底部上半回転まで。 |
| 0013 第18図 | 須恵器 盤 | 7住Na21・覆土 | 器(22) 口一 台114 胴部下端～高台部4/5 | 砂・小石 還元 灰黄 | 轆轤整形。外:胴部下端は回転まで、底部は高台貼付後回転まで。内:胴部下端～底部回転まで。 |
| 0014 第18図 | 須恵器 杯 | 7住Na25・覆土 | 器37 口(130) 底(72) 口縁部～底部1/5 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。外:口縁部～胴部回転まで、底部上端回転篔削り。内:口縁部～底部上端回転まで。 |
| 0015 第18図 | 須恵器 蓋 | 7住Na15 | 器(14) 口(160) 摘み一天井部～口縁部破片 | 砂・白色鈹物 半還元 に ぶい黄 | 轆轤整形。天井部上半回転篔削り、天井部下半～口縁部回転まで。天井部～口縁部回転まで。 |
| 0016 第18図 PL-91 | 土師器 甕 | 7住Na7・8・19・31・覆土 | 器(199) 口(207) 底一頸(188) 最大(208) 口縁部～胴部1/4 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 明赤褐 | 外:口縁部横まで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篔削り、胴部下半縦篔削り。内:口縁部横まで、胴部篔まで、一部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0017 第18図 | 土師器 甕 | 7住掘り方 Na9 | 器(56) 口(182) 底一頸(160) 最大一口縁部～胴部上端破片 | 砂・白色鈹物 酸化 赤褐 | 外:口縁部横まで、一部指頭痕、胴部上端横篔削り。内:口縁部横まで、胴部上端篔まで。 |
| 0018 第18図 | 土師器 甕 | 7住Na7・覆土 | 器(79) 口(200) 底一頸(166) 最大一口縁部～胴部上端1/6 | 砂・白色鈹物 酸化 ぶい赤褐 | 外:口縁部は横まで、一部指頭痕、胴部上端は横篔削り。内:口縁部横まで、胴部上端篔まで。 |
| 0019 第18図 PL-91 | 土師器 台付甕 | 7住掘り方 Na2・4・覆土 | 器(59) 口(107) 脚一頸(106) 最大(126) 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・白色鈹物 酸化 ぶい赤褐 | 外:口縁部は横まで、胴部上半は横篔削り。内:口縁部は横まで、一部巻上痕、胴部上半は篔まで。内外面油煙付着。 |
| 0020 第18図 | 須恵器 甕 | 7住掘り方 Na5・18 | 器(100) 口一 底一頸一 最大一頸部～胴破片 | 砂 還元 灰白 | 頸部は貼付。外:胴部上半は叩き目。内:胴部上半はなで、一部巻上痕。 |
| 0021 第20図 PL-91 | 須恵器 椀 | 8住Na5・7・9 | 器62 口136 台75 ほぼ完形 | 砂・小石 酸化 ぶい橙 | 轆轤整形。外:口縁部～胴部回転まで、底部高台貼付後まで。内:口縁部～底部回転まで後へら磨き。内黒。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-----------------------|------------|----------------------|--|---------------------|--|
| 0022 第20図 | 須恵器 杯 | 8住掘り方 | 器(42)口(164)底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。外面油 煙付着。 |
| 0023 第20図 | 灰釉陶器 椀 | 8住覆土 | 器(13)口一 台(68) 胴部下端～高台部破片 | 細砂 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転など、底部高台貼付 後回転など。内：胴部下端～底部回転など。 |
| 0024 第20図 PL-91 | 土師器 | 8住Na15 | 器13 口(56)底(40) 孔径(7) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い褐 | 焼成前穿孔。外：口縁部横など、胴部～底部篔削 り。内：口縁部～底部篔磨き。 |
| 0025 第20図 | 土師器 甕 | 8住電No 7・ 覆土 | 器(75)口(200)底一 頸(184)最大200 口縁部～胴部上端破片 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 赤褐 | 外：口縁部横など、胴部上端篔削り。内：口縁 部横など、胴部上端篔など。 |
| 0026 第21図 PL-91 | 瓦 平 瓦 | 8住電No 6 | 長(200)幅(135)厚28 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 赤褐 | 凹面粗い布目痕 凸面タテナデ 面取りなし 側端 部を斜めに切っている |
| 0027 第21図 PL-91 | 瓦 平 瓦 | 8住電No 3・ 5・覆土 | 長(207)幅(160)厚36 | 砂・小石 酸化 赤褐 | 凹面粗い布目痕 凸面タテナデ 面取りなし きわ めて厚い |
| 0028 第21図 PL-91 | 瓦 平 瓦 | 8住電No 8・ 覆土 | 長(156)幅(139)厚36 | 砂・小石 酸化 赤褐 | 凹面粗い布目痕、模骨痕らしい段差がある 凸面タ テナデのち正格子叩き 面取りなし 中央部きわ めて厚い |
| 0029 第20図 PL-91 | 瓦 平 瓦 | 8住電No 8・ 9・覆土 | 長(88)幅(80)厚23 | 砂・小石・赤色鈳物 酸化 赤褐 | 凹面粗い布目痕 凸面ナデ 面取りなし |
| 0030 第20図 PL-91 | 石製品 | 8住電No 3 | 長115 幅85 厚44 重 664.5 g | 粗粒輝石安山岩 | 表面は全体に擦れていて滑らか。 |
| 0031 第20図 | 須恵器 壺 | 8住電No13 | 器(78)口一 底一 頸一 最大一 胴部上半破片 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面胴部上半は回転など。外面に自然 釉。 |
| 0032 第22図 | 須恵器 杯 | 9住覆土・掘 り方 | 器(34)口(126)底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0033 第23図 PL-92 | 土師器 甕 | 10住住居内土 坑No 6 | 器(70)口(206)底一 頸(184)最大一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い褐 | 外：口縁部横など、一部指頭痕、胴部上端篔削 り。内：口縁部横など、胴部上端篔など、一部指 頭痕。内外面油煙付着。 |
| 0034 第25図 | 土師器 甕 | 11住Na 3・4 ・5 | 器(48)口(192)底一 頸(174)最大一 口縁部破片 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 赤褐 | 内外面口縁部は横など、油煙付着。 |
| 0035 第29図 | 須恵器 杯 | 13住貯蔵穴 | 器(24)口(130)底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰褐 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0036 第29図 | 土師器 甕 | 13住Na 2 | 器(60)口(200)底一 頸(182)最大一 口縁部～胴部上端破片 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横など、一部巻上痕、胴部上端篔削 り。内：口縁部横など、一部巻上痕、胴部上端篔 など。内面油煙付着。 |
| 0037 第29図 PL-92 | 石製品 | 13住Na 4 | 長101 幅84 厚35 重 353.4 g | 粗粒輝石安山岩 | 表面は全体に擦れている。 |
| 0038 第30図 PL-92 | 須恵器 椀 | 14住Na 2 | 器 67 口(155) 台(85) 口縁部～高台部1/6 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 など。 |
| 0039 第30図 PL-92 | 須恵器 杯 | 14住Na 1 | 器40 口(130)底(65) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など。 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0040 第30図 | 須恵器 杯 | 14住掘り方 | 器40 口(140)底一 口縁部～胴部1/8 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 黄 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部は回転など。 |
| 0041 第27図 PL-92 | 須恵器 杯 | 12住Na38 他 | 器37 口(126)底56 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0042 第27図 PL-92 | 土師器 杯 | 12住 Na 6・ 8・33・覆土 | 器61 口(170)底(80) 口縁部～底部1/5 | 砂 酸化 におい橙 | 外：口縁部横など、胴部～底部篔削り。内：口縁 部～底部へら磨き。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-----------------------|------------|--|---|-----------------------|--|
| 0043 第27図 | 須恵器 椀 | 12住No14・竈 覆土 | 器(30) 口一底(60) 胴部～高台部1/3 | 砂・白色鈳物 半還元 に ぶい黄 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転などで。内面 に大量の油煙付着。 |
| 0044 第27図 PL-92 | 土師器 甕 | 12住No30 | 器(104) 口(160) 底一 頸(146) 最大一 口縁部～胴部上半1/6 | 砂・白色鈳物 酸化 黒褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削 り、胴部上半たて篋削り。内：口縁部横などで、胴 部上半篋などで。内外面油煙付着。 |
| 0045 第27図 PL-92 | 須恵器 壺 | 12住No1・2 ・3・5・10・ 23・25・26・ 27・覆土 | 器(153) 口一底一 頸一 最大168 胴部～底部3/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面胴部は回転などで。外面一部自然 釉。 |
| 0046 第50図 PL-94 | 須恵器 杯 | 25住No29・ 30・35・覆土 | 器39 口128 底63 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部は回転糸切後などで。内：口縁部～底部回転な で。 |
| 0047 第50図 PL-94 | 須恵器 椀 | 25住No27 | 器63 口(148) 台75 口縁部～高台部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 などで。 |
| 0048 第50図 PL-94 | 須恵器 杯 | 25住No4・8 ・覆土 | 器36 口(126) 底65 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰オ リーブ | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～底部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0049 第50図 PL-94 | 須恵器 杯 | 25住No27・35 | 器43 口(140) 底57 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 篋切り後篋などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0050 第50図 PL-94 | 須恵器 杯 | 25住No9・10 ・11・12・13、 掘り方 | 器38 口130 底64 口縁部～底部3/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～胴部回転などで。 |
| 0051 第50図 PL-94 | 須恵器 杯 | 25住No7 | 器30 口(124) 底(60) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～底部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0052 第50図 | 須恵器 椀 | 25住No5 | 器39 口一 台(76) 胴部～高台部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部回転糸切後高 台貼付。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0053 第50図 | 須恵器 椀 | 25住No21 | 器(49) 口一 台(98) 胴部～高台部1/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部高台貼付後回 転などで。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0054 第50図 PL-94 | 須恵器 盤 | 25住覆土 | 器35 口(130) 台(88) 口縁部～高台部1/8 | 砂・赤色鈳物 酸化 にぶ い褐 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、高台部は 貼付。内：口縁部～胴部回転などで。 |
| 0055 第50図 | 土師器 甕 | 25住No32 | 器(51) 口(200) 底一 頸(180) 最大一 口縁部～胴部上端破片 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕・巻上痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋な で。 |
| 0056 第50図 | 土師器 台付甕 | 25住No33・掘 り方 | 器(40) 口一 台一 胴 部下端～脚部上端2/3 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 にぶい赤褐 | 脚部は貼付。外：胴部下端立て篋削り、脚部上端 横などで。内：胴部下端～底部篋などで、脚部上端 横などで。内外面油煙付着。 |
| 0057 第50図 | 須恵器 鉢 | 25住No6 | 器(47) 口(200) 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部上端は回転などで。 |
| 0058 第50図 PL-94 | 土製品 紡錘車 | 25住No31 | 直64 孔8.5 厚13 重56.4g | 砂・白色鈳物 半還元 褐 灰 | 焼成前穿孔。表面は篋などで、油煙付着。 |
| 0059 第50図 PL-94 | 土製品 紡錘車 | 25住No15 | 直52 孔7 厚18 重46.9g | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄褐 | 焼成前穿孔。表面は篋などで、油煙付着。 |
| 0060 第53図 PL-94 | 須恵器 椀 | 26A住No1 ・2 | 器65 口51 台(71) 口縁部～高台部1/6 | 砂・小石 白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台 貼付後などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0061 第53図 PL-95 | 須恵器 杯 | 26A住No2・ 覆土 | 器40 口(130) 底(64) 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0062 第53図 | 須恵器 椀 | 26A住No7 | 器(31) 口一 台一 胴部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転などで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-----------------------|------------|----------------------|---|-----------------------|--|
| 0063 第53図 | 須恵器 杯 | 26A住No.4 | 器(14) 口一 底65 胴部下半～底部1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部回転糸切。内：胴部下半～底部回転など。 |
| 0064 第53図 PL-95 | 灰釉陶器 皿 | 26A住No.18 | 器23 口144 台73 口縁部～高台部5/6 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台貼付後回転など。内：口縁部～底部回転など。内面前面施釉、外面施釉なし。 |
| 0065 第53図 PL-94 | 土師器 甕 | 26A住No.12・ 13・覆土 | 器(187) 口(206) 底一 頸(187) 最大(244) 口縁部～胴部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篔削り、胴部下半縦篔削り。内：口縁部横などで、胴部篔などで、一部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0066 第53図 PL-94 | 土師器 甕 | 26A住No.16・ 覆土・覆土 | 器(178) 口(210) 底一 頸(188) 最大(230) 口縁部～胴部1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い褐 | 外：口縁部は横などで、一部指頭痕、胴部上半横篔削り、胴部中央斜め篔削り、胴部下半縦篔削り。内：口縁部横などで、胴部篔などで、一部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0067 第53図 PL-95 | 土師器 甕 | 26A住No.5 | 器(32) 口(200) 底一 頸(171) 最大一 口縁部～胴部上端破片 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部上端横篔削り。内：口縁部横などで、胴部上端篔などで。 |
| 0068 第55図 PL-95 | 須恵器 杯 | 26B住No.5 ・覆土 | 器36 口124 底58 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0069 第55図 PL-95 | 須恵器 杯 | 26B住No.7 ・覆土 | 器38 口130 底62 口縁 部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0070 第53図 PL-95 | 須恵器 杯 | 26A住No.23・ 26A住覆土 | 器32 口(130) 底(55) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0071 第53図 PL-94 | 須恵器 杯 | 26A住No.24 | 器34 口(114) 底(54) 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0072 第55図 PL-95 | 須恵器 椀 | 26B住No.22・ 51・57 | 器65 口(150) 台(90) 口縁部～高台部1/4 | 砂・小石 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0073 第55図 PL-95 | 須恵器 椀 | 26B住No.18 | 器(41) 口一 台(78) 胴部～高台部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部高台貼付後回転など。内：胴部～底部回転など。 |
| 0074 第55図 PL-95 | 須恵器 皿 | 26B住No.20・ 掘り方覆土 | 器(17) 口130 台一 口 縁部～高台上端2/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部は回転などで、底部は回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0075 第55図 PL-95 | 須恵器 椀 | 26B住No.14・ 15 | 器(18) 口一 台74 胴部下端～高台部1/1 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部短回転などで、底部高台貼付後など。内：胴部下端～底部回転など。周囲を丁寧に打ち欠いている。転用品。 |
| 0076 第55図 | 須恵器 椀 | 26B住No.1 | 器(21) 口一 台82 胴部下端～高台部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部下端は回転などで、底部は高台貼付後回転など。内：胴部下端～底部回転など。 |
| 0077 第55図 PL-95 | 土師器 甕 | 26B住No.35・ 覆土 | 器(135) 口(210) 底一 頸(190) 最大(236) 口縁部～胴部1/5 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 明黄褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篔削り、胴部中央～胴部下半斜め篔削り。内：口縁部横などで、胴部篔などで。内外面油煙付着。 |
| 0078 第55図 PL-95 | 土師器 甕 | 26B住No.2 ・38・覆土 | 器(85) 口(184) 底一 頸(169) 最大一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端篔削り。内：口縁部横などで、胴部上端篔などで。 |
| 0079 第55図 | 土師器 甕 | 26B住No.32・ 覆土 | 器(44) 口(212) 底一 頸(190) 最大一 口縁部1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 外：口縁部は横などで、頸部は篔などで。内：口縁部は横などで。 |
| 0080 第55図 | 土師器 甕 | 26B住No.2・ 覆土 | 器(52) 口(191) 底一 頸(178) 最大一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 におい赤褐 | 外：口縁部横などで、胴部上端横篔削り。内：口縁部横などで、胴部上端篔などで。内外面油煙付着。 |
| 0081 第55図 PL-95 | 土師器 台付甕 | 26B住No.52・ 59 | 器(139) 口一 脚(104) 頸径一 最大径一 胴部下半～脚部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 赤褐 | 外：胴部下半縦篔削り、脚部貼付・横などで、一部指頭痕。内：胴部下半篔などで、脚部横などで。内外面油煙付着。 |
| 0082 第55図 | 土師器 台付甕 | 26B住覆土 | 器(41) 口一 脚(86) 頸径一 最大径一 底部～脚部1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 脚部は貼付。外：脚部は横などで。内：底部～脚部などで。内外面油煙付着。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-----------------------|------------|---------------------|---|-------------------------|--|
| 0083 第55図 | 土師器 台付甕 | 26B住Na19・ 21 | 器(32) 口一 脚(96) 頸径一 最大径一 脚部2/5 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い赤褐 | 脚部は貼付。内外脚部は横なで。内外面油煙付着。 |
| 0084 第57図 PL-95 | 須恵器 杯 | 27住Na 3 | 器36 口132 底64 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0085 第57図 PL-95 | 須恵器 杯 | 27住Na 8 | 器32 口(123) 底(60) 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0086 第57図 | 須恵器 杯 | 27住Na 1・覆 土 | 器35 口(130) 底(80) 口縁部～底部1/8 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 篋削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0087 第57図 | 須恵器 甕 | 27住Na 9・覆 土 | 器(61) 口(150) 底一 頸径(116) 最大一 口縁部～頸部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。頸部は貼付。内外面口縁部～頸部は回 転なで。 |
| 0088 第57図 | 須恵器 碗 | 27住Na11 | 器(20) 口一 台(78) 胴部下端～高台部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部下端は回転なで、底部は高台 貼付後回転なで。内：胴部下端～底部回転なで。 |
| 0089 第58図 PL-95 | 須恵器 杯 | 28住Na 2 | 器45 口134 底77 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元 黄灰 | 轆轤整形。口縁部～胴部回転なで、底部静止糸切 後なで。内：口縁部～底部回転なで。二次炎を受 けている。 |
| 0090 第58図 | 土師器 甕 | 28住Na 4・15 | 器(130) 口一 底一 頸径一 最大一 胴部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 赤褐 | 外：胴部上半横篋削り、胴部下半縦篋削り。内： 胴部篋なで。外面油煙付着。 |
| 0091 第61図 PL-95 | 須恵器 杯 | 29住Na135 | 器36 口136 底83 ほぼ完形 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 黄 | 轆轤整形。外：口縁部～底部回転なで、底部回転 糸切後なで。外：口縁部～底部回転なで。 |
| 0092 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住Na 92・ 134・覆土 | 器36 口128 底73 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 篋削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0093 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住Na129・ 132・覆土 | 器32 口122 底75 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。内面 一部油煙付着。 |
| 0094 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住Na77 | 器34 口128 底77 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元 にぶい黄褐 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部なで。 内：口縁部～底部回転なで。内外面一部油煙付着。 |
| 0095 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住Na118 | 器34 口134 底83 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元 黄灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転篋削り後、書いて名篋削り。内：口縁部 ～底部回転なで。 |
| 0096 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住Na109 | 器36 口(130)底80 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 糸切後篋削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0097 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住Na108 | 器32 口128 底78 口縁部～底部2/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転外：口縁部～胴部回転なで、底 部回転篋削り。内：口縁部～底部回転なで。外面に 油煙付着。 |
| 0098 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住Na63 | 器38 口(128) 底68 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0099 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住覆土・掘 り方 | 器40 口(125) 底78 口縁部～底部2/5 | 砂・小石 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転なで。内外 面油煙付着。 |
| 0100 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住Na37・掘 り方 | 器33 口126 底78 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色粒子 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～底部回転なで、 底部回転糸切後なで。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0101 第61図 | 須恵器 杯 | 29住Na87 | 器(26) 口一 底74 胴部下半～底部3/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部 回転糸切後上半回転篋削り。内：胴部下半～底部 回転なで。 |
| 0102 第61図 PL-96 | 須恵器 碗 | 29住Na126・ 127 | 器44 口121 底78 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部はな で後高台貼付。内：口縁部～底部回転なで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-----------------------|-------------|---------------------|--|---------------------|---|
| 0103 第61図 PL-96 | 須恵器 椀 | 29住掘り方 | 器48 口122 台82 口縁部～底部4/5 | 砂 半還元 におい黄 | 轆轤整形。外：口縁部～底部回転などで、底部高台貼付後など。内：口縁部～底部回転など。外面燻し。 |
| 0104 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住掘り方 | 器37 口(148) 底85 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0105 第61図 PL-96 | 須恵器 杯 | 29住No105 | 器37 口(130) 底(74) 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0106 第61図 | 須恵器 杯 | 29住掘り方 | 器50 口(172) 底(104) 口縁部～底部上半1/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部上半回転篋削り。内：口縁部～底部上半回転など。 |
| 0107 第61図 | 須恵器 杯 | 29住No65 | 器49 口(170) 底(120) 口縁部～底部上端1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部上端回転篋削り。内：口縁部～底部上端回転など。外面燻し。 |
| 0108 第62図 PL-96 | 須恵器 杯の転用 | 29住No122 | 器(10) 口(89) 底80 胴部下端～底部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。底部は回転糸切後回転篋削り。須恵器杯の転用品。周囲は打ち欠いている。 |
| 0109 第62図 PL-96 | 須恵器 杯の転用 | 29住覆土 | 器(19) 口(93) 底(70) 胴部～底部3/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰オ リーブ | 轆轤整形。須恵器杯の転用品。周囲は打ち欠いた後磨っている。 |
| 0110 第61図 PL-96 | 須恵器 盤 | 29住覆土 | 器(10) 口一 台(110) 胴部下端～高台部上端 1/6 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部下端は回転などで、底部は回転篋削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転など。 |
| 0111 第61図 PL-96 | 須恵器 蓋 | 29住No75・111 ・他 | 器42 口182 摘42 口縁部～摘み5/6 | 砂・小石 還元 灰 | 轆轤整形。外：摘みは貼付。天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転篋削りなど。内：天井部～口縁部回転など。 |
| 0112 第61図 PL-96 | 須恵器 蓋 | 29住No33・覆 土 | 器18 口(134) 天井部～口縁部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：天井部上半回転糸切、天井部中央回転篋削り、天井部下半～口縁部回転など。内：天井部～口縁部回転など。 |
| 0113 第61図 PL-96 | 須恵器 蓋 | 29住No82 | 器18 口(132) 天井部～口縁部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：天井部上半～天井部中央回転篋削り、天井部下半～口縁部回転など。内：天井部～口縁部回転など。 |
| 0114 第60図 PL-95 | 土師器 甕 | 29住No136・覆 土 | 器(89) 口142 底一 頸132 最大(164) 口縁部～胴部3/5 | 砂・小石 酸化 褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削り、胴部中央斜め篋削り。内：口縁部横などで、胴部篋削りなど。内外面油煙付着。 |
| 0115 第60図 PL-95 | 土師器 甕 | 29住No128・ 130・覆土 | 器(75) 口(183) 底一 頸(164) 大一 口縁部～胴部上端1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い黄褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕・巻上痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋削りなど。内外面に油煙付着。 |
| 0116 第61図 PL-95 | 土師器 甕 | 29住No51・102 | 器(62) 口(208) 底一 頸(183) 最大一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕・巻上痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋削りなど。内外面油煙付着。 |
| 0117 第60図 PL-95 | 土師器 甕 | 29住覆土 | 器(90) 口(180) 底一 頸(164) 最大一 口縁部～胴部上端1/5 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端斜め篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋削りなど。 |
| 0118 第61図 PL-95 | 土師器 甕 | 29住No43・覆 土 | 器(45) 口(140) 頸(130) 底一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端篋削りなど。 |
| 0119 第61図 PL-95 | 土師器 台付甕 | 29住No6・覆 土 | 器(38) 口一 頸一 最大一 脚(112) 底部～脚部3/5 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い赤褐 | 脚部は貼付。外：脚部は横などで。内：底部は横などで、脚部は横などで。内外面油煙付着。 |
| 0120 第61図 PL-96 | 須恵器 壺 | 29住覆土 | 器(22) 口(100) 頸一 最大一 底一 口縁部～頸部破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～頸部は回転などで、自然釉。 |
| 0121 第104図 | 須恵器 杯 | 46住竈掘 | 器(34) 口140 底一 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0122 第104図 | 須恵器 椀 | 46住No4 | 器(24) 口一 台58 胴部下端～高台部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転など。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|----------|-----------------------|--|--------------------------|--|
| 0123 第103図 | 土師器 甕 | 46住覆土 | 器(60) 口(230) 頸(210) 底— 口縁部～胴部上端1/8 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上端篋なで。 |
| 0124 第294図 PL-124 | 須恵器 杯 | 283坑No16 | 器37 口126 底72 完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0125 第294図 PL-124 | 須恵器 杯 | 283坑No78・覆土 | 器38 口130 底57 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0126 第294図 PL-124 | 須恵器 杯 | 283坑No82・覆土 | 器35 口(120) 底63 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内面：口縁部～底部回転なで。 |
| 0127 第294図 PL-124 | 須恵器 杯 | 283坑No15・覆土 | 器36 口(130) 底72 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0128 第294図 PL-124 | 須恵器 杯 | 283坑覆土 | 器37 口(124) 底(70) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0129 第294図 PL-124 | 須恵器 杯 | 283坑No20 | 器38 口(140) 底(65) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0130 第294図 | 須恵器 杯 | 283坑No67・覆土 | 器(36) 口(150) 底— 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転なで。 |
| 0131 第294図 PL-124 | 須恵器 椀 | 283坑No84・ 85・86、覆土 | 器50 口(140) 台64 口縁部～高台部2/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰白・浅黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0132 第295図 PL-125 | 須恵器 椀 | 283坑No52・55 | 器(43) 口— 台57 胴部～高台部3/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。内面燻し。 |
| 0133 第294図 PL-124 | 須恵器 椀 | 283坑No33 | 器(41) 口— 台65 胴部～高台部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。 |
| 0134 第294図 PL-124 | 須恵器 椀 | 283坑No52 | 器(33) 口— 台61 胴部～高台部1/1 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 黄褐 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転糸切後、高台貼付。内：胴部～底部回転なで。内外面油煙付着。 |
| 0135 第294図 PL-124 | 須恵器 椀 | 283坑No34・79 | 器(35) 口— 台58 胴部～高台部3/5 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転糸切高台貼付。内：胴部～底部回転なで。 |
| 0136 第294図 PL-124 | 須恵器 椀 | 283坑No76 | 器(28) 口— 台— 胴部～高台部上半3/5 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。内外面一部油煙付着。 |
| 0137 第294図 | 須恵器 椀 | 283坑No42・43 | 器(32) 口— 台61 胴部～高台部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 におい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。 |
| 0138 第295図 | 須恵器 椀 | 283坑No45・覆土 | 器(24) 口— 台52 胴部～高台部2/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部下半回転なで、底部高台貼付後回転なで。内：胴部下半～底部回転なで。 |
| 0139 第294図 | 須恵器 椀 | 283坑No66・ 77・覆土 | 器(38) 口— 台67 胴部～高台部3/5 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。 |
| 0140 第294図 | 須恵器 椀 | 283坑No12 | 器(34) 口— 台(64) 胴部～高台部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。 |
| 0141 第295図 | 須恵器 盤 | 283坑No 6・7 | 器(21) 口— 台— 胴部下端～高台部上半 1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転なで、底部高台貼付後なで。内：胴部下端～底部回転なで。 |
| 0142 第295図 PL-124 | 須恵器 壺 | 283坑覆土 | 器(25) 口— 台78 胴部下端～高台部上半 1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転なで、底部高台貼付後回転なで。内：胴部下端～底部回転なで。内外面に一部自然釉。 |
| 0143 第295図 | 須恵器 蓋 | 283坑No 8 | 器(32) 口— 摘(48) 摘部～天井部上半1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り。内：天井部上半回転なで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|--------------|---------------------|--|----------------------------|---|
| 0144 第294図 | 土 師 器 甕 | 283坑Na29・ 30、覆土 | 器(57) 口(200) 頸(174) 底— 口縁部～胴部上端1/8 | 砂・赤色鉱物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篔削り。内：口縁部横などで、胴部上端篔など。 |
| 0145 第294図 | 土 師 器 甕 | 283坑Na28 | 器(77) 口(200) 頸(182) 底— 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篔削り。内：口縁部横などで、胴部上端篔など。 |
| 0146 第294図 PL-124 | 土 師 器 甕 | 283坑Na90、覆 土 | 器(132) 口(220) 頸(218) 底 — 口縁部～胴部中央1/8 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部指などで、一部指頭痕、胴部上半縦篔削 り、胴部中央横篔削り。内：口縁部横などで、胴部 などで、一部巻上痕。外面胴部油煙付着。 |
| 0147 第294図 PL-124 | 土 師 器 台付甕 | 283坑Na72、覆 土 | 器(112) 口(122) 頸(110) 台— 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上半横篔削 り、胴部下半縦篔削り。内：口縁部横などで、胴部 篔などで。内外面油煙付着。 |
| 0148 第295図 PL-125 | 土 製 品 錘 | 283坑覆土 | 長(40) 径20 孔3 重10.4 g | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 明赤褐 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0149 第295図 PL-125 | 土 製 品 錘 | 283坑覆土 | 長(40) 径16 孔3 重8.6 g | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 明赤褐 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0150 第295図 PL-125 | 石 製 品 | 283坑Na88 | 長150 幅71 厚51 重954.3 g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は磨れている。 |
| 0151 第295図 PL-125 | 石 製 品 | 283坑Na51 | 長(143) 幅60 厚28 重416.3 g | ホルンフェルス | 周囲は磨れている。 |
| 0152 第295図 PL-124 | 須 恵 器 甕 | 283坑Na41 | 器(—) 口— 底— 頸— 最大— 胴部破片 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰 | 外面に線刻、内面に巻上痕。外：叩き目。内：当 て具痕。 |
| 0153 第108図 PL-105 | 須 恵 器 杯 | 48住Na23・24、 覆土 | 器33 口124 底72 ほぼ完形 | 砂・白色鉱物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切後上端回転篔削り。内：口縁部～底 部回転など。外面底部に墨書「子」。 |
| 0154 第114図 PL-106 | 須 恵 器 杯 | 49住Na54 | 器30 口(120) 底76 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鉱物 還元 青灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切後回転篔削り。内：口縁部～底部回 転など。 |
| 0155 第108図 PL-104 | 須 恵 器 杯 | 48住Na7・電 Na25 | 器38 口(130) 底78 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鉱物 半還元 灰 白・にぶい黄橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転など、底部回転 篔削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0156 第108図 PL-105 | 須 恵 器 杯 | 48住Na72・電 掘 | 器37 口124 底70 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転篔削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0157 第108図 PL-105 | 須 恵 器 杯 | 48住Na70・覆 土 | 器38 口(124) 底74 口縁部～底部2/5 | 砂 半還元 灰白・橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転など、底部回転 篔削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0158 第108図 PL-105 | 須 恵 器 杯 | 47住Na45・覆 土 | 器39 口(128) 底(84) 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転など、底部回転 篔削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0159 第108図 PL-104 | 須 恵 器 杯 | 48住電Na7・ 8・22、覆土 | 器31 口131 底(8) 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。内外 面に一部油煙付着。 |
| 0160 第108図 PL-105 | 須 恵 器 杯 | 48住Na16 | 器33 口(100) 底(60) 口縁部～底部1/6 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切後回転篔削り。内：口縁部～底部回 転など。 |
| 0161 第108図 PL-104 | 須 恵 器 椀 | 48住Na28 | 器64 口(160) 台106 口縁部～高台部2/3 | 砂・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転篔削り後高台貼付。内：口縁部～底部回 転など。 |
| 0162 第108図 PL-105 | 須 恵 器 椀 | 48住Na18・19 | 器(39) 口— 台— 胴部～高台部上半3/5 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰黄 | 轆轤整形。外：胴部回転など、底部高台貼付後回 転など。内：胴部～底部回転など。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-------------|----------------------------|--|---------------------------|---|
| 0163 第108図 PL-105 | 須恵器 把手付椀 | 48住No50・64・65 | 器47 口(134) 台(90) 口縁部～高台部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、把手部貼付、篋削り、底部回転篋削り後高台貼付。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0164 第108図 | 須恵器 椀 | 48住No60 | 器(19) 口一 台90 胴部下端～高台部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：胴部下端～底部回転などで。 |
| 0165 第109図 PL-105 | 須恵器 蓋 | 48住No66・67、 覆土 | 器43 口170 摘41 天井部～口縁部5/6 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。 |
| 0166 第109図 PL-105 | 須恵器 杯 | 48住No62 | 器(10) 口一 底70 胴部下端～底部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 転用形態。胴部下端で丁寧に打ち欠き。外面底部磨れ。(轆轤整形。右回転。外：底部は回転糸切後回転篋削り。内：底部回転などで。) |
| 0167 第109図 PL-105 | 須恵器 杯 | 48住No14 | 器(7) 口一 底72 胴部下端～底部1/1 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 転用形態。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内外面底部磨れ。(轆轤整形。右回転。外：底部回転篋削り。内：胴部下端～底部回転などで。) |
| 0168 第109図 PL-105 | 須恵器 杯 | 48住No51 | 器(6) 口一 底70 底部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 半還元 灰白・にぶい黄橙 | 転用形態。底部が丁寧に打ち欠いてある。(轆轤整形。右回転。外：底部回転糸切。内：回転などで。) |
| 0169 第109図 PL-105 | 須恵器 鉢 | 48住No6・覆土、 52住覆土 | 器(6) 口一 底70 口縁部～胴部1/2 | 砂・小石・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部上半回転などで、胴部下半回転篋削り。内：口縁部～胴部回転などで。内外面油煙付着。 |
| 0170 第109図 PL-105 | 須恵器 鉢 | 48住覆土、電掘 | 器53 口(180) 底(126) 口縁部～底部上端1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端～底部上端回転篋削り。内：口縁部～底部上端無回転などで。内外面に一部油煙付着。 |
| 0171 第109図 | 須恵器 蓋 | 48住No13、 覆土 | 器(17) 口(150) 摘一 天井部～口縁部1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい褐 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。外面に一部油煙付着。 |
| 0172 第109図 | 須恵器 皿 | 48住No9、覆土 | 器(17) 口(200) 台一 口縁部～胴部1/8 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 明赤褐 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。内外面に一部油煙付着。 |
| 0173 第109図 | 須恵器 盤 | 48住覆土 | 器(17) 口(118) 台一 口縁部～高台部上端 1/8 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤褐 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台貼付。内：口縁部～底部回転などで。内外面に一部油煙付着。 |
| 0174 第108図 PL-104 | 土師器 杯 | 48住覆土、電掘 | 器27 口(110) 底(70) 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部篋削り後などで、底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで、一部指頭痕。 |
| 0175 第108図 | 土師器 杯 | 48住覆土、電掘 | 器(30) 口(110) 底(70) 口縁部～底部上半1/6 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤褐 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部篋削り後などで、底部上半篋削り。内：口縁部横などで、胴部～底部上半などで。 |
| 0176 第108図 PL-105 | 土師器 甕 | 48住No44・覆土、 電No10・14・19 | 器(170) 口200 頸178 底一 口縁部～胴部3/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篋削り、胴部中央～下半縦篋削り。内：口縁部横などで、胴部などで、一部指頭痕。内外面油煙付着。 |
| 0177 第108図 PL-105 | 土師器 甕 | 48住覆土、電掘 | 器(75) 口(200) 頸(180) 底一 口縁部～胴部上端1/2 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0178 第108図 PL-105 | 土師器 台付甕 | 48住掘No71・ 覆土、電掘 | 器128 口109 頸94 台(85) 口縁部～台部3/4 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部上半横篋削り、胴部下半縦篋削り、台部などで。内：口縁部横などで、胴部篋などで、台部などで。内外面油煙付着。 |
| 0179 第114図 | 須恵器 椀 | 49住No97 | 器(21) 口一 台104 胴部下端～高台部1/1 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 明赤褐 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：胴部下端～底部回転などで。高台部に油煙付着。 |
| 0180 第114図 | 須恵器 椀 | 49住No32 | 器(21) 口一 台128 底部～高台部1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 明赤褐 | 轆轤整形。外：底部高台貼付後回転などで。内：底部回転などで。外面一部油煙付着。 |
| 0181 第113図 | 土師器 甕 | 49住No13・14・15・17・ 18・24 | 器(163) 口一 頸一 底一 胴部1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：胴部上半横篋削り、胴部下半縦篋削り。内：胴部篋などで、一部巻上痕・指頭痕。内外面一部油煙付着。 |
| 0182 第113図 | 土師器 甕 | 49住No85 | 器(67) 口(210) 頸(180) 底一 口縁部～胴部上端破片 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕・巻上痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。内面油煙付着。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|----------------------|---|----------------------------|---|
| 0183 第113図 | 土師器 台付甕 | 49住Na105 | 器(30) 口一 底41 台一 底部～台部上端1/1 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 にぶい橙 | 台部貼付。外：台部横なで。内：底部なで、台部横なで。 |
| 0184 第113図 | 土師器 台付甕 | 49住Na122 | 器(33) 口一 底48 台一 底部～台部上端2/3 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 台部貼付。外：台部横なで。内：底部なで、台部横なで。 |
| 0185 第125図 PL-108 | 須恵器 杯 | 51住電Na 1・ 2 | 器38 口130 底74 ほぼ完形 | 砂・白色鈹物 酸化 にぶ い褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。内外 面に油煙付着。 |
| 0186 第125図 PL-108 | 須恵器 杯 | 51住Na 6、覆 土 | 器31 口(96) 底(60) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転筧削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0187 第125図 PL-108 | 須恵器 皿 | 51住Na 9、電 覆土 | 器24 口(134) 台(76) 口縁部～高台部1/3 | 砂・白色鈹物 酸化 明赤 褐 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部高台 貼付後回転なで。底部：口縁部～底部回転なで。 内面に一部油煙付着。 |
| 0188 第125図 PL-108 | 須恵器 皿 | 51住Na12・覆 土、電Na 4 | 器26 口136 台86 口縁部～高台部2/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 なで。内面一部油煙付着。 |
| 0189 第125図 PL-108 | 土師器 甕 | 51住Na 3 | 器(60) 口132 頸121 底一 口縁部～胴部上端1/1 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横筧削り。内：口縁部横なで、一部巻上痕、胴 部上端筧なで。内外面油煙付着。 |
| 0190 第125図 PL-108 | 土師器 甕 | 51住掘Na20 | 器(75) 口(200) 頸(180) 底一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横筧削り。内：口縁部横なで、胴部なで、一部 指頭痕。 |
| 0191 第125図 PL-108 | 須恵器 羽釜 | 51住Na 8 | 器(87) 口一 最大一 底90 胴部下半～底部3/4 | 砂・小石・白色鈹物 半還 元 灰黄褐 にぶい橙 | 轆轤整形。外：胴部下半回転なで、胴部下端筧削 り。内：胴部下半回転なで、一部巻上痕・指頭痕、 底部回転なで。 |
| 0192 第125図 PL-108 | 土師器 台付甕 | 51住電Na15 | 器(55) 口一 頸一 台(120) 胴部下端～台部1/2 | 砂・小石・白色鈹物・雲 母 酸化 明赤褐 | 台部貼付。外：胴部下端筧削り後なで、台部横な で、一部指頭痕。内：胴部下端～台部筧なで。内 外面一部油煙付着。 |
| 0193 第125図 PL-108 | 須恵器 甕 | 51住電Na 5 | 器(135) 口一 頸一 底(200) 胴部下半～底部1/6 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 外面叩き目。内面当て具痕、一部巻上痕。 |
| 0194 第125図 PL-108 | 須恵器 椀 | 53住電Na 4 | 器(33) 口一 台70 胴部～高台部2/3 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。 |
| 0195 第125図 | 須恵器 椀 | 53住電覆土 | 器(26) 口一 台74 胴部下半～高台部1/2 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転な で。 |
| 0196 第125図 PL-108 | 土師器 甕 | 53住Na 4 | 器(110) 口(190) 頸(170) 底一 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上半横筧削 り。内：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上半筧 なで、一部指頭痕。 |
| 0197 第125図 | 土師器 台付甕 | 53住覆土 | 器(50) 口一 頸一 台一 胴部下端～台部 上端2/3 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 台部貼付。外：胴部下端縦筧削り、台部上端なで。 内：胴部下端～底部筧なで。内外面油煙付着。 |
| 0198 第125図 | 須恵器 椀 | 52住覆土 | 器(18) 口一 台一 胴部下端～高台部上半 1/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転なで、底部 高台貼付後回転なで。内：胴部下端～底部回転な で。 |
| 0199 第125図 | 須恵器 椀 | 52住覆土 | 器45 口(150) 台(95) 口縁部～高台部破片 | 砂 白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで。底部高台 貼付後回転なで。内：口縁部～底部回転なで。外 面燻し。 |
| 0200 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住電Na 5 | 器37 口130 底73 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰黄褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転筧削り。内：口縁部～底部回転なで。内 面燻し。 |
| 0201 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住Na98 | 器36 口120 底80 完形 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転筧削り。内：口縁部～底部回転なで。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器・甕・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|----------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|---|
| 0202 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住No.86・覆土 | 器37 口126 底79 ほぼ完形 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後、回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0203 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住No.12・30 | 器51 口(160) 底(80) 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0204 第114図 | 須恵器 杯 | 49住No.42 | 器(25) 口一 底80 胴部～底部3/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転糸切。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0205 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住No.5・竈No.7・覆土 | 器32 口(130) 底78 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～胴部回転などで。 |
| 0206 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住No.23・覆土 | 器30 口(120) 底(78) 口縁部～底部1/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0207 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住覆土 | 器39 口(130) 底76 胴部下端～底部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0208 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住No.102・112・113・覆土 | 器39 口(134) 底84 口縁部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～胴部回転などで。 |
| 0209 第114図 | 須恵器 椀 | 49住No.40・48・覆土 | 器(36) 口一 台88 胴部～高台部3/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転篋削り後高台貼付。内：胴部～底部回転などで。外面一部油煙付着。 |
| 0210 第114図 PL-106 | 須恵器 椀 | 49住No.7・竈No.26・覆土 | 器50 口(120) 台72 口縁部～高台部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0211 第115図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住No.66 | 器(10) 口一 底80 胴部下端～底部1/1 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 転用形態。胴部下端で丁寧に打ち欠いてある。(轆轤整形。右回転。外：底部は回転糸切後回転篋削り。内：底部回転などで。) |
| 0212 第114図 | 須恵器 椀 | 49住No.114 | 器(28) 口一 台(84) 胴部下半～高台部3/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下半回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：胴部下半～底部回転などで。外面燻し。 |
| 0213 第114図 PL-106 | 須恵器 椀 | 49住覆土 | 器(65) 口(150) 台(96) 口縁部～高台部1/6 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0214 第114図 PL-106 | 須恵器 蓋 | 49住No.1 | 器(20) 口136 摘み一 天井部～口縁部1/1 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。 |
| 0215 第113図 PL-106 | 土師器 鉢 | 49住No.19 | 器56 口162 底一 ほぼ完形 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁部横などで、胴部～底部などで。 |
| 0216 第115図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住No.60 | 器(9) 口一 底90 胴部下端～底部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 転用形態。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内外面底部磨れ。(轆轤整形。右回転。外：底部は回転糸切後回転篋削り。内：底部回転などで。) |
| 0217 第114図 PL-106 | 須恵器 鉢 | 49住No.5・6・8・25・30・33・覆土 | 器145 口(236) 底122 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～胴部回転などで、底部などで。 |
| 0218 第114図 PL-106 | 須恵器 蓋 | 49住竈掘 | 器(18) 口(140) 摘み一 天井部～口縁部1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 におい褐 | 轆轤整形。右回転。外：天井上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。外面一部油煙付着。 |
| 0219 第113図 PL-105 | 土師器 甕 | 49住No.87・97・101・102・竈No.1・2・3・5・6・9 | 器(191) 口218 頸192 底一 口縁部～胴部3/4 | 砂・小石・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篋削り、胴部下半縦篋削り。内：口縁部横などで、胴部篋などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0220 第113図 PL-105 | 土師器 甕 | 49住No.58・106・107・108・覆土 | 器(127) 口130 頸120 底一 口縁部～胴部1/2 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篋削り、胴部下半縦篋削り。内：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部下半篋などで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-------------|-------------------------------------|---|--------------------------|--|
| 0221 第113図 PL-105 | 土師器 甕 | 49住No83・ 90・覆土 | 器(62) 口(210) 頸(190) 底— 口縁部 下端～胴部上端2/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端横篔削り。 内：口縁部横なで、胴部上端篔なで。 |
| 0222 第113図 PL-106 | 土師器 甕 | 49住No115・ 117・118・119 ・121・覆土 | 器(252) 口— 頸— 底(58) 胴部～底部1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：胴部縦篔削り、一部巻上痕、底部篔削り。内： 胴部～底部篔なで、一部巻上痕。内外面油煙付着、 内面多量。 |
| 0223 第114図 PL-106 | 須恵器 羽釜 | 49住No18 | 器(68) 口— 最大— 底102 胴部下半～底部2/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい赤褐 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転なで。 |
| 0224 第114図 PL-106 | 須恵器 把手付椀 | 49住覆土 | 器— 口— 台— 胴部～把手部破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 把手部は貼付後なで。 |
| 0225 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住No45 | 器38 口(120) 底(60) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・明黄褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0226 第114図 PL-106 | 須恵器 杯 | 49住No124 | 器34 口(130) 底(60) 口縁部～底部1/6 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転篔削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0227 第115図 | 須恵器 壺 | 49住No29 | 器(26) 口— 底— 頸— 最大— 胴部下端 ～底部1/2破片 | 砂・白色鈳物 還元 青灰 | 轆轤整形。外：胴部下端回転なで、底部篔削り。 内：胴部下端～底部回転なで。 |
| 0228 第115図 PL-107 | 鉄 滓 | 49住No57 | 長(112) 幅(88) 厚(42) 重468.1g | | 椀型滓の一部。 |
| 0229 第115図 PL-107 | 石製品 | 49住No75 | 長155 幅61 厚36 重622.1g | ホルンフェルス | 周囲は擦れている。 |
| 0230 第115図 PL-107 | 石製品 | 49住No53 | 長124 幅117 厚42 重734.6g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0231 第115図 PL-107 | 石製品 | 49住No17 | 長127 幅102 厚49 重734.7g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。一部に擦痕有り。 |
| 0232 第115図 PL-106 | 石製品 | 49住No44 | 長111 幅87 厚40 重553.9g | 石英斑岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0233 第115図 PL-106 | 石製品 | 49住No52 | 長50 幅50 厚32 重100.4g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0234 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No.6 | 器35 口126 底63 ほぼ完形 | 砂・白色鈳物 還元 青灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0235 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No26 | 器37 口127 底78 完形 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元 灰・におい褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。外面 胴部・底部に墨書「得」「丁」。 |
| 0236 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No.8・覆 土 | 器37 口135 底58 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元 灰白・灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～底部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0237 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No13・15 ・覆土 | 器37 口126 底65 口縁部～底部4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0238 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No22 | 器35 口124 底58 完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰・灰黄褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0239 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No21 | 器34 口127 底79 完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後上端回転篔削り。内：口縁部～底 部回転なで。外面底部墨書「本」。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 0240 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No.3 | 器36 口(123)底(60) 口縁部～底部3/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 青灰 | 轆轤整形。右回転。口縁部波状。外：口縁部～胴 部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回 転まで。 |
| 0241 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No.14 | 器34 口(118)底60 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈹物 半還元 青 灰・にぶい黄褐色 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0242 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No.19 | 器33 口(106)底60 口縁部～底部3/5 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0243 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No.9・10 | 器33 口(126)底72 口縁部～底部3/5 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0244 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No.7・覆 土 | 器37 口126 底73 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物 半還元 灰白・に ぶい黄褐色 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～底部回 転まで。 |
| 0245 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No.5・覆 土 | 器37 口126 底78 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物 半還元 灰白・に ぶい黄褐色 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0246 第104図 PL-104 | 須恵器 杯 | 46住No.1・覆 土、掘 | 器38 口134 底80 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0247 第104図 PL-104 | 須恵器 椀 | 46住No.18 | 器56 口156 台90 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～胴部回 転まで。内外面燻し。 |
| 0248 第104図 PL-104 | 須恵器 皿 | 46住No.37 | 器27 口(150) 台92 口縁部～高台部2/3 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 半還元 灰白・にぶい黄 褐色 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部高台 貼付後回転まで。内：口縁部～底部回転まで。外 面底部墨書「?」。内外面一部油煙付着。 |
| 0249 第104図 | 須恵器 蓋 | 46住覆土 | 器(35) 口(168) 摘一 天井部～口縁部1/4 | 砂・小石・白色鈹物 半還 元 灰白・にぶい黄褐色 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下 半～口縁部回転まで。内：天井部～口縁部回転な で。 |
| 0250 第103図 PL-104 | 土師器 杯 | 46住覆土 | 器(34) 口(124) 底一 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横まで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横まで、底部まで。内外面油煙付着。 |
| 0251 第104図 PL-104 | 須恵器 鉢 | 46住No.20 | 器100 口206 底一 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物・雲母 酸化 橙 | 轆轤整形。丸底。口縁部4 箇所人為的欠け。外： 口縁部～胴部上端回転まで、胴部～底部回転篋削 り。内：口縁部～底部回転まで、内面底部油煙付 着。 |
| 0252 第104図 PL-104 | 土師器 台付甕 | 46住竈No.1 | 器152 口117 頸106 台85 ほぼ完形 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 赤褐色 | 台部貼付。外：口縁部横まで、一部巻上痕・指頭 痕、胴部上半横篋削り、胴部下半縦篋削り、台部 横まで、一部指頭痕。内：口縁部横まで、胴部篋 まで、台部横まで。内外面油煙付着。 |
| 0253 第103図 PL-104 | 土師器 台付甕 | 46住No.11 | 器一 口一 頸一 台105 底部～台部1/1 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐色 | 台部貼付。外：台部篋まで。内：台部篋まで、一 部巻上痕・指頭痕。内外面油煙付着。 |
| 0254 第118図 PL-107 | 須恵器 杯 | 50住No.73 | 器34 口118 底67 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～底部回 転まで。 |
| 0255 第119図 PL-107 | 須恵器 杯 | 50住No.23 | 器36 口(126) 底67 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転まで、内 面に線刻。 |
| 0256 第118図 PL-107 | 須恵器 杯 | 50住覆土 | 器38 口(112) 底72 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 胴部下端回転篋削り、底部回転糸切後回転篋削り。 内：口縁部～底部回転まで。外面一部漆付着。 |
| 0257 第118図 PL-107 | 須恵器 杯 | 50住No.19・28 | 器(37) 口(126) 底(98) 口縁部～底部上端1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部上端 回転篋削り。内：口縁部～胴部回転まで。 |
| 0258 第119図 PL-107 | 須恵器 杯 | 50住No.17 | 器(46) 口(146) 底(78) 口縁部～底部1/5 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 にぶい黄褐色 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転 篋削り。内：口縁部～底部回転まで、篋磨き。内 黒。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|----------|-----------------------------------|--|----------------------------|---|
| 0259 第118図 PL-107 | 須恵器 杯 | 50住No13 | 器(30) 口(132) 底(80) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 篋削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0260 第118図 | 須恵器 椀 | 50住No37 | 器(30) 口一 台(50) 胴部～高台部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転など。 |
| 0261 第118図 PL-107 | 土師器 杯 | 50住No52・53 ・59・61・62・ 63・覆土 | 器(34) 口121 底一 口縁部～底部3/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 明赤褐 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部など。 |
| 0262 第118図 PL-107 | 土師器 杯 | 50住No11・33 ・35 | 器(40) 口(130) 底(78) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁 部～胴部横などで、底部など。 |
| 0263 第118図 | 土師器 杯 | 50住覆土 | 器(26) 口(120) 底一 口縁部～底部上端1/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部上端篋に削 り。内：口縁部～胴部横などで、底部上端など。 |
| 0264 第119図 PL-107 | 須恵器 椀 | 50住No75 | 器(21) 口一 台84 胴部下端～高台部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 転用形態。胴部下端で丁寧に撃ち欠き。内面底部 磨れ。(轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部高 台貼付後回転など。内：底部回転など。) |
| 0265 第119図 PL-107 | 須恵器 杯 | 50住No3・49 | 器(12) 口一 底67 胴部下端～底部1/1 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 転用形態。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内面底部 磨れ。(轆轤整形。右回転。外：底部回転糸切後回 転篋削り。内：底部回転など。) |
| 0266 第119図 PL-107 | 須恵器 杯 | 50住No16 | 器(10) 口一 底74 胴部下端～底部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 転用形態。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内面底部 磨れ。(轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転など。 底部は回転糸切。内：底部回転など。) |
| 0267 第118図 | 土師器 甕 | 50住No58・覆 土 | 器(60) 口(160) 頸(150) 底一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横などで、胴部など。 |
| 0268 第118図 | 土師器 甕 | 50住竈No5 | 器(51) 口(220) 頸(188) 底一 口縁部～胴部上端1/6 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端など。 内外面油煙付着。 |
| 0269 第119図 | 須恵器 蓋 | 50住No5 | 器(21) 口(198) 摘一 天井部～口縁部1/8 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下 半～口縁部回転など。内：天井部～口縁部回転な で。 |
| 0270 第119図 PL-107 | 土製品 錘 | 50住No8 | 長42 径20 孔3 重14.2g | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 浅黄 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0271 第119図 PL-107 | 石製品 | 50住No82 | 長125 幅51 厚30 重298.1g | ホルンフェルス | 周囲は擦れている。 |
| 0272 第119図 PL-107 | 石製品 | 50住No41 | 長106 幅74 厚38 重414.1g | 溶結凝灰岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0273 第119図 PL-107 | 石製品 | 50住No84 | 長62 幅69 厚16 重109.4g | 溶結凝灰岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0274 第119図 PL-107 | 須恵器 椀 | 50住No48 | 器(20) 口一 台88 胴部下端～底部1/1 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰白・にぶい褐 | 転用形態。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内外面底 部磨れ。(轆轤整形。右回転。外：底部は回転糸切 後高台貼付。内：底部回転など。) |
| 0275 第128図 PL-108 | 須恵器 杯 | 54住No3 | 器(50) 口(165) 底(105) 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 篋削り。内：口縁部～胴部回転など。 |
| 0276 第128図 | 須恵器 杯 | 54住No4 | 器(17) 口一 底(74) 胴部下半～底部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、胴部 下端回転篋削り、底部回転糸切後回転篋削り。内： 胴部下半～底部回転など。 |
| 0277 第128図 | 須恵器 杯 | 54住No6・覆 土 | 器(37) 口(142) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。外：口縁部回転などで後篋磨き、胴部回 転など。内：口縁部～胴部篋磨き。内黒。 |
| 0278 第128図 | 須恵器 椀 | 54住No11 | 器(17) 口一 台(102) 胴部下端～高台部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付 後回転など。内：胴部下端～底部回転など。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|----------|--------------------------------|--|-------------------------------------|--|
| 0279 第128図 PL-108 | 須恵器 椀 | 54住No.2 | 器46 口(120) 台(76) 口縁部～高台部1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰・明黄褐色 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 など。 |
| 0280 第128図 | 須恵器 蓋 | 55住竈No.7・ 覆土、54住覆 土 | 器(21) 口(196) 摘一 天井部～口縁部1/8 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下 半回転など。内：天井部～口縁部回転など。内外 面一部油煙付着。 |
| 0281 第128図 PL-108 | 土師器 甕 | 54住竈No.1・ 2・4・5 | 器(170) 口一 頸一 底一 胴部下半～底部1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い橙 | 外：胴部下半縦篋削り、底部篋削り。内：胴部～底 部篋などで、一部巻上痕。外面多量の油煙付着。 |
| 0282 第131図 PL-108 | 須恵器 杯 | 55住掘No.55 | 器37 口125 底82 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 半還元 灰・にぶ い黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～胴部回転 など。 |
| 0283 第128図 PL-108 | 須恵器 杯 | 54住竈No.3 | 器(46) 口(170) 底(104) 口縁部～底部上端1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転など、底部上端 回転篋削り。内：口縁部～底部上端回転など。 |
| 0284 第131図 PL-108 | 須恵器 杯 | 55住No.34・39、 掘 | 器46 口138 底72 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など後篋磨 き。内面燻し。 |
| 0285 第132図 PL-108 | 須恵器 杯 | 55住No.35・36 | 器35 口128 底80 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 半還元 灰白・に ぶい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0287 第131図 PL-108 | 須恵器 杯 | 55住No.25、掘 覆土 | 器(43) 口(128) 底(86) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切後、回転篋削り。内：口縁部～底部 回転など。 |
| 0288 第131図 PL-108 | 須恵器 杯 | 55住No.37 | 器(35) 口(126) 底(74) 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転など、底部回転 篋削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0289 第131図 | 須恵器 杯 | 55住竈No.17・ 覆土、掘 | 器(35) 口(138) 底一 口縁部～胴部1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 還元 灰黄 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0290 第132図 PL-108 | 須恵器 蓋 | 55住No.24・27 | 器(32) 口(186) 摘一 天井部～口縁部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下 半～口縁部回転など。内：天井部～口縁部回転な で。 |
| 0291 第132図 PL-108 | 須恵器 蓋 | 55住No.13 | 器(23) 口一 摘32 摘部～天井部上半2/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り。 内：天井部上半回転など。 |
| 0292 第132図 PL-108 | 須恵器 甕 | 55住No.5・7・ 14・17・31、 竈覆土 | 器(93) 口(280) 頸(264) 底一 口縁部～胴部上端2/5 | 砂・小石 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部回転など、胴部回転篋など。 内：口縁部回転など、胴部上端回転など、一部巻 上痕。内外面一部油煙付着。 |
| 0293 第131図 | 土師器 甕 | 55住竈覆土 | 器(67) 口(200) 頸(176) 底一 口縁部～胴部上端1/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋な で。 |
| 0294 第131図 | 土師器 甕 | 55住竈No.14・ 15 | 器(70) 口(210) 頸(184) 底一 口縁部～胴部上端1/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐色 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、頸部～胴部上 端篋など。 |
| 0295 第131図 PL-108 | 石製品 | 55住No.3 | 長93 幅67 厚43 重357.8g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0296 第132図 PL-108 | 須恵器 杯 | 55住No.30・覆 土、掘 | 器(25) 口一 底80 胴部～底部3/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部回転など、底部回転篋削り。 内：胴部～底部回転など。内面に漆付着。 |
| 0297 第135図 | 須恵器 杯 | 56住No.1 | 器(31) 口(120) 底一 口縁部～胴部1/8 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0298 第135図 | 須恵器 杯 | 56住覆土 | 器(25) 口一 底(80) 胴部～底部1/6 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部回転など、底部回転篋削り。 内：胴部～底部回転など。 |
| 0299 第136図 | 須恵器 杯 | 57住竈No.4 | 器(27) 口(120) 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0300 第144図 | 須恵器 杯 | 60住No.3 | 器(39) 口(138) 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|---------------|----------------------------|---|---------------------------|--|
| 0301 第144図 | 羽 釜 | 60住掘No 1 | 器(23) 口一 底(50) 胴部下端～底部1/3 | 砂・白色鈹物 酸化 にお い黄橙 | 外：胴部下端縦篋削り。内：胴部下端～底部篋な で。 |
| 0302 第135図 | 須 惠 器 蓋 | 56住覆土 | 器(25) 口(130) 摘一 天井部～口縁部1/6 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：天井部上半回転篋削り、 天井部下半～口縁部回転など。内：天井部～口縁 部回転など。内面燻し。 |
| 0303 第136図 PL-109 | 須 惠 器 杯 | 57住No 1・覆 土 | 器42 口120 底52 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0304 第146図 PL-109 | 須 惠 器 杯 | 61住No 1 | 器(25) 口一 底67 胴部～底部3/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転など、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転など。内面底部墨書「華 奉」。 |
| 0305 第146図 | 須 惠 器 杯 | 61住覆土 | 器(32) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/8 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0306 第146図 PL-109 | 須 惠 器 皿 | 61住竈No 7・ 覆土、覆土 | 器33 口138 台74 胴部～高台部2/3 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 におい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～低部回転 など。 |
| 0307 第136図 | 土 師 器 台付 甕 | 57住竈No 5 | 器(40) 口一 頸一 台一 胴部下端～台部 上端1/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐 | 台部貼付。外：胴部下端斜め篋削り。内：胴部下 端～底部など。内外面一部油煙付着。 |
| 0308 第146図 PL-109 | 須 惠 器 皿 | 61住竈No 5・ 覆土、覆土 | 器29 口(154) 台(76) 胴部～高台部2/5 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 におい赤褐 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転など、低部高台 貼付後回転など。内：口縁部～低部回転など。内 外面に油煙付着。 |
| 0309 第148図 PL-109 | 須 惠 器 杯 | 62住No 1 | 器37 口(140) 底(90) 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈹物 半還 元 灰白・におい褐 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転など、底部回転 篋削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0310 第148図 | 須 惠 器 蓋 | 62住No 3 | 器(21) 口一 摘(38) 摘部～天井部中央1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り、 天井部中央回転など。内：天井部上半～天井部中 央回転など。 |
| 0311 第148図 | 土 師 器 杯 | 62住No 5 | 器(33) 口(120) 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈹物 酸化 にお い橙 | 外：口縁部横など、胴部横篋削り。内：口縁部横 など、胴部など。 |
| 0312 第148図 PL-109 | 鉄 滓 | 62住竈 | 長(50) 幅(43) 厚(34) 重75.2g | | 鉄分が含まれる。 |
| 0313 第154図 PL-110 | 須 惠 器 椀 | 64住No 1 | 器42 口(140) 台(98) 口縁部～高台部1/2 | 砂・小石・白色鈹物 還元 明青灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 低部回転篋削り後高台貼付。内：口縁部～低部回 転など。 |
| 0314 第154図 PL-110 | 土 師 器 杯 | 64住No 3・覆 土、竈覆土 | 器36 口116 底一 ほぼ完形 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横など、胴部上半篋削り後など、 胴部下半～底部篋削り。内：口縁部横など、胴部 ～底部など。 |
| 0315 第154図 PL-110 | 土 師 器 甕 | 64住No 1 | 器(127) 口(290) 頸(234) 底一 口縁部～胴部上半1/4 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 におい橙 | 外：口縁部横など、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 半縦篋削り。内：口縁部横など、胴部上半など。 内外面一部油煙付着。 |
| 0316 第154図 PL-110 | 石 製 品 | 64住No 4 | 長82 幅53 厚51 重278.8g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0317 第138図 PL-109 | 須 惠 器 杯 | 58住No 3・覆 土 | 器32 口(130) 底68 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 青灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0318 第138図 | 須 惠 器 蓋 | 58住竈No11 | 器(14) 口(160) 摘一 天井部～口縁部1/8 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下 半～口縁部回転など。内：天井部～口縁部回転な で、内面燻し。 |
| 0319 第138図 PL-109 | 土 師 器 甕 | 58住竈No 3・ 7・8・10、 覆土 | 器(137) 口(222) 頸(196) 底一 口縁部～胴部中央1/6 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横など、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 半横篋削り、胴部中央縦篋削り。内：口縁部横な で、胴部篋など。内外面油煙付着。 |
| 0320 第138図 PL-109 | 石 製 品 | 58住No 8 | 長103 幅90 厚39 重491.3g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|---|---|-------------------------|---|
| 0321 第142図 PL-109 | 須恵器 杯 | 59住電覆土 | 器39 口130 底64 口縁部～底部5/6 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。内外面口縁部燻し、外面底部油煙付着。 |
| 0322 第142図 PL-109 | 須恵器 杯 | 59住貯Na 3 | 器34 口119 底74 口縁部～底部5/6 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～胴部回転などで。二次炎受、内外面油煙付着。 |
| 0323 第142図 PL-109 | 須恵器 杯 | 59住Na 5 | 器(40) 口(136) 底(76) 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈹物 還元 青灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0324 第142図 PL-109 | 須恵器 杯 | 59住Na13、電 覆土 | 器32 口113 底77 口縁部～底部3/5 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～底部回転などで、底部回転糸切後回転などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0325 第142図 PL-109 | 須恵器 杯 | 59住Na19 | 器(9) 口一 底77 口縁部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 転用形態。胴部下端で丁寧に撃ち欠き。内面底部擦れ。(轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部回転篋削り。内：底部回転などで。) |
| 0326 第142図 | 須恵器 杯 | 59住Na11・18、 覆土 | 器(33) 口(140) 底75 胴部下端～底部1/1 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 にぶい赤褐 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。 |
| 0327 第142図 | 須恵器 蓋 | 59住覆土 | 器(22) 口(156) 摘一 天井部～口縁部1/6 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面天井部～口縁部回転などで。 |
| 0328 第142図 PL-109 | 土師器 甕 | 59住電Na 2・ 5・8・15・ 27・29、電掘 Na36・37 | 器(230) 口204 頸187 底一 口縁部～胴部3/4 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篋削り、胴部下半縦篋削り。内：口縁部横などで、胴部篋などで、一部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0329 第142図 PL-109 | 土師器 甕 | 59住電Na24・ 覆土、覆土 | 器(78) 口(210) 頸(184) 底一 口縁部～胴部上端2/5 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで、内外面一部油煙付着。 |
| 0330 第142図 | 土師器 甕 | 59住Na 6・覆 土 | 器(63) 口(220) 頸(190) 底一 口縁部 下端～胴部上端1/5 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部などで。内面一部油煙付着。 |
| 0331 第142図 PL-109 | 土師器 台付甕 | 59住電覆土 | 器(77) 口(120) 頸(110) 台一 口縁部下端～胴部1/3 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削り、胴部縦篋削り。内：口縁部横などで、胴部篋などで。内外面多量の油煙付着。 |
| 0332 第29図 PL-92 | 須恵器 杯 | 13住Na 1 | 器42 口(132) 底61 口縁部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0333 第29図 PL-92 | 須恵器 杯 | 13住Na 2 | 器(26) 口一 底60 胴部～底部1/2 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転糸切。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0334 第55図 PL-95 | 土師器 台付甕 | 26 B住電覆土 | 器(68) 口(100) 頸(93) 台一 口縁部～胴部上端1/5 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部篋削り。内：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0335 第53図 | 須恵器 杯 | 26 A住Na25・ 覆土 | 器(64) 口(152) 台一 口縁部～胴部1/6 | 砂・小石・白色鈹物 半還 元 灰・灰黄 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。 |
| 0336 第151図 PL-110 | 須恵器 杯 | 63住Na25・覆 土 | 器40 口(124) 底67 口縁部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0337 第151図 PL-110 | 須恵器 杯 | 63住Na 6 | 器34 口(94) 底67 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0338 第152図 | 須恵器 杯 | 63住Na 7 | 器(37) 口(126) 底(64) 口縁部～底部1/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0339 第152図 PL-110 | 須恵器 椀 | 63住Na 9 | 器57 口(150) 台(94) 口縁部～高台部1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0340 第151図 PL-110 | 須恵器 杯 | 63住Na 3 | 器(9) 口一 底77 胴部下端～底部1/1 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 転用形態。胴部下端で丁寧に撃ち欠き。内面底部擦れ。(轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部回転糸切。内：底部回転などで。) |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|------------------------------|--|-----------------------|--|
| 0341 第151図 | 須恵器 杯 | 63住No.11 | 器(27) 口一 底(80) 胴部～底部1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部回転糸切後回転篋削り。内：胴部～底部回転など。 |
| 0342 第152図 | 須恵器 甕 | 63住No.5 | 器(31) 口一 底(160) 胴部下端～底部1/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 内外面胴部下端など。 |
| 0343 第152図 PL-110 | 須恵器 杯 | 63住覆土 | 器(6) 口一 底一 底部破片 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。内：底部回転など。外：底部回転篋削り。外面底部に墨書「?」。 |
| 0344 第151図 PL-110 | 須恵器 鉢 | 63住掘 | 器(60) 口(200) 底一 口縁部～胴部上半破片 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部上半回転など。 |
| 0345 第151図 | 須恵器 杯 | 63住No.9 | 器(20) 口一 底(92) 胴部下半～底部1/3 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部回転糸切後回転篋削り。内：胴部下半～底部回転などで内外面燻し。 |
| 0346 第151図 PL-110 | 須恵器 短頸壺 | 63住No.17 | 器80 口61 頸60 最大92 台60 ほぼ完形 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転など。内面口縁部、外面口縁部～台部の一部に自然釉。 |
| 0347 第152図 PL-110 | 須恵器 杯 ? | 63住No.15 | 器(57) 口一 底一 胴部破片 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面胴部回転など。内面に漆付着。 |
| 0348 第151図 PL-110 | 須恵器 杯 | 63住覆土 | 器(20) 口一 底一 胴部破片 | 砂・白色鈹物 還元 灰黄 | 轆轤整形。内外面胴部回転など。内面に漆付着。 |
| 0349 第151図 | 土師器 杯 | 63住掘覆土 | 器(30) 口(130) 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部篋削り。内：口縁部～胴部横などで後磨き。 |
| 0350 第151図 PL-110 | 土師器 甕 | 63住竈掘南東 隅・灰層、No.26 ・覆土 | 器(180) 口196 頸166 底一 口縁部～胴部2/5 | 砂・小石・白色鈹物・雲 母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上半横篋削り、胴部下半縦篋削り。内：口縁部横などで、胴部篋削りなど。内外面一部油煙付着。 |
| 0351 第151図 | 土師器 甕 | 63住覆土 | 器(47) 口(200) 頸(180) 底一 口縁部～胴部上端1/6 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削り。外：口縁部横などで、胴部上端など。 |
| 0352 第151図 | 土師器 甕 | 63住No.4・覆 土 | 器(160) 口一 頸一 底(54) 胴部下半～底部1/8 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：胴部下半縦篋削り、底部篋削り。内：胴部下半～底部篋削りなどで、一部巻上痕。内外面油煙付着、外面多量。 |
| 0353 第151図 | 土師器 台付甕 | 63住覆土 | 器(35) 口一 頸一 台一 胴部下半～台部 上端3/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐 | 台部貼付。外：胴部下半縦篋削り、胴部下端～台部上端横などで。内：胴部下半～底部などで、一部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0354 第152図 PL-110 | 石製品 | 63住No.28 | 長157 幅130 厚57 重1892.3g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0355 第157図 | 須恵器 盤 | 65住No.11 | 器(54) 口(150) 底一 口縁部～胴部1/8 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0356 第157図 | 須恵器 碗 | 65住No.14 | 器(20) 口一 台67 胴部下端～高台部1/1 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部回転篋削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転など。 |
| 0357 第157図 | 須恵器 鉢 | 65住掘No.1 | 器(57) 口一 底一 口縁部～胴部1/8 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0358 第157図 | 須恵器 甕 | 65住No.7・13 | 器(43) 口一 台一 胴部下端～高台部上端 3/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部回転篋削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転など。内外面燻し。 |
| 0359 第157図 | 須恵器 蓋 | 65住No.1 | 器(31) 口一 摘(47)一 摘部～口縁部上半1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部上半回転など。内：天井部～口縁部上半回転など。 |
| 0360 第157図 PL-110 | 土師器 杯 | 65住覆土 | 器35 口125 底一 ほぼ完形 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部上半篋削り後名で、胴部下半～底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、底部など。 |
| 0361 第157図 | 土師器 杯 | 65住No.6 | 器(33) 口(140) 底一 口縁部～底部1/8 | 砂・小石・白色鈹物・雲 母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部篋削り後などで、底部篋削り。内：口縁部横などで、胴部～底部などで。外面摩滅激しい。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|-----------------------------|--|-----------------------------------|---|
| 0362 第361図 | 土師器 杯 | 5区表土 | 器(32) 口(140) 底— 口縁部～底部1/8 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横なで、底部なで。内面胴部～底部 油煙付着。 |
| 0363 第157図 PL-110 | 土師器 甕 | 65住No29・30 ・覆土、電掘・ 覆土 | 器(270) 口(242) 頸200 底56 口縁部～胴部2/3 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物・雲母 酸化 にぶ い橙 | 外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部縦篋削り、 一部巻上痕。内：口縁部横なで、胴部篋なで、一 部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0364 第157図 PL-110 | 土師器 甕 | 65住No25・覆 土 | 器(180) 口— 頸— 底56 胴部下半～底部3/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：胴部下半斜め篋削り、胴部下端横篋削り、底 部篋削り。内：胴部～底部篋なで、一部巻上痕。 内外面油煙付着。 |
| 0365 第157図 | 土師器 甕 | 65住No 4・25 ・27・覆土、 電掘 | 器(53) 口(218) 頸(174) 底— 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横なで。内外面一部油煙 付着。 |
| 0366 第157図 | 土師器 甕 | 65住No28・覆 土 | 器(41) 口(230) 頸(190) 底— 口縁部～胴部上端1/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横なで、胴部上端なで。内面油煙 付着。 |
| 0367 第157図 PL-110 | 石製品 | 65住No 8 | 長(110) 幅(129) 厚57 重1168.8g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0368 第256図 PL-120 | 須恵器 杯 | 2井No15 | 器36 口121 底53 口縁部～底部5/6 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0369 第256図 PL-120 | 須恵器 杯 | 2井No 7 | 器38 口(134) 底65 口縁部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0370 第362図 PL-127 | 須恵器 杯 | 2区表土 | 器(33) 口(118) 底(62) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで。 内：口縁部～底部回転なで。外面口縁部～胴部に 線刻。 |
| 0371 第256図 PL-120 | 須恵器 壺 | 2井No14・22 ・覆土 | 器(100) 口— 頸68 底— 口縁部～胴部上 端1/1 (口縁部欠) | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。頸部貼付。内外面口縁部～胴部上端回 転なで。内面口縁部～頸部、外面口縁部～胴部上 端施釉。 |
| 0372 第256図 PL-120 | 須恵器 甕 | 2井No27 | 器(68) 口(280) 頸— 底— 口縁部1/6 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部回転なで、一部自然釉。 |
| 0373 第256図 PL-120 | 土師器 甕 | 2井No 3・覆 土 | 器(80) 口(210) 頸(196) 底— 口縁部～胴部上端1/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横なで、胴部上端篋なで。内外面 一部油煙付着。 |
| 0374 第365図 PL-130 | 須恵器 横瓶 | 5区表土 | 器(107) 口— 頸— 底— 胴部破片 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰・赤灰 | 外：叩き目。内：当て具痕。 |
| 0375 第345図 PL-125 | 須恵器 片口杯 | 59ピット覆土 | 器42 口(132) 底56 口縁部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0376 第345図 PL-125 | 須恵器 杯 | 60ピット覆土 | 器36 口(120) 底58 口縁部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 低部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0377 第259図 PL-120 | 陶器 碗 | 9溝覆土 | 器(24) 口— 台55 胴部下端～高台部1/1 | | 高台端部を除き灰釉。細かい貫入。素地は緻 密。製作地不詳。江戸時代から近代。 |
| 0378 第345図 | 須恵器 甕 | 39ピット覆土 | 器(68) 口— 底(148) 胴部下端～底部1/8 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 外：胴部下端回転なで。内：胴部下端なで、一部 当て具痕、底部なで。 |
| 0380 第345図 | 須恵器 杯 | 314ピット覆 土 | 器(30) 口(130) 底— 口縁部～胴部1/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転なで。 |
| 0381 第345図 PL-125 | 須恵器 杯 | 231ピット覆 土 | 器39 口(142) 底82 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 篋削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0382 第345図 PL-125 | 須恵器 碗 | 202ピット覆 土 | 器(36) 口— 台(66) 胴部～高台部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。内外 面施釉。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|----------------|--------------------|---------------------------------------|---------------------------|--|
| 0383 第259図 PL-120 | 軟質陶器 焙 烙 | 9 溝覆土 | 器(60) 口(400) 底(364) 口縁部～底部上端1/8 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 胎土中央から黒色、橙色を呈し、器表は黒灰色を呈する。耳は体部に貼付る。口縁部は幅広く、中央を窪ませる。16世紀後半から17世紀前半。 |
| 0384 第259図 PL-120 | 土 製 品 錘 | 9 溝覆土 | 長63 径23 孔5.5 重24.0g ほぼ完形 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい黄橙 | 中心部縦に径5.5mmの穿孔。 |
| 0385 第259図 PL-120 | 石 製 品 五 輪 塔 | 9 溝Na 1 | 長290 幅152 厚152 重8800g ほぼ完形 | 粗粒輝石安山岩 | 空風輪。 |
| 0386 第259図 | 須 恵 器 杯 | 11溝覆土 | 器(17) 口一 底75 胴部下端～底部3/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部回転糸。内：胴部下端～底部回転まで。 |
| 0387 第259図 | 須 恵 器 甕 | 11溝覆土 | 器(80) 口一 頸一 底一 口縁部下半～胴 部上端破片 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 頸部貼付。外：口縁部下半回転まで、胴部上端叩き目。内：口縁部下半回転まで、胴部上端当て具痕。 |
| 0388 第260図 PL-120 | 須 恵 器 杯 | 13溝覆土 | 器40 口(120) 底(70) 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・白色鈳物 半還元 灰・浅黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0389 第260図 PL-120 | 須 恵 器 杯 | 13溝覆土 | 器34 口(120) 底(68) 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、低部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～低部回転まで。 |
| 0390 第222図 | 須 恵 器 杯 | 1 掘立ピット 9 | 器(31) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。 |
| 0391 第241図 | 土 師 器 杯 | 16掘立ピット 7・8 | 器(34) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横まで、胴部篋削り。内：口縁部～胴部横まで。 |
| 0392 第291図 PL-123 | 須 恵 器 盤 | 42坑覆土 | 器(30) 口一 台(118) 胴部下端～高台部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 青灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転まで。 |
| 0393 第292図 PL-123 | 須 恵 器 杯 | 104坑Na 2・4 ・覆土 | 器39 口(130) 底(80) 胴部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0394 第292図 | 須 恵 器 皿 | 105坑Na 2・覆 土 | 器(20) 口(130) 台一 口縁部～胴部1/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。 |
| 0395 第292図 | 須 恵 器 杯 | 111坑Na 3 | 器(21) 口一 底80 胴部下半～底部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転まで、底部回転糸切後回転篋削り。内：胴部下半～底部回転まで。 |
| 0396 第292図 | 須 恵 器 杯 | 115坑Na 1 | 器(25) 口一 底56 口縁部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転まで、低部回転糸切後回転篋削り。内：胴部～低部回転まで。 |
| 0397 第235図 PL-120 | 須 恵 器 壺 | 8 掘立覆土 | 器(73) 口(120) 頸(43) 底一 口縁部～頸部1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～頸部回転まで。 |
| 0398 第291図 | 須 恵 器 杯 | 28坑Na 2 | 器(32) 口(124) 底一 口縁部～胴部1/6 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。 |
| 0399 第291図 | 須 恵 器 椀 | 10坑覆土 | 器(20) 口一 台(80) 胴部下端～高台部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転まで。 |
| 0400 第291図 PL-123 | 須 恵 器 椀 | 29～41坑覆土 | 器(55) 口(160) 台一 口縁部～胴部4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。 |
| 0401 第291図 PL-123 | 須 恵 器 杯 | 29～41坑覆土 | 器36 口(130) 底(60) 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～底部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0402 第291図 PL-123 | 須 恵 器 杯 | 29～41坑覆土 | 器36 口(118) 底(58) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0403 第291図 PL-123 | 須 恵 器 椀 | 36坑Na 1・覆 土 | 器57 口(140) 台(86) 口縁部～高台部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転まで。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-------------|--------------------|--|-------------------------|--|
| 0404 第291図 PL-123 | 須恵器 椀 | 29~41坑覆土 | 器(47) 口(160) 台一 口縁部~胴部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部~胴部回転など。 |
| 0405 第291図 | 須恵器 壺 | 36坑№3 | 器(26) 口一 頸一 台96 胴部下端~高台部1/1 | 砂・白色鈳物 還元 灰 白・淡黄 | 轆轤整形。外：胴部下端回転など、底部回転篋削 り後高台貼付。内：胴部下端~底部回転など。内 外面自然釉。 |
| 0406 第291図 | 土師器 甕 | 37坑覆土 | 器(45) 口(180) 頸(156) 底一 口縁部~胴部上端1/6 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋 削り。内外面油煙付着。 |
| 0407 第291図 PL-123 | 土師器 甕 | 32坑覆土 | 器(81) 口(220) 頸(196) 底一 口縁部~胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横などで、胴部など。 |
| 0408 第291図 PL-123 | 土師器 甕 | 32坑覆土 | 器(62) 口(184) 頸(164) 底一 口縁部~胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋 削り。 |
| 0409 第291図 PL-123 | 土師器 甕 | 29~41坑覆土 | 器(68) 口(180) 頸105 台一 口縁部~胴部上端1/2 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横などで、胴部上端横などで。 |
| 0410 第291図 | 土師器 台付甕 | 29~41坑覆土 | 器(50) 口112 頸(160) 底一 口縁部~胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端 などで。内外面に油煙付着。 |
| 0411 第362図 PL-127 | 須恵器 杯 | 5区表土 | 器(38) 口一 底一 胴部破片 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい橙 | 轆轤整形。内外面胴部回転など。内面胴部に墨書 「大」。 |
| 0412 第366図 PL-131 | 土製品 錘 | 5区表土 | 長(52) 径21 孔3.5 重19.4g ほぼ完形 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい赤褐 | 中心部縦に径3.5mmの穿孔。 |
| 0413 第362図 PL-126 | 須恵器 杯 | 5区表土 | 器(11) 口一 底(71) 胴部下端~底部1/1 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい橙 | 転用形態。胴部下端で丁寧に撃ち欠き。内面底部 擦れ。(轆轤整形。外：胴部下端回転など、底部回 転糸切。内：底部回転など。外面底部墨書「大」) |
| 0414 第363図 PL-127 | 須恵器 椀 | 5区表土 | 器(18) 口一 台一 胴部下半~高台部上端 3/4 | 砂・小石 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転など、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部~底部回転など、内面 底部胴部下端~墨書「奉」。 |
| 0415 第366図 PL-130 | 土製品 紡錘車 | 5区表土 | 直(52) 厚13 孔一 重12.8g 1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 浅黄 | 焼成前に穿孔。表はなで。 |
| 0416 第366図 PL-131 | 土製品 錘 | 5区表土 | 長46 径19 孔5 重13.6g ほぼ完形 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 中心部縦に径5mmの穿孔。 |
| 0417 第366図 PL-130 | 土製品 錘 | 5区表土 | 長(24) 径(22) 孔(4.5) 重5.8g 1/6 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 中心部縦に径4.5mmの穿孔。 |
| 0418 第366図 PL-130 | 土製品 錘 | 5区表土 | 長(25) 幅(23) 孔5 重4.9g 1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 中心部縦に径5mmの穿孔。 |
| 0419 第366図 PL-130 | 土製品 錘 | 5区表土 | 長(23) 径(18) 孔4.5 重3.6g 1/5 | 砂 酸化 におい褐 | 中心部縦に径4.5mmの穿孔。 |
| 0420 第364図 PL-129 | 緑釉陶器 皿 | 5区表土 | 器(17) 口(120) 底一 口縁部~胴部破片 | 細砂 還元 灰オリーブ | 轆轤整形。内外面口縁部~胴部回転など。内外面 に施釉。 |
| 0421 第364図 PL-129 | 灰釉陶器 蓋 | 5区表土 | 器23 口(106) 摘16 摘部~口縁部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。摘部貼付。内外面天井部~口縁部回転 など。外面全面施釉。 |
| 0422 第364図 PL-128 | 灰釉陶器 壺 | 5区表土 | 器(34) 口一 底(45) 胴部下半~底部2/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転など、底部 回転糸切。内：胴部下半~底部回転など。外面胴 部の一部、内面底部に釉。 |
| 0423 第364図 PL-128 | 須恵器 把手付椀 | 5区表土 | 器(12) 口一 台一 把手部破片 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 把手部は貼付、表面は篋などで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|---------------------|--|----------------------------|---|
| 0424 第366図 PL-131 | 土製品 鍾 | 5区表土 | 長(43) 径14 孔3.5 重6.5g 3/4 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 中心部縦に径3.5mmの穿孔。 |
| 0425 第364図 PL-128 | 緑釉陶器 椀 | 5区表土 | 器36 口(128) 台67 口縁部～高台部1/3 | 細砂・白色鈳物 還元 灰 白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 などで後高台貼付。内：胴部下端に沈線一条、口縁 部～底部回転などで。内外面全面に施釉。 |
| 0426 第361図 PL-126 | 須恵器 杯 | 5区表土 | 器41 口112 底54 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0427 第362図 PL-126 | 須恵器 杯 | 5区表土 | 器34 口(130) 底(78) 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰白・にぶい橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 篋削り。内：口縁部～底部回転などで。内外面口縁 部～胴部線刻？。 |
| 0428 第35図 PL-92 | 須恵器 杯 | 17住No13 | 器34 口128 底84 ほぼ完形 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～底部回 転などで、内外面に一部油煙付着。 |
| 0429 第35図 PL-92 | 須恵器 杯 | 17住No12 | 器37 口(126) 底68 口縁部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0430 第35図 PL-92 | 須恵器 杯 | 17住No 8、覆 土 | 器37 口(128) 底70 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 黄・にぶい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで。外 面底部線刻。内面油煙付着。 |
| 0431 第35図 | 須恵器 杯 | 17住掘、覆土 | 器(31) 口(138) 底一 口縁部～胴部1/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。 |
| 0432 第35図 PL-92 | 土師器 杯 | 17住覆土 | 器(33) 口(128) 底一 口縁部～底部上端1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 赤褐 | 外：口縁部横などで、胴部～底部上端篋削り。内： 口縁部横などで、胴部～底部上端などで。 |
| 0433 第35図 PL-92 | 須恵器 短頸壺 | 17住No19 | 器(30) 口(66) 底一 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部上半回転などで。内 外面に一部自然釉。 |
| 0434 第35図 PL-92 | 須恵器 升 | 17住No 9 | 器(46) 口一 底53 胴部下半～底部4/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転などで。内外面 全面燻し。 |
| 0435 第35図 PL-92 | 土師器 甕 | 17住No 6・7 ・10、覆土 | 器(70) 口(220) 頸(198) 底一 口縁部 半～胴部上端2/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横などで、胴部篋などで。 |
| 0436 第35図 PL-92 | 土師器 甕 | 17住掘、竈覆 土・掘 | 器(55) 口(192) 頸(180) 底一 口縁部 半～胴部上端1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端などで。 内外面一部油煙付着。 |
| 0437 第37図 PL-93 | 須恵器 杯 | 18住覆土 | 器(28) 口(138) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。 |
| 0438 第37図 PL-93 | 須恵器 盤 | 18住No 9 | 器(29) 口一 台(116) 胴部下端～高台部3/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部回転篋削 り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転などで。 |
| 0439 第37図 PL-93 | 須恵器 壺 | 18住覆土 | 器(25) 口一 台96 胴部下端～高台部3/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部 回転篋削り後高台貼付。内：胴部下端～底部指な で。 |
| 0440 第37図 PL-93 | 須恵器 杯 | 18住覆土 | 器(40) 口一 底一 胴部1/5 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄橙 | 轆轤整形。内外面胴部回転などで後篋磨き。内黒。 内外面漆付着。 |
| 0441 第37図 PL-93 | 須恵器 蓋 | 18住覆土 | 器25 口(150) 摘51 摘部～口縁部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り、 天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁 部回転などで。 |
| 0442 第37図 PL-93 | 須恵器 蓋 | 18住No 3 | 器23 口(158) 摘40 摘部～口縁部3/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り、 天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁 部回転などで。 |
| 0443 第37図 PL-93 | 土師器 杯 | 18住覆土 | 器(34) 口(140) 底一 口縁部～底部1/5 | 砂・赤色鈳物 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横などで、底部などで。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|---|---|----------------------------|---|
| 0444 第37図 PL-93 | 土 師 器 杯 | 18住No.10 | 器(32) 口(130) 底一 口縁部～底部上半1/6 | 砂・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部上半篔削り。 内：口縁部～胴部横なで、一部指頭痕、底部上半 なで。 |
| 0445 第37図 | 土 師 器 甕 | 18住No.5 | 器(50) 口(220) 頸(176) 底一 口縁部～底部上端1/6 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い橙 | 外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端横篔削 り。内：口縁部横なで、胴部上端なで。 |
| 0446 第37図 | 土 師 器 甕 | 18住覆土 | 器(48) 口(120) 頸(106) 底一 口縁部～底部上端1/6 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、胴部上端横篔削り。内：口縁 部横なで、胴部上端なで。内外面油煙付着。 |
| 0447 第39図 PL-93 | 須 恵 器 椀 | 19住覆土 | 器40 口(148) 台(96) 口縁部～高台部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、高台部貼 付。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0448 第39図 PL-93 | 土 師 器 杯 | 19住覆土 | 器(32) 口(126) 底一 口縁部～底部上半1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部上半篔削り。 内：口縁部～胴部横なで、底部上半なで。外面一 部油煙付着。 |
| 0449 第39図 PL-93 | 土 師 器 杯 | 19住No.5 | 器(39) 口(130) 底一 口縁部～底部上半1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部上半篔削り。 内：口縁部～胴部横なで、底部上半なで。内外面 油煙付着。 |
| 0450 第39図 PL-93 | 土 師 器 甕 | 19住No.1・6 | 器(145) 口(210) 頸(180) 底一 口縁部～底部上半1/3 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上半縦篔削 り。内：口縁部横なで、胴部上半篔なで。内外面 油煙付着。 |
| 0451 第39図 PL-93 | 土 師 器 甕 | 19住掘 | 器(56) 口(220) 頸(184) 底一 口縁部～底部上端1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上端横篔削 り。内：口縁部横なで、胴部上端なで。内面油煙 付着。 |
| 0452 第41図 | 須 恵 器 杯 | 20住No.4・覆 土 | 器(14) 口一 底77 胴部下端～底部3/4 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元 灰白・橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端～底部回転篔削 り。内：胴部下端～底部回転なで。 |
| 0453 第41図 | 須 恵 器 蓋 | 20住覆土 | 器(24) 口(176) 摘一 天井部下半～口縁部 1/8 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面天井部下半～口縁部回転なで。 |
| 0454 第41図 PL-93 | 土 師 器 杯 | 20住No.17、覆 土 | 器35 口(130) 底一 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篔削り。内： 口縁部～胴部横なで、底部なで。 |
| 0455 第41図 PL-93 | 土 師 器 杯 | 20住覆土、掘 | 器(28) 口(118) 一 底一 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部なで、底部篔削り。 内：口縁部～胴部横なで、底部なで。 |
| 0456 第41図 | 土 師 器 杯 | 20住覆土 | 器(27) 口(120) 底一 口縁部～底部上半1/6 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部なで、底部上半篔 削り。内：口縁部～胴部横なで、一部指頭痕、底 部上半なで。 |
| 0457 第41図 PL-93 | 土 師 器 甕 | 20住覆土 | 器(50) 口一 頸(140) 底一 口縁部～胴部上端1/8 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横なで、胴部上端横篔削り。内：口縁 部横なで、一部巻上痕、胴部上端篔なで。内外面 油煙付着。 |
| 0458 第48図 PL-94 | 土 師 器 甕 | 24住竈No.1・ 2・3・4・ 7・16・20・ 26・32・33 | 器(260) 口224 頸173 底一 口縁部～胴部3/4 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、胴部上端横篔削り、胴部縦篔 削り。内：口縁部横なで、胴部篔なで、一部巻上 痕。外面多量の油煙付着。 |
| 0459 第48図 PL-94 | 土 師 器 甕 | 24住No.37・38 ・40・41・42、 1層、106溝覆 土 | 器(142) 口(220) 頸(186) 底一 口縁部～胴部中央1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 半横篔削り、胴部中央縦篔削り。内：口縁部横な で、胴部なで。内外面油煙付着。 |
| 0460 第48図 PL-94 | 土 師 器 杯 | 24住竈No.14、 覆土、14溝覆 土 | 器(41) 口144 底80 口縁部～底部3/4 | 砂・赤色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横なで、胴部～底部篔削り。内：口縁 部～底部なで後篔磨き。 |
| 0461 第260図 PL-121 | 須 恵 器 杯 | 14溝覆土 | 器34 口(178) 底78 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 胴部下端回転篔削り。底部回転糸切後回転篔削り。 内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0462 第260図 PL-121 | 須 恵 器 椀 | 14溝No.2 | 器(47) 口138 台一 口縁部～高台部上端 1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転篔削り後高台部貼付。内：口縁部～底部 回転なで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------|---|
| 0463 第260図 PL-121 | 須恵器 杯 | 14溝覆土 | 器35 口(136) 底85 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0464 第260図 PL-121 | 須恵器 杯 | 14溝覆土 | 器24 口(142) 底(88) 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・黒色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 胴部下端～底部回転篋削り。内：口縁部～底部回 転まで。外面に一部自然釉。 |
| 0465 第260図 PL-121 | 須恵器 碗 | 14溝Na 2 | 器(58) 口(174) 台一 口縁部～高台部上端 1/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部高台 貼付。内：口縁部～底部上端回転まで。 |
| 0466 第260図 PL-121 | 須恵器 蓋 | 14溝覆土 | 器(22) 口一 摘44 摘部～天井部2/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 浅黄橙 | 轆轤整形。右回転。摘部貼付。外：天井部上半回 転篋削り、天井部下半回転まで。内：天井部回転 まで。 |
| 0467 第260図 PL-121 | 須恵器 蓋 | 14溝覆土 | 器25 口(150) 摘48 摘部～口縁部1/2 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。摘部貼付。外：天井部上半回 転篋削り、天井部下半～口縁部回転まで。内：天 井部～口縁部回転まで。 |
| 0468 第260図 PL-121 | 土師器 杯 | 14溝覆土 | 器33 口142 底一 ほぼ完形 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横まで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横まで、一部指頭痕、底部まで。 |
| 0469 第260図 PL-121 | 土師器 杯 | 14溝覆土 | 器(35) 口(130) 底一 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横まで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横まで、一部指頭痕、底部まで。 |
| 0470 第260図 PL-121 | 土師器 杯 | 14溝覆土 | 器(25) 口129 底一 口縁部～底部上半3/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横まで、胴部まで、底部上半篋 削り。内：口縁部～胴部横まで、胴部上半まで。 |
| 0471 第260図 PL-121 | 土師器 杯 | 14溝覆土 | 器(31) 口(150) 底一 口縁部～底部1/4 | 砂 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横まで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横まで、一部指頭痕、底部まで。 |
| 0472 第260図 PL-121 | 土師器 杯 | 14溝覆土 | 器(32) 口(120) 底一 口縁部～底部上半1/3 | 砂 酸化 明赤褐 | 丸底。外：口縁部横まで、胴部～底部上半篋削り。 内：口縁部～胴部横まで、底部まで。内外面一部 油煙付着。 |
| 0473 第260図 PL-121 | 土師器 杯 | 14溝覆土 | 器(31) 口(120) 底一 口縁部～底部上半1/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横まで、胴部～底部上半篋削り。 内：口縁部～胴部横まで、底部上半まで。外面一 部油煙付着。 |
| 0474 第260図 PL-121 | 土師器 杯 | 14溝覆土 | 器41 口(160) 底80 口縁部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 橙 | 外：口縁部横まで、胴部～底部篋削り。内：口縁 部横まで、胴部～底部まで。 |
| 0475 第260図 PL-120 | 土師器 甕 | 14溝覆土 | 器(70) 口252 頸200 口縁部～胴部上端1/1 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横まで、一部巻上痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横まで、胴部上端篋まで。 |
| 0476 第261図 PL-121 | 須恵器 壺 | 23溝覆土 | 器(84) 口一 台一 胴部下半～高台部上端 1/8 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下半回転まで、高台部貼付。 内：胴部下半～底部上端回転まで。 |
| 0477 第291図 PL-123 | 須恵器 杯 | 44坑Na 1 | 器50 口142 底74 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～底部回 転まで。 |
| 0478 第263図 PL-120 | 土師器 甕 | 106溝 1層Na 1 ・ 2・ 3・ 4・ 6、 2層覆土 | 器(95) 口156 頸128 口縁部～胴部中央2/3 | 砂・白色鈹物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横まで、一部指頭痕、胴部横篋削り。 内：口縁部横まで。胴部篋まで。外面油煙付着。 |
| 0479 第293図 PL-124 | 須恵器 碗 | 267坑覆土 | 器38 口(150) 台(104) 口縁部～高台部1/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転 篋削り後高台貼付。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0480 第 6 図 PL-89 | 須恵器 杯 | 1住掘Na64 | 器37 口(140) 底76 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈹物 半還 元 浅黄・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～底部回 転まで。 |
| 0481 第 6 図 PL-89 | 須恵器 杯 | 1住Na36、覆 土 | 器32 口(142) 底96 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～底部回 転まで。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-----------------------|----------|------------------|--|--------------------------|--|
| 0482 第6図 PL-89 | 須恵器 杯 | 1住No41 | 器40 口(134) 底75 口縁部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。内外面燻し。 |
| 0483 第6図 PL-89 | 須恵器 碗 | 1住No34、覆 土 | 器45 口(142) 台89 口縁部～高台部1/2 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転などで後高台貼付。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0484 第6図 PL-89 | 須恵器 蓋 | 1住No30・31 | 器(23) 口(138) 摘一 天井部～口縁部1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。 |
| 0485 第6図 PL-89 | 須恵器 蓋 | 1住掘No69 | 器(18) 口(146) 摘一 天井部～口縁部1/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。 |
| 0486 第6図 PL-89 | 土師器 杯 | 1住No39、覆 土 | 器38 口137 底一 ほぼ完形 | 砂 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで。 |
| 0487 第6図 PL-89 | 土師器 杯 | 1住掘No70 | 器33 口(136) 底一 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部などで。内面底部線刻。 |
| 0488 第6図 PL-89 | 須恵器 杯 | 1住No25 | 器(29) 口(150) 底一 口縁部～底部上端1/4 | 砂・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部上端篋削り。内：口縁部～胴部横などで、底部上端などで。外面一部油煙付着。 |
| 0489 第6図 PL-89 | 土師器 杯 | 1住No21・26 ・覆土 | 器45 口(160) 底一 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁部横などで、胴部～底部篋削り、一部指頭痕。外面油煙付着。 |
| 0490 第6図 PL-89 | 土師器 杯 | 1住No22・覆 土 | 器(35) 口(140) 底一 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 にぶい橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0491 第6図 PL-89 | 土師器 甕 | 1住No2・4、 覆土 | 器(76) 口(210) 頸(180) 底一 口縁部～胴部上端1/3 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端などで、一部巻上痕。 |
| 0492 第6図 PL-89 | 石製品 | 1住No51 | 長99 幅71 厚37 重411.9g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0493 第6図 PL-89 | 石製品 | 1住No54 | 長99 幅70 厚33 重285.9g | 溶結凝灰岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0494 第6図 PL-89 | 石製品 | 1住No50 | 長100 幅72 厚34 重297.7g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0495 第6図 PL-89 | 石製品 | 1住No49 | 長109 幅70 厚30 重376.9g | 変質安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0496 第6図 PL-89 | 石製品 | 1住No48 | 長106 幅69 厚42 重507.8g | 溶結凝灰岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0497 第6図 PL-89 | 石製品 | 1住No53 | 長75 幅61 厚46 重278.1g | 石英斑岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0498 第11図 PL-90 | 須恵器 杯 | 4住No11・覆 土 | 器40 口136 底75 口縁部～底部3/4 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。外面底部墨書「土」。 |
| 0499 第11図 PL-90 | 須恵器 杯 | 4住覆土 | 器(32) 口(140) 底(82) 口縁部～底部上端1/3 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部上端回転篋削り。内：口縁部～底部上端回転などで。 |
| 0500 第11図 PL-90 | 須恵器 杯 | 4住覆土 | 器(30) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/3 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。内面口縁部～胴部、外面口縁部燻し。 |
| 0501 第11図 | 須恵器 碗 | 4住No.5 | 器(19) 口一 台92 胴部下端～高台部4/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部回転篋削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転などで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------|--|---------------------|--|
| 0502 第11図 | 土 師 器 甕 | 4 住電掘 | 器(65) 口(200) 頸(184) 底— 口縁部～胴部上端1/8 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端斜め篋 削り。外：口縁部横なで、胴部なで、一部指頭痕。 内外面一部油煙付着。 |
| 0503 第14図 PL-90 | 須 恵 器 杯 | 5 住No43 | 器40 口142 底76 口縁部～底部5/6 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 胴部下端～底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁 部～底部回転なで。二次炎を受け、内外面に多量 の油煙付着。 |
| 0504 第14図 PL-90 | 須 恵 器 杯 | 5 住No38 | 器45 口146 底80 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈹物 還元 淡黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 胴部下端～底部回転篋削り。内：口縁部～底部回 転なで。内外面一部油煙付着。 |
| 0505 第14図 PL-90 | 須 恵 器 杯 | 5 住No37 | 器42 口158 底115 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。左回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転なで。外 面底部油煙付着。 |
| 0506 第14図 PL-90 | 須 恵 器 杯 | 5 住No40 | 器41 口141 底92 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後回転篋削り。内：口縁部～底部回 転なで、二次炎を受け、内外面に油煙付着。 |
| 0507 第14図 PL-90 | 土 師 器 杯 | 5 住No41 | 器30 口124 底— ほぼ完形 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部なで、底部篋削り。 内：口縁部～胴部横なで、底部なで、一部指頭痕。 内外面口縁部～胴部油煙付着。 |
| 0508 第14図 PL-90 | 土 師 器 杯 | 5 住No42、覆 土 | 器34 口147 底— ほぼ完形 | 砂・白色鈹物 酸化 にぶ い橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横なで、底部なで。内外面一部油煙 付着。 |
| 0509 第14図 PL-90 | 土 師 器 鉢 | 5 住No45・46 ・47 | 器51 口186 底— 口縁部～底部2/3 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篋削り。内 面：口縁部～胴部横なで、底部なで。二次炎を受 けている。内外面油煙付着。 |
| 0510 第14図 PL-90 | 土 師 器 甕 | 5 住No1・2 | 器(48) 口140 頸116 底— 口縁部～胴部上端1/2 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、胴部上端横篋削り。内：口縁 部横なで、胴部上端なで、一部巻上痕。 |
| 0511 第14図 PL-90 | 土 師 器 甕 | 5 住No39、覆 土 | 器(135) 口— 底56 胴部下半～底部3/5 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 外：胴部下半縦篋削り、胴部下端横篋削り、底部 篋削り。内：胴部下半～底部篋なで。内外面に油 煙付着。 |
| 0512 第14図 PL-90 | 土 師 器 甕 | 5 住No49 | 器96 口93 頸89 底68 ほぼ完形 | 砂・小石 酸化 浅黄橙 | 外：口縁部横なで、胴部横篋削り。内：口縁部横 なで、胴部～底部篋なで、一部巻上痕・指頭痕。 外面底部線刻、口縁部～胴部油煙付着。 |
| 0513 第16図 PL-90 | 須 恵 器 杯 | 6 住覆土 | 器(26) 口(126) 底— 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転なで。 |
| 0514 第16図 PL-90 | 須 恵 器 杯 | 6 住覆土 | 器(25) 口— 底(76) 胴部～底部1/4 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部回転なで、底部回転篋削り。 内：胴部～底部回転なで。 |
| 0515 第101図 PL-103 | 須 恵 器 壺 | 45住No1 | 器(86) 口— 底— 頸部～胴部1/6 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部上半回転なで、胴部下半叩き 目。内：胴部上半回転なで、胴部下半なで。 |
| 0516 第101図 PL-103 | 土 製 品 錘 | 45住電掘No4 | 長(46) 景14 孔3 重7.8g ほぼ完形 | 砂・白色鈹物 酸化 にぶ い褐 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0517 第101図 PL-103 | 土 製 品 錘 | 45住電掘No5 | 長58 径15 孔3.5 重10.6g ほぼ完形 | 砂・白色鈹物 酸化 にぶ い黄橙 | 中心部縦に径3.5mmの穿孔。 |
| 0518 第101図 PL-103 | 土 製 品 錘 | 45住電掘No1 | 長52 径14 孔3 重8.4g ほぼ完形 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0519 第101図 PL-103 | 土 製 品 錘 | 45住電掘No3 | 長48 径12 孔4 重5.7g ほぼ完形 | 砂・白色鈹物 酸化 にぶ い黄橙 | 中心部縦に径4mmの穿孔。 |
| 0520 第101図 PL-103 | 土 製 品 錘 | 45住電掘No2 | 長55 径15 孔3.5 重10.5g ほぼ完形 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 中心部縦に径3.5mmの穿孔。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------------|---|------------------------------|---|
| 0521 第291図 PL-123 | 土師器 台付甕 | 2坑覆土 | 器(55) 口(116) 頸(108) 台一 口縁部～底部上半1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕ね胴部上半横篔削り。内：口縁部横などで、胴部上半などで。内外面油煙付着。 |
| 0522 第291図 PL-123 | 須恵器 杯 | 7坑覆土 | 器(35) 口(138) 底(80) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転篔削り。内：口縁部～底部回転などで。外面口縁部～胴部燻し。 |
| 0523 第345図 PL-125 | 須恵器 椀 | 352ピットNo1 | 器78 口174 台114 完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後回転篔削り、後高台貼付。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0524 第345図 PL-125 | 須恵器 蓋 | 352ピットNo1 | 器36 口186 摘63 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。摘部貼付。外：天井部上半回転篔削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。 |
| 0525 第292図 PL-123 | 土師器 甕 | 121坑No1・2 ・3・4、覆 土 | 器(73) 口(226) 底一 口縁部～頸部3/4 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 酸化 にぶい黄橙 | 頸部貼付。外：口縁部横などで、頸部篔削り。内：口縁部横などで。 |
| 0526 第292図 PL-123 | 土師器 高杯 | 121坑覆土 | 器(111) 口一 脚一 底部～脚部2/3 | 砂・小石・白色鈳物・雲 母 酸化 橙 | 脚部貼付。外：底部などで、脚部篔などで後篔磨き。内：底部などで、脚部篔などで。 |
| 0527 第261図 PL-121 | 土師器 高杯 | 45溝覆土 | 器(46) 口一 脚一 胴部下半～脚部上端 1/1 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄橙 | 脚部貼付。外：胴部下半刷ハケ目などで後などで、底部ハケ目。内：胴部下半ハケ目、底部などで。内外面に一部油煙付着。 |
| 0528 第363図 PL-127 | 須恵器 耳皿 | 2区表土 | 器29 口(70) 台35 胴部下半～高台部4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台貼付後などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0529 第363図 PL-127 | 須恵器 椀 | 2区表土 | 器(29) 口一 台68 胴部下半～高台部3/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転などで。内面胴部燻し。外面底部墨付着。 |
| 0531 第261図 PL-121 | 須恵器 杯 | 50溝No1 | 器31 口(124) 底70 口縁部～底部3/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後回転篔削り。内：口縁部～底部回転などで。外面底部墨書「山田」。 |
| 0532 第44図 PL-93 | 須恵器 椀 | 21住No23、覆 土 | 器62 口(130) 台(78) 口縁部～高台部3/4 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 半還元 にぶい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転などで、内外面口縁部に油煙付着。 |
| 0533 第44図 PL-93 | 須恵器 杯 | 21住No4、覆 土 | 器(47) 口(124) 底(60) 口縁部～底部上端1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 にぶい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0534 第44図 PL-93 | 須恵器 杯 | 21住No8、覆 土 | 器(39) 口(120) 底(50) 口縁部～底部上端1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。内外面に一部油煙付着。 |
| 0535 第44図 PL-93 | 土師器 杯 | 21住覆土 | 器41 口(119) 底72 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鈳物・雲 母 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横などで、胴部～底部篔削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで。 |
| 0536 第44図 PL-93 | 土師器 甕 | 21住No15・ 16、覆土 | 器(102) 口(200) 頸(182) 底一 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篔削り。内：口縁部横などで、胴部篔などで。内面油煙付着。 |
| 0537 第44図 | 須恵器 杯 | 21住No3、覆 土 | 器(27) 口(138) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・にぶい橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。内面に一部油煙付着。 |
| 0538 第291図 PL-123 | 土師器 甕 | 74坑覆土 | 器(63) 口(200) 頸(186) 底一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篔削り。内：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端などで。 |
| 0539 第364図 PL-129 | 灰釉陶器 皿 | 6区表土 | 器33 口(148) 台68 口縁部～高台部1/2 | 細砂 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転などで後高台貼付。内：口縁部～底部回転などで。外面口縁部～胴部施釉。 |
| 0540 第362図 PL-126 | 須恵器 杯 | 3区表土 | 器(52) 口(150) 底(86) 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部篔削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0541 第363図 PL-127 | 須恵器 蓋 | 3区表土 | 器(13) 口一 摘45 摘部～天井部上半2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篔削り。内：天井部上半回転などで。内面天井部に刻字「大」。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------|--|--------------------------|--|
| 0542 第361図 PL-126 | 須恵器 杯 | 3区表土 | 器36 口148 底94 口縁部～底部4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0543 第362図 PL-126 | 須恵器 杯 | 3区表土 | 器(11) 口一 底(66) 胴部下端～底部2/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部回転糸切。内：胴部下端～底部回転まで。外面底部墨書「四」。 |
| 0544 第362図 PL-126 | 須恵器 杯 | 3区表土 | 器(11) 口一 底(70) 胴部下端～底部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転まで、底部回転糸切。内：胴部下端～底部回転まで。内面底部墨書「直又は真」。 |
| 0545 第362図 PL-127 | 須恵器 杯 | 3区表土 | 器(23) 口一 底一 胴部～底部上端破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面胴部～底部上端回転まで。内面底部墨書「？」。 |
| 0546 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 3区表土 | 長(39) 幅(21) 厚11 | | 表面に工具で叩いた痕あり。 |
| 0547 第251図 | 須恵器 蓋 | 27掘立覆土 | 器(20) 口(150) 摘一 天井部～口縁部1/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転まで。内：天井部～口縁部回転まで。外面に油煙付着。 |
| 0548 第250図 PL-120 | 須恵器 鉢 | 24掘立ピット 4 | 器(63) 口(240) 底一 口縁部～胴部上半破片 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部上半回転まで。 |
| 0549 第224図 | 土師器 甕 | 2掘立ピット 4 | 器(70) 口(200) 頸(170) 底一 口縁部～胴部上端1/8 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横まで、一部指頭痕・巻上痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横まで、胴部上端篋削り。 |
| 0550 第226図 | 須恵器 盤 | 3掘立ピット 3 Na 1 | 器(83) 口一 台(170) 胴部下端～高台部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部回転篋削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転まで。 |
| 0551 第364図 PL-128 | 須恵器 高杯 | 4区表土 | 器(83) 口一 脚一 底部～脚部上半3/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。脚部貼付。内外面底部～脚部上半回転まで。 |
| 0552 第364図 | 須恵器 高杯 | 4区表土 | 器(115) 口一 脚一 脚部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰・赤灰 | 轆轤整形。脚部貼付。内外面脚部回転まで。 |
| 0553 第364図 PL-128 | 須恵器 高杯 | 4区表土 | 器(72) 口一 脚一 底部～脚部上半3/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。脚部貼付。外：底部～脚部上半回転まで。内：底部～脚部上半回転まで。 |
| 0554 第364図 PL-128 | 須恵器 高杯 | 4区表土 | 器(56) 口一 脚一 底部～脚部上半4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。脚部貼付。内外面底部～脚部上半回転まで。 |
| 0555 第364図 PL-128 | 須恵器 瓶 | 4区表土 | 器(87) 口(96) 頸51 底一 口縁部～頸部4/5 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 轆轤整形。頸部貼付。内外面口縁部～頸部回転まで。 |
| 0556 第362図 PL-126 | 須恵器 杯 | 4区表土 | 器(36) 口(122) 底(60) 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～底部回転まで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0557 第361図 PL-127 | 須恵器 杯 | 4区表土 | 器32 口(128) 底78 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切後上端回転篋削り。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0558 第362図 PL-126 | 須恵器 椀 | 4区表土 | 器57 口(144) 台64 口縁部～高台部1/4 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元灰白・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 0559 第363図 PL-128 | 須恵器 甕 | 4区表土 | 器(164) 口一 頸(165) 底一 頸部～胴部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。頸部貼付。外：頸部回転まで、胴部叩き目。内：頸部～胴部回転まで。 |
| 0560 第362図 PL-126 | 須恵器 椀 | 4区表土 | 器(22) 口一 台82 胴部下端～高台部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部下端回転まで、底部回転篋削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転まで。外面底部線刻。 |
| 0561 第366図 PL-130 | 須恵器 紡錘車 | 4区表土 | 直59 孔6 厚10 重42.8g | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 椀底部転用。焼成後穿孔。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-------------|--------------------|---|-----------------------------|--|
| 0562 第364図 PL-128 | 須恵器 把手付椀 | 4区表土 | 器(15) 口一 台一 把手部破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 把手部貼付、表面は篋削り。 |
| 0563 第364図 PL-128 | 須恵器 把手付椀 | 4区表土 | 器(8) 口一 台一 把手部破片 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰黄・にぶい黄橙 | 表面は篋削り後篋なで。 |
| 0564 第366図 PL-131 | 土製品 錘 | 4区表土 | 長41 径12 孔3.5 重5.5g ほぼ完形 | 砂・白色鈳物 酸化 浅黄 | 中心部縦に径3.5mmの穿孔。 |
| 0565 第366図 PL-130 | 土製品 錘 | 4区表土 | 長(32) 径(15) 孔3 重6.0g 1/2 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い橙 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0566 第364図 PL-128 | 青磁 椀 | 4区表土 | 器(33) 口(158) 底(68) 口縁部～胴部上半破片 | 細砂 還元 灰白 | 中国製。口縁部内面に凹線を巡らす。中世。 |
| 0567 第221図 | 土師器 甕 | 110住竈No1・ 覆土 | 器(78) 口(200) 頸(166) 底一 口縁部～胴部上端破片 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上端横篋削り。 内：口縁部横なで、胴部上端篋なで。 |
| 0568 第7図 PL-89 | 須恵器 杯 | 2住覆土 | 器(38) 口(124) 底(68) 口縁部～底部上端1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0569 第7図 PL-89 | 須恵器 杯 | 2住覆土 | 器(59) 口(158) 底(90) 口縁部～底部上端1/8 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部上端 回転篋削り。内：口縁部～底部上端回転なで。 |
| 0570 第7図 PL-89 | 須恵器 皿 | 2住覆土 | 器(23) 口一 台(114) 胴部～高台部1/8 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部回転なで、底部高台貼付。内： 胴部～底部回転なで。 |
| 0571 第7図 PL-89 | 須恵器 蓋 | 2住覆土 | 器(21) 口一 摘(48) 摘部～天井部上半2/3 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元 灰黄・橙 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り。 内：天井部上半回転なで。 |
| 0572 第7図 PL-89 | 須恵器 把手付椀 | 2住覆土 | 器(14) 口一 台一 胴部～把手部破片 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 黄・にぶい橙 | 轆轤整形。胴部中央回転なで。把手部貼付、表面 は篋削り後篋なで。 |
| 0573 第293図 PL-124 | 石製品 | 196坑No3 | 長129 幅79 厚45 重637.9g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0574 第263図 PL-120 | 磁器 椀 | 84溝覆土 | 器54 口104 台40 口縁部～高台部2/3 | 還元 灰白 | 肥前、波佐見系。見込み蛇の目釉剥ぎ。外面残存 部に梅樹文。 |
| 0575 第263図 PL-120 | 磁器 椀 | 84溝覆土 | 器(36) 口(90) 台一 口縁部～胴部1/5 | 還元 灰白 | 肥前。外面に草花文。 |
| 0576 第263図 PL-120 | 磁器 椀 | 84溝覆土 | 器(30) 口(83) 台一 口縁部～胴部1/3 | 還元 灰白 | 肥前、波佐見系。コンニャク印判。 |
| 0577 第263図 PL-120 | 陶器 香炉 | 84溝No7 | 器39 口(74) 台一 口縁部～脚部1/3 | 酸化 淡黄 | 口縁部から体部外面胎釉。底部やや高い脚を貼り 付ける。体部外面篋による施文が一部残る。 |
| 0578 第263図 PL-120 | 石製品 砥石 | 84溝覆土 | 長(101) 幅26 厚27 重91.0g | 砥沢石 | 使用面は4面。 |
| 0579 第162図 PL-111 | 須恵器 杯 | 68住No1、電、 電掘 | 器39 口(140) 底86 口縁部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 胴部下端回転篋削り、底部回転糸切後上半回転篋 削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0580 第162図 | 須恵器 椀 | 68住No14 | 器(33) 口(150) 台一 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい黄橙 | 轆轤整形。内黒。内外面口縁部～胴部回転なで。 内面篋磨き。 |
| 0581 第162図 | 土師器 甕 | 68住竈、掘 | 器(31) 口一 頸一 底(48) 胴部下端～底部1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：胴部下端斜め篋削り。内：胴部下端～底部篋 なで。外面油煙付着。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|----------|-----------------------------|--|----------------------------|---|
| 0582 第165図 PL-111 | 須恵器 椀 | 69住電No18 | 器(41) 口一 台84 胴部～高台部3/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0583 第165図 PL-111 | 須恵器 杯 | 69住電No.8・ 11・19、電、 覆土 | 器39 口135 底80 口縁部～底部3/4 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 赤褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。内外面に油煙付着。 |
| 0584 第165図 PL-112 | 須恵器 杯 | 69住覆土 | 器(31) 口一 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 にぶい赤褐 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。内面漆付着。 |
| 0585 第165図 PL-112 | 須恵器 蓋 | 69住電No15、 電、覆土 | 器33 口(178) 摘(48) 摘部～口縁部1/4 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。外：摘部貼付、天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。 |
| 0586 第165図 | 須恵器 甕 | 69住No.6 | 器(64) 口(190) 頸(162) 底一 口縁部～胴部上端破片 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。 |
| 0587 第167図 PL-112 | 須恵器 杯 | 70住覆土 | 器(36) 口(120) 底(74) 口縁部～底部1/6 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部上端回転篋削り。内：口縁部～胴部回転などで。 |
| 0588 第189図 PL-115 | 須恵器 椀 | 83住覆土 | 器(35) 口(134) 台一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈹物 酸化 にぶ い橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで。内：口縁部～胴部回転などで後篋磨き。 |
| 0589 第192図 PL-115 | 須恵器 杯 | 84住No.3 | 器35 口(128) 底75 口縁部～底部2/3 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～胴部回転などで。内面口縁部～胴部墨書「川」。 |
| 0590 第192図 PL-115 | 須恵器 杯 | 84住No.2 | 器37 口125 底67 完形 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～胴部回転などで。外面胴部に墨書「西二」。 |
| 0591 第192図 PL-115 | 須恵器 杯 | 84住No.5 | 器38 口132 底65 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0592 第192図 PL-115 | 須恵器 蓋 | 84住No.4 | 器46 口(156) 摘(35) 摘部～口縁部3/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。 |
| 0593 第192図 PL-115 | 鉄 滓 | 84住覆土 | 長82 幅64 厚25 重 152.9g | | 鉄分が含まれる。 |
| 0594 第192図 PL-115 | 石製品 | 84住覆土 | 長38 幅20 厚48 重11.6g | チャート | 周囲は擦れている。 |
| 0595 第192図 PL-115 | 土師器 甕 | 84住No.1、覆 土 | 器287 口196 頸173 底(50) 最大228 口縁 部～底部上端9/10 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物・ 雲母 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削り、胴部縦篋削り、底部上端篋削り。内：口縁部横などで、胴部～底部上端篋などで。内外面多量の油煙付着。 |
| 0596 第187図 PL-115 | 須恵器 椀 | 82住No14、床 下土坑No30 | 器45 口109 台72 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端回転篋削り、底部高台貼付後回転などで。内：口縁部～底部回転などで。内外面に一部油煙付着。 |
| 0597 第187図 PL-114 | 須恵器 杯 | 82住No15・16 | 器(31) 口一 底98 胴部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転糸切後上半回転篋削り。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0598 第187図 PL-114 | 須恵器 杯 | 82住No.3 | 器42 口(140) 底(82) 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、胴下端回転篋削り、底部回転糸切後上端回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0599 第187図 PL-115 | 須恵器 蓋 | 82住No29 | 器33 口164 摘50 摘部～口縁部4/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：口縁部～天井部回転などで。 |
| 0600 第187図 PL-115 | 須恵器 蓋 | 82住No.8、覆 土 | 器(32) 口(200) 摘一 天井部～口縁部1/4 | 砂・小石・白色鈹物 半還 元 灰白・にぶい黄橙 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|-----------------------|---|---------------------------|--|
| 0601 第187図 | 須恵器 壺 | 82住覆土 | 器(16) 口(110) 頸一 底一 口縁部破片 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部回転などで、一部に自然釉。 |
| 0602 第187図 PL-114 | 土師器 杯 | 82住No.5、覆 土 | 器(27) 口一 底75 胴部～底部3/5 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 明赤褐 | 内外面胴部～底部燻し、篋磨き。 |
| 0603 第187図 PL-114 | 土師器 杯 | 82住No.2・5、 覆土 | 器(25) 口一 底75 胴部～底部1/2 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 内外面胴部～底部燻し、篋磨き。 |
| 0604 第187図 PL-114 | 土師器 杯 | 82住電No.10 | 器38 口136 底一 口縁部～底部5/6 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横などで、底部などで、一部指頭痕。 |
| 0605 第187図 PL-115 | 土師器 杯 | 82住No.1 | 器45 口(168) 底一 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部などで。 |
| 0606 第187図 PL-115 | 土師器 杯 | 82住電No.29、 電、覆土 | 器51 口(178) 底一 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部横などで、胴部～底部などで、一部指頭痕。外 面底部油煙付着。 |
| 0607 第187図 PL-115 | 土師器 杯 | 82住No.11・12 ・13、覆土 | 器39 口(136) 底一 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈹物 酸化 明赤 褐 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横などで、底部などで。 |
| 0608 第187図 PL-115 | 土師器 杯 | 82住電No.21・ 26 | 器37 口136 底一 口縁部～底部5/6 | 砂・小石・白色鈹物・雲 母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部横などで、胴部～底部などで、一部指頭痕。 |
| 0609 第187図 | 土師器 甕 | 82住電No.19、 電 | 器(63) 口(214) 頸(174) 底一 口縁部～胴部下端1/8 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物・ 雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。 |
| 0610 第187図 PL-114 | 土師器 高杯 | 82住No.7 | 器(100) 口一 底一 脚一 脚部1/3 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 外：脚部上半縦篋削り後篋磨き、脚部下半などで。 内：脚部上半紋り、一部指頭痕、脚部下半などで、 一部巻上痕。 |
| 0611 第194図 PL-115 | 土師器 杯 | 85住No.4、覆 土 | 器(34) 口(134) 底一 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部などで。 |
| 0612 第194図 PL-115 | 土師器 杯 | 85住No.6、覆 土 | 器(24) 口(140) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部篋削り。内：口縁部～胴 部横などで。 |
| 0613 第194図 PL-115 | 土師器 甕 | 85住覆土 | 器(55) 口(220) 頸(180) 底一 口縁部～胴部上端1/2 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。 |
| 0614 第194図 PL-115 | 土師器 甕 | 85住No.3、覆 土 | 器(52) 口(220) 頸(178) 底一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。 |
| 0615 第194図 | 土師器 台付甕 | 85住No.1、覆 土 | 器(42) 口(136) 頸(122) 台一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横などで、胴部上端横篋削り。内：口縁 部横などで、胴部上端篋などで。内外面油煙付着。 |
| 0617 第194図 PL-115 | 土師器 甕 | 85住No.11 | 器(138) 口154 頸136 底一 最大168 口縁部～胴部5/6 | 砂・小石・赤色鈹物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部上端横篋削り、胴部縦篋 削り。内：口縁部横などで、胴部篋などで、一部巻上 痕。内面全面的に燻し。 |
| 0618 第196図 PL-116 | 土師器 杯 | 86住No.2 | 器35 口124 底一 口縁部～底部4/5 | 砂・白色鈹物・酸化 にぶ い橙 | 外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁 部～胴部横などで、底部などで、一部指頭痕。外面に 油煙付着。 |
| 0619 第196図 | 土師器 甕 | 86住No.1 | 器(28) 口一 頸一 底48 胴部下端～底部4/5 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 外：胴部下端～底部篋削り。内：胴部下端～底部 篋などで。外面一部油煙付着。 |
| 0620 第196図 | 土師器 甕 | 86住覆土 | 器(35) 口(200) 頸一 底一 口縁部破片 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕。内：口 縁部横などで。 |
| 0621 第203図 PL-116 | 須恵器 杯 | 90住No.2 | 器34 口140 底94 口縁部～底部4/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 胴部下端回転篋削り、底部回転糸切後回転篋削り。 内：口縁部～底部回転などで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-----------|--------------------|--|---------------------------|---|
| 0622 第203図 PL-116 | 須恵器 杯 | 90住No.7、竈 | 器37 口138 底86 口縁部～底部3/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端回転篋削り、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0623 第203図 PL-116 | 須恵器 杯 | 90住No.6、竈、 覆土 | 器38 口(140) 底86 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後上半回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0624 第203図 PL-116 | 須恵器 杯 | 90住覆土 | 器36 口(130) 底78 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 明赤褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0625 第203図 PL-116 | 須恵器 杯 | 90住No.1 | 器(25) 口一 底65 胴部～底部2/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面炭素吸着による黒色を呈し、胴部～底部は全面に篋磨きが施されている。 |
| 0626 第203図 PL-116 | 土師器 鉢 | 90住No.8 | 器46 口(180) 底一 口縁部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈳物・雲 母 酸化 浅黄橙 | 外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで、胴部～底部篋磨き。内外面に一部油煙付着。 |
| 0627 第203図 PL-116 | 土師器 杯 | 90住No.10 | 器(30) 口130 底一 口縁部～底部1/1 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部などで。内面底部に線刻。 |
| 0628 第203図 PL-116 | 土師器 杯 | 90住No.11、覆 土 | 器40 口(132) 底一 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで、一部指頭痕。 |
| 0629 第203図 PL-116 | 土師器 甕 | 90住No.3・9、 覆土 | 器(115) 口199 頸177 底48 口縁部～胴部上半3/4 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上半横篋削り。内：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上半篋などで。内外面に油煙付着。 |
| 0630 第203図 PL-116 | 土師器 甕 | 90住No.5、覆 土 | 器(89) 口(204) 頸(181) 底一 口縁部～胴部上半1/2 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上半篋などで。内外面に油煙付着。 |
| 0631 第203図 PL-116 | 石製品 基石 | 90住No.8 | 長17 幅15 厚4 重1.5g | チャート | 周囲は擦れている。 |
| 0632 第203図 PL-116 | 須恵器 杯 | 90住覆土 | 器(8) 口一 底(76) 胴部下端～底部1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい橙 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部回転篋削り。内：胴部下端～底部回転などで。内面底部に線刻。 |
| 0633 第203図 | 土師器 甕 | 90住覆土、竈、 掘 | 器(49) 口一 頸一 底(40) 胴部下端～底部1/2 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 外：胴部下端縦篋削り。内：胴部下端篋などで、一部巻上痕。外面に油煙付着。 |
| 0634 第205図 | 土師器 杯 | 91住覆土 | 器(27) 口(146) 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部篋削り。内：口縁部～胴部横などで。 |
| 0635 第205図 | 土師器 杯 | 91住覆土 | 器(21) 口(110) 底一 口縁部～底部破片 | 砂・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで。 |
| 0636 第205図 | 土師器 甕 | 91住No.2 | 器(75) 口(260) 頸(230) 底一 口縁部～胴部上端破片 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。 |
| 0637 第205図 | 須恵器 杯 | 91住覆土 | 器(22) 口(130) 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。 |
| 0638 第205図 | 須恵器 甕 | 91住No.1 | 器(92) 口一 頸(193) 底一 口縁部下半～頸部1/6 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 橙 | 頸部貼付。外：口縁部下半～頸部篋などで、口縁部波状文2段、沈線1条。内：口縁部下半～頸部篋などで。 |
| 0639 第209図 PL-117 | 土師器 杯 | 99住No.7・8 | 器54 口84 底48 ほぼ完形 | 砂・雲母 酸化 におい橙 | 外：口縁部横などで、胴部などで後篋磨き、底部などで。内：口縁部横などで、胴部～底部篋などで後篋磨き。 |
| 0640 第209図 PL-117 | 土師器 罎 | 99住No.19 | 器(59) 口一 底26 口縁部下半～底部3/4 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部下半篋磨き、胴部～底部篋などで。内：口縁部下半篋磨き、胴部～底部などで。 |
| 0641 第209図 PL-117 | 土師器 罎 | 99住No.10・18、 覆土 | 器80 口102 底50 口縁部～底部4/5 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで後篋磨き、胴部篋などで後篋磨き、底部などで。内：口縁部上半横などで、下半刷毛などで後篋磨き、胴部刷毛などで、底部などで。 |

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-----------|--|--|---------------------------|--|
| 0642 第209図 PL-117 | 土師器 埴 | 99住No.1・2 ・4・6・7・ 9・12・13・ 14・16・17・ 18・20 | 器208 口(158) 頸114 最大(188) 底— 口縁部～底部1/2 | 砂・小石 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部～底部刷毛などで後篋磨き。内： 口縁部～底部刷毛などで。外面一部油煙付着。 |
| 0643 第209図 PL-117 | 石製品 | 99住No.21 | 長96 幅79 厚41 重407.9g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0644 第211図 PL-117 | 土師器 杯 | 101住No.3、覆 土 | 器60 口157 底48 口縁部～底部5/6 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部篋削り、底部などで。内： 口縁部横などで、胴部～底部などで。外面油煙付着。 |
| 0645 第211図 PL-117 | 土師器 高杯 | 101住No.5・ 6、覆土 | 器(62) 口164 底67 脚— 口縁部～底部5/6 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部～底部刷毛などで後篋磨き。 内：口縁部刷毛などで後横などで、胴部～底部刷毛な で後篋磨き。内外面一部油煙付着。 |
| 0646 第211図 PL-117 | 土師器 埴 | 101住No.2 | 器48 口(80) 底45 口縁部～底部2/3 | 砂・白色鉱物 酸化 にぶ い橙 | 外：口縁部横などで、胴部指などで、指頭痕、胴部下 端～底部刷毛などで。内：口縁部横などで、胴部～底 部指などで、指頭痕。 |
| 0647 第211図 PL-117 | 土師器 高杯 | 101住No.7 | 器(92) 口— 底— 脚— 脚部2/3 | 砂・白色鉱物 酸化 橙 | 外：脚部上半縦篋磨き、脚部下半横篋磨き。内： 脚部上半篋削り、脚部下半篋などで。 |
| 0648 第215図 PL-117 | 土師器 甕 | 104住覆土 | 器(145) 口(130) 頸(114) 底— 最大(178) 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 浅黄橙 | 頸部貼付。外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭 痕、胴部刷毛などで。内：口縁部刷毛などで後横などで、 胴部刷毛などで、上端一部指頭痕・巻上痕。 |
| 0649 第215図 | 土師器 甕 | 104住覆土 | 器(30) 口— 頸— 底(55) 最大— 胴部下端～底部1/4 | 砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐 | 外：胴部下端刷毛などで、底部篋削り。内：胴部下 端～底部刷毛などで。 |
| 0650 第197図 PL-116 | 羽 釜 | 87住No.1、覆 土 | 器(67) 口(230) 底— 最大— 口縁部～胴部上端破片 | 砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 明赤褐 | 鈔部貼付。内外面口縁部～胴部上端回転などで、一 部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0651 第200図 PL-116 | 土師器 杯 | 89住No.6・7、 覆土 | 器37 口137 底— 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部指などで、胴部下 端～底部篋削り。内：口縁部～胴部横などで、底部指 などで、指頭痕。 |
| 0652 第200図 PL-116 | 土師器 杯 | 89住No.4 | 器32 口(128) 底— 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鉱物 酸化 にぶ い橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部～胴部横などで、底部などで。内面胴部下端～底 部線刻。内外面油煙付着。 |
| 0653 第200図 | 土師器 甕 | 89住No.2 | 器(56) 口(217) 頸(196) 底— 最大— 口縁部～胴部下端1/8 | 砂・赤色鉱物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。 |
| 0654 第200図 PL-116 | 須恵器 甕 | 89住No.5 | 器(105) 口(152) 頸167 底— 最大— 口縁部～胴部上端4/5 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰 | 頸部貼付。外：口縁部横などで後、沈線2条、波状 文2段、胴部上端沈線3条。内：口縁部横などで、 一部巻上痕、胴部上端篋などで。外面一部自然釉。 |
| 0655 第208図 PL-117 | 土師器 甕 | 98住No.1、覆 土 | 器183 口128 頸107 底52 最大184 ほぼ完形 | 砂・白色鉱物 酸化 にぶ い黄橙 | 頸部貼付。最大径は胴部中央。外：口縁部横などで、 胴部篋削り後篋などで。内：口縁部横などで、胴部篋 などで、一部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0656 第208図 | 土師器 高杯 | 98住No.3 | 器(47) 口(150) 底— 脚— 口縁部～胴部1/8 | 砂・赤色鉱物 酸化 にぶ い黄橙 | 外：口縁部篋などで後横などで、胴部篋などで後篋磨き。 内：口縁部～胴部刷毛などで後へら磨き。 |
| 0657 第208図 | 土師器 甕 | 98住No.2 | 器(32) 口— 頸— 底(64) 最大— 胴部下端～底部1/3 | 砂・白色鉱物 酸化 にぶ い黄橙 | 外：胴部下端～底部へら削り。内：胴部下端～底 部篋などで。内外面油煙付着。 |
| 0658 第210図 PL-117 | 土師器 甕 | 100住貯No.8・ 9 | 器(235) 口177 頸120 底— 最大(283) 口縁部～胴部1/4 | 砂・赤色鉱物・雲母 酸化 にぶい橙 | 最大径は胴部中央。頸部貼付。外：口縁部上端横 などで、口縁部刷毛などで後篋磨き、頸部刷毛などで、 胴部篋磨き。内：刷毛などで後篋磨き、胴部刷毛な で、巻上痕・指頭痕。内外面油煙付着。 |
| 0659 第210図 PL-117 | 土師器 埴 | 100住No.1・4 ・5、覆土 | 器68 口114 頸67 底— 口縁部～底部7/8 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 にぶい橙 | 丸底。頸部貼付。外：口縁部刷毛などで後篋磨き、 胴部～底部篋削り後篋磨き。内：口縁部横などで後 篋磨き、胴部～底部指などで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-----------|--|---|------------------------|---|
| 0660 第213図 PL-117 | 土師器 高杯 | 102住No1 | 器(58) 口147 底一脚一 口縁部～底部1/1 | 砂・白色鈹物 酸化 におい橙 | 脚部貼付。外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部～底部刷毛などで。内：口縁部横などで、胴部～底部刷毛などで。内外面油煙付着。 |
| 0661 第219図 PL-119 | 土師器 甕 | 106住No13・14・17・19・20・32・37・39・41・42、覆土 | 器245 口118 頸94 底75 最大248 ほぼ完形 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 最大径胴部下半。頸部貼付。外：横などで、胴部刷毛などで後磨き、一部巻上痕。内：口縁部横などで、胴部～底部刷毛などで、巻上痕顕著。外面一部油煙付着。 |
| 0662 第219図 PL-119 | 土師器 甕 | 106住No47 | 器153 口128 頸108 底44 最大145 ほぼ完形 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 におい橙 | 最大径は胴部中央。頸部貼付。外：口縁部刷毛などで後横などで、頸部～胴部刷毛などで、底部磨削り、一部巻上痕。内：口縁部刷毛などで後横などで、胴部～底部磨削りなどで、一部巻上痕、指頭痕。内外面一部油煙付着。 |
| 0663 第219図 PL-119 | 土師器 甕 | 106住No33、覆土 | 器133 口(119) 頸(108) 底45 最大137 胴部下端～底部3/5 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 頸部貼付。外：口縁部横などで、胴部上半刷毛などで、胴部下半刷毛などで後磨削り、一部巻上痕。内：口縁部横などで、頸部指などで、指頭痕、胴部～底部磨削りなどで。 |
| 0664 第219図 PL-119 | 土師器 甕 | 106住No28 | 器(97) 口160 頸138 底一 最大一 口縁部～胴部上半3/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 頸部貼付。外：横などで、一部指頭痕、頸部～胴部上半磨削りなどで。内：口縁部刷毛などで後横などで、胴部上半刷毛などで、巻上痕顕著。内外面油煙付着。 |
| 0665 第219図 PL-119 | 土師器 甕 | 106住No12、覆土 | 器(80) 口128 頸111 底一 最大一 口縁部～胴部上半2/5 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 におい橙 | 頸部貼付。外：口縁部刷毛などで後横などで、一部巻上痕、胴部上半磨削りなどで。内：口縁部刷毛などで、胴部上半磨削りなどで、一部巻上痕・指頭痕。外面油煙付着。 |
| 0666 第220図 PL-119 | 土師器 壺 | 106住No35・36・38、覆土 | 器(90) 口(240) 頸一 底一 最大一 口縁部1/4 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物・雲母 酸化 におい橙 | 外：口縁部上半刷毛などで後磨き、口縁部中央櫛状工具による連続文、口縁部下半横などで後磨き。内：口縁部刷毛などで後磨き。内外面一部油煙付着。 |
| 0667 第219図 PL-119 | 土師器 甕 | 106住No23・24・30・31 | 器(120) 口一 頸一 底60 最大一 胴部下半～底部2/5 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 におい橙 | 外：胴部下半刷毛などで後縦磨削り、胴部下端刷毛などで後横磨削り、底部磨削り。内：胴部下半～底部刷毛などで、巻上痕。 |
| 0668 第219図 PL-119 | 土師器 甕 | 106住No44・45・46、覆土 | 器(162) 口(112) 頸(98) 底一 最大148 口縁部～胴部2/3 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 浅黄橙 | 最大径胴部中央。頸部貼付。外：口縁部刷毛などで後横などで、胴部刷毛などで後磨削り。内：口縁部刷毛などで後横などで、胴部刷毛などで後磨削りなどで、一部巻上痕。 |
| 0669 第219図 PL-119 | 土師器 甕 | 106住炉、覆土 | 器(62) 口一 頸一 底37 最大一 胴部下半～底部1/2 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 外：胴部下半刷毛などで後磨削り、底部刷毛などで後磨削りなどで。内：胴部下半～底部磨削りなどで。内面燻し、外面一部油煙付着。 |
| 0670 第220図 PL-119 | 土師器 埴 | 106住No25、覆土 | 器(40) 口一 頸(81) 底一 口縁部～胴部1/3 | 砂・白色鈹物 酸化 におい黄橙 | 外：口縁部横などで、胴部上半磨削り後磨き、胴部下半磨削り。内：口縁部横などで、胴部横などで後磨き。内外面一部油煙付着。 |
| 0671 第220図 PL-119 | 土師器 埴 | 106住No58、覆土 | 器(36) 口一 頸(84) 底28 頸部～底部1/3 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 外：胴部～底部磨削り。内：胴部～底部などで。 |
| 0672 第220図 PL-119 | 土師器 高杯 | 106住覆土 | 器(67) 口(154) 底一脚一 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 脚部貼付。外：口縁部～胴部刷毛などで後磨き、底部などで。内：口縁部～底部刷毛などで後磨き。 |
| 0673 第220図 PL-119 | 土師器 高杯 | 106住No17 | 器(92) 口一 底一脚一 底部～脚部2/3 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 明赤褐 | 脚部貼付。外：脚部上半刷毛などで後磨削り。内：脚部上半磨削りなどで、脚部下半刷毛などで。 |
| 0674 第220図 PL-119 | 土師器 高杯 | 106住No22 | 器(105) 口一 底一脚一 底部～脚部2/3 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物・雲母 酸化 橙 | 脚部貼付。外：脚部上半などで後磨き、脚部下半横などで。内：脚部上半絞り、指などで、脚部下半横などで、一部巻上痕。 |
| 0675 第220図 PL-119 | 石製品 | 106住No60 | 長(93) 幅87 厚55 重511.2g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。先端に叩いた痕あり。 |
| 0676 第261図 PL-121 | 須恵器 杯 | 53溝覆土 | 器(32) 口(136) 底一脚一 口縁部～胴部1/4 | 砂・小石 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|-----------------------------------|--|-----------------------------|--|
| 0677 第261図 PL-121 | 須恵器 杯 | 53溝No.2 | 器(26) 口—底52 胴部下半～底部2/3 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転など。 |
| 0678 第261図 PL-121 | 土師器 甕 | 53溝覆土 | 器(115) 口(160) 頸(136) 底—最大— 口縁部～胴部上半1/6 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横篔削り、胴部上半縦篔削り。内：口縁部横な で、胴部篔など。 |
| 0679 第261図 PL-121 | 鉄 滓 | 53溝No.5、覆 土 | 長86 幅57 厚29 重142.4g | | 鉄分が含まれている。 |
| 0680 第261図 PL-121 | 鉄 滓 | 53溝No.4、覆 土 | 長71 幅64 厚34 重198.1g | | 鉄分が含まれている。 |
| 0681 第261図 | 土師器 甕 | 57溝覆土 | 器(65) 口(180) 頸(164) 底— 口縁部～胴部上端破片 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篔削 り。内面口縁部横などで、胴部上端篔など。内外面 油煙付着。 |
| 0682 第261図 PL-121 | 灰釉陶器 碗 | 58溝覆土 | 器48 口(140) 台(82) 口縁部～高台部1/3 | 砂 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台 貼付後回転など。内：口縁部～底部回転など。外 面口縁部～胴部上半、内面口縁部～胴部施釉。 |
| 0683 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 58溝覆土 | 器(17) 口—底72 胴部下端～底部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部 回転篔削り。内：胴部下端～底部回転など。 |
| 0684 第261図 | 須恵器 甕 | 58溝No.13 | 器(55) 口—底(100) 胴部下半～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下半回転などで、胴部下端～底 部篔削り。内：胴部下半回転など。 |
| 0685 第261図 | 須恵器 杯 | 58溝No.11 | 器(21) 口—底68 胴部下半～底部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切後上半回転篔削り。内：胴部下半～底部 回転など。外面一部自然釉。 |
| 0686 第262図 PL-121 | 須恵器 杯 | 58溝No.6 | 器35 口108 底50 完形 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。内外 面一部油煙付着。 |
| 0688 第262図 PL-122 | 須恵器 碗 | 58溝覆土 | 器(48) 口(140) 台— 口縁部～胴部1/8 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。外：口縁部に沈線一条、口縁部～胴部 回転など。内：口縁部～胴部回転などで後篔磨き。 内黒。外面胴部刻字「日下」。 |
| 0689 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 58溝覆土 | 器(22) 口—底— 胴部破片 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面胴部回転などで。内面墨書「？」。 |
| 0690 第261図 PL-122 | 須恵器 甕 | 58溝No.8・11 ・12・17・21・ 22・23 | 器(175) 口304 底(156) 口縁部～底部上端2/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部など。 内：口縁部～底部回転などで、一部巻上痕。 |
| 0691 第262図 PL-122 | 鉄 滓 | 59溝覆土 | 長61 幅50 厚34 重115.3g | | 鉄分が含まれている。 |
| 0692 第263図 PL-122 | 土師器 高杯 | 66溝覆土 | 器(33) 口—脚— 胴部～脚部上端5/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 にぶい黄橙 | 脚部貼付。外：胴部などで後篔磨き、底部～脚部上 端など。内：胴部～底部などで後篔磨き。内外面一 部油煙付着。 |
| 0693 第263図 | 土師器 台付甕 | 66溝覆土 | 器(36) 口—台— 底部～台部上半4/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 にぶい橙 | 台部貼付。外：台部上半刷毛などで。内：底部篔な で、台部上半刷毛などで、一部巻上痕。内外面油煙 付着。 |
| 0694 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 59溝No.12、覆 土 | 器(27) 口—底64 胴部～底部1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転など。 |
| 0695 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 59溝No.2、覆 土 | 器37 口(140) 底(82) 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 胴部下端～底部回転篔削り。内：口縁部～底部回 転など。 |
| 0696 第262図 PL-122 | 須恵器 皿 | 59溝No.9 | 器24 口(136) 台110 胴部～高台部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 など。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|----------|---|---|---------------------------|--|
| 0697 第262図 PL-122 | 須恵器 椀 | 59溝No19 | 器(40) 口一 台74 口縁部～高台部2/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部高台貼付後回転など。内：胴部～底部回転など。 |
| 0698 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 59溝No14 | 器37 口136 底78 口縁部～底部2/3 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端～底部上端回転篋削り、底部回転など。内：口縁部～底部回転など。内外面に一部油煙付着。 |
| 0699 第262図 PL-122 | 須恵器 椀 | 59溝No 8 | 器(51) 口(170) 台一 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで後篋磨き、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部篋磨き。内黒。 |
| 0700 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 59溝覆土 | 器(36) 口(125) 底一 口縁部～高台上端 1/4 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0701 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 59溝No18、覆 土 | 器31 口126 底73 口縁部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後、上半回転篋削り。内：口縁部～底部回転など。外面燻し。 |
| 0702 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 59溝No 6 | 器(30) 口一 底84 胴部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転篋削り。内：胴部～底部回転など。 |
| 0703 第262図 PL-122 | 須恵器 椀 | 59溝No29 | 器68 口156 台82 口縁部～高台部4/5 | 砂・小石・白色鈹物・雲 母 酸化 橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端回転篋削り、底部高台貼付後回転など。内：口縁部～底部篋磨き。内外面一部油煙付着。 |
| 0704 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 59溝No 3 | 器35 口114 底50 ほぼ完形 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0705 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 59溝No 7、覆 土 | 器34 口112 底46 口縁部～底部2/3 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 明赤褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。内外面油煙付着。 |
| 0706 第262図 PL-122 | 甕 | 59溝No28 | 器(136) 口(210) 頸(190) 底一 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・小石・白色鈹物・雲 母 酸化 にぶい赤褐 | 外：口縁部横などで、胴部上半篋などで、一部巻上痕。内：口縁部横などで、胴部上半などで。外面油煙付着。 |
| 0707 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 59溝覆土 | 器36 口(130) 底(65) 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。内外面一部油煙付着。 |
| 0708 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 58溝覆土 | 器(29) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂 酸化 浅黄橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。 |
| 0709 第262図 PL-122 | 須恵器 杯 | 58溝覆土 | 器(28) 口(110) 底(53)一 口縁部～底部1/6 | 砂・小石 酸化 浅黄橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 0710 第261図 | 須恵器 椀 | 58溝覆土 | 器(26) 口一 台(92) 胴部～高台部1/4 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部高台貼付後回転など。内：胴部～底部回転など。 |
| 0711 第292図 PL-123 | 羽 釜 | 122坑No 2・3 ・4・5・7・ 8・9・10・ 11・12・14・ 15・16・17・ 18・22 | 器(204) 口(210) 底(75) 最大(262) 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・赤色鈹物・雲 母 酸化 橙 | 最大径は胴部上半。鈹部貼付。外：口縁部回転などで、一部巻上痕、胴部篋削り。内：口縁部～胴部回転などで、一部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0712 第293図 PL-124 | 須恵器 杯 | 162坑覆土 | 器38 口(132) 底(80)一 口縁部～底部2/3 | 砂・白色鈹物 半還元 灰 白・灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端回転篋削り、底部回転糸切後上半回転篋削り。内：口縁部～底部回転など。内面底部刻字「日下」。 |
| 0713 第361図 PL-125 | 土師器 甕 | 18区表土 | 器(158) 口(220) 頸(202) 最大(230) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上半横篋削り、胴部下半縦篋削り。内：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部篋などで、一部巻上痕。外面油煙付着。 |
| 0714 第361図 PL-125 | 土師器 甕 | 18区表土 | 器(93) 口(235) 頸(206) 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈹物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。 |

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|------------------------------------|--|-------------------------|---|
| 0715 第217図 PL-118 | 土師器 高杯 | 105住Na 4・ 66、覆土 | 器(117) 口146 脚一 口縁部～脚部上半5/6 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部～脚部刷毛などで後篋磨き。 内：口縁部横などで、胴部～底部刷毛などで後篋磨き、 脚部篋などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0716 第217図 PL-119 | 土師器 高杯 | 105住Na44 | 器(63) 口156 脚一 口縁部～脚部上端1/1 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 外：口縁部～胴部刷毛などで後篋磨き、底部などで後 篋磨き。内：口縁部～底部刷毛などで後篋磨き。内 外面に一部油煙付着。 |
| 0717 第217図 PL-118 | 土師器 高杯 | 105住Na13、覆 土 | 器(118) 口一 脚135 脚部5/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい橙 | 外：脚部などで後篋磨き。内：脚部上半篋などで、脚 部下半刷毛などで。 |
| 0718 第217図 PL-119 | 土師器 高杯 | 105住Na24・28 ・53・57、覆 土 | 器(60) 口170 脚一 口縁部～脚部上端2/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 脚部貼付。外：口縁部横などで、胴部～脚部上半な で。内：口縁部横などで、胴部～底部などで。 |
| 0719 第217図 PL-119 | 土師器 高杯 | 105住覆土 | 器(94) 口一 脚一 底部～脚部3/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 脚部貼付。外：底部～脚部上端などで、脚部などで後 篋磨き。内：底部などで、脚部指などで、巻上痕が残 る。 |
| 0720 第217図 PL-119 | 土師器 高杯 | 105住Na80 | 器(90) 口一 脚一 底部～脚部3/4 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 橙 | 脚部貼付。外：脚部上半刷毛などで後篋磨き。内： 底部刷毛などで、脚部上半指などで、脚部下半刷毛な で。 |
| 0721 第217図 | 土師器 高杯 | 105住Na43 | 器(72) 口一 脚一 底部～脚部上半3/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 脚部貼付。外：などで後篋磨き。内：底部などで、脚 部上半指などで。 |
| 0722 第217図 | 土師器 高杯 | 105住Na40 | 器(56) 口144 脚一 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い黄橙 | 脚部貼付。外：口縁部横などで、胴部上半などで後篋 磨き、胴部下半～底部横篋削り。内：口縁部横な で、胴部～底部などで。 |
| 0723 第217図 PL-118 | 土師器 高杯 | 105住Na 9・ 39、掘Na87 | 器(50) 口(142) 脚一 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 内外面刷毛などで後篋磨き、一部油煙付着。 |
| 0724 第217図 | 土師器 高杯 | 105住Na81 | 器(80) 口一 脚一 底部～脚部上半1/1 | 砂・赤色鈳物 酸化 橙 | 脚部貼付。外：底部などで、脚部上半などで後篋磨き。 内：底部などで後篋磨き、脚部上半指などで。 |
| 0725 第217図 | 土師器 高杯 | 105住Na21 | 器(43) 口(170) 脚一 口縁部～底部1/8 | 砂・赤色鈳物 酸化 明赤 褐 | 内外面口縁部～底部などで。その他は器壁が荒れて いるため観察不能。 |
| 0726 第217図 PL-118 | 土師器 埴 | 105住Na 2、覆 土 | 器54 口113 底35 口縁部～底部4/5 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部～胴部などで後篋磨き、口縁部下端～胴 部上端刷毛目、胴部下端～底部篋削り。内：口縁 部～底部刷毛などで後篋磨き。内外面一部油煙付着。 |
| 0727 第217図 PL-118 | 土師器 埴 | 105住Na 5 | 器(50) 口123 底一 口縁部2/3 | 砂 酸化 におい橙 | 内外面口縁部刷毛などで後横などで。 |
| 0728 第217図 PL-118 | 土師器 埴 | 105住Na64、覆 土 | 器(40) 口122 底一 口縁部5/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 内外面口縁部横などで後篋磨き。 |
| 0729 第217図 PL-118 | 土師器 埴 | 105住覆土 | 器(51) 口(140) 底一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 頸部貼付。外：口縁部刷毛などで後篋磨き、胴部上 端などで。内：刷毛などで後篋磨き、一部接合痕。 |
| 0730 第217図 PL-118 | 土師器 甕 | 105住Na42、覆 土 | 器174 口130 頸106 最大162 底45 ほぼ完形 | 砂・小石 酸化 明赤褐 | 外：口縁部上半横などで、口縁部下半～胴部上半刷 毛目、胴部下半篋削り。内：口縁部～底部刷毛な で。内外面に多量の油煙付着。 |
| 0731 第216図 PL-118 | 土師器 甕 | 105住Na20・28 ・30・40・49・ 69、覆土 | 器(163) 口151 頸135 底一 最大242 口縁部～胴部上半3/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、頸部～胴部上端刷毛などで、胴 部上半横篋削り。内：口縁部刷毛などで、胴部篋な で・刷毛などで。内外面油煙付着。 |
| 0732 第217図 PL-118 | 土師器 甕 | 105住Na33・34 ・35・39・41・ 43、覆土 | 器(180) 口166 頸128 底一 最大194 口縁部～胴部5/6 | 砂・小石・赤色鈳物 酸化 明赤褐 | 外：口縁部刷毛などで、胴部上半斜め篋削り、胴部 下半横篋削り、一部刷毛目。内：口縁部刷毛などで、 胴部などで。外面一部油煙付着。 |
| 0733 第217図 PL-118 | 土師器 甕 | 105住Na73、覆 土 | 器(45) 口(150) 頸(125) 底一 最大一 口縁部～胴部上端1/2 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 頸部貼付。外：口縁部刷毛などで後横などで、胴部上 端刷毛などで。内：口縁部刷毛などで、胴部上端など。 内外面一部油煙付着。 |
| 0734 第216図 | 土師器 甕 | 105住Na65、覆 土 | 器(43) 口(120) 頸(102) 底一 最大一 口縁部～胴部上端1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 頸部貼付。外：口縁部刷毛などで後横などで、頸部～胴 部上端刷毛などで。内：口縁部横などで、一部巻上痕、 胴部上端などで。内面油煙付着。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|--------------|---|---|-----------------------------|--|
| 0735 第216図 | 土 師 器 甕 | 105住No10 | 器(56) 口(128) 頸(108) 底— 最大— 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物・ 雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、頸部刷毛などで、胴部上端横篋 削り。内：口縁部刷毛などで後横などで、胴部上端篋 などで。内外面油煙付着。 |
| 0736 第217図 | 土 師 器 甕 | 105住No90、覆 土 | 器(46) 口(160) 頸(134) 底— 最大— 口縁部～胴部上端1/3 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部刷毛などで後横などで、胴部上端刷毛などで。 内：口縁部～胴部上端刷毛などで。内外面油煙付着。 |
| 0737 第216図 PL-118 | 土 師 器 甕 | 105住No16・18 ・23・39・48・ 50・51・52、 覆土 | 器(148) 口198 頸143 底— 最大(246) 口縁部～胴部上半3/4 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 頸部貼付。最大径は胴部上半。外：口縁部刷毛な で後横などで、頸部～胴部上端刷毛などで、胴部上半 横篋削り。内：口縁部～胴部上半刷毛などで、胴部 上半一部巻上痕・指頭痕。内外面一部油煙付着。 |
| 0738 第217図 PL-118 | 土 師 器 甕 | 105住No19・27 ・28・31・37・ 38・39・40・ 41・47・62・ 67・79・84・ 85、覆土 | 器278 口188 頸146 底52 最大269 口縁部～底部3/4 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 橙 | 頸部貼付。最大径は胴部下半。外：口縁部横などで、 胴部横篋削り後刷毛などで、一部巻上痕。内：口縁 部横などで、胴部篋などで、一部巻上痕・指頭痕。内 外面一部油煙付着。 |
| 0739 第217図 PL-118 | 土 師 器 甕 | 105住No70・ 72・76・77、 覆土 | 器217 口(118) 頸(102) 底(80) 最大(225) 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物 酸化 赤褐 | 最大径胴部中央。外：口縁部刷毛などで後横などで、 頸部貼り付け、胴部上半～胴部中央刷毛などで後篋 などで、巻上痕、胴部下半縦篋削り。内：口縁部横 などで、胴部～底部刷毛などで後篋などで、巻上痕顕著、 指頭痕。内外面一部油煙付着。 |
| 0740 第217図 PL-118 | 土 師 器 甕 | 105住No.6、覆 土 | 器(61) 口(206) 頸— 底— 最大— 口縁部1/3 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横などで、口縁部刷毛などで後横などで、 頸部刷毛などで。内：口縁部上半横などで、口縁部下 半刷毛などで後横などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0741 第263図 PL-122 | 須 恵 器 杯 | 60溝No.1 | 器36 口128 底58 口縁部～底部5/6 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～胴部回転などで。 |
| 0742 第353図 PL-125 | 土 師 器 罎 | 19区水田No31 ・43・45 | 器(71) 口118 頸(76) 底— 最大— 口縁部～胴部上端2/5 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 にぶい黄橙 | 頸部貼付。外：口縁部上半横などで、口縁部下半刷 毛などで、胴部上端刷毛などで後篋削り。内：口縁部 上半横などで、口縁部下半刷毛などで後横などで、胴部 上端篋などで、巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0743 第353図 PL-125 | 土 師 器 甕 | 19区水田No.2 ・33・39 | 器(71) 口(134) 頸(114) 底— 最大— 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物 酸化 橙 | 頸部貼付。外：口縁部横などで、胴部上端刷毛などで、 胴部上半横篋削り。外：口縁部横などで、胴部篋な で、一部巻上痕。 |
| 0744 第353図 | 土 師 器 甕 | 19区水田No16 ・23・28・35・ 42 | 器(145) 口— 頸(112) 底— 最大— 口縁部下半～胴部1/6 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 にぶい橙 | 頸部貼付。外：口縁部下半横などで、胴部刷毛などで。 内：口縁部横などで、胴部篋などで。 |
| 0745 第293図 PL-124 | 石 製 品 砥 石 | 192坑No.1 | 長(83) 幅59 厚23 重197.0g | 珪質粘板岩 | 使用面は4面。 |
| 0746 第293図 | 須 恵 器 椀 | 161坑覆土 | 器(38) 口(150) 台— 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで後篋磨き。 内黒。 |
| 0747 第293図 | 須 恵 器 椀 | 154坑No.1 | 器(32) 口— 台(74) 胴部～高台部2/5 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部高台貼付後回 転などで。内：胴部～底部回転などで後篋磨き。内外 面一部油煙付着。 |
| 0748 第293図 | 須 恵 器 杯 | 159坑No.1 | 器(9) 口— 底(56) 胴部下端～底部2/5 | 砂・白色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部 回転糸切。内：胴部下端～底部回転などで。 |
| 0749 第361図 PL-126 | 土 師 器 高 杯 | 18区表土 | 器(70) 口(194) 脚— 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 明赤褐 | 脚部貼付。外：口縁部横などで後篋磨き、胴部～底 部などで後篋磨き。内：口縁部横などで後篋磨き、胴 部～底部篋磨き。内外面一部油煙付着。 |
| 0750 第353図 | 土 師 器 甕 | 19区水田No.1 ・11 | 器(31) 口— 頸— 底51 胴部下端～底部4/5 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物・ 雲母 酸化 浅黄橙 | 外：胴部下端～底部上半刷毛などで。内：胴部下端 ～底部篋などで。内面胴部下端～底部燻し。 |
| 0751 第361図 PL-125 | 土 師 器 甕 | 18区表土 | 器(79) 口— 頸116 底— 最大— 口縁部～胴部上端3/5 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物 酸化 にぶい黄橙 | 頸部貼付。外：口縁部刷毛などで後上半横などで、胴 部上端刷毛などで。内：口縁部刷毛などで後横などで、 胴部上端などで、巻上痕・指頭痕。 |
| 0752 第361図 PL-125 | 土 師 器 甕 | 18区表土 | 器(125) 口— 頸110 底— 口縁部下半～胴部上半 3/5 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 にぶい橙 | 頸部貼付。外：口縁部下半、刷毛などで後横などで、 胴部上半刷毛などで後篋削り。内：口縁部下半刷毛 などで後横などで、胴部上半刷毛などで後篋などで、一部 巻上痕・指頭痕。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|--------------|--------------------------------------|---|------------------------------------|---|
| 0753 第361図 PL-125 | 土 師 器 杯 | 18区表土 | 器34 口141 底一 口縁部～底部3/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篔削り。内： 口縁部～胴部横なで、底部なで、一部指頭痕。内 外面一部油煙付着。 |
| 0754 第361図 PL-125 | 土 師 器 杯 | 18区表土 | 器35 口(140) 底一 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部なで、底部篔削り。 内：口縁部～胴部横なで、一部指頭痕、底部なで。 内外面油煙付着。 |
| 0755 第361図 PL-126 | 須 恵 器 杯 | 18区表土 | 器34 口(114) 底80 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後上半回転篔削り。内：口縁部～底 部回転なで。 |
| 0756 第366図 PL-130 | 土 製 品 羽 口 | 18区表土 | 長(94) 径(70) 孔径(24) | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外面篔削り後なで。 |
| 0757 第366図 PL-130 | 土 製 品 羽 口 | 18区表土 | 長(40) 径(70) 孔径(25) | 砂・小石・白色鈳物 酸化 橙 | 外面なで。 |
| 0758 第366図 PL-131 | 石 製 品 石 白 | 18区表土 | 径(300) 厚83 重2297.6g | 粗粒輝石安山岩 | 上白。 |
| 0759 第64図 PL-97 | 須 恵 器 椀 | 30住No12 | 器(37) 口(130) 台一 口縁部～台部上端1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 なで。内面油煙付着。 |
| 0760 第64図 PL-97 | 須 恵 器 椀 | 30住No16 | 器(41) 口一 台(82) 胴部～台部1/1 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい黄橙 | 轆轤整形。外：胴部回転なで、底部高台貼付後回 転なで。内：胴部～底部回転なで。内面油煙付着。 |
| 0761 第64図 | 須 恵 器 盤 | 30住No14 | 器(20) 口一 台一 胴部下半～高台部上半 1/8 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰白・にぶい黄橙 | 轆轤整形。外：胴部下半回転なで、底部高台貼付 後なで。内：胴部下半～底部回転なで。 |
| 0762 第64図 PL-97 | 須 恵 器 椀 | 30住No22、覆 土 | 器52 口(136) 台(92) 口縁部～高台部2/5 | 砂・白色鈳物 酸化 灰黄 褐 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで後篔磨き、 底部高台貼付後なで、内：口縁部～底部上端回転 なで後篔磨き。全面燻し。 |
| 0763 第64図 PL-97 | 土 師 器 甕 | 30住No21 | 器(160) 口(280) 頸(275) 底一 口縁部～胴部上半1/4 | 砂・小石・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、口縁部横なで、胴部上端横篔 削り。胴部上半縦篔削り。内：口縁部横なで、胴 部上半篔なで。内外面一部油煙付着。 |
| 0764 第64図 | 須 恵 器 甕 | 30住No18・19 ・20 | 器(40) 口一 頸一 底(160) 同部下端～底部1/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 内外面胴部下端篔なで、底部なで。 |
| 0765 第66図 PL-97 | 須 恵 器 杯 | 31住No 1 | 器37 口130 台76 口縁部～底部5/6 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 半還元 灰白・に ぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで根 底部回転篔削り。内：口縁部～底部回転なで。外 面口縁部～胴部に線刻。 |
| 0766 第66図 | 土 師 器 高 杯 | 31住覆土 | 器(25) 口一 脚(98) 脚部下半1/2 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 内外面脚部下半横なで、一部油煙付着。 |
| 0767 第66図 | 須 恵 器 甕 | 31住覆土、電 | 器(60) 口(162) 頸(142) 底一 口縁部 下半～胴部上端1/8 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、胴部上端横篔削り。内：口縁 部横なで、胴部上端篔なで。内面一部油煙付着。 |
| 0768 第66図 PL-97 | 石 製 品 | 31住No16 | 長139 幅132 厚34 重746.4g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。台石？ |
| 0769 第69図 PL-97 | 土 師 器 甕 | 32住No12・30 ・36・38・53・ 56・76、覆土 | 器(228) 口226 頸187 底一 口縁部～胴部4/5 | 砂・小石・白色鈳物・雲 母 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上半横篔削 り、胴部下半縦篔削り。内：口縁部横なで、胴部 篔なで。内外面油煙付着。 |
| 0770 第69図 PL-98 | 土 師 器 甕 | 32住No83、覆 土、電No 3・ 5・7、電覆 | 器(130) 口一 頸(166) 底一 口縁部下半～胴 部上半1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部下半横なで、胴部上半横篔削り。内： 口縁部横なで、胴部上半篔なで。内外面一部油煙 付着。 |
| 0771 第69図 PL-97 | 土 師 器 甕 | 32住No52・68 | 器(60) 口(200) 頸(160) 底一 口縁部 ～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端横篔削 り。内：口縁部横なで、胴部上端篔なで。 |
| 0772 第68図 PL-97 | 土 師 器 杯 | 32住No39・41 ・73、覆土 | 器(35) 口138 底一 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篔削り。内： 口縁部～胴部横なで、底部なで、一部指頭痕。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-----------------------|-----------|---|--------------------------------------|-------------------------|---|
| 0773 第68図 | 土師器 杯 | 32住No26、覆土 | 器(29) 口(126) 底— 口縁部～底部1/5 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篔削り。内：口縁部～胴部横なで、底部なで、一部指頭痕。 |
| 0774 第69図 PL-98 | 須恵器 杯 | 32住No32 | 器(35) 口(140) 底(88) 口縁部～底部上端1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部上端回転篔削り。内：口縁部～底部上端回転なで。 |
| 0775 第68図 PL-97 | 土師器 杯 | 32住No18・50 | 器27 口(132) 底— 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 にぶい赤褐 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篔削り。内：口縁部横なで、胴部～底部なで、一部指頭痕。内外面油煙付着。 |
| 0776 第69図 | 須恵器 杯 | 32住No5、覆土 | 器43 口(140) 底(86) 口縁部～底部1/5 | 砂・赤色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0777 第68図 | 土師器 杯 | 32住No37 | 器(26) 口(130) 底— 口縁部～底部上半1/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、胴部～底部上半篔削り。内：口縁部横なで、胴部～底部上半なで、一部指頭痕。 |
| 0778 第68図 | 土師器 杯 | 32住覆土 | 器(25) 口(144) 底— 口縁部～胴部1/8 | 砂・雲母 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横なで、胴部篔削り。内：口縁部～胴部横なで。 |
| 0779 第69図 PL-98 | 土製品 錘 | 32住No19 | 長44 径11 孔3 重4.7g 完形 | 砂・白色鈳物 酸化 黒褐 | 全面燻し。中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0780 第69図 PL-98 | 石製品 砥石 | 32住No22 | 長96 幅77 厚52 重468.5g | 粗粒輝石安山岩 | 使用面は5面。 |
| 0781 第69図 PL-97 | 土師器 甕 | 32住No3・24 ・30・31・33・ 55、覆土 | 器(245) 口209 頸169 底— 口縁部～胴部3/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部～頸部横なで、一部巻上痕、胴部上半横篔削り、胴部下半縦篔削り。内：口縁部横なで、胴部篔削り。内外面一部油煙付着。 |
| 0782 第69図 PL-97 | 土師器 甕 | 32住No23・28 ・35・46・48・ 59・79・80、 覆土 | 器(252) 口213 頸178 底— 口縁部～胴部3/4 | 砂・白色鈳物 酸化 赤褐 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上半横篔削り、胴部下半縦篔削り。内：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部篔削り、一部巻上痕。外面油煙付着。 |
| 0783 第69図 PL-98 | 土師器 甕 | 32住No1・3 ・9・78、覆土 | 器(193) 口218 頸182 底— 口縁部～胴部3/5 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上半横篔削り、胴部下半縦篔削り。内：口縁部横なで、胴部篔削り、一部巻上痕・指頭痕。内外面油煙付着。 |
| 0784 第69図 | 須恵器 杯 | 32住No63 | 器35 口148 底106 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転篔削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0785 第69図 PL-98 | 須恵器 杯 | 32住No34 | 器36 口(132) 底78 口縁部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後上半回転篔削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0786 第69図 PL-98 | 須恵器 杯 | 32住No42・43、 覆土、竈 | 器43 口(138) 底65 口縁部～底部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、胴部下端回転篔削り、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0787 第68図 PL-98 | 須恵器 蓋 | 32住No4、覆土 | 器(20) 口(154) 摘— 天井部～口縁部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰黄 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篔削り、天井部下半～口縁部回転なで。内：天井部～口縁部回転なで。外面一部油煙付着。 |
| 0788 第69図 PL-98 | 須恵器 蓋 | 32住No11・14、 覆土 | 器32 口154 摘44 天井部～口縁部4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。摘部貼付。外：天井部上半回転篔削り、天井部下半～口縁部回転なで。内：天井部～口縁部回転なで。 |
| 0789 第72図 PL-98 | 須恵器 杯 | 33住竈No1 | 器(33) 口(154) 底(106) 口縁部～胴部1/3 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 褐・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転篔削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0790 第72図 PL-98 | 須恵器 杯 | 33住竈No1 | 器(37) 口(150) 底— 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 灰褐 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転なで。 |
| 0791 第72図 PL-98 | 須恵器 杯 | 33住No41・46 | 器36 口98 底48 口縁部～胴部4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転篔削り。内：口縁部～底部回転なで。 |
| 0792 第72図 PL-98 | 土師器 杯 | 33住No43・44、 覆土 | 器34 口(150) 底— 口縁部～底部1/4 | 砂・小石 酸化 にぶい赤 褐 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篔削り。内：口縁部～胴部横なで、一部指頭痕、底部なで。外面底部線刻。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-----------------------|------------|--------------------|-------------------------------------|---------------------|--|
| 0793 第72図 PL-98 | 土師器 杯 | 33住No.46、覆 土 | 器(25) 口(130) 底一 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鋳物 酸化 明赤 褐 | 丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部篔削り。内： 口縁部～胴部横なで、底部なで。 |
| 0794 第72図 PL-98 | 土師器 杯 | 33住No.42 | 器(51) 口(164) 底(105) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鋳物・赤色鋳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、胴部～底部篔削り。内：口縁 部～胴部横なで後篔磨き、底部なで。 |
| 0795 第72図 PL-98 | 土師器 杯 | 33住No.46、覆 土、電 | 器(31) 口(140) 底一 口縁部～底部上端1/4 | 砂・白色鋳物・赤色鋳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、胴部～底部上端篔削り。内： 口縁部横なで、胴部～底部上端なで、内：口縁部 ～胴部横なで、底部なで、一部指頭痕。 |
| 0796 第72図 | 土師器 杯 | 33住電No.2 | 器(31) 口(136) 底一 口縁部～胴部1/5 | 砂・白色鋳物 酸化 橙 | 外：口縁部横なで、胴部篔削り。口縁部～胴部横 なで。 |
| 0797 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.1 | 長132 幅71 厚37 重534.4g | チャート | 自然石。 |
| 0798 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.28 | 長126 幅60 厚31 重363.3g | チャート | 自然石。 |
| 0799 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.30 | 長124 幅57 厚31 重369.7g | チャート | 自然石。 |
| 0800 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.2 | 長100 幅41 厚33 重235.5g | チャート | 自然石。 |
| 0801 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.25 | 長121 幅56 厚38 重378.8g | チャート | 自然石。 |
| 0802 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.32 | 長124 幅58 厚42 重361.6g | 砂岩 | 自然石。 |
| 0803 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.23 | 長138 幅65 厚63 重679.8g | 溶結凝灰岩 | 自然石。 |
| 0804 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.40 | 長134 幅63 厚41 重477.8g | チャート | 自然石。 |
| 0805 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.20 | 長100 幅51 厚36 重318.1g | チャート | 自然石。 |
| 0806 第72図 PL-99 | 石製品 | 33住No.36 | 長106 幅71 厚36 重327.5g | 溶結凝灰岩 | 自然石。 |
| 0807 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No.34 | 長121 幅61 厚51 重350.0g | チャート | 自然石。 |
| 0808 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No.14 | 長134 幅47 厚32 重317.5g | チャート | 自然石。 |
| 0809 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No.37 | 長111 幅64 厚47 重397.6g | チャート | 自然石。 |
| 0810 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No.24 | 長105 幅64 厚28 重323.6g | チャート | 自然石。 |
| 0811 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No.15 | 長104 幅51 厚31 重313.0g | チャート | 自然石。 |
| 0812 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No.13 | 長110 幅58 厚43 重434.3g | チャート | 自然石。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|------------------------|------------|--------------------|--------------------------|----------|-----------|
| 0813 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No36 | 長138 幅50 厚51 重559.6g | チャート | 自然石。 |
| 0814 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No22 | 長140 幅59 厚50 重509.4g | チャート | 自然石。 |
| 0815 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No16 | 長146 幅72 厚31 重509.9g | チャート | 自然石。 |
| 0816 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No29 | 長121 幅61 厚38 重430.3g | チャート | 自然石。 |
| 0817 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住竈No 6 | 長128 幅50 厚38 重400.4g | ホルンフェルス | 自然石。 |
| 0818 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No 4 | 長152 幅56 厚44 重531.5g | チャート | 自然石。 |
| 0819 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No 9 | 長121 幅61 厚29 重310.9g | 砂岩 | 自然石。 |
| 0820 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住No33 | 長109 幅54 厚30 重305.8g | チャート | 自然石。 |
| 0821 第73図 PL-99 | 石製品 | 33住竈No 4 | 長94 幅46 厚43 重323.7g | 溶結凝灰岩 | 自然石。 |
| 0822 第73図 PL-100 | 石製品 | 33住No12 | 長123 幅70 厚37 重434.7g | 砂岩 | 自然石。 |
| 0823 第73図 PL-100 | 石製品 | 33住No10 | 長134 幅71 厚65 重965.1g | 溶結凝灰岩 | 自然石。 |
| 0824 第73図 PL-100 | 石製品 | 33住No26 | 長114 幅55 厚34 重301.8g | チャート | 自然石。 |
| 0825 第73図 PL-100 | 石製品 | 33住竈No 3 | 長96 幅69 厚46 重446.7g | 溶結凝灰岩 | 自然石。 |
| 0826 第73図 PL-100 | 石製品 | 33住竈No 5 | 長92 幅47 厚38 重254.7g | チャート | 自然石。 |
| 0828 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No21 | 長153 幅69 厚41 重550.9g | チャート | 自然石。 |
| 0829 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No19 | 長124 幅64 厚39 重552.2g | チャート | 自然石。 |
| 0830 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No38 | 長96 幅72 厚43 重417.2g | 砂岩 | 自然石。 |
| 0831 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No17 | 長113 幅64 厚48 重368.5g | チャート | 自然石。 |
| 0832 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No18 | 長110 幅63 厚46 重412.1g | チャート | 自然石。 |
| 0833 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No 3 | 長(108)幅74 厚44 重432.3g | チャート | 自然石。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|------------------------|------------|-------------------------------|---|----------------------------|--|
| 0834 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No.39 | 長113 幅66 厚29 重367.5g | チャート | 自然石。 |
| 0835 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No.27 | 長99 幅54 厚17 重155.2g | 輝緑凝灰岩 | 自然石。 |
| 0836 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No.5 | 長85 幅53 厚41 重251.2g | チャート | 自然石。 |
| 0837 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No.35 | 長60 幅44 厚43 重171.5g | チャート | 自然石。 |
| 0838 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No.7 | 長77 幅43 厚40 重140.9g | 溶結凝灰岩 | 自然石。 |
| 0839 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No.11 | 長78 幅35 厚25 重119.6g | チャート | 自然石。 |
| 0840 第74図 PL-100 | 石製品 | 33住No.13 | 長98 幅33 厚23 重111.6g | チャート | 自然石。 |
| 0841 第76図 PL-100 | 須恵器 椀 | 34住No.6・9 ・10・11・12、 覆土 | 器43 口134 台94 胴部下端～高台部4/5 | 砂・小石 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部高台貼付後回転など。内：口縁部～底部回転 など。 |
| 0842 第76図 PL-100 | 須恵器 杯 | 34住No.5、甕、 33住No.45 | 器39 口(140) 底80 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・白色鉱物 半還 元 灰白・にぶい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転など、 底部回転糸切後上端回転篋削り。内：口縁部～胴 部回転など。 |
| 0843 第76図 PL-100 | 須恵器 蓋 | 34住No.6・15 ・16・17、覆 土 | 器(30) 口200 摘一 天井部～口縁部2/3 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：天井部上半回転篋削り、天井部下 半～口縁部回転など。内：天井部～口縁部回転な で。 |
| 0844 第76図 PL-100 | 須恵器 杯 | 34住覆土 | 器(33) 口(110) 底(70) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鉱物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転など後篋磨き、 胴部下端～底部回転篋削り。内：口縁部～底部回 転など後篋磨き。内外面燻し。 |
| 0845 第76図 PL-100 | 土師器 甕 | 34住No.4・14 | 器(60) 口(230) 頸(188) 底一 口縁部 下半～胴部上端1/6 | 砂・小石・白色鉱物 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横などで、胴部上端などで、一部指頭 痕。外面油煙付着。 |
| 0846 第76図 PL-100 | 土師器 杯 | 34住覆土 | 器(25) 口(120) 底一 口縁部～底部1/5 | 砂・白色鉱物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内：口縁 部～胴部横などで、底部などで。 |
| 0847 第69図 PL-98 | 土製品 錘 | 32住覆土 | 長(28) 径10 孔3 重3.0g 1/2 | 砂・白色鉱物 酸化 黒褐 | 全面燻し。中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0848 第69図 PL-98 | 土製品 錘 | 32住覆土 | 長(38) 径10 孔3 重3.7g 2/3 | 砂・白色鉱物 酸化 黒褐 | 両端欠。全面燻し。中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0849 第69図 PL-98 | 土製品 錘 | 32住覆土 | 長(38) 径12 孔2.5 重5.2g 3/4 | 砂・白色鉱物 酸化 黒褐 | 全面燻し。中心部縦に径2.5mmの穿孔。 |
| 0850 第69図 PL-98 | 土製品 錘 | 32住覆土 | 長39 径10 孔2.5 重3.9g 完形 | 砂・白色鉱物 酸化 にぶ い黄橙 | 中心部縦に径2.5mmの穿孔。 |
| 0851 第79図 PL-101 | 須恵器 蓋 | 35住No.25、覆 土 | 器(34) 口一 摘一 摘部下端～天井部4/5 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り、 天井部下半回転など。内面：天井部回転など。 |
| 0852 第79図 PL-101 | 須恵器 椀 | 35住No.3 | 器56 口(180) 台(96) 口縁部～高台部1/6 | 砂・白色鉱物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部上半回転など、胴部 下半回転篋削り、底部高台貼付後回転など。内： 口縁部～底部回転など。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|------------------------|-----------|---|---|---------------------------|--|
| 0853 第79図 PL-101 | 須恵器 杵 | 35住No23 | 器(57) 口一 底41 胴部下半～底部4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転糸切。内：胴部～底部回転など。 |
| 0854 第79図 PL-101 | 土製品 錘 | 35住覆土 | 長(35) 径10 孔3 重2.9g 4/5 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄褐 | 片端欠。中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 0855 第79図 PL-101 | 石製品 | 35住No30 | 長187 幅177 厚63 重2893.1g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0856 第79図 PL-101 | 石製品 砥石 | 35住No26 | 長(82)幅43 厚32 重113.8g | 砥沢石 | 使用面は6面。欠けた後、両端を使用している。 |
| 0857 第79図 PL-101 | 石製品 | 35住竈No 2 | 長105 幅37 厚60 重162.4g | 砂岩 | 自然石。 |
| 0858 第79図 PL-101 | 石製品 | 35住竈No 1 | 長116 幅52 厚27 重259.2g | 溶結凝灰岩 | 自然石。 |
| 0859 第79図 PL-101 | 土師器 甕 | 35住No66、覆 土 | 器(195) 口220 頸186 底一 口縁部～胴部3/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篋削り、胴部下半縦篋削り。内：口縁部横などで、胴部篋などで、一部巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0860 第78図 PL-101 | 土師器 甕 | 35住No 1・2 ・4・10・11・ 12・13・16・ 18・20、覆土 | 器(210) 口(230) 頸(186) 底一 口縁部～胴部3/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篋削り、胴部中央～下半縦篋削り。内：口縁部横などで、胴部篋などで、一部巻上痕。内外面油煙付着。外面胴部上端刻字「大」。 |
| 0861 第79図 PL-100 | 土師器 甕 | 35住No 6、覆 土 | 器(66) 口(232) 頸(193) 底一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。内外面油煙付着。 |
| 0862 第79図 PL-101 | 土師器 甕 | 35住No 6・24 | 器(101) 口(188) 頸(165) 底一 口縁部～胴部上半1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上半などで、一部指頭痕。 |
| 0863 第79図 PL-100 | 土師器 甕 | 35住覆土 | 器(71) 口(194) 頸(164) 底一 口縁部～胴部上端1/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0864 第79図 PL-101 | 土師器 甕 | 35住覆土 | 器(67) 口(200) 頸(162) 底一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・酸化・雲 母 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篋削り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで、一部指頭痕。内外面一部油煙付着。 |
| 0865 第79図 PL-101 | 土師器 甕 | 35住No 6、覆 土 | 器(88) 口一 頸一 底53 胴部下半～底部2/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 明赤褐 | 外：胴部下半縦篋削り、底部篋削り。内：胴部下半～底部篋などで。内外面油煙付着。 |
| 0866 第78図 PL-101 | 土師器 甕 | 35住No 3・8、 竈No 5、覆土 | 器(226) 口(208) 頸(176) 底一 口縁部～胴部1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、輪積痕、胴部上端横篋削り、胴部中央斜め篋削り、胴部下半縦篋削り。内：口縁部横などで、胴部篋などで、一部巻上痕、指頭痕。内外面油煙付着。 |
| 0867 第79図 PL-101 | 土師器 甕 | 35住No 3・14 ・15・35、覆 土 | 器(220) 口一 頸一 底一 胴部～底部1/2 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 赤褐 | 外：胴部斜め篋削り、一部巻上痕、底部篋削り。内：胴部～底部篋などで、一部巻上痕。外面油煙付着。 |
| 0868 第82図 PL-102 | 須恵器 杯 | 36住No 8・9、 覆土 | 器56 口(170) 底(90) 口縁部～底部1/8 | 砂・赤色鈳物 酸化 にぶ い赤褐 | 轆轤整形。外：口縁部～底部回転などで、底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで後篋磨き。内黒。 |
| 0869 第82図 PL-102 | 須恵器 杯 | 36住覆土 | 器(32) 口(140) 底一 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。外面口縁部～胴部墨書「壬」。 |
| 0870 第82図 | 須恵器 杯 | 36住覆土 | 器(18) 口一 底(80) 胴部下半～底部1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。外：胴部下半回転などで、底部回転篋削り。内：胴部下半～底部回転などで。 |
| 0871 第82図 | 土師器 杯 | 36住覆土 | 器(26) 口(130) 底一 口縁部半～底部上端 1/6 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部～底部上端篋削り。内：口縁部横などで、胴部～底部上端などで。内面油煙付着。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|------------------------|-----------|--------------------------------|--|-----------------------------------|---|
| 0872 第82図 PL-102 | 土師器 甕 | 36住No.4、掘 No.5・6・8、 覆土、竈 | 器(90)口(220) 頸(204)底一 最大(231) 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母酸化 橙 | 最大径は胴部上半。外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篔削り。内：口縁部横などで、胴部上半篔などで、一部指頭痕。内外面一部油煙付着。 |
| 0873 第82図 PL-102 | 土師器 甕 | 36住No.4、覆 土、竈 | 器(107)口(190) 頸(174)底一 最大(209) 口縁部～胴部上半2/5 | 砂・白色鈳物・雲母酸化 橙 | 最大径は胴部上半。外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横篔削り。内：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上半篔などで、一部指頭痕。内外面油煙付着。 |
| 0874 第82図 PL-102 | 土師器 甕 | 36住No.3・5 | 器(60)口(220) 頸(183)底一 最大一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篔削り。内：口縁部横などで、胴部上端篔などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0875 第82図 PL-102 | 土師器 甕 | 36住No.3・4、 覆土、竈 | 器(65)口(190) 頸(175)底一 最大一 口縁部～胴部上端1/8 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端横篔削り。内：口縁部横などで、胴部上端篔などで、一部指頭痕。 |
| 0876 第82図 PL-102 | 石製品 | 36住No.10 | 長115 幅46 厚29 重223.6g | 溶結凝灰岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0877 第86図 PL-102 | 土師器 鉢 | 37住No.15 | 器90口190底一 口縁部～底部7/8 | 砂・小石・白色鈳物・雲 母酸化 | 丸底。外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部～底部篔削り。内：口縁部～胴部横などで、一部篔磨き、底部などで。内面線刻。内外面一部油煙付着。 |
| 0878 第86図 PL-102 | 須恵器 杯 | 37住No.5 | 器(13)口一 底86 胴部下端～底部1/1 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 転用形態。周囲は打ち欠いた後磨っている。轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部回転篔削り。内：胴部下端～底部回転などで。 |
| 0879 第86図 PL-102 | 土師器 甕 | 37住No.14 | 器(69)口(180) 頸(143)底一 最大一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母酸化 橙 | 外：口縁部横などで、巻上痕・指頭痕、胴部上端横篔削り。内：口縁部横などで、胴部上端篔などで。 |
| 0880 第86図 PL-102 | 土師器 杯 | 37住覆土、竈 | 器36口(136)底一 口縁部～底部3/5 | 砂・白色鈳物・雲母酸化 にぶい橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篔削り。内：口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0881 第86図 PL-102 | 土師器 杯 | 37住No.2・6 | 器(33)口(130)底一 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物・雲母酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篔削り。内：口縁部～胴部横などで、指頭痕、底部などで。外面油煙付着。 |
| 0882 第86図 PL-102 | 須恵器 杯 | 37住No.1、覆 土 | 器36口(144)底88 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端～底部回転篔削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0883 第86図 PL-102 | 須恵器 杯 | 37住No.2、覆 土 | 器40口(126)底(70) 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 半還元 灰・にぶ い褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端～底部回転篔削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0884 第86図 | 土師器 杯 | 37住覆土 | 器25口(106)底一 口縁部～底部1/6 | 砂・白色鈳物・雲母酸化 橙 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篔削り。内：口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部などで。内面一部油煙付着。 |
| 0885 第86図 PL-102 | 石製品 | 37住No.13 | 長117 幅40 厚31 重219.1g | 砂岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0886 第86図 PL-102 | 石製品 | 37住No.12 | 長114 幅63 厚45 重400.3g | チャート | 周囲は擦れている。 |
| 0887 第88図 PL-102 | 灰釉陶器 壺 | 38住No.3 | 器(123)口一 頸一 底一 最大(174) 胴部半1/6 | 細砂・白色鈳物 還元 灰 白 | 轆轤整形。内外面胴部回転などで。外面施釉。 |
| 0888 第88図 PL-102 | 土師器 甕 | 38住No.7・14 ・22・26 | 器(102)口(200) 頸(192)底一 最大156 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横篔削り、胴部中央縦篔削り。内：口縁部横などで、胴部篔などで。内外面油煙付着。 |
| 0889 第88図 | 須恵器 椀 | 38住No.6 | 器(22)口一 台一 胴部下端～高台部上半 2/5 | 砂・白色鈳物・雲母酸化 明赤褐 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：胴部下端～底部回転などで。 |
| 0890 第88図 PL-102 | 石製品 | 38住No.11 | 長123 幅110 厚52 重859.7g | 粗粒輝石安山岩 | 表面は擦れている。側面に叩いた痕あり。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|------------------------|------------|-------------------------------|---|----------------------------|--|
| 0891 第91図 PL-103 | 土師器 甕 | 39住No.1・11 ・12、覆土 | 器(115) 口(196) 頸(178) 底— 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横筥削り。内：口縁部横などで、胴部上半筥などで。内外面油煙付着。 |
| 0892 第91図 | 土師器 甕 | 39住No.6・7、 覆土 | 器(69) 口(216) 頸(190) 底— 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横筥削り。内：口縁部横などで、胴部上端筥などで。内外面油煙付着。 |
| 0893 第91図 | 土師器 甕 | 39住No.1、電 | 器(41) 口(200) 頸(0182) 底— 口縁部1/5 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕。内：口縁部横などで。 |
| 0894 第91図 | 土師器 甕 | 39住No.1、覆 土 | 器(57) 口(180) 頸(158) 底— 口縁部～胴部上端1/6 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 赤褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端横筥削り。内：口縁部横などで、胴部上端筥などで。 |
| 0895 第91図 PL-103 | 土師器 杯 | 39住覆土 | 器(37) 口(120) 底— 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鉱物 酸化 にお い黄橙 | 外：口縁部横などで、巻上痕、胴部筥削り。内：口縁部横などで、胴部横などで後暗文状筥磨き。 |
| 0896 第91図 | 須恵器 杯 | 39住No.2、覆 土 | 器(18) 口— 底(70) 胴部下半～底部1/3 | 砂・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部回転糸切。内：胴部下半～底部回転などで。内面一部油煙付着。 |
| 0897 第91図 | 須恵器 碗 | 39住電 | 器(17) 口— 台(80) 胴部下端～高台部1/6 | 砂・白色鉱物・還元 灰 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：胴部下端～底部回転などで。 |
| 0898 第93図 PL-103 | 土師器 甕 | 40住No.8・9、 覆土、電 | 器(133) 口134 頸122 底— 最大156 口縁部～胴部2/3 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上半横筥削り、胴部下半縦筥削り。内：口縁部横などで、胴部筥などで。内外面油煙付着。 |
| 0899 第93図 PL-103 | 須恵器 壺 | 40住No.7、覆 土 | 器(83) 口— 頸(90) 底— 頸部～胴部上半1/4 | 砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 におい橙 | 轆轤整形。頸部貼付。内外面頸部～胴部上半回転などで。 |
| 0900 第91図 PL-102 | 土師器 甕 | 39住No.1・9 ・10・14・20、 覆土 | 器(230) 口(180) 頸(165) 底— 最大162 口縁部～胴部1/3 | 砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 赤褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上半横筥削り、胴部下半縦筥削り。内：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部筥などで。内外面油煙付着。 |
| 0901 第93図 PL-103 | 須恵器 杯 | 40住No.5 | 器36 口126 底56 完形 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0902 第93図 | 須恵器 杯 | 40住No.11 | 器(16) 口— 底(60) 胴部下半～底部2/5 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部回転糸切。内：胴部下半～底部回転などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0903 第93図 | 土師器 台付甕 | 40住No.6、覆 土 | 器(53) 口(106) 頸(98) 台— 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、胴部上端横筥削り。内：口縁部横などで、胴部上端筥などで。外面油煙付着。 |
| 0904 第94図 PL-103 | 土師器 杯 | 41住No.2、覆 土 | 器27 口(110) 底(53) 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 におい褐 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0905 第95図 PL-103 | 須恵器 蓋 | 42住No.6、覆 土 | 器37 口166 摘43 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。摘部貼付。外：天井部上半回転筥削り、天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。 |
| 0906 第97図 PL-103 | 須恵器 杯 | 43住No.8 | 器35 口136 底83 口縁部～底部3/4 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。内外面燻し。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後胴部下端～底部上半回転筥削り。内：口縁部～底部回転などで。内面底部・外面胴部刻字「日下」「日」。 |
| 0907 第97図 PL-103 | 須恵器 杯 | 43住No.5 | 器52 口140 底72 口縁部～底部2/3 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端筥削り、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0908 第97図 | 土師器 甕 | 43住掘 | 器(50) 口(200) 頸(178) 底— 口縁部～胴部上端1/6 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、胴部上端横筥削り。内：口縁部横などで。内外面油煙付着。 |
| 0909 第97図 PL-103 | 石製品 砥石 | 43住覆土 | 長(64) 幅38 厚19 重68.5g | 砥沢石 | 使用面は4面。穿孔あり。 |
| 0910 第99図 PL-103 | 須恵器 杯 | 44住No.16 | 器55 口(160) 底114 口縁部～底部3/4 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転筥削り。内：口縁部～底部回転などで。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------------------|---|-------------------------|---|
| 0911 第99図 PL-103 | 須恵器 杯 | 44住No22 | 器41 口130 底67 完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。外面 一部油煙付着。 |
| 0912 第99図 PL-103 | 須恵器 杯 | 44住No14・31 | 器(45) 口(140) 底(80) 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部静止 糸切。内：口縁部～底部回転などで。外面赤色顔料 付着。 |
| 0913 第99図 PL-103 | 須恵器 杯 | 44住No30 | 器(34) 口(140) 底(86) 口縁部～底部上端1/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰白・橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部上半 回転筥削り。内：口縁部～底部上半回転などで。 |
| 0914 第99図 PL-103 | 土師器 甕 | 44住No11・12 ・18・19・28・ 33 | 器(81) 口206 頸(182) 底— 口縁部～胴部上端2/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端筥削り り。内：口縁部横などで、胴部上端筥などで。内外面 一部油煙付着。 |
| 0915 第99図 | 須恵器 杯 | 44住覆土 | 器(21) 口— 底80 胴部下半～底部1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切後上半回転筥削り。内：胴部下半～底部 回転などで。 |
| 0916 第99図 | 須恵器 杯 | 44住覆土 | 器(32) 口(120) 底(88) 口縁部～底部上端1/6 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部上端 回転筥削り。内：口縁部～底部上端回転などで。 |
| 0917 第99図 | 須恵器 杯 | 44住覆土 | 器(26) 口— 底(66) 胴部下半～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転などで。内外面 一部油煙付着。 |
| 0918 第99図 PL-103 | 石製品 砥石 | 44住No 8 | 長(46)幅33 厚18 重40.1g | 砥沢石 | 使用面は4面。 |
| 0919 第158図 PL-111 | 土師器 甕 | 66住No 4 | 器210 口181 頸146 最大224 底40 ほぼ完形 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部上端横などで、口縁部下半～胴部上半刷 毛などで、胴部中央筥削り、胴部下端刷毛などで。内： 口縁部上端横などで、口縁部中央～胴部上端刷毛な で、胴部などで、胴部下端～底部刷毛などで、一部巻 上痕が残る。 |
| 0920 第158図 PL-111 | 土師器 高杯 | 66住No 3 | 器146 口154 底73 脚120 完形 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 脚部貼付。外：口縁部刷毛などで後横などで、胴部～脚 部上半刷毛などで、脚部下半刷毛などで後横などで。内： 口縁部～底部刷毛などで、脚部上半指などで、絞り痕、 脚部下半刷毛などで。 |
| 0921 第158図 PL-111 | 土師器 埴 | 66住No 1 | 器149 口134 頸94 底35 完形 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 にぶい黄橙 | 外：口縁部横などで後筥磨き、頸部～底部刷毛など 後筥磨き。内：口縁部横などで後筥磨き、胴部～底 部刷毛などで、一部指頭痕。 |
| 0922 第158図 PL-111 | 土師器 甕 | 66住No 2 | 器213 口171 頸139 最大204 底45 完形 | 砂・赤色鈳物・雲母 酸化 橙 | 最大径は胴部中央。外：口縁部横などで、胴部斜め 筥削り。内：口縁部横などで、胴部～底部筥などで、 一部、巻上痕・指頭痕。内外面油煙付着。 |
| 0923 第160図 PL-111 | 土師器 壺 | 67住No 1 | 器359 口225 頸88 最大284 底78 ほぼ完形 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄橙 | 頸部で貼付。最大径は胴部中央。外：口縁部横 などで、口縁部筥磨き、頸部刷毛などで横などで、胴部 刷毛などで後筥磨き。内：口縁部筥磨き、頸部刷毛 などで、刷毛などで後筥などで、胴部上端巻上痕、指頭 痕が明瞭に残る。外面油煙付着。 |
| 0924 第159図 PL-111 | 土師器 埴 | 67住覆土 | 器61 口106 頸68 底— 口縁部～胴部3/4 | 砂・赤色鈳物 酸化 浅黄 橙 | 頸部で貼付。外：口縁部横などで、口縁部筥磨き、 胴部上半筥削り後などで。胴部下半～底部筥削り。 内：口縁部横などで、胴部～底部筥などで。 |
| 0925 第160図 PL-111 | 土師器 高杯 | 67住No 5・6 ・30・33・43 | 器(40) 口(156) 脚— 口縁部～胴部1/3 | 砂・赤色鈳物 酸化 浅黄 橙 | 外：口縁部～胴部刷毛などで後筥磨き。内：口縁部 ～胴部刷毛などで。 |
| 0926 第160図 PL-111 | 土師器 甕 | 67住No 2 | 器(202) 口141 頸108 最大191 底— 口縁部～胴部3/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄橙 | 最大径は胴部中央。頸部貼付。外：口縁部横な で、口縁部～胴部上半筥などで、胴部下半縦筥削り。 内：口縁部刷毛などで後筥磨き。胴部筥などで、一部 巻上痕・指頭痕が残る。内外面油煙付着。 |
| 0927 第159図 PL-111 | 土師器 甕 | 67住No 3 | 器114 口102 頸85 最大109 底30 ほぼ完形 | 砂・白色鈳物 酸化 浅黄 橙 | 最大径は胴部中央。頸部貼付。外：口縁部横な で、頸部～胴部上半刷毛などで、胴部下半筥削り。内： 口縁部横などで、胴部筥などで、一部指頭痕。外面油 煙付着。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-----------|--|--|-------------------------|---|
| 0928 第159図 PL-111 | 土師器 高杯 | 67住No.7 | 器(36) 口一 脚一 脚部下半4/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 ぶい黄橙 | 外：脚部下半篋磨き。内：脚部下半上部横篋削り、 脚部下半下部まで。 |
| 0929 第159図 PL-111 | 土師器 高杯 | 67住No.4・9 ・10・11・12・ 13・14・15・ 16・17・20・ 21・22・25・ 26・27・28・ 29・32・35・ 36 | 器(70) 口(160) 脚一 口縁部～胴部1/4 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで後篋磨き、胴部篋削り後篋磨き。 内：口縁部～胴部横などで後篋磨き。 |
| 0930 第260図 PL-121 | 須恵器 鉢 | 23溝No.1・4 ・5・6・7・ 10、覆土 | 器(177) 口(295) 底一 口縁部～胴部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部回転などで、胴部上半などで、 胴部下半回転などで。内：口縁部～胴部回転などで、 一部巻上痕。 |
| 0931 第260図 PL-121 | 須恵器 杯 | 23溝No.3 | 器35 口(124) 底(80) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 篋削り。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0932 第261図 PL-121 | 須恵器 蓋 | 23溝No.2 | 器32 口(146) 摘27 摘部～口縁部1/2 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰・橙 | 摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り、天井部下 半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転な で。内面油煙付着。 |
| 0933 第260図 PL-121 | 須恵器 杯 | 23溝覆土 | 器(25) 口一 底82 胴部～底部1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切後上半回転篋削り。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0934 第261図 PL-121 | 須恵器 杯 | 23溝No.9 | 器(11) 口一 底66 胴部下端～底部1/1 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 転用形態。轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転 などで、底部回転糸切後上半回転篋削り。内：胴部 下端～底部回転などで。 |
| 0935 第292図 | 土師器 甕 | 86坑No.1 | 器(52) 口(200) 頸(182) 底一 口縁部～胴部上端1/8 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横などで、胴部上端横篋削り。内外面 油煙付着。 |
| 0936 第292図 | 須恵器 杯 | 86坑覆土 | 器(26) 口(130) 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・ぶい黄橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。 |
| 0937 第292図 | 須恵器 杯 | 89坑覆土 | 器(14) 口一 底50 胴部下半～底部4/5 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・ぶい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転などで。 |
| 0938 第292図 | 土師器 杯 | 96坑No.1 | 器(20) 口一 底(58) 胴部下半～底部1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 ぶい 黄橙 | 外：胴部下半篋磨き、底部などで。内：胴部下半～底 部などで。 |
| 0939 第292図 PL-123 | 須恵器 盤 | 96坑No.2 | 器(25) 口一 台123 胴部下端～高台部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部 高台貼付後回転などで。内：胴部下端～底部回転な で。外面底部刻字「廿」。 |
| 0940 第363図 PL-128 | 須恵器 蓋 | 19区表土 | 器33 口(122) 摘一 天井部～口縁部3/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：天井部上半回転篋削り、 天井部下半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁 部回転などで。 |
| 0941 第361図 PL-126 | 須恵器 杯 | 19区表土 | 器40 口(135) 底74 口縁部～底部1/3 | 砂・小石・赤色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0942 第361図 | 土師器 高杯 | 19区表土 | 器(85) 口一 脚一 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：脚部上半などで、脚部下半刷毛などで。内：脚部 などで。 |
| 0943 第361図 PL-125 | 土師器 杯 | 19区表土 | 器36 口(136) 底一 口縁部～底部2/3 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部篋削り。内： 口縁部横などで、胴部～底部などで、一部指頭痕。 |
| 0944 第362図 PL-126 | 須恵器 杯 | 19区表土 | 器40 口120 底64 口縁部～底部3/4 | 砂・赤色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。二次 炎を受けている。内外面に一部油煙付着。 |
| 0945 第366図 PL-131 | 石製品 | 19区表土 | 長(73) 幅(56) 厚30 孔10 重109.9g | 粗粒輝石安山岩 | 表裏面は擦られている。中央部に径10mmの穿孔。 |
| 0946 第363図 PL-127 | 須恵器 杯 | 18区表土 | 器(22) 口一 底58 胴部下半～底部1/2 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転などで。外面底 部刻字「亥」。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------------------|--|----------------------------------|---|
| 0947 第363図 PL-128 | 須恵器 甕 | 20区表土 | 器(45) 口一 頸一 底206 胴部下端～底部 上端4/5 | 砂・小石・白色鈹物 半還元 灰・灰黄褐 | 外：胴部下端などで。内：胴部下端～底部などで。 |
| 0948 第362図 PL-127 | 須恵器 椀 | 20区表土 | 器70 口(174) 台(104) 口縁部～高台部1/4 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 半還元 灰白・にぶい橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端 回転削り、底部高台貼付後回転などで。内：口縁 部～底部回転などで。 |
| 0949 第362図 PL-127 | 須恵器 椀 | 20区表土 | 器(27) 口一 台(70) 胴部～高台部1/3 | 砂 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転などで。 外面底部燻し。外面底部線刻。 |
| 0950 第180図 PL-113 | 土師器 甕 | 78住Na 5・10 ・14・22、竈 | 器(195) 口(203) 頸(178) 底一 口縁部～胴部1/2 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物・雲母 酸化 浅黄 橙 | 最大径は胴部上半。外：口縁部横などで、胴部上半 横削り、胴部下半縦削り。内：口縁部横などで、 胴部寛などで。内外面油煙付着。 |
| 0951 第180図 PL-113 | 羽 釜 | 78住Na 8・12 ・15 | 器(206) 口(220) 最大(250) 底一 口縁部～胴部1/3 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物・雲母 酸化 橙 | 轆轤整形。最大径胴部上半。鏝部貼付。外：口縁 部回転などで、胴部回転などで後寛などで。内：口縁部 ～胴部回転などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0952 第180図 PL-113 | 羽 釜 | 78住Na18・19、 竈 | 器(158) 口(190) 最大(223) 底一 口縁部～胴部上半1/6 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物 酸化 明赤褐 | 最大径鏝部。鏝部貼付。外：口縁部横などで、一部 巻上痕、胴部上半寛などで。内：口縁部横などで、胴 部上半寛などで。 |
| 0953 第180図 PL-113 | 羽 釜 | 78住Na13・15、 竈 | 器(40) 口一 最大一 底95 胴部下端～底部7/8 | 砂・小石・白色鈹物・赤 色鈹物 酸化 にぶい橙 | 外：胴部下端削り。内：胴部下端～底部寛などで。 内外面一部油煙付着。 |
| 0954 第180図 PL-113 | 羽 釜 | 78住Na 9 | 器(120) 口(230) 最大(246) 底一 口縁部～胴部上半1/6 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 最大径鏝部。鏝部貼付。外：口縁部回転などで、胴 部上半縦削り。内：口縁部～胴部上半回転などで。 |
| 0955 第180図 PL-113 | 須恵器 杯 | 78住Na21 | 器(27) 口一 底(60) 胴部～底部1/3 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0956 第180図 PL-113 | 須恵器 椀 | 78住覆土 | 器(40) 口(130) 台一 口縁部～胴部1/8 | 砂・白色鈹物・雲母 酸化 にぶい黄橙 | 轆轤整形。内黒。外：口縁部～胴部回転などで。内： 口縁部～胴部回転などで後寛磨き。 |
| 0957 第180図 PL-113 | 須恵器 杯 | 78住Na26 | 器(27) 口(100) 底(50) 口縁部～底部1/4 | 砂 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0958 第180図 PL-113 | 須恵器 椀 | 78住覆土 | 器(26) 口一 台(80) 胴部下端～高台部4/5 | 砂・小石・白色鈹物 酸化 明赤褐 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付 後回転などで。内：胴部下端～底部回転などで。内面 一部油煙付着。 |
| 0959 第168図 | 須恵器 椀 | 71住Na 1 | 器(17) 口一 台(72) 胴部下端～高台部1/2 | 砂・白色鈹物 半還元 灰 白・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転な で。 |
| 0960 第169図 PL-112 | 須恵器 杯 | 72住覆土 | 器(17) 口一 底(50) 胴部下半～底部1/3 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転などで。 |
| 0961 第169図 PL-112 | 須恵器 杯 | 72住Na 2・3 | 器(35) 口一 底(58) 胴部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0962 第171図 PL-112 | 須恵器 椀 | 73住Na10・11 | 器(41) 口一 台(65) 胴部～高台部1/2 | 砂・小石・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部高台貼付後 回転などで。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0963 第171図 | 須恵器 杯 | 73住掘Na27 | 器(13) 口一 底82 胴部下端～底部4/5 | 砂・白色鈹物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部 回転糸切後上端回転削り。内：胴部下端～底部 回転などで。 |
| 0964 第171図 PL-112 | 土師器 台付甕 | 73住Na 1、掘 Na17・18・19、 覆土 | 器(97) 口(100) 頸(92) 台一 口縁部～台部上端1/2 | 砂・白色鈹物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、巻上痕・指頭痕、胴部上半横 削り、胴部下半縦削り、胴部下端横削り、 台部貼付。内：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部 ～底部寛などで、一部指頭痕。内外面油煙多量付着。 |
| 0965 第171図 PL-112 | 須恵器 椀 | 73住掘Na20 | 器(46) 口(140) 台一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台 貼付。内：口縁部～胴部回転などで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|------------------------------------|---|-------------------------|--|
| 0966 第171図 PL-112 | 土師器 台付甕 | 73住No.6・16、 掘No.24・25・ 26、掘覆 | 器(65) 口一 頸一 台(95) 胴部下半～台 部1/2 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 明赤褐 | 外：胴部下半縦篋削り、胴部下端横などで、台部貼付、台部横などで。内：胴部下半～底部篋などで、台部横などで。内外面油煙付着。 |
| 0967 第171図 PL-112 | 瓦 平瓦 | 73住No.7 | 長(75) 幅(57) 厚11 側端部破片 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 凹面布目痕 凸面ナデ 面取りなし |
| 0968 第171図 PL-112 | 瓦 平瓦 | 73住覆土 | 長(83) 幅(67) 厚12 端部破片 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 凹面布目痕 凸面ナデ 凹面端部にこくわずかな面取りか |
| 0969 第171図 PL-112 | 須恵器 椀 | 73住覆土 | 器(46) 口(126) 台一 口縁部～高台部上端 1/6 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・にぶい黄橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台貼付。内：口縁部～胴部回転などで。 |
| 0970 第171図 PL-112 | 須恵器 杯 | 73住No.5 | 器(26) 口一 底(60) 胴部～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転糸切。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0971 第171図 PL-112 | 石製品 | 73住No.13 | 長(117) 幅(123) 厚(57)重1157.8g | 石英斑岩 | 欠損部以外の表面は、滑らかに擦れている。 |
| 0972 第171図 PL-112 | 石製品 | 73住No.12 | 長110 幅95 厚34 重479.4g | 粗粒輝石安山岩 | 周囲は擦れている。 |
| 0973 第173図 PL-112 | 須恵器 椀 | 74住No.10 | 器57 口(146) 台(66) 口縁部～高台部2/5 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0974 第173図 PL-112 | 土師器 甕 | 74住No.13 | 器(85) 口(240) 頸(187) 底一 口縁部～胴部上半1/6 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部上半横篋削り、一部巻上痕。内：口縁部横などで、胴部上半篋などで。 |
| 0975 第173図 PL-112 | 羽釜 | 74住電No.2 | 器(75) 口(230) 最大(260) 底一 口縁部～胴部上半破片 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 鈹部貼付。最大径胴部。外：口縁部横などで、胴部上半縦篋削り。内：口縁部上端横などで、口縁部～胴部上端篋などで。外面油煙付着。 |
| 0976 第173図 | 須恵器 杯 | 74住覆土 | 器(26) 口一 底(52) 胴部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転糸切。内：胴部～底部回転などで。 |
| 0977 第173図 PL-112 | 須恵器 杯 | 74住電No.32 | 器(29) 口一 底(56) 胴部～底部1/2 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い褐 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部などで。内：胴部～底部回転などで。内面油煙付着。 |
| 0978 第173図 | 須恵器 杯 | 74住電No.36 | 器(44) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。内外面一部油煙付着。 |
| 0979 第171図 PL-112 | 須恵器 杯 | 73住貯覆土 | 器(20) 口一 底54 胴部下半～底部3/4 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部回転糸切。内：胴部下半～底部回転などで。 |
| 0980 第173図 | 須恵器 椀 | 74住覆土 | 器(35) 口一 台一 胴部下半～高台部上半 1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 橙 | 轆轤整形。外：胴部下半回転などで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転などで。内外面油煙付着。 |
| 0981 第173図 PL-112 | 土製品 埴 | 74住No.51 | 長(111) 幅(68) 厚(54) | 砂・小石・白色鈳物・葉 酸化 赤褐 | 型造りか。 |
| 0982 第175図 PL-112 | 羽釜 | 75住No.12 | 器(93) 口(220) 最大(270) 底一 口縁部～胴部上半1/4 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 橙 | 鈹部貼付。最大径胴部上半。外：口縁部～胴部上端横などで、胴部上半などで。内：口縁部横などで、胴部篋などで。外面油煙付着。 |
| 0983 第175図 PL-113 | 須恵器 椀 | 75住No.1 | 器62 口154 台82 ほぼ完形 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 明赤褐 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0984 第175図 PL-113 | 須恵器 杯 | 75住No.5、電 | 器(29) 口(120) 底(52) 口縁部～底部1/3 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 0985 第175図 PL-112 | 須恵器 杯 | 75住電 | 器30 口(100) 底(54) 口縁部～底部1/4 | 砂・小石・赤色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。内面一部油煙付着。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|---------------------|--|-------------------------|---|
| 0986 第175図 PL-113 | 須恵器 椀 | 75住No.8、電 | 器59 口(110) 台(74) 口縁部～高台部1/3 | 砂・白色鉱物 酸化 にお い黄橙 | 轆轤整形。内黒。外：口縁部～胴部上端篔簹磨き、 胴部回転などで、底部高台貼付後などで。内：口縁部 ～底部回転などで。 |
| 0987 第175図 PL-112 | 須恵器 杯 | 75住No.17 | 器33 口112 底43 完形 | 砂・赤色鉱物 酸化 浅黄 橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。外面 胴部下半～底部に油煙付着。 |
| 0988 第175図 PL-112 | 土師器 甕 | 75住No.2 | 器(90) 口(220) 頸(218) 底一 口縁部～胴部上半1/6 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、胴部上半縦篔簹削り、一部巻上 痕。内：口縁部横などで、胴部上半篔簹などで、一部巻 上痕。 |
| 0989 第175図 PL-112 | 羽 釜 | 75住No.7、電 | 器(160) 口一 底(80) 胴部下半～底部1/3 | 砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 橙 | 外：胴部下半斜め篔簹削り、一部巻上痕。内：などで、 巻上痕。内外面油煙付着。 |
| 0990 第175図 | 須恵器 椀 | 75住電、覆土 | 器(40) 口(120) 台一 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鉱物 酸化 橙 | 轆轤整形。内黒。内外面口縁部～胴部回転などで後 篔簹磨き。 |
| 0991 第175図 | 須恵器 椀 | 75住No.4 | 器(43) 口(146) 台一 口縁部～高台部上端 1/8 | 砂・白色鉱物 酸化 にお い黄橙 | 轆轤整形。内黒。外：口縁部～胴部回転などで、底 部高台貼付。内：口縁部回転などで、胴部～底部回 転などで後篔簹磨き。 |
| 0992 第175図 | 須恵器 杯 | 75住覆土 | 器(21) 口(100) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鉱物 酸化 にお い黄橙 | 轆轤整形。内外面燻し。内外面口縁部～胴部回転 などで。 |
| 0993 第175図 PL-113 | 灰釉陶器 椀 | 75住No.16 | 器(28) 口(160) 台一 口縁部～胴部1/5 | 細砂 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで、施釉。 |
| 0994 第175図 PL-112 | 灰釉陶器 椀 | 75住No.14 | 器(28) 口一 台(70) 胴部～高台部1/8 | 細砂・白色鉱物 還元 灰 白 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部高台貼付後回 転などで。内：胴部～底部回転などで。内面胴部施釉。 |
| 0995 第175図 PL-113 | 灰釉陶器 椀 | 75住電 | 器(14) 口一 台(68) 胴部下端～高台部1/3 | 細砂 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付 後回転などで。内：胴部下端～底部回転などで。内面 に赤色顔料付着。 |
| 0996 第175図 | 須恵器 椀 | 75住No.11 | 器(36) 口(130) 台一 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鉱物 酸化 にお い黄橙 | 轆轤整形。内黒。外：口縁部～胴部回転などで。内： 口縁部～胴部回転などで後篔簹磨き。 |
| 0997 第177図 PL-113 | 土師器 杯 | 76住電No.11・ 12、電覆 | 器(33) 口(130) 底一 口縁部～底部1/4 | 砂・赤色鉱物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部～胴部横などで、底部篔簹削り。内： 口縁部～胴部回転などで、底部などで、一部指頭痕。 |
| 0998 第177図 | 土師器 杯 | 76住No.6 | 器(30) 口(130) 底一 口縁部～底部上端1/8 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙 | 丸底。外：口縁部～胴部回転などで、底部篔簹削り。 内：胴部～底部上端回転などで。 |
| 0999 第177図 PL-113 | 須恵器 椀 | 76住No.2・ 4・5、覆土 | 器48 口(130) 台(86) 口縁部～高台部1/3 | 砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙 | 轆轤整形。口縁部～胴部回転などで、高台貼付後回 転などで。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 1000 第177図 PL-113 | 土師器 甕 | 76住No.1 | 器(67) 口(200) 頸(177) 底一 口縁部～胴部上端1/4 | 砂・小石・白色鉱物 酸化 におい橙 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上端篔簹削り。 内：口縁部上端。 |
| 1001 第177図 | 土師器 甕 | 76住掘 | 器(65) 口(190) 頸(158) 底一 口縁部～胴部上端1/8 | 砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端横篔簹削 り。内：口縁部横などで。内外面一部油煙付着。 |
| 1002 第177図 PL-113 | 石製品 | 76住覆土 | 長64 幅60 厚38 重87.3g | 二ツ岳軽石 | 周囲は擦れている。 |
| 1003 第182図 PL-114 | 須恵器 椀 | 79住No.6・7 ・8・11 | 器69 口168 台70 口縁部～高台部5/6 | 砂・小石・白色鉱物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 などで。 |
| 1004 第182図 PL-113 | 須恵器 杯 | 79住No.24 | 器39 口135 底56 口縁部～底部5/6 | 砂・白色鉱物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～胴部回転などで。 |
| 1005 第182図 PL-114 | 須恵器 皿 | 79住No.25 | 器30 口(134) 台57 口縁部～高台部1/3 | 砂・白色鉱物 半還元 灰 白・におい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 などで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|---|--|----------------------------|---|
| 1006 第182図 PL-114 | 須恵器 椀 | 79住No.9・10、 覆土 | 器(53) 口144 台一 口縁部～高台部上端 4/5 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 などで。内面胴部下半～底部油煙付着。 |
| 1007 第182図 PL-114 | 須恵器 椀 | 79住電 | 器(35) 口(130) 台一 口縁部～胴部2/5 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転などで。 |
| 1008 第182図 PL-113 | 須恵器 椀 | 79住電No.42、 電覆 | 器53 口(140) 台60 口縁部～高台部2/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 などで。外面胴部墨書「得」。内外面一部油煙付着。 |
| 1009 第182図 PL-114 | 須恵器 椀 | 79住電 | 器58 口(140) 台(68) 口縁部～高台部1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 半還 元 褐灰・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 などで。 |
| 1010 第182図 PL-114 | 須恵器 椀 | 79住No.14、覆 土 | 器(35) 口一 台(64) 胴部～高台部2/5 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・にぶい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切後高台貼り付け。内：胴部～底部回転などで。 |
| 1011 第182図 PL-113 | 須恵器 杯 | 79住電 | 器(41) 口(120) 底(60) 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰黄 底 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。内外 面一部油煙付着。 |
| 1012 第182図 PL-114 | 須恵器 杯 | 79住覆土 | 器(23) 口一 底(58) 胴部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転などで。外面胴部墨書 「?」。 |
| 1013 第182図 PL-113 | 須恵器 杯 | 79住電 | 器(28) 口57 底(58) 胴部～底部4/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転などで。 |
| 1014 第182図 PL-114 | 須恵器 椀 | 79住No.2、覆 土 | 器(51) 口(140) 台一 口縁部～底部1/4 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・にぶい橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台 貼付後回転などで、内：口縁部～底部回転などで、内 外面一部油煙付着。 |
| 1015 第182図 PL-113 | 須恵器 椀 | 79住No.20 | 器(25) 口一 台62 胴部下半～高台部1/1 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰白・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転な で。内外面油煙付着。 |
| 1016 第182図 PL-113 | 須恵器 椀 | 79住電No.33・ 38 | 器(33) 口一 台62 胴部～高台部2/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 にぶい橙 | 轆轤整形、右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切後高台貼り付け。内：胴部～底部回転などで。 外面油煙付着。 |
| 1017 第182図 PL-113 | 須恵器 杯 | 79住覆土 | 器(40) 口(120) 底(63) 口縁部～底部1/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 1018 第182図 PL-114 | 須恵器 壺 | 79住No.3・4、 覆土 | 器(50) 口一 頸一 台(127) 胴部下端～高台部3/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付 後回転などで。内：胴部下端～底部上端回転などで、 底部などで。外面胴部～底部一部自然粘。 |
| 1019 第182図 PL-114 | 灰釉陶器 椀 | 79住電 | 器(29) 口一 台82 胴部下半～高台部1/2 | 細砂・白色鈳物 還元 灰 白 | 轆轤整形。外：胴部下半回転などで、底部高台貼付 後回転などで。内：胴部下半～底部回転などで、内外 面胴部施粘。 |
| 1020 第182図 PL-114 | 須恵器 椀 | 79住電 | 器(41) 口(130) 台一 口縁部～高台部上端1/ 6 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台 貼付。内：口縁部～底部回転などで。 |
| 1021 第182図 PL-114 | 土師器 甕 | 79住電No.34・ 35・39・40・ 41・43・44・ 45、電覆 | 器(222) 口(200) 頸(182) 底一 口縁部～胴部1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 赤褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上半横篋削 り、胴部下半縦篋削り。内：胴部篋などで、一部巻 上痕・指頭痕。内外面油煙付着。 |
| 1022 第182図 PL-114 | 土師器 甕 | 79住No.22、電 No.46・47 | 器(211) 口(190) 頸(173) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 外：口縁部横などで、一部指頭痕、胴部上半横篋削 り、胴部下半縦篋削り。内：口縁部横などで、巻上 痕・指頭痕、胴部篋などで、一部巻上痕。内外面油 煙付着。 |
| 1023 第182図 PL-114 | 土師器 甕 | 79電No.30、覆 土、電覆 | 器(71) 口(230) 頸(213) 底一 口縁部～胴部上端1/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端横篋削 り。内：口縁部横などで、胴部上端篋などで。内面一 部油煙付着。 |
| 1024 第182図 | 土師器 甕 | 79住No.21 | 器(90) 口(152) 頸(135) 底一 口縁部～胴部上半1/6 | 砂・白色鈳物 酸化 赤褐 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上半横篋削 り。内：口縁部横などで、胴部上半などで。内面油煙 付着。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|-------------------|--|-----------------------------|--|
| 1025 第183図 PL-114 | 須恵器 杯 | 80住掘Na 6、 覆土 | 器40 口112 底72 ほぼ完形 | 砂・赤色鈳物 還元 灰 | 外口縁部～胴部・内口縁部～底部燻し。外：口縁部～胴部回転などで後寛磨き、底部など。内：口縁部～底部回転などで後寛磨き。 |
| 1026 第183図 PL-114 | 須恵器 椀 | 80住掘Na 3、 覆土 | 器53 口(140) 台(60) 口縁部～高台部上端 1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰白・橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転など。内 外面油煙付着。内面胴部刻字「日下」。 |
| 1027 第183図 | 須恵器 杯 | 80住Na 2・3 ・6 | 器(42) 口(130) 底(60) 口縁部～底部上端1/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 糸切。内：口縁部～底部上端回転など。 |
| 1028 第183図 | 須恵器 杯 | 80住Na10・11 | 器(31) 口(150) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 明褐 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。内外面 一部油煙付着。 |
| 1029 第183図 | 須恵器 椀 | 80住Na 8 | 器(23) 口一 台(60) 胴部下半～高台部1/2 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 にぶい黄橙 | 轆轤整形。外：胴部下半回転などで、底部高台貼付 後回転など。内：胴部下半～底部回転など。 |
| 1030 第183図 | 須恵器 椀 | 80住Na 7 | 器(24) 口一 台58 胴部下半～高台部2/3 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・にぶい橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転な で。内外面一部油煙付着。 |
| 1031 第183図 | 須恵器 椀 | 80住Na17 | 器(19) 口一 台61 胴部下端～高台部4/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物・ 雲母 酸化 にぶい赤褐 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転な で。内外面一部油煙付着。 |
| 1032 第183図 | 須恵器 杯 | 80住Na22、掘 Na 5 | 器(40) 口(140) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転など。内外面 油煙付着。 |
| 1033 第183図 | 須恵器 杯 | 80住Na 9 | 器(15) 口一 底60 胴部下半～底部3/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切後上端回転寛削り。内：胴部下半～底部 回転など。 |
| 1034 第183図 PL-114 | 土師器 甕 | 80住Na16、掘 | 器(85) 口(170) 頸(160) 底一 口縁部～胴部上半1/6 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 半横削り。内：口縁部横などで胴部上半寛などで。 内外面一部油煙付着。 |
| 1035 第198図 PL-116 | 須恵器 杯 | 88住Na 9 | 器40 口128 底58 完形 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 1036 第198図 PL-116 | 須恵器 椀 | 88住Na11 | 器56 口152 台67 口縁部～高台部3/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台 貼付後など。内：口縁部～底部回転など。 |
| 1037 第198図 PL-116 | 須恵器 杯 | 88住Na 1 | 器36 口(134) 底57 口縁部～底部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転など。 |
| 1038 第198図 PL-116 | 須恵器 椀 | 88住Na14 | 器(35) 口一 台一 胴部～高台部上端1/3 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 にぶい黄橙 | 轆轤整形。外：胴部回転などで、底部回転糸切後高 台貼付。内：胴部～底部回転など。内外面燻し。 外面底部線刻。 |
| 1039 第198図 | 須恵器 椀 | 88住Na13 | 器(37) 口一 台一 胴部～高台部上端1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転など。 |
| 1040 第183図 PL-114 | 須恵器 椀 | 80住覆土 | 器53 口(140) 台(60) 口縁部～高台部1/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 など。内外面油煙付着。 |
| 1041 第198図 | 須恵器 椀 | 88住Na 3 | 器(22) 口一 台一 胴部下半～高台部上端 1/3 | 砂・小石・白色鈳物・雲 母 酸化 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転な で。内外面燻し。 |
| 1042 第198図 | 須恵器 杯 | 88住Na 4 | 器(26) 口一 底(50) 胴部下半～底部2/5 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 浅黄 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転など。 |
| 1043 第198図 PL-116 | 土師器 台付甕 | 88住Na10、覆 土 | 器112 口(87) 頸(84) 底42 台71 口縁部～台部3/4 | 砂・小石・赤色鈳物・雲 母 酸化 にぶい橙 | 外：口縁部横などで、胴部斜め寛削り、台部貼付、 底部下端～台部横などで。内：口縁部横などで、胴部 ～底部寛などで、台部横などで。内外面油煙付着。 |
| 1044 第198図 PL-116 | 緑釉陶器 皿 | 88住Na 5 | 器25 口(148) 台(82) 口縁部～高台部1/3 | 細砂 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台 貼付後回転など。内：口縁部～底部回転など。全 面に施釉。 |
| 1045 第184図 | 須恵器 椀 | 81住Na 2・13、 覆土 | 器(16) 口一 台一 胴部下半～高台部上端 2/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転な で。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|-----------------------------|--|-----------------------------|---|
| 1046 第184図 | 須恵器 椀 | 81住覆土 | 器(16) 口一 台(70) 胴部下端～高台部1/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰白・にぶい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転な で。 |
| 1047 第293図 | 須恵器 杯 | 134坑覆土 | 器(34) 口(146) 底一 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鈳物 半還元 灰 白・にぶい黄橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。 |
| 1048 第292図 | 須恵器 杯 | 126坑No.1 | 器(30) 口(124) 底(50) 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転 糸切。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 1049 第293図 PL-124 | 須恵器 椀 | 164坑No.2・3 ・5・7・8、 覆土 | 器59 口146 台65 口縁部～高台部4/5 | 砂・小石・白色鈳物・赤 色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 まで。内外面一部油煙付着。 |
| 1050 第293図 PL-124 | 須恵器 杯 | 164坑No.1 | 器43 口(130) 底52 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈳物 酸化 明黄 褐 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。内面 油煙付着。 |
| 1051 第292図 PL-123 | 瓦 平 瓦 | 126坑No.4 | 長(56) 幅(71) 厚10 隅部破片 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 凹面布目痕 凸面ナデ 面取りなし |
| 1052 第364図 PL-128 | 須恵器 壺 | 21区表土 | 器(77) 口105 頸52 底一 口縁部～頸部1/1 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。頸部貼付。内外面口縁部～頸部回転な で。 |
| 1053 第292図 PL-123 | 須恵器 椀 | 125坑No.2 | 器(33) 口一 台64 胴部～高台部4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転まで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転まで。 |
| 1054 第292図 | 須恵器 椀 | 125坑No.1 | 器(25) 口一 台61 胴部～高台部2/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：胴部回転まで、底部高台貼付後回 転まで。内：胴部～底部回転まで。 |
| 1055 第293図 PL-123 | 須恵器 椀 | 130坑No.4、覆 土 | 器51 口141 台64 口縁部～高台部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 まで。 |
| 1056 第293図 PL-123 | 須恵器 椀 | 130坑No.1・ 7、覆土 | 器(46) 口一 台63 胴部～高台部2/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 半還元 灰白・浅黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転まで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転まで。 |
| 1057 第293図 | 須恵器 椀 | 130坑No.5 | 器(40) 口(140) 台一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄橙 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。 |
| 1058 第363図 PL-127 | 須恵器 椀 | 旧河道覆土 | 器(25) 口一 台61 胴部～高台部2/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転まで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転まで。 |
| 1059 第363図 PL-128 | 須恵器 甕 | 旧河道覆土 | 器(75) 口一 頸一 底(130) 胴部下半～底 部上端1/4 | 砂・小石・白色鈳物 半還 元 灰・にぶい黄橙 | 一部巻上痕。内外面叩き後回転まで。 |
| 1060 第363図 PL-128 | 須恵器 椀 | 旧河道No.7 | 器(51) 口146 台一 口縁部～高台部上端 4/5 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 まで。 |
| 1061 第362図 PL-127 | 須恵器 椀 | 東斜面No.16 | 器60 口(146) 台(68) 口縁部～高台部2/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部高台 貼付後まで。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 1062 第361図 PL-126 | 須恵器 杯 | 東斜面No.8 | 器41 口(136) 底62 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。内外 面に油煙付着。 |
| 1063 第363図 PL-127 | 須恵器 椀 | 東斜面No.6、 覆土 | 器56 口(124) 台(54) 口縁部～高台部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 まで。 |
| 1064 第363図 PL-128 | 須恵器 杯 | 東斜面No.10、 覆土 | 器(50) 口(164) 底(98) 口縁部～底部上端1/4 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～底部上端回転まで。 |
| 1065 第363図 PL-127 | 灰釉陶器 椀 | 東斜面No.1、 覆土 | 器(25) 口一 台(80) 胴部～高台部3/5 | 細砂・白色鈳物 還元 灰 白 | 轆轤整形。外：胴部回転まで、底部高台貼付後回 転まで。内：胴部～底部回転まで。内外面胴部施 釉。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-----------|-------------------|--|-----------------------|---|
| 1066 第363図 PL-128 | 須恵器 甕 | 東斜面覆土 | 器(75) 口(240) 頸(222) 底一 口縁部～底部上半1/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部上半回転まで。 |
| 1067 第365図 PL-130 | 鉄 滓 | 東斜面覆土 | 長49 幅29 厚25 重47.6g | | 鉄分が含まれる。 |
| 1068 第364図 PL-129 | 灰釉陶器 碗 | 21区表土 | 器(25) 口一 台78 胴部～高台部3/4 | 細砂・白色鈳物 還元 灰 白 | 轆轤整形。外：胴部回転まで、底部高台貼付後回転まで。内：胴部～底部回転まで。 |
| 1069 第366図 PL-131 | 石製品 砥石 | 21区表土 | 長(87) 幅29 厚19 重71.8g | デイスait | 使用面は4面。 |
| 1070 第362図 PL-126 | 須恵器 碗 | 21区表土 | 器40 口(130) 台一 口縁部～底部2/5 | 砂・赤色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 1071 第206図 PL-117 | 須恵器 碗 | 94住No.3、覆 土 | 器(43) 口126 台一 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 1072 第206図 PL-117 | 須恵器 杯 | 94住No.4・5、 覆土 | 器36 口(128) 底54 口縁部～底部2/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 1073 第206図 PL-117 | 須恵器 碗 | 94住No.8・9 | 器(48) 口(132) 台一 口縁部～高台部上端 1/4 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、高台部貼付。内：口縁部～胴部回転まで。外面胴部墨書「吉」。 |
| 1074 第206図 PL-117 | 須恵器 碗 | 94住No.6 | 器(38) 口一 台(70) 胴部～高台部1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転まで。外面に一部油煙付着。 |
| 1075 第206図 PL-117 | 須恵器 碗 | 94住No.5、覆 土 | 器60 口(148) 台(76) 胴部～高台部1/3 | 砂 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部高台貼付。内：口縁部～底部上端回転まで。内面漆付着。 |
| 1076 第293図 PL-124 | 灰釉陶器 皿 | 172坑No.1・ 2・3 | 器30 口(133) 台68 口縁部～高台部1/2 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部高台貼付後回転まで。内：口縁部～底部回転まで。内外面口縁部～胴部施釉。 |
| 1077 第293図 PL-124 | 須恵器 杯 | 184坑No.1 | 器44 口(124) 底(50) 口縁部～底部1/6 | 砂・白色鈳物 酸化 ぶ い橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。外面口縁部～胴部油煙付着。 |
| 1078 第293図 PL-124 | 須恵器 碗 | 184坑No.6・ 7、覆土 | 器55 口(146) 台(70) 口縁部～高台部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 ぶ い橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部高台貼付後回転まで。内：口縁部～底部回転まで。内外面に油煙付着。 |
| 1079 第293図 PL-124 | 須恵器 杯 | 184坑No.3・ 5、覆土 | 器(28) 口(154) 底一 口縁部～胴部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 ぶ い褐 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。内外面口縁部～底部墨書「？」。 |
| 1080 第293図 | 須恵器 杯 | 170坑No.1 | 器(36) 口一 底(51) 胴部下半～底部1/4 | 砂・白色鈳物 酸化 褐 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転まで、底部回転糸切。内：胴部～底部回転まで。内外面燻し。 |
| 1081 第366図 PL-131 | 土製品 錘 | 22区表土 | 長(44) 径27 孔11 重21.8g | 砂・白色鈳物 酸化 ぶ い褐 | 中心部縦に径11mmの穿孔。 |
| 1082 第263図 PL-122 | 須恵器 杯 | 70溝No.1 | 器25 口(100) 底56 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 ぶい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～胴部回転まで。内外面一部油煙付着。 |
| 1083 第263図 PL-122 | 須恵器 碗 | 70溝No.3 | 器(35) 口一 台(76) 胴部～高台部1/6 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 ぶい橙 | 轆轤整形。外：胴部回転まで、底部高台貼付後回転まで。内：胴部～底部回転まで。 |
| 1084 第263図 PL-122 | 須恵器 碗 | 72溝覆土 | 器(24) 口一 台(56) 胴部下半～高台部1/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転まで。 |
| 1085 第263図 PL-122 | 須恵器 蓋 | 72溝覆土 | 器(20) 口一 摘34 摘部～天井部上半2/3 | 砂・白色鈳物 還元 灰 | 摘部貼付。外：天井部上半回転篋削り。内：天井部上半回転まで。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|-----------------------------|--|-------------------------|---|
| 1086 第263図 | 須恵器 椀 | 73溝No.1 | 器(16) 口一 台68 胴部下端～高台部1/1 | 砂・小石・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転まで。 |
| 1087 第263図 | 須恵器 杯 | 73溝覆土 | 器(20) 口一 底(80) 胴部下半～底部1/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。胴部下半回転まで、胴部下端～底部回転篋削り。内：胴部下半～底部回転まで。 |
| 1088 第263図 PL-122 | 須恵器 壺 | 69溝No.1 | 器(53) 口一 頸一 底一 把手部1/1 | 砂・白色鈳物 酸化 灰黄 褐 | 把手部貼付。把手部篋まで。 |
| 1089 第263図 | 須恵器 椀 | 69溝覆土 | 器(27) 口一 台70 胴部下端～高台部4/5 | 砂・小石・白色鈳物 酸化 橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転まで。 |
| 1090 第263図 PL-122 | 須恵器 杯 | 75溝No.1・2、 覆土 | 器43 口132 底60 口縁部～底部3/5 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。内外面燻し。 |
| 1091 第363図 PL-128 | 須恵器 椀 | 斜面覆土 | 器54 口142 台64 口縁部～高台部2/3 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部高台貼付後まで。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 1092 第363図 PL-128 | 須恵器 椀 | 斜面覆土 | 器54 口(140) 台52 口縁部～高台部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 1093 第362図 PL-126 | 須恵器 杯 | 斜面No.118 | 器37 口129 底57 口縁部～底部3/5 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 1094 第363図 PL-128 | 須恵器 椀 | 斜面No.12・36 ・48 | 器(43) 口一 台65 胴部～高台部2/3 | 砂・白色鈳物 酸化 にお い黄橙・橙 | 轆轤整形。右回転。外：胴部回転まで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転まで。内外面油煙付着。 |
| 1095 第362図 PL-127 | 須恵器 椀 | 斜面覆土 | 器57 口(140) 台(65) 胴部～高台部1/4 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい橙 | 轆轤整形。外：口縁部～胴部回転まで、底部高台貼付後回転まで。内：口縁部～底部回転まで。外面胴部墨書「吉」。 |
| 1096 第361図 PL-126 | 須恵器 杯 | 斜面No.13・14 ・15・16、覆 土 | 器39 口132 底58 口縁部～底部4/5 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 におい黄橙 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。内外面一部油煙付着。 |
| 1097 第361図 PL-126 | 須恵器 杯 | 斜面No.94・95 ・98 | 器45 口(126) 底60 口縁部～底部1/2 | 砂・白色鈳物 酸化 灰黄 | 轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。 |
| 1098 第364図 PL-128 | 灰釉陶器 壺 | 斜面No.72、覆 土 | 器(75) 口一 頸54 底一 口縁部～胴部上端1/2 | 細砂 還元 灰白 | 轆轤整形。頸部貼付。内外面口縁部～胴部上端回転まで。外面口縁部～胴部上端・内面口縁部～頸部施釉。 |
| 1099 第362図 PL-127 | 須恵器 杯 | 斜面No.56 | 器(35) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/6 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転まで。内面胴部墨書「得」。 |
| 1100 第361図 PL-125 | 土師器 甕 | 斜面No.83・85 ・86、覆土 | 器(91) 口(206) 頸(190) 底一 口縁部～胴部上半1/3 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 外：口縁部横まで、一部指頭痕、胴部上半横篋削り。内：口縁部横まで、胴部上半へ篋まで。内外面一部油煙付着。 |
| 1101 第366図 PL-131 | 石製品 管 玉 | 2区表土 | 長38 径10 孔2 重6.1g 完形 | 珪質頁岩 | 孔は中心よりずれている。孔径2mm。 |
| 1102 第263図 PL-120 | 鉄製品 | 84溝覆土 | 長(38)幅3 厚3 | | 棒状鉄製品。 |
| 1103 第215図 PL-117 | 鉄製品 | 104住覆土 | 長(52)幅13 厚1.5 | | 鍛造。板状鉄製品。 |
| 1104 第217図 PL-118 | 石製品 管 玉 | 105住No.1 | 長32 径6 孔2 重2.3g 完形 | 変質玄武岩 | 孔は中心よりややずれている。孔径2mm。 |
| 1105 第217図 PL-118 | 石製品 管 玉 | 105住No.86 | 長18 径3.5 孔1.5 重0.4g 完形 | 変質玄武岩 | 中心部に径1.5mmの孔。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-----------------------|--------------------|--------------------------------|--------------------------|--|
| 1106 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No 1 | 径4.5 厚3.0 孔1.3 重0.1g 完形 | | 中心部よりややずれた位置に径1.3mmの孔。 |
| 1107 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No 2 | 径 5 厚2.7 孔1.2 重0.1g 完形 | | 中心部よりややずれた位置に径1.2mmの孔。 |
| 1108 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No 3 | 径4.7 厚6.1 孔2.0 重0.1g 完形 | | 中心部に径 2 mmの孔。 |
| 1109 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No 4 | 径5.0 厚2.8 孔1.9 重0.1g 完形 | | 中心部に径1.9mmの孔。 |
| 1110 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No 5 | 径5.1 厚4.3 孔1.7 重0.1g 完形 | | 中心部に径1.7mmの孔。 |
| 1111 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No 6 | 径4.4 厚4.1 孔1.8 重0.1g 完形 | | 中心部に径1.8mmの孔。 |
| 1112 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No 7 | 径4.5 厚3.7 孔1.5 重0.05g 完形 | | 中心部に径1.5mmの孔。 |
| 1113 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No 8 | 径5.6 厚3.7 孔1.8 重0.1g 完形 | | 中心部に径1.8mmの孔。 |
| 1114 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No 9 | 径5.7 厚3.3 孔1.6 重0.2g 完形 | | 中心部に径1.6mmの孔。 |
| 1115 第220図 PL-120 | 小 玉 ガラス | 106住No10 | 径4.3 厚3.3 孔1.2 重0.1g 完形 | | 中心部に径1.2mmの孔。 |
| 1116 第220図 PL-119 | 石 製 品 勾 玉 | 106住No11 | 長(41) 厚13.5 孔1.7 重6.1g 完形 | 琥珀 | 孔径1.7mm。 |
| 1117 第220図 PL-119 | 石 製 品 管 玉 | 106住No59 | 長42 径11 孔 2 重9.1g 完形 | 珪質頁岩 | 孔は中心よりややずれている。孔径 2 mm。 |
| 1118 第366図 PL-131 | 土 製 品 錘 | 18区表土 | 長29 径22 孔 3 重16.3g ほぼ完形 | 砂・雲母 酸化 浅黄橙 | 孔は中心よりずれている。孔径 3 mm。 |
| 1119 第366図 PL-131 | 石 製 品 剣 型 模 造 品 | 18区表土 | 長(34) 径17 孔 2 重1.8g 4/5 | 珪質準片岩 | 孔径 2 mm。先端部欠。 |
| 1121 第366図 PL-131 | 石 製 品 剣 型 模 造 品 | 22区表土 | 長(29) 径14.5 孔1.5 重1.6g ほぼ完形 | 蛇紋岩質準片岩 | 孔径1.5mm。先端部欠。 |
| 1122 第364図 PL-129 | 軟質陶器 鉢 | 21区表土 | 器(58) 口(270) 底一 口縁部～胴部1/6 | 砂・小石・白色鈹物 半還 元 灰白・浅黄橙 | 口縁部玉縁状をなし、内面窪む。口縁部外面凹 線状に窪む。13世紀後半。断面の色調はサンドイッ チ状を呈する。内外面一部油煙付着。 |
| 1123 第366図 PL-130 | 軟質陶器 | 22区表土 | 器(55) 口(380) 底一 口縁部～胴部破片 | 砂・白色鈹物・赤色鈹物 酸化 にぶい橙 | 口縁部上面はほぼ水平で、端部はシャープ。断 面の色調はサンドイッチ状を呈する。器壁やや厚 い。16世紀中から後半か。 |
| 1124 第364図 PL-129 | 陶 器 瓶 子 | 22区表土 | 器(39) 口一 台一 胴部破片 | 白色鈹物 還元 灰白 | 古瀬戸瓶子体部下位片。外面細かい貫入の入る灰 釉。外面下部に蓮弁状の文様、上部にも文様が認 められる。古瀬戸中期であろう。 |
| 1125 第364図 PL-129 | 陶 器 椀 | 22区表土 | 器(26) 口一 台一 胴部破片 | 白色鈹物 還元 灰白 | 外面無釉、内面灰釉。内面底部と体部境に目痕一 箇所。古瀬戸平碗の胴部下位片であろう。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|--------------|--------------------|-------------------------------------|--------------------|---|
| 1126 第364図 PL-129 | 陶器 碗 | 22区表土 | 器(30) 口一 台一 胴部破片 | 白色鉱物 還元 灰白 | 外面上半から内面灰釉。外面上半は轆轤目、下半は回転篋削り。古瀬戸平碗の胴部片であろう。 |
| 1127 第364図 PL-129 | 陶器 皿 | 22区表土 | 器(11) 口一 台一 胴部破片 | 還元 灰白 | 中国製染付皿B 1群であろう。 |
| 1128 第364図 PL-129 | 軟質陶器 鉢 | 22区表土 | 器(45) 口(340) 底一 口縁部～胴部上半破片 | 砂・白色鉱物 酸化 ぶい 黄橙 | 口縁部内面窪む。13世紀後半から14世紀前半。 |
| 1129 第364図 PL-129 | 軟質陶器 播鉢 | 22区表土 | 器(58) 口(300) 底一 口縁部～胴部上半破片 | 砂・白色鉱物 酸化 ぶい 黄橙 | 瀬戸・美濃。錆釉。口縁部外反し、端部は小さい玉縁状をなす。17世紀中頃。 |
| 1130 第364図 PL-129 | 陶器 皿 | 22区表土 | 器25 口119 台64 口縁部～高台部3/5 | 白色鉱物 還元 灰白 | 美濃。内面から口縁部外面灰釉。見込みに雑な鉄絵具による摺り絵。 |
| 1131 第364図 PL-129 | 陶器 香炉 | 22区表土 | 器43 口(80) 底76 口縁部～脚部1/2 | 砂・白色鉱物 還元 淡黄 | 瀬戸・美濃。口縁部内面から体部外面鉛釉。 |
| 1132 第364図 PL-129 | 陶器 皿 | 22区表土 | 器23 口(110) 台(62) 口縁部～高台部1/2 | 砂・白色鉱物 還元 灰白 | 瀬戸・美濃。内面から高台脇灰釉。見込み重ね焼き時の高台痕残る。美濃であろう。 |
| 1133 第364図 PL-128 | 陶器 碗 | 22区表土 | 器(45) 口一 台45 胴部～高台部1/2 | 白色鉱物 還元 灰白 | 肥前、陶胎染付。内面と高台脇以下無釉。体部外面から高台外面に白化粧を施した後に施釉。外面は唐草文。 |
| 1134 第364図 PL-129 | 陶器 碗 | 22区表土 | 器54 口(104) 台45 口縁部～高台部2/5 | 還元 灰白 | 肥前、波佐見系。コンニャク印判。 |
| 1135 第364図 PL-129 | 陶器 灯明皿 | 22区表土 | 器27 口(138) 底(78) 口縁部～底部2/5 | 砂・白色鉱物 酸化 ぶい 黄橙 | 志戸呂。内外面鉄泥をかけるが、底部の一部は無釉。アーチ状をなすと思われる窓の殆どは欠損するが、一對設けられていたことは確認できる。 |
| 1136 第364図 PL-129 | 陶器 香炉 | 22区表土 | 器56 口(98) 底(94) 口縁部～脚部1/3 | 白色鉱物 還元 灰白 | 瀬戸・美濃。口縁部から体部外面に鉛釉。口縁部は内傾し、上面は窪む。 |
| 1137 第364図 PL-129 | 陶器 碗 | 22区表土 | 器52 口(113) 台45 胴部～高台部2/3 | 還元 灰白 | 京・信楽系。見込み目縁三箇所。口縁部から体部に鉄絵。内面から高台外面に灰釉。貫入入る。 |
| 1138 第364図 PL-129 | 陶器 碗 | 22区表土 | 器78 口(92) 台36 口縁部～高台部1/2 | 還元 灰白 | 肥前、波佐見系。簡略化した雪輪梅樹文。 |
| 1139 第364図 PL-129 | 白磁 | 22区表土 | 器(10) 口(44) 台一 口縁部～胴部1/3 | 還元 灰白 | 肥前。内面から口縁部に透明釉。貝殻状を呈する。口縁部平坦面幅狭い。 |
| 1140 第364図 PL-128 | 磁器 碗 | 22区表土 | 器58 口(82) 台(58) 口縁部～高台部1/4 | 還元 灰白 | 肥前か。口錆。外面山水文。やや焼成不良。 |
| 1141 第366図 PL-130 | 軟質陶器 焙烙 | 22区表土 | 器(53) 口(340) 台(31) 口縁部～底部上端破片 | 酸化 灰黄 | 断面の色調はサンドイッチ状を呈する。体部内面の段差は僅かに残る。 |
| 1142 第365図 PL-130 | 銅製品 キセル雁首 | 22区表土 | 長(44) 幅11 厚1.2 | | 羅字を差し込む部分は断面6角形を呈する。雁首は直線的で短い。 |
| 1143 第226図 PL-120 | 石製品 紡錘車 | 3掘立ピット 4 | 直38 孔7.5 厚20 重34.3g | 蛇紋岩 | 周囲は擦れている。刻書「真髪」。 |
| 1144 第6図 PL-89 | 石製品 紡錘車 | 1住覆土 | 直44 孔6 厚16 重53.1g | 蛇紋岩 | 糸で固定したと考えられる刻みあり。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-------------|--------------------|---------------------------------------|-----------------------|--|
| 1145 第29図 PL-92 | 石製品 紡錘車 | 13住No3 | 直41 孔7.5 厚17.5 重38.9g | 蛇紋岩 | 周囲は擦れている。 |
| 1146 第62図 PL-96 | 須恵器 把手付椀 | 29住覆土 | 器(25) 口一 台一 胴部～底部上端1/6 | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 轆轤整形。把手部貼付。内外面胴部～底部上端回転などで、把手部寛削り後寛など。 |
| 1147 第295図 PL-125 | 土製品 錘 | 283坑No14 | 長48 径18 孔3 重12.5g ほぼ完形 | 砂・白色鈳物・赤色鈳物 酸化 橙 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 1148 第119図 PL-107 | 土製品 錘 | 50住No74 | 長48 径17 孔3 重14.5g ほぼ完形 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 黒褐 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 1149 第119図 PL-107 | 土製品 錘 | 50住No69 | 長43 径20 孔2.5 重17.1g ほぼ完形 | 砂 酸化 にぶい黄橙 | 中心部縦に径3mmの穿孔。両端は面取り。赤色顔料塗布。 |
| 1150 第119図 PL-107 | 土製品 錘 | 50住No68 | 長(51)径18 孔4 重13.7g ほぼ完形 | 砂・白色鈳物・雲母 酸化 にぶい黄褐 | 中心部縦に径4mmの穿孔。 |
| 1151 第366図 PL-131 | 土製品 錘 | 5区表土 | 長42 径10 孔3 重4.5g 完形 | 砂・白色鈳物 酸化 黒褐 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 1152 第366図 PL-130 | 須恵器 紡錘車 | 5区表土 | 直(54)孔8 厚13 重35.7g | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 外面は全面燻し。上面に刻字「倭」。 |
| 1153 第366図 PL-130 | 土製品 紡錘車 | 5区表土 | 直57 孔11 厚16 重43.7g | 砂・白色鈳物 酸化 明赤 褐 | 焼成前穿孔。表面は寛などで、面取り有り。 |
| 1154 第44図 PL-93 | 須恵器 紡錘車 | 21住No1 | 直62 孔8 厚7 重30.4g | 砂・白色鈳物 還元 灰白 | 焼成前穿孔。表面は磨れている。回転糸切痕有り。 |
| 1155 第69図 PL-98 | 土製品 錘 | 32住No64 | 長52 径21 孔4 重17.1g ほぼ完形 | 砂・白色鈳物 酸化 にぶ い黄橙 | 中心部縦に径4mmの穿孔。 |
| 1156 第69図 PL-98 | 土製品 錘 | 32住No47 | 長39 径13 孔3 重5.4g 完形 | 砂・白色鈳物 酸化 橙 | 中心部縦に径3mmの穿孔。 |
| 1157 第365図 PL-129 | 瓦 平瓦 | 21区表土 | 長(88) 幅(72) 厚11 中央部破片 | 砂・小石・白色鈳物 還元 灰白 | 凹面布目痕 凸面ナメナメ |
| 1159 第152図 PL-110 | 漆 漆紙文書 | 63住No24 | 長(114) 幅(95) 厚1 胴部下半相当～ 底部相当4/5 | | 杯ないしは椀の底部に付着していた漆紙が、剥がれた物。 |
| 1160 第372図 PL-136 | 縄文石器 尖頭器 | 17区低地 No43 | 長(39) 幅11 厚4.5 重2.4g | チャート | |
| 1161 第372図 PL-136 | 縄文石器 尖頭器 | 4区表土 | 長(39) 幅16.5 厚5.5 重2.6g | チャート | |
| 1162 第372図 PL-136 | 縄文石器 石鏃 | 18区縄文包含 層No24 | 長(23.5) 幅13.5 厚4.0 重0.7g | チャート | |
| 1163 第372図 PL-136 | 縄文石器 石鏃 | 50住居跡No29 | 長27.5 幅13.5 厚4.5 重1.2g | チャート | |
| 1164 第372図 PL-136 | 縄文石器 石鏃 | 4区表土 | 長25.5 幅18.0 厚4.5 重1.5g | チャート | |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|---------------------|--------------------|---------------------------------|----------|-----------|
| 1165 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 鏃 | 48住居跡覆土 | 長17.0 幅(17.5) 厚4.0 重0.5g | 黒曜石 | |
| 1166 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 鏃 | 22区表土 | 長23.0 幅13.5 厚5.0 重1.0g | チャート | |
| 1167 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 鏃 | 389ピット覆 土 | 長21.0 幅15.0 厚3.0 重0.9g | チャート | |
| 1168 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 鏃 | 18区縄文包含 層No88 | 長26.0 幅16.0 厚3.5 重1.2g | チャート | |
| 1169 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 鏃 | 3掘立ピット 8覆土 | 長(25.0) 幅18.5 厚3.5 重0.9g | チャート | |
| 1170 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 鏃 | 5区表土 | 長(29.0) 幅18.0 厚3.5 重1.3g | チャート | |
| 1171 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 鏃 | 19区179ピッ トNo1 | 長33.0 幅20.0 厚4.0 重2.0g | チャート | |
| 1172 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 鏃 | 4区表土 | 長29.0 幅20.0 厚7.0 重3.3g | チャート | |
| 1173 第372図 PL-136 | 縄文石器 スクレイ パ ー | 5区表土 | 長61.5 幅36.5 厚11.0 重19.6g | チャート | |
| 1174 第372図 PL-136 | 縄文石器 スクレイ パ ー | 5区表土 | 長60.0 幅55.5 厚15.0 重52.4g | チャート | |
| 1175 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 核 | 22区表土 | 長24.0 幅28.0 厚13.5 重11.3g | 黒曜石 | |
| 1176 第372図 PL-136 | 縄文石器 石 核 | 5区表土 | 長38.0 幅52.5 厚26.5 重46.9g | チャート | |
| 1177 第372図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 5区表土 | 長(70.0) 幅70.0 厚18.0 重100.1g | 砂質頁岩 | |
| 1178 第372図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 54住居跡 No.7 | 長(71.0) 幅70.0 厚16.5 重109.2g | ホルンフェルス | |
| 1179 第373図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 3区表土 | 長(81.5) 幅97.5 厚25.0 重274.7g | ホルンフェルス | |
| 1180 第373図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 63住居跡 No18 | 長(93.5) 幅92.0 厚14.5 重184.4g | ホルンフェルス | |
| 1181 第373図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 5区表土 | 長158.5 幅92.0 厚24.5 重477.2g | ホルンフェルス | |
| 1182 第373図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 53溝 | 長183.0 幅70.5 厚28.0 重353.3g | ホルンフェルス | |
| 1183 第373図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 18区縄文包含 層 | 長(170.5) 幅79.5 厚42.5 重608.8g | ホルンフェルス | |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|---------------------|--------------------|-----------------------------------|-------------|---------------------------------|
| 1184 第373図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 2区 | 長113.0 幅55.5 厚16.5 重131.6g | ホルンフェルス | |
| 1185 第373図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 50住居跡No70 | 長(132.5) 幅72.5 厚14.5 重211.0g | ホルンフェルス | |
| 1186 第373図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 84溝 | 長143.0 幅78.0 厚22.0 重246.1g | ホルンフェルス | |
| 1187 第374図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 19区43溝No.2 | 長155.5 幅81.5 厚21.5 重311.2g | ホルンフェルス | |
| 1188 第374図 PL-137 | 縄文石器 打製石斧 | 59住居跡No20 | 長176.5 幅110.0 厚33.0 重798.0g | ホルンフェルス | |
| 1189 第374図 PL-138 | 縄文石器 磨製石斧 | 35住居跡掘り 方No.5 | 長67.0 幅33.0 厚13.0 重52.9g | 変玄武岩 | |
| 1190 第374図 PL-138 | 縄文石器 スタンプ 形石器 | | 長111.0 幅63.5 厚53.5 重592.0g | 溶結凝灰岩 | |
| 1191 第374図 PL-138 | 縄文石器 石皿 | 54住居跡No.9 | 長(134.5) 幅152.0 厚65.0 重1456.7g | 粗粒輝石安山岩 | |
| 1192 第374図 PL-138 | 縄文石器 くぼみ石 | 5区表土 | 長118.0 幅85.5 厚63.0 重488.2g | 粗粒輝石安山岩 | |
| 1193 第374図 PL-138 | 縄文石器 くぼみ石 | 53住居跡No.1 | 長129.5 幅78.5 厚40.0 重587.6g | 粗粒輝石安山岩 | |
| 1194 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 121土坑覆土 | 胴部片 | 繊維・ふつう・明赤褐 | 半截竹管によるC字状爪形紋。有尾式。 |
| 1195 第367図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 121土坑覆土 | 胴部片 | 細礫・ふつう・暗赤褐 | 付加条縄文。諸磯式。 |
| 1196 第367図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 196土坑No.1 | 口縁部片 | 細礫・良・明赤褐 | 無節LRを横位施紋。諸磯式。 |
| 1197 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 198土坑No.3 | 口縁部片 | 繊維・ふつう・赤黒 | 地紋に単節LRを横位施紋。半截竹管による押引紋。黒浜式。 |
| 1198 第367図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 198土坑No.6 | 口縁部片 | 細礫・良・明赤褐 | 付加条縄文。諸磯式。 |
| 1199 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 198土坑No.1 | 胴部片 | 繊維・ふつう・にぶい橙 | 単節RLを横位施紋。黒浜式。 |
| 1200 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 16区199土坑 覆土 | 胴部片 | 繊維・ふつう・にぶい橙 | 単節LRを横位施紋。黒浜式。 |
| 1201 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 201土坑No.17 | 胴部片 | 繊維・ふつう・橙 | 単節LR、RLを横位施紋。半截竹管によるC字状爪形紋。黒浜式。 |
| 1202 第367図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 201土坑No.3 ・4 | 胴部片 | 細礫・ふつう・赤黒 | 単節RLを横位施紋。諸磯式。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------|--------------|----------------------|--|
| 1203 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 5区51住居跡 No.7 | 胴部片 | 黒色粒・ふつう・明赤褐 | 山形押型紋を縦位施紋。樋沢式か。 |
| 1204 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 18区表土 | 胴部片 | 繊維、白色粒・ふつう・ 赤黒 | 地紋に単節 RL を横位施紋。半截竹管による C 字 状爪形紋。円形刺突。黒浜式。 |
| 1205 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 100住居跡 No.7 | 口縁部片 | 繊維・ふつう・橙 | 半截竹管によるコンパス紋を横位多段に施紋。黒 浜式。 |
| 1206 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 84溝覆土 | 口縁部片 | 繊維・良・にぶい橙 | 単節 LR を横位施紋。黒浜式。 |
| 1207 第367図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 21区縄文包含 層 | 胴部片 | 繊維・ふつう・橙 | 単節 RL を横位施紋。黒浜式。 |
| 1208 第367図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 18区表土 | 胴部片 | 白色粒、黒色粒・良・暗 赤褐 | 単節 RL を横位施紋。半截竹管による C 字状爪形 紋。諸磯 a 式。 |
| 1209 第367図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 21区縄文包含 層 | 口縁部片 | 白色粒・良・明赤褐 | 結節 RL を横位施紋。口唇部にキザミ。円形の孔を 穿つ。諸磯 a 式。 |
| 1210 第368図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 単節 RL を横位施紋。浮線紋を 3 条貼付。諸磯 b 式。 |
| 1211 第368図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 褐 | C 字状爪形紋を付した浮線紋を多段に貼付。諸磯 b 式。 |
| 1212 第368図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 19区43溝No.5 | 胴部片 | 細礫、白色粒・良・にぶ い橙 | 付加条縄文。諸磯式。 |
| 1213 第368図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 5区ピット 292覆土 | 口縁部片 | 白色粒、石英・ふつう・ にぶい黄橙 | 押引紋。口唇部に刺突列。浮島式。 |
| 1214 第368図 PL-132 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 口縁部～胴部 | 白色粒・良・にぶい橙 | 口唇下縦位短沈線。斜位の刺突列やロッキングを 横位にめぐらせて区画し、区画内は半截竹管による 押し引きで横位菱形のモチーフを描く。浮島 式。 |
| 1215 第368図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 金雲母、石英・ふつう・ 明赤褐 | 直線と波状の沈線を並行施紋。刺突列。勝坂式。 |
| 1216 第368図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 49住居跡 No.135 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 波状口縁の波頂部。隆帯によるモチーフ。RL 施 紋。加曾利 E 3 式。 |
| 1217 第368図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 5区54住居跡 No.8 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 波状口縁。波頂部に透かし孔の痕跡あり。沈線区 画内に RL 縄文充填。加曾利 E 3 式。 |
| 1218 第368図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 隆帯と沈線による楕円状区画。単節 RL を充填。加 曾利 E 3 式。 |
| 1219 第368図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 口縁部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 隆帯と沈線による楕円状区画。単節 RL を充填。加 曾利 E 3 式。 |
| 1220 第368図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 58住居跡 No.7 | 口縁部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 褐 | 波状口縁。波頂下に隆帯による J 字状の貼付。隆 帯により口縁部と胴部の紋様帯を画す。胴部には 沈線による縦位楕円状区画と垂下沈線を施し、RL 縦位充填。加曾利 E 3 式。 |
| 1221 第368図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 口縁部片 | 白色粒・ふつう・橙 | 波状口縁。口縁部に隆帯による楕円状の区画を配 し、RL を充填。胴部は垂下沈線と RL 縦位施紋。 加曾利 E 3 式。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種・器種 | 遺構名称・遺構番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|-----------------|--------------|---------------------|--|
| 1222 第369図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 垂下沈線と横位楕円状区画。RL 充填。加曾利 E 4 式。 |
| 1223 第369図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 2条の沈線による縦位楕円状区画。RL を縦位施紋。加曾利 E 4 式。 |
| 1224 第369図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 口縁部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 横位隆帯により口縁部を区画し、無紋帯を形成。 以下 RL 施紋。加曾利 E 4 式。 |
| 1225 第369図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 58住居跡覆土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 沈線による横位楕円状区画に RL 横位充填。垂下 沈線と縦位 RL 施紋。加曾利 E 3 式。 |
| 1226 第368図 PL-131 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐 | 垂下沈線と縦位 RL 施紋。加曾利 E 3 式。 |
| 1227 第369図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 6区表土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 垂下沈線と縦位 RL 施紋。加曾利 E 式。 |
| 1228 第369図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 垂下沈線と縦位 RL 施紋。加曾利 E 式。 |
| 1229 第369図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 垂下沈線と縦位 RL 施紋。加曾利 E 式。 |
| 1230 第369図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 垂下沈線と縦位 RL 施紋。加曾利 E 式。 |
| 1231 第369図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐 | 隆帯による曲線状区画。縦位 RL 施紋。加曾利 E 4 式。 |
| 1232 第369図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 2条並行隆帯による曲線状区画。縦位 LR 施紋。加 曾利 E 4 式。 |
| 1233 第369図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 57住居跡 No.7 | 胴部片 | 細礫、白色粒・良・橙 | 沈線による縦位楕円状区画に縦位 RL 充填。加曾 利 E 4 式。 |
| 1234 第369図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐 | 垂下沈線と縦位楕円状区画。縦位 RL 施紋。加曾利 E 4 式。 |
| 1235 第369図 PL-133 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐 | 隆帯による縦位楕円状区画。斜位 RL 充填。加曾利 E 4 式。 |
| 1236 第369図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・良・橙 | 横位隆帯。RL 横位施紋。加曾利 E 式。 |
| 1237 第369図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐 | 円形刺突を挟んだ沈線により横位区画。垂下沈線 と縦位条線。加曾利 E 式。 |
| 1238 第369図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 縦位条線。加曾利 E 式。 |
| 1239 第369図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 5区表土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・浅黄橙 | 垂下沈線と縦位条線。加曾利 E 式。 |
| 1240 第370図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 29住居跡 No.116 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 黒褐 | 突起部。沈線区画と RL 施紋。称名寺 I 式。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|--------------|--------------------|--------------|------------------------|---|
| 1241 第370図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 22区表土 | 口縁部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 橋状突起。称名寺I式。 |
| 1242 第370図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 53溝覆土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐 | 沈線によるモチーフにLR充填。称名寺I式。 |
| 1243 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 2区表土 | 口縁部片 | 白色粒・ふつう・明赤褐 | 沈線によるモチーフ。称名寺II式。 |
| 1244 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 18区縄文包含 層 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・浅黄橙 | 沈線によるモチーフと列点。称名寺II式。 |
| 1245 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 91住覆土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・黒褐 | 沈線によるモチーフと列点。称名寺II式。 |
| 1246 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 18区表土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | J字状沈線と列点。称名寺II式。 |
| 1247 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 22区表土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 沈線によるモチーフと列点。称名寺II式。 |
| 1248 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 22区表土 | 胴部片 | 白色粒・やや不良・黒褐 | 沈線によるモチーフと列点。称名寺II式。 |
| 1249 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 18区表土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 刺突を施した隆帯により横位区画。沈線によるモ チーフと列点。称名寺II式。 |
| 1250 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 19区表土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 沈線によるモチーフ。称名寺II式。 |
| 1251 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 2区・18区表 土 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 橙 | 沈線によるモチーフ。称名寺II式。 |
| 1252 第370図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 18区 | 胴部片 | 白色粒・ふつう・にぶい 黄橙 | 沈線によるモチーフと列点。称名寺II式。 |
| 1253 第370図 PL-135 | 縄文土器 注口土器 | 26住No.7 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 沈線によるJ字状区画。称名寺II式。 |
| 1254 第370図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 43溝No.1 | 底部片 | 白色粒・ふつう・浅黄橙 | 紋様下の無紋部。称名寺II式。 |
| 1255 第370図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 口縁部片 | 白色粒・やや不良・にぶ い橙 | 刺突と口縁に沿う沈線。堀之内1式。 |
| 1256 第370図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 16区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 渦巻状沈線と縦位LR施紋。堀之内1式。 |
| 1257 第371図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒、石英・ふ つう・にぶい橙 | 集合沈線による縦位区画。区画内も集合沈線を斜位 に充填。堀之内1式。 |
| 1258 第371図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 浅黄橙 | キザミを付した隆線による横位区画。深い沈線に よる弧線紋を充填。堀之内1式。 |
| 1259 第371図 PL-135 | 縄文土器 深鉢 | 7坑覆土 | 口縁～胴部片 | 細礫、白色粒・良・明赤 褐 | 波状口縁。横位隆線により紋様帯を区画。さらに キザミを付した縦位隆線で分割。紋様帯内は縦位 鋸歯状沈線により充填。紋様帯下は無紋。堀之内 1式。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------|----------------------------|----------------------|---|
| 1260 第371図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 4区表土 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 橙 | 口縁部にキザミを付した隆線を横位にめぐらし、 以下は沈線によるモチーフ。堀之内2式。 |
| 1261 第371図 PL-134 | 縄文土器 深鉢 | 6区表土 | 胴部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい黄橙 | 沈線による横位、斜位のモチーフ。LR充填。堀之 内2式。 |
| 1262 第371図 PL-136 | 縄文土器 深鉢 | 21区縄文包含 層 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・良・明赤 褐 | 沈線によるモチーフ。加曾利B式。 |
| 1263 第371図 PL-136 | 縄文土器 深鉢 | 49住居跡No50 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ にぶい橙 | 内湾する器形。3条の凹線を横位にめぐらし、以 下LR横位施紋。加曾利B式。 |
| 1264 第371図 PL-136 | 縄文土器 深鉢 | 49住居跡覆土 | 胴部片 | 白色粒、石英・ふつう・ 橙 | LR地紋。横位凹線。加曾利B式。 |
| 1265 第371図 PL-136 | 縄文土器 深鉢 | 19住居跡覆土 | 口縁部片 | 細礫、白色粒・ふつう・ 浅黄橙 | 口唇直下にキザミ。沈線による入組状のモチーフ。 晩期。 |
| 1266 第371図 PL-136 | 縄文土器 深鉢 | 19住居跡覆土 | 口縁部片 | | 1265, 1267, 1268と同一個体。 |
| 1267 第371図 PL-136 | 縄文土器 深鉢 | 19住居跡覆土 | 胴部片 | | 1265, 1266, 1268と同一個体。 |
| 1268 第371図 PL-136 | 縄文土器 深鉢 | 19住居跡覆土 | 胴部片 | | 1265, 1266, 1267と同一個体。 |
| 1269 第365図 PL-129 | 鉄製品 刀子 | 22区表土 | 長(102) 幅(16) 厚5 身～茎の一部 | | 鍛造品。 |
| 1270 第365図 PL-130 | 鉄製品 釘? | 22区表土 | 長(102) 幅4.5 厚4 頭部欠 | | 角棒状品。釘の一部か。 |
| 1271 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 22区表土 | 長(37) 径4.5 | | 丸棒状品。 |
| 1272 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 22区表土 | 長(32) 幅4.5 厚4 | | 角棒状品。 |
| 1273 第365図 PL-129 | 鉄製品 刀子 | 22区表土 | 長(42) 幅(13.5) 厚4.5 身の一部 | | 鍛造品。 |
| 1274 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 22区表土 | 長37 幅14 厚4.5 | | 板状品が曲げられている形態。 |
| 1275 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 22区表土 | 長23 幅22 厚4 | | 板状品。 |
| 1276 第69図 PL-98 | 鉄製品 | 32住居No84 | 長55 幅19 厚3.5 | | 板状品。先端は曲げられている。 |
| 1277 第69図 PL-98 | 鉄製品 刀子 | 32住居No52 | 長(96) 幅(14) 厚5 身の一部～茎 | | 鍛造品。茎の回りには柄の一部が残っている。留 め金具も残存。 |
| 1278 第182図 PL-114 | 鉄製品 | 79住居No1 | 長(35) 幅5.5 厚4 | | 角棒状。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|------------|--------------------|-----------------------------|----------|---------------------|
| 1279 第72図 PL-98 | 鉄製品 | 33住居覆土 | 長(15) 幅22 厚15 | | 釘の頭か。 |
| 1280 第72図 PL-98 | 鉄製品 | 33住居覆土 | 長(15) 幅12 厚13 | | 釘の頭か。 |
| 1281 第365図 PL-129 | 鉄製品 蹄鉄 | 21区表土 | 長113 幅115 厚6 | | 近代以降か。 |
| 1282 第64図 PL-97 | 鉄製品 釘 | 30住居覆土 | 長(25) 幅5.5 厚3 頭端部・先端部欠 | | 釘の一部。 |
| 1283 第68図 PL-98 | 鉄製品 鎌 | 32住居覆土 | 長(57) 幅28 厚4.5 先端部欠 | | 鎌の刃部～基部。 |
| 1284 第91図 PL-103 | 鉄製品 | 39住居No15 | 長(57) 幅14 厚1.5 | | 板状品。先端に孔あり。 |
| 1285 第263図 PL-122 | 鉄製品 鋸? | 69溝覆土 | 長(31) 幅(29) 厚5.5 | | 角棒状品が曲げられた形。鋸の一部か。 |
| 1286 第365図 PL-129 | 鉄製品 鎌? | 22区表土 | 長(49) 幅(29) 厚4 | | 板状品。鎌の一部か。 |
| 1287 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 22区表土 | 長(21) 幅5 厚2 | | 角棒状品。 |
| 1288 第69図 PL-98 | 鉄製品 鎌 | 32住居No65 | 長(44) 幅24 厚2.5 | | 板状品。鎌か。 |
| 1289 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 22区表土 | 長(41) 幅5.5 厚2.0 | | 板状品。刀子の茎か。 |
| 1290 第365図 PL-130 | 鉄製品 釘 | 22区表土 | 長(25) 幅5.0 厚4.5 | | 棒状品。釘の一部か。 |
| 1291 第365図 PL-130 | 鉄製品 釘 | 16区表土 | 長(30) 幅4.5 厚2.0 | | 棒状品。釘の一部か。 |
| 1292 第365図 PL-130 | 鉄滓 | 22区表土 | 長86 幅61 厚24 重 | | 椀型滓の一部。 |
| 1293 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 22区表土 | 長(31) 幅7.0 厚4.5 | | 棒状品。 |
| 1294 第365図 PL-129 | 鉄製品 刀子 | 5区表土 | 長(115) 幅15.5 厚4.0 身の先端部欠 | | 刀子の身～茎。 |
| 1295 第365図 PL-130 | 鉄製品 釘 | 5区表土 | 長66 幅10.5 厚8.0 | | 釘の中央部から先端部が曲げられている。 |
| 1296 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 5区表土 | 径30 幅6.0 厚3.0 | | リング状。一箇所突起。 |
| 1297 第20図 PL-91 | 鉄製品 釘 | 8住居覆土 | 長(70) 幅6.5 厚6.0 頭部欠 | | 角棒状。釘の頭部が欠けたものか。 |

遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-------------|--------------------|-------------------------------|----------|----------------------|
| 1298 第62図 PL-96 | 鉄製品 釘 | 29住居No.1 | 長44 幅8.5 厚4.0 ほぼ完形 | | 釘の先端部が一部欠。 |
| 1299 第152図 PL-110 | 鉄製品 刀子 | 63住居No.1 | 長(79) 幅7.5 厚3.0 身の先端・茎の端部欠 | | 刀子の身の先端部と茎の端部がかけたもの。 |
| 1300 第152図 PL-110 | 鉄製品 釘 | 63住居南東隅 | 長(71) 幅12.5 厚5.5 頭部欠 | | 角棒状。釘の頭部が欠けたものか。 |
| 1301 第139図 PL-109 | 鉄製品 鋤先 | 58住居覆土 | 長(112) 幅33 厚5.0 鋤先1/2 | | 鋤先。 |
| 1302 第9図 PL-90 | 鉄製品 | 3住居No.25 | 長37 幅12.5 厚12.0 完形 | | 両端に凹みあり。 |
| 1303 第9図 PL-90 | 鉄製品 鏃 ? | 3住居No.47 | 長(82) 幅9.0 厚4.5 一部欠 | | 鏃の一部か。 |
| 1304 第9図 PL-90 | 鉄製品 釘 | 3住居覆土 | 長(82) 幅6.5 厚5.0 頭部～身上半欠 | | 釘の一部か。 |
| 1305 第9図 PL-90 | 鉄製品 | 3住居覆土 | 長(23) 幅7.0 厚4.0 | | 刀子の茎か。 |
| 1306 第109図 PL-105 | 鉄製品 刀子 ? | 48住居No.73 | 長(103) 幅23.0 厚5.0 身上半～茎 | | 刀子の身上半～茎か。 |
| 1307 第114図 PL-106 | 鉄製品 刀子 | 49住居No.123 | 長(63) 幅8.0 厚3.5 身下端～茎 | | 刀子の身上端～茎か。 |
| 1308 第62図 PL-96 | 鉄製品 刀子 | 29住居掘り方 | 長(63) 幅13.0 厚6.0 身～茎上端 | | 刀子の身～茎上端か。 |
| 1309 第9図 PL-90 | 鉄製品 釘 | 3住居No.14 | 長(82) 幅8.0 厚7.5 身の先端欠 | | 釘の頭～身。 |
| 1311 第365図 PL-130 | 鉄製品 釘 | 5区表土 | 長(33) 幅6.0 厚4.5 身の先端欠 | | 釘の頭～身。 |
| 1312 第365図 PL-130 | 鉄製品 | 5区表土 | 径30 厚10.0 | | 錘 ? |
| 1313 第365図 PL-130 | 鉄製品 釘 | 5区表土 | 長(29.5) 幅7.5 厚5.5 中央部～先端部 | | 釘身の中央部～先端部。 |
| 1314 第365図 PL-129 | 鉄製品 刀子 ? | 5区表土 | 長(26.5) 幅9.0 厚4.0 身の一部 | | 刀子の身の一部か。 |
| 1315 第125図 PL-108 | 鉄製品 鎌 | 51住居No.7 | 長166 幅42.5 厚2.5 ほぼ完形 | | 鎌の完形品。 |
| 1316 第62図 PL-97 | 鉄製品 刀子 | 29住居No.2 | 長(143) 幅12.5 厚4.0 身～茎上半 | | 刀子の身～茎上半。茎に柄の木部残る。 |
| 1317 第50図 PL-94 | 鉄製品 鎌 | 25住居No.23 | 長205 幅43.0 厚4.5 ほぼ完形 | | 鎌の完形品。 |

第三章 遺物観察表

| 遺物番号 | 土器種 ・器種 | 遺構名称・遺構 番号・出土状態 | 計測値(mm)・遺存状態 | 胎土・焼成・色調 | 器形・技法の特徴他 |
|-------------------------|-------------|--------------------|--------------------------------|----------|-------------------------------|
| 1318 第139図 PL-109 | 鉄製品 紡錘車 | 58住居覆土 | 長(273) 径55.0 幅7.5 厚6.5 ほぼ完形 | | 紡錘車のほぼ完形品。軸部の両端が一部欠。 |
| 1319 第35図 PL-92 | 鉄製品 馬具 | 17住居No.3 | 長92 幅58.0 厚11.0~3.5 ほぼ完形 | | 轡の銜部か。 |
| 1320 第365図 PL-129 | 鉄製品 刀子 | 3区表土 | 長(71) 幅10.5 厚2.5 身~茎の一部 | | 刀子の身~茎の一部。 |
| 1321 第101図 PL-103 | 鉄製品 刀子 | 45住居No.2 | 長(47) 幅14.5 厚1.5 身の一部 | | 刀子の身の一部か。 |
| 1322 第365図 PL-129 | 鉄製品 斧 | 4区表土 | 長68 幅36 厚4.0 ほぼ完形 | | 斧の頭部の完形品。 |
| 1323 第365図 PL-129 | 鉄製品 刀子 | 4区表土 | 長(46) 幅14.0 厚3.0 身基部~茎の一部 | | 刀子の身基部~茎の一部か。 |
| 1324 第365図 PL-130 | 鉄製品 火打金? | 18区表土 | 長(55) 幅(41) 厚3.5 | | 板状品。火打金か。 |
| 1325 第11図 PL-90 | 鉄製品 刀子 | 4住居No.10 | 長(127) 幅11.0 厚2.5 ほぼ完形 | | 刀子のほぼ完形品。身の先端・茎の端欠。茎に柄の基部一部残。 |
| 1326 第203図 PL-116 | 鉄製品 馬具 | 90住居No.12 | 長(97) 幅48 厚4.5~7.5 一部欠 | | 鞍留め金具か。 |
| 1327 第365図 PL-129 | 鉄製品 鏃 | 5区表土 | 長(92) 幅18.0 厚3.5 | | 雁股の鏃の一部か。 |
| 1328 第365図 PL-129 | 鉄製品 刀子 | 22区表土 | 長(132) 幅12.5 厚5.0 身~茎の一部 | | 刀子の身上半~茎。 |
| 1329 第69図 PL-98 | 鉄 滓 | 32住居No.57 | 長40 幅37 厚23 重39.7g | | 鉄分が含まれている。 |
| 1330 第88図 PL-102 | 鉄 滓 | 38住居No.2 | 長92 幅57 厚41 重224.1g | | 鉄分が含まれている。 |
| 1331 第182図 PL-114 | 鉄 滓 | 79住居No.26 | 長51 幅55 厚47 重104.5g | | 鉄分が含まれている。 |
| 1332 第262図 PL-122 | 鉄 滓 | 59溝No.26 | 長67 幅37 厚47 重180.5g | | 鉄分が含まれている。 |
| 1333 第365図 PL-130 | 鉄 滓 | 5区表土 | 長55 幅70 厚26 重89.9g | | 鉄分が含まれている。 |
| 1334 第365図 PL-130 | 鉄 滓 | 5区表土 | 長50 幅62 厚18 重57.6g | | 椀型滓の一部か。 |

第IV章 発掘調査の成果と問題点

第1節 東今泉鹿島遺跡における自然科学分析

I. 東今泉鹿島遺跡におけるテフラ分析

1. はじめに

群馬県域とその周辺に分布する後期更新世以降に形成された地層の中には、赤城、榛名、浅間など北関東地方とその周辺の火山、中部地方や中国地方さらには九州地方などの火山に由来するテフラ（火山碎屑物、いわゆる火山灰）が、多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。

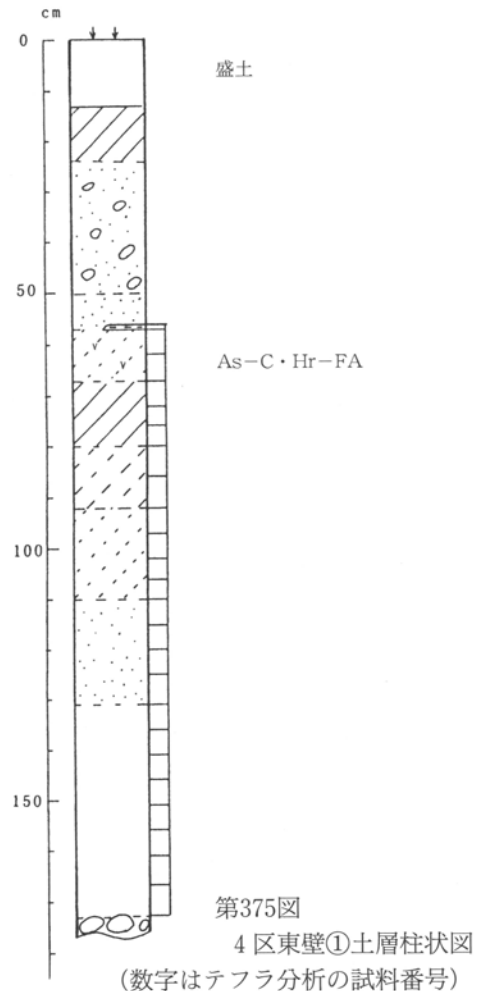
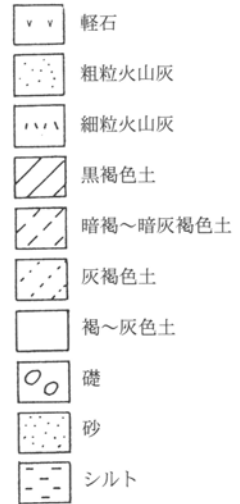
そこで、層位や年代が不明なテフラや土層が検出された東今泉鹿島遺跡においても、地質調査を行って土層の層序を記載するとともに、テフラ検出分析、火山ガラス比分析、屈折率測定を行って指標テフラとの同定を行い、土層の層位や年代に関する資料を収集することになった。調査分析の対象となった地点は、4区東壁①、X=130-Y=350グリッド、4区南壁、7区、4区東壁②、3区4号トレンチ、3区西壁、19区東壁、19区西壁、YB区（1区深掘1T西壁）、17区東壁、18区西壁南地点、18区西壁北地点の13地点である

2. 土層の層序

(1) 4区東壁①

4区東壁①では、礫層の上位に、下位より褐色土（層厚42cm）、砂混じり黄灰色土（層厚13cm）、緑灰色砂質土（層厚12cm）、灰褐色土（層厚25cm）、灰色がかった褐色土（層厚21cm）、灰褐色土（層厚18cm）、灰色がかった暗褐色土（層厚12cm）、黒褐色土（層厚13cm）、白色軽石混じりで若干色調が暗い灰色土（層厚11cm、軽石の最大径7mm）、褐色シルト層（層厚1cm）、灰色砂層（層厚7cm）、亜円礫混じり灰色砂礫

株式会社 古環境研究所



第IV章 発掘調査の成果と問題点

層(層厚25cm、礫の最大径37mm)、黒灰褐色土(層厚11cm)、盛土(層厚13cm)が認められる(図375)。発掘調査では、褐色シルト層の直下から水田跡が検出されている。

(2) X=130-Y=350グリッド

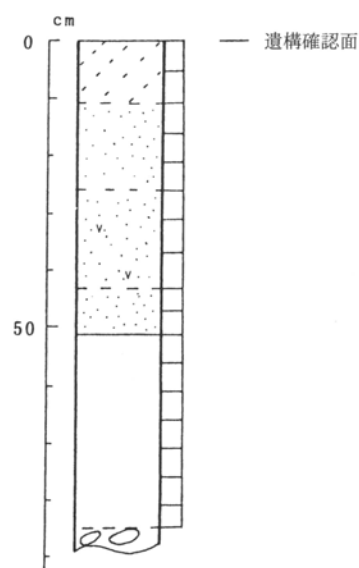
X=130-Y=350グリッドでは、亜円礫層(礫の最大径213mm)の上位に、下位より褐色土(層厚34cm)、成層した灰色砂層(層厚25cm)、柔らかい灰色砂層(層厚15cm)、若干色調が暗い灰色砂質土(層厚11cm)、が認められる(図376)。これらのうち成層した砂層は、下部の灰色砂層(層厚8cm)と、上部の黄色軽石混じり灰色砂層(層厚17cm)からなる(図376)。

(3) 4区南壁

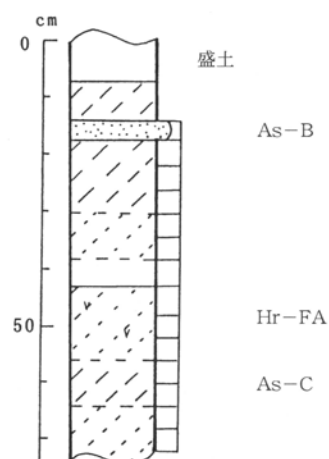
4区南壁では、下位より灰色砂質土(層厚8cm以上)、暗灰褐色土(層厚8cm)、白色軽石混じり灰色土(層厚13cm、軽石の最大径4mm)、黄灰色砂層(層厚5cm)、灰色砂質土(層厚8cm)、砂混じり暗灰色土(層厚13cm)、黄灰色粗粒火山灰層(層厚3cm)、砂混じり暗灰色土(層厚8cm)、盛土(層厚57cm)が認められる(図377)。

(4) 7区

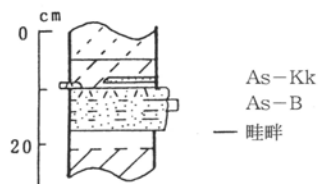
7区では、下位より黒灰褐色土(層厚3cm以上)、褐色土(層厚3cm)、成層したテフラ層(層厚7.3cm)、青灰色粗粒火山灰層(層厚0.2cm)、砂混じり暗灰色土(層厚0.8cm)、桃灰色砂層(層厚0.6cm)、砂混じり暗灰色土(層厚3cm)、灰褐色砂質土(層厚5cm以上)が認められる。成層したテフラ層は、下位より灰色粗粒火山灰層(層厚1.8cm)、桃色粗粒火山灰層(層厚1.5cm)、黄灰色粗粒火山灰層(層厚2cm)、桃色砂質細粒火山灰層(層厚2cm)からなる。このテフラ層は、層相から1108(天仁元)年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B、荒牧, 1968、新井, 1979)に同定される。発掘調査では、このテフラ層の直下から水田跡が検出されている。またその直上の青灰色粗粒火山灰層については、その層相から



第376図 X=36.130・Y=-39.350グリッドの土層柱状図



第377図 4区南壁土層柱状図

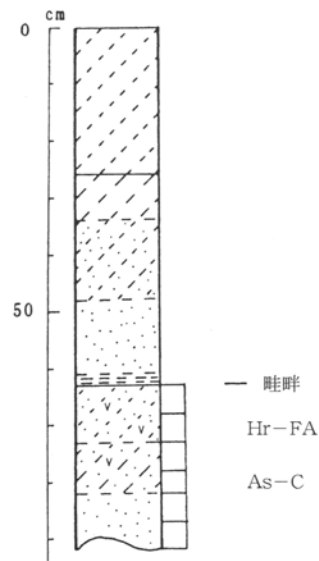


第378図 7区土層柱状図(向矢部遺跡)

1128（太治3）年に浅間火山から噴出したと考えられている浅間粕川テフラ(As-Kk、早田, 1991、1995)に同定される。

(5) 4区東壁②

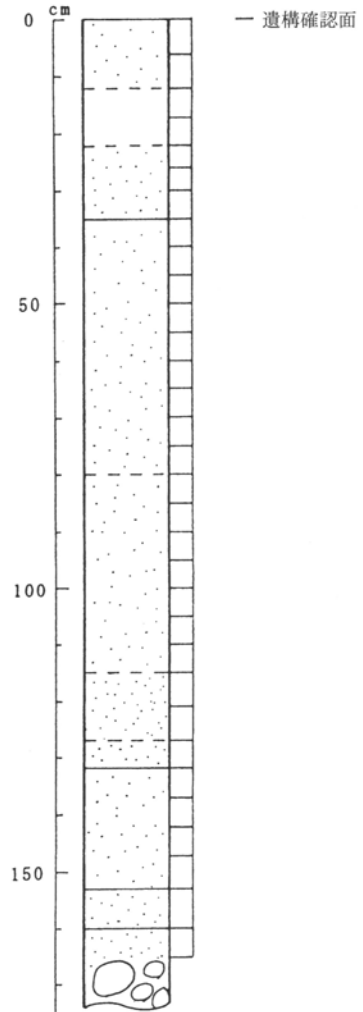
4区東壁②では、下位より黄灰色砂質土（層厚10cm以上）、白色軽石（最大径3mm）および黄灰色粗粒火山灰混じり暗灰褐色土（層厚9cm）、白色粗粒軽石混じり灰褐色土（層厚10cm、軽石の最大径13mm）、黄灰色シルト層（層厚2cm）、亜円礫混じり灰色砂層（層厚13cm、礫の最大径8mm）、灰褐色砂質土（層厚14cm）、暗灰褐色土（層厚8cm）、灰褐色表土（層厚26cm）が認められる（図379）。これらのうち、黄灰色シルト層の直下からは畦畔が検出されている。



第379図 4区東壁②土層柱状図

(6) 3区4号トレンチ

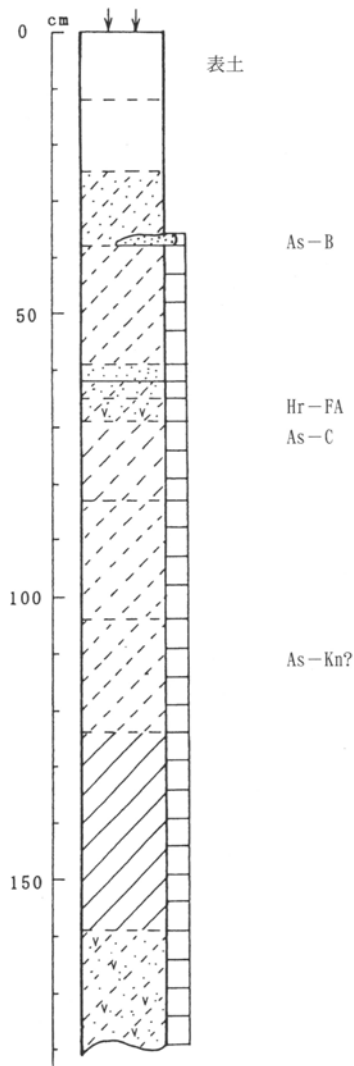
3区4号トレンチでは、亜円礫層の上位に、下位より灰色砂層（層厚5cm）、灰色砂層（層厚7cm）、黄灰色砂層（層厚21cm）、灰色砂層（層厚5cm）、わずかに褐色がかかった灰色砂層（層厚12cm）、黄褐色砂層（層厚35cm）、砂混じり褐色土（層厚45cm）、円磨された黄白色軽石（最大径21mm、試料6'）混じり灰色砂層（層厚13cm）、灰色砂質土（層厚10cm）、黄灰色砂質土（層厚12cm）が認められる（図380）。



第380図 3区4号トレンチ土層柱状図

(7) 3区西壁

埋没谷が認められた3区西壁では、下位より黄白色粗粒火山灰混じり灰褐色砂質土（層厚21cm以上）、黒灰褐色土（層厚35cm）、黄色がかかった灰褐色土（層厚21cm）、暗灰褐色土（層厚14cm）、白色軽石（最大径3mm）および黄灰色粗粒火山灰を多く含む灰褐色土（層厚4cm）、白色軽石（最大径3mm）および黄灰色粗粒火山灰混じり灰褐色土（層厚3cm）、黄灰色砂層（層厚3cm）、白色軽石混じり灰褐色土（層厚21cm、軽石の最大径6mm）、黄灰色粗粒火山灰層（層厚2cm）、砂混じり灰褐色土（層厚13cm）、黄灰色土（層厚13cm）、灰色表土（層厚12cm）が認められる（図381）。



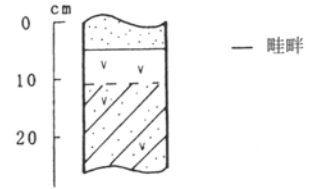
第381図 3区西壁土層柱状図

(8) 19区東壁

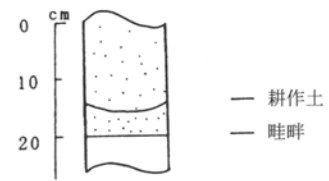
19区東壁では、下位より白色軽石（最大径4mm）および黄灰色粗粒火山灰混じり黒灰褐色土（層厚15cm）、白色軽石混じり灰色土（層厚6cm、軽石の最大径5mm）、黄灰色砂層（層厚5cm以上）が認められる（図382）。これらのうち、黄灰色砂層の直下から畦畔が検出されている。

(9) 19区西壁

19区西壁では、下位より褐色がかかった灰色土（層厚6cm）、黄灰色砂層（層厚5cm）が認められる（図383）。黄灰色砂層の上位には耕作痕が認められ、灰



第382図 19区東壁土層柱状図



第383図 19区西壁土層柱状図

褐色砂質土により埋没している。

(10) YB区（1区深掘1T西壁）

(11) 17区東壁

17区東壁では、下位より灰色砂層（層厚11cm以上）、黒泥層（層厚13cm）、灰色粗粒火山灰層（層厚2cm）、暗灰色泥層（層厚0.8cm）、灰色泥層（層厚2cm）、暗灰色泥層（層厚0.7cm）、灰色泥層（層厚1cm）、白色軽石混じり桃色粗粒火山灰層（層厚2cm、軽石の最大径7mm）、暗灰色泥層（層厚3cm）、若干黄色がかかった灰色粘質土（層厚16cm）、灰色粘質土（層厚5cm）、

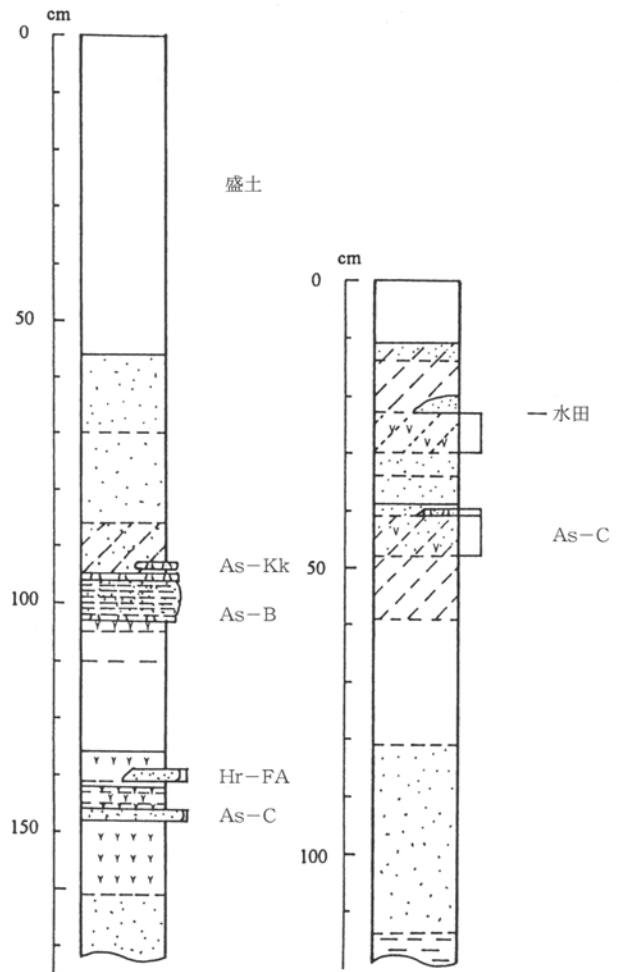
黒泥層(層厚 2 cm)、成層したテフラ層(層厚4.6cm)、砂混じり暗灰色土(層厚0.2cm)、灰色細粒火山灰層(層厚0.3cm)、砂混じり暗灰色土(層厚 7 cm)、砂混じり灰色土(層厚16cm)、砂混じりで若干黄色がかった灰色土(層厚14cm)、盛土(層厚56cm)が認められる(図384)。

これらのうち成層したテフラ層は、下位より灰色砂質細粒火山灰層(層厚0.2cm)、黄褐色粗粒火山灰層(層厚0.5cm)、暗灰色粗粒火山灰層(層厚0.2cm)、桃色粗粒火山灰層(層厚 1 cm)、暗灰色粗粒火山灰層(層厚0.3cm)、黄色粗粒火山灰層(層厚0.7cm)、暗灰色粗粒火山灰層(層厚0.4cm)、桃色細粒火山灰層(層厚1.3cm)からなる。このテフラ層は、層相から1108(天仁元)年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B、荒牧, 1968、新井, 1979)に同定される。また、その上位の灰色細粒火山灰層については、層位や層相などから、1128(大治3)年に浅間火山から噴出したと考えられている浅間粕川テフラ(As-Kk、1128年、早田, 1991、1995、1996、2004)に同定される。

(12) 18区西壁南地点

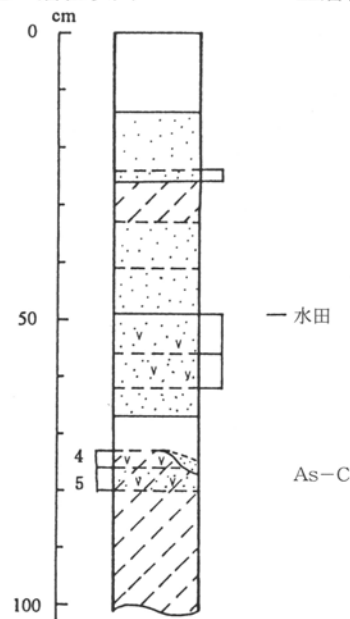
18区西壁南地点では、下位より黄色シルト層(層厚 5 cm)、黄色砂質土(層厚33cm)、灰色土(層厚22 cm)、暗灰褐色土(層厚11cm)、黄灰色粗粒火山灰や白色細粒軽石混じり暗褐色土(層厚 7 cm、軽石の最大径 3 mm)、桃色細粒砂層(層厚0.6cm、レンズ状)、灰色砂質土(層厚 1 cm)、黄灰色砂層(層厚 5 cm)、黄色砂層(層厚 4 cm)、白色軽石を多く含む灰褐色土(層厚 7 cm、軽石の最大径 5 mm)、灰色砂層(層厚 3 cm)、暗灰褐色土(層厚 6 cm)、黄色粗粒火山灰を多く含む暗灰褐色土(層厚 3 cm)、灰色表土(層厚11cm)が認められる。

これらのうち灰色砂層の直下からは水田遺構が検出されている。また暗灰褐色土中に含まれる黄色粗粒火山灰については、その層位や岩相などから As-B に由来する可能性が考えられる。



第384図 17区東壁土層柱状図

第385図 18区西壁南地点土層柱状図



第386図 18区西壁北地点土層柱状図

第IV章 発掘調査の成果と問題点

(13) 18区西壁北地点

18区西壁北地点では、下位より暗灰褐色土（層厚21cm以上）、白色細粒軽石に富む暗灰褐色土（層厚4cm、軽石の最大径3mm）、白色軽石混じり暗灰褐色土（層厚3cm、軽石の最大径3mm）、溝状遺構を埋める黄白色砂層（最大層厚3cm）、灰色土（層厚6cm）、黄色砂層（層厚5cm）、白色軽石混じり灰褐色土（層厚6cm）、白色軽石混じり灰色土（層厚7cm）、黄灰色砂層（層厚8cm）、灰色砂質土（層厚8cm）、暗灰褐色土（層厚7cm）、黄色砂層（層厚2cm）、砂混じり灰色土（層厚10cm）、盛土（層厚14cm）が認められる（図386）。

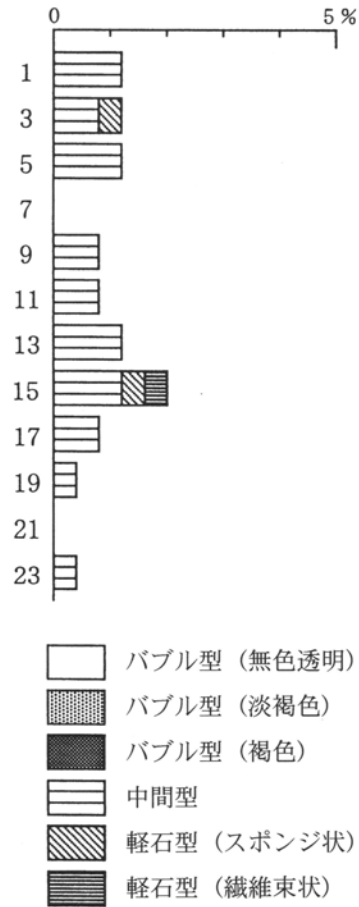
これらのうち、下位の黄色砂層の直下から比較的大きい溝状遺構、黄灰色砂層の直下から水田遺構が検出されている。また上位の黄色砂層のすぐ下位にある暗灰褐色土基底が、9世紀の住居址の確認面とされているらしい。

3. 火山ガラス比分析

(1) 分析試料と分析方法

火山ガラス質の指標テフラの層位を明らかにするために、4区東壁①において採取された試料のうち12点を対象に火山ガラス比分析を行った。分析の手順は次の通りである。

- 1) 試料12gを秤量。
- 2) 超音波洗浄により泥分を除却。



第387図 4区東壁火山ガラス比ダイヤグラム

第8表 4区東壁①における火山ガラス比分析結果

| 地点 | 試料 | bw(cl) | bw(pb) | bw(br) | md | pm(sp) | pm(fb) | その他 | 合計 |
|-------|----|--------|--------|--------|----|--------|--------|-----|-----|
| 4区東壁① | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 247 | 250 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 247 | 250 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 247 | 250 |
| | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 250 | 250 |
| | 9 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 248 | 250 |
| | 11 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 248 | 250 |
| | 13 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 247 | 250 |
| | 15 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 245 | 250 |
| | 17 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 248 | 250 |
| | 19 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 249 | 250 |
| | 21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 250 | 250 |
| | 23 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 249 | 250 |

数字は粒子数。bw：バブル型、md：中間型、pm：軽石型、cl：透明、pb：淡褐色、br：褐色、sp：スポンジ状、fb：繊維束状。

- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 分析篩により1/4-1/8の粒子を篩別。
- 5) 偏光顕微鏡下で250粒子を観察し、火山ガラスの色調形態別比率を把握。

(2) 分析結果

火山ガラス比分析の結果をダイヤグラムにして図387に、その内訳を表8に示す。分析では、試料21と試料7を除くいずれの試料からも分厚い中間型ガラスを検出することができた(0.4~1.2%)。ほかに試料によっては(試料15および試料3)、スポンジ状に発泡した軽石型や、繊維束状に発泡した軽石型がごく少量含まれている。ただし、とくに顕著なテフラ粒子の濃集層準は認められなかった。

4. テフラ検出分析

(1) 分析試料と分析方法

完新世の指標テフラの層位を明らかにするために、4区東壁①、X=130-Y=350グリッド、4区南壁、7区、4区東壁②、3区4号トレンチ、3区西壁、17区東壁、18区西壁南地点、18区西壁北地点において採取された試料のうち、63点を対象にテフラ検出分析を行った。分析の手順は次の通りである。

- 1) 試料10gを秤量。
- 2) 超音波洗浄により泥分を除却。
- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 実態顕微鏡下で観察し、テフラ粒子の量や特徴を把握。

(2) 分析結果

4区東壁①、X=130-Y=350グリッド、4区南壁、7区のテフラ検出分析の結果を表9に、4区東壁②、3区4号トレンチ、3区西壁テフラ検出分析の結果を表10に、17区東壁、18区西壁南地点、18区西壁北地点のテフラ検出分析の結果を表11に示す。

4区東壁の試料2には、さほど発泡の良くない白色軽石(最大径2.1mm)や、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石(最大径2.3mm)が比較的多く含まれて

いる。前者と後者の班晶には、各々角閃石と斜方輝石、斜方輝石と単斜輝石が認められる。火山ガラスとしては、これらの細粒物が認められる。試料1には、火山ガラスとして、灰白色や白色の軽石型ガラスが少量含まれている。

X=130-Y=350グリッドでは、試料9、試料8、試料6・7、試料3・4に軽石型の火山ガラスが少量ずつ含まれている。火山ガラスの色調は白色や無色透明である。4区南壁では、いずれの試料からも軽石を検出することができた。試料17から試料12にかけては、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石(最大径2.1mm)や、さほど発泡の良くない白色軽石(最大径4.1mm)が含まれている。前者と後者の班晶には、各々斜方輝石と単斜輝石、角閃石と斜方輝石が認められる。また試料11には、比較的良く発泡した淡褐色軽石(最大径2.3mm)がとくに多く含まれている。この軽石の班晶には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスとしては、その試料に含まれている軽石の細粒物が認められる。7区の試料18にも、比較的良く発泡した淡褐色軽石(最大径2.2mm)がとくに多く含まれている。この軽石の班晶には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスとしては、軽石の細粒物が多く認められる。

4区東壁②では、試料20および試料19に、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石(最大径2.1mm)が少量含まれている。この軽石の班晶には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。また試料19には、さほど発泡が良くない白色軽石(最大径1.9mm)が比較的多く含まれている。この軽石の班晶には、角閃石や斜方輝石が認められる。

3区4号トレンチでは、軽石やスコリアは検出されなかった。一方、火山ガラスは、試料30、試料29、試料27、試料24を除くいずれの試料からも検出された。とくに特徴的な火山ガラスや顕著な濃集層準は認められないものの、試料32や試料28には、無色透明のバブル型ガラスが比較的多く含まれている。

3区西壁では、試料54および試料52に白色の細粒軽石(最大径2.0mm)が少量含まれている。試料45か

第IV章 発掘調査の成果と問題点

ら試料40にかけては、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径3mm）が含まれている。とくに試料44により多く含まれている。この軽石の斑晶には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。試料44から試料40にかけては、さほど発泡が良くない白色軽石（最大径1.9mm）が比較的多く含まれている。この軽石の斑晶には、角閃石や斜方輝石が認められる。さらに試料39のテフラ層には、比較的良く発泡した淡褐色軽石（軽石の最大径2.8mm）がとくに多く含まれている。

火山ガラスとしては、試料中に軽石粒子が含まれているものについては、その細粒物の軽石型ガラスが比較的多く認められる。そのほかにも火山ガラスが認められるが、試料49には、白色や灰色の軽石型ガラスが比較的多く含まれる傾向にある。また試料50や試料49には、バブル型ガラスも少量含まれている。

17区東壁では、試料57にスポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径4mm）が多く含まれている。軽石の斑晶には、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物であるスポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスがとくに多く含まれている。試料56には、さほど発泡の良くない白色軽石（最大径5.4mm）が多く含まれている。この軽石の斑晶には、重鉱物として角閃石や斜方輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物である白色軽石型ガラスがとくに多く含まれている。

18区西壁南地点では、試料60にスポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径2.8mm）が比較的多く含まれている。斑晶には、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物であるスポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスが多く含まれている。試料59には、スポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスが少量含まれている。試料58には、さほど発泡の良くない白色軽石（最大径4.1mm）のほか、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径1.8mm）が比較的多く含まれている。

前者の斑晶には重鉱物として角閃石や斜方輝石、後者の斑晶には重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、これらの軽石の細粒物である軽石型ガラスが多く含まれている。

18区西壁北地点では、試料63にスポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径3.2mm）が比較的多く含まれている。斑晶には、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物であるスポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスが多く含まれている。またこの試料では、スポンジ状に発泡した白色の軽石型ガラスもごく少量ながら認めることができる。試料62にも、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径3.0mm）が比較的多く含まれている。斑晶には、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物であるスポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスが多く含まれている。試料61には、さほど発泡の良くない白色軽石（最大径3.2mm）が少量含まれている。この軽石の斑晶には、重鉱物として角閃石や斜方輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物である白色軽石型ガラスや、試料63に含まれる灰白色軽石の細粒物である灰白色軽石型ガラスが比較的多く含まれている。

第9表 テフラ検出分析結果(1)

| 地点 | 試料 | 軽石・スコリア | | | 火山ガラス | | | |
|-----------|------|---------|------|---------|---------|-----|------|------|
| | | 量 | 色調 | 最大径 | 量 | 形態 | 色調 | |
| 4区東壁① | 1 | - | - | - | + | pm | 灰白、白 | |
| | 2 | ++ | 白、灰白 | 2.1、2.3 | ++ | pm | 灰白、白 | |
| X130-Y350 | 3 | - | - | - | + | pm | 白 | |
| | 4 | - | - | - | + | pm | 透明 | |
| | 5 | - | - | - | - | - | - | |
| | 6 | - | - | - | + | pm | 白、透明 | |
| | 7 | - | - | - | + | pm | 透明 | |
| | 8 | - | - | - | - | - | - | |
| | 9 | - | - | - | + | pm | 白 | |
| | 10 | - | - | - | - | - | - | |
| | 4区南壁 | 11 | +++ | 淡褐 | 2.3 | +++ | pm | 淡褐 |
| | | 12 | + | 白、灰白 | 2.1、1.2 | ++ | pm | 白、灰白 |
| 13 | | ++ | 白、灰白 | 2.1、1.5 | ++ | pm | 白、灰白 | |
| 14 | | ++ | 白、灰白 | 2.2、1.3 | ++ | pm | 白、灰白 | |
| 15 | | +++ | 白>灰白 | 4.1、1.4 | ++ | pm | 白、灰白 | |
| 16 | | +++ | 灰白、白 | 2.1、2.0 | ++ | pm | 灰白、白 | |
| 17 | | + | 灰白、白 | 1.1、1.2 | + | pm | 灰白、白 | |
| 7区 | 18 | ++++ | 淡褐 | 2.2 | +++ | pm | 淡褐 | |

++++:とくに多い,+++ :多い,++ :中程度,+ :少ない,- :認められない。最大径の単位は、mm。bw :バブル型、pm :軽石型。

第11表 テフラ検出分析結果(3)

| 地点 | 試料 | 軽石・スコリア | | | 火山ガラス | | |
|----------|----|---------|------|---------|-------|----|------|
| | | 量 | 色調 | 最大径 | 量 | 形態 | 色調 |
| 17区東壁 | 56 | +++ | 白 | 5.4 | +++ | pm | 白 |
| | 57 | +++ | 灰白 | 4.0 | ++++ | pm | 灰白 |
| 18区西壁南地点 | 58 | ++ | 白>灰白 | 4.1、1.8 | +++ | pm | 白>灰白 |
| | 59 | - | - | - | + | pm | 灰白 |
| | 60 | ++ | 灰白 | 2.8 | +++ | pm | 灰白 |
| 18区西壁北地点 | 61 | + | 白 | 3.2 | ++ | pm | 白、灰白 |
| | 62 | ++ | 灰白 | 3.0 | +++ | pm | 灰白 |
| | 63 | ++ | 灰白 | 3.2 | +++ | pm | 灰白>白 |

++++:とくに多い,+++ :多い,++ :中程度,+ :少ない,- :認められない。最大径の単位は、mm。bw :バブル型、pm :軽石型。

第10表 テフラ検出分析結果(2)

| 地点 | 試料 | 軽石・スコリア | | | 火山ガラス | | |
|----------|------|---------|------|---------|-------|-------|--------|
| | | 量 | 色調 | 最大径 | 量 | 形態 | 色調 |
| 4区東壁② | 19 | ++ | 白、灰白 | 1.9、2.1 | ++ | pm | 白、灰白 |
| | 20 | + | 灰白 | 1.9 | ++ | pm | 灰白、白 |
| | 21 | - | - | - | + | pm | 灰 |
| 3区4号トレンチ | 22 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 23 | - | - | - | + | pm | 白 |
| | 24 | - | - | - | - | - | - |
| | 25 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 26 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 27 | - | - | - | - | - | - |
| | 28 | - | - | - | + | pm、bw | 透明 |
| | 29 | - | - | - | - | - | - |
| | 30 | - | - | - | - | - | - |
| | 31 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 32 | - | - | - | + | pm>bw | 透明 |
| | 33 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 34 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 35 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 36 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 37 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 38 | - | - | - | + | pm | 透明 |
| | 3区西壁 | 39 | ++++ | 淡褐 | 2.8 | +++ | pm |
| 40 | | ++ | 白、灰白 | 3.1、1.8 | ++ | pm | 白、灰白 |
| 41 | | ++ | 白、灰白 | 3.1、2.2 | ++ | pm | 白、灰白 |
| 42 | | ++ | 灰白、白 | 2.1、2.0 | ++ | pm | 灰白、白 |
| 43 | | ++ | 灰白、白 | 3.0、2.3 | ++ | pm | 灰白、白 |
| 44 | | +++ | 灰白>白 | 3.0、1.9 | +++ | pm | 灰白、白 |
| 45 | | ++ | 灰白 | 2.1 | ++ | pm | 灰白 |
| 46 | | - | - | - | + | pm | 透明 |
| 47 | | - | - | - | + | pm | 白 |
| 48 | | - | - | - | + | pm | 白 |
| 49 | | - | - | - | ++ | pm>bw | 白、灰、透明 |
| 50 | | - | - | - | + | pm>bw | 透明 |
| 51 | - | - | - | + | pm | 白 | |
| 52 | + | 白 | 2.0 | + | pm | 白、透明 | |
| 53 | - | - | - | + | pm | 透明 | |
| 54 | + | 白 | 1.8 | + | pm | 白 | |
| 55 | - | - | - | + | pm | 白 | |

++++:とくに多い,+++ :多い,++ :中程度,+ :少ない,- :認められない。最大径の単位は、mm。bw :バブル型、pm :軽石型。

5. 屈折率測定

(1) 測定試料と測定方法

土層の観察や火山ガラス比分析さらにテフラ検出分析の結果、特徴的なテフラ粒子が認められた試料などのうち、4区東壁①の試料3、試料2、試料1、X=130-Y=350グリッドの試料4、3区4号トレンチの試料6と5(軽石)、3区西壁の試料7、YB区(1区深掘1T西壁)の試料10、試料9、試料8の10点について、日本列島のテフラ・カタログ(町田・新井、1992、2003)の作成にも利用された温度一定型屈折率測定法(新井、1972、1993)により屈折率測定を行った。

(2) 測定結果

4区東壁①の試料3、試料2、試料1、X=130-Y=350グリッドの試料4の屈折率測定の結果を表12に、3区4号トレンチの試料6と5(軽石)、3区西壁の試料7、YB区(1区深掘1T西壁)の試料10、試料9、試料8の測定結果を表13に示す。4区東壁①の試料3に含まれる重鉱物は、黒雲母のほか、ごく少量の斜方輝石である。斜方輝石の屈折率(γ)は、1.707-1.711である。試料2に含まれる火山ガラス屈折率(n)は、1.514-1.519である。重厚物としては、斜方輝石や角閃石のほか、ごく少量の単斜輝石が認められる。斜方輝石と角閃石の屈折率(γ 、 n_2)は、各々1.707-1.711および1.672-1.677である。さらに試料1に含まれる重鉱物としては、斜方輝石や角閃

第IV章 発掘調査の成果と問題点

石がある。斜方輝石と角閃石の屈折率(γ , n_2)は、各々1.707-1.711と1.672-1.676である。X=130-Y=350グリッドの試料4には、重鉱物として、黒雲母のほか、ごく少量の斜方輝石、単斜輝石、角閃石が含まれている。斜方輝石の屈折率(γ)は、1.706-1.710である。

3区4号トレンチの試料6に含まれる火山ガラスの屈折率(n)は、1.499-1.504である。試料5の軽石に含まれる斜方輝石の屈折率(γ)は、1.703-1.711である。3区西壁の試料7に含まれる火山ガラスの屈折率(n)は、1.502-1.504である。YB区(1区深掘1T西壁)の試料10および試料9に含まれる斜方輝石の屈折率(γ)は、各々1.703-1.711と1.707-1.712である。YB区(1区深掘1T西壁)の試料8に含まれる火山ガラスの屈折率(n)は bimodal で、1.500-1.503と1.506-1.508のものが認められる。

第12表 屈折率測定結果(1)

| 地 点 | 試料 | 火山ガラス(n) | 重鉱物 | 斜方輝石(γ) | 角閃石(n_2) |
|-----------|----|-------------|-----------------|------------------|--------------|
| 4区東壁① | 1 | - | opx,ho | 1.707-1.711 | 1.672-1.676 |
| 4区東壁① | 2 | 1.514-1.519 | opx>ho,(cpx) | 1.707-1.711 | 1.672-1.677 |
| 4区東壁① | 3 | - | bi,(opx) | 1.707-1.711 | - |
| X130-Y350 | 4 | - | bi,(opx,cpx,ho) | 1.706-1.710 | - |

屈折率の測定は、温度一定型測定法(新井, 1972, 1993)による。opx:斜方輝石、cpx:単斜輝石、ho:角閃石、bi:黒雲母。重鉱物の()は、量が少ないことを示す。

第13表 屈折率測定結果(2)

| 地 点 | 試料 | 火山ガラス(n) | 斜方輝石(γ) |
|---------------|----|--------------------------|------------------|
| 3区4号トレンチ | 5 | - | 1.703-1.711 |
| | 6 | 1.499-1.504 | - |
| 3区西壁 | 7 | 1.502-1.504 | - |
| YB区(1区深掘1T西壁) | 8 | 1.500-1.503, 1.506-1.508 | - |
| YB区(1区深掘1T西壁) | 9 | - | 1.707-1.712 |
| YB区(1区深掘1T西壁) | 10 | - | 1.703-1.711 |

温度変化型屈折率測定法による。

6. 考察

テフラ検出分析により検出されたテフラ粒子のうち、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石と、さほど発泡が良くない白色軽石については、その岩相から、順に3世紀末～4世紀初頭に浅間火山から噴出した浅間C軽石(As-C、荒牧, 1968、新井, 1979、友廣, 1988、若狭, 2000)と、6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA、新

井, 1979、坂口, 1986、早田, 1989、町田・新井, 1992)や6世紀中葉に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳伊香保テフラ(Hr-FP、新井, 1962、坂口, 1986、早田, 1989、町田・新井, 1992)に由来すると考えられる。榛名系のテフラについては、本遺跡の位置とテフラの分布関係から前者に由来する可能性がより高いと思われる。また淡褐色の軽石で特徴づけられるテフラについては、その特徴から、1108(天明3)年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B、荒牧, 1968、新井, 1979)に同定される。

4区東壁①の試料15およびX=130-Y=350グリッドの試料8に含まれるテフラ粒子については、斜方輝石の屈折率から赤城系あるいは浅間火山系のテフラに由来する可能性が考えられる。X=130-Y=350グリッドの試料4に含まれる軽石の粒径が比較的粗粒なことを考慮すると、後者の可能性がより高いと考えられる。

4区東壁①の試料2に含まれるテフラ粒子のうち、灰白色軽石については、その岩相や火山ガラスさらに斜方輝石の屈折率などから、3世紀末～4世紀初頭に浅間火山から噴出した浅間C軽石(As-C、荒牧, 1968、新井, 1979、友廣, 1988、若狭, 2000)に由来すると考えられる。また白色軽石については、その岩相や斜方輝石および角閃石の屈折率などから、6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA、新井, 1979、坂口, 1986、早田, 1989、町田・新井, 1992)あるいは6世紀中葉に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳伊香保テフラ(Hr-FP、新井, 1962、坂口, 1986、早田, 1989、町田・新井, 1992)に由来すると思われる。テフラの分布と本遺跡の位置関係からは、前者の可能性がより高いと考えられる。試料1に含まれるテフラ粒子についても、重鉱物の組み合わせや斜方輝石および角閃石の屈折率などから、前述の榛名系テフラに由来すると考えられるものの、その層相や火山ガラスが非常に少ないことなどから、テフラの一次堆積層の可能性は低いように思われる。

7区の試料18に含まれる軽石は、その岩相から As

-Bに由来すると考えられる。このことは、層相によるAs-Bへの同定を支持する。また、4区南壁の試料11の黄灰色粗粒火山灰層についても、軽石の特徴などからAs-Bに同定される。なお4区南壁においては、軽石の岩相や量などから、試料16付近にAs-Cの、また試料15付近にHr-FAの各々の堆積層準があると考えられる。したがって、本地点で認められる洪水性堆積物の層位は、Hr-FAより上位で、As-Bより下位にあると考えられる。以上のことから、本遺跡において検出された水田遺構は、少なくともHr-FAより上位(As-Bより下位)と、As-Bの直下の2層準にあると推定される。

4区東壁②においては、試料20付近にAs-C、試料19付近にHr-FAの降灰層準があると考えられる。このことから発掘調査で検出された畦畔については、少なくともHr-FAより上位にあると推定される。また3区西壁においては、試料44付近にAs-C、試料43付近にHr-FAの降灰層準があると考えられる。さらに試料39のテフラ層については、As-Bに同定される。

3区4号トレンチにおいて検出された火山ガラスについては、その形態、粒径、色調、屈折率などから、約2.4~2.5万年前^{*1}に南九州の始良カルデラから噴出した始良Tn火山灰(AT、町田・新井、1976、松本ほか、1987、村山ほか、1993、池田ほか、1995)や、約1.3~1.4万年前^{*1}に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石(As-YP、新井、1962、町田・新井、1992)に由来すると考えられる。より下位にAs-YPの一次堆積層が認められないことを合わせて考慮すると、本地点で認められた土層についてはAs-YPより上位にあると推定される。試料24の軽石については、その岩相や屈折率などから、約3.1~3.2万年前^{*2}に赤城火山から噴出した赤城鹿沼テフラ(Ag-KP、新井、1962、町田・新井、2003)や、その下位にある赤城行川テフラ群(Ag-Nm1・Nm2、鈴木、1990、町田・新井、1992)や赤城湯の口軽石(Ag-UP、新井、1962、町田・新井、1992)などに由来する可能性が考えられる。

3区西壁の試料50に含まれる火山ガラスの多くは、その屈折率からAs-YPに由来するものと思われる。しかしながら、その試料に比較的多く含まれる火山ガラスについては、軽石型で白色や灰色を呈することから、約5,400年前^{*1}に浅間火山から噴出した浅間六合軽石(早田、1991、1996)あるいはそれに関係するテフラに由来する可能性がある。今回は測定できなかったものの、試料50付近には、約6,300年前^{*1}に南九州の鬼界カルデラから噴出した鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah、町田・新井、1978)の降灰層準のある可能性が考えられる。

YB区(1区深掘1T西壁)の試料10に含まれるテフラについては、斜方輝石の屈折率からAg-Nm1・Nm2、Ag-UP、Ag-KP、As-YP、さらに約1.1万年前^{*1}に浅間火山から噴出した浅間総社軽石(As-Sj、早田、1990、1991、1996)に由来する可能性が考えられる。また試料9に含まれるテフラについては、斜方輝石の屈折率からAg-KPのほか、As-YPやAs-Sjに由来する可能性が考えられる。試料8に含まれる火山ガラスのうち、屈折率(n)が1.500~1.503のものについては、Hr-FAに由来すると考えられる。

17区東壁の試料57が採取されたテフラ層は、層相や軽石の特徴などからAs-Cに同定される。また試料56が採取されたテフラ層については、Hr-FPに同定される可能性がまったくない訳ではないが、伊勢崎市域を含めた周辺の遺跡でのテフラの産状との比較をするとHr-FAの可能性がより高いように考えられる。したがって、本遺跡の土層中に含まれるこの種の軽石については、少なくともHr-FAに由来するものが含まれていると考えて良いと思われる。

18区西壁南地点の試料60および試料59に含まれる軽石や火山ガラスについては、As-Cに由来すると考えられる。また試料58に含まれるテフラ粒子については、Hr-FA(かHr-FP)とAs-Cに由来すると考えられる。したがって、この地点で検出されている水田遺構については、Hr-FAより上位にあると考えられる。

第IV章 発掘調査の成果と問題点

また、18区西壁北地点の試料63に含まれる軽石や火山ガラスについては、その大部分がAs-Cに由来すると考えられる。ごくわずかに含まれる白色軽石型ガラスについては、5世紀に榛名火山から噴出した榛名有馬テフラ(Hr-AA、町田ほか、1984)に由来する可能性があるが、細粒で量も少ないことから現段階においてその詳細は不明である。試料62に含まれる軽石や火山ガラスについても、As-Cに由来すると考えられる。試料61に含まれるテフラ粒子については、Hr-FA(かHr-FP)とAs-Cに由来すると考えられる。これらのことから、2層準から検出されている溝状遺構については、いずれもAs-Cより上位でHr-FAの下位にある可能性がある。さらに本地点で検出されている水田遺構については、Hr-FAより上位と考えられる。

7. 小結

東今泉鹿島遺跡において、地質調査、火山ガラス比分析、テフラ検出分析、屈折率測定を行った。その結果、少なくとも下位より浅間C軽石(As-C、3世紀末～4世紀初頭)、榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA、6世紀初頭)あるいは榛名二ツ岳伊香保テフラ(Hr-FP、6世紀中葉)、浅間Bテフラ(As-B、1108年)、浅間粕川テフラ(As-Kk、1128年)など多くのテフラ層やそれらに由来するテフラ粒子を検出することができた。本遺跡で検出された水田遺構の層位については、少なくともHr-FAより上位(As-Bより下位)と、As-Bの直下と考えられる。

*1 放射性炭素(¹⁴C)年代。

*2 約4.5万年前以前とする説もある(町田・新井、2003)。

文献(2003)

- 新井房夫(1962) 関東盆地北西部の第四紀編年。群馬大学紀要自然科学編, 10, p.1-79.
新井房夫(1972) 斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフロクロロジーの基礎研究。第四紀研究, 11, p.254-269.
新井房夫(1979) 関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層。考古学ジャーナル, no.157, p.41-52.
新井房夫(1993) 温度一定型屈折率測定法。日本第四紀学会編「第四紀試料分析法—研究対象別分析法」, p.138-148.
荒牧重雄(1968) 浅間火山の地質。地団研専報, no.45, 65p.
町田 洋・新井房夫(1992) 火山灰アトラス。東京大学出版会,

276p.

- 町田 洋・新井房夫(2003) 新編火山灰アトラス。東京大学出版会, 336p.
坂口 一(1986) 榛名二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器。群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」, p.103-119.
早田 勉(1989) 6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害。第四紀研究, 27, p.297-312.
早田 勉(1991) 浅間火山の生い立ち。佐久考古通信, no.53, p.2-7.
早田 勉(1995) テフラからさぐる浅間山の活動史。御代田町誌自然編, p.22-43.
早田 勉(1996) 関東地方～東北地方南部の示標テフラの諸特徴—とくに御岳第1テフラより上位のテフラについて—。名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, 7, p.256-267.
友廣哲也(1988) 古式土師器出現期の様相と浅間山C軽石。群馬県埋蔵文化財調査事業団編「群馬の考古学」, p.325-336.
若狭 徹(2000) 群馬の弥生土器が終わるとき。かみつけの里博物館編「人が動く・土器も動く—古墳が成立する頃の土器の交流」, p.41-43.
池田晃子・奥野 充・中村俊夫・筒井正明・小林哲夫(1995) 南九州、始良カルデラ起源の大隅降下軽石と入戸火砕流中の炭化樹木の加速器質量分析法による¹⁴C年代。第四紀研究, 34, p.377-379.
町田 洋・新井房夫(1976) 広域に分布する火山灰—始良Tn火山灰の発見とその意義—。科学, 46, p.339-347.
松本英二・前田保夫・竹村恵二・西田史朗(1987) 始良Tn火山灰(AT)の¹⁴C年代。第四紀研究, 26, p.79-83.
村山雅史・松本英二・中村俊夫・岡村 真・安田尚登・平 朝彦(1993) 四国沖ピストンコア試料を用いたAT火山灰噴出年代の再検討—タンデム加速器質量分析計による浮遊性有孔虫の¹⁴C年代。地質雑, 99, p.787-798.
中沢英俊・新井房夫・遠藤邦彦(1984) 浅間火山、黒斑～前掛期のテフラ層序。第四紀学会講演要旨集, no.14, p.69-70.
鈴木毅彦(1990) テフロクロロジーからみた赤城火山最近20万年間の噴火史。地学雑, 99, p.60-75.
町田 洋・新井房夫・小田静夫・遠藤邦彦・杉原重夫(1984) テフラと日本考古学—考古学研究と関係するテフラのカタログ—。古文化財編集委員会編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」, p.865-928.
早田 勉(1993) 古墳時代におこった榛名山二ツ岳の噴火。新井房夫編「火山灰考古学」, 古今書院, p.128-150.
早田 勉(1995) テフラからさぐる浅間山の活動史。御代田町誌自然編, p.22-43.
早田 勉(2004) 火山灰編年学からみた浅間火山の活動史—とくに平安時代の噴火について—かみつけの里博物館編「1108—浅間山噴火—中世への胎動」, p.45-56.

II. 東今泉鹿島遺跡における植物珪酸体（プラント・オパール）分析

1. はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸（ SiO_2 ）が蓄積したものであり、植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント・オパール）となって土壤中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山, 2000）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山, 1984）。

2. 試料（2003）

分析試料は、4区東壁①、4区南壁、7区、4区東壁②、19区東壁、19区西壁、17区東壁、18区西壁南、18区西壁北から採取された計19点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

3. 分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスビーズ法（藤原, 1976）を用いて、次の手順で行った。

- 1) 試料を105°Cで24時間乾燥（絶乾）
- 2) 試料1gに対し直径約40 μm のガラスビーズを約0.02g添加（電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量）
- 3) 電気炉灰化法（550°C・6時間）による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射（300W・42kHz・10分間）による分散
- 5) 沈底法による20 μm 以下の微粒子除却
- 6) 封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、400倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査

に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計算された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算計数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位10⁻⁵g）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる。イネ（赤米）の換算係数は2.94（種実重は1.03）、ヒエ属（ヒエ）は8.40、ヨシ属（ヨシ）は6.31、ススキ属（ススキ）は1.24、メダケ節は1.16、ネザサ節は0.48、クマザサ属（チシマザサ節・チマキザサ節）は0.75、ミヤコザサ節は0.30である（杉山, 2000）。タケ亜科については、植物体生産量の推定値から各分類群の比率を求めた。

4. 分析結果

分析試料から検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を表14～表16および図388～図396に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

5. 考察

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネの植物珪酸体（プラント・オパール）が試料1gあたり5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している（杉山, 2000）。ただし、密度が3,000個/g程度でも水田遺構が検出される事例があることから、ここでは判断の基準を3,000個/gとして検討を行った。

(1) 4区東壁①（図388）

As-Bより下位の水田跡（試料1）からAs-Cの下位層（試料3）までの層準について分析を行った。その結果、As-Bより下位の水田跡（試料1）からイ

第IV章 発掘調査の成果と問題点

ネが検出された。密度は1,400個/gと比較的低い値である。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われていた期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、洪水などによって耕作土が流出したこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったことなどが考えられる。

(2) 4区南壁(図389)

As-B直下層(試料1)とその下層(試料2)について分析を行った。その結果、As-B直下層(試料1)からイネが検出された。密度は3,500個/gと比較的高い値である。したがって、同層で稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

(3) 7区(図390)

As-B直下の水田跡(試料1)について分析を行った。その結果、イネが検出されたが、密度は1,300個/gと低い値である。ただし、同層は直上をテフラ層で覆われていることから、上層から後代のものが混入したことは考えにくい。したがって、同層の時期に調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が考えられる。イネの密度が低い原因としては、前述のようなことが考えられる。

(4) 4区東壁②(図391)

畦畔が検出されたHr-FA混層(試料1)およびその下位のAs-C混層(試料2)について分析を行った。その結果、Hr-FA混層(試料1)からイネが検出された。密度は3,000個/gと比較的高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

(5) 19区東壁(図392)

畦畔が検出された白色軽石混じり灰色土(試料1)およびその下層(試料2)について分析を行った。その結果、白色軽石混じり灰色土(試料1)からイネが検出されたが、密度は800個/gと低い値である。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われてい

た期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、洪水などによって耕作土が流出したこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったこと、および上層や他所からの混入などが考えられる。

(6) 19区西壁(図393)

耕作痕が認められた灰褐色砂質土(試料1)について分析を行った。その結果、イネは検出されなかった。

(7) 17区東壁(図394)

As-B直下の黒泥層(試料1)およびその下位の灰色粘質土(試料2、3)について分析を行った。その結果、灰色粘質土(試料2、3)からイネが検出された。イネの密度は、4,500~5,300個/gと比較的高い値である。したがって、同層準では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

As-B直下の黒泥層(試料1)では、ヨシ属が23,200個/gと多量に検出され、イネはまったく検出されなかった。おもな分類群の推定生産量によると、ヨシ属が圧倒的に卓越していることが分かる。これらのことから、As-Bの降灰直前には何らかの原因によって水田が放棄され、ヨシ属が繁茂する湿地の環境になっていたと推定される。このような状況は、前橋市周辺などでも一般に認められており、比較的広い範囲に及ぶ現象として注目される(杉山, 2004)。

(8) 18区西壁南(図395)

灰色砂層直下の水田層(試料1)、As-C上層(試料2)、As-C混層(試料3)について分析を行った。その結果、水田層(試料1)からイネが検出された。密度は4,500個/gと比較的高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

(9) 18区西壁北(図396)

黄灰色砂層直下の水田層(試料1)、As-C上層(試料2)、As-C混層(試料3)について分析を行った。

その結果、水田層（試料1）からイネが検出された。密度は3,800個/gと比較的高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

6. まとめ

植物珪酸体（プラントオパール）分析の結果、水田跡が検出された浅間Bテフラ（As-B、1108年）直下層およびその下位層では、すべての試料からイネが検出され、各層の時期に稲作が行われていたことが分析的に検証された。

畦畔が検出された4区東壁の榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA、6世紀初頭）混層では、イネが多量に検出され、同層で稲作が行われていたことが分析的に検証された。また、畦畔が検出された19区東壁の白色軽石混じり灰色土でも、少量のイネが検出され、稲作が行われていた可能性が認められた。

18区西壁（南地点、北地点）では、水田遺構が検

出された層準からイネが比較的多量に検出され、同遺構で稲作が行われていたことが分析的に検証された。

17区東壁では、As-Bより下位の灰色粘質土からイネが多量に検出され、稲作が行われていた可能性が高いと判断された。As-B直下の黒泥層では、イネがまったく検出されず、ヨシ属が圧倒的に卓越していることから、As-Bの降灰直前には何らかの原因によって水田が放棄され、ヨシ属が繁茂する湿地の環境になっていたと推定される。

文献

杉山真二 (2000) 植物珪酸体 (プラント・オパール). 考古学と植物学. 同成社, p.189-213.
 藤原宏志 (1976) プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—. 考古学と自然科学, 9, p.15-29.
 藤原宏志・杉山真二 (1984) プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)—プラント・オパール分析による水田址の探査—. 考古学と自然科学, 17, p.73-85.

第14表 植物珪酸体（プラント・オパール）分析結果(1)
 検出密度（単位：×100個/g）

| 分類群 | 学名 | 4区東壁② | | 19区東壁 | | 19区西壁 |
|-------|-------------------------------------|-------|----|-------|-----|-------|
| | | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 |
| イネ | <i>Oryza sativa</i> (domestic rice) | 30 | | 8 | | |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> (reed) | 7 | | 8 | | |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus</i> type | 90 | 60 | 60 | 53 | 22 |
| タケ亜科 | <i>Bambusoideae</i> (Bamboo) | 75 | 83 | 53 | 137 | 82 |

推定生産量（単位：kg/m²・cm）

| | | | | | | |
|-------|-------------------------------------|------|------|------|------|------|
| イネ | <i>Oryza sativa</i> (domestic rice) | 0.88 | | 0.22 | | |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> (reed) | 0.47 | | 0.48 | | |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus</i> type | 1.11 | 0.74 | 0.75 | 0.66 | 0.28 |
| タケ亜科 | <i>Bambusoideae</i> (Bamboo) | 0.36 | 0.40 | 0.25 | 0.66 | 0.40 |

※試料の仮比重を1.0と仮定して算出。

第IV章 発掘調査の成果と問題点

第15表 植物珪酸体 (プラント・オパール) 分析結果(2)
検出密度 (単位: ×100個/g)

| 分類群 | 学名 | 17区東壁 | | | 18区西壁南地点 | | | 18区西壁北地点 | | |
|-------|------------------------|-------|----|----|----------|----|----|----------|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| イネ | <i>Oryza sativa</i> | | 53 | 45 | 45 | | | 38 | | |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> | 232 | 8 | 53 | 15 | 30 | 52 | 8 | 15 | 8 |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus</i> type | 15 | 15 | 15 | 22 | 53 | 82 | 8 | 45 | 61 |
| タケ亜科 | Bambusoideae | 30 | 45 | 30 | 67 | 75 | 37 | 61 | 60 | 83 |

推定生産量 (単位: kg/m²・cm): 試料の仮比重を1.0と仮定して算出

| | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| イネ | <i>Oryza sativa</i> | 1.55 | 1.33 | 1.32 | | | 1.12 | | | |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> | 14.66 | 0.48 | 3.33 | 0.94 | 1.89 | 3.30 | 0.48 | 0.95 | 0.48 |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus</i> type | 0.19 | 0.19 | 0.19 | 0.28 | 0.65 | 1.02 | 0.09 | 0.56 | 0.75 |
| タケ亜科 | Bambusoideae | 0.14 | 0.22 | 0.14 | 0.32 | 0.36 | 0.18 | 0.29 | 0.29 | 0.40 |

第16表 植物珪酸体 (プラント・オパール) 分析結果(3)
検出密度 (単位: ×100個/g)

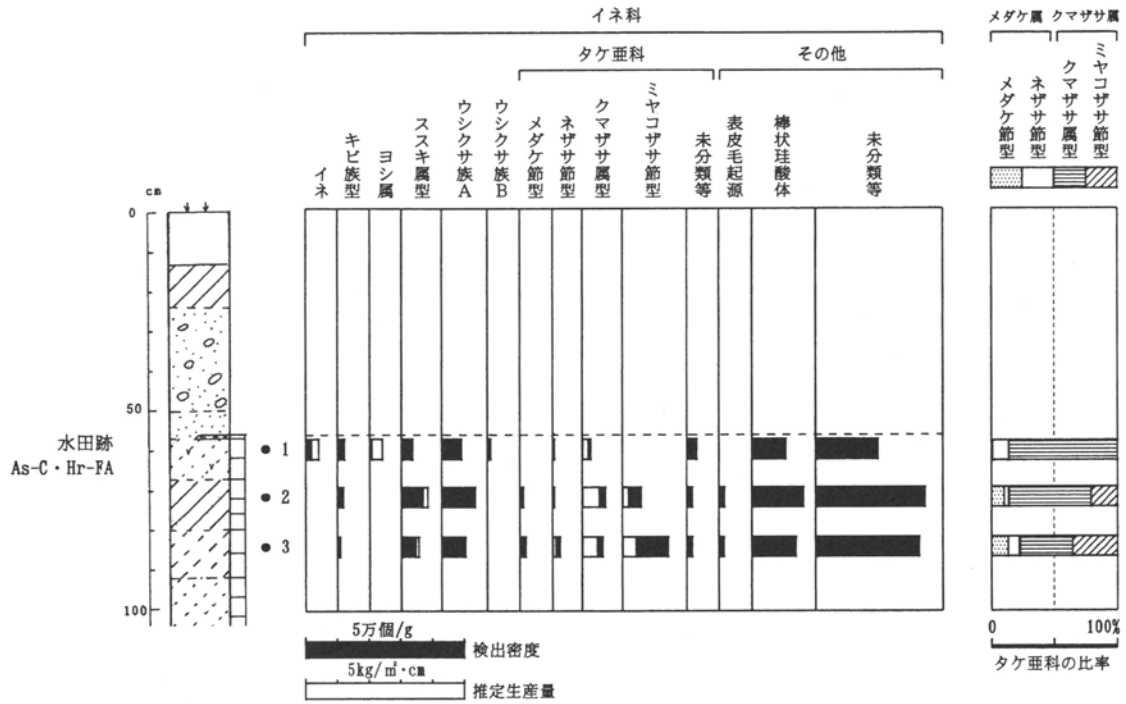
| 分類群 | 学名 | 7区 | | | 4区南壁 | | 4区東壁 | | |
|----------|---|-----|---|---|------|-----|------|-----|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| イネ科 | Gramineae (Grasses) | | | | | | | | |
| イネ | <i>Oryza sativa</i> (domestic rice) | 14 | | | 35 | | 13 | | |
| キビ族型 | Paniceae type | 7 | | | 7 | | 19 | 15 | 7 |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> (reed) | 20 | | | | | 6 | | |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus</i> type | 68 | | | 71 | 22 | 26 | 66 | 43 |
| ウシクサ族 A | Andropogoneae A type | 34 | | | 99 | 22 | 58 | 102 | 72 |
| ウシクサ族 B | Andropogoneae B type | | | | | | 6 | | |
| タケ亜科 | Bambusoideae (Bamboo) | | | | | | | | |
| メダケ節型 | <i>Pleioblastus</i> sect. <i>Medake</i> | 27 | | | 35 | 7 | | 7 | 14 |
| ネザサ節型 | <i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i> | 95 | | | 35 | 22 | 6 | 7 | 22 |
| クマザサ属型 | <i>Sasa</i> (except <i>Miyakozasa</i>) | 7 | | | 7 | 7 | 26 | 73 | 65 |
| ミヤマコザサ節型 | <i>Sasa</i> sect. <i>Miyakozasa</i> | | | | 21 | 15 | | 58 | 144 |
| 未分類等 | Others | 7 | | | 21 | 44 | 26 | 15 | 14 |
| その他のイネ科 | Others | | | | | | | | |
| 表皮毛起源 | Husk hair origin | 41 | | | 14 | 7 | | 15 | 14 |
| 棒状珪酸体 | Rod-shaped | 176 | | | 99 | 29 | 103 | 160 | 136 |
| 茎部起源 | Stem origin | | | | 7 | | | | |
| 未分類等 | Others | 285 | | | 212 | 124 | 193 | 342 | 323 |
| 植物珪酸体総数 | Total | 780 | | | 665 | 300 | 481 | 860 | 854 |

おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m²・cm)

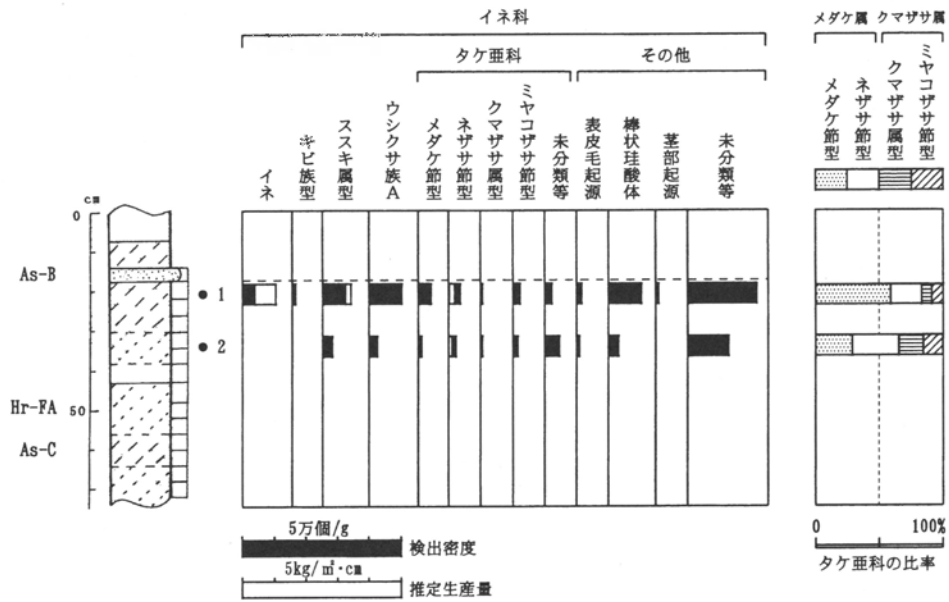
| | | | | | | | |
|----------|---|------|------|------|------|------|------|
| イネ | <i>Oryza sativa</i> (domestic rice) | 0.40 | 1.04 | 0.38 | | | |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> (reed) | 1.28 | | 0.40 | | | |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus</i> type | 0.84 | 0.88 | 0.27 | 0.32 | 0.81 | 0.53 |
| メダケ節型 | <i>Pleioblastus</i> sect. <i>Medake</i> | 0.31 | 0.41 | 0.08 | | 0.08 | 0.17 |
| ネザサ節型 | <i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i> | 0.46 | 0.17 | 0.11 | 0.03 | 0.03 | 0.10 |
| クマザサ属型 | <i>Sasa</i> (except <i>Miyakozasa</i>) | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.19 | 0.55 | 0.48 |
| ミヤマコザサ節型 | <i>Sasa</i> sect. <i>Miyakozasa</i> | | 0.06 | 0.04 | | 0.17 | 0.43 |

タケ亜科の比率 (%)

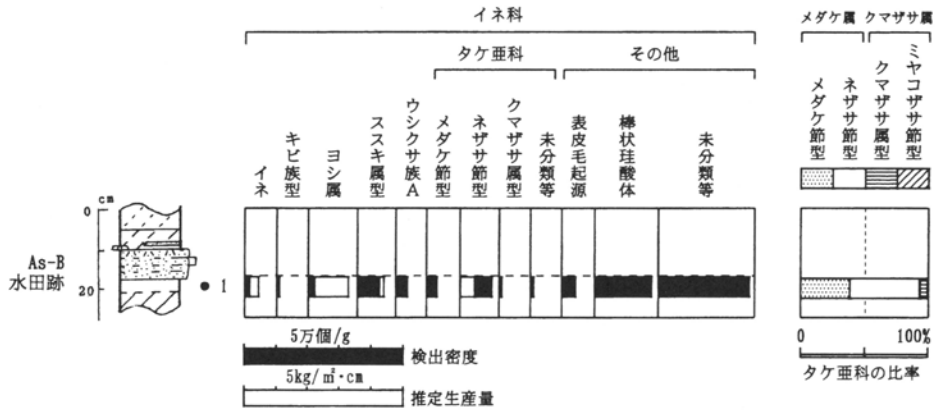
| | | | | | | |
|----------|---|----|----|----|----|----|
| メダケ節型 | <i>Pleioblastus</i> sect. <i>Medake</i> | 38 | 59 | 29 | 10 | 14 |
| ネザサ節型 | <i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i> | 55 | 24 | 36 | 4 | 9 |
| クマザサ属型 | <i>Sasa</i> (except <i>Miyakozasa</i>) | 6 | 8 | 19 | 86 | 41 |
| ミヤマコザサ節型 | <i>Sasa</i> sect. <i>Miyakozasa</i> | | 9 | 15 | 21 | 36 |



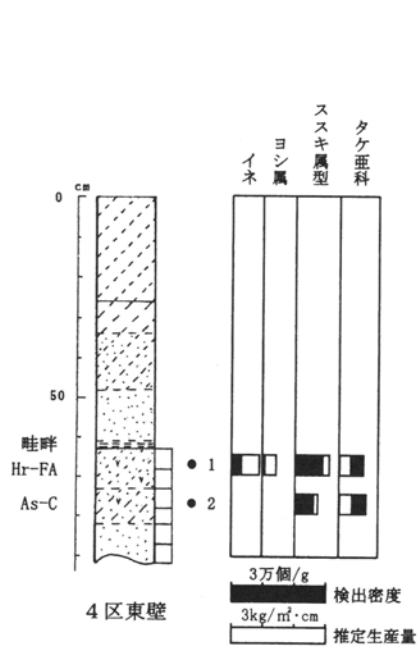
第388図 4区東壁①植物珪酸体分析結果



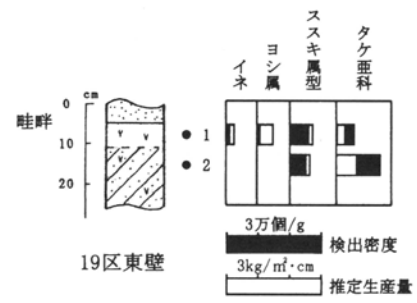
第389図 4区南壁植物珪酸体分析結果



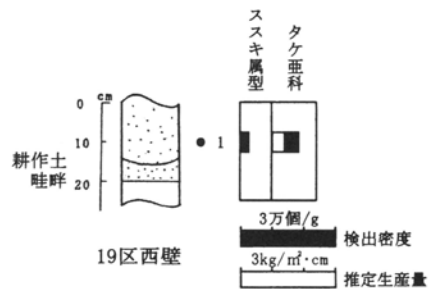
第390図 7区植物珪酸体分析結果



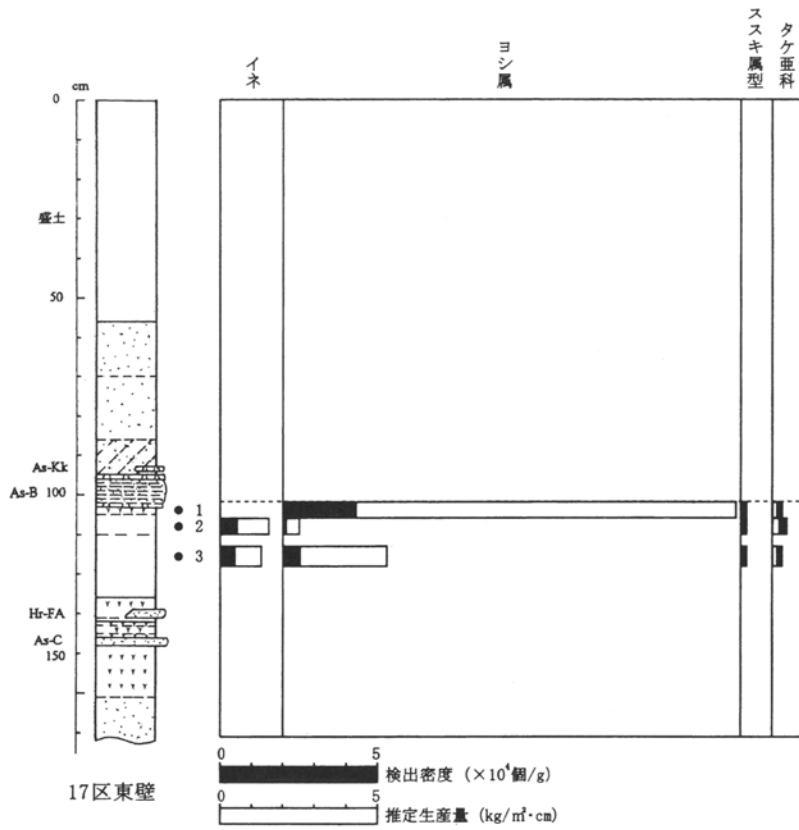
第391図 4区東壁②植物珪酸体分析結果



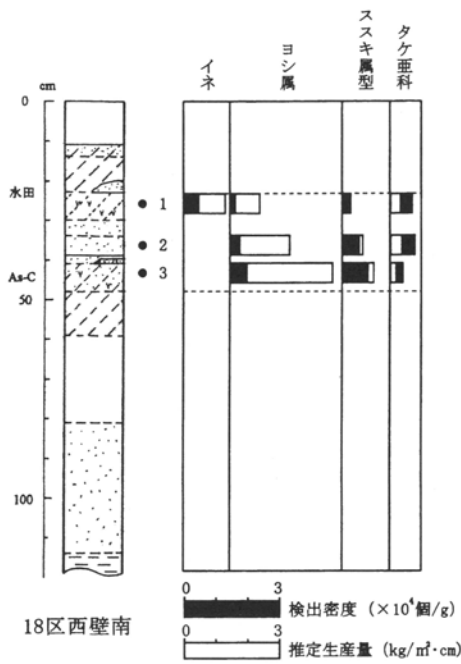
第392図 19区東壁植物珪酸体分析結果



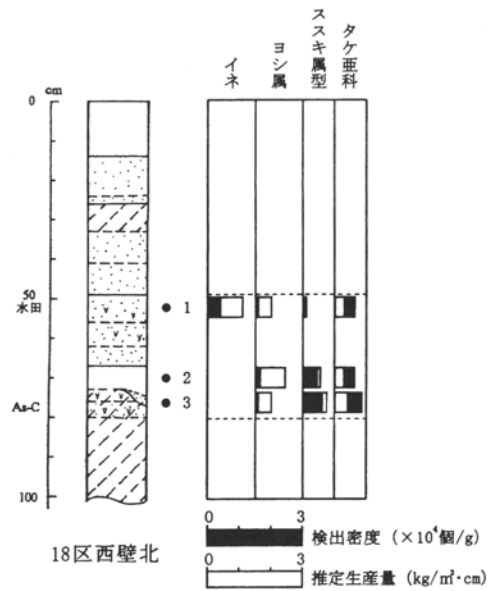
第393図 19区西壁植物珪酸体分析結果



第394図 17区東壁植物珪酸体分析結果



第395図 18区西壁南植物珪酸体分析結果



第396図 18区西壁北植物珪酸体分析結果

III. 群馬県、東今泉鹿島遺跡における炭化種実同定

株式会社 古環境研究所

1. はじめに

植物の種子や果実は比較的強靱なものが多く、堆積物や遺構内に残存している場合がある。堆積物などから種実を検出し、その種類や構成を調べることで、過去の植生や栽培植物を明らかにすることができる。

2. 試料

試料は、8世紀の住居跡から出土した計23点の炭化種実である。試料の詳細を表17に示す。

3. 方法

肉眼及び双眼実体顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行った。結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示した。

4. 結果

(1) 分類群

分析の結果、樹木2、草本11の計13分類群が同定された。学名、和名および粒数を表17に示し、主要な分類群を写真に示す。以下に同定根拠となる形態的特徴を記す。

〔樹木〕

オニグルミ *Juglans ailanthifolia* Carr. 核 クルミ科

黒褐色で円形～楕円形を呈し、一端がとがる。側面には縦に走る一本の縫合線がめぐる。表面全体に不規則な隆起がある。

ブドウ属 *Vitis* 種子 ブドウ科

黒褐色で卵形を呈し、先端がとがる。腹面には二つの孔があり、背面には先端が楕円形のへそがある。

〔草本〕

イネ *Oryza sativa* L. 果実 イネ科

炭化しているため黒色である。長楕円形を呈し、

胚の部分がくぼむ。表面には数本の筋が走る。

アワ *Setaria italica* Beauv. 果実 イネ科

黒褐色で楕円形を呈す。表面には横方向の微細な隆起がある。

コムギ *Triticum aestivum*. L 果実 イネ科

炭化しているため黒色で、楕円形を呈する。腹部の端には胚がある。背面には縦に一本の溝がある。比較的四角い形を呈し、短い。

ムギ類(オオムギ-コムギ) *Hordeum-Triticum* 果実 イネ科

コムギもしくはオオムギと思われるが、発泡しているためムギ類とした。

イネ科 Gramineae 果実

黒褐色で楕円形を呈す。胚の部分は取れて凹んでいる。炭化が著しく発泡しているためイネ科とした。カヤツリグサ科 Cyperaceae 果実

黄褐色で倒卵形を呈す。断面は三角形である。基部に針状の付属物を持つ。

ササゲ属 *Vigna* 子葉 マメ科

黒色で楕円形を呈す。へそは縦に細長い。ササゲ属にはリョクトウ、アズキ、ササゲなどの栽培植物が含まれるが、現状の研究では識別は困難である。

マメ科 Leguminosae 子葉 マメ科

黒色で楕円形を呈し、縦に一本の溝状の筋が走る。炭化が著しく発泡しているため、マメ科とした。

ノブドウ *Ampelopsis brevipedunculata* Trautv. var. *Heterophylla* Hara 種子 ブドウ科

黒褐色で広卵形を呈す。腹面に「ハ」字状の孔が2つあり、背面のカラザは長く伸びる。

(2) 種実群集の特徴

1) 26住居カマド

イネ1、ササゲ属1が同定された。

2) 26b住居カマド

種実は検出されなかった。

3) 29住居

- 種実を検出されなかった。
- 4) 29住居
イネ1、ムギ類1、ムギ類?2、イネ科2が同定された。
- 5) 29住居カマド床下土坑
種実を検出されなかった。
- 6) 45住居カマド
種実を検出されなかった。
- 7) 48住居カマド
オニグルミ1、ムギ類2が同定された。
- 8) 49住居カマド
ブドウ属1、イネ2、ササゲ属4、ノブドウ13が同定された。
- 9) 50住居カマド
種実を検出されなかった。
- 10) 52住居カマド
イネ3が同定された。
- 11) 53住居カマド
イネ1、ササゲ属4が同定された。
- 12) 54住居カマド
イネ1が同定された。
- 13) 55住居カマド
イネ?1が同定された。
- 14) 56住居カマド
種実を検出されなかった。
- 15) 59住居カマド
イネ2が同定された。
- 16) 63住居土坑
イネ40、アワ1、コムギ22、イネ科1、カヤツリグサ科1が同定された。
- 17) 63住居カマド
種実を検出されなかった。
- 18) 63住居床下土坑
イネ11、コムギ8が同定された。
- 19) 63住居
コムギ1が同定された。
- 20) 65住居カマド
コムギ1が同定された。

- 21) 76土坑
イネ15、コムギ2が同定された。
- 22) 78土坑
イネ63、ササゲ属1が同定された。
- 24) 103土坑
イネ1が同定された。

5. 考察

分析の結果、イネ141、コムギ34、ノブドウ13、ササゲ属10、ムギ類3、イネ科2、オニグルミ1、ブドウ属1、アワ1、カヤツリグサ科1、マメ科1が同定された。このうち、イネ、アワ、コムギ、ムギ類、ササゲ属は栽培植物であり、オニグルミ、ブドウ属は食用となる樹木の種実である。イネ（米）が最も多いことから、当時の栽培植物の中心であったと考えられる。なお、栽培植物については火を受けて発泡したものが多く、カマドを主とする遺構からの検出であることから、調理途中に飛散したものとみられる。

文献

- 笠原安夫 (1985) 日本雑草図説, 養賢堂, 494p.
 笠原安夫 (1988) 作物および田畑雑草種類. 弥生文化の研究第2巻生業, 雄山閣出版株式会社, p.131-139.
 南木睦彦 (1991) 栽培植物. 古墳時代の研究第4巻生産と流通 I, 雄山閣出版株式会社, p.165-174.
 吉崎昌一 (1992) 古代雑穀の検出. 月刊考古学ジャーナルNo.355, ニューサイエンス社, p.2-14.

第2節 東今泉鹿島遺跡出土文字資料について

国道122号線の改良事業にともなって発掘調査が行われた東今泉鹿島遺跡からは、漆紙文書1点、墨書・刻書土器31点、刻書紡錘車2点の、計34点の古代の文字資料が出土している。

特に漆紙文書は、1点のみの出土ながらも、わが国におけるこれまでの出土事例には見られない特異な内容を有するものであり、本遺跡とその周辺の歴史的環境を考える上で、重要な史料である。

土中から出土。漆紙文書そのものの形状からみれば、杯型の土器の底部内面に付着していた可能性が高いが、埋土から単独で出土した。

本来、杯型土器の底部内面に付着していたものが剥落して、たまたま漆紙文書が単独で出土したものと考えられる。

2. 年代

伴出土器から九世紀前半と考えられる。

I. 漆紙文書

1. 出土状況

平成15年度の調査時に検出された63号住居跡の埋

3. 釈文

・表 (欠損) 解 申 (欠損)
 (欠損) 米カ壹斗 (欠損)
 (欠損) 右件物依本 (欠損)
 (欠損) □器所以旬 (欠損)

・裏 (欠損) 「御 許」 (欠損)

『了』 (欠損)

・表面復元案 謹解 申請 (借) 事
 米カ壹斗
 右件物依本利共・・・・
 雑器所以旬日・・・・
 ・・・・
 ・・・・
 乃録状以解

年 月 日 氏 姓 名

- ・復元案読み下し 謹んで解し申す 請う（借りる）の事。

米カ壹斗

右件の物、本利共に・・・・・・・・

雑器所に旬日を以て・・・・・・・・

・・・・・・・・

・・・・・・・・

乃って状に録して以て解す。

年 月 日 氏 姓 名

- ・復元案解釈 謹んでお願い申し上げます。（左の物を）お借りすることについて。

米カ壹斗。

右の物を、元手と利息の割合いくらで、お借りしたく・・・・

雑器所（役所の中で宴会・給食用の食器を管理する部署）に、10日を限度に・・・・

・・・・・・・・

・・・・・・・・

よって、本書に記した通りをお願い申し上げます。

*ゴチック体で表記した箇所が、現存する文字

4. 内容

表記の特徴 表記は、表裏2面。17文字分を確認、うち解読可能な文字は16字である（表面13、裏面3）。

表面 表面冒頭の「解 申」の語は、公式令公文条に規定された律令制下の公文書書式による解式であり、直接の統属関係にある下位の人物・機関から上位の人物・機関に宛てて上申された公文書の書式に則っている。

表面の記載内容は、下位の人物ないし機関から上位の人物ないし機関に宛てて、何かを「壹斗」を請求したものである。請求した物を示す文字の判読は難しいが、残画の縦線及び左右両払いと「壹斗」という数量から、請求した物は米とみて間違いない。文書の題名としては「米壹斗申請解文（こめいっとしんせいげぶみ）」が妥当であろう。

「(米) 壹斗」を請求した理由としては、判明している限りの内容・書式や裏面の内容からみて、正倉院文書に類例が多く見られるような、貸借の願い出である可能性が高い。「斗」という量単位からみれば

出挙とは考えにくい。すなわち、下級官人が上司に宛てて提出した、役所への借米(金)、給与の前借りなどを申込んださいの申込書であり、貸借期間中は、いわゆる「借金証文」として機能した文書である可能性が考えられる。

裏面 表面とは別筆で記された「御許」の語は、文書の宛先を示す「おんもと」という意味ではなく、この文書を差し出した者が、表面にて「米壹斗」の申請したことに對して上司がこれを承認したという「決裁」を示す「おんゆるし」という意味と考えられる。言うなれば、起案に対する処分を記したものである。

決裁の文言に「御」の字を使用されていることから、この文書の申請に對して決裁したものは長官クラス、具体的には郡大領のような地方社会における高位者と考えられる。

「御許」の語の脇に、さらに別筆・草書体で記された「了」の語は、表面の「米壹斗」の申請に對して処分を行い、その結果が完了したことを示す文言と

解釈できる。

「了」の文字が、草書体で、あたかもなぐりがきのような粗い筆致で記されていることや、表書き本文とも裏書きの「御許」などとも更に別筆で記されている点は、本文書に関する最終的な処分に関わる書き込みであることを裏付ける。この文言が記入されることによって、本文書の文書としての機能は完了したわけであり、それ以降、この文書はいつでも廃棄可能な状態にあったことになる。本文書が「米壹斗」の貸借を申請したものとみてよいならば、借主による返済の完了・完納を意味する。すなわち、本文書も「借用書」としての機能を無事終えたことをあらわしている。

5. 本文書の歴史的意義

実質的な租税の一部としての強制的な稲の貸し付けである出挙関係の漆紙文書や木簡は類例があるが、正倉院文書に見られる「出挙銭解」や「月借錢解」に類するような、いわゆる借金あるいは給与の前借りの申し込み書は、漆紙文書としての出土は、全国で初めてである。

ところで、日本古代の借金制度には、出挙（すいこ）と月借（げっしゃく）がある。

出挙は、一般民衆を対象として含み、元来は福祉目的が理念であるが、実質的には強制的な貸し付けによる租税の一環で、貸借物は稲であったが、先述したように銭出挙も行われていた。

出挙は令に規定され、法定利率にて、60日計算。1月当たり6.3%。返済せずに480日が過ぎると利息の合計が元本と同じになるが、それ以降の利息はかけてはならなかった。家財が尽きて返済が滞るようなことがあれば、労働によって返済に代え、利息額が元本を超えても返済されない場合は、官司が質物を売却し、返済に充て、債務者が逃亡するようなことがあれば、保証人が返済の責を負うべきことが、令に定められている（雑令）。

一方、「月借」は、官人の生活救済目的であり、借用を必要な官人が願い出る申請方式であり、令には

規定が無い。官人にとっては生活維持のための特権の一つとも言える。貸借物は、基本的に銭であり、正倉院文書中に多数残っている月借錢の申請書である「月借錢解」によれば、質物としては宅地、農地、給与などが充てられ、利率は相対で決められた。上下限法定制限は無いが、言わば官人間の信用取引的な側面も存在していたようである（中村順昭「奉写一切経所の月借錢について」（『日本歴史』526 1992）、吉川敏子「借金証文」平川南・沖森卓也・栄原永遠男・山中 章編『文字と古代日本3—流通と文字』吉川弘文館 2005）。

都においては、当時すでに貨幣流通経済が機能していたため、正倉院文書からうかがえる当時の都における下級官人たちの借金や給与前借りは「銭」によってなされているが、本資料では、「米」が貸借の対象となっている。貨幣流通経済が実質的に行き渡っていなかった地方社会に即したものとみられ、地方における実情を直接に示すものとしても意義が高い。

また、正倉院文書にみられるような、都の下級官人が勤務先の役所から借金、あるいは給与を前借りするというようなシステムが、地方の役所とそこに勤務する下級官人との間にもなされていたことを具体的に示す初めての史料である。

形態の点からみれば、本文書は、上下左右両端が欠損しており、文書として完形を保つものではないが、文言からみて、文書の冒頭部分が漆紙として残存したものであることがわかる。想定復元してみても、通常、役所間で取り交わされた公文書のサイズに比べてかなり小さなサイズの内紙が使用されている。正倉院文書中の月借錢解・出挙銭解などの実例でも、官人個人に関わる文書であるために、正式な公文書用紙の余り紙である「切紙」が使用されているケースが多く、本文書もそれに類して、規格外の切紙が使用された可能性が考えられる。

また、本文書の用紙サイズが通常の公文書よりかなり小さく、規格外と考えられる点が、本文書の内容を想定する上での有力な判断材料の一つであるこ

第IV章 発掘調査の成果と問題点

とも事実である。

裏面に余白が多いにもかかわらず、習書などに二次利用されていない点は、切紙を使用したため、紙のサイズがイレギュラーであり、使い勝手が悪かったという点も考えられるが、「御許」や「了」などの施行処分を意味する語が記されていたため、処分後の悪用や誤用を避けるために、文書としての二次利用が意図的に控えられた可能性も想定できる。

本遺跡の西方約1.5kmの位置にあたる太田市緑町古水地区に山田郡家の存在が想定されているが、本文書の内容や、本遺跡との位置関係からみて、本文書は郡家から払い下げられ、本遺跡の地において漆塗り作業に伴い、漆液の容器の蓋紙として使用され

たものと考えてるのが妥当であろう。

そのような意味においては、本遺跡と郡家との密接な関係を示唆させる資料であり、本遺跡の性格を考える上でも重要な資料と位置づけることが出来る。

現状で記されている文字の数は決して多くはないが、上述したように、非常に多くの情報量に富んだ史料であり、これまでのわが国における漆紙文書の出土例には無い部類の史料でもある。地方社会における下級官人の生活の一端を直接に窺わせる第一級の史料と位置づけることができる。

II. 墨書・刻書土器

第18表 墨書・刻書土器一覧

| 遺物番号 | 出土遺構 | 器種 | 文字記入部位・方向 | 種別 | 釈文 | 備考 |
|------|---------------------------|-------|-----------|----|------|-----------------|
| 153 | 48住No23・24、覆土 | 須恵器・杯 | 底部外面 | 墨書 | 子 | |
| 235 | 46住No8、覆土 | 須恵器・杯 | 体部外面・正位 | 墨書 | 得 | |
| 239 | 46住No21 | 須恵器・杯 | 底部外面 | 墨書 | 丁カ | |
| 248 | 46住No37 | 須恵器・皿 | 底部外面 | 墨書 | 本 | 「奉」の省画か？ |
| 304 | 61住No1 | 須恵器・杯 | 底部内面 | 墨書 | □ | 判読不能 |
| 343 | 63住、覆土 | 須恵器・杯 | 底部外面 | 墨書 | 華奉 | 組み合わせ文字 |
| 411 | 5区表土 | 須恵器・杯 | 体部内面・正位 | 墨書 | □ | 判読不能 |
| 413 | 5区表土 | 須恵器・杯 | 底部外面 | 墨書 | 大 | |
| 414 | 5区表土 | 須恵器・杯 | 底部外面 | 墨書 | 大 | |
| 498 | 4住No11、覆土 | 須恵器・碗 | 底部内面 | 墨書 | 奉 | |
| 531 | 50溝No1 | 須恵器・杯 | 底部外面 | 墨書 | 土 | |
| 541 | 3区表土 | 須恵器・蓋 | 天井部内面 | 刻書 | 山田 | 郡名か？ |
| 543 | 3区表土 | 須恵器・杯 | 底部外面 | 墨書 | 大 | 焼成前 |
| 544 | 3区表土 | 須恵器・杯 | 底部外面 | 墨書 | 四 | |
| 545 | 3区表土 | 須恵器・杯 | 底部内面 | 墨書 | 直カ真カ | 下方欠損のため判読不能 |
| 590 | 84住No2 | 須恵器・杯 | 体部内面 | 墨書 | □ | 小片のため判読不能 |
| 688 | 58溝、覆土 | 須恵器・杯 | 体部外面・横位 | 墨書 | 西二 | |
| 689 | 58溝、覆土 | 須恵器・碗 | 体部外面・正位 | 刻書 | 日下カ | 焼成後 |
| 712 | 162土坑、覆土 | 須恵器・杯 | 体部内面 | 墨書 | □ | 判読不能 |
| 860 | 35住No1・2・4・10~13・16・18・20 | 須恵器・杯 | 底部内面 | 刻書 | 日下カ | 焼成前 |
| 869 | 36住、覆土 | 土師器・甕 | 体部外面・正位 | 刻書 | 大 | 焼成後 |
| 906 | 43住No8 | 須恵器・杯 | 体部内面・正位 | 墨書 | 壬 | |
| 939 | 96土坑No2 | 須恵器・杯 | 体部外面・正位 | 刻書 | 日カ | 焼成前 |
| 946 | 19区表土 | 須恵器・杯 | 底部内面 | 刻書 | 日下カ | 焼成後 |
| 1008 | 79住-竈No42 | 須恵器・盤 | 底部外面 | 刻書 | 廿 | 焼成前、記号か？ |
| 1012 | 79住、覆土 | 須恵器・杯 | 底部外面 | 刻書 | 亥 | 焼成前 |
| 1026 | 80住堀方No3、覆土 | 須恵器・碗 | 体部外面・正位 | 墨書 | 得 | |
| 1073 | 94住No8・9 | 須恵器・杯 | 体部外面 | 墨書 | □ | 欠損により判読不能 |
| 1079 | 184土坑No3・5、覆土 | 須恵器・碗 | 体部内面・横位 | 刻書 | 日下カ | 焼成後。記入後傷を付けて抹消。 |
| 1095 | 斜面、覆土 | 須恵器・碗 | 体部内面・正位 | 墨書 | 吉 | |
| 1099 | 斜面No56 | 須恵器・杯 | 体部外面・正位 | 墨書 | □ | 欠損により判読不能 |
| | | 須恵器・杯 | 体部内面・正位 | 墨書 | 吉 | |
| | | | | | 得 | |

1. 全般的傾向

東今泉鹿島遺跡からは31点の墨書・刻書土器が出土している。うち、墨書土器が23点、刻書土器が8点である。

墨書土器235には体部と底部のそれぞれ外面に、ま

た刻書土器906にも体部外面と底部内面に一箇所ずつ、それぞれ異なる文字が記入されている。906の刻書は、体部外面に土器焼成前の刻書が、また底部内面には土器焼成後の刻書が各一件ずつ記入されている。235と906以外には、同一個体に2箇所以上の文

字が記入されている例はない。

出土状況の点からみると、46号住居跡から235・239・248の3点の墨書土器が出土しているものの、同じ遺構から出土した3点に記された文字はそれぞれ異なっている。他の例では墨書・刻書土器の出土が、特定の遺構に集中しているというような傾向は全く見られない。これは各出土遺構についても、墨書・刻書土器出土遺構が特定のエリアに集中が見られるというわけではなく、また各々の資料の、それぞれ出土した各遺構内における出土状況を検討しても、特に共通したり、あるいは際だった特色を指摘できるものはなかった。

集落遺跡から出土する墨書土器は、集落内における各種集団が、祭祀・儀礼等の行為に際して、集団の標識として特定の文字を記したものと考えられているが（平川 南・天野 努・黒田正典「古代集落と墨書土器」『国立歴史民俗博物館研究報告』22 1989、のち同氏著『墨書土器の研究』吉川弘文館2000に収録、関 和彦「古代村落の再検討と村落首長」『歴史学研究』626 1991、のち同氏著『日本古代社会生活史の研究』校倉書房 1994に収録）、同じ文字が記された複数の土器が、ある程度特定のエリアに集中して出土するような傾向が無いことからみれば、本遺跡においては、墨書された文字から集落内の小集団の動向を窺い知ることは困難である。

文字が記入されている部位に関して言えば、底部に記入されたものが圧倒的に多く、15点と全体の約5割を占める。さらにその中の10点の底部の外面に文字が記されている。一般的に、関東地方における集落遺跡出土の墨書土器では、体部に記入される例が多いのに対し、官衙遺跡出土の墨書土器では底部外面に記されるものが多いという傾向がある。本遺跡出土の事例で言えば、出土した墨書・刻書土器の傾向としては、明らかに官衙遺跡出土の墨書土器の傾向に近いと言えることになる。

本遺跡における遺構の検出状況や遺構の配置から見れば、本遺跡に営まれた建物群を官衙ないしその関連遺跡とみることは到底考えにくい。しかしなが

ら本遺跡の地において漆塗りの作業が営まれ、約1.5 km西方の太田市緑町古氷地区に所在が想定される山田郡家から払い下げられたと考えられる文書の反故が出土していることからみても、郡家などの官衙と本遺跡との密接な関連が伺える。本遺跡出土の墨書・刻書土器にみられるそのような傾向も、そうした官衙との関連を補強する材料と言えるかもしれない。

器種の点で言えば、本遺跡出土の墨書・刻書土器資料は、刻書の860以外のすべてが須恵器である。この点も、墨書・刻書土器の傾向としては異例であり、墨書・刻書土器の出土が特に顕著な関東地方の奈良・平安時代集落遺跡出土資料の全般的な傾向では、概して土師器の方が多いという特色がある。ただし、文字が記された土器の器種は、その遺跡出土土器全体の傾向と同様なのであり、特に、須恵器ないし土師器のどちらかが選ばれて、文字が記入されたというような事例は全く見受けられない。本遺跡においては金山丘陵の須恵器生産地を至近にした環境もあって須恵器の流通・消費の頻度が一般に比べて格段に高かったために、文字が記入された土器のほとんどが須恵器で占められたというだけのことであろう。

実際、須恵器窯が多い遠江西部、尾張、美濃、出雲西部などの地域においては、奈良・平安時代集落遺跡出土土器の中での須恵器の占める割合の高さに比例して、墨書・刻書土器にも須恵器が多い傾向が指摘できる（藤田憲宏「墨書・刻書土器の出土傾向とその背景」吉村武彦編『古代文字資料のデータベースの構築と地域社会の研究—平成11～13年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書』2002、高島英之「墨書・刻書土器からみた古代の出雲地域」『出雲古代史研究』15 2005、のち高島英之『古代東国地域史と出土文字資料』東京堂出版2006に収録）。

2. 墨書土器

墨書土器は23点である。先述したように、235の須

恵器杯に、体部・底部各外面計二箇所文字が記されている他は、いずれも一文字のみの記載である。

一文字のみ記載されたものには、「得」の文字が記されたものが3点(235・1008・1099)、「奉」が省画の異体字と考えられるものを含めて3点(239・304・414)、「大」が2点(411・413)、「吉」が2点(1073・1095)あるが、「得」「奉」「大」「吉」等の文字は元来が吉祥句的な文字であり、全国的な墨書・刻書土器の傾向の中で見ても平均的に多く見られる文字である。これら複数点に記された文字のほかにも吉祥句的な文字はいくつも存在している。また、吉祥句的な文字は、氏族名・人名・地名いずれにも頻繁に使用されるため、一文字のみの記載であれば、解釈はいかようにも可能なわけであって、これらの資料に記された文字の意味や内容を解釈することは難しい。出土状況や、文字の記載内容から、本遺跡出土の資料を特徴づけられるような傾向を指摘することはできないので、今回は資料の呈示にとどめ、記された文字からみた特筆すべき2～3の事項について言及する。

記された文字内容からみて、最も注目されるものは531の「山田」である。本遺跡が所在するのは古代の山田郡内にあたり、「山田」の記載は郡名を示すものと考えられる。もちろん、郡名となった地名を負う在地豪族の氏名(うじな)として記された可能性もあるが、いずれにせよ「山田」の語のもとになったのは郡名と言えよう。先述したように、本遺跡の西約1.5kmの位置には、古代の山田郡家の想定地があり、上述した漆紙文書も、山田郡家からもたらされた反故紙と考えられ、本遺跡地と山田郡家との密接な関係が想定できる。531の「山田」の記載も、そのような山田郡家との関連を示唆する資料と位置づけられよう。

ほかに記された文字で、特徴的なものは、304の「華奉」である。二文字を組み合わせてあたかも一文字のようにつくるが、組み合わせ文字の字形が墨書・刻書土器に多く見られるという点は、早くから指摘されている通りである(平川 南「墨書土器とその

字形—古代村落における文字の実相—」『国立歴史民俗博物館研究報告』35 1991、のち同氏著『墨書土器の研究』吉川弘文館 2000に収録)。また、このような二文字を組み合わせてあたかも一文字のように作る組み合わせ文字は、異体字の一種として古文書等にも散見でき、必ずしも墨書・刻書土器にのみ限定されるわけではない。このような組み合わせ文字は、かなり後代まで使用されており、古代～中世社会においては必ずしも特異なことではなかったようである。文言からは、仏教的信仰に関わる儀礼等の行為の存在が想定できる。

その他、一文字のみの記載なので、いかようにも解釈可能であり、断定することは出来ないのであるが、498の「土」と869の「壬」は、ともに土師氏ないし土師部氏、壬生氏などの氏族名とも通じる文字であり、あくまでも可能性の一つではあるが、関連が想定できる。

周知のように壬生氏は「乳部」・「生王」とも表記し、東国に所在して自然な氏族である。また土師氏・土師部氏については、本遺跡の北に近接する太田市只上町の矢部遺跡から出土した8世紀後半以降の漆紙文書に「土部小麻呂」の人名がみえ(財団法人埋蔵文化財調査事業団『平成18年度調査遺跡発表会』2006)、郡内に土師部氏の存在が明らかになった。本遺跡出土の498の墨書土器に記された「土」も、土師氏・土師部氏の氏族名との関連も可能性の一つであろう。

その他、413には、底部外面に「大」の文字が墨書されているが、底部内面には墨痕が多数付着し、器面の摩耗が著しい。体部が欠失して底部のみ残存した状態において硯として使用されたものと考えられる。また、墨書土器ではないが、須恵器碗の底部外面の後代の内側に墨痕が明瞭に残る資料が2区の表土中から出土している(529)。この資料には墨痕が残る部分の擦痕は全く見出すことはできないので、いわゆる転用硯ではなく、墨液のパレットとして使用されたものと考えられよう。これらの資料の存在は、本遺跡出土の墨書土器が、本遺跡の地にお

いて記入された可能性を示唆する資料としても重要である。

3. 刻書土器

刻書土器は8点である。先述したように、906の須恵器杯に、体部外面と底部内面の計二箇所文字が記されている他は、いずれも一文字のみの記載である。

本遺跡出土の刻書土器で特筆すべきは、土器焼成前の生乾きの状態で篋書きされた文字と、土器焼成後に硬質な用具で記入された文字とが共通していることである。688・712・906・1026の4点は、ともに「日下」と記され、草壁氏・日下部氏などの氏族名との関連も想定でき、墨書された「土」(498)＝土師・土師部氏や「壬」(869)＝壬生氏などの事例とともに当該地域一帯に居住した氏族名を想定する手がかりともなるであろうが、文字の記入状況の点からみると、712では底部内面に、土器焼成前に記されているが、688では体部内面に正位で、906では底部内面に、1026では体部内面に横位で、それぞれ土器の焼成後に先端が鋭利な硬質の素材で記入されている。

一般的に、土器焼成前の刻書は土器の生産段階で記入され、土器焼成後の刻書は墨書と同様、土器の流通・消費先で記入され、それぞれは本来全く関連しないものであり、分別して検討されなければならないと考えられてきた。しかも須恵器であれば、土器の流通・消費先から離れた窯で、専門的な工人集団によって作られるため、土器生産段階で記入された文字は、消費地において記入されたとみられる墨書あるいは焼成後刻書の文字とは全く関連しないと考えるのが自然である。

しかしながら、前橋市二之宮町の二之宮宮下東遺跡から出土した資料には、則天文字という特異な字形で記された「天」という文字を、方や、須恵器の焼成前に刻書し、また、一方では土器に墨書したものが、合計25点にのぼっている(財団法人埋蔵文化財調査事業団『二之宮宮下東遺跡 一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』

1994)。須恵器の焼成前に則天文字の「天」という文字を刻書した例が3点であり、同じ文字を土器に墨書したものが22点であることから考えれば、この事例では、墨書されたものが、焼成前に刻書されたものと同様、土器生産段階で記入されたとは考えにくい。言うなれば、土器の生産段階で記された文字と、土器の流通・消費先で記入された文字とが一致する事例と考えられ、土器の消費先から生産段階に対して、則天文字の字形の「天」という文字を記入するよう発注されていたとしか考えにくい(高島英之「古代東国の村落と文字」関和彦編『古代王権と交流 2 古代東国の民衆と社会』名著出版 1994)。

このような事例を前提として考えるならば、土器焼成前の記入と焼成後の記入とは、必ずしも無関係とは言いきれないのであり、密接な関連を想定せざるを得ない場合も存在するわけである。事実、近年では、全国的に見ても、土器生産段階で刻書された文字と、土器消費段階である当該遺跡の地で墨書されたとみられる文字とが一致する事例が増加してきている。

本遺跡出土の資料に立ち返って考えるならば、前述した前橋市二之宮宮下東遺跡出土の資料とは異なり、本遺跡出土資料では、土器の焼成前と焼成後にそれぞれ記入された文字が同一であるとはいえ、共に刻書であり、また、点数も合計4点と少ない。「日下」という文字が土器焼成前に記入されたのは、4点の内、712の1点みである。総点数が4点であれば、土器焼成後の刻書が土器消費地である本遺跡で記入されたのか、あるいは土器生産段階で記入されたのか、判断が難しいところではある。

土器生産段階であれば、焼成前の生地が生乾きの状態に、篋状の工具で文字を記入することはいくらかでも可能な状況なのであるから、その点からみれば、土器焼成後に刻書されたものは、墨書土器一般と同様、土器の消費先、すなわち本遺跡の地において記入されたと想定するのが自然であるように思われる。そのように考えるならば、本遺跡出土の、土器焼成前刻書の「日下」(712)は、土器消費地から、

土器の生産者に対して記入が「発注」されたものとみるのが妥当であり、本遺跡の集落と須恵器の生産

段階との密接な関係を裏付ける資料と解釈することも可能であろう。

III. 刻書紡錘車

第19表 刻書紡錘車一覧

| | 出土遺構 | 形状 | 上径 | 下径 | 厚さ | 孔径 | 重さ | 形状 | 文字記入位置 | 材質 | 釈文 |
|------|---------|-----|-------|-------|-------|--------|-------|----|--------|----|-----|
| 1143 | 3号掘立No4 | 厚台形 | 3.8cm | 2.8cm | 2.0cm | 0.75cm | 34.3g | 完形 | 上面 | 陶製 | 真髪 |
| 1152 | 5区表土 | 薄台形 | 5.4cm | 2.7cm | 1.3cm | 0.8cm | 35.7g | 完形 | 上面 | 石製 | ×倭マ |

本遺跡では刻書紡錘車が2点出土している。2点とも氏族名と考えられる記載であり、先に掲げた本遺跡出土の刻書土器 688・712・906・1026の「日下」=草壁氏・日下部氏、墨書された「土」(498)=土師・土師部氏や「壬」(869)=壬生氏などの事例とともに、当該地域一帯に居住した氏族名を想定する手がかりともなる。

文字が記された古代の紡錘車は、群馬県で初めて確認された資料である。

2006年10月末段階までに出土が把握できた、群馬県内出土の墨書・刻書紡錘車の資料数は、管見の限り58点である。県内で現在までに出土したところはいずれも刻書紡錘車であり、文字が墨書されたものは今のところ存在しない。

文字が記載された紡錘車の割合は、県内出土の奈良・平安時代の全紡錘車の約1割強にのぼる。同時代の土器全体に占める墨書・刻書土器の割合がおおよそ数パーセントに過ぎない点からみれば、文字が記されたものの率は土器に比べて高いと言えるだろう。これは、古代の刻書紡錘車の出土が多い当該地域に特徴的な現象である。

出土状況を見ると、およそ9割以上の事例が、竪穴建物跡の埋土中からの出土であり、出土状況については特に顕著な特色を見いだすことはできなかった。それらは、集落の中における何らかの祭祀・儀礼等の行為にかかわるものとの見方が有力であるが、出土状況から見れば、祭祀や儀礼等の行為に使用されたことが明確に判明するような例は、現在までのところ見あたらない(高島英之・宮瀧交二「群馬県出土の刻書紡錘車に関する基礎的研究」『群馬県

立歴史博物館紀要』23 2002、高島英之「古代の墨書・刻書紡錘車—上野国域内出土資料を中心に—」『古代東国地域史と出土文字資料』東京堂出版2006)。

県内出土資料の年代をみると、8世紀後半から9世紀代にかけての資料が圧倒的多数であり、中心は9世紀代と考えられる。

形態的には、薄台形のものが多いが、これも県内出土の奈良・平安時代の紡錘車全体の、形態についての一般的な傾向と一致している。

紡錘車の重量は、紡錘車の機能に関わる重要な意味を有するが、上野国域内出土の墨書・刻書紡錘車はおおむね40~70gの間に収まり、なかでも50g以上のものが大半を占める。県内出土の奈良・平安時代の紡錘車全体の傾向からみると、やや重いものが多いと言えるが、刻書紡錘車の資料数は平安時代になって増加してくるので、この点でも県内出土紡錘車全体的な傾向の通りである。

また、材質の点では、これまでは、高崎市大八木屋敷遺跡出土のものと同様に太田市稲荷宮遺跡出土のもの2点以外すべて石製であった。今回出土した1152は陶製であり、県内出土の刻書紡錘車の例としては稀有な資料である。

県内出土の奈良・平安時代の紡錘車全体では、約7割強が石製であるが、茨城県内出土の刻書紡錘車の事例では、約半数を土製のものが占めている。文字が記される紡錘車の材質は、あくまでもその地域において盛行した紡錘車の材質に左右されるとみてよいだろう。